

第211表 第497号土壙出土遺物観察表(第620~660図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
1	磁器	碗	10.8	7.0	4.9	—	95	良好	白	肥前系 内外面施釉 No.129・148	89-5
2	磁器	碗	8.8	5.0	3.3	—	70	良好	白	肥前系 内外面施釉 No.93・216	
3	磁器	碗	9.1	4.0	3.7	—	90	良好	白	肥前系 内外面施釉 No.151	89-6
4	磁器	碗	(8.9)	4.0	4.0	K	40	良好	白	肥前系 内外面施釉 極めて細かな貫入	
5	磁器	碗	9.7	5.6	3.9	—	95	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付 口紅 No.153・162	89-7
6	磁器	碗	9.0	5.6	3.4	—	95	良好	灰白	肥前系 内外面施釉(釉白濁) 外面コンニャク印判染付 被熱カ No.195	89-8
7	磁器	碗	(9.2)	5.1	3.6	K	50	良好	灰白	肥前系 内外面施釉 外面コンニャク印判染付	
8	磁器	碗	(10.8)	6.3	4.4	—	45	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付 No.24	
9	磁器	碗	10.7	6.0	4.3	—	95	良好	灰白	肥前系 内外面施釉 外面染付 No.176・183	89-9
10	磁器	碗	10.4	6.3	4.4	K	65	普通	灰白	肥前系 内外面施釉 外面染付 No.246	
11	磁器	碗	10.4	6.0	4.0	K	70	普通	灰白	肥前系 内外面施釉 外面染付(一部コンニャク印判染付) No.289	89-10
12	磁器	碗	(10.6)	5.8	3.9	—	55	良好	灰白	肥前系 内外面施釉 外面染付 No.135	
13	磁器	碗	10.0	5.9	4.0	K	65	良好	灰白	肥前系 内外面施釉 外面染付(一部コンニャク印判染付) 被熱(弱) No.483	
14	磁器	碗	10.3	6.1	3.7	—	70	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付 No.154	89-11
15	磁器	碗	9.6	5.3	3.6	—	80	普通	灰白	肥前系 内外面施釉 外面染付 No.329・350	89-12
16	磁器	碗	11.0	6.6	4.7	IK	90	良好	灰白	肥前系 内外面施釉 外面呉須絵 No.14	89-13
17	磁器	碗	9.6	5.5	3.7	K	90	普通	灰白	肥前系 内外面施釉 外面染付 No.128	89-14
18	磁器	碗	(10.4)	5.9	3.6	K	30	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付 No.238	
19	磁器	碗	10.7	5.6	4.1	—	80	普通	灰白	肥前系 内外面施釉 外面染付 No.361	90-1
20	磁器	碗	10.5	5.9	4.2	—	65	普通	灰白	肥前系 内外面施釉 外面染付 体部中位焼成前穿孔1あり No.127	
21	磁器	碗	9.5	5.8	3.8	—	75	良好	灰白	肥前系 内外面施釉 外面染付 No.242	
22	磁器	碗	(10.4)	6.2	4.1	K	55	良好	灰白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
23	磁器	碗	(10.0)	6.0	4.5	K	35	良好	灰白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
24	磁器	碗	(11.6)	7.0	(4.5)	—	30	良好	白	肥前系 内外面青磁釉	90-2
25	磁器	碗	(11.6)	6.3	(4.8)	K	20	良好	灰白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
26	磁器	碗	(10.5)	6.4	(4.3)	—	30	良好	灰白	肥前系 内外面施釉(外面釉白濁)・染付	
27	磁器	碗	(11.0)	6.2	(4.0)	—	20	良好	灰白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
28	磁器	碗	(10.0)	6.0	(4.4)	K	25	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付 被熱(弱・赤化) No.407	90-3
29	磁器	碗	—	[3.9]	3.9	K	40	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付 No.443	
30	磁器	碗	—	[2.7]	(4.8)	K	20	普通	灰白	肥前系 初期伊万里 外面青磁釉 内面施釉・染付	90-4
31	磁器	碗	(10.9)	[4.6]	—	K	15	良好	白	肥前系 内外面青磁釉 被熱・煤付着	
32	磁器	碗	(11.0)	[4.9]	—	K	5	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面色絵(赤・黒)	90-5
33	磁器	碗	(8.2)	4.5	(3.2)	K	40	良好	灰白	肥前系 内外面施釉 外面染付 No.326	90-6
34	磁器	碗	(7.7)	4.8	(3.3)	K	45	普通	灰白	肥前系 内外面施釉 外面染付 No.15	
35	磁器	碗	(8.2)	4.9	3.2	K	55	良好	灰白	肥前系 内外面施釉 外面染付 被熱カ	90-7
36	磁器	碗	8.0	4.5	3.0	K	75	良好	灰白	肥前系 内外面施釉 外面染付 No.414	90-8
37	磁器	碗	(8.6)	5.1	2.9	K	50	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付 被熱(弱)カ No.258	
38	磁器	碗	(7.6)	4.7	(3.2)	K	30	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
39	磁器	碗	(8.0)	4.4	3.9	K	55	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付 高台被熱(赤化)	90-9
40	磁器	碗	—	[4.0]	3.0	K	40	良好	白	肥前系カ 内外面施釉 高台内釉ムラあり No.188	90-10
41	磁器	坏	(7.0)	[3.8]	—	K	5	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
42	磁器	坏	(6.0)	4.5	2.9	K	55	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	90-11
43	磁器	坏	(6.2)	[3.2]	—	K	25	良好	白	肥前系 内外面施釉	
44	磁器	坏	(6.0)	[2.8]	—	—	15	良好	白	肥前系 内外面施釉	
45	磁器	坏	(5.2)	2.5	(2.2)	K	40	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	90-12
46	磁器	皿	—	[2.3]	—	K	5	良好	灰白	肥前系 内外面施釉 内面染付	90-13
47	磁器	皿	—	[1.4]	—	—	5	良好	灰白	肥前系 初期伊万里様式 内外面施釉 内面染付	90-14

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
48	磁器	皿	—	[4.0]	—	—	5	良好	白	肥前系 初期伊万里 内外面施釉 内面染付 No.430	90-15
49	磁器	皿	(13.4)	4.1	4.4	K	60	良好	白	肥前系 内外面施釉 内面染付 見込み蛇ノ目釉剥ぎ No.307	91-1
50	磁器	皿	13.6	3.5	4.0	K	70	良好	白	肥前系 内外面施釉 内面染付・見込み蛇ノ目釉剥ぎ	
51	磁器	皿	13.4	4.1	4.4	K	80	良好	白	肥前系 内外面施釉 内面染付・見込み蛇ノ目釉剥ぎ No.155	91-2
52	磁器	皿	11.8	3.9	4.0	K	90	良好	白	肥前系 内外面施釉 内面染付・見込み蛇ノ目釉剥ぎ 高台外周ケズリ痕 No.459	91-3
53	磁器	皿	(11.8)	3.7	3.7	—	60	良好	白	肥前系 内外面施釉 内面染付・見込み蛇ノ目釉剥ぎ No.233	
54	磁器	皿	(10.1)	3.5	(3.8)	K	30	良好	白	肥前系 内外面施釉 内面見込み蛇ノ目釉剥ぎ・色絵(赤・緑・黒)	
55	磁器	皿	13.1	4.1	4.5	—	95	良好	白	肥前系 内外面施釉(青磁釉気味)・見込み蛇ノ目釉剥ぎ 輪状重焼痕 外面煤付着 No.175	91-4
56	磁器	皿	(13.5)	3.7	4.6	K	40	良好	白	肥前系 内外面施釉(青磁釉気味)・見込み蛇ノ目釉剥ぎ 外面煤付着	
57	磁器	皿	(10.4)	2.3	5.2	K	55	普通	白	肥前系 内外面施釉・染付 被熱(弱)	91-5
58	磁器	皿	10.5	2.5	4.7	K	70	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付 被熱(弱)・煤付着 No.56	91-6
59	磁器	仏飯器	(8.0)	[5.7]	(4.6)	K	70	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
60	磁器	仏飯器	(7.5)	5.6	3.9	K	80	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付 No.19	91-7
61	磁器	仏飯器	—	[4.5]	4.4	K	70	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付 脚部外周削り痕	91-8
62	磁器	仏飯器	—	[3.2]	3.4	K	40	良好	白	肥前系 内外面施釉 上半部打割(二次加工)	91-9
63	磁器	蓋物	(9.0)	[6.5]	—	—	5	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
64	磁器	香炉	(6.4)	5.9	—	K	20	良好	灰白	肥前系 内外面青磁釉 脚貼付	91-10
65	磁器	香炉	—	[4.4]	(4.8)	K	40	良好	灰白	肥前系 外面青磁釉 露胎部赤褐色 被熱カ No.117	
66	磁器	香炉	(7.0)	5.2	(4.4)	K	25	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付 内定面砂付着 No.18	
67	磁器	香炉	—	[6.0]	(6.4)	K	30	良好	白	肥前系 外面施釉・染付	
68	磁器	花生	—	[5.1]	5.5	K	60	普通	灰白	肥前系 胎土粗雑 外面施釉 No.41	
69	磁器	德利	(5.5)	[9.2]	—	K	75	良好	白灰	肥前系 内外面施釉 外面染付 No.104	
70	磁器	德利	2.7	[9.6]	—	K	45	良好	白	肥前系 外面施釉・染付 No.298	
71	陶器	碗	(11.4)	8.2	5.2	K	75	良好	灰白	肥前系 内外面施釉(外面下位釉白濁) 内面釘書	92-1
72	陶器	碗	—	[5.8]	4.8	IK	70	良好	灰白	肥前系 内外面施釉 内面胎土付着	
73	陶器	碗	(10.6)	[7.6]	4.5	K	70	良好	灰白	肥前系 内外面施釉 No.473	91-11
74	陶器	碗	(10.2)	6.9	4.1	K	45	良好	灰白	肥前系 内外面施釉 破損後被熱(弱) No.300	91-12
75	陶器	碗	10.6	7.1	4.4	K	80	良好	灰白	肥前系 内外面施釉(外面一部うのふ釉ぎみ) 胎土磁器質状光沢 No.349	
76	陶器	碗	(9.8)	6.7	4.0	IK	70	良好	灰白	肥前系 内外面施釉 外面煤付着	92-2
77	陶器	碗	11.0	7.4	4.6	K	25	良好	灰白	肥前系 内外面施釉 高台に小礫付着 胎土緻密・硬質 黒色粒子(鉄分)斑状 No.44	
78	陶器	碗	(10.6)	[6.0]	—	K	25	良好	淡黄	肥前系 内外面施釉 No.47	
79	陶器	碗	(9.4)	5.6	(5.4)	K	45	良好	灰白	肥前系 内外面施釉 外面鉄絵 No.62	92-3
80	陶器	碗	(9.0)	5.7	5.1	K	75	良好	灰白	肥前系 内外面施釉 外面鉄絵 No.100	92-4
81	陶器	碗	(9.0)	[5.3]	—	K	30	良好	灰白	肥前系 内外面施釉 外面鉄絵 SK403 と接合	
82	陶器	碗	—	[1.4]	4.8	K	5	良好	灰白	肥前系 内外面施釉 高台内刻印	113-8
83	陶器	碗	(12.1)	[5.1]	—	IK	10	良好	灰白	肥前系 内外面緑釉(外面釉ムラ)	
84	陶器	碗	(13.0)	4.9	(4.6)	K	55	良好	灰白	肥前系 内外面施釉 内面鉄絵 被熱(外面釉剥落)	
85	陶器	碗	11.4	7.6	5.2	K	90	良好	灰黄	肥前系 内外面刷毛目釉 口縁部白土流し 体部凹み1あり No.418	92-5
86	陶器	碗	(9.8)	7.5	5.1	EI	45	良好	褐灰	肥前系 内外面刷毛目釉(渦巻状) 胎土硬質 No.5	92-6
87	陶器	碗	(9.8)	6.1	4.2	EK	45	良好	にぶい黄橙	肥前系 内外面刷毛目釉 No.54	
88	陶器	碗	(10.7)	5.2	3.7	IK	60	良好	褐灰	肥前系 内外面刷毛目釉(渦巻状) 内底面蛇ノ目釉剥	92-7
89	陶器	碗	10.5	6.4	4.4	EIK	70	良好	にぶい黄橙	肥前系 内外面刷毛目釉(内面渦巻・外面波状)	92-8
90	陶器	碗	12.0	6.2	4.2	EIK	45	良好	褐灰	肥前系 内外面刷毛目釉(渦巻状) No.435	
91	陶器	碗	(13.9)	6.3	4.7	EIK	70	良好	灰白	肥前系 内外面刷毛目釉(渦巻状) No.200・315	



番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
92	陶器	碗	(11.8)	6.3	4.6	DHIK	30	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面鉄釉 畳付糸切痕遺存 No. 367	92-9
93	陶器	碗	(11.0)	6.4	(4.4)	DEIK	75	良好	灰	瀬戸美濃系 内外面漆黒鉄釉 No. 468	92-10
94	陶器	碗	(11.1)	[6.3]	—	HIK	30	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面鉄釉 (被熱・発砲)	
95	陶器	碗	9.6	6.7	5.3	K	80	良好	灰白	京都信楽系 内外面施釉 被熱 No. 261	92-11
96	陶器	碗	11.5	7.7	5.2	HIK	90	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面鉄釉 (尾呂釉) No. 214・224	92-12
97	陶器	碗	(11.0)	[3.7]	—	HIK	5	良好	灰黄	瀬戸美濃系 内外面施釉 (尾呂釉) No. 77	
98	陶器	碗	—	[2.5]	—	EHK	5	良好	浅黄	瀬戸美濃系 内面灰釉 外面灰釉・鉄釉上下掛け分け 外面長石釉散らし・凹み1あり	
99	陶器	碗	(9.8)	6.4	(4.6)	K	20	良好	灰白	瀬戸美濃系 内面灰釉 外面灰釉・鉄釉斑状上下掛け分け 外面凹み1あり 被熱(弱)	
100	陶器	碗	(10.4)	6.3	5.0	K	25	良好	灰白	瀬戸美濃系 内面灰釉 外面灰釉・鉄釉上下掛け分け	
101	陶器	碗	10.1	6.9	4.6	K	70	良好	灰白	瀬戸美濃系 内面灰釉 外面灰釉・鉄釉上下掛け分け 体部凹み1遺存 No. 140	92-13
102	陶器	碗	(10.5)	6.7	4.4	IK	60	良好	灰白	瀬戸美濃系 内面灰釉 外面灰釉・鉄釉上下掛け分け 体部凹み2あり No. 491	
103	陶器	碗	(9.9)	6.4	4.9	IK	45	良好	灰白	瀬戸美濃系 内面灰釉 外面灰釉・鉄釉上下掛け分け	
104	陶器	碗	(9.6)	6.8	4.4	K	40	普通	灰白	瀬戸美濃系 外面上位・内面灰釉 外面下位鉄釉 体部凹み1あり No. 31	92-14
105	陶器	碗	10.3	6.4	5.1	K	75	良好	灰白	瀬戸美濃系 外面上位・内面灰釉 外面下位灰釉 体部凹み2箇所 高台内刻印 No. 42 SK531と接合	92-15 113-2
106	陶器	碗	—	[1.3]	5.1	K	5	良好	灰白	瀬戸美濃系 内面灰釉 外面鉄釉 高台内刻印「清」	113-3
107	陶器	碗	(8.5)	4.8	(4.2)	EK	50	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面尾呂釉 No. 272	
108	陶器	坏	(8.2)	3.6	3.8	EK	40	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面鉄釉 No. 149	
109	陶器	皿	11.3	3.1	3.9	IK	75	良好	灰白	肥前系 青緑釉 見込み蛇ノ目釉剥ぎ No. 260	93-1
110	陶器	皿	(11.9)	3.2	3.9	K	30	普通	灰白	肥前系 青緑釉 見込み蛇ノ目釉剥ぎ SK403と接合	
111	陶器	皿	(12.0)	3.3	(4.4)	IK	30	良好	灰白	肥前系 青緑釉 見込み蛇ノ目釉剥ぎ	
112	陶器	皿	(11.4)	3.1	(4.4)	IK	50	良好	灰白	肥前系 青緑釉 見込み蛇ノ目釉剥ぎ No. 465	
113	陶器	皿	(12.7)	3.6	4.6	HK	40	良好	灰白	肥前系 青緑釉 見込み蛇ノ目釉剥ぎ No. 309 SK531と接合	
114	陶器	皿	(12.8)	3.1	4.4	K	55	良好	灰白	肥前系 青緑釉 見込み蛇ノ目釉剥ぎ・直重焼痕 被熱 No. 115	
115	陶器	皿	11.6	3.3	4.5	K	70	良好	灰白	肥前系 青緑釉 見込み蛇ノ目釉剥ぎ 被熱 煤付着 No. 218	93-2
116	陶器	皿	12.0	3.0	3.8	IK	70	良好	明褐灰	肥前系 青緑釉 見込み蛇ノ目釉剥ぎ	
117	陶器	皿	11.9	3.0	3.8	K	45	普通	明褐灰	肥前系 青緑釉 見込み蛇ノ目釉剥ぎ SK369と接合	
118	陶器	皿	11.8	3.5	4.2	K	80	普通	灰白	肥前系 青緑釉 見込み蛇ノ目釉剥ぎ 被熱 煤付着 No. 312	93-3
119	陶器	皿	(14.5)	3.3	(8.9)	EIK	25	普通	黄灰	瀬戸美濃系 内外面灰釉 内面目跡1遺存 No. 97	
120	陶器	皿	(13.6)	2.8	6.8	IK	70	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 内面目跡3 外面・口縁部 タール状物質付着(全面) No. 392	93-4
121	陶器	皿	12.0	03.0	5.4	EIK	85	良好	灰黄	瀬戸美濃系 内外面灰釉・輪状重焼痕(内径5.1cm・外面径8.0cm) No. 351	93-5
122	陶器	皿	13.2	2.9	6.1	EIK	65	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 内面輪状重焼痕(径5.1cm) 高台畳付灰釉付着 No. 447	
123	陶器	皿	12.5	2.9	5.9	EIK	60	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 内面輪状重焼痕(径6.2cm) 外面破損後煤付着 高台畳付灰釉付着	
124	陶器	皿	(12.7)	2.8	6.0	HIK	30	良好	淡黄	瀬戸美濃系 内外面灰釉 内面輪状重焼痕(径6.2cm) 高台畳付灰釉付着 No. 428	
125	陶器	皿	12.6	3.1	6.7	EIK	90	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 内面陰刻文 被熱 煤付着 No. 365	93-6
126	陶器	皿	(11.8)	2.5	(6.4)	EIK	30	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 内面陰刻文・蛇ノ目状に釉拭き取り・輪状重焼痕 No. 495	
127	陶器	皿	12.6	3.2	7.2	DEIK	60	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 内面目跡3・布目痕遺存 No. 335	93-7
128	陶器	皿	13.0	3.3	7.9	EIK	50	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 内面緑釉流しがけ 被熱(弱) No. 35	93-8
129	陶器	皿	(12.2)	3.4	6.8	EIK	75	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 内面輪状に釉拭き取り 被熱 No. 404	
130	陶器	皿	(12.1)	2.7	(6.6)	IK	30	普通	黄灰	瀬戸美濃系 内外面灰釉 内面輪状に釉拭き取り 内面陰刻文 被熱(黒化)	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
131	陶器	皿	—	[1.6]	10.5	EK	15	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 内面鉄絵・ハリ支跡3あり 円盤状製品転用カ No.196・201	93-9
132	陶器	皿	12.7	2.4	6.4	IK	70	普通	灰白	内外面灰釉 内面摺絵(鉄絵)・ピン痕3あり 高台 内目跡3あり 被熱(弱) No.81	
133	陶器	皿	(10.3)	2.0	(5.7)	EK	45	良好	黒褐	瀬戸美濃系 内外面長石釉 被熱(強・黒化) 口縁部 煤付着	
134	陶器	灯明皿	11.4	2.7	6.1	DHIK	95	普通	にぶい黄橙	瀬戸美濃系 内外面施釉(一部うのふ釉気味) 口縁 部手捻り把手 No.231	93-10
135	陶器	灯明皿	(10.4)	2.2	(5.0)	EIK	45	良好	灰褐	志戸呂系 内外面錆釉 口縁部煤付着 底部糸切痕わ ずかに遺存 No.22	
136	陶器	灯明皿	6.5	2.2	3.2	EIK	80	良好	浅黄橙	内外面鉄釉	
137	陶器	灯明皿	(10.8)	2.3	5.4	HIK	55	良好	にぶい褐	志戸呂系 内外面錆釉 透かし3箇所 内面煤付着	
138	陶器	灯明皿	11.7	2.8	5.1	EIK	75	良好	灰褐	志戸呂系 内外面錆釉 透かし3箇所 被熱(弱)	94-1
139	土師質土器	灯明皿	12.0	3.4	6.7	A	95	普通	黒	江戸在地系 底部糸切痕(左) 透かし1あり 雲母付 着 被熱・全面煤付着 No.302	94-2
140	陶器	灯火具	(15.7)	7.8	9.0	EI	70	良好	褐灰	内外面鉄釉 漆黒鉄釉流しがけ 被熱・煤付着・胎土 黒化 No.178	
141	陶器	鉢	—	[5.0]	6.4	K	20	普通	灰白	肥前系 外面施釉 内面青緑釉・飴釉掛け分け・見込 み蛇ノ目釉剥ぎ No.444	
142	陶器	鉢	—	[6.4]	12.4	DIK	30	良好	にぶい赤褐	肥前系 内面施釉・白土象眼 外面・高台内刷毛塗状 施釉 外面灰釉流し掛け 内面目跡7あり No.268	
143	陶器	鉢	(29.4)	7.6	—	EIK	10	良好	浅黄橙	瀬戸美濃系 内外面灰釉・緑釉流しがけ 内面櫛描き No.49	
144	陶器	鉢	27.3	8.4	14.7	K	95	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 内面緑釉流し掛け・鉄絵・ 目跡9・重焼痕5 外面重焼痕1 No.230・328	94-3
145	陶器	片口鉢	22.6	11.1	10.2	DEHK	30	良好	赤	肥前系 内面刷毛目釉 外面鉄・白釉 高台内釉拭き 取り No.204	94-4
146	陶器	片口鉢	(22.0)	10.3	(10.2)	EHI	40	普通	にぶい赤褐	肥前系 内面刷毛目釉 外面下位鉄釉・上位白土施釉 畳付高台内露胎 No.264	
147	陶器	片口鉢	(16.0)	[11.2]	9.3	EHIK	75	良好	浅黄橙	瀬戸美濃系 内外面鉄釉(釉ムラあり) 内面目跡3 あり No.243	94-5
148	陶器	片口鉢	(18.3)	11.2	9.5	EHIK	50	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面鉄釉 内面目跡3あり 口縁部敲 打痕(釉剥落) 被熱・煤付着	
149	陶器	德利	—	[22.9]	(12.4)	EIK	35	良好	灰	備前系 胎土炆器質 外面下端部刻印「▽」接点のな い2片から復元 胎土中心赤褐 No.330	104-3 113-4
150	陶器	德利	—	[5.5]	(12.4)	EIK	50	普通	にぶい黄橙	備前系 胎土炆器質 底部圧痕 被熱・煤付着 No.376	
151	陶器	德利	3.5	[25.0]	12.0	EIK	50	良好	にぶい橙	志戸呂系 外面錆釉 底部煤付着 接点のない2片か ら復元 No.45・50	
152	陶器	德利	—	[12.7]	—	EIK	15	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面柿釉 外面上位黒釉流し掛け 接 点のない2片から復元 No.347・348	
153	陶器	德利	(2.0)	[5.0]	—	I	5	良好	灰赤	備前系 外面塗土 胎土炆器	
154	陶器	德利カ	—	[9.3]	6.3	HIK	40	良好	にぶい橙	志戸呂系カ 外面鉄釉(飴釉) 高台内チヂレ状のケ ズリ No.314	94-6
155	陶器	油德利	—	[2.1]	7.0	EIK	5	普通	灰黄	瀬戸美濃系 外面柿釉(底部釉拭き取り) No.310	
156	陶器	茶入れ	—	[4.9]	—	IK	5	良好	にぶい黄橙	志戸呂系 外面鉄釉	
157	陶器	蓋	—	[1.1]	9.1	DEIK	55	良好	灰白	瀬戸美濃系 上面灰釉 下面露胎 No.476	
158	陶器	手焙り	—	[6.5]	—	IK	5	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面尾呂釉	
159	陶器	德利	—	[2.3]	2.4	K	10	普通	灰白	備前系 外面塗土 底部糸切痕(右) 胎土炆器質 体部凹み1あり	
160	陶器	甕	—	[8.1]	(13.0)	DE- GHI	5	普通	褐灰	常滑焼 底部砂付着 13～15 c	
161	陶器	甕	—	[6.3]	—	DEIK	5	良好	灰白	常滑焼 肩部 外面自然釉剥落	
162	陶器	壺甕類カ	—	[6.2]	(15.0)	EIK	5	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面鉄釉(底部釉拭き取り) 内外面 重焼痕	
163	陶器	有耳壺	(9.0)	[15.5]	11.8	EIK	45	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面鉄釉 底部釉拭き取り 被熱 耳欠 失 No.38	
164	陶器	有耳壺	(13.0)	[16.8]	—	EIK	40	普通	浅黄橙	瀬戸美濃系 外面鉄釉 口縁端部重焼痕 No.141	
165	陶器	香炉	(12.0)	[6.5]	(8.6)	EK	40	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面鉄釉 口縁部敲打痕 被熱・煤付 着 No.471	
166	陶器	香炉	(12.2)	7.3	(9.8)	HIK	45	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 外面一部緑釉流しがけ 内 面目跡2遺存 露胎部煤付着 No.366	94-8

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
167	陶器	香炉	(10.7)	6.5	(7.8)	IK	45	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面鉄釉(褐釉) 内底面跡2遺存 内側面跡1遺存 口縁部敲打痕 No.265	
168	陶器	香炉	(12.9)	6.9	(10.4)	DIK	45	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面褐釉 内面跡2遺存 外面下位重焼痕 口縁部敲打痕 露胎部煤付着 No.287	
169	陶器	香炉	10.9	7.3	8.5	K	95	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面褐釉 体部半菊花状しのぎ3箇所 口縁部敲打痕・摩耗 内面灰状付着物 被熱(釉変色) No.341	94-9
170	陶器	香炉	10.7	7.1	8.4	I	50	普通	淡黄	瀬戸美濃系 内外面褐釉 外面半菊花状しのぎ2箇所 遺存 内面跡2遺存 被熱 露胎部煤付着 口縁部敲打痕 内面上位重焼痕	94-7
171	陶器	香炉	(13.8)	[7.3]	(13.8)	EIK	30	普通	灰黄	瀬戸美濃系 内外面鉄釉 内底面輪状重焼痕 口縁部敲打痕・摩耗 被熱・煤付着 No.382	
172	陶器	播鉢	—	[4.0]	—	EHIK	5	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面柿釉 No.100	
173	陶器	播鉢	(29.5)	12.9	(12.0)	DEHIK	40	普通	浅黄橙	瀬戸美濃系 底部糸切痕(右) 内面播目17条/単位 内外面鉄釉(体部下半部・底部釉拭き取り) 欠失部 摩耗 No.164・357	
174	陶器	播鉢	(35.8)	15.4	(15.0)	DEIK	45	普通	灰白	瀬戸美濃系 底部糸切痕(右) 内面播目17条/単位 内外面柿釉 No.172・285	
175	陶器	播鉢	34.2	14.0	17.5	DEIKL	80	良好	灰白	丹波系 内面播目10条/単位 内面下位著しく摩耗 No.374	94-10
176	陶器	播鉢	(37.4)	15.2	21.4	DEHKL	40	普通	灰白	丹波系 口縁部塗土 内面播目8条/単位 底部二次穿孔 No.123	
177	陶器	播鉢	(35.1)	13.1	14.6	DEI	40	普通	黄灰	丹波系 内面播目6条/単位 口縁部施釉 内面下位直重焼痕 被熱(一部黒化) No.219	104-5
178	陶器	播鉢	(36.6)	12.8	(14.4)	DEIKM	20	普通	灰白	丹波系 内面播目8条/単位 体部指頭痕 外面下位重焼痕 被熱・煤付着 No.305・313・342	
179	陶器	播鉢	—	[14.0]	(17.0)	DEIKM	20	良好	赤橙	堺明石系 内面播目10条/単位 底部ヘラナデ・輪状圧痕 被熱	
180	瓦質土器	火鉢	29.6	11.9	26.5	CEIK	70	普通	灰白	底部シワ状痕(一部摩耗) 体部ミガキ・下位シワ状痕 燻す 脚欠失2 口縁部敲打痕 胎土中心灰色 No.381・385・394・402・406	104-4
181	瓦質土器	火鉢	(23.0)	14.4	(20.0)	HIKM	50	普通	にぶい黄橙	底部シワ状痕 胎土粉質 やや酸化焙焼成 脚部欠失3 外面摩耗著しい 口縁部敲打痕 No.36・203・208・211・213・237	
182	瓦質土器	火鉢	(32.6)	[10.4]	—	AIK	25	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 外面ミガキ 燻す 被熱(外面剥落) 内面下位指頭痕 No.20・21・481	
183	瓦質土器	火鉢	—	8.9	—	ACIK	5	普通	灰白	底部シワ状痕 外面・口縁部上端ミガキ 燻す No.105・234	
184	瓦質土器	火鉢	—	[8.4]	—	ACIK	5	普通	灰白	外面・口縁部上端ミガキ 燻す No.395	
185	瓦質土器	火鉢	—	11.1	—	AHIKM	60	普通	灰黄	脚欠失1 被熱(ほぼ全面剥落) やや酸化焙焼成 胎土中心黄灰 No.336	
186	土師質土器	火鉢	(24.1)	9.9	(27.8)	AHIK	20	普通	にぶい橙	江戸在地系 底部ヘラナデ 胎土粉質 脚欠失4	
187	土師質土器	瓦燈	10.1	24.0	20.8	AHIK	90	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 体部ミガキ遺存・摩耗 内面上位指頭痕・下位ヘラナデ	
188	土師質土器	焙烙	—	[4.5]	—	AHIK	5	普通	灰白	江戸在地系 胎土粉質 底部シワ状痕 体部下位ケズリ	
189	瓦質土器	焙烙	36.0	5.4	33.4	CIK	90	普通	灰白	底部シワ状痕 体部下位シワ状痕を弱くナデ消し 被熱(黒化・歪む) No.291 SK531 と接合	94-12
190	瓦質土器	焙烙	37.6	5.5	34.3	CIK	70	普通	灰白	底部～体部下位シワ状痕 内底面～内面下位被熱(黒化) 補修痕1対あり No.144・146・167・259	95-1
191	瓦質土器	焙烙	37.2	5.6	33.0	IK	80	普通	灰白	底部・体部中位シワ状痕 体部下位ケズリ 燻す No.79・235・267	95-2
192	瓦質土器	焙烙	35.7	5.6	33.0	CIK	70	普通	灰白	底部～体部下位シワ状痕 体部下位弱いケズリ 燻す 補修痕(二次穿孔6・銅線3) 遺存 内耳欠失部摩耗 No.255	95-3
193	瓦質土器	焙烙	37.4	5.5	33.0	CIK	70	普通	灰白	砂目痕 体部下位ケズリ・シワ状痕をナデ消し 被熱(黒化) 内面煤付着 No.258	95-4
194	瓦質土器	焙烙	37.0	5.6	35.0	IK	50	普通	灰白	底部シワ状痕 No.111・112・113・228・258・362	95-5
195	瓦質土器	焙烙	36.9	5.2	33.6	CIK	30	普通	灰白	底部シワ状痕 体部下位シワ状痕をナデ消し 被熱(黒化) No.130・131・132・234	96-1
196	瓦質土器	焙烙	36.6	5.7	33.4	CI	70	普通	灰白	砂目底 体部下位ケズリ(ミガキ状光沢) 燻す 外面煤付着 No.450	96-2
197	瓦質土器	焙烙	(36.8)	5.3	(32.0)	IK	20	普通	灰白	底部シワ状痕・圧痕 体部下位ケズリ 被熱・煤付着 燻す No.142・259	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
198	瓦質土器	焙烙	(36.0)	5.2	(33.0)	CIK	30	普通	灰白	底部シワ状痕 体部下端シワ状痕 体部中位弱いケズリ 内底面ミガキ状光沢 被熱・煤付着 燻す No.227	96-3
199	瓦質土器	焙烙	35.9	5.4	33.2	CIK	40	普通	灰白	底部シワ状痕 体部下位弱いケズリ 燻す 内底面ミガキ状光沢 被熱 No.355・373	96-4
200	瓦質土器	焙烙	(33.4)	4.6	(31.8)	CIK	35	普通	灰白	底部シワ状痕・圧痕 体部下位弱いケズリ 指頭圧痕・シワ状痕 燻す No.192・193・221・270	96-5
201	瓦質土器	焙烙	(34.8)	5.9	(32.8)	IK	20	普通	灰白	底部シワ状痕・摩耗 体部下位シワ状痕 燻す No.375・378・383・388	
202	瓦質土器	焙烙	(35.6)	5.2	(34.2)	CHK	15	普通	灰白	底部シワ状痕 体部下位ケズリ 燻す 被熱 No.70	
203	瓦質土器	焙烙	(37.8)	5.4	(34.0)	CIK	20	普通	灰白	底部シワ状痕 体部下位ケズリ 内面・口唇部ミガキ 燻す No.322	
204	瓦質土器	焙烙	—	5.4	—	CIK	5	普通	灰白	底部シワ状痕・圧痕 体部下位ケズリ 内底面・内面下位被熱(黒化・光沢) No.74	
205	瓦質土器	焙烙	—	5.4	—	CEI	5	普通	灰白	底部～外面下位シワ状痕 燻す	
206	瓦質土器	焙烙	—	5.2	—	CHIK	5	普通	灰白	底部シワ状痕 体部中・下位強いケズリ・上端部ナデ 燻す 内面ミガキ 内底面被熱(黒化) 207は同一個体 No.80	
207	瓦質土器	焙烙	—	5.5	—	CHIK	5	普通	灰白	底部シワ状痕 体部中・下位強いケズリ・上端部ナデ 内面ミガキ 内底面被熱(黒化) 206と同一個体 No.76	
208	土師質土器	焙烙	37.2	4.9	31.4	AEIK	50	普通	にぶい黄褐	底部板状圧痕をナデ消し 内底面ランダムなナデ 外面黒化 No.46・170・174・177・178・180・181・184	97-1
209	土師質土器	焙烙	37.5	5.2	31.1	AE-HIK	50	普通	にぶい橙	外面・内底面黒化 No.137・234	97-2
210	土師質土器	焙烙	37.8	4.5	31.1	AEIK	40	普通	にぶい赤褐	外面下位指頭痕 接点のない2片から復元 No.220	97-3
211	土師質土器	焙烙	—	5.0	—	AD-EHIK	20	普通	明褐	底部板状圧痕 体部上位煤付着 内底面円周状のナデ・中央ランダムなナデ No.163・258・266	97-4
212	土師質土器	焙烙	(39.2)	4.8	(33.0)	DEIK	25	普通	にぶい橙	内底面円周状のナデ・被熱(黒化) 体部下位弱い指頭痕 No.206・234	
213	土師質土器	甕	—	[7.1]	(22.8)	A	10	普通	にぶい橙	常陸系 底部痕 214と同一個体 SK497上層・焼土層下・SK403・F7-C7と接合	
214	土師質土器	甕	(30.8)	[12.7]	—	A	10	普通	にぶい橙	常陸系 No.288	
215	施釉土器	乗燭	—	[3.2]	—	I	5	普通	橙	黒釉 乗燭の芯立	97-5
216	施釉土器	乗燭カ	—	0.9	(5.6)	K	5	普通	明褐	底部糸切痕 内外面黒釉(釉剥落)	97-6
217	施釉土器	乗燭	(6.2)	[2.9]	—	EIK	5	普通	にぶい橙	内外面鉄釉(釉剥落)	94-11
218	土師質土器	灯明皿	11.8	2.8	5.8	AIK	90	普通	明黄褐	胎土粉質 被熱・全面煤付着 剥落著しい 透かし1あり No.363	
219	かわらけ	小皿	(5.8)	1.2	3.6	AHIK	70	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 被熱(強)・煤付着 焼土層No.32	98-1
220	かわらけ	小皿	(5.8)	1.2	(3.8)	FHIK	60	良好	にぶい黄橙	江戸在地系 底部糸切痕(摩耗) 胎土粉質	98-2
221	かわらけ	小皿	6.0	1.1	3.7	AHIK	80	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質	98-3
222	かわらけ	小皿	6.5	1.4	3.1	AIK	75	普通	灰黄褐	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 被熱(黒化) No.482	98-4
223	かわらけ	小皿	6.3	1.4	3.3	AIKM	90	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 被熱(黒化) 口唇部煤付着 No.190	98-5
224	かわらけ	小皿	6.2	1.4	2.8	AHIK	65	普通	灰白	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 口縁部ゆがむ	98-6
225	かわらけ	小皿	(6.3)	1.3	(3.6)	AHIK	40	普通	灰白	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質	
226	かわらけ	小皿	6.3	1.3	3.4	AHIKM	45	普通	橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質	
227	かわらけ	小皿	6.9	1.3	3.8	AHIK	65	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 口唇部一部黒化	98-7
228	かわらけ	小皿	(8.1)	1.7	(4.2)	AHIK	30	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質	
229	かわらけ	小皿	8.2	1.6	4.3	AHIK	90	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 口唇部ヘラナデ2箇所 胎土粉質 口唇部一部黒化	98-9
230	かわらけ	小皿	8.0	1.6	4.6	AHIKM	80	良好	にぶい黄橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 口唇部ヘラナデ2箇所 No.143	99-1
231	かわらけ	小皿	8.6	1.8	4.5	ACHIK	80	普通	灰黄褐	江戸在地系 底部糸切後ナデ消し 内底面指頭痕 胎土粉質 被熱(黒化)	99-2
232	かわらけ	小皿	8.2	1.7	4.4	AIK	65	普通	橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 一部ナデ消し 内面中央ナデ凹ます 内面被熱(弱く黒化) No.64	99-9
233	かわらけ	小皿	(8.3)	1.6	(4.6)	AIK	45	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 底部全面ナデ調整 胎土粉質 内面中央指頭痕 被熱(外面黒化)	99-6



番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
234	かわらけ	小皿	(8.8)	1.8	(4.8)	AIKM	35	良好	にぶい黄橙	江戸在地系 底部糸切痕・板状圧痕をナデ消し 内面中央ナデ凹ます 胎土粉質 No.185	100-3
235	かわらけ	小皿	8.4	1.6	4.6	AHIK	80	普通	にぶい橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 No.299	98-8
236	かわらけ	小皿	(8.6)	1.5	(4.6)	AHIK	40	良好	にぶい橙	江戸在地系 底部糸切痕 胎土粉質 No.294	
237	かわらけ	小皿	(8.6)	1.7	5.0	AHIK	70	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 被熱(黒化)	99-7
238	かわらけ	小皿	(8.2)	1.5	4.3	AHIK	50	普通	にぶい橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質	
239	かわらけ	小皿	8.8	1.8	4.8	AHK	70	良好	にぶい橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 被熱(一部黒化) No.121	99-8
240	かわらけ	小皿	8.5	1.8	4.5	AHIK	55	良好	褐灰	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 被熱(一部弱く黒化)	100-1
241	かわらけ	小皿	8.8	1.8	4.4	AIKM	70	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 被熱(一部黒化)	100-2
242	かわらけ	小皿	(7.8)	1.6	4.7	AHIKM	50	普通	にぶい橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質	
243	かわらけ	小皿	(8.4)	1.7	4.5	AHK	60	普通	灰白	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 No.210・212	
244	かわらけ	小皿	(8.1)	1.6	(4.4)	A	40	良好	にぶい橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 口縁一部煤付着	
245	かわらけ	小皿	(8.3)	1.7	(4.6)	AHIK	25	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 底部ヘラナデ 胎土粉質 No.122	
246	かわらけ	小皿	(8.2)	2.0	(4.0)	AK	35	良好	にぶい黄橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 内外面黒化	
247	かわらけ	小皿	8.0	1.4	4.4	AHKL	90	普通	にぶい橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 内面黒化 No.320	99-3
248	かわらけ	小皿	8.1	1.5	4.5	AHIK	65	普通	にぶい橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質	99-4
249	かわらけ	小皿	(8.1)	1.6	4.4	AHKM	65	良好	にぶい橙	江戸在地系 底部糸切痕	99-5
250	かわらけ	小皿	10.6	2.1	5.6	AHK	80	良好	灰白	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 No.280	100-7
251	かわらけ	小皿	10.5	2.1	5.2	AHIKM	75	普通	にぶい橙	江戸在地系 底部離し糸切痕(右) 胎土粉質 No.281	100-8
252	かわらけ	小皿	10.5	1.8	5.9	AHIK	55	普通	にぶい橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) をナデ消しカ 口唇部ヘラナデ 胎土粉質 No.186	101-5
253	かわらけ	小皿	10.3	2.2	(5.7)	AHIK	70	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 胎土粉質 底部砥具転用 底部・体部二次穿孔3遺存	102-8
254	かわらけ	小皿	10.7	2.0	6.2	AHIK	40	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 No.58	102-3
255	かわらけ	小皿	(9.8)	2.1	5.6	AHIK	30	普通	にぶい橙	江戸在地系 底部糸切痕遺存 胎土粉質 底部・体部下位二次利用	
256	かわらけ	小皿	10.5	2.2	5.8	AHIK	80	良好	にぶい橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 内底面渦巻状ナデ No.59	100-5
257	かわらけ	小皿	10.4	2.2	5.3	AIK	100	普通	浅黄橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 No.338	100-4
258	かわらけ	小皿	(10.8)	2.1	5.2	AK	65	普通	灰白	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 No.145	100-6
259	かわらけ	小皿	10.5	2.0	4.8	AHIK	60	普通	にぶい橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 No.48	100-9
260	かわらけ	小皿	10.8	2.4	5.2	AHKM	70	良好	にぶい橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質	101-1
261	かわらけ	小皿	10.6	2.3	5.3	AHIK	75	普通	にぶい褐	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質	101-2
262	かわらけ	小皿	(10.8)	2.0	5.4	AIK	60	普通	にぶい橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質	101-3
263	かわらけ	小皿	10.6	2.1	5.4	AK	70	良好	にぶい橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 被熱 No.63・64	101-4
264	かわらけ	小皿	(10.4)	2.4	5.7	AEHIK	50	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質	
265	かわらけ	小皿	9.8	1.9	5.0	AHIK	75	普通	にぶい橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質	
266	かわらけ	小皿	(9.4)	2.2	(5.2)	AHIK	50	良好	にぶい橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 内面・底部摩耗	
267	かわらけ	小皿	10.4	2.1	5.3	AHK	90	普通	橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 No.284	101-7
268	かわらけ	小皿	10.9	2.3	6.1	AHIK	85	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 被熱(一部黒化)	101-8
269	かわらけ	小皿	(10.6)	2.4	5.0	AHIK	55	普通	浅黄橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質	101-9
270	かわらけ	小皿	10.6	2.2	5.7	AHK	70	良好	にぶい黄橙	江戸在地系 底部糸切痕(左)・摩耗 胎土粉質	102-1
271	かわらけ	小皿	(10.6)	2.0	4.8	AHIK	60	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質	102-2
272	かわらけ	小皿	(11.0)	2.1	5.4	AHIK	50	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 摩耗	102-4
273	かわらけ	小皿	(10.8)	1.8	(6.0)	AHK	30	普通	橙	江戸在地系 底部糸切痕 胎土粉質	
274	かわらけ	小皿	10.7	2.2	5.5	AHIKM	85	普通	灰黄褐	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 被熱(外面一部黒化) No.364	102-7
275	かわらけ	小皿	11.0	2.1	6.0	AIK	35	普通	暗灰黄	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 被熱	



番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
276	かわらけ	小皿	10.2	2.0	5.8	AHK	70	普通	にぶい橙	江戸在地系 底部糸切痕・砥具転用・二次穿孔1 胎土粉質	103-1
277	かわらけ	小皿	(10.6)	2.0	(5.8)	AHIKM	25	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 底部糸切痕 口唇部ヘラナゲ 胎土粉質	102-5
278	かわらけ	小皿	(10.6)	2.3	(6.6)	IK	20	普通	灰黄褐	江戸在地系 底部糸切痕 胎土粉質 内面黒化	
279	かわらけ	小皿	(11.2)	2.2	(6.8)	AHIK	30	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 底部糸切痕 胎土粉質	
280	かわらけ	小皿	(11.3)	2.0	(6.6)	AHIK	30	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 底部糸切痕 胎土粉質	
281	かわらけ	小皿	(10.5)	2.0	(5.4)	AHIK	10	普通	にぶい橙	江戸在地系 底部糸切痕 胎土粉質 摩耗	
282	かわらけ	小皿	(10.6)	2.0	(6.2)	AHK	40	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 被熱(一部黒化)	
283	かわらけ	小皿	(9.0)	1.6	(5.6)	AHIK	20	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 底部糸切痕 胎土粉質	
284	かわらけ	小皿	11.1	2.2	5.8	AHIK	80	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 内面内曇 りカ No.55	102-6
285	かわらけ	小皿	10.8	2.2	6.1	AHK	80	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 底部糸切痕(左)・砥具転用・穿孔1 胎土粉質 No.202・222	102-9
286	かわらけ	小皿	11.0	2.2	6.8	AK	35	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 底部糸切痕 胎土粉質 被熱(内面黒化)	
287	かわらけ	小皿	(10.6)	2.0	(5.2)	AHIK	10	普通	にぶい橙	江戸在地系 底部糸切痕 胎土粉質	
288	かわらけ	小皿	(9.5)	1.9	—	AK	30	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 底部糸切痕遺存 胎土粉質 被熱(全面剥落)	
289	かわらけ	小皿	(10.5)	2.1	(5.6)	IK	10	普通	黄灰	被熱(全面黒化・剥落)・煤付着 No.33	
290	かわらけ	小皿	—	[0.4]	—	AHIK	5	普通	にぶい黄橙	底部二次穿孔2 全面摩耗	
291	かわらけ	小皿	8.8	2.0	5.5	CHIK	90	普通	灰白	底部糸切痕(左) 胎土砂質 被熱 No.417	103-2
292	かわらけ	小皿	(9.0)	2.0	6.6	CIK	70	普通	にぶい黄橙	底部糸切痕(左) 胎土砂質 No.323	103-4
293	かわらけ	小皿	8.6	1.9	6.8	CHIK	70	普通	にぶい橙	底部糸切痕(左) 胎土砂質 器物歪む No.325	103-3
294	かわらけ	小皿	(9.4)	1.4	(6.4)	CHIK	70	普通	浅黄橙	底部糸切痕(左) 胎土砂質 No.324	103-8
295	かわらけ	小皿	8.6	1.6	5.5	CHIK	85	普通	にぶい橙	底部糸切痕(左) 胎土砂質	103-7
296	かわらけ	小皿	(8.4)	1.9	(5.4)	CHIK	70	普通	橙	底部糸切痕(左)・穿孔1 胎土砂質	103-9
297	かわらけ	小皿	(8.2)	1.8	(5.6)	CHIK	35	普通	にぶい黄橙	底部糸切痕・二次穿孔2 胎土砂質 被熱(外面黒化)	
298	かわらけ	小皿	(8.4)	1.5	(5.6)	CHI	30	普通	橙	底部糸切痕 胎土砂質	103-6
299	かわらけ	小皿	5.8	2.0	5.8	CHIK	100	普通	にぶい黄橙	底部糸切痕(左) 胎土砂質 被熱(黒化・剥落) No.293	103-5
300	かわらけ	小皿	(8.4)	2.0	(5.2)	IK	10	普通	にぶい黄橙	底部糸切痕 胎土砂質	104-1
301	かわらけ	小皿	(9.2)	1.8	(6.2)	CHIK	20	普通	浅黄橙	底部糸切痕 胎土砂質 被熱(一部黒化)	
302	かわらけ	小皿	(9.4)	1.9	(6.8)	CIK	10	普通	浅黄橙	底部糸切痕 胎土砂質 被熱・煤付着	
303	土器	埴塼	(4.2)	[2.8]	—	EIK	20	普通	灰白	胎土小礫含む 内外面ガラス化 重さ5.0 g	116-10
304	土器	埴塼	—	[1.7]	—	EIK	20	普通	灰白	外面ガラス化 重さ6.1 g	116-10
305	陶器	土錘	—	5.2	—	EIK	20	普通	灰	常滑系 重さ16.1 g	
306	陶器	土錘	—	[4.0]	—	EIK	10	普通	灰	常滑系 横[3.2 cm] 重さ13.1 g	
307	埴輪	円筒埴輪	—	[4.3]	—	CEHI	5	普通	明赤褐	外面タテハケ 内面ナナメハケ 突帯に掌紋圧痕 重さ50.4 g	
308	磁器	碗	—	[1.9]	3.9	—	—	普通	白	肥前系 内外面施釉 外面染付 円盤状製品転用(底 部) 縦4.1 cm 横4.2 cm No.95	
309	磁器	碗	—	[1.6]	4.1	—	—	普通	白	肥前系 内外面施釉 外面染付 円盤状製品転用(底 部) 縦4.9 cm 横5.4 cm	
310	磁器	碗	—	[1.3]	—	—	—	普通	白	肥前系 内外面施釉 外面染付 円盤状製品転用(底 部) 黒色付着物 縦[3.0] cm 横5.7 cm	
311	磁器	徳利カ	—	[1.3]	(4.4)	—	—	普通	白	肥前系 外面施釉 円盤状製品転用(底部) 縦[2.0] cm 横4.7 cm	
312	磁器	香炉	—	[1.2]	4.1	—	—	普通	白	肥前系 外面青磁釉 円盤状製品転用(底部) 縦7.0 cm 横7.1 cm No.306	
313	磁器	皿	縦2.2	横2.5	—	—	—	普通	白	肥前系 内外面施釉 内面染付 円盤状製品転用(口 縁部)	
314	陶器	碗	—	[1.9]	4.5	—	—	普通	灰白	肥前系 内外面施釉 円盤状製品転用(底部) 縦4.9 cm 横5.1 cm No.263	
315	陶器	碗	—	[2.0]	4.2	K	—	普通	灰白	肥前系 内外面施釉 円盤状製品転用(底部) 縦5.0 cm 横5.0 cm	
316	陶器	碗	—	[1.5]	—	K	—	普通	灰白	肥前系 内外面施釉 円盤状製品転用(底部) 縦4.6 cm 横2.3 cm	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
317	陶器	碗	—	[1.8]	(4.0)	K	—	普通	灰白	肥前系 内外面刷毛目釉 円盤状製品転用(底部) 縦4.0cm 横3.0cm	
318	陶器	碗	—	[1.5]	—	IK	—	普通	灰白	瀬戸美濃系 外面鉄釉 内面灰釉 円盤状製品転用(底部) 縦5.8cm 横5.5cm	
319	陶器	皿	—	[1.2]	—	K	—	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 円盤状製品転用(底部) 縦3.7cm 横3.6cm	
320	陶器	瓶類カ	縦[3.8] 横[1.9]			K	—	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面施釉 円盤状製品転用(体部)・摩耗	
321	陶器	徳利カ	縦[2.9] 横[2.4]			EK	—	普通	灰白	瀬戸美濃系 外面灰釉 円盤状製品転用カ(体部)	
322	陶器	播鉢	縦[5.0] 横[4.7] 厚さ1.0			EIKM	—	普通	にぶい橙	丹波系 内面播目 円盤状製品転用(底部)	
323	土師質土器	甕カ	縦2.6 横2.7			ADEK	—	普通	褐灰	常陸系 円盤状製品転用(体部)	
324	土師質土器	甕カ	縦3.1 横2.8			AEK	—	普通	褐灰	常陸系 円盤状製品転用(体部) 打欠部摩耗	
325	土製品	羽口	長さ11.2 炉側径2.7 輪側内径2.7 重さ848.2			GI	—	普通	灰白	砂質 指頭圧痕多数	114-2
326	土製品	羽口	長さ12.8 炉側径2.7 輪側内径2.7 重さ755.9			GI	—	不良	明黄褐	砂質 指頭圧痕多数あり 吹先付着滓打ち欠き	114-3
327	土製品	羽口	長さ7.1 炉側径3.0 輪側内径3.0 重さ179.1			I	—	良好	灰黄褐	瓦質 外面整形不明	116-2
328	土製品	羽口	長さ[2.7] 炉側径(2.1) 輪側内径(2.1) 重さ205.7			HI	—	普通	黄褐	土師質 ナデ状調整 椀形滓に羽口が付着したもの	
329	土製品	羽口	長さ3.2 炉側径(2.8) 輪側内径(2.8) 重さ52.6			I	—	普通	灰白	土師質 外面整形不明	
330	土製品	羽口	長さ[3.0] 重さ166.9			I	—	良好	黄褐	瓦質 外面整形不明 椀形滓に羽口が付着したもの	
331	土製品	羽口	長さ11.9 炉側径2.7 輪側内径2.9 重さ659.5			EI	—	普通	明黄褐	やや砂質 ケズリ調整 吹先付着滓打ち欠き No.461	114-4
332	土製品	羽口	長さ19.4 炉側径2.9 輪側内径3.0 重さ644.3			CEI	—	良好	黄灰	瓦質 ナデ状調整(煤付着に平置き痕あり(藁敷き)) No.3・116	114-9
333	土製品	羽口	長さ16.9 炉側径3.0 輪側内径3.0 重さ635.6			I	—	良好	灰黄褐	瓦質 ナデ状調整 No.433	114-5
334	土製品	羽口	長さ19.8 炉側径2.8 輪側内径3.3 重さ740.6			CI	—	良好	灰白	瓦質 ナデ状調整	
335	土製品	羽口	長さ18.3 炉側径3.1 輪側内径3.2 重さ621.2			CEI	—	良好	灰黄褐	瓦質 ナデ状調整(煤付着に平置き痕あり) No.253	114-6
336	土製品	羽口	長さ9.1 炉側径2.9 輪側内径2.9 重さ255.7			I	—	良好	灰白	瓦質 ナデ状調整	
337	土製品	羽口	長さ20.6 炉側径2.8 輪側内径3.0 重さ638.4			EI	—	良好	灰黄	瓦質 ナデ状調整 木口外面側打ち欠き	114-10
338	土製品	羽口	長さ10.3 炉側径2.9 輪側内径3.0 重さ358.1			CI	—	良好	灰白	瓦質 ナデ状調整 No.455	
339	土製品	羽口	長さ17.5 炉側径2.7 輪側内径3.1 重さ603.1			EI	—	良好	褐灰	瓦質 ナデ状調整	114-8
340	土製品	羽口	長さ[20.4] 炉側径2.9 輪側内径2.9 重さ607.3			EI	—	良好	灰白	瓦質 ナデ状調整 下部破損後に吹先を割って逆向きに使用 No.409	
341	土製品	羽口	長さ17.6 炉側径2.7 輪側内径3.1 重さ694.4			I	—	良好	褐灰	瓦質 ナデ状調整 No.412	114-7
342	土製品	羽口	長さ16.6 炉側径3.0 輪側内径3.3 重さ478.4			CI	—	良好	灰白	瓦質 ナデ状調整 No.1	
343	土製品	羽口	長さ18.8 炉側径2.7 輪側内径3.1 重さ694.9			CEI	—	良好	灰白	瓦質 ナデ状調整 No.251	114-11
344	土製品	羽口	長さ17.0 炉側径3.0 輪側内径3.3 重さ607.1			CEI	—	良好	にぶい黄橙	瓦質 ナデ状調整 分割時工具使用痕(煤付着に平置き痕あり) No.152	115-1
345	土製品	羽口	長さ20.7 炉側径2.9 輪側内径3.0 重さ689.7			CEI	—	良好	灰黄	瓦質 ナデ状調整 吹先付着滓打ち欠き	114-12
346	土製品	羽口	長さ19.0 炉側径2.9 輪側内径3.1 重さ669.3			CI	—	良好	灰白	瓦質 ナデ状調整 No.2	
347	土製品	羽口	長さ22.2 炉側径2.9 輪側内径3.2 重さ744.5			CEI	—	良好	にぶい黄橙	瓦質 ナデ状調整 木口外面側打ち欠き 吹先付着滓打ち欠き No.150・161	114-13
348	土製品	羽口	長さ12.8 炉側径2.5 輪側内径3.0 重さ449.8			I	—	良好	灰白	瓦質(立てて乾燥の可能性あり) No.301	
349	土製品	羽口	長さ24.3 炉側径2.8 輪側内径3.2 重さ757.8			I	—	良好	灰白	瓦質 ナデ状調整 木口外面側打ち欠き No.117	114-14

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
350	土製品	羽口	長さ 7.1 炉側径 2.9 轆側内径 3.0 重さ 231.1			I	—	良好	灰白	瓦質 ナデ状調整 吹先付着滓打ち欠き No. 279	
351	土製品	羽口	長さ 18.5 炉側径 3.3 轆側内径 3.1 重さ 639.9			CI	—	良好	灰白	瓦質 ナデ状調整 No. 446・451	
352	土製品	羽口	長さ 8.8 炉側径 2.8 轆側内径 2.8 重さ 213.4			I	—	良好	灰白	瓦質 ナデ状調整 吹先付着滓打ち欠き	
353	土製品	羽口	長さ 17.9 炉側径 2.8 轆側内径 3.2 重さ 605.3			CEI	—	良好	灰白	瓦質 ナデ状調整 分割時工具使用痕 No. 4	
354	土製品	羽口	長さ 9.6 炉側径 2.7 轆側内径 2.5 重さ 679.5			GI	—	普通	灰白	砂質 指頭圧痕多数 No. 254	115-3
355	土製品	羽口	長さ 22.0 炉側径 2.7 轆側内径 2.7 重さ 1003.4			GI	—	良好	褐灰	やや砂質 ケズリ調整 中央部破断後両側再利用 No. 491	115-2
356	土製品	羽口	長さ 10.2 炉側径 2.7 轆側内径 2.6 重さ 662.0			CGI	—	普通	灰白	砂質 指頭圧痕多数 長軸方向のキズあり（ケガキ痕 から割っている）No. 282	115-5
357	土製品	羽口	長さ 14.6 炉側径 2.6 轆側内径 2.8 重さ 986.5			GI	—	普通	灰白	砂質 指頭圧痕多数 No. 230	115-4
358	土製品	羽口	長さ 11.6 炉側径 2.7 轆側内径 2.8 重さ 818.7			GI	—	普通	灰白	砂質 指頭圧痕多数 No. 252	115-6
359	土製品	羽口	長さ 11.7 炉側径 2.9 轆側内径 2.7 重さ 935.0			GI	—	普通	灰白	砂質 指頭圧痕多数 吹先に付着滓打ち欠き No. 410	115-7
360	土製品	羽口	長さ 12.3 炉側径 2.4 轆側内径 2.7 重さ 761.4			GI	—	普通	灰白	砂質 指頭圧痕多数 No. 390	115-8
361	土製品	羽口	長さ 11.1 炉側径 2.7 轆側内径 2.9 重さ 846.4			GI	—	普通	灰白	砂質 指頭圧痕多数 No. 245	115-9
362	土製品	羽口	長さ 10.8 炉側径 2.4 轆側内径 2.5 重さ 714.1			GI	—	普通	灰白	砂質 指頭圧痕多数 No. 343	115-10
363	土製品	羽口	長さ 10.3 炉側径 3.0 轆側内径 2.6 重さ 609.2			GI	—	良好	灰白	砂質 ケズリ調整 No. 437	115-13
364	土製品	羽口	長さ 10.9 炉側径 2.8 轆側内径 2.6 重さ 890.3			GI	—	普通	灰白	砂質 指頭圧痕多数 No. 419	115-11
365	土製品	羽口	長さ 19.1 炉側径 3.0 轆側内径 2.7 重さ 1095.2			GI	—	良好	灰白	砂質 指頭圧痕多数	115-14
366	土製品	羽口	長さ 13.9 炉側径 2.8 轆側内径 2.9 重さ 725.1			GI	—	良好	灰白	やや砂質 指頭圧痕 ナデ状調整 No. 434	116-1
367	土製品	羽口	長さ 11.9 炉側径 3.0 轆側内径 2.7 重さ 840.7			GI	—	良好	灰白	砂質 指頭圧痕ケズリ（一部）No. 286	115-12
368	土製品 + 鉄滓	羽口 + 椀形滓	長さ 8.2 幅 5.9 厚さ 4.6 重さ 175.0							羽口残存径約 6 cm 滓部中央に強い磁着あり	137-2
369	土製品	ミニチュア	口径 (2.8) 器高 [1.7] 重さ 1.3			IK	—	普通	にぶい橙	鉢カ 内外面施釉	
370	陶器	人形	長さ 5.9 幅 3.3 厚さ 2.7 重さ 23.9			AK	—	良好	灰白	京都系 二枚型成形 中空 外面緑釉 371・372 同一個 体	
371	陶器	人形	長さ 7.5 幅 4.4 厚さ 0.9 重さ 35.1			AK	—	良好	灰白	京都系 二枚型成形 中空 外面緑釉 370・372 同一個 体 No. 165	
372	陶器	人形	長さ 6.7 幅 4.9 厚さ 0.8 重さ 22.7			AK	—	良好	灰白	京都系 二枚型成形 中空 外面緑釉 370・371 同一個 体 No. 967	
373	土製品	人形	長さ [3.1] 幅 2.8 厚さ 1.6 重さ 11.2			AHK	—	普通	にぶい橙	前後合二枚型成形 中実 天神様 No. 327	
374	土製品	人形	縦 3.4 横 1.9 高さ 3.8 重さ 16.1			AHK	—	良好	灰白	京都系 狛犬 左右合二枚型成形 中実 黄色釉	122-1
375	土製品	人形	長さ [5.5] 幅 [4.2] 厚さ 1.0 重さ 14.5			AIK	—	普通	にぶい黄橙	型成形 中実 雲母付着	
376	土製品	人形	長さ 5.8 幅 3.5 厚さ 2.3 重さ 21.7			AHIK	—	普通	にぶい黄橙	型成形 中空 No. 139	
377	土製品	人形	長さ [16.4] 幅 [7.5] 厚さ 1.1 重さ 139.5			AHK	—	良好	にぶい黄橙	前後合二枚型成形 開口 雲母付着 No. 318	121-12
378	土製品	人形	長さ [10.4] 幅 [6.5] 厚さ 1.7 重さ 66.6			AHIK	—	良好	にぶい黄橙	前後合二枚型成形 開口 僧侶 雲母付着	121-13
379	瓦	平瓦	長さ [11.3] 幅 [12.7] 厚さ 2.1 高さ [2.3]			K	—	普通	灰白	前面被熱 煤厚付着 No. 29	126-14
380	木製品	漆椀	口径 10.8 高さ [3.8]							横木取り 内外面赤漆 No. 416	132-3
381	木製品	漆椀	高さ [4.8]							横木取り 内外面赤漆 黒で家紋 高台内黒で文様	
382	木製品	漆椀	高さ [4.6]							横木取り 内外面赤漆 No. 475	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
383	木製品	漆椀	高さ [5.9]							横木取り 内外面赤漆 黒で家紋 3 歪み大 炭化 No. 408	
384	木製品	漆椀	高さ [4.3]							横木取り 内面赤漆 外面黒漆 高台内に赤で文字 No. 396	
385	木製品	漆椀	高さ [1.9]							横木取り 内面赤漆 外面黒漆 高台内刻書「×」	
386	木製品	漆椀	高さ [4.3]							横木取り 内外面赤漆 高台内に黒で文様 被熱	
387	木製品	漆椀	高さ [4.4]							横木取り 内外面赤漆 外面線状の切込み 孔 1 No. 470	
388	木製品	漆椀	高さ [6.3]							横木取り 内外面赤漆 高台内黒漆 高台内赤で文字 No. 271	132-4
389	木製品	漆椀	長さ 5.5 幅 5.5 厚さ 1.1							横木取り 内外面赤漆 高台内黒漆 赤で文字 No. 337	
390	木製品	漆椀蓋	口径 10.0 高さ [3.6]							横木取り 内外面赤漆 黒で家紋 つまみ内黒で文様 No. 346	132-5
391	木製品	漆椀蓋	高さ [2.4]							横木取り 内外面赤漆 黒漆で家紋 つまみ内に黒で文様	
392	木製品	漆椀蓋	高さ [1.5]							横木取り 内外面赤漆 No. 157	
393	木製品	漆椀蓋	つまみ径 4.6 高さ [2.4]							横木取り 内外面赤漆 高台縁黒 No. 449	
394	木製品	漆椀蓋	高さ [2.1]							横木取り 内外面赤漆 No. 420	
395	木製品	漆椀蓋	高さ [2.2]							横木取り No. 368	
396	木製品	漆椀蓋	つまみ径 4.4 口径 9.7 高さ 2.5							横木取り 内外面赤漆 つまみ縁黒漆 No. 456	132-6
397	木製品	蓋	長さ 21.1 幅 [18.8] 厚さ 0.6							板目 表裏面炭化 釘孔 7	
398	木製品	膳	長さ 16.0 幅 [6.7] 厚さ 0.4							板目 表面赤漆 裏面黒漆 側板と脚接着痕 No. 503	
399	木製品	折敷カ膳	長さ [11.9] 幅 [7.2] 厚さ 0.6							板目 No. 173	151-9
400	木製品	膳	長さ 27.6 幅 [12.8] 厚さ 0.6							板目 表裏面黒漆 木釘孔 10 脚残存 No. 500	
401	木製品	柄	長さ 11.8 幅 2.4 厚さ 1.1							板目 側面に差込み口	
402	木製品	鏝	長さ 7.0 幅 7.1 厚さ 0.7							板目	132-7
403	木製品	不明品	長さ 10.1 幅 6.1 厚さ 0.9							板目 玩具の胄の前立てカ	132-8
404	木製品	不明品	長さ [7.4] 幅 2.6 厚さ 2.7							板目	
405	木製品	下駄	長さ 21.6 幅 8.4 高さ 3.3							板目 連歯下駄 No. 403	
406	木製品	下駄	長さ 22.2 幅 8.5 高さ 2.6							板目 連歯下駄 No. 438	
407	木製品	下駄	長さ 24.1 幅 12.3 高さ 9.1							台板目 歯板目 露卯下駄 No. 427	
408	木製品	下駄	長さ 16.6 幅 8.0 高さ [2.8]							板目 露卯下駄	
409	木製品	下駄	長さ [13.5] 幅 5.9 高さ [2.7]							板目 露卯下駄	
410	木製品	下駄	長さ 22.6 幅 8.2 高さ 2.0							板目 剥り下駄 踵に銅線	
411	木製品	下駄	長さ [7.5] 幅 5.5 高さ 2.5							板目 剥り下駄 爪先	
412	木製品	不明品	長さ 39.3 幅 11.0 厚さ 2.9							板目 方形の孔 8.3 × 3.9 cm 鉄製錠 2 No. 501	
413	木製品	天秤棒	長さ 26.0 幅 4.5 厚さ 4.7							分割材 端部切断	
414	銅製品	煙管	長さ 5.2 火皿径 1.3 小口径 0.8 重さ 7.3							雁首 鍍金あり No. 360	133-2
415	銅製品	煙管	長さ 5.1 火皿径 1.4 小口径 1.0 重さ 10.2							雁首 No. 371	133-2
416	銅製品	煙管	長さ 5.4 火皿径 1.7 × 1.2 小口径 0.9 重さ 5.3							雁首 潰れる No. 464	133-2
417	銅製品	煙管	長さ 7.0 火皿径 1.6 × 1.4 小口径 0.9 重さ 10.7							雁首 やや潰れる	133-2
418	銅製品	煙管	長さ 7.0 火皿径 1.5 小口径 1.0 重さ 8.7							雁首	133-2
419	銅製品	煙管	長さ 7.0 火皿径 1.5 小口径 0.8 重さ 7.3							雁首 小口部欠損	133-2
420	銅製品	煙管	長さ [6.7] 小口径 1.0 × 0.9 重さ 6.1							雁首 火皿欠失 変形	
421	銅製品	煙管	長さ [5.4] 小口径 0.9 重さ 4.5							雁首 火皿欠失	
422	銅製品	煙管	火皿径 1.7 重さ 4.9							雁首 火皿	
423	銅製品	煙管	長さ 5.3 小口径 0.7 口付径 0.2 重さ 3.8							吸口 No. 34	133-2
424	銅製品	煙管	長さ 5.2 小口径 0.8 口付径 0.4 重さ 3.8							吸口 No. 484	133-2
425	銅製品	煙管	長さ 5.8 小口径 0.7 口付径 0.2 重さ 3.1							吸口 鍍金あり No. 292	133-2
426	銅製品	煙管	長さ 5.2 小口径 1.3 × 0.6 口付径 0.3 重さ 3.0							吸口 潰れる	133-2
427	銅製品	煙管	長さ 4.8 小口径 1.4 × 0.1 口付径 0.3 重さ 4.4							吸口 小口が潰れて折れ曲がる	
428	銅製品	煙管	長さ 4.2 小口径 1.0 × 0.8 口付径 0.4 重さ 2.8							吸口 折れ曲がる	
429	銅製品	箸	縦 7.2 横 4.2 幅 0.4 厚さ 0.4 重さ 8.2							折れ曲がり変形 箸頭宝珠 持ち代六角	135-1

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
430	銅製品	飾金具	縦3.4	横[6.6]	厚さ0.1	重さ6.1				端部面取り 孔1あり	
431	銅製品	飾金具	縦[2.3]	横[3.1]	厚さ0.1	重さ1.2					
432	銅製品	飾金具	縦[2.7]	横[3.4]	厚さ0.1	重さ1.5					
433	銅製品	飾金具	縦[4.0]	横[2.5]	厚さ0.1	重さ3.0					
434	銅製品	不明	縦1.6	横[1.4]	厚さ0.03	重さ0.2				薄板 縁面取り No.493	
435	銅製品	不明	縦[1.8]	横[3.2]	厚さ0.1	重さ1.6					
436	銅製品	針金	縦2.0	横2.4	厚さ0.08	重さ0.3				径1.2×2.0cmの棒状品に括り付けられていた形状を残す	
437	銅製品	針金	縦2.9	横2.0	厚さ0.1	重さ1.1				棒状品に括り付けられていた形状を残す	
438	銅製品	針金	縦3.4	横2.4	厚さ0.1	重さ0.6				棒状品に括り付けられていた形状を残す	
439	銅製品	針金	縦2.8	横1.6	厚さ0.08	重さ0.6				棒状品に括り付けられていた形状を残す	
440	銅製品	針金	縦2.7	横3.0	厚さ0.1	重さ0.6				径1.5×2.4cmの棒状品に括り付けられていた形状を残す	
441	銅製品	針金	縦2.0	横2.6	厚さ0.1	重さ4.8				径0.9×1.7cmの棒状品に巻付いていた形状を残す	
442	銅製品	針金	縦4.3	横2.3	厚さ0.05	重さ2.1				2本の棒状品を連結していた形状を残す	
443	銅製品	針金	縦4.2	横3.2	厚さ0.1	重さ0.5				焼土	
444	銅製品	針金	縦5.4	横3.8	厚さ0.08	重さ1.4					
445	銅製品	針金	縦4.7	横3.1	厚さ0.08	重さ0.7				結び目あり	
446	銅製品	針金	縦6.0	横2.5	厚さ0.08	重さ0.4					
447	銅製品	針金	縦4.9	横3.6	厚さ0.1	重さ0.6					
448	銅製品	針金	縦6.6	横3.4	厚さ0.1	重さ3.2					
449	銅製品	針金	縦6.6	横4.2	厚さ0.1	重さ4.1					
450	銅製品	針金	縦6.8	横4.7	厚さ0.1	重さ1.7					
451	銅製品	針金	縦11.6	横8.6	厚さ0.1	重さ1.1					
452	銅製品	針金	縦10.2	横7.4	厚さ0.1	重さ2.4					
453	銅製品	針金	縦9.9	横10.4	厚さ0.1	重さ1.0					
454	銅製品	針金	縦9.1	横5.0	厚さ0.1	重さ11.6					135-1
455	銅製品	針金	縦8.9	横4.7	厚さ0.1	重さ1.9					
456	銅製品	針金	縦14.5	横6.0	厚さ0.1	重さ0.6					
457	銅製品	針金	縦13.8	横13.0	厚さ0.1	重さ3.3					
458	鉄製品	握鉄	長さ[13.2]	刃幅1.2	背幅0.2	重さ15.2					135-1
459	鉄製品	握鉄	長さ[14.7]	刃幅1.2	背幅0.2	重さ7.0				片刃のみ	
460	鉄製品	握鉄	長さ[5.3]	刃幅1.1	背幅0.1	重さ2.3				刃部のみ	
461	鉄製品	容器カ	縦[2.6]	横[5.3]	厚さ0.4	重さ15.6				口縁部	
462	鉄製品	火打金	縦[1.9]	横[5.8]	厚さ0.3	重さ6.7					133-4
463	鉄製品	火打金	縦[1.6]	横5.6	厚さ0.3	重さ9.3					133-4
464	鉄製品	五徳カ	縦[7.9]	横[5.9]	厚さ0.3	重さ42.7					135-1
465	鉄製品	包丁	長さ[14.0]	刃長[10.0]	刃幅2.6	背幅0.2	重さ27.5			No.317	134-2
466	鉄製品	刀子	長さ[10.7]	刃長[7.2]	刃幅1.1	背幅0.2	重さ5.3			小柄カ	134-2
467	鉄製品	刀子	長さ11.2	刃長9.3	刃幅1.0	背幅0.2	重さ25.8				134-2
468	鉄製品	金槌	長さ5.7	幅2.1	重さ88.0					2箇所にもソコ穴を設ける	
469	鉄製品	鉤金具	長さ3.8	厚さ0.4	重さ7.1						
470	鉄製品	不明	縦4.7	横6.7	厚さ0.5	重さ14.1				鼻環カ No.179	
471	鉄製品	不明	縦[3.8]	横[4.3]	厚さ0.5	重さ28.1					
472	鉄製品	不明	長さ[14.6]	幅0.8	厚さ0.1	重さ10.0					
473	鉄製品	不明	長さ[13.8]	厚さ0.4	重さ11.0					火箸カ	
474	鉄製品	不明	長さ[10.6]	幅0.5	厚さ0.1	重さ5.6					
475	鉄製品	不明	長さ[9.1]	幅0.9	厚さ0.3	重さ9.8					
476	鉄製品	不明	長さ[7.8]	幅0.6	厚さ0.2	重さ7.6					



番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版	
477	鉄製品	不明	長さ [7.0]	幅 0.5	厚さ 0.1	重さ 1.5				火格子の一部カ		
478	鉄製品	不明	長さ [3.2]	幅 1.2	厚さ 0.4	重さ 8.6						
479	鉄製品	楔	長さ 5.3	幅 1.5	厚さ 0.9	重さ 22.4						
480	鉄製品	楔	長さ [4.3]	幅 1.6	厚さ 0.6	重さ 12.3						
481	鉄製品	楔	長さ 3.2	幅 1.0	厚さ 0.6	重さ 9.4						
482	鉄製品	釘	長さ [8.9]	幅 0.5	厚さ 0.5	重さ 11.6						
483	鉄製品	釘	長さ [8.3]	幅 0.5	厚さ 0.5	重さ 6.8						
484	鉄製品	釘	長さ [7.3]	幅 0.4	厚さ 0.4	重さ 4.8						
485	鉄製品	釘	長さ [7.2]	幅 0.5	厚さ 0.4	重さ 8.3						
486	鉄製品	釘	長さ [7.2]	幅 0.5	厚さ 0.5	重さ 6.4						
487	鉄製品	釘	長さ [7.5]	幅 0.4	厚さ 0.4	重さ 8.1						
488	鉄製品	釘	長さ [6.1]	幅 0.4	厚さ 0.4	重さ 3.7						
489	鉄製品	釘	長さ [5.2]	幅 0.3	厚さ 0.2	重さ 1.5						
490	鉄製品	釘	長さ [4.3]	幅 0.5	厚さ 0.4	重さ 2.4						
491	鉄製品	釘	長さ 4.0	幅 0.3	厚さ 0.2	重さ 2.8						
492	鉄製品	釘	長さ [3.7]	幅 0.5	厚さ 0.4	重さ 4.4						
493	鉄製品	釘	長さ [3.3]	幅 0.6	厚さ 0.5	重さ 11.8						
494	鉄製品	釘	長さ [2.6]	幅 0.5	厚さ 0.4	重さ 2.1						
495	銅製品	銭貨	径 23.5	厚さ 1.0	重さ 3.0						元祐通寶	136-9
496	銅製品	銭貨	径 23.1	厚さ 1.0	重さ 2.4						寛永通寶 (古) No. 485	
497	銅製品	銭貨	径 24.6	厚さ 1.4	重さ 4.0					寛永通寶 (古) No. 490		
498	銅製品	銭貨	径 24.7	厚さ 1.3	重さ 3.3					寛永通寶 (古) No. 466		
499	銅製品	銭貨	径 25.9	厚さ 1.2	重さ 2.6					焼土層 寛永通寶 (古) No. 24		
500	銅製品	銭貨	径 25.3	厚さ 1.1	重さ 3.0					寛永通寶 (新) 背文 No. 486		
501	銅製品	銭貨	径 23.0	厚さ 1.2	重さ 2.5					寛永通寶 (新) No. 487		
502	銅製品	銭貨	径 23.1	厚さ 1.0	重さ 2.5					寛永通寶 (新) No. 488		
503	銅製品	銭貨	径 22.8	厚さ 1.0	重さ 2.6					寛永通寶 (新) No. 489		
504	銅製品	銭貨	径 23.3	厚さ 1.2	重さ 2.4					寛永通寶 (新) No. 497		
505	銅製品	銭貨	径 24.7	厚さ 1.0	重さ 2.4					寛永通寶 (新) No. 498		
506	銅製品	銭貨	径 23.3	厚さ 1.1	重さ 2.1					寛永通寶 (新) No. 499		
507	銅製品	銭貨	径 23.2	厚さ 1.2	重さ 2.6					寛永通寶 (新)		
508	銅製品	銭貨	径 25.1	厚さ 1.4	重さ 3.6					寛永通寶 (新)		
509	鉄製品	銭貨	径 25.8	厚さ 1.1	重さ 1.6					寛永通寶 (新) No. 492		
510	銅製品	雁首銭	径 21.3 × 19.6	厚さ 1.6	重さ 2.4					鍍金あり		
511	鉄滓	椀形滓	長さ 9.7	幅 8.7	厚さ 3.8	重さ 202.7				平面不整楕円形 上面木炭が多い 下底面非常に木炭多い 磁着弱い	137-1	
512	鉄滓	椀形滓	長さ 6.0	幅 4.6	厚さ 2.5	重さ 66.2				平面楕円形 皺状 下底面木炭多い 磁着やや強い	137-1	
513	鉄滓	椀形滓	長さ 8.6	幅 8.0	厚さ 3.8	重さ 259.1				平面不整円形 磁着やや弱い	137-1	
514	鉄滓	椀形滓	長さ 10.6	幅 8.4	厚さ 4.7	重さ 369.0				平面不整長方形 2層に分かれる 磁着弱い	137-1	
515	鉄滓	椀形滓	長さ 6.9	幅 5.3	厚さ 3.3	重さ 96.9				平面不整楕円形 上下面木炭少量 磁着やや弱い	137-1	
516	鉄滓	椀形滓	長さ 7.1	幅 6.2	厚さ 3.1	重さ 107.8				平面不整円形 木炭少量 磁着弱い	137-1	
517	鉄滓	椀形滓	長さ 6.9	幅 6.7	厚さ 2.6	重さ 146.6				平面不整形 上面炭化物、白色の石、鍛造剥片あり 下面炭化物あり 磁着やや弱い	137-1	
518	鉄滓	椀形滓	長さ 5.6	幅 5.5	厚さ 2.4	重さ 82.5				平面方形 上面木炭あり 下面木炭多量 磁着やや強い	137-1	
519	鉄滓	椀形滓	長さ 6.2	幅 5.5	厚さ 2.7	重さ 79.5				平面方形 磁着やや強い	137-1	
520	鉄滓	椀形滓	長さ 7.9	幅 6.5	厚さ 2.8	重さ 88.5				平面不整楕円形 上面皺状 木炭あり 磁着極めて弱い	137-1	
521	鉄滓	椀形滓	長さ 6.3	幅 5.6	厚さ 2.8	重さ 90.2				平面略円形 完形 上面木炭あり 磁着弱い	137-1	
522	鉄滓	椀形滓	長さ 9.5	幅 6.8	厚さ 3.5	重さ 163.3				平面不整楕円形 完形 上下面ともに木炭あり 磁着弱い	137-1	
523	鉄滓	椀形滓	長さ 8.7	幅 8.7	厚さ 2.0	重さ 147.5				不整形 完形 上面木炭多い 下底面木炭あり 磁着弱い	137-2	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
524	鉄滓	椀形滓	長さ 11.1 幅 7.3 厚さ 3.2 重さ 196.8							平面楕円形 概ね完存 2層の可能性あり 羽口片あり 上面皺状 底面木炭多い磁着やや強い	137-2
525	鉄滓	椀形滓	長さ 6.6 幅 6.3 厚さ 2.5 重さ 108.3							平面略方形 完形「U」字形の挟り 上面木炭、鍛造剥片あり 磁着弱い	137-2
526	鉄滓	椀形滓	長さ 6.1 幅 5.7 厚さ 2.5 重さ 131.3							平面不整形円形 底面木炭少量 磁着やや強い	137-2
527	鉄滓	椀形滓	長さ 8.3 幅 7.1 厚さ 2.9 重さ 165.6							平面不整形円形 上下面とも木炭多量 磁着弱い	137-2
528	鉄滓	椀形滓カ	長さ 8.5 幅 6.5 厚さ 2.2 重さ 113.0							平面楕円形 上面皺状 磁着弱い	137-2
529	鉄滓	椀形滓	長さ 6.1 幅 6.1 厚さ 2.0 重さ 82.7							平面不整形円形 完形 下面木炭少量 磁着弱い	137-2
530	鉄滓	椀形滓	長さ 8.4 幅 7.0 厚さ 2.3 重さ 127.8							平面不整形楕円形 ほぼ完形 上面皺状 小さな気泡多い 下面木炭あり 磁着弱い	137-2
531	鉄滓	椀形滓	長さ 5.9 幅 5.3 厚さ 2.3 重さ 89.7							平面略方形 ほぼ完形 上面木炭多い 下底面木炭あり 磁着やや強い	137-2
532	鉄滓	椀形滓	長さ 12.5 幅 8.6 厚さ 4.6 重さ 615.5							平面楕円形 上面木炭多い 磁着弱い	137-2
533	鉄滓	椀形滓	長さ 10.6 幅 5.1 厚さ 3.2 重さ 178.4							平面楕円形 上下面とも炭化物あり 磁着やや弱い	137-2
534	石製品	火打石	長さ 2.3 幅 2.1 厚さ 1.5 重さ 4.8							玉髄 使用痕あり	
535	石製品	火打石	長さ 2.5 幅 1.7 厚さ 1.3 重さ 5.4							玉髄 使用痕あり	
536	石製品	火打石	長さ 2.7 幅 2.3 厚さ 1.6 重さ 11.1							玉髄 稜の潰れ著しい	
537	石製品	火打石	長さ 3.6 幅 2.4 厚さ 1.8 重さ 16.3							石英 稜の潰れ著しい	
538	石製品	火打石	長さ 3.4 幅 2.5 厚さ 2.4 重さ 20.5							メノウ 稜の潰れ著しい	
539	石製品	火打石	長さ 2.6 幅 2.2 厚さ 2.2 重さ 14.1							玉髄 稜の潰れ著しい 強く被熱（白色化）	
540	石製品	火打石	長さ 5.9 幅 5.3 厚さ 2.8 重さ 127.0							チャート 稜の潰れ著しい	
541	石製品	砥石	長さ [2.4] 幅 [2.9] 厚さ 1.7 重さ 14.5							流紋岩（緑色）表面櫛歯状工具痕 砥面 2	
542	石製品	砥石	長さ [5.3] 幅 4.7 厚さ [0.8] 重さ 27.4							粘板岩 砥面 1	
543	石製品	砥石	長さ [4.7] 幅 3.2 厚さ 2.7 重さ 61.8							流紋岩（緑色）側面櫛歯状工具痕 裏・側面削痕 砥面 1	
544	石製品	砥石	長さ [5.7] 幅 [5.0] 厚さ [1.6] 重さ 46.0							ホルンフェルス 砥面 3	
545	石製品	砥石	長さ [6.5] 幅 4.0 厚さ 2.2 重さ 92.0							流紋岩（緑色）側面削痕 2・角で刃ならし 砥面 3	
546	石製品	砥石	長さ 5.2 幅 3.8 厚さ 4.8 重さ 124.2							砂岩 砥面 5	140-2
547	石製品	砥石	長さ 6.2 幅 [4.3] 厚さ 3.9 重さ 139.3							砂岩 側面削痕 2 砥面 3	140-2
548	石製品	砥石	長さ [7.5] 幅 5.5 厚さ 1.2 重さ 72.1							粘板岩 側面ノコギリ状の斜め切断痕 3 裏面線条痕・削痕 側面線条痕 砥面 3	140-2
549	石製品	砥石	長さ 10.2 幅 3.6 厚さ 4.0 重さ 163.8							凝灰岩 側面丸ノミ痕 砥面 2	140-2
550	石製品	砥石	長さ 12.1 幅 2.7 厚さ 3.0 重さ 126.8							流紋岩（緑色）側面櫛歯状工具痕 2・線条痕 砥面 4	140-2
551	石製品	砥石	長さ [12.4] 幅 2.9 厚さ 3.4 重さ 165.5							流紋岩（緑色）裏・側面櫛歯状工具痕 3 砥面 3	140-2
552	石製品	砥石	長さ 16.2 幅 [7.3] 厚さ 4.5 重さ 385.1							ホルンフェルス 側面幅広工具痕カ 表・側面刃物痕 2 砥面 3	140-2
553	石製品	砥石	長さ 13.1 幅 4.4 厚さ 2.8 重さ 252.0							流紋岩（緑色）全面櫛歯状工具痕 6 砥面 2	140-2
554	石製品	砥石	長さ 14.1 幅 3.3 厚さ 4.3 重さ 226.6							凝灰岩 裏・側面櫛歯状工具痕 3 砥面 3	140-2
555	石製品	砥石	長さ [16.6] 幅 8.1 厚さ 6.2 重さ 700.7							ホルンフェルス 側面幅広工具痕 2 砥面 2	140-2
556	石製品	砥石	長さ [13.7] 幅 4.6 厚さ 5.1 重さ 363.0							砂岩 砥面 3	140-2
557	石製品	砥石	長さ [7.4] 幅 3.3 厚さ 4.3 重さ 160.9							流紋岩（緑色）側面櫛歯状工具痕 3 砥面 1	
558	石製品	砥石	長さ 8.8 幅 3.1 厚さ 1.6 重さ 69.5							流紋岩（緑色）裏・側面櫛歯状工具痕 3 砥面 3	140-2
559	石製品	砥石	長さ [8.5] 幅 3.8 厚さ 2.8 重さ 151.5							流紋岩（緑色）表裏面削痕 2 側面刃ならし痕 砥面 4	
560	石製品	砥石	長さ 8.9 幅 2.4 厚さ 4.9 重さ 102.1							流紋岩（緑色）側面刃こぼれしたノミ状工具痕・溝状使用痕 砥面 3	
561	石製品	磨石	長さ 2.4 幅 2.7 厚さ 1.5 重さ 4.1							角閃石安山岩 多孔質 使用面 2	
562	石製品	磨石	長さ 3.3 幅 2.0 厚さ 1.8 重さ 4.4							角閃石安山岩 多孔質 自然面遺存 使用面 1	
563	石製品	磨石	長さ [3.8] 幅 [2.5] 厚さ 2.5 重さ 11.2							角閃石安山岩 多孔質 自然面遺存 使用面 2	
564	石製品	磨石	長さ 5.6 幅 3.6 厚さ 1.2 重さ 10.0							角閃石安山岩 多孔質 使用面 2	
565	石製品	磨石	長さ 5.2 幅 4.2 厚さ 1.8 重さ 19.4							角閃石安山岩 使用面 1	
566	石製品	磨石	長さ 5.9 幅 4.1 厚さ 1.9 重さ 17.4							角閃石安山岩 多孔質 使用面 1 被熱（剥落）	
567	石製品	磨石	長さ 5.8 幅 4.6 厚さ 2.1 重さ 21.8							角閃石安山岩 多孔質 自然面遺存 使用面 3	141-1

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
568	石製品	磨石	長さ [4.3]	幅 5.2	厚さ 2.1	重さ 22.0				角閃石安山岩 多孔質 自然面遺存 使用面 4 線条痕あり	
569	石製品	磨石	長さ 4.9	幅 4.0	厚さ 3.1	重さ 32.3				角閃石安山岩 多孔質 自然面遺存 使用面 2 線条痕あり	
570	石製品	磨石	長さ 5.3	幅 4.3	厚さ 3.1	重さ 27.0				角閃石安山岩 多孔質 自然面遺存 使用面 3 線条痕あり 下面煤付着	141-1
571	石製品	磨石	長さ 7.2	幅 4.0	厚さ 2.5	重さ 25.0				角閃石安山岩 多孔質 自然面遺存カ 使用面 3	141-1
572	石製品	磨石	長さ 6.2	幅 5.4	厚さ 2.2	重さ 34.7				角閃石安山岩 多孔質 全面使用	141-1
573	石製品	磨石	長さ 5.0	幅 4.8	厚さ 2.7	重さ 39.2				角閃石安山岩 多孔質 自然面遺存 使用面 2 線条痕あり	141-1
574	石製品	磨石	長さ 7.5	幅 4.8	厚さ 3.2	重さ 38.7				角閃石安山岩 多孔質 自然面遺存 使用面 2 線条痕あり 被熱(剥落)・煤付着	141-1
575	石製品	磨石	長さ 7.2	幅 5.6	厚さ 3.4	重さ 53.1				角閃石安山岩 表面刃物傷・削痕・使用痕 裏面削痕 左側面溝状使用痕・線条痕 使用面部分的	
576	石製品	磨石	長さ [4.4]	幅 4.5	厚さ 2.7	重さ 22.3				角閃石安山岩 多孔質 全面使用カ	
577	石製品	敲石	長さ 11.0	幅 3.7	厚さ 2.1	重さ 143.4				頁石 両端部・左右側縁部敲打	139-3
578	石製品	硯	長さ [10.5]	幅 6.3	重さ 162.6					粘板岩 器高 1.8 裏面彫刻刀状工具による削痕・線刻 被熱(剥落)	141-3
579	石製品	石材	長さ [11.3]	幅 [3.0]	厚さ 0.9	重さ 30.9				緑泥片岩 板碑片カ 破損部に刃物状傷あり	
580	石製品	貝巢石	長さ 6.5	幅 3.8	厚さ 3.4	重さ 79.9				砂岩 凝灰質	
581	石製品	礫	長さ [9.6]	幅 [5.4]	厚さ 2.8	重さ 151.8				石材不明 楕円形の扁平礫 全面強く被熱し鉄錆状の物質付着 中央凹み	116-4

る。178は外面に右上がりの指頭痕がみられ、体部中位に重ね焼きによる播目が転写されている。第633図179は堺明石系陶器の播鉢である。底部はヘラナデ調整で、輪状の圧痕がみられる。堺明石系播鉢の江戸遺跡における初現は18世紀初頭である。

180は硬質瓦質土器の火鉢である。底部には一部摩耗しているシワ状痕がみられ、体部はミガキ調整である。体部下位にはシワ状痕が遺存している。板状脚が1箇所遺存している。第634図187は江戸在地系土師質土器の瓦燈である。体部はミガキ調整、内面下位はヘラナデ調整である。栗橋宿では蓋のみ出土する例が多い。第635図188は江戸在地系土師質土器の丸底焙烙である。焙烙の出土は在地系瓦質土器の平底焙烙と常陸系土師質土器の平底焙烙で占められており、江戸在地系は本資料のみである。第635図189～第640図207は瓦質土器の平底焙烙である。多様な調整方法が認められる。近世における在地土器の変遷を辿る上で重要な資料である。第640図208～第642図212は常陸系土師質土器の平底焙烙である。栗橋宿ではまとまった出土が稀であり、17世紀から18世

紀前葉に多く流通すると考えられる。213・214は常陸系土師質土器の大甕である。中世常滑焼に類似する口縁部を呈し、最大径が体部上位に位置すると思われる。挿図では口縁部と底部の上下2片を図示したが、図示し得なかった胴部破片が極めて多量に出土している。接合率は極めて悪く、意図的な破壊、もしくは広域に廃棄されていると思われる。

215～217は施釉土器の乗燭である。215・216は黒釉が施釉されており、同一個体の可能性が疑われる。215は舌状の灯芯部である。217は鉄釉が施釉される。素焼きの土製乗燭の出現期は18世紀中葉、施釉土器の乗燭は18世紀後葉頃である。18世紀後葉に比定される第500号土壇と遺構東端で重複しているが、混入遺物がほぼみとめられないため、これらは混入とは考え難い。したがって、18世紀初頭頃に比定される最古級の乗燭である可能性が考えられる。なお、名古屋城から皿内に舌部を付けた17世紀後葉から18世紀初頭の資料が出土しており、舌付灯火皿等が乗燭類の起源であった可能性が指摘されている(小林2019)。

第642図219～第646図288は江戸在地系のかわらけ小皿である。器面調整に多様性がみられる。特徴的な資料を挙げると、229・230・252・277には口唇部にヘラナデがみられる。第646図291～302は胎土が砂質のかわらけ小皿である。胎土に角閃石が含まれるものが多く、在地産と推定される。第647図303・304は土製埴塼である。305・306は常滑系土錘である。栗橋宿では土錘の出土が稀である。308～324はいわゆる円盤状製品である。

第648～650図は鞆の羽口である。胎土が砂質且つ厚手で、孔径が小さい大型羽口（第648図325・326、第650図354～367）と瓦質・土師質の羽口（327～353）の大きく2種がみられる。第500号土壙出土の羽口とは様相が異なる。詳細は「VI. 調査のまとめ」を参照されたい。

第651図は土製品である。370～372は京都系陶器の人形である。同一個体で、370は頭部、371は正面、372は背面である。中空の前後合わせの二枚型成形で、緑釉が施釉される。379は平瓦である。被熱し、全面に煤が厚く付着する。

第652～654図は木製品である。380～389は漆椀で、381・383には家紋が描かれている。390～396は漆椀の蓋である。390・391は同文の家紋である。397は蓋である。釘孔が7箇所みられる。398は膳である。

第655・656図は金属製品である。414～426は銅製煙管である。462・463は鉄製の火打金である。464は円筒状で上端部内側に突起が付く鉄製品で、五徳の可能性が疑われる。側面は格子状である。495は北宋銭で、1086年初鑄の元祐通寶である。496～499は古寛永、500～509は新寛永通寶である。

第657図は鉄滓である。517・525には鍛造剥片がみられる。詳細は「VI. 調査のまとめ」を参照されたい。

第658～660図は石製品である。541～560は砥

石である。石材は緑色を呈する流紋岩が主体である。工具痕は櫛歯状工具痕（541・543・550・551・553・554・557・558・560）、チョウナ状工具と推定される刃幅の広い工具痕（552・555）等がみられる。明確なノコギリ状工具痕は一切みとめられないが、548はノコギリ状工具痕に類似する切断痕がみられる。563～576は多孔質の角閃石安山岩転石製磨石である。線条痕（568～570・573～575）がみられる資料が多い。

#### 第500号土壙（第661～703図）

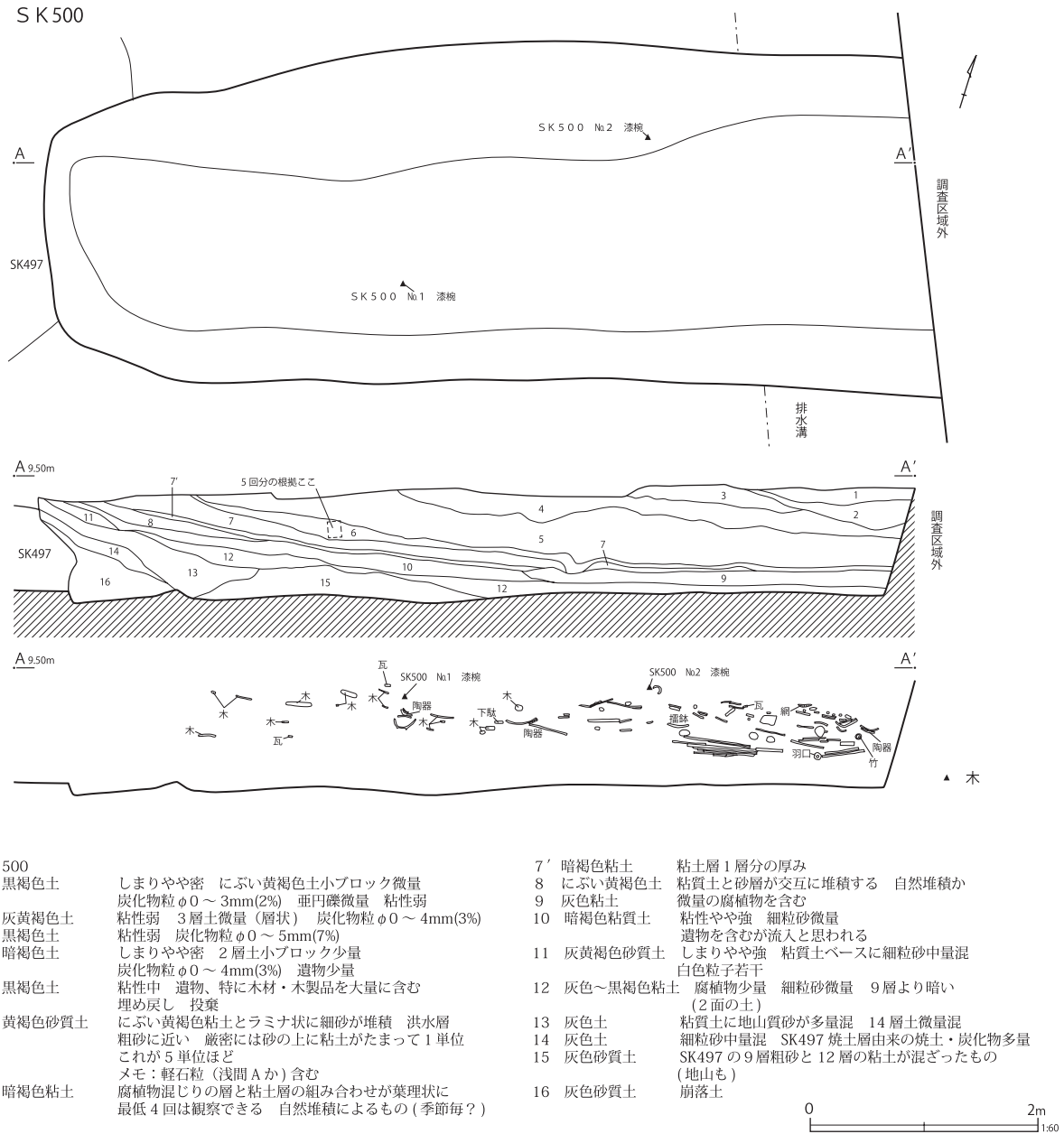
F7-C・D7・8グリッドに位置し、第497号土壙より新しい。東端は調査区外である。平面形は隅丸長方形で、検出長軸7.7m、短軸2.95m、深さ0.9mを測る。長軸方位はN-72°-Eを指す。

覆土は斜め堆積で、細かな分層が可能である。第6層にはAS-Aと考えられる軽石粒が含まれており、遺物はこの直上から出土している。長期間にわたって開口していたと考えられる。

本来の掘り込み面は第三面より上層で、AS-A検出標高である基本土層西壁第V層最下部（第5～7図）が検出標高であろう。写真図版57-8に調査区東壁にみられる第500号土壙の土層断面を示した。

AS-Aと思われる軽石粒が検出された第6層より下層の覆土は、粘土・粘質土、砂質土・砂がおおむね互層を呈しており、自然堆積と考えられる。また、第6層より上層は埋め戻しと考えられる。最下層の第16層は地山が砂地であったために、第500号土壙が開口していたときに地山土が崩落し、流入したものと推定される。下層に遺物の出土がみられないことから、当初は廃棄とは異なる目的で作られたと考えられる。最終的には天明三年（1783）の浅間山噴火後に廃棄土壙として利用されたと推定される。

遺物は多量に出土しており、陶磁器類は肥前系



第661図 区画AD土壌(4)

磁器の鉄釉が帯状に施釉される筒形碗(第664図41・42)、広東碗(第666図62)が最新期と考えられる。磁器は肥前系磁器のくらわんか手碗、筒形碗、小丸碗、小広東碗を主体とし、特に筒形碗の出土量が多い。また、全体的な陶磁器の様相としては、碗類が極めて多く、皿は比較的小法量である五寸皿や手塩皿が多い。徳利も目立ち、土瓶もみられることから商売性の高い様相である。区画ADは『絵図』にみえる「煮賣屋/兵藏」に相当

する。実態に即しているように思われるが、隣接する区画AE「旅籠屋/吉田屋/太左衛門」に関わると考えられる「吉田屋」銘染付と推定される筒形碗(第664図40)、釘書「吉田屋」がみえる瓦質土器の平底焙烙(第681図250)が出土している。また、紅坯と思われる小法量の坯(第666図75~83)や浅紅坯(第671図164~167)が出土しており、旅籠屋の様相が垣間見える。「旅籠屋/吉田屋/太左衛門」の区画が18世紀末~19世紀前

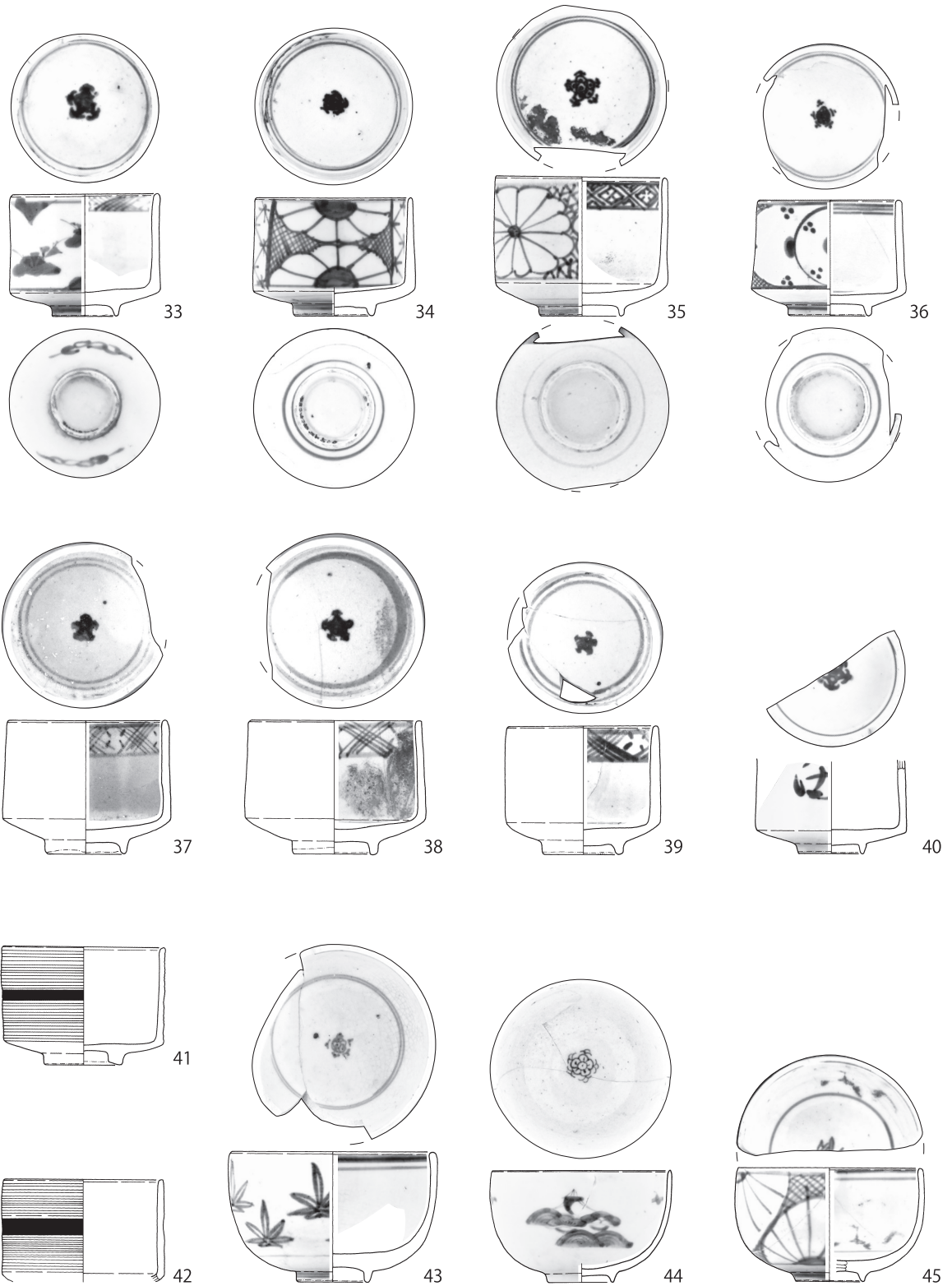




第 662 図 第 500 号土壙出土遺物 (1)



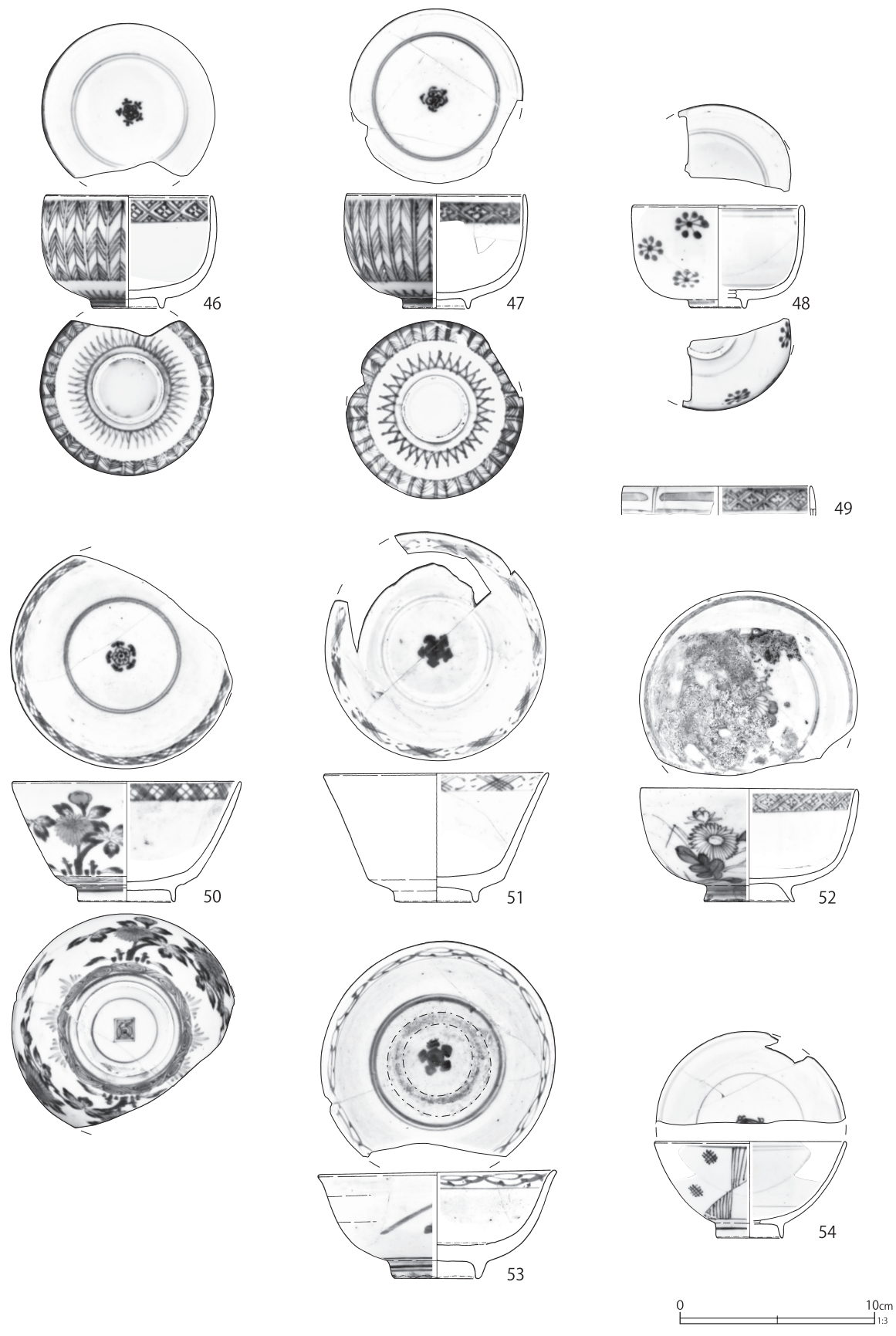
第 663 图 第 500 号土壙出土遺物 (2)



0 10cm  
1:3

第 664 図 第 500 号土壙出土遺物 (3)



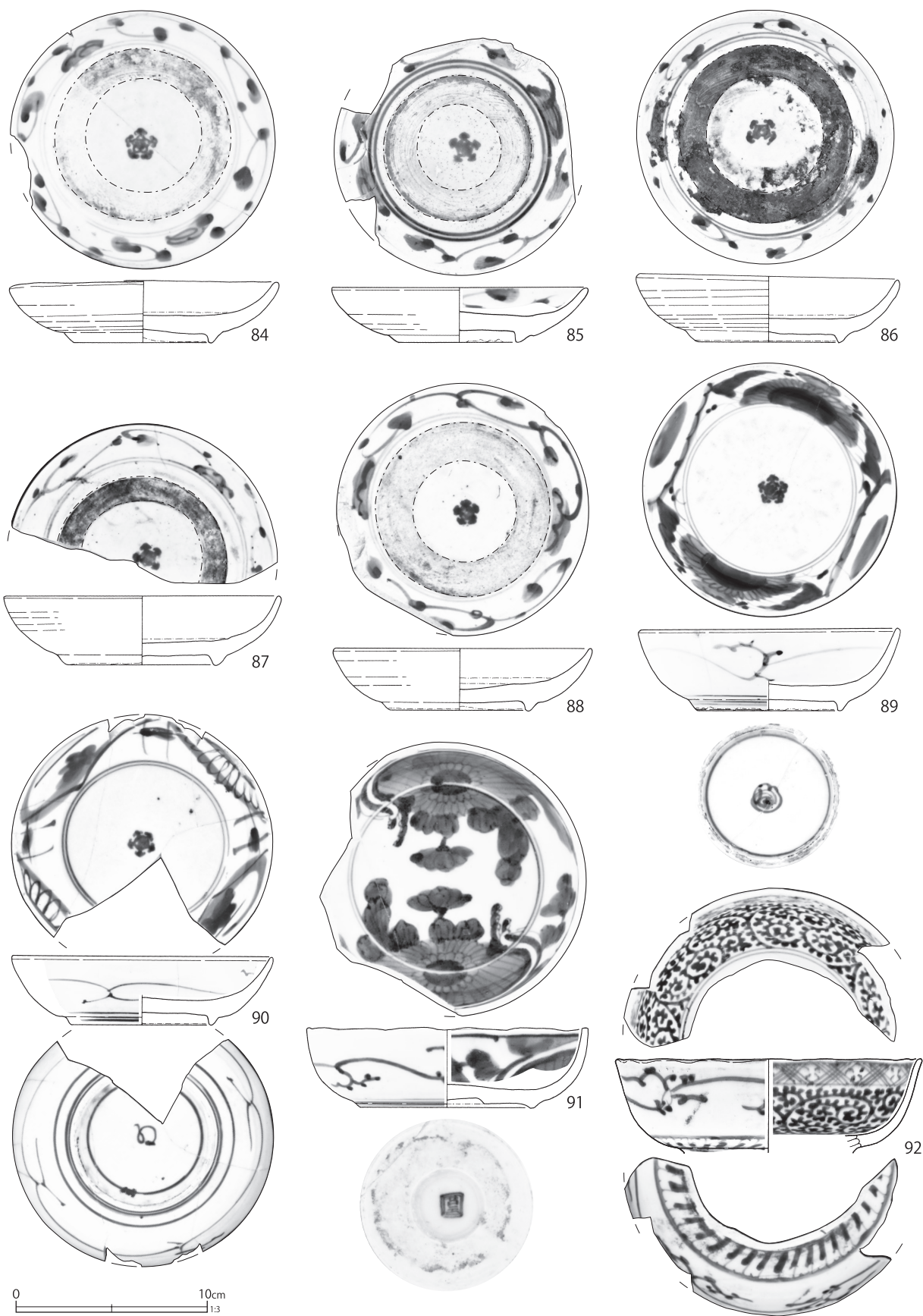


第 665 图 第 500 号土壤出土遺物 (4)

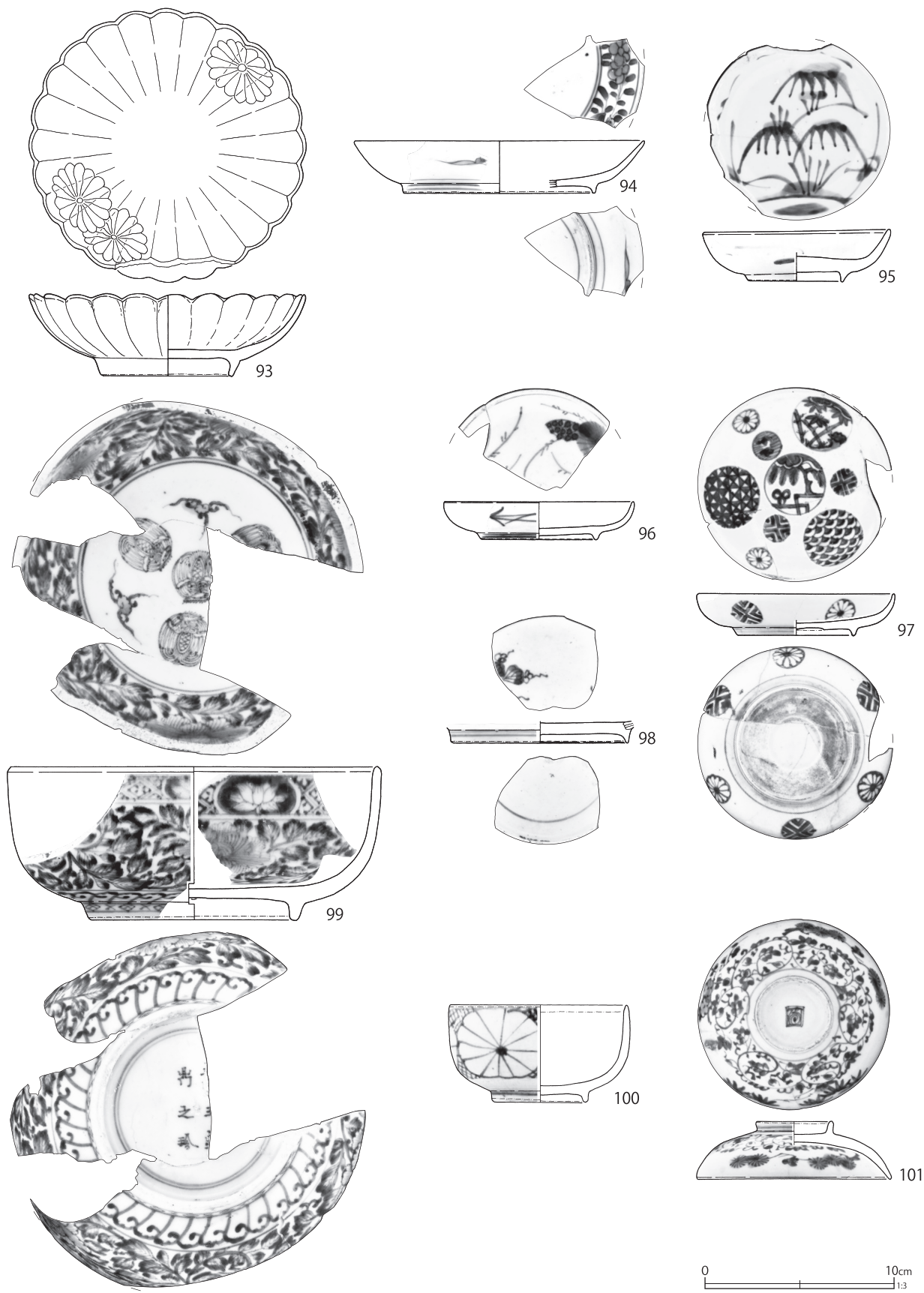


第 666 图 第 500 号土壙出土遺物 (5)





第 667 图 第 500 号土壙出土遺物 (6)

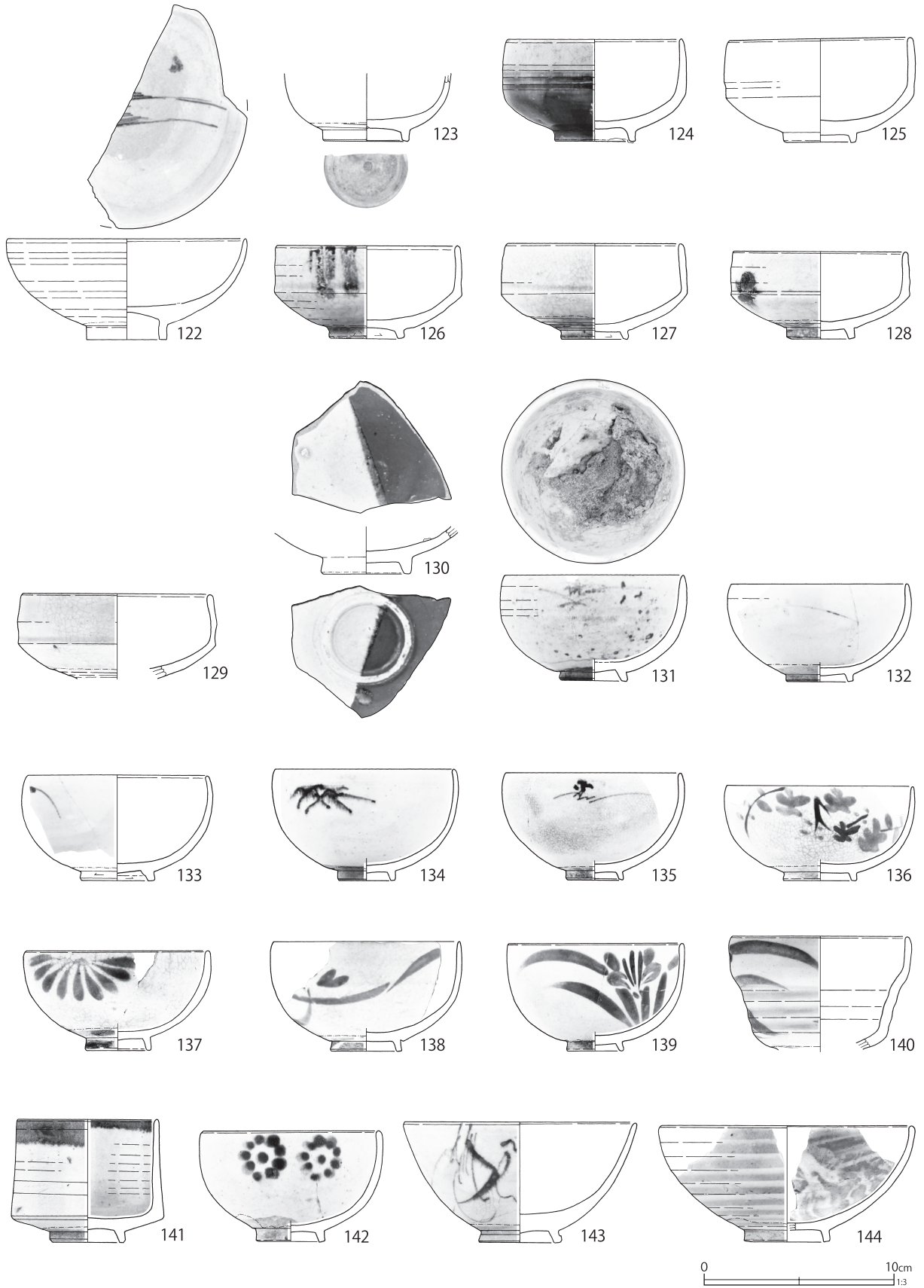


第 668 图 第 500 号土坑出土遗物 (7)

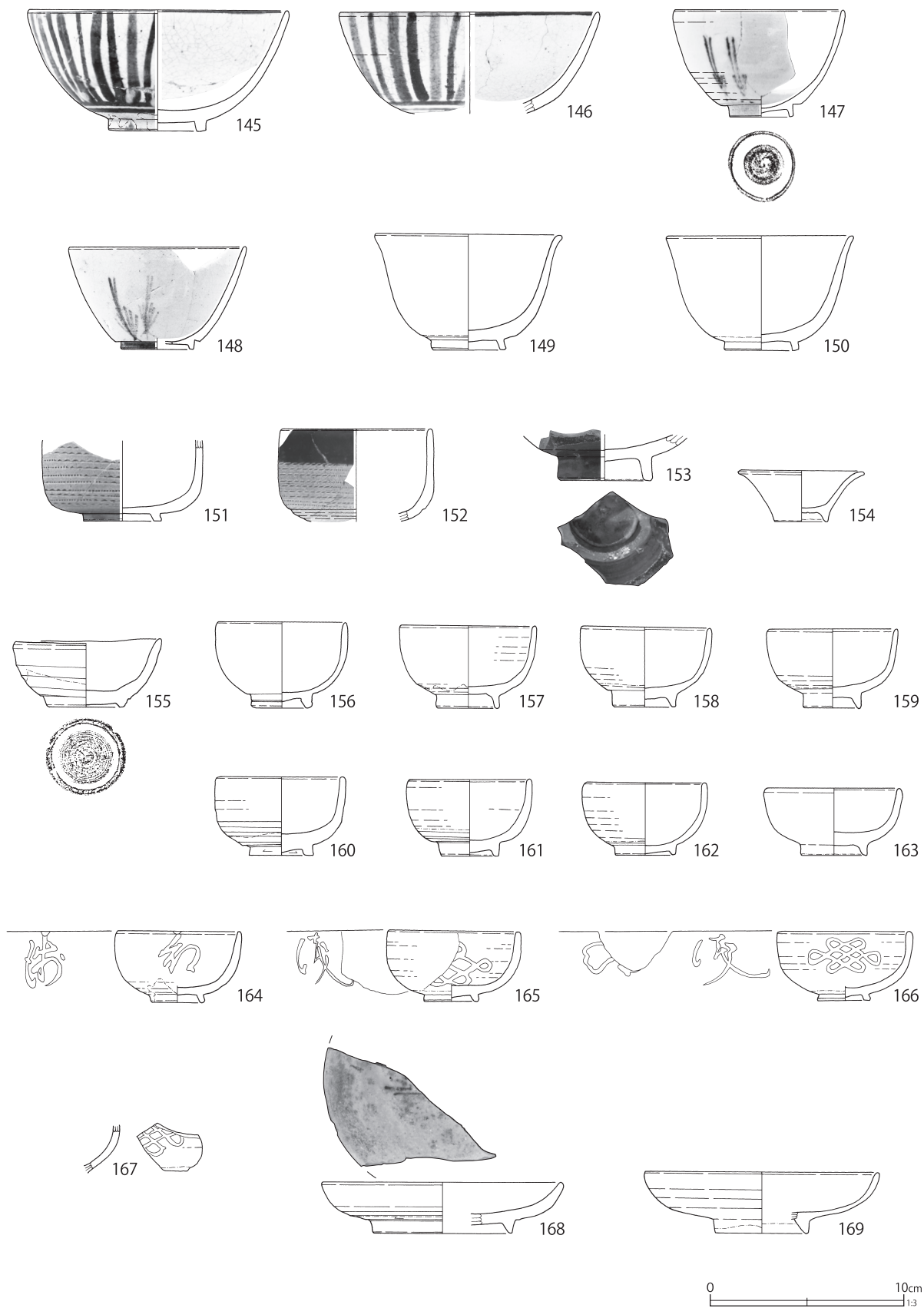


第 669 图 第 500 号土壙出土遺物 (8)



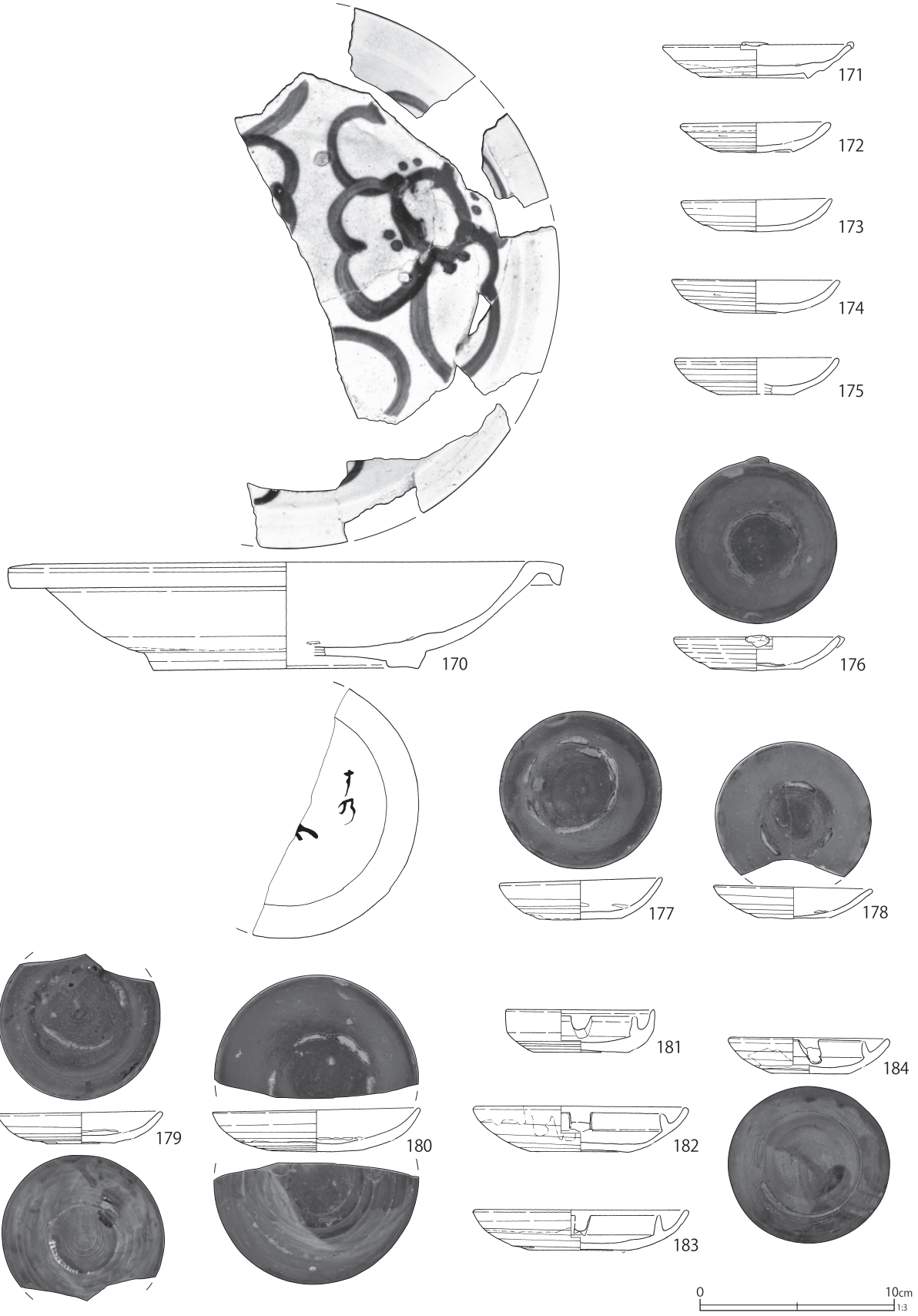


第 670 図 第 500 号土壙出土遺物 (9)

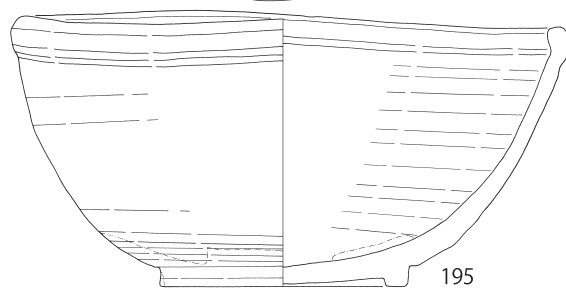
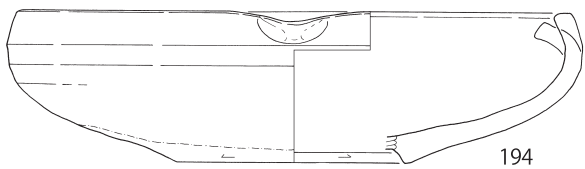
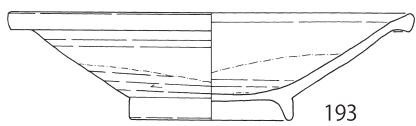
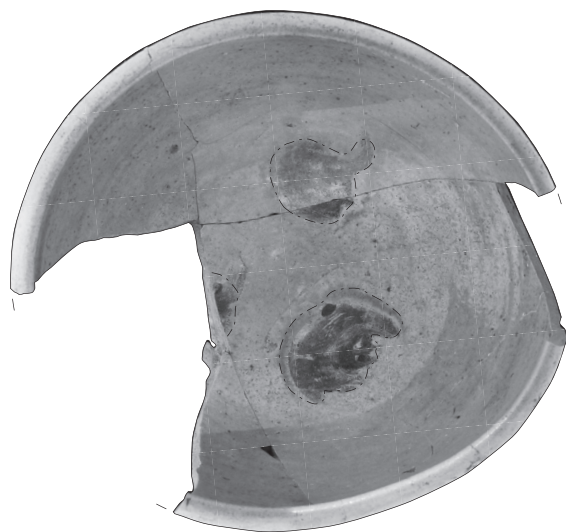
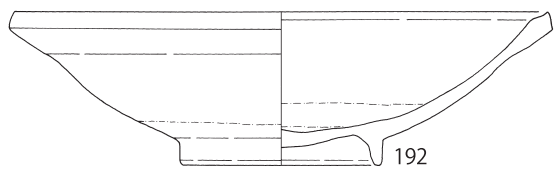
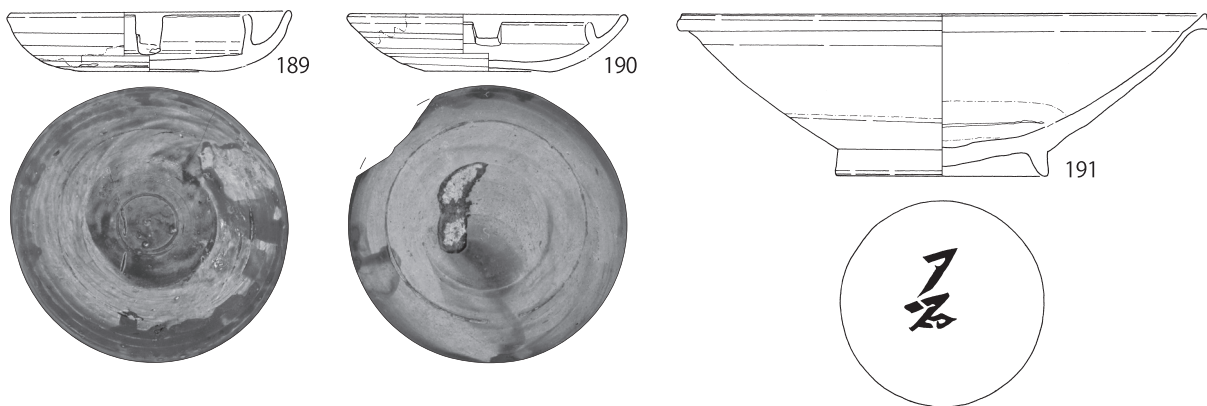
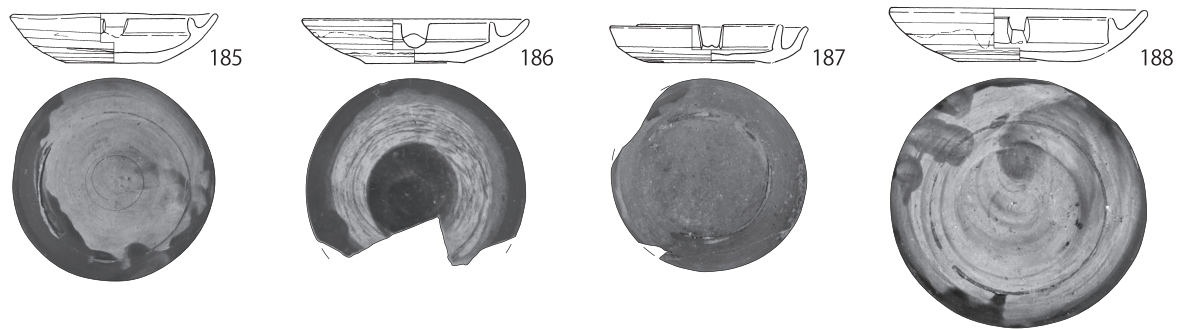


第 671 图 第 500 号土壙出土遺物 (10)





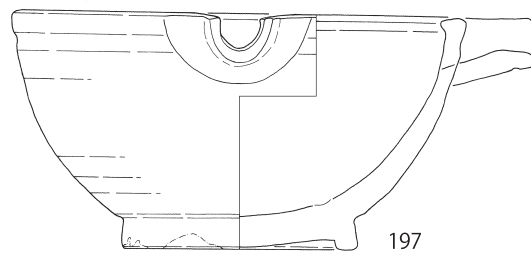
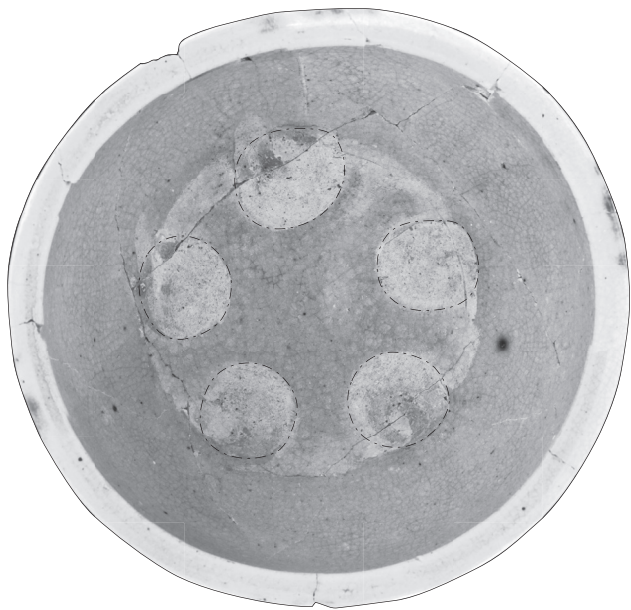
第 672 図 第 500 号土壙出土遺物 (11)



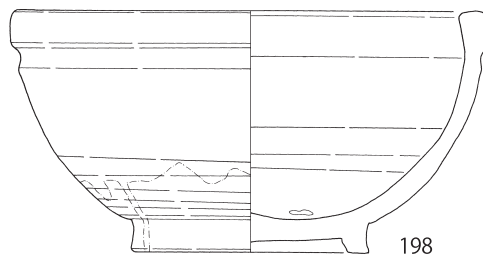
0 10cm  
195 1:4

0 10cm  
185~194 1:3

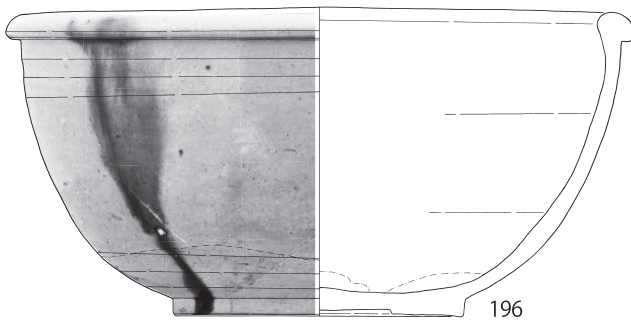
第 673 图 第 500 号土壙出土遺物 (12)



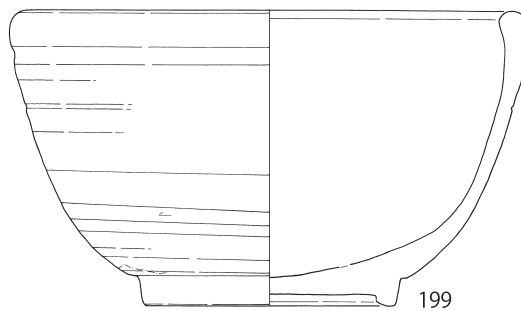
197



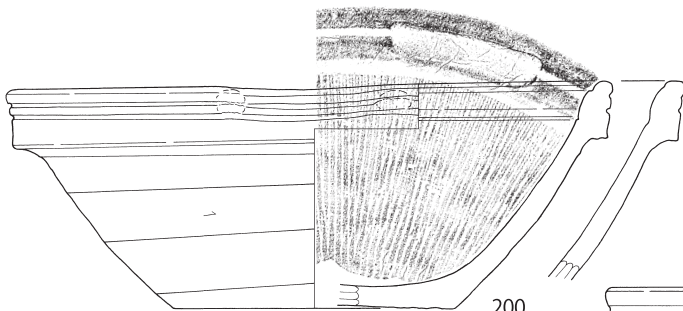
198



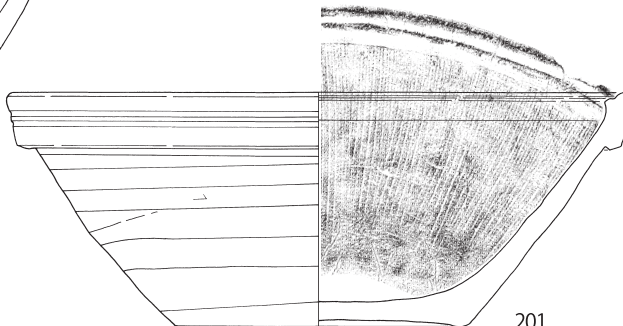
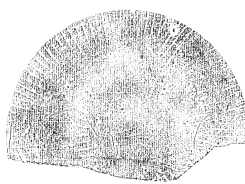
196



199



200

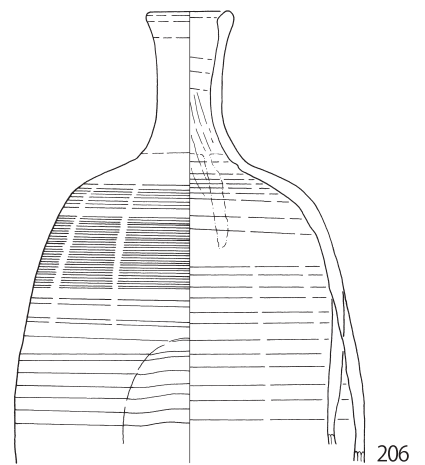
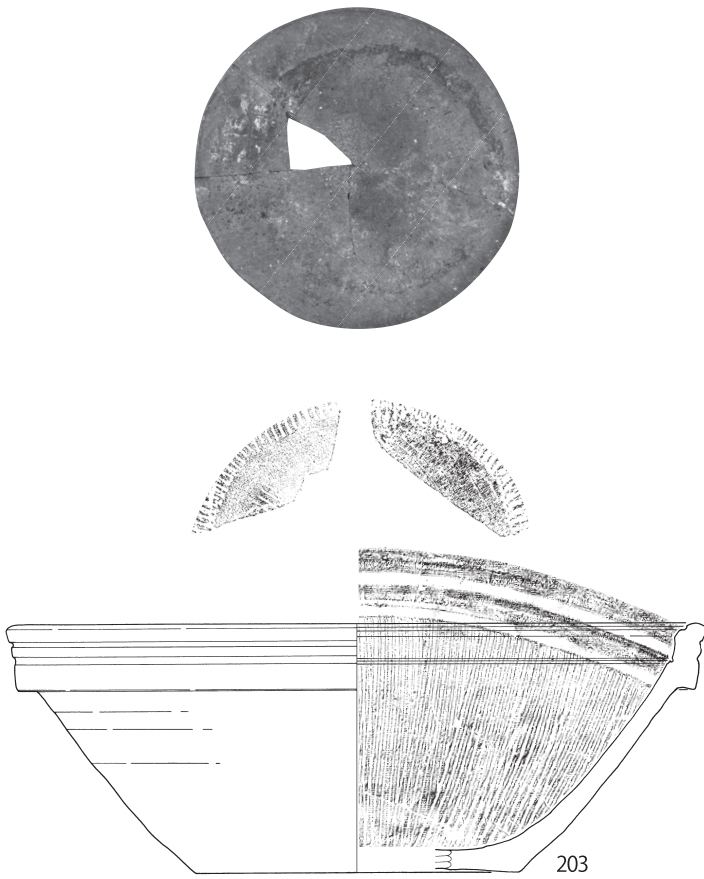
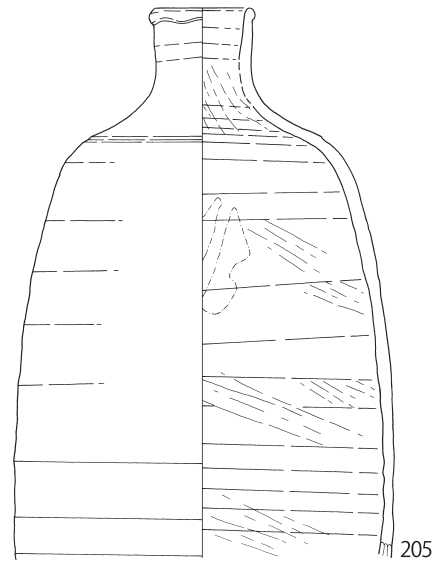
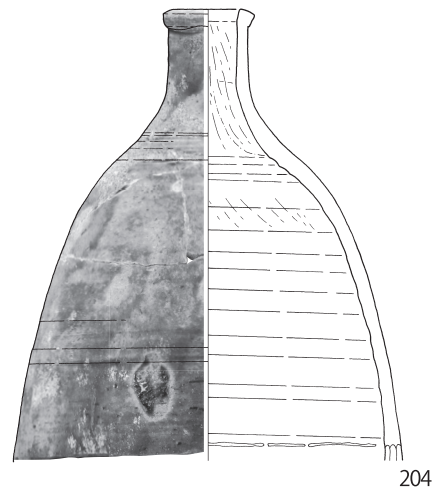
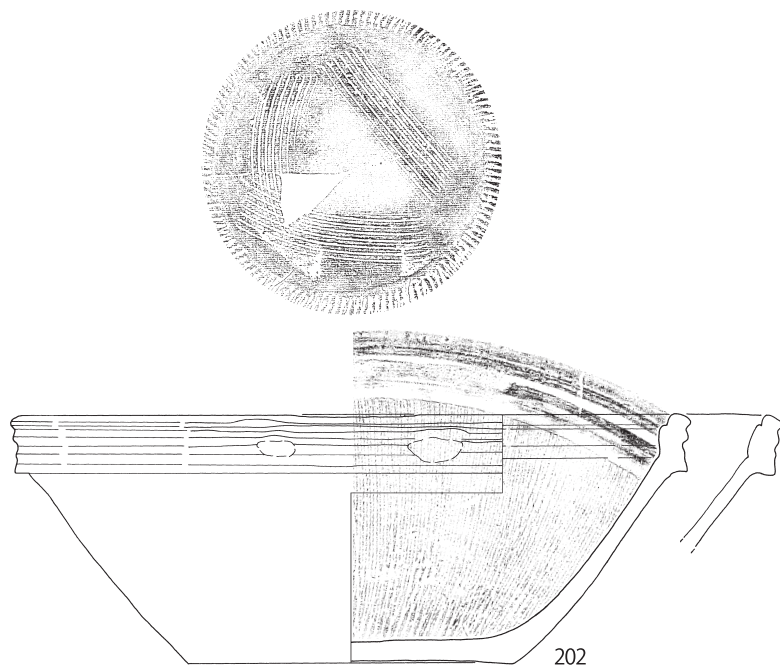


201

196・200・201  $\frac{0}{10\text{cm}}$   $\frac{1}{14}$

197~199  $\frac{0}{10\text{cm}}$   $\frac{1}{13}$

第 674 図 第 500 号土壙出土遺物 (13)

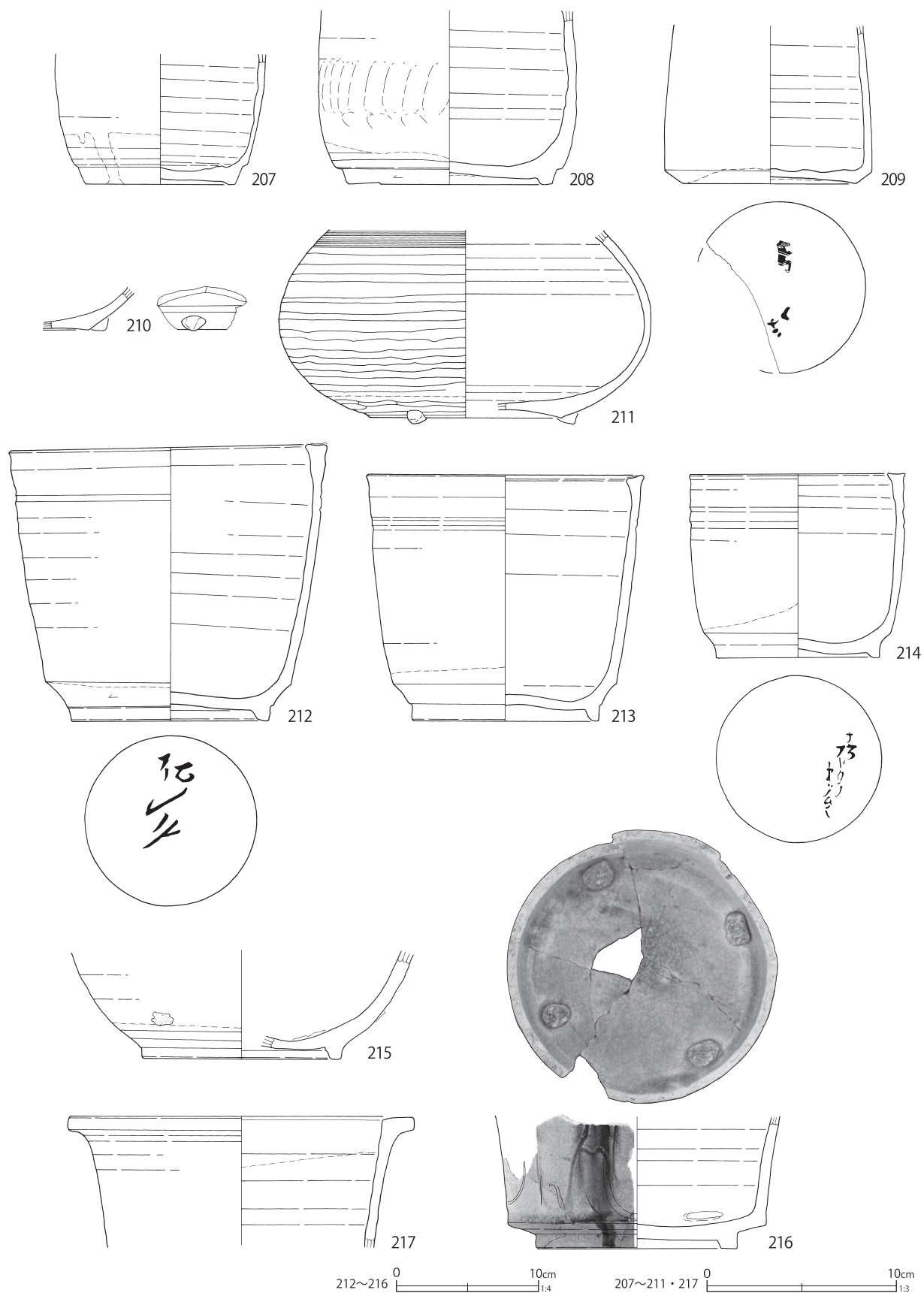


202・203 0 10cm  
1:4

204~206 0 10cm  
1:3

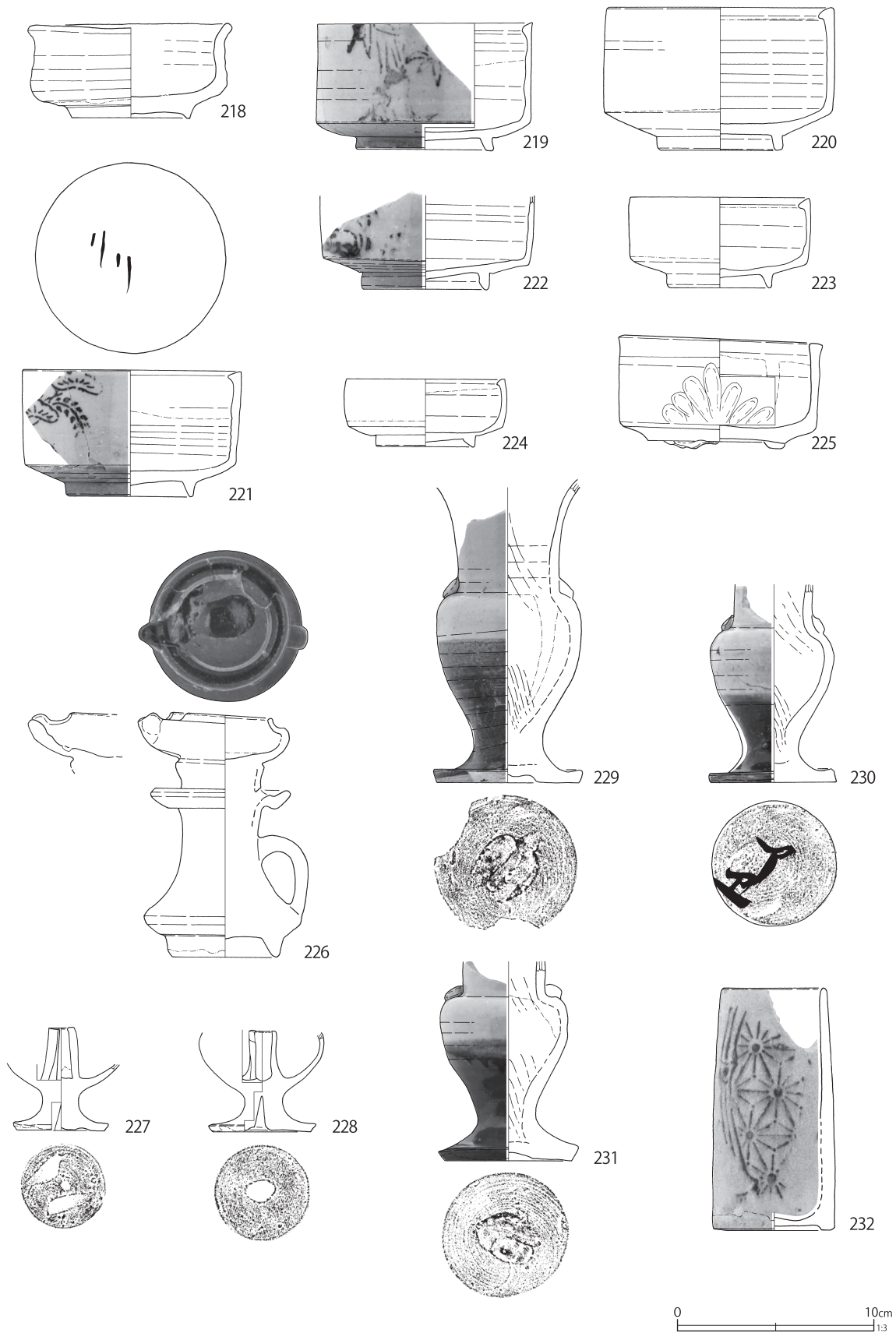
第 675 图 第 500 号土壙出土遺物 (14)



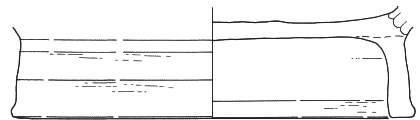
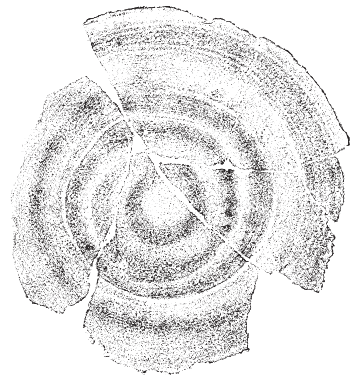
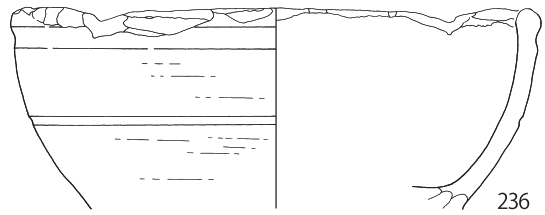
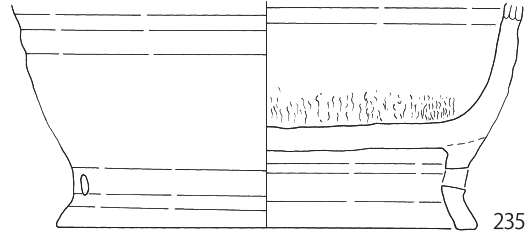
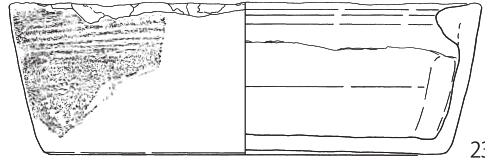
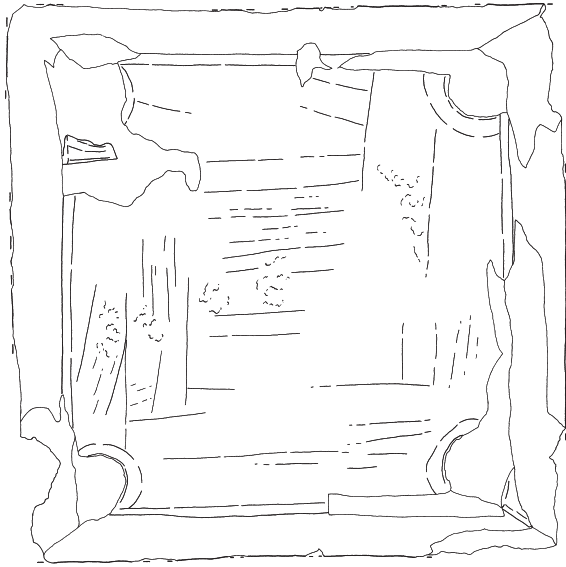
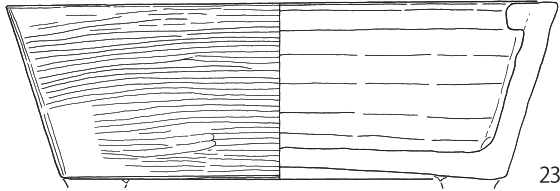
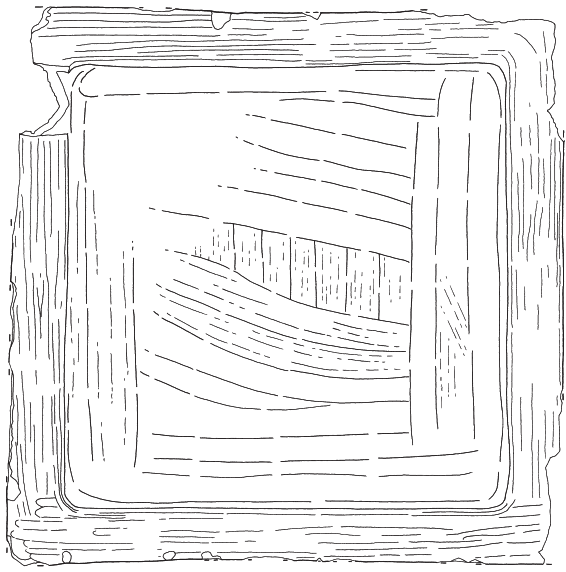


第 676 図 第 500 号土壙出土遺物 (15)

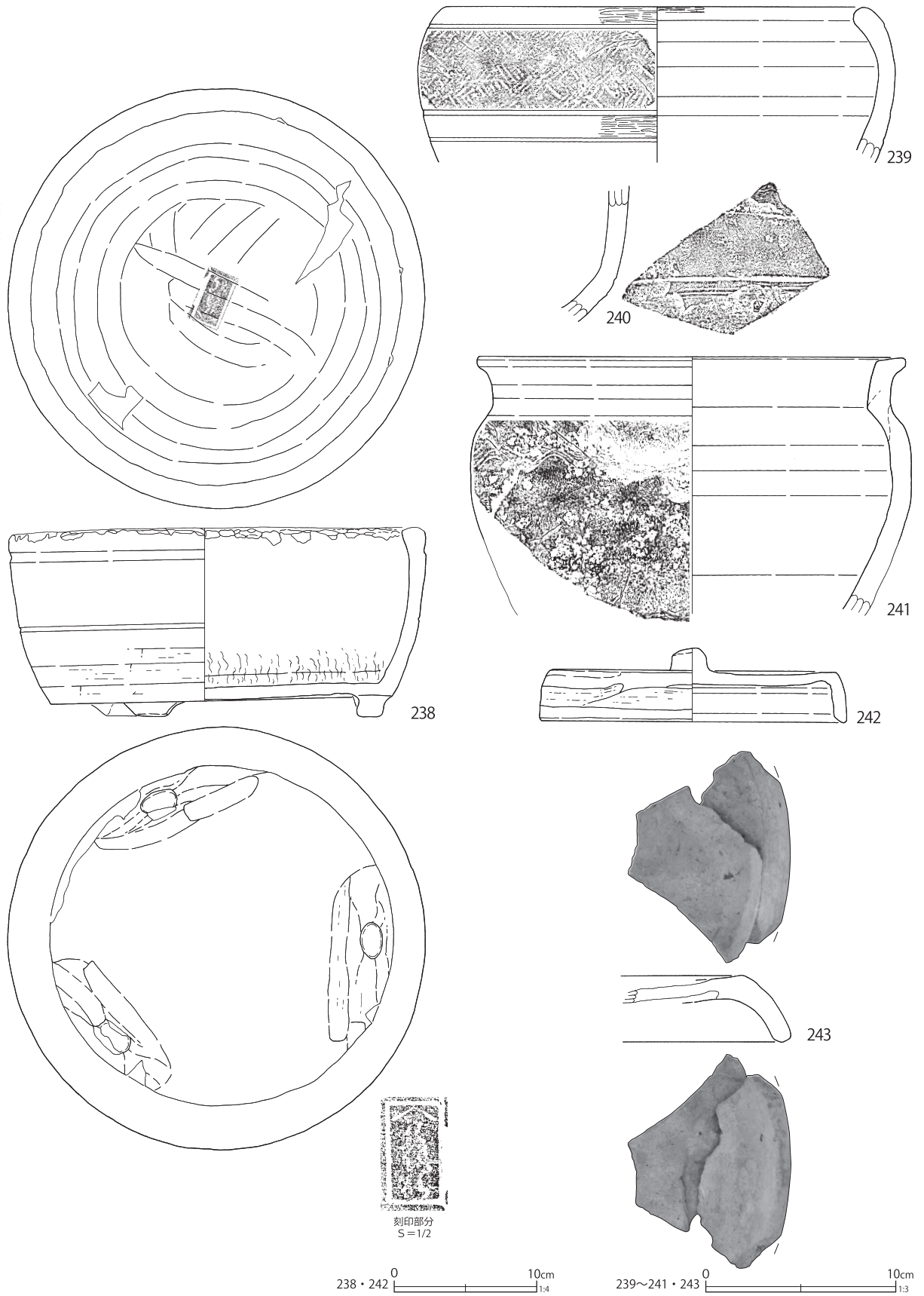




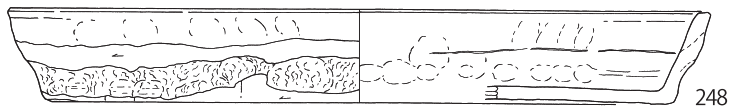
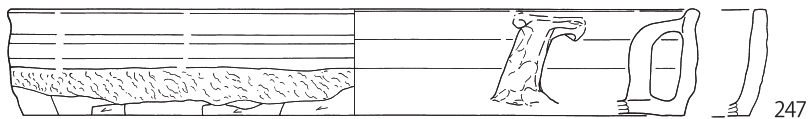
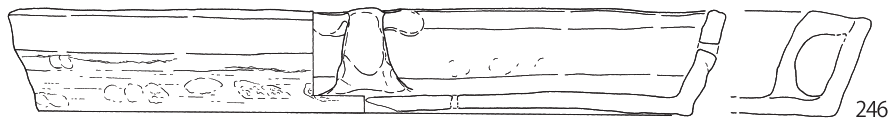
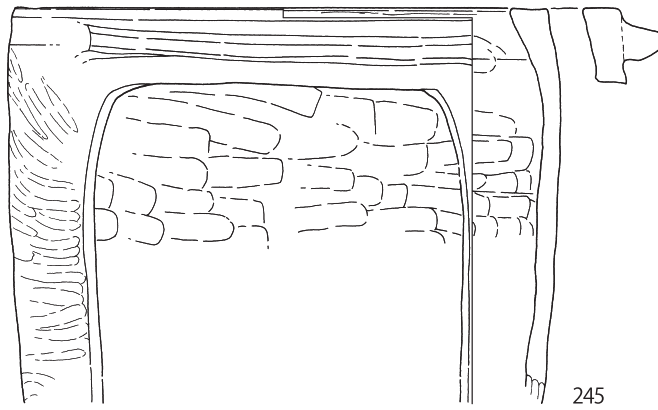
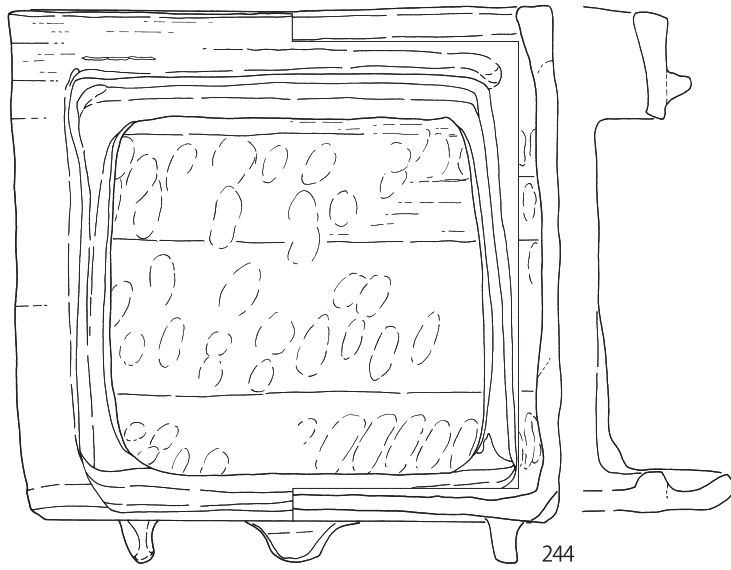
第 677 图 第 500 号土壙出土遺物 (16)



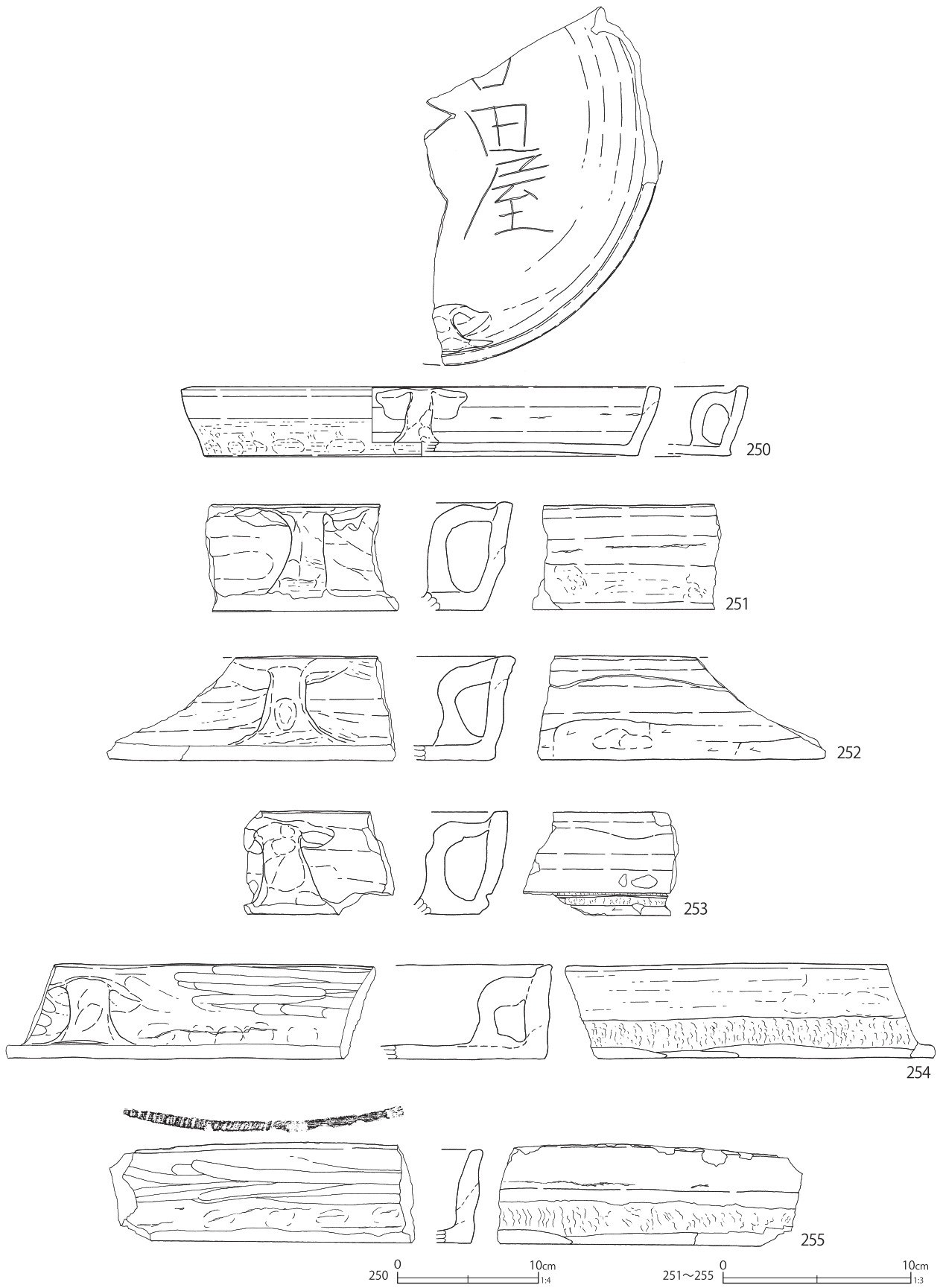
第 678 図 第 500 号土壙出土遺物 (17)



第 679 图 第 500 号土壙出土遺物 (18)

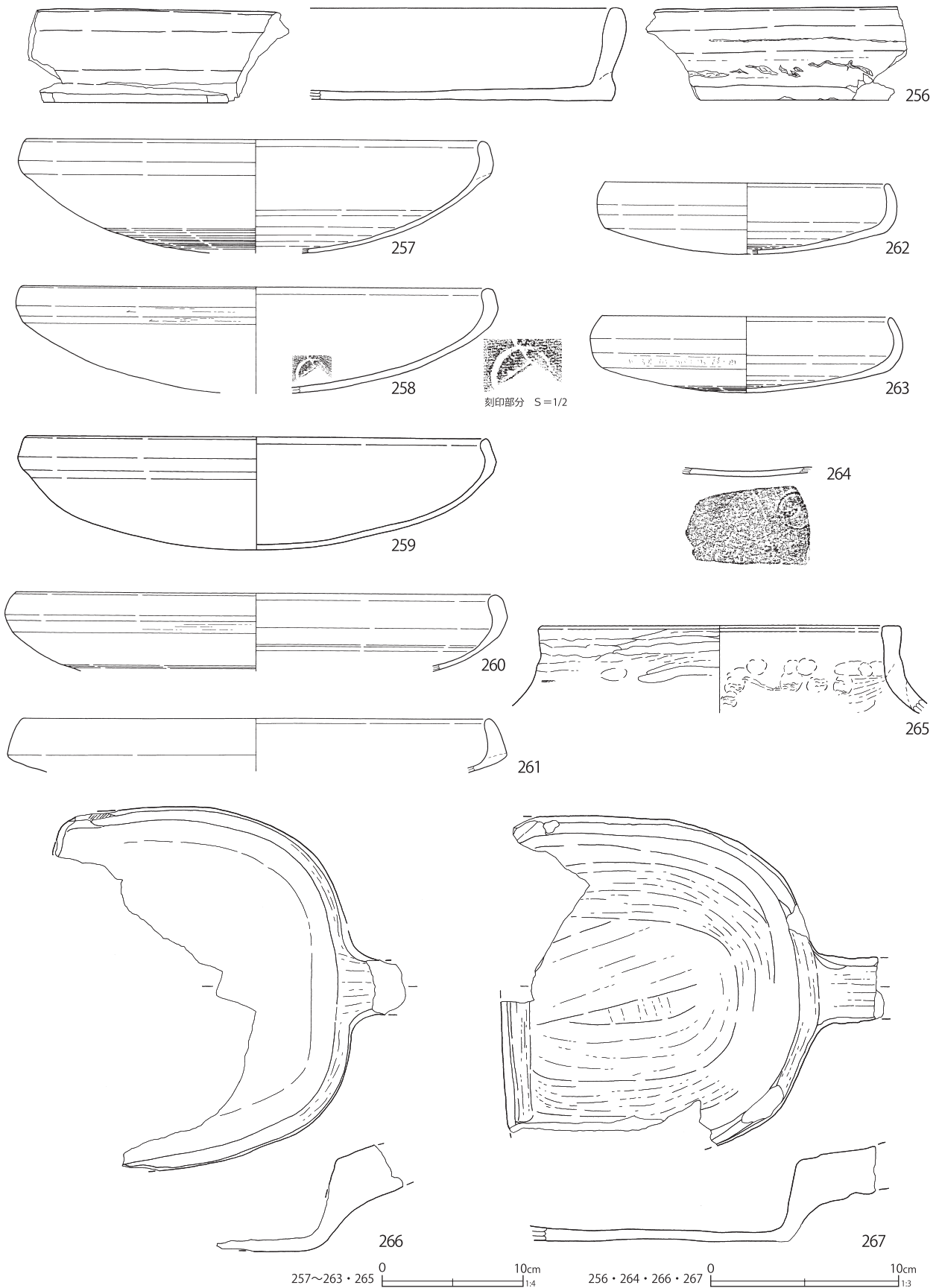


第 680 図 第 500 号土壙出土遺物 (19)

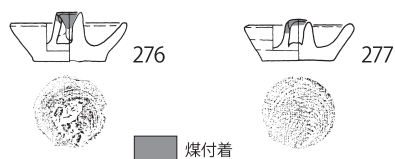
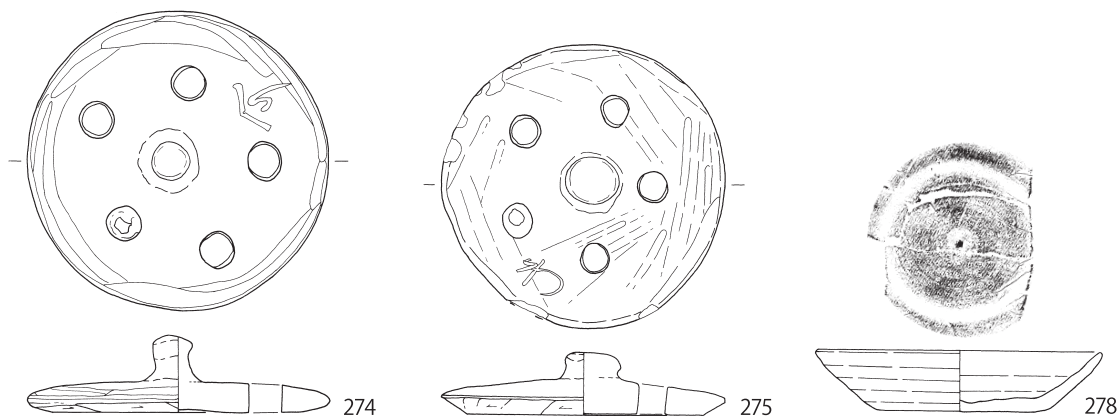
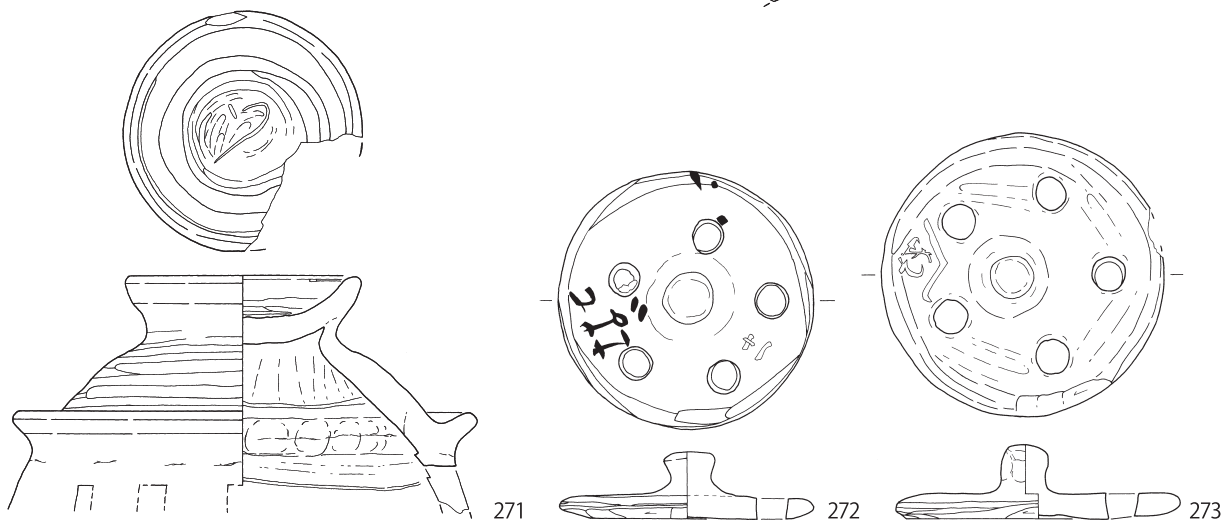
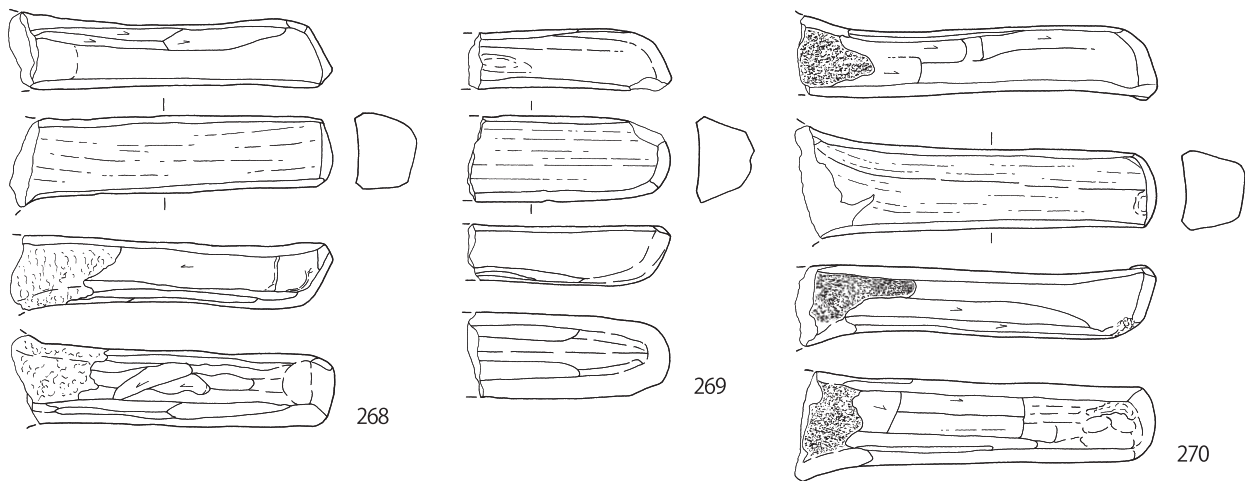


第 681 图 第 500 号土壤出土遺物 (20)





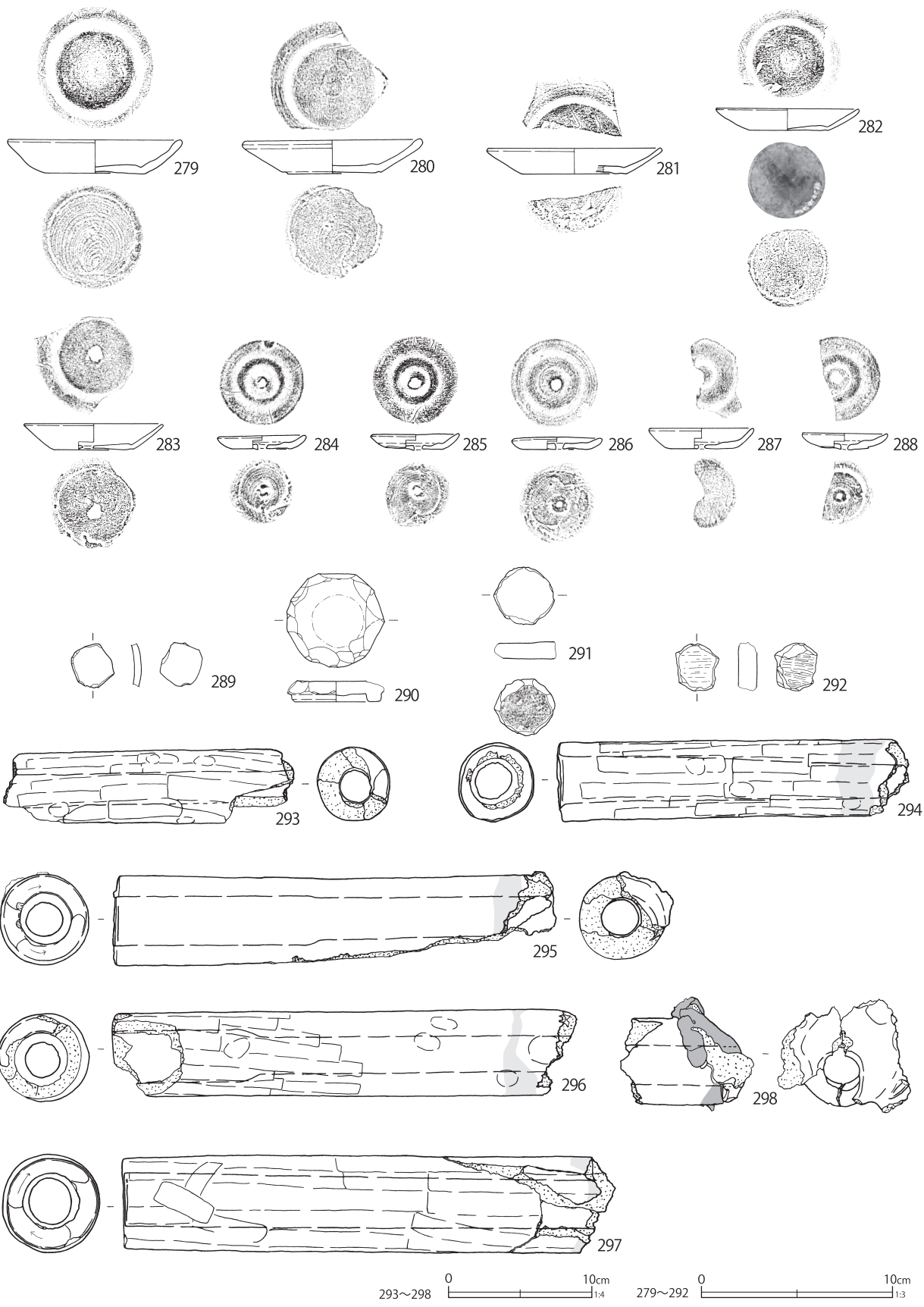
第 682 図 第 500 号土壙出土遺物 (21)



煤付着

0 10cm 13

第 683 图 第 500 号土壤出土遺物 (22)



第 684 図 第 500 号土壙出土遺物 (23)

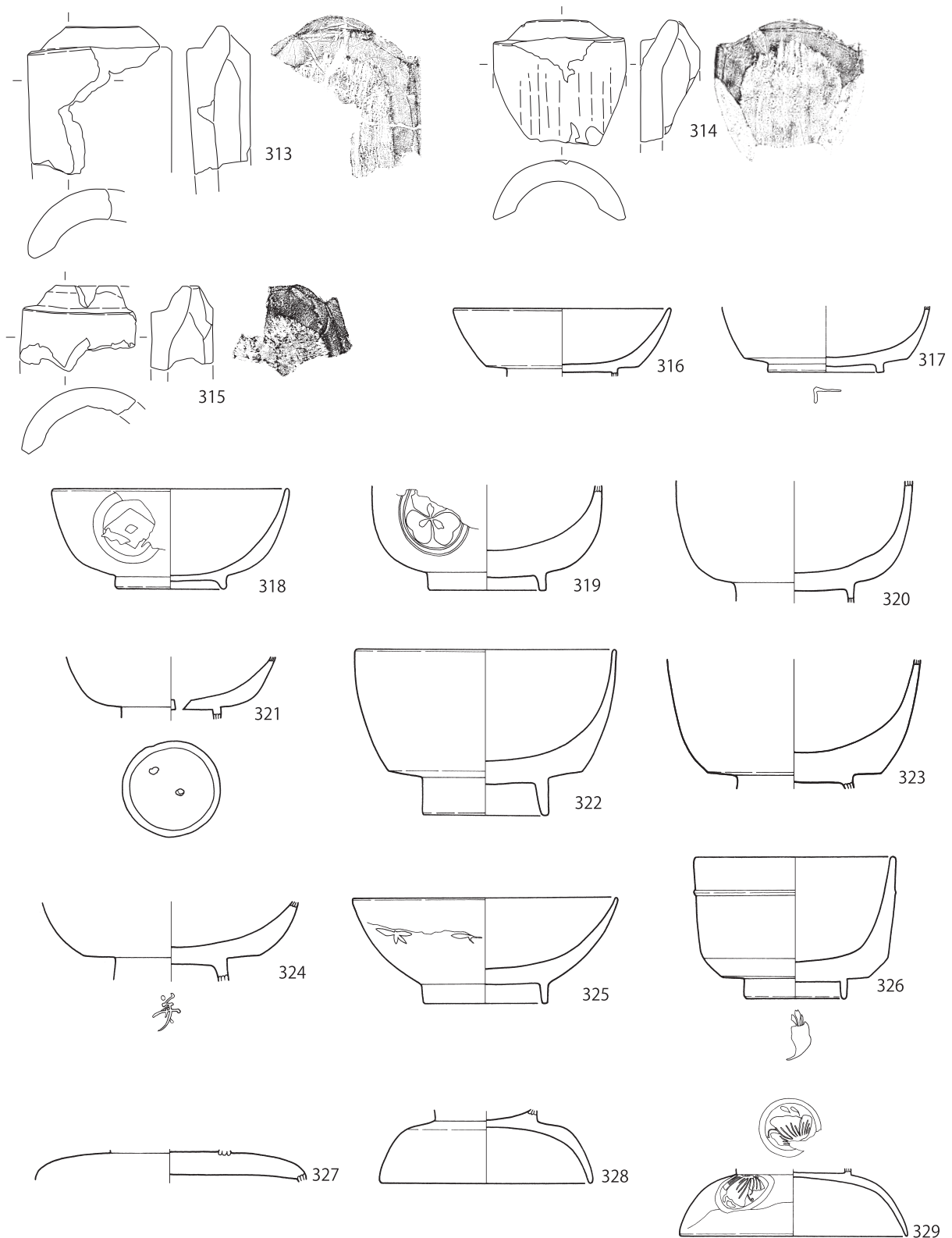


300~305 0 5cm  
1:2

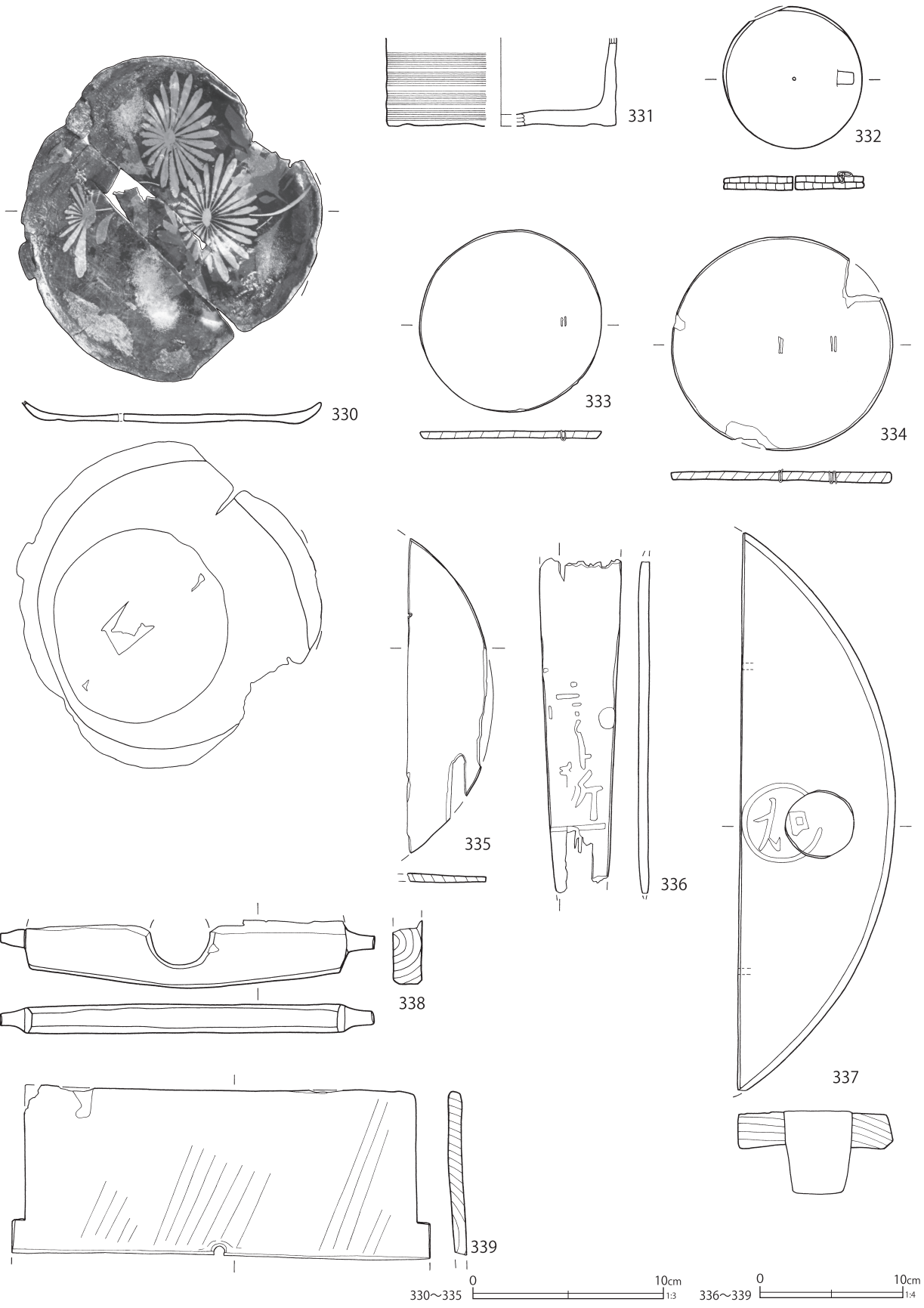
299・306~312 0 10cm  
1:4

第 685 图 第 500 号土壙出土遺物 (24)

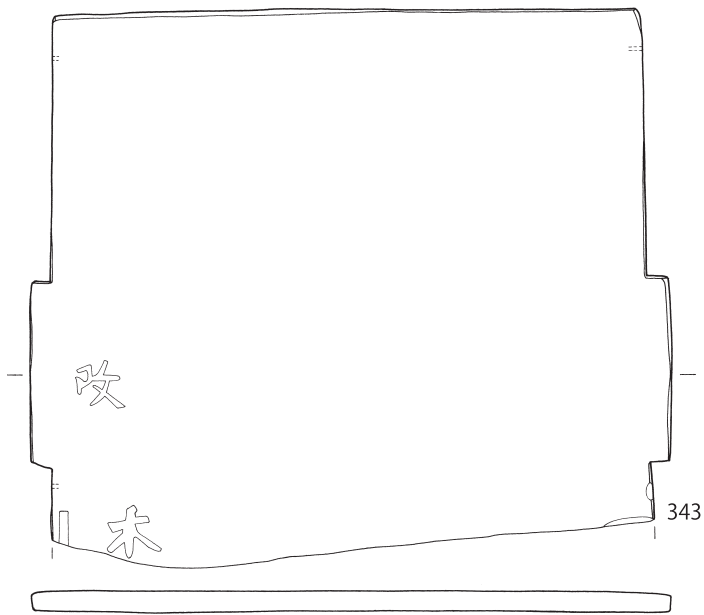
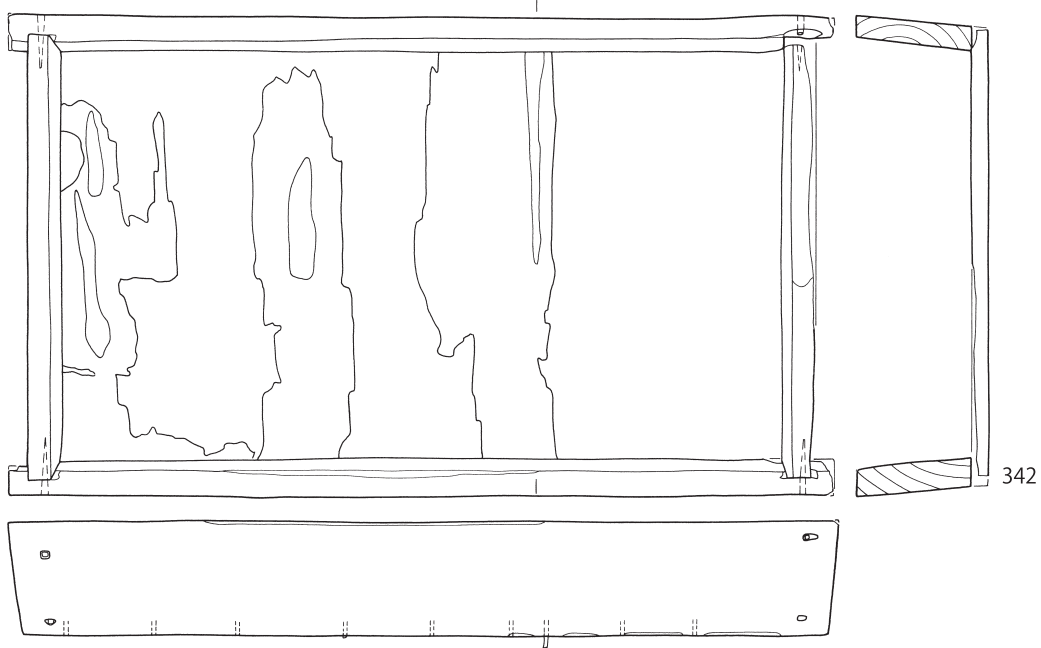
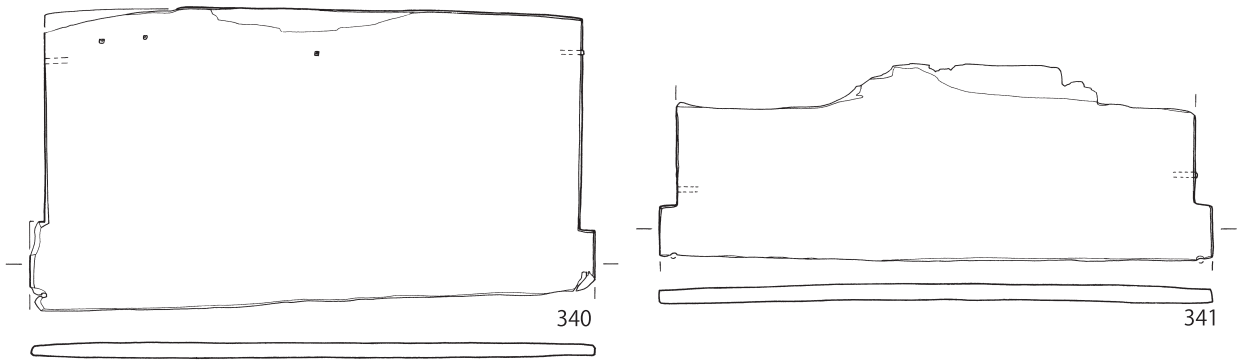




第 686 図 第 500 号土壙出土遺物 (25)



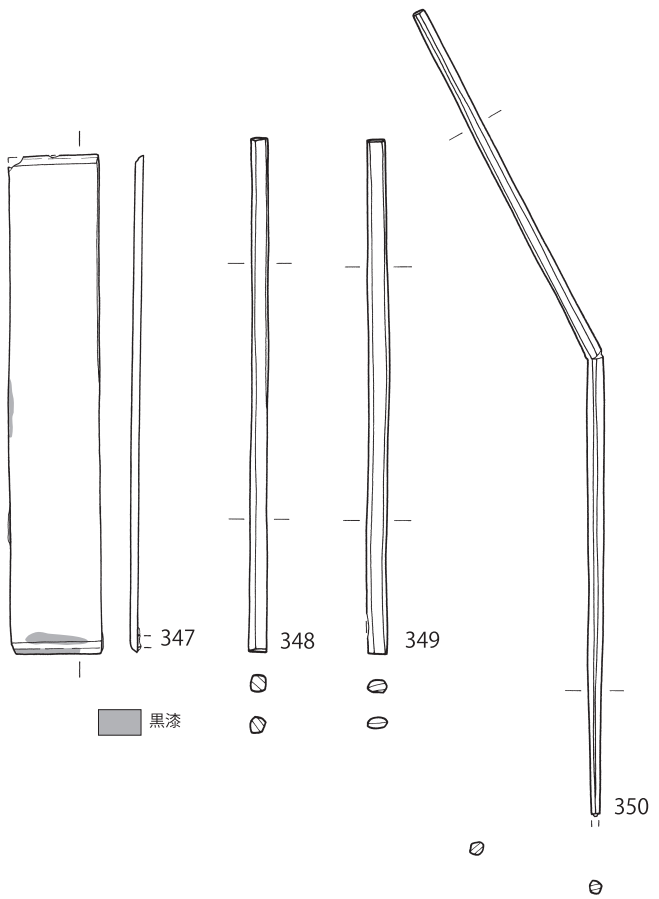
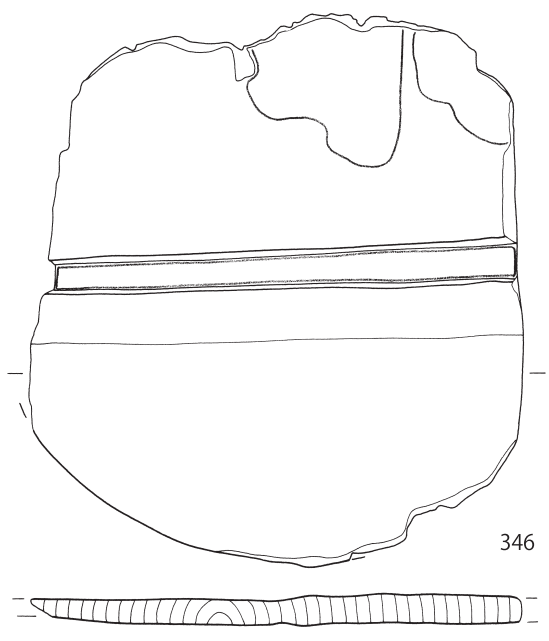
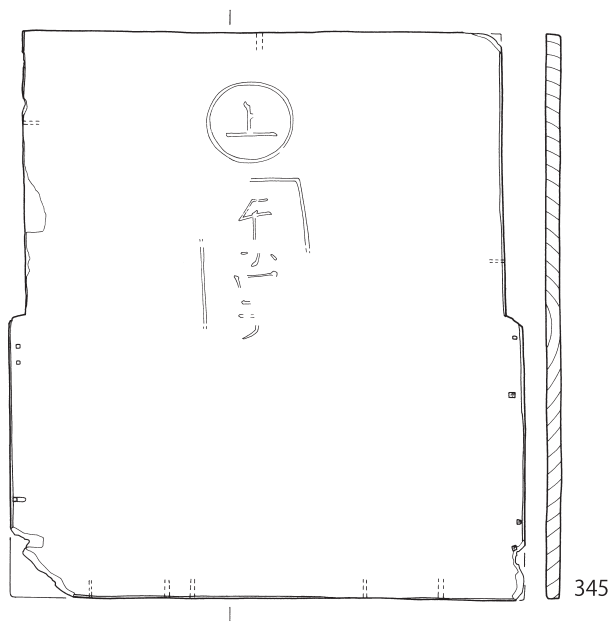
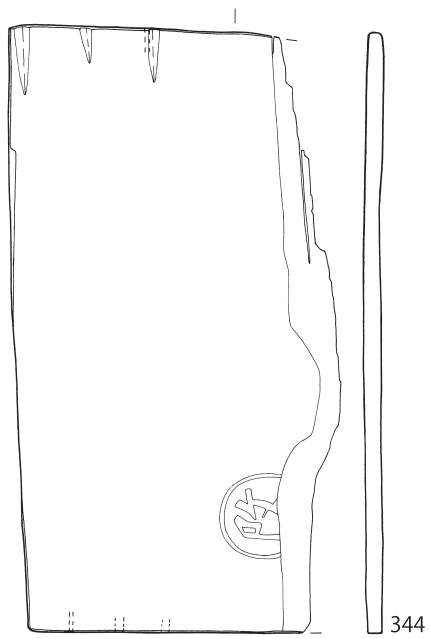
第 687 图 第 500 号土壤出土遺物 (26)



340・341・343 0 10cm 1:4

342 0 20cm 1:6

第 688 図 第 500 号土壙出土遺物 (27)

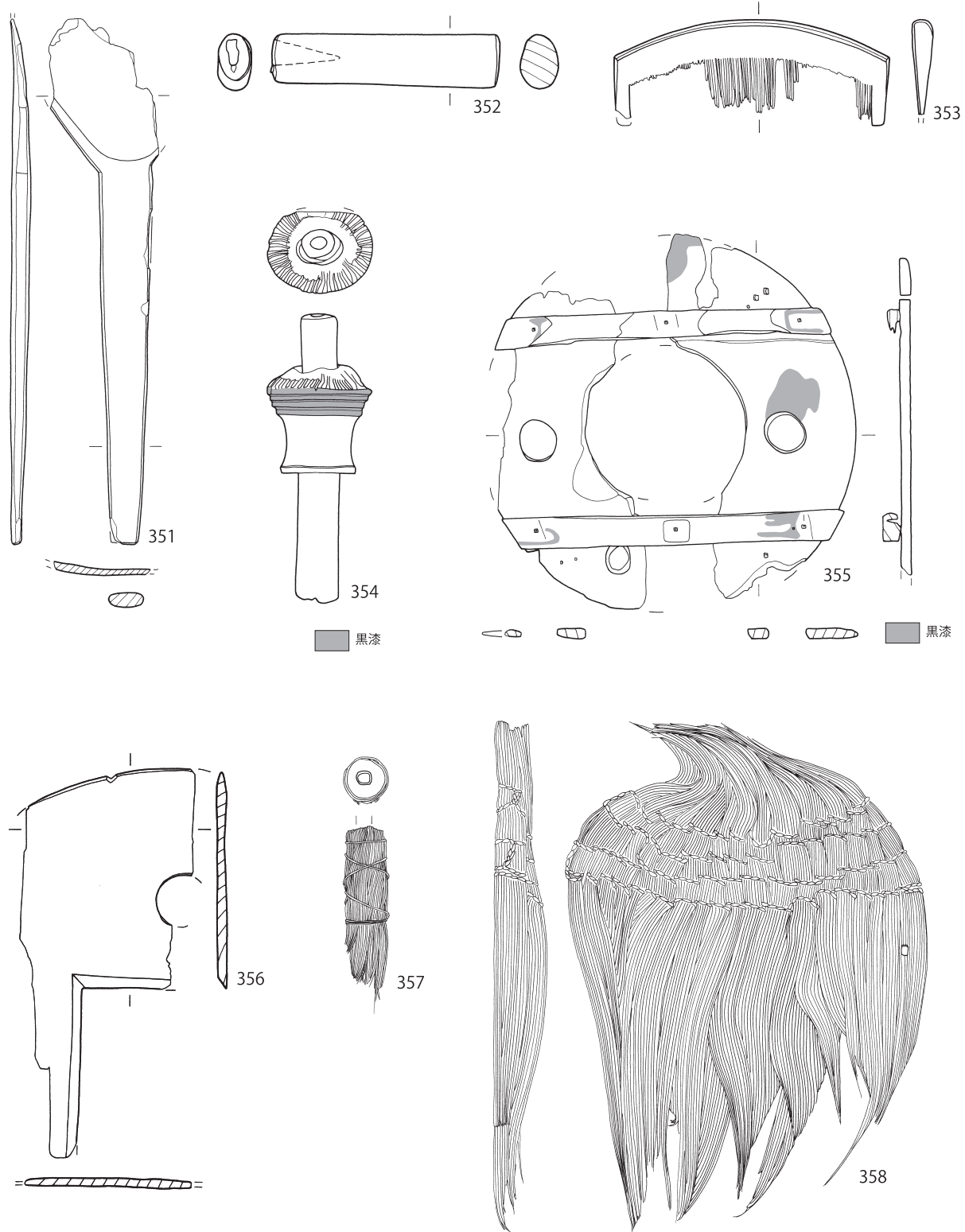


344・346~350 0 10cm 1:3

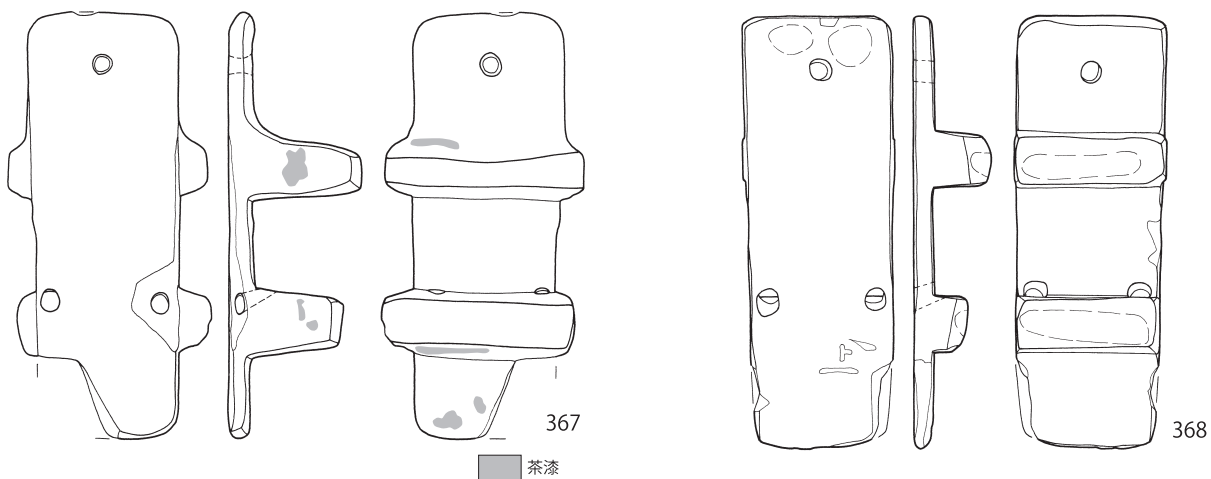
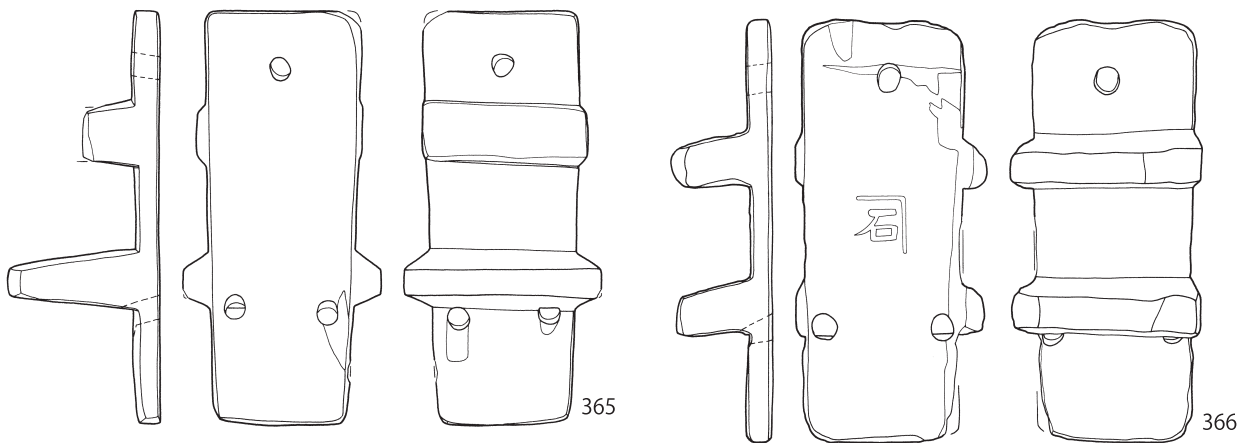
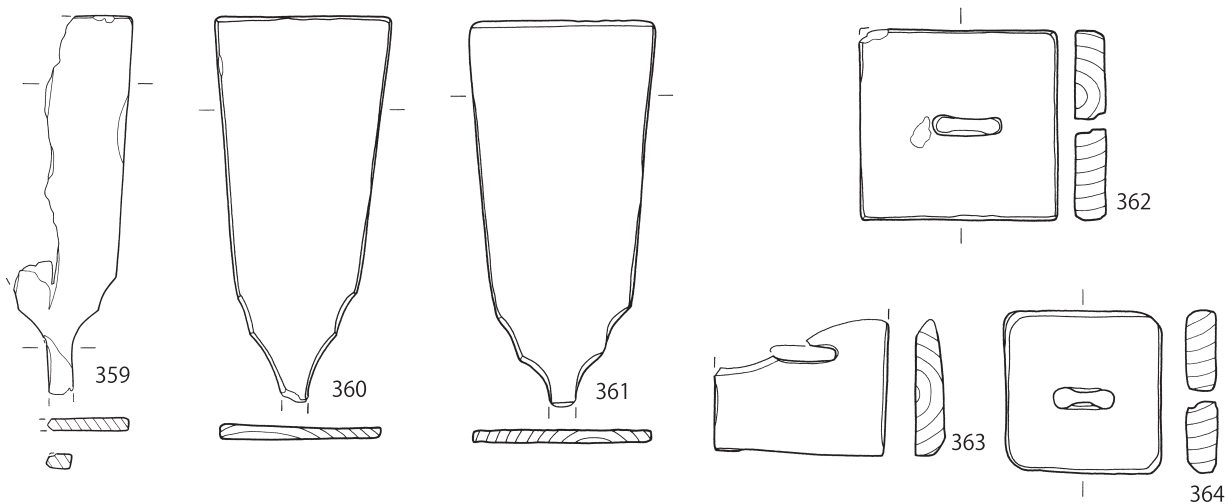
345 0 10cm 1:4

第 689 図 第 500 号土壙出土遺物 (28)





第 690 図 第 500 号土壙出土遺物 (29)

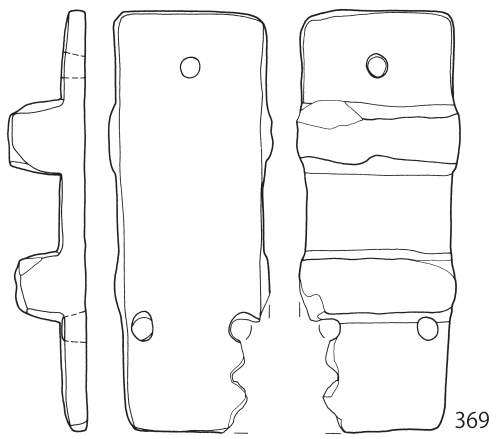


茶漆

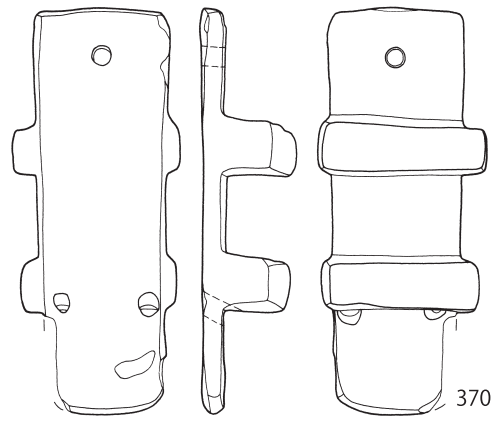
359~361・365~368 0 10cm 1:4

362~364 0 10cm 1:3

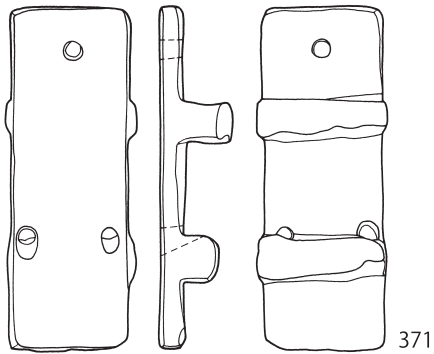
第 691 図 第 500 号土壙出土遺物 (30)



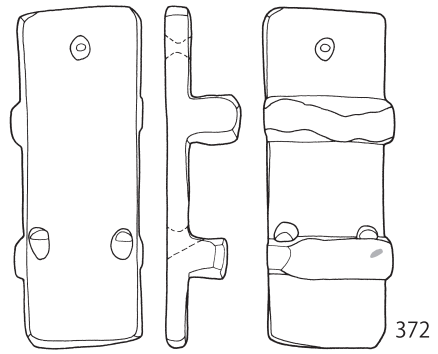
369



370

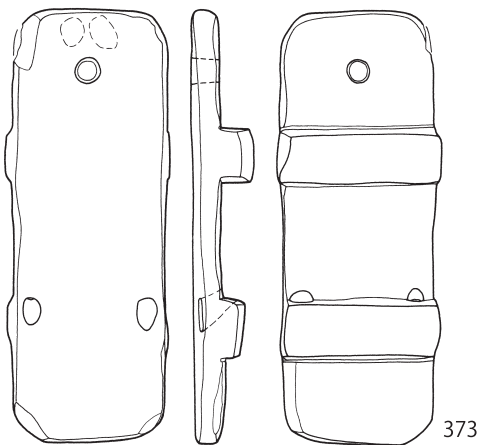


371

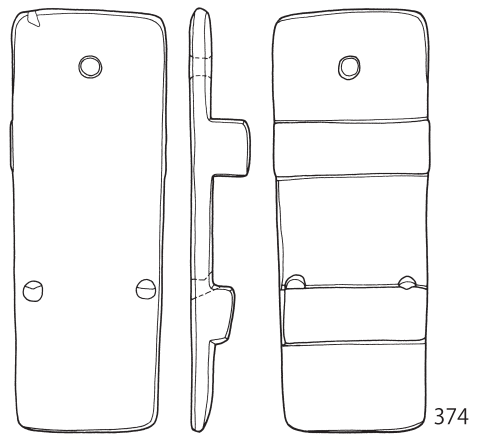


372

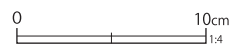
■ 黒漆



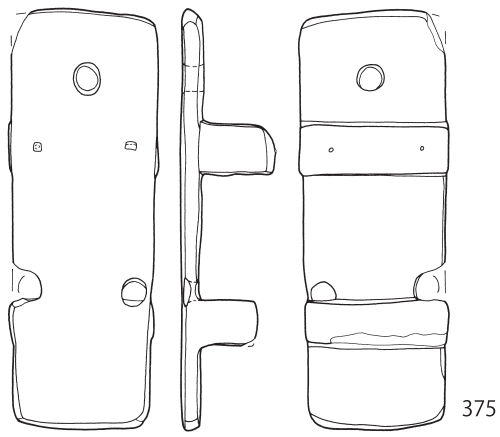
373



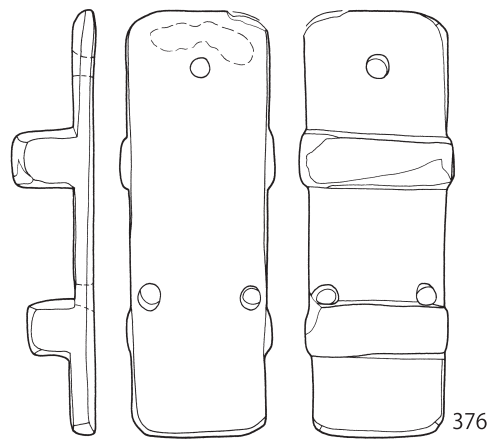
374



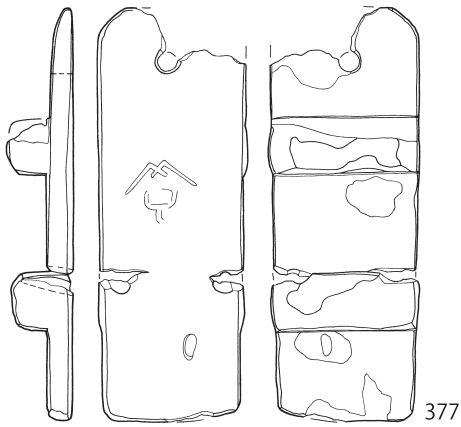
第 692 図 第 500 号土壙出土遺物 (31)



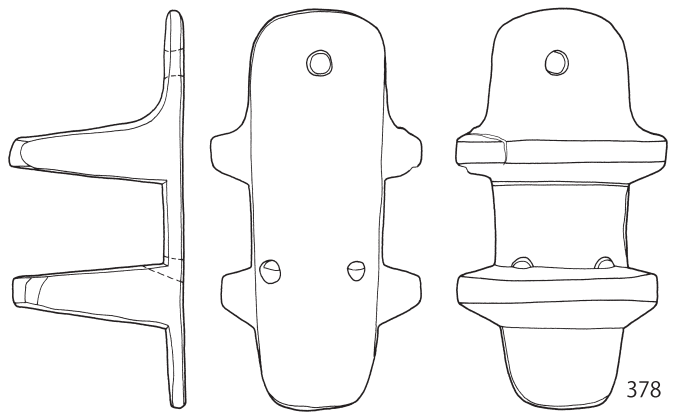
375



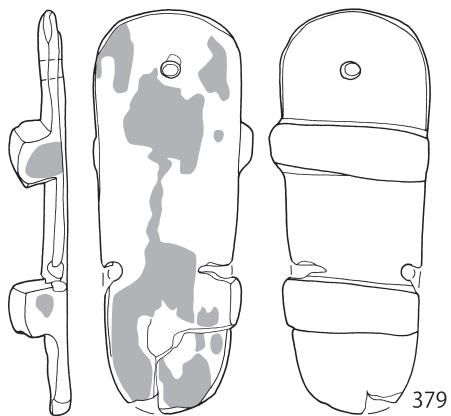
376



377

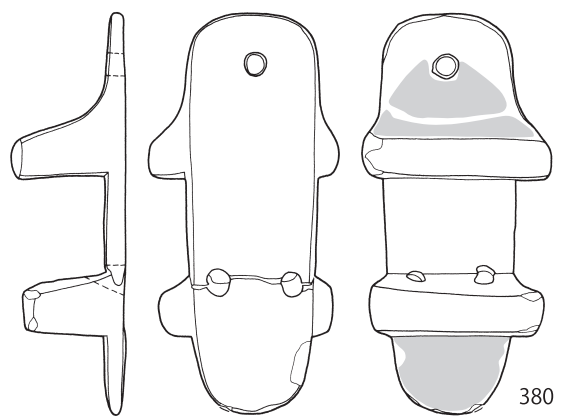


378



379

■ 黒漆



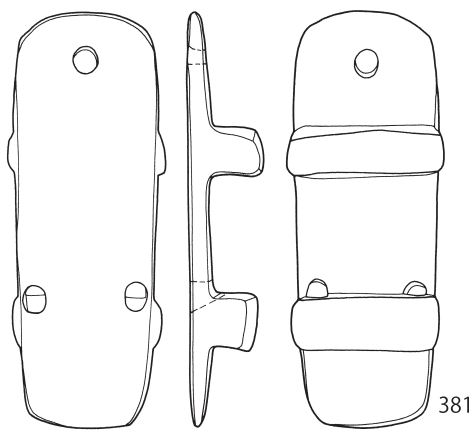
380

■ 朱漆

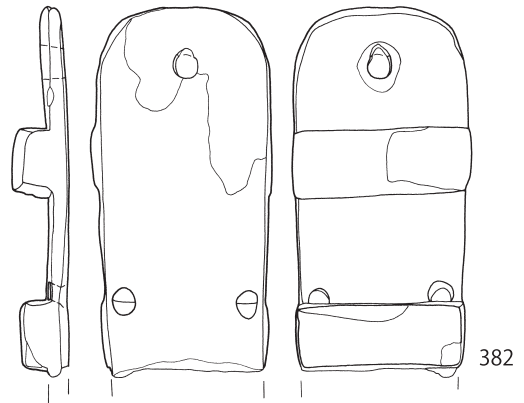


第 693 図 第 500 号土壙出土遺物 (32)

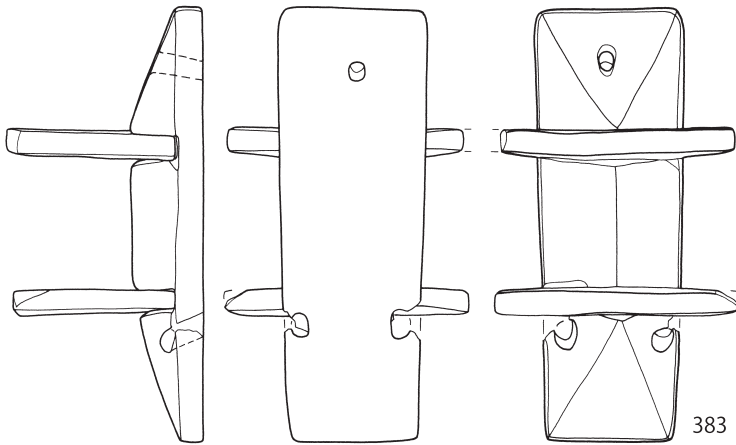




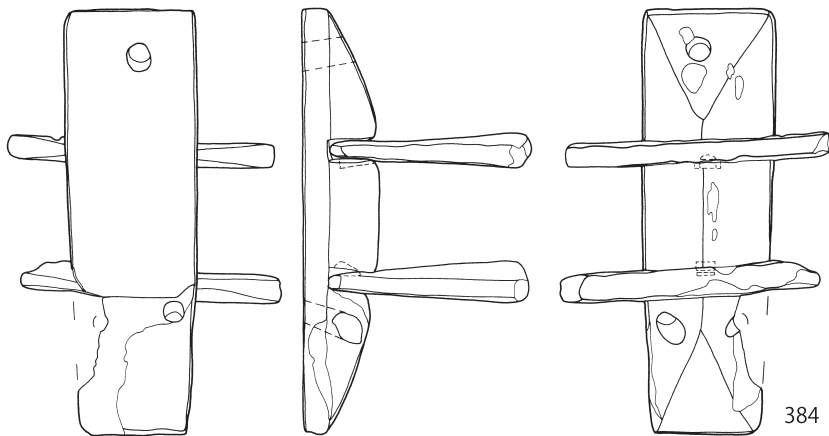
381



382



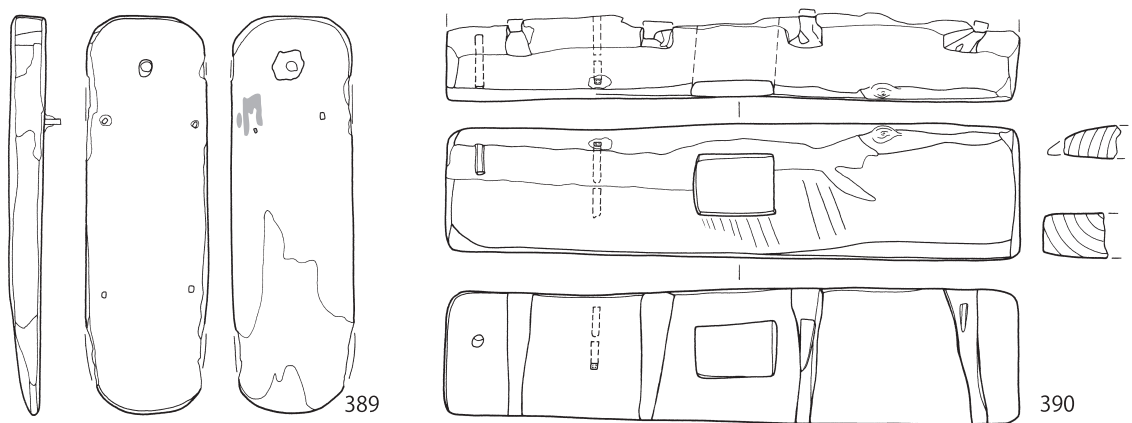
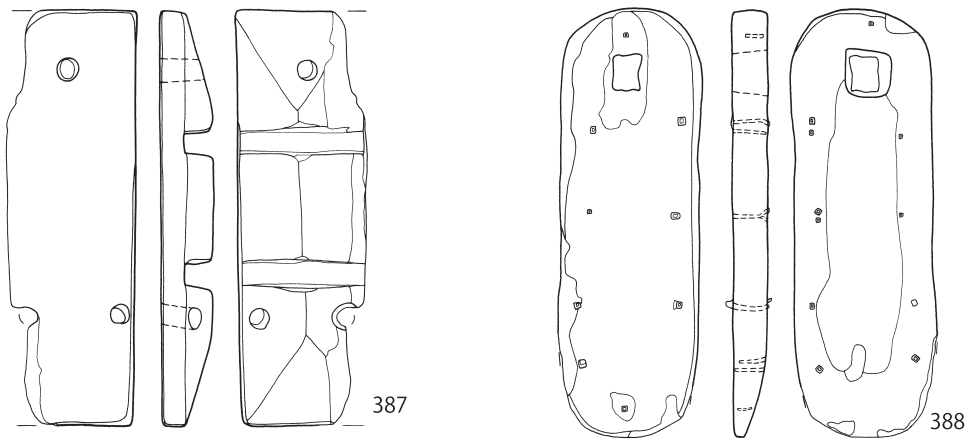
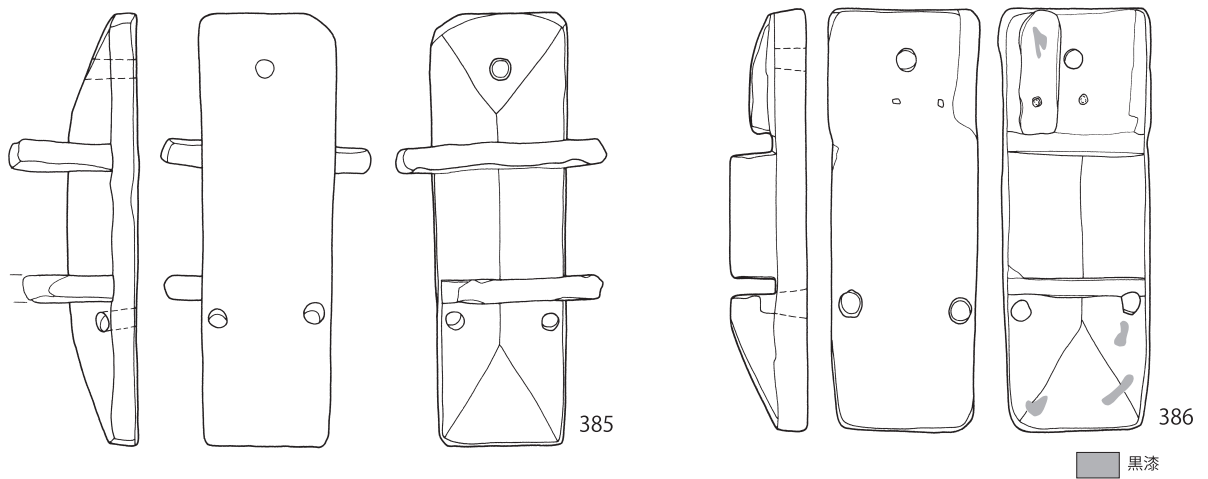
383



384

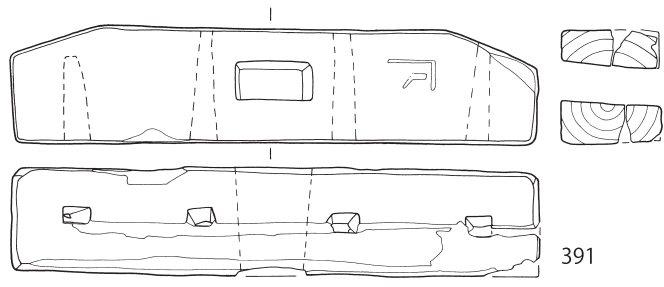


第 694 図 第 500 号土壙出土遺物 (33)

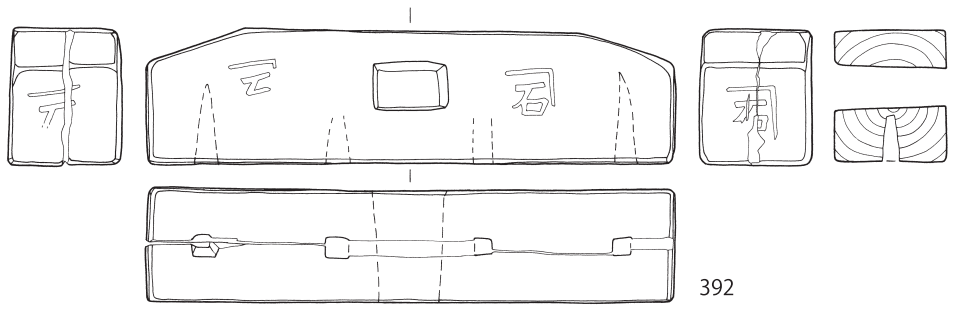


0 10cm  
1:4

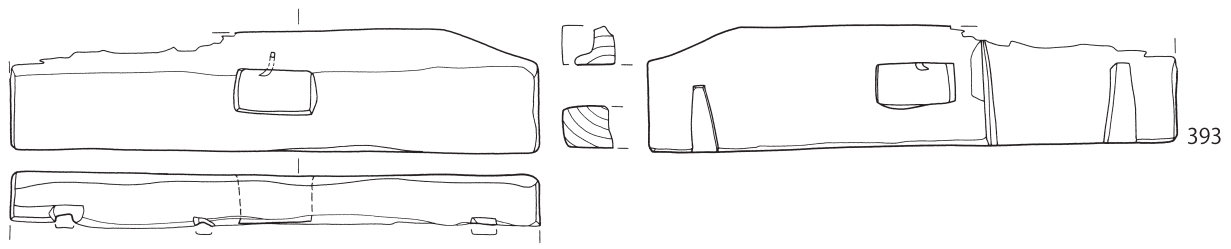
第 695 図 第 500 号土壙出土遺物 (34)



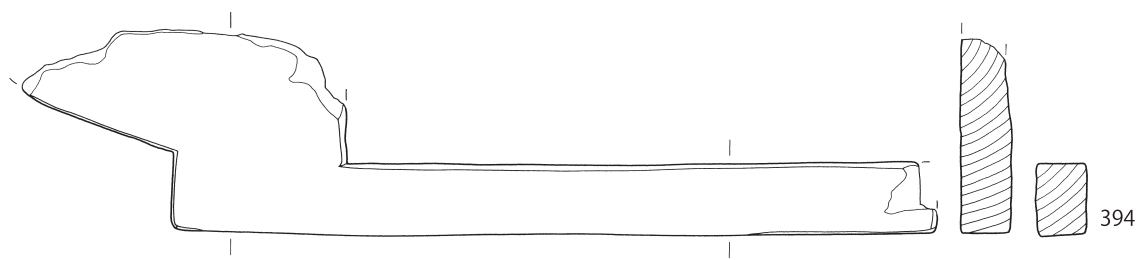
391



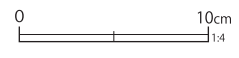
392



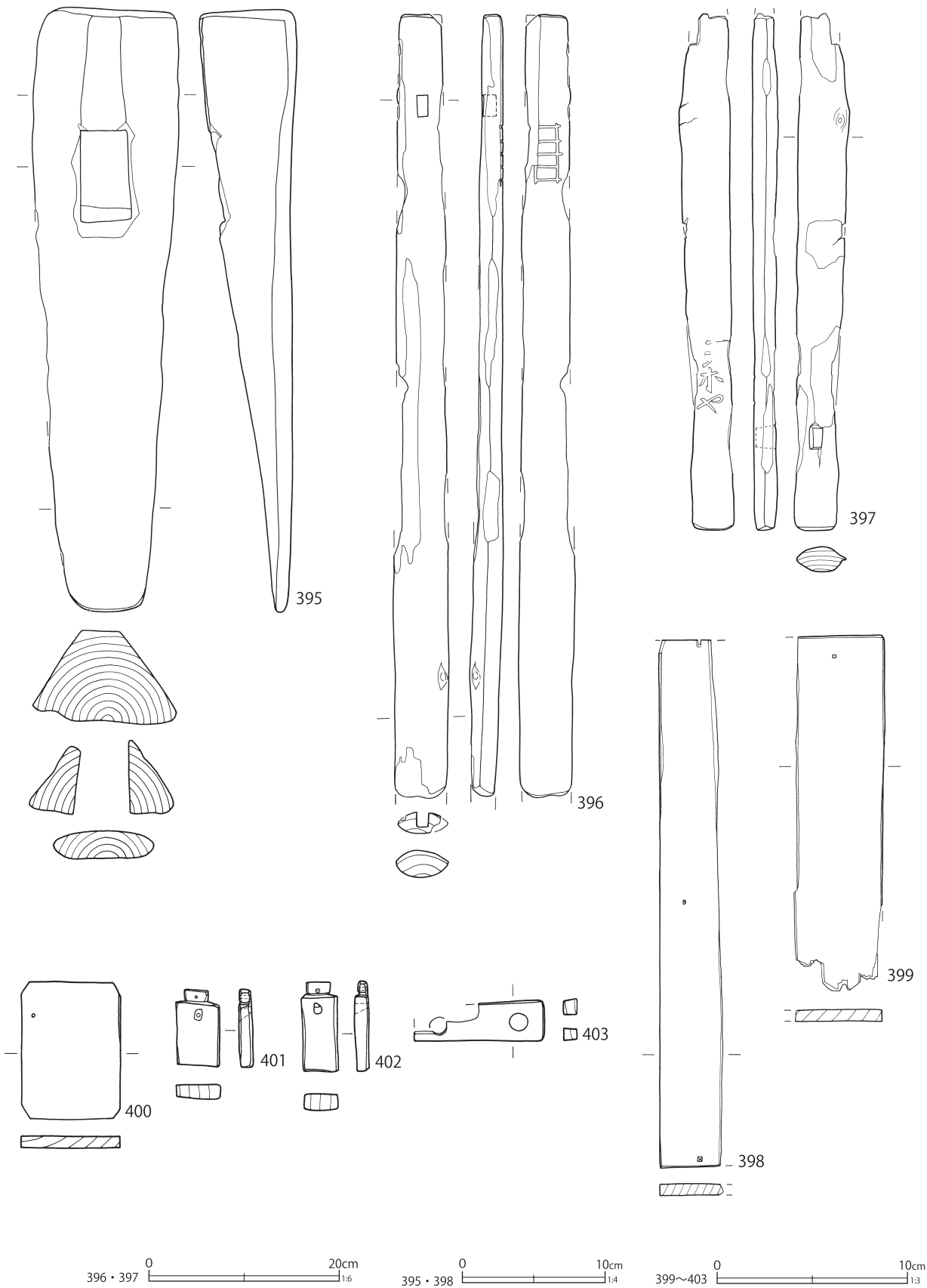
393



394

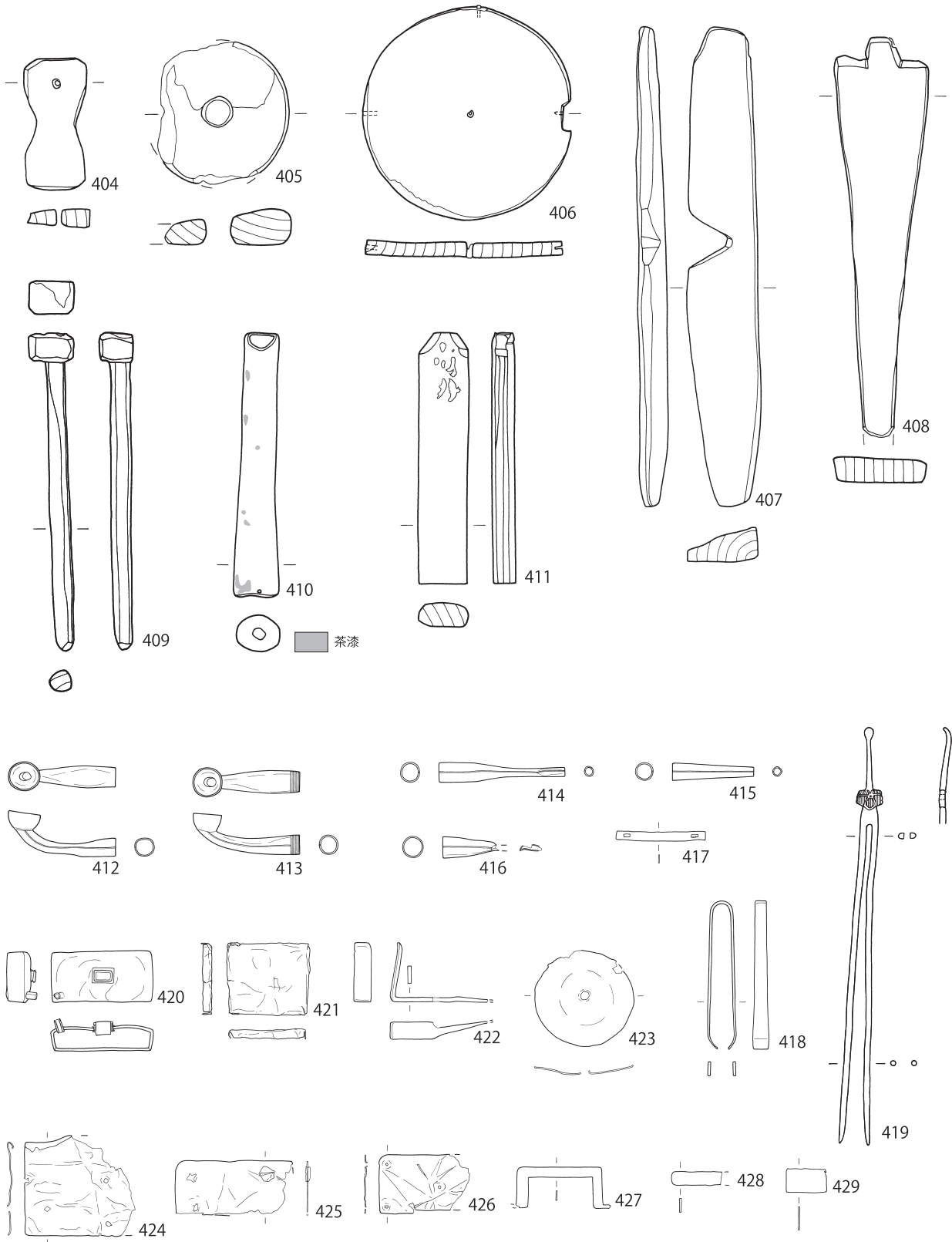


第 696 図 第 500 号土壙出土遺物 (35)



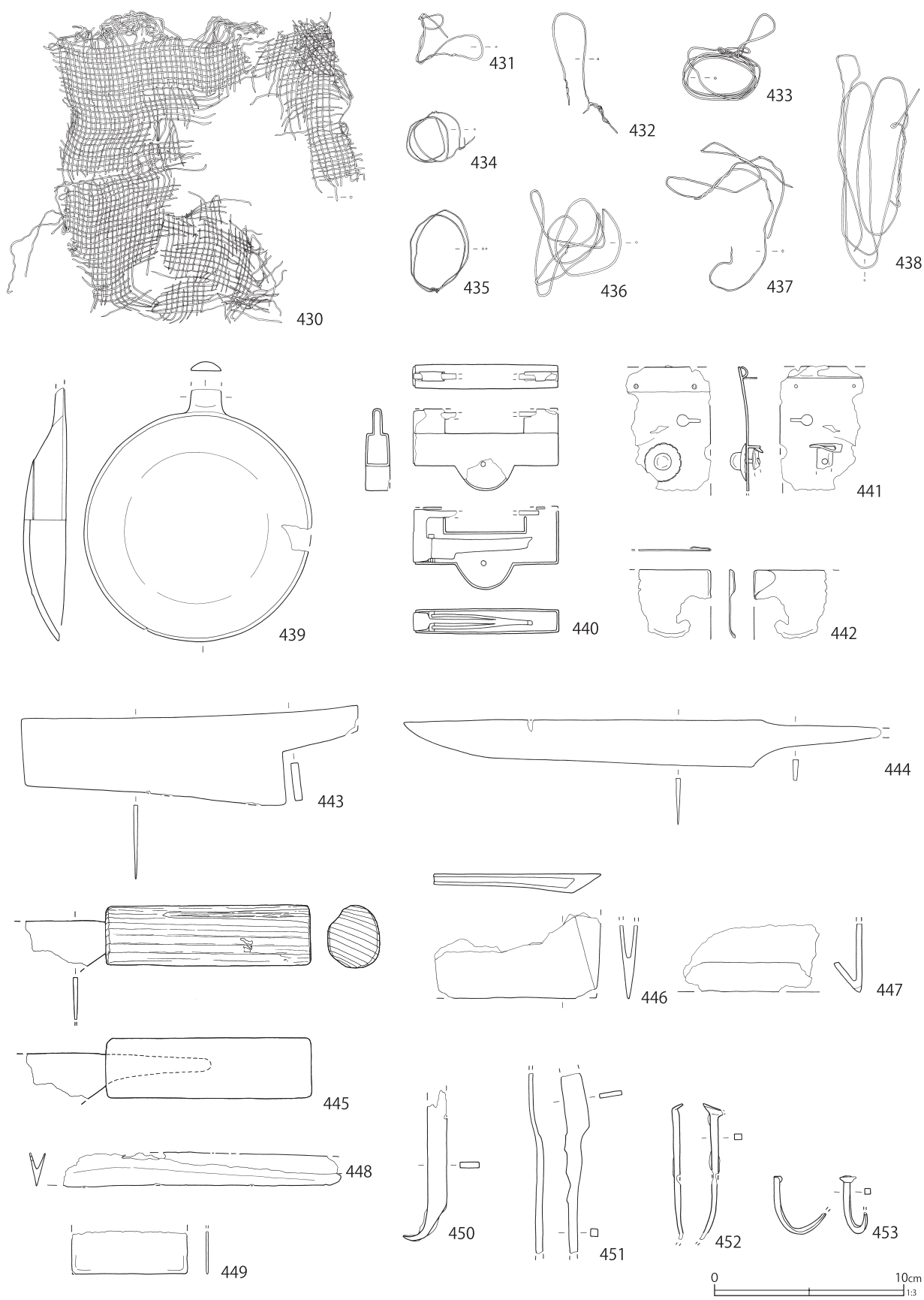
第 697 图 第 500 号土壤出土遺物 (36)



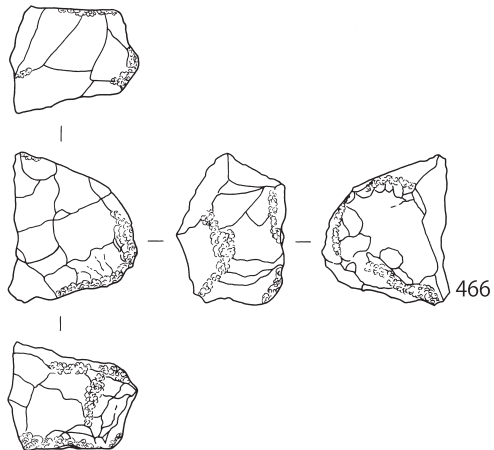
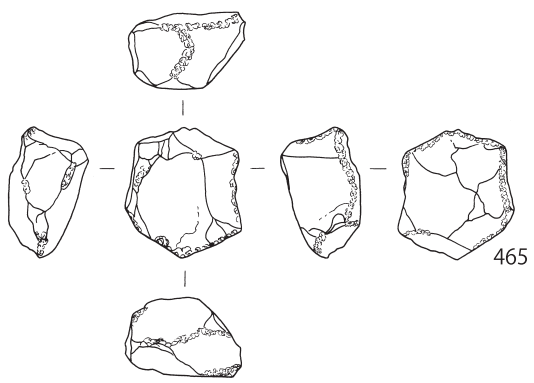
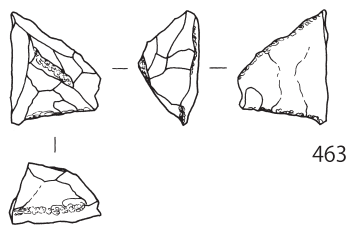
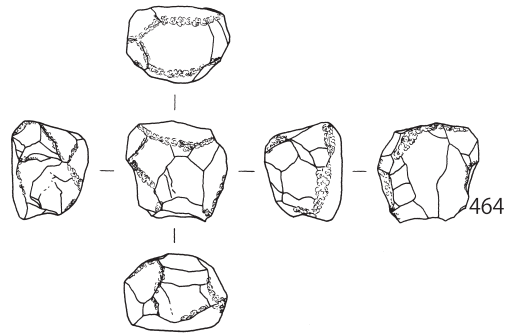
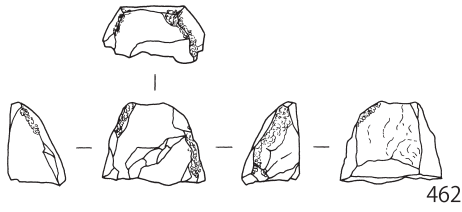
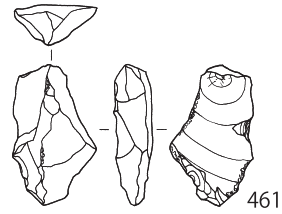
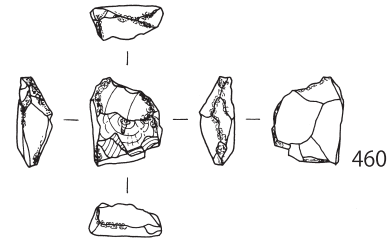
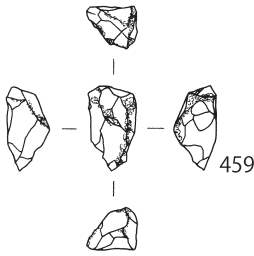
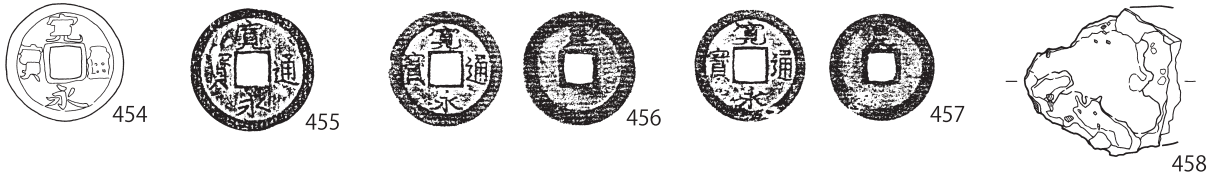


0 5cm 1:2 419 0 10cm 1:3 404~418 · 420~429

第 698 图 第 500 号土壤出土遺物 (37)



第 699 图 第 500 号土壤出土遺物 (38)



458 0 10cm 1:4

459~466 0 5cm 1:2

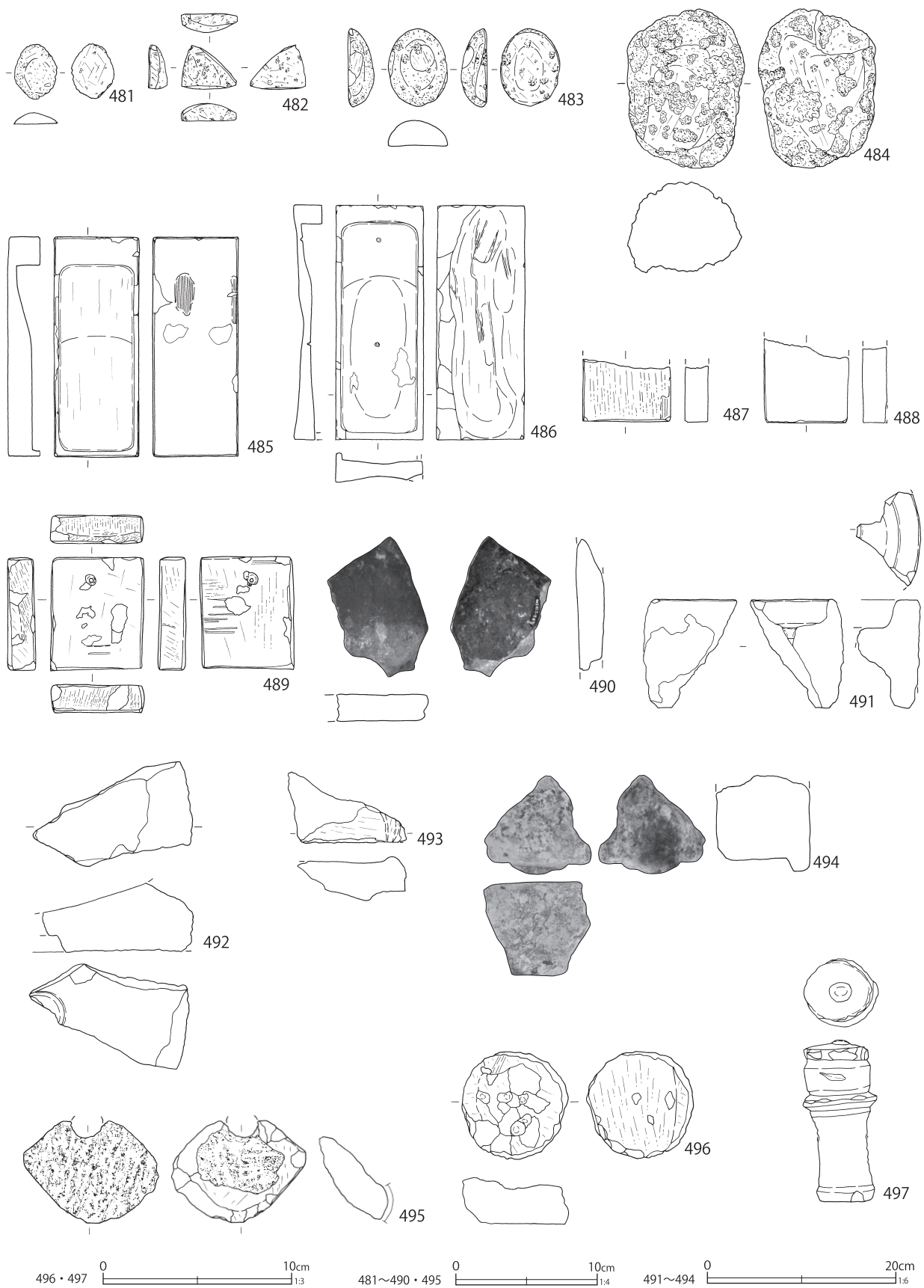
454~457 0 5cm 2:3

第 700 图 第 500 号土壤出土遺物 (39)

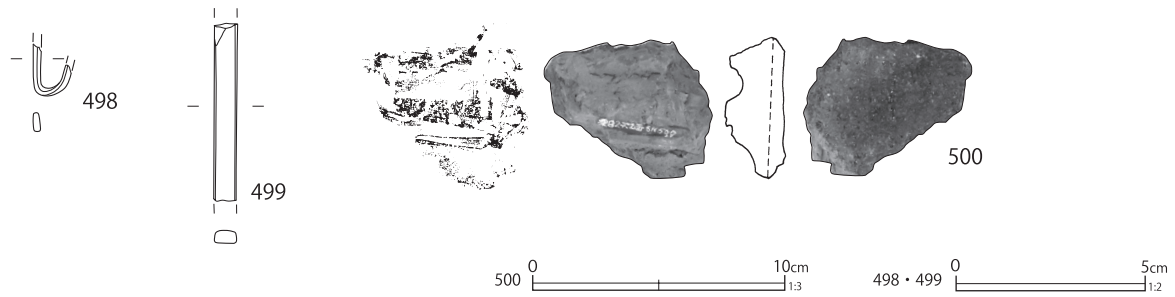


第 701 图 第 500 号土壤出土遺物 (40)





第 702 図 第 500 号土壙出土遺物 (41)



第703図 第500号土壙出土遺物(42)

葉にかけて変動があった可能性が疑われる。

一方で、鞆の羽口が多く出土し、少量の鉄滓もみられる。このように、「煮賣屋」や「旅籠屋」と関連し得ない資料が一定量みられる。

推定廃絶期は18世紀後葉、具体的には1783年～1790年代である。

第662～第703図に出土遺物を図示した。第662図1～第669図121は肥前系磁器である。2～15は波佐見系のくらわんか手碗である。2・3は二重網目文、5～7・9～11・13・14は雪輪草花文、8・12梅樹文染付である。17～20、第663・664図33～42は筒形碗である。17・18、19・20、第663図21・22、23・24、第663図29・第664図33、37～39、41・42は同文である。41・42は外面中位に帯状の鉄釉が施釉され、体部に糸目状施文が施される筒形碗である。底部は蛇ノ目高台と考えられる。栗橋宿では18世紀末～19世紀初頭頃にみられる。40は染付銘の筒形碗である。外面に「田」がみえ、第8地点の各遺構から出土している類例から推察するに、「吉田屋」銘の可能性が高い。生産地への注文生産が18世紀後葉まで遡ることが示唆される重要な資料である。第664図43～第665図49は小丸碗である。第665図46・47は同文である。49は内面に四方禳文染付、外面に赤の上絵付、口唇部は金彩が施されている。第665図54～第666図61は小広東碗である。第666図58・59は同文である。62は広東碗である。63は波佐見系磁器のくらわんか手碗である。体部に帯状の鉄釉が2条みられる。内面の五

弁花文染付は崩れている。65～82は坏、83は紅坏である。75～82は小型で、高台径が小さいものが多く、紅坏としての利用が疑われる。83は型成形である。第667図84～90は波佐見系のいわゆるくらわんか手である。84～88は見込み蛇ノ目釉剥ぎで、内面に梅花繫ぎ文・五弁花文染付がみられる。91は蛇ノ目凹形高台の染付皿である。口縁部は輪花状を呈し、高台高は低い。高台内に輪状の重ね焼き痕がみられる。第668図93は菊花状の皿である。型打ちで、内面に菊花陽刻文が施される。95～97は手塩皿である。第669図114は蛇ノ目凹形高台の蕎麦猪口である。内底面に明瞭な五弁花文、外面に松文の染付がみられる。116は鶴首形の御神酒徳利で、外面に蛸唐草文染付が施されている。120・121は同文の水滴である。型成形で、上面に陽刻文と染付が施されている。内面に布目痕がみられる。

第670～677図は陶器である。第670図122は肥前系の京焼風平碗である。内面に鉄絵が施される。123は京焼風碗である。124～133は瀬戸美濃系で、124は腰錆碗である。体部中位が屈曲するように立ち上がる。18世紀後半の所産であろう。125～130はせんじ碗である。外面に鉄釉を流し掛け・散らすものが主体で、130は鉄釉と灰釉を左右に掛け分けている。131～133は瀬戸美濃系の半球碗である。外面に鉄絵が施されている。134・135は京都信楽系の半球碗である。外面に鉄絵が施され、胎土は磁質である。136～138は瀬戸美濃系の色絵半球碗である。外面に赤

第 212 表 第 500 号土壙出土遺物観察表 (第 662 ~ 703 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
1	磁器	碗	(10.4)	6.5	(4.3)	—	45	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
2	磁器	碗	9.4	5.2	3.6	—	70	普通	白	肥前系 内外面施釉・染付 内底面コンニャク印判染付	
3	磁器	碗	8.8	4.9	3.4	—	100	普通	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
4	磁器	碗	9.1	4.2	3.4	—	90	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
5	磁器	碗	9.6	4.9	3.8	—	50	普通	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
6	磁器	碗	9.3	5.1	3.8	—	80	普通	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
7	磁器	碗	9.8	5.2	3.8	—	95	普通	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
8	磁器	碗	8.9	4.4	3.9	—	95	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
9	磁器	碗	8.8	4.3	3.4	—	50	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
10	磁器	碗	(9.8)	5.0	3.8	—	30	普通	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
11	磁器	碗	(8.4)	4.5	3.6	—	50	普通	灰白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
12	磁器	碗	8.1	5.0	3.0	—	95	普通	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	106-1
13	磁器	碗	7.6	3.9	2.9	—	80	普通	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
14	磁器	碗	(7.4)	3.9	2.8	—	50	普通	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
15	磁器	碗	(8.1)	3.9	3.4	—	70	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
16	磁器	碗	8.2	4.1	2.5	—	60	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
17	磁器	碗	(7.2)	5.8	3.8	—	40	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	
18	磁器	碗	7.4	5.9	3.9	—	100	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	106-3
19	磁器	碗	7.1	6.3	3.4	—	90	普通	白	肥前系 内外面施釉・染付	
20	磁器	碗	7.2	6.1	3.5	—	50	普通	白	肥前系 内外面施釉・染付	
21	磁器	碗	7.9	6.1	3.8	—	75	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	106-2
22	磁器	碗	7.7	6.0	3.7	—	80	普通	白	肥前系 内外面施釉・染付	
23	磁器	碗	7.3	6.3	3.5	—	95	普通	白	肥前系 内外面施釉・染付	
24	磁器	碗	7.0	5.8	3.2	—	95	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	
25	磁器	碗	7.5	5.9	3.3	—	95	普通	白	肥前系 内外面施釉・染付 煤付着	
26	磁器	碗	7.6	6.0	3.8	—	95	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	
27	磁器	碗	7.5	5.9	4.0	—	95	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	
28	磁器	碗	(7.8)	6.2	3.9	—	50	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	
29	磁器	碗	(7.2)	5.8	(3.6)	—	40	普通	白	肥前系 内外面施釉・染付	
30	磁器	碗	7.3	5.8	3.5	—	85	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	
31	磁器	碗	7.7	6.3	3.8	—	80	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	
32	磁器	碗	7.3	6.1	3.7	—	90	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	106-4
33	磁器	碗	6.9	5.8	3.0	—	85	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	
34	磁器	碗	7.4	5.6	3.6	—	100	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	106-5
35	磁器	染付碗	8.1	6.7	3.8	—	70	普通	白	肥前系 内外面施釉・染付 被熱(釉白色化)	
36	磁器	碗	(6.6)	5.5	3.8	—	50	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	
37	磁器	碗	7.5	6.4	3.6	—	75	普通	明褐灰	肥前系 外面青磁釉 内面施釉・染付 被熱カ(釉白濁)	
38	磁器	碗	8.0	6.4	3.8	—	60	普通	灰白	肥前系 外面青磁釉 内面施釉・染付	106-6
39	磁器	碗	7.0	6.1	3.6	—	90	普通	白	肥前系 外面青磁釉 内面施釉・染付	
40	磁器	碗	—	[4.4]	(3.0)	—	30	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付 外面染付銘「□田□」	
41	磁器	碗	7.7	5.7	3.5	—	95	良好	白	肥前系 内外面施釉 体部中位帯状に鉄釉 口紅	106-7
42	磁器	碗	(7.4)	[4.9]	—	—	15	普通	白	肥前系 内外面施釉 体部中位帯状に鉄釉 口紅	
43	磁器	碗	(9.6)	6.2	3.2	—	40	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付 SK398 と接合	
44	磁器	碗	8.4	5.3	3.0	—	95	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	106-8
45	磁器	碗	(8.7)	5.4	(3.2)	—	45	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	
46	磁器	碗	8.4	5.7	3.5	—	95	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	106-9
47	磁器	碗	(9.0)	5.8	3.2	—	60	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	
48	磁器	碗	(8.6)	5.2	(2.7)	—	25	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	
49	磁器	碗	(9.5)	[1.5]	—	—	5	良好	白	肥前系 内外面施釉 内面染付 外面色絵(赤) 口唇部金彩	
50	磁器	碗	11.6	6.1	(4.8)	—	70	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	106-10

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
51	磁器	碗	11.3	6.6	4.0	—	80	良好	白	肥前系 外面青磁釉 内面施釉・染付	106-11
52	磁器	碗	11.0	5.8	4.5	—	75	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付 内面白色付着物	
53	磁器	碗	12.0	5.4	4.2	—	85	普通	灰白	肥前系 内外面施釉・染付 見込蛇ノ目状に釉拭き取り・輪状重焼痕(径4.1cm)	
54	磁器	碗	(9.7)	4.9	(3.3)	—	50	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	
55	磁器	碗	9.1	4.4	3.6	—	60	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	
56	磁器	碗	7.8	4.2	2.7	—	100	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	
57	磁器	碗	(7.9)	4.1	(2.8)	—	45	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	
58	磁器	碗	8.1	4.3	2.7	—	90	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	106-12
59	磁器	碗	(8.3)	3.9	(2.8)	—	25	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	
60	磁器	碗	(7.4)	3.9	(2.8)	—	30	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	
61	磁器	碗	7.9	4.1	2.7	—	60	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	106-13
62	磁器	碗	(11.7)	[4.7]	—	—	10	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	
63	磁器	碗	(12.0)	5.8	4.3	—	40	普通	白	肥前系 内外面施釉 外面鉄釉帯状2条 内面染付	106-14
64	磁器	碗	(6.9)	5.5	3.3	—	40	良好	白	肥前系 内外面施釉	
65	磁器	坏	7.6	4.0	2.9	—	80	普通	灰白	肥前系 内外面施釉 外面染付	106-15
66	磁器	坏	(7.2)	3.8	2.6	—	40	普通	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
67	磁器	坏	7.1	3.6	2.9	—	80	普通	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
68	磁器	坏	6.5	2.6	2.6	—	60	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
69	磁器	坏	(6.5)	3.0	2.5	—	35	普通	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
70	磁器	坏	7.0	2.9	2.9	—	90	良好	灰白	肥前系 内外面施釉	
71	磁器	坏	7.4	3.7	2.9	—	75	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
72	磁器	坏	(6.8)	4.1	2.8	—	40	普通	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
73	磁器	坏	(7.9)	3.7	2.7	—	35	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	
74	磁器	坏	(7.3)	3.1	2.4	—	50	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
75	磁器	坏	5.5	2.7	1.6	—	60	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面色絵(赤・金・緑)	107-1
76	磁器	坏	5.9	2.9	1.6	—	50	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	107-4
77	磁器	坏	(5.9)	2.3	(2.6)	—	30	良好	白	肥前系 内外面施釉	
78	磁器	坏	(6.2)	2.3	(2.3)	—	40	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	107-2
79	磁器	坏	5.8	1.8	2.4	—	30	普通	白	肥前系 内外面施釉	
80	磁器	坏	5.2	1.6	1.4	—	85	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面色絵(赤)	
81	磁器	坏	(5.2)	[1.5]	—	—	5	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面色絵(赤・金)	
82	磁器	坏	—	[1.1]	—	—	5	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面色絵(赤)	
83	磁器	紅坏	4.6	1.4	1.3	—	100	良好	白	肥前系 型成形 内外面施釉	107-3
84	磁器	皿	13.6	3.1	7.1	—	95	良好	白	肥前系 内外面施釉 内面染付・見込蛇ノ目釉剥ぎ	
85	磁器	皿	(13.0)	2.8	6.0	—	60	良好	白	肥前系 内外面施釉 内面染付・見込蛇ノ目釉剥ぎ	
86	磁器	皿	13.4	3.5	7.3	—	100	良好	白	肥前系 内外面施釉 内面染付・見込蛇ノ目釉剥ぎ 付着物あり	107-5
87	磁器	皿	(14.2)	3.5	(7.8)	—	50	普通	白	肥前系 内外面施釉 内面染付・見込蛇ノ目釉剥ぎ	
88	磁器	皿	13.2	3.2	7.1	—	90	良好	白	肥前系 内外面施釉 内面染付・見込蛇ノ目釉剥ぎ	
89	磁器	皿	13.2	4.2	7.4	—	95	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	107-6
90	磁器	皿	13.4	3.5	7.1	—	70	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	
91	磁器	皿	14.4	4.1	8.7	—	70	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付 蛇ノ目凹形高台	
92	磁器	皿	(15.8)	[4.8]	—	—	15	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	
93	磁器	皿	14.4	4.3	7.8	—	95	良好	白	肥前系 内外面施釉 型押施文	107-8
94	磁器	皿	(15.2)	2.7	(10.0)	—	15	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付	
95	磁器	皿	9.7	2.7	4.8	—	70	普通	白	肥前系 内外面施釉・染付	
96	磁器	皿	(9.9)	2.0	(6.0)	—	30	普通	白	肥前系 内外面施釉・染付	
97	磁器	皿	10.2	2.1	6.0	—	95	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付 蛇ノ目凹形高台	107-9
98	磁器	皿	—	[1.1]	(9.2)	—	10	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付 高台内ハリ支跡わずかに遺存 被熱	107-7

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
99	磁器	鉢	(19.2)	8.0	10.7	—	50	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付 高台内ハリ支跡1あり	
100	磁器	蓋物	9.2	5.1	4.8	—	95	普通	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	107-10
101	磁器	蓋	3.9	3.1	10.0	—	95	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
102	磁器	蓋	4.0	3.0	9.5	—	95	普通	白	肥前系 外面青磁釉 内面施釉・染付 破断面に漆継痕	
103	磁器	蓋	(3.8)	2.9	10.0	—	30	良好	白	肥前系 外面青磁 内面施釉・染付	
104	磁器	蓋	—	3.2	8.3	—	60	良好	白	肥前系 内面施釉 外面染付 把手型成形 最大径9.4cm	
105	磁器	蓋	—	[1.3]	4.2	—	95	良好	白	肥前系 内外面施釉 上面染付 最大径5.2cm	
106	磁器	蓋	—	[1.4]	4.7	—	50	良好	白	肥前系 内外面施釉 上面染付 最大径5.9cm	
107	磁器	蓋	—	2.2	4.9	—	100	良好	白	肥前系 内外面施釉 上面染付 受口に白色砂厚く付着 最大径6.3cm	107-11
108	磁器	猪口	(7.5)	5.5	3.5	—	70	良好	灰白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
109	磁器	猪口	(6.6)	6.0	5.0	—	70	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
110	磁器	猪口	(6.4)	6.0	4.4	—	50	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
111	磁器	猪口	7.3	5.8	4.8	—	85	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
112	磁器	猪口	(7.0)	5.9	(4.6)	—	20	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
113	磁器	猪口	(7.5)	5.5	4.3	—	50	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
114	磁器	猪口	8.3	6.2	6.3	—	95	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付 蛇ノ目凹形高台	107-12
115	磁器	德利	—	[10.6]	4.2	—	40	良好	白	肥前系 外面施釉・染付	108-1
116	磁器	德利	(2.0)	[9.1]	—	—	5	良好	白	肥前系 外面施釉・染付	
117	磁器	仏飯具	7.0	5.8	3.8	—	90	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面染付	
118	磁器	灰落とし	(5.5)	8.5	4.8	—	75	良好	白	肥前系 外面施釉・染付 内面煤付着 口唇部敲打痕	108-2
119	磁器	灰落とし	—	[7.8]	4.6	—	95	良好	白	肥前系 外面施釉・染付	108-3
120	磁器	水滴	長軸11.0	3.2	短軸7.0	—	75	良好	白	肥前系 型成形 内底面・下面布目圧痕 外面施釉(右側面露胎)	
121	磁器	水滴	長軸10.9	3.4	短軸6.8	—	90	良好	白	肥前系 型成形 内底面・下面布目圧痕 外面施釉(右側面露胎)	
122	陶器	碗	(12.4)	5.2	(4.2)	K	30	良好	灰黄	肥前系 内外面施釉 内面鉄絵	
123	陶器	碗	—	[3.5]	4.4	K	30	良好	灰白	肥前系 内外面施釉	
124	陶器	碗	(9.0)	5.4	(4.0)	EIK	35	普通	灰白	瀬戸美濃系 内面灰釉 外面灰・鉄釉上下掛け分け	
125	陶器	碗	9.4	5.5	3.3	K	95	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 外面煤付着	
126	陶器	碗	(9.4)	4.8	3.4	EK	70	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 外面鉄釉流し掛け 高台胎土付着	108-4
127	陶器	碗	(9.0)	5.0	3.4	I	70	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 外面一部鉄釉散らし	
128	陶器	碗	9.0	4.6	3.0	EK	50	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 外面一部鉄釉散らし	
129	陶器	碗	(9.7)	[4.4]	—	IK	20	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 外面一部鉄釉散らし	
130	陶器	碗	—	[2.4]	4.3	EIK	15	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面鉄・灰釉左右掛け分け	
131	陶器	碗	9.2	5.6	3.3	K	95	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 外面鉄絵 内面付着物あり	108-5
132	陶器	碗	(9.2)	5.1	(3.0)	IK	45	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 外面鉄絵	
133	陶器	碗	9.3	5.5	3.7	K	85	良好	灰黄	瀬戸美濃系 内外面灰釉 外面鉄絵	
134	陶器	碗	(9.3)	5.8	2.9	EK	70	良好	灰白	京都信楽系 内外面施釉 外面鉄絵 胎土磁質	108-6
135	陶器	碗	9.0	5.6	2.8	K	80	良好	灰白	京都信楽系 内外面施釉 外面鉄絵 胎土磁質被熱(弱)	108-7
136	陶器	碗	(9.6)	4.9	3.7	EK	40	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 外面色絵(赤・緑) 赤は熱変黒化	
137	陶器	碗	9.5	5.2	(3.3)	IK	65	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 外面色絵(緑・赤) 被熱(一部黒化)	108-8
138	陶器	碗	(9.6)	5.7	3.6	K	20	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 外面色絵(緑)	
139	陶器	碗	9.0	5.6	2.9	K	65	良好	灰白	京都信楽系 内外面灰釉 外面色絵(緑・赤) 胎土光沢あり	108-9
140	陶器	碗	(9.1)	[5.9]	—	K	15	良好	灰白	京都信楽系 内外面灰釉 外面色絵(緑)	
141	陶器	碗	(7.2)	6.4	(3.6)	IK	40	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面鉄・灰釉上下掛け分け	
142	陶器	碗	9.2	5.8	3.0	IK	90	良好	浅黄橙	瀬戸美濃系 内外面灰釉 外面呉須絵	108-10
143	陶器	碗	12.0	6.3	3.6	IK	55	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 外面鉄絵 被熱・煤付着	



番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
144	陶器	碗	(13.1)	6.0	(3.8)	EIK	45	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面刷毛目釉(外面渦巻状・内面打ち刷毛目)	
145	陶器	碗	13.2	6.2	4.0	EK	60	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面呉須絵	108-11
146	陶器	碗	(13.2)	[5.2]	—	K	15	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面鉄・呉須絵	
147	陶器	碗	(8.6)	5.5	3.0	K	60	良好	灰白	京都信楽系 胎土磁質 内外面施釉 外面鉄絵	
148	陶器	碗	8.9	5.3	3.8	K	90	良好	灰白	京都信楽系 内外面施釉 外面鉄絵	108-12
149	陶器	碗	9.3	6.0	3.6	K	95	良好	灰白	京都信楽系 胎土磁質 内外面施釉	
150	陶器	碗	(9.4)	5.9	3.4	K	50	良好	灰白	京都信楽系 内外面施釉	
151	陶器	碗	—	[4.1]	4.0	IK	60	良好	灰白	瀬戸美濃系 内面鉄釉 外面施釉・トビガンナ状の押形文	108-13
152	陶器	碗	(7.5)	[4.7]	—	K	10	良好	灰白	瀬戸美濃系 外面上位・内面鉄釉 外面下位トビガンナ状の押形文・施釉	
153	陶器	碗	—	[2.3]	(4.6)	I	10	良好	褐灰	九州諸窯 内外面緑褐色系釉 外面下位・底部鉄釉 胎土緻密・極硬質	
154	陶器	坏	(6.0)	2.7	2.6	K	40	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉	
155	陶器	碗	7.3	3.4	3.8	EIK	95	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面鉄釉	
156	陶器	坏	(6.5)	4.4	2.5	EK	25	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉	
157	陶器	坏	(6.8)	4.2	3.0	EK	50	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉	
158	陶器	坏	6.5	4.1	3.0	EK	90	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 口縁欠失部にタール状物質付着	
159	陶器	坏	6.5	4.0	2.8	K	60	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉	
160	陶器	坏	(6.3)	4.0	3.3	EIK	75	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉	
161	陶器	坏	6.1	3.9	2.8	K	90	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 被熱	
162	陶器	坏	6.0	3.7	3.0	EIK	75	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉	
163	陶器	坏	6.7	3.5	3.2	EIK	85	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉	
164	陶器	坏	(6.2)	3.7	2.5	I	60	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 外面上絵付(緑・赤)	108-14
165	陶器	坏	6.6	3.6	2.7	K	40	良好	灰白	京都信楽系 内外面施釉 外面上絵付(緑)	109-3
166	陶器	坏	6.5	3.6	2.6	K	85	良好	白	京都信楽系 内外面施釉 外面上絵付(赤・黒)	109-1
167	陶器	坏	—	[2.4]	—	K	15	良好	灰白	京都信楽系 内外面施釉 外面上絵付(赤)	109-2
168	陶器	皿	(12.2)	2.6	(7.0)	EI	20	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 内面摺絵(鉄絵) 被熱	
169	陶器	皿	11.9	3.1	4.6	EIK	45	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉	
170	陶器	皿	(26.0)	5.4	(13.4)	EIK	20	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 内面鉄釉散らし・呉須絵・目跡2遺存 高台内墨書	
171	陶器	灯明皿	9.4	1.7	5.1	I	100	普通	にぶい黄橙	瀬戸美濃系 内外面褐釉 内面目跡3あり	
172	陶器	灯明皿	7.3	1.6	3.7	I	85	良好	にぶい黄橙	瀬戸美濃系 内外面灰釉	
173	陶器	灯明皿	7.5	1.7	3.6	IK	100	良好	褐灰	瀬戸美濃系 内外面柿釉 底部釉拭き取り	105-1
174	陶器	灯明皿	(8.3)	1.7	(3.0)	I	35	良好	褐灰	瀬戸美濃系 内外面柿釉 体部下位釉拭き取り・重焼痕	
175	陶器	灯明皿	(8.2)	1.8	(3.8)	IK	45	良好	黄灰	瀬戸美濃系 内外面柿釉 底部釉拭き取り	
176	陶器	灯明皿	8.3	1.7	4.7	K	95	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面柿釉 内面輪状重焼痕(径4.0cm)	105-1
177	陶器	灯明皿	8.0	2.0	4.2	IK	100	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面柿釉 底部釉拭き取り 内面輪状重焼痕(径4.4cm)	105-1
178	陶器	灯明皿	7.9	1.7	3.7	IK	90	良好	黄灰	瀬戸美濃系 内外面柿釉 外面下位・底部釉拭き取り 内外面重焼痕	105-1
179	陶器	灯明皿	8.4	1.6	3.4	IK	90	良好	黄灰	瀬戸美濃系 内外面柿釉・輪状重焼痕	105-1
180	陶器	灯明皿	10.5	2.2	4.8	EI	55	良好	褐灰	瀬戸美濃系 内外面柿釉 体部下位釉拭き取り 内外面輪状重焼痕(内径5.4cm 外径8.0cm)	105-1
181	陶器	灯明皿	7.4	2.1	4.8	IK	90	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面柿釉 底部釉拭き取り 受口端部・体部下位重焼痕	105-1
182	陶器	灯明皿	(10.7)	2.3	5.0	IK	50	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面柿釉 体部下位・底部釉拭き取り 受口端部・体部中位重焼痕 内面タール状物質付着	
183	陶器	灯明皿	(10.8)	2.0	5.1	IK	70	良好	黄灰	瀬戸美濃系 内外面柿釉 体部下位・底部釉拭き取り 受口端部・体部中位重焼痕 被熱(一部白化)	
184	陶器	灯明皿	8.0	1.8	3.9	I	100	良好	褐灰	瀬戸美濃系 内外面柿釉 体部下位・底部釉拭き取り 受口端部重焼痕 体部下位輪状重焼痕(径5.7cm)	105-1

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
185	陶器	灯明皿	8.0	1.9	3.7	IK	100	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面柿釉 体部下位・底部釉拭き取り 受口端部重焼痕 体部下位輪状重焼痕(径6.1cm)	105-1
186	陶器	灯明皿	8.8	1.7	3.9	IK	75	良好	黄灰	瀬戸美濃系 内外面柿釉 体部下位釉拭き取り・輪状重焼痕(径5.8cm) 受口端部重焼痕	105-1
187	陶器	灯明皿	7.6	1.5	4.8	IK	90	良好	黄灰	瀬戸美濃系 内外面柿釉 受口端部重焼痕 底部輪状重焼痕	105-1
188	陶器	灯明皿	10.0	2.1	4.8	I	100	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面柿釉 体部下位・底部釉拭き取り 受口端部重焼痕 体部中位輪状重焼痕(径6.9cm)	105-1
189	陶器	灯明皿	(10.9)	2.3	5.3	IK	95	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面柿釉 体部下位釉拭き取り 受口端部重焼痕 体部中位輪状重焼痕(径7.5cm)	105-1
190	陶器	灯明皿	10.8	2.2	5.0	I	90	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面柿釉 体部・底部釉拭き取り 受口端部重焼痕 体部中位輪状重焼痕(径7.9cm) 底部胎土付着	105-1
191	陶器	鉢	20.6	6.4	8.0	I	90	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 内面輪状重焼痕 高台内墨書	109-4
192	陶器	鉢	(21.0)	6.0	7.6	EK	30	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉	
193	陶器	鉢	(15.7)	4.2	6.2	EIK	85	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉	
194	陶器	鉢	(21.4)	5.9	(9.2)	EIK	25	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉	
195	陶器	こね鉢	27.8	14.5	12.8	DEI	70	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 内面釉拭き取り3箇所	
196	陶器	こね鉢	30.9	16.1	15.0	DEIK	95	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 外面緑釉流しがけ 内面釉拭き取り5箇所	
197	陶器	片口鉢	17.2	9.3	9.0	IM	100	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面目跡3 被熱(黒化)	109-5
198	陶器	片口鉢	17.2	9.5	9.1	EK	80	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 内面目跡3あり	
199	陶器	片口鉢	(19.0)	11.6	9.6	DI	55	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 内面目跡3あり	
200	陶器	播鉢	30.9	12.0	(14.7)	EIKM	70	良好	明赤褐	堺明石系 内面摺目8条/単位 胎土小礫含む	109-6
201	陶器	播鉢	32.1	12.3	15.0	EIKL	50	良好	橙	堺明石系 内面摺目9条/単位・摩耗 胎土小礫含む	
202	陶器	播鉢	34.4	13.1	17.2	EIKM	60	良好	灰赤	堺明石系 内面摺目8条/単位 底部輪状重焼痕 胎土小礫含む	109-7
203	陶器	播鉢	(35.7)	13.1	(15.0)	EIM	40	良好	赤褐	堺明石系 内面摺目9条/単位 胎土小礫含む	
204	陶器	德利	2.5	[17.8]	—	I	50	良好	灰白	瀬戸美濃系 外面尾呂釉	109-8
205	陶器	德利	3.6	[21.8]	—	DI	45	良好	灰白	瀬戸美濃系 外面灰釉	
206	陶器	德利	3.0	[17.7]	—	EIK	45	良好	黄灰	瀬戸美濃系 外面柿釉 体部凹ます	
207	陶器	德利	—	[6.8]	7.8	K	30	良好	灰白	瀬戸美濃系 外面灰釉 底部・体部下位釉拭き取り	
208	陶器	德利	—	[9.1]	10.3	IK	15	良好	灰白	瀬戸美濃系 外面灰釉 体部ケズリ 底部・体部下位釉拭き取り	
209	陶器	瓶類	—	[8.3]	9.1	K	20	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面施釉 底部釉拭き取り 体部に呉須がわずかに散る 底部墨痕	109-9
210	陶器	鍋	—	[2.3]	—	I	5	良好	灰褐	内面鉄釉	
211	陶器	土瓶	—	[10.0]	(10.0)	KI	15	良好	灰白	体部中・下位ケズリ 体部上位糸目 外面鉄釉 被熱 接点のない2片から復元	109-10
212	陶器	半胴甕	22.0	19.5	13.6	EIK	65	普通	浅黄橙	瀬戸美濃系 内外面柿釉 口唇部目跡3遺存 高台内墨痕	109-11
213	陶器	半胴甕	19.2	17.3	12.8	EIK	65	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面鉄釉 口唇部目跡2遺存	
214	陶器	半胴甕	15.0	12.9	11.4	EIK	95	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面柿釉 高台内墨書	
215	陶器	甕	—	[7.6]	(13.8)	EIK	15	良好	浅黄橙	瀬戸美濃系 内外面柿釉・目跡2遺存	
216	陶器	水甕	—	9.3	14.0	EK	15	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 外面緑釉流し掛け・流水状の施文 内面目跡4	
217	陶器	植木鉢	(18.0)	[6.8]	—	EK	5	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面緑釉	
218	陶器	香炉	9.8	4.8	6.0	EK	95	良好	褐灰	瀬戸美濃系 内外面鉄釉 内面輪状重焼痕(径3.4cm)	
219	陶器	香炉	10.8	6.4	6.8	EK	80	良好	灰白	瀬戸美濃系 内面上位・外面灰釉 外面摺絵(鉄絵)	109-12
220	陶器	香炉	(11.2)	7.2	5.9	EIK	50	良好	灰白	瀬戸美濃系 外面灰釉・呉須絵(わずかに遺存)	
221	陶器	香炉	10.9	6.4	6.1	EIK	90	良好	灰白	瀬戸美濃系 内面上位・外面灰釉 外面摺絵(鉄絵) 内面墨書「リリ」	
222	陶器	香炉	—	[4.7]	6.2	IK	50	良好	灰白	瀬戸美濃系 外面灰釉・摺絵	
223	陶器	香炉	8.9	4.6	5.0	EIK	70	良好	灰白	瀬戸美濃系 外面灰釉	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
224	陶器	香炉	(8.0)	3.4	4.9	EK	60	良好	灰白	瀬戸美濃系 外面灰釉	
225	陶器	香炉	9.6	5.5	7.0	IK	100	良好	灰白	瀬戸美濃系 内面上位・外面灰釉 体部しのぎ内面タール状物質・煤付着	109-13
226	陶器	灯火具	5.0	12.3	5.2	I	95	良好	灰赤	外面鉄釉 体部中位焼成前穿孔2あり	110-1
227	陶器	乗燭	—	5.2	4.4	K	20	良好	灰白	瀬戸美濃系 底部糸切痕(右) 内外面鉄釉	
228	陶器	乗燭	—	[5.2]	4.9	IK	60	良好	灰白	瀬戸美濃系 底部糸切痕(右) 内外面鉄釉	
229	陶器	花生	—	[15.3]	7.2	IK	80	良好	灰白	瀬戸美濃系 底部糸切痕(右)・中央部3回ナデ凹ます 内面灰釉 外面灰・鉄釉上下掛け分け 底部釉拭き取り	
230	陶器	花生	—	[10.0]	6.3	IK	70	良好	灰白	瀬戸美濃系 底部糸切痕(右)・墨書「アエ」内面灰釉 外面灰・鉄釉上下掛け分け	110-2
231	陶器	花生	—	[10.1]	6.4	IK	80	良好	灰白	瀬戸美濃系 底部離し糸切痕(右)・中央凹ます(3回)・釉拭き取り 外面灰・鉄釉上下掛け分け	
232	陶器	灰落とし	(5.0)	12.0	4.8	EIK	80	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 外面摺絵(鉄絵)	110-3
233	瓦質土器	火鉢	29.0	[9.4]	23.5	IK	90	良好	灰白	体部・口縁端部ミガキ 内底面ナデ 底部ヘラナデ(シワ状痕遺存) 燻す 脚4欠失	110-4
234	瓦質土器	火鉢	(24.4)	8.0	(20.4)	CHIK	25	普通	灰白	底部シワ状痕・板状圧痕 体部上位工具ナデ 燻す 脚跡1遺存 口縁部敲打痕	
235	瓦質土器	火鉢	—	[12.2]	20.8	CHIK	80	普通	明褐灰	底部シワ状痕 やや酸化焰焼成 内面上位煤付着 被熱(剥落)	
236	瓦質土器	火鉢	(26.4)	[10.6]	—	CHIK	15	普通	灰白	燻す 口縁部敲打痕 内面上位煤付着	
237	瓦質土器	火鉢	—	[4.9]	(19.1)	CHIK	15	普通	明褐灰	砂目底 内面渦巻状のナデ 燻す 高台端部摩耗	
238	瓦質土器	火鉢	27.5	13.3	24.0	HIK	95	普通	にぶい黄橙	底部シワ状痕 体部下位弱いケズリ やや酸化焰焼成 内面上位煤付着 口縁部敲打痕 胎土黒色の輝石含む	110-6 113-9
239	瓦質土器	火鉢	(21.8)	[8.1]	—	AHIKM	10	普通	明褐灰	江戸在地系 胎土粉質 口縁部・体部中位ミガキ 体部スタンプ施文 燻す	
240	瓦質土器	火鉢	—	[7.5]	—	CHIK	5	普通	褐灰	体部ミガキ 被熱	
241	瓦質土器	火消壺	(20.2)	[13.8]	—	CHIK	10	普通	にぶい黄橙	外面波状施文 やや酸化焰焼成 被熱(剥落著しい) 胎土中心褐灰	
242	瓦質土器	蓋	—	5.1	21.1	CIK	90	普通	灰白	上面砂目(部分的にナデ) 燻す 体部中位弱いケズリ	110-5
243	土師質土器	蓋	—	3.4	—	AHIK	10	普通	にぶい橙	江戸在地系 胎土粉質	
244	瓦質土器	竈	25.2	29.3	26.2	CHIK	80	普通	灰白	砂目痕 板状脚3あり 内面下位・口縁部煤付着 内面指頭痕	110-7
245	瓦質土器	竈	28.1	[20.9]	—	CIK	40	普通	灰白	体部ミガキ 内外面煤付着 胎土中心部灰色	
246	瓦質土器	焙烙	36.6	5.5	—	CIK	50	普通	浅黄橙	砂目底 体部下位弱いケズリ 燻す 補修痕2遺存 被熱(剥落)	
247	瓦質土器	焙烙	(36.0)	5.6	(35.0)	CFIK	15	普通	灰白	底部シワ状痕 体部下位ケズリ(光沢)・中位シワ状痕 燻す 内耳欠失1	
248	瓦質土器	焙烙	(36.9)	5.0	(32.4)	CHIK	30	普通	明褐灰	砂目底 体部下半ケズリ(光沢)・中位シワ状痕・内面指頭痕 内耳欠失3	
249	瓦質土器	焙烙	(33.8)	5.4	(31.2)	HI	30	普通	にぶい橙	砂目底 体部下位ケズリ 燻す	
250	瓦質土器	焙烙	(32.4)	5.0	(30.0)	HIK	25	普通	明褐灰	砂目底 やや酸化焰焼成 内底面黒化・銀化状 光沢名・刻書「吉田屋」	110-9
251	瓦質土器	焙烙	—	5.6	—	CHIK	5	普通	灰白	砂目底 体部下位弱いケズリ 燻す 胎土中心黄灰	
252	瓦質土器	焙烙	—	5.5	—	CIK	5	普通	灰白	底部シワ状痕 体部下位ケズリ 燻す 胎土中心灰	
253	瓦質土器	焙烙	—	5.4	—	CIK	5	普通	灰白	砂目底 体部下端部強いケズリ 燻す 胎土無色の輝石含む	
254	瓦質土器	焙烙	—	5.0	—	CIK	5	普通	灰白	底部シワ状痕 内面上位ミガキ 体部下端部ミガキ状の光沢 胎土中心黒褐	
255	瓦質土器	焙烙	—	4.9	—	CIK	5	普通	灰白	底部シワ状痕 内面ミガキ 体部下端部ミガキ状の光沢 燻す 口唇部二次利用 胎土中心褐灰	
256	瓦質土器	焙烙	—	4.9	—	IK	5	普通	灰白	底部シワ状痕 体部下端部ミガキ状の光沢 燻す 胎土無色の輝石含む 胎土中心灰	
257	土師質土器	焙烙	(32.2)	[8.0]	(33.1)	AHIK	35	普通	にぶい橙	江戸在地系 砂目底 胎土粉質 内面円周状のナデ 体部煤付着	
258	土師質土器	焙烙	33.1	[7.4]	33.2	AHI	75	普通	にぶい赤褐	江戸在地系 底部シワ状痕 体部下位弱いケズリ 胎土粉質 内底面刻印「○」	110-8
259	土師質土器	焙烙	32.5	8.0	32.2	AHIK	75	普通	にぶい橙	江戸在地系 底部シワ状痕 胎土粉質 内面円周状のナデ	111-2
260	土師質土器	焙烙	(34.0)	[5.4]	(34.6)	AIK	10	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 底部シワ状痕 体部下位ケズリ 胎土粉質 体部黒化	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
261	土師質土器	焙烙	(33.0)	[3.7]	(35.5)	AHK	5	普通	にぶい橙	江戸在地系 砂目底 胎土粉質 体部黒化	
262	土師質土器	焙烙	(20.0)	5.5	(20.0)	AHIK	50	普通	明褐灰	江戸在地系 砂目底 胎土粉質 内面円周状のナデ 外面・内底面黒化	
263	土師質土器	焙烙	20.5	5.3	20.4	AIK	80	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 砂目底 胎土粉質 内面円周状のナデ 被熱(一部黒化)	110-10
264	土師質土器	焙烙	長さ6.8 幅4.3 厚さ0.3			AHI	5	普通	にぶい橙	江戸在地系 砂目底・エンボス状刻印「〇に一」	113-5
265	瓦質土器	火消壺	(25.0)	[6.1]	—	IK	5	普通	灰白	外面ミガキ 内面指頭痕・シワ状痕 燻す 胎土輝石含む 胎土中心黄灰	
266	瓦質土器	十能	縦[13.8] 横17.3 高さ[5.6]			CHIK	50	不良	灰白	下面砂目 被熱(剥落著しい)	
267	瓦質土器	十能	縦20.2 横16.4 高さ5.0			IK	70	普通	灰白	側・下面砂目 外縁部ケズリ(ミガキ状光沢) 燻す 胎土中心灰	
268	瓦質土器	十能	縦12.5 横3.1 高さ[2.9]			CHIK	20	普通	灰白	把手 下・側面ケズリ(一部シワ状痕遺存) やや酸化焙焼成	
269	瓦質土器	十能	縦[8.0] 横3.4 高さ2.3			CHIK	10	普通	灰白	側・下面ケズリ 胎土中心黄灰	
270	瓦質土器	十能	縦[14.0] 横[4.4] 高さ[2.8]			CHIK	25	普通	明褐灰	把手 側・下面ケズリ(一部砂目遺存) 燻す 胎土中心褐灰	
271	瓦質土器	瓦燈	8.8	[9.3]	—	CHIK	80	普通	にぶい橙	外面上位・内面下位ミガキ 燻す つまみ内へラ書き スリットは推定 胎土中心褐灰	
272	瓦質土器	蓋	—	2.6	8.0	CIK	95	普通	灰白	底部シワ状痕 上・下面端部ケズリ 上面ミガキ ツマミミガキ状光沢・黒化 上面へラ書き・墨書 最大径10.0 cm	
273	瓦質土器	蓋	—	2.9	9.7	CIK	95	普通	灰白	下面砂目 上面ミガキ 上・下面端部ケズリ 上面へラ書き 被熱(ヒビ割れ) 最大径11.2 cm	
274	瓦質土器	蓋	—	3.1	9.9	CI	100	普通	灰白	下面砂目 上面ミガキ 下面端部ケズリ 燻す 上面へラ書き 被熱(下面黒化・ヒビ割れ) 胎土中心黒 最大径11.9 cm	
275	瓦質土器	蓋	—	2.5	9.3	CI	95	良好	灰白	下面砂目 下面端部ケズリ 上面ミガキ・へラ書き 燻す 最大径11.2 cm	
276	土師質土器	乗燭	4.5	1.9	2.8	AHK	90	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 芯立端部煤付着	
277	土師質土器	乗燭	4.0	1.6	2.8	AK	100	普通	灰黄褐	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 芯立端部煤付着	
278	かわらけ	小皿	11.2	2.4	6.0	AHIK	50	普通	灰黄褐	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質	
279	かわらけ	小皿	9.0	1.7	5.0	AK	95	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 被熱(黒化)	111-1
280	かわらけ	小皿	(9.1)	1.7	4.5	AHI	50	普通	にぶい橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質	
281	かわらけ	小皿	(8.9)	1.3	(5.4)	AK	25	普通	橙	江戸在地系 底部糸切痕 胎土粉質	
282	かわらけ	小皿	(7.3)	1.1	4.0	AHI	50	普通	にぶい橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 底部墨痕	
283	かわらけ	小皿	(7.1)	1.3	3.9	AI	40	普通	褐灰	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 表面黒化 底部二次穿孔	110-11
284	かわらけ	小皿	4.4	0.7	2.9	AIKM	95	普通	にぶい橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 底部焼成前穿孔	110-11
285	かわらけ	小皿	4.5	0.8	3.1	AHK	100	普通	にぶい褐	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 底部焼成前穿孔	110-11
286	かわらけ	小皿	4.5	0.6	3.3	AHI	95	普通	にぶい橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 底部焼成前穿孔	110-11
287	かわらけ	小皿	(5.3)	1.0	(3.1)	AK	30	普通	灰黄褐	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 底部二次穿孔	
288	かわらけ	小皿	4.3	0.8	2.5	AK	60	普通	にぶい褐	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 底部焼成前穿孔	110-11
289	磁器	碗	縦2.2 横2.1 厚さ0.3 重さ24			—	—	普通	白	肥前系 内外面施釉 円盤状製品転用(胴部)	
290	陶器	皿	縦4.8 横5.0	[1.1]	4.4	K	—	普通	灰白	肥前系 内面青緑釉 円盤状製品転用(底部) 重さ27.4 g	
291	瓦質土器	火鉢類	縦3.0 横3.2 厚さ0.9 重さ8.4			CIK	—	普通	灰白	燻す 底部を加工 円盤状製品転用(底部) 胎土中心暗灰色	
292	瓦質土器	火鉢類	縦2.4 横2.2 厚さ0.9 重さ5.4			K	—	普通	灰白	外面ミガキ 燻す 円盤状製品転用(胴部) 胎土中心暗灰色	
293	土製品	羽口	長さ20.2 炉側内径2.1 轆側内径2.1 重さ347.9			CEGI	—	良好	灰	土師質 ナデ状調整 両端を破損	
294	土製品	羽口	長さ24.5 炉側内径2.3 轆側内径3.2 重さ502.9			CI	—	良好	灰白	土師質 ナデ状調整 轆側内面に剥離・擦痕あり 桐口使用か	116-5
295	土製品	羽口	長さ30.9 炉側内径2.7 轆側内径3.4 重さ836.1			CI	—	良好	灰	土師質 内面急にすぼまる(13 cm) 煤付着に当て具痕?あり	116-6

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
296	土製品	羽口	長さ 32.1 炉側内径 2.4 輪側内径 3.6 重さ 897.2			CGI	—	良好	灰白	土師質 ナデ状調整 内面急にすぼまる (10 cm) 輪側内面剥離あり 桐口使用か	116-7
297	土製品	羽口	長さ 34.4 炉側内径 3.3 輪側内径 3.6 重さ 1225.2			CI	—	良好	にぶい黄橙	土師質 ナデ状調整カ	116-8
298	土製品	羽口	長さ 9.3 炉側内径 2.7 輪側内径 2.7 重さ 289.8			HI	—	普通	にぶい黄橙	土師質 外面整形不明	
299	土製品	羽口	長さ 33.1 炉側内径 2.7 輪側内径 3.6 重さ 1184.2			CI	—	良好	褐灰	土師質 ナデ状調整 内面急にすぼまる (13 cm) 羽口保護用粘土付着 輪側内面剥離あり 桐口使用か	116-9
300	磁器	紅坯	口径 2.0 器高 1.1 底径 0.8 重さ 1.5			—	—	良好	灰白	瀬戸美濃系 型成形 内外面施釉	
301	土製品	人形	長さ [2.4] 幅 0.8 厚さ 0.7 重さ 1.3			AI	—	普通	にぶい黄橙	ぶら人形の足 手捻り成形 胎土中心灰色	
302	土製品	人形	高さ [6.4] 幅 4.0 厚さ 3.1 重さ 57.1			EIK	—	普通	灰白	京都系 手捻り成形 開口 外面施釉・緑釉彩色 一部橙色胎土	122-3
303	土製品	人形	長さ 2.4 幅 1.8 厚さ 1.8 重さ 4.7			AIK	—	良好	にぶい橙	江戸在地系 首人形 前後合二枚型成形	122-4
304	土製品	人形	長さ 3.0 幅 0.8 厚さ 1.6 重さ 1.8			AI	—	良好	橙	江戸在地系 ぶら人形の足 手捻り成形	122-2
305	土製品	人形	高さ [7.2] 幅 5.4 厚さ 4.3 重さ 61.2			AHI	—	良好	橙	江戸在地系 猫 左右合二枚型成形 中空 土鈴	122-5
306	瓦	軒棧瓦	長さ [3.2] 幅 [7.2] 高さ [7.1]			EGIKM	—	普通	灰白	左巻三巴文 燻す	126-15
307	瓦	軒棧瓦	長さ [2.1] 幅 [6.5] 高さ [6.5]			IK	—	普通	灰白	右巻三巴文	126-16
308	瓦	軒棧瓦	長さ [5.4] 幅 [8.2] 高さ [7.9]			IK	—	普通	灰白	右巻三巴文 燻す	126-18
309	瓦	軒棧瓦	長さ [2.0] 幅 [7.5] 高さ [7.2]			EIK	—	普通	灰白	右巻三巴文 (指紋複数あり) 燻す 裏面二次利用 (砥具転用)	126-17
310	瓦	軒棧瓦	長さ [16.2] 幅 [15.7] 厚さ [3.2] 高さ [6.4]			HIK	—	普通	灰白	燻す 弱く銀化	126-19
311	瓦	軒棧瓦	長さ [3.9] 幅 [10.8] 厚さ [3.5] 高さ [5.1]			IK	—	普通	暗灰	江戸式 燻す 弱く銀化	
312	瓦	軒丸瓦	長さ [2.6] 幅 [12.8] 高さ [11.1]			CIK	—	普通	灰白	右巻十二連珠三巴文 燻す SK500 と接合	126-20
313	瓦	丸瓦	長さ [15.0] 幅 [13.6] 厚さ [2.4] 高さ [7.6]			AETK	—	普通	灰	強く燻す	
314	瓦	丸瓦	長さ [12.8] 幅 [13.5] 厚さ [2.2] 高さ [6.0]			HK	—	普通	灰	燻す 内面緑青付着 上面ヘラナデ	126-21
315	瓦	丸瓦	長さ [8.7] 幅 [11.8] 厚さ [2.2] 高さ (6.8)			K	—	普通	灰	燻す SK481 と接合	
316	木製品	漆椀	口径 10.8 高さ 3.4							横木取り 内外面黒漆	
317	木製品	漆椀	高さ [3.4]							横木取り 内外面赤漆 高台内に黒で文字	
318	木製品	漆椀	口径 (11.8) 高さ 5.0 底径 5.4							横木取り 内面赤漆 外面黒漆 外面に金で家紋	
319	木製品	漆椀	高さ [5.2] 底径 (6.0)							横木取り 内面赤漆 外面黒漆 赤で家紋 被熱 高台つぶれ	
320	木製品	漆椀	高さ [6.1]							横木取り 内面赤漆 外面黒漆 被熱 歪み	
321	木製品	漆椀	高さ [3.1]							横木取り 内外面赤漆 底部に孔 2	
322	木製品	漆椀	口径 (13.0) 高さ 8.3 底径 6.2							横木取り 内外面赤漆 口縁、高台縁黒漆	132-9
323	木製品	漆椀	高さ [6.5]							横木取り 内外面黒漆	
324	木製品	漆椀	高さ [4.0]							横木取り 内外面赤漆 高台内黒で「井」	
325	木製品	漆椀	口径 13.4 高さ 5.3 底径 6.4							横木取り 内面赤漆 外面黒漆 金で文様	132-10
326	木製品	漆椀	口径 10.2 高さ 7.1 底径 5.0							横木取り 内外面黒漆 高台内赤と金で文様	132-11
327	木製品	漆蓋	高さ [1.4]							横木取り 内外面黒漆	
328	木製品	漆椀蓋	口径 10.4 高さ [3.7]							横木取り 内外面赤漆 口縁黒漆	132-12
329	木製品	漆椀蓋	口径 11.5 高さ [3.4]							横木取り 内面赤漆 外面・つまみ内黒漆 金で家紋	
330	木製品	漆皿	長さ [17.0] 幅 [15.7] 厚さ 1.1							板目 内外面黒漆 内面に朱と金と黄で文様	
331	木製品	容器	高さ [4.6] 底径 (12.0)							縦木取り 黒漆で線状の文様	
332	木製品	曲物	厚さ 0.9 径 7.3							板目 蓋 底板 樹皮紐残	
333	木製品	曲物	厚さ 0.4 径 6.4							板目 蓋 樹皮紐残存	151-14
334	木製品	曲物	厚さ 0.5 径 11.5							板目 蓋 紐 2	151-15
335	木製品	樽	長さ [5.0] 幅 [16.3] 厚さ 0.5							板目 表面墨書 蓋 釘孔 1	



番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
336	木製品	木札	長さ [23.4]	幅 5.7	厚さ 0.7					板目 焼印 樽の側板転用	151-12
337	木製品	樽	長さ 5.8							板目 鏡 焼印 木釘	
338	木製品	桶	長さ [4.0]	幅 26.2	厚さ 2.0					板目	
339	木製品	箱	長さ [11.8]	幅 29.2	厚さ 0.9					板目 表面墨書 鋸痕	151-17
340	木製品	箱	長さ [16.0]	幅 29.7	厚さ 0.8					板目 木釘	
341	木製品	箱板	長さ [10.4]	幅 29.3	厚さ 0.8					板目 片面墨書 No.12	
342	木製品	箱	長さ 38.8	幅 66.5	高さ 9.2					板目 鉄釘 22	
343	木製品	箱	長さ [30.5]	幅 34.0	厚さ 1.2					板目 表面墨書 焼印 釘穴	
344	木製品	箱	長さ [17.5]	幅 32.1	厚さ 1.0					板目 焼印 木釘残存	
345	木製品	箱	長さ 29.8	幅 27.2	厚さ 0.8					板目 焼印 木釘・木釘跡	
346	木製品	蓋	長さ [21.5]	幅 [19.6]	厚さ 1.1					板目 表裏面炭化	
347	木製品	箱	長さ 19.7	幅 3.5	厚さ 0.3					板目 側板 黒漆 表面墨書	151-13
348	木製品	箸	長さ 20.3	幅 0.7	厚さ 0.7					分割棒状	
349	木製品	箸	長さ 20.3	幅 0.8	厚さ 0.5					分割棒状	
350	木製品	箸	長さ [33.7]	幅 0.6	厚さ 0.5					削出し棒状	
351	木製品	杓子	長さ [34.9]							板目	
352	木製品	柄	長さ 2.6	幅 11.4	厚さ 1.9					板目 側面に柄孔	
353	木製品	楡	長さ 13.7	幅 [4.6]	厚さ 1.0					木取り不明	
354	木製品	傘	幅 5.2	高さ 5.3						芯持材 外面黒漆 柄は竹	
355	木製品	行燈	厚さ 1.9	径 (19.0)						板目 黒漆 木釘孔 11	
356	木製品	不明品	長さ [18.3]	幅 [8.4]	厚さ 0.5					板目 鉄釘 1 孔 1 炭化	
357	木製品	箒	長さ [8.6]	幅 2.2	厚さ 2.2					中央に柄 棕櫚を銅線で巻く	
358	木製品	箒	長さ 34.0	幅 23.5	厚さ 3.5					棕櫚箒 鉄釘残	
359	木製品	羽子板	長さ [20.0]	幅 [4.8]	厚さ 0.8					板目 表面墨書 工具痕	151-19
360	木製品	羽子板	長さ [20.3]	幅 9.4	厚さ 0.8					板目	
361	木製品	羽子板	長さ [20.5]	幅 9.9	厚さ 0.7					板目	132-14
362	木製品	鏢	長さ 7.4	幅 7.8	厚さ 1.2					板目	132-13
363	木製品	鏢	長さ [5.5]	幅 6.2	厚さ 1.1					板目	
364	木製品	鏢	長さ 6.4	幅 6.0	厚さ 1.2					板目	
365	木製品	下駄	長さ 21.9	幅 8.2	高さ 8.1					板目 連歯下駄	
366	木製品	下駄	長さ 22.3	幅 10.2	高さ 5.4					板目 連歯下駄 焼印	
367	木製品	下駄	長さ 22.6	幅 10.5	高さ 7.1					板目 連歯下駄 茶漆	
368	木製品	下駄	長さ 22.8	幅 7.9	高さ 4.1					板目 連歯下駄 焼印	
369	木製品	下駄	長さ 22.2	幅 7.5	高さ 3.9					板目 連歯下駄	
370	木製品	下駄	長さ 21.5	幅 9.0	高さ 4.9					板目 連歯下駄	
371	木製品	下駄	長さ 18.1	幅 6.4	高さ 3.6					板目 連歯下駄 372 と 1 組	
372	木製品	下駄	長さ 18.1	幅 6.7	高さ 4.0					板目 連歯下駄 裏面黒漆 371 と 1 組	
373	木製品	下駄	長さ 22.9	幅 7.6	高さ 3.2					板目 連歯下駄	
374	木製品	下駄	長さ 22.4	幅 8.1	高さ 3.1					板目 連歯下駄	
375	木製品	下駄	長さ 22.2	幅 7.8	高さ 5.0					板目 連歯下駄 前歯補修 鉄釘 2	
376	木製品	下駄	長さ 22.5	幅 8.3	高さ 4.4					板目 連歯下駄	
377	木製品	下駄	長さ [21.7]	幅 7.9	高さ 3.3					板目 連歯下駄 焼印	
378	木製品	下駄	長さ 21.1	幅 11.0	高さ 9.1					板目 連歯下駄	
379	木製品	下駄	長さ 20.9	幅 8.3	高さ [3.6]					板目 連歯下駄 黒漆	
380	木製品	下駄	長さ 21.3	幅 7.0	高さ 6.1					板目 連歯下駄 裏面赤漆	
381	木製品	下駄	長さ 22.0	幅 7.8	高さ 4.0					板目 連歯下駄	
382	木製品	下駄	長さ [19.5]	幅 9.6	高さ 3.0					板目 連歯下駄	
383	木製品	下駄	長さ 23.0	幅 7.8	高さ 10.4					板目 陰卯下駄	
384	木製品	下駄	長さ 22.6	幅 7.0	高さ 4.1					板目 陰卯下駄	
385	木製品	下駄	長さ 22.9	幅 7.2	高さ 6.9					板目 陰卯下駄	
386	木製品	下駄	長さ 22.3	幅 8.0	高さ [4.1]					板目 陰卯下駄 裏面爪先釘補修 裏面黒漆	
387	木製品	下駄	長さ 22.0	幅 [6.8]	高さ [2.8]					板目 陰卯下駄	
388	木製品	下駄	長さ 22.6	幅 7.4	高さ 2.2					板目 無眼下駄 外周に鉄釘	
389	木製品	下駄	長さ 21.0	幅 6.5	高さ 2.2					板目 無眼下駄 外周に鉄釘 黒漆	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
390	木製品	馬鍬	長さ7.2 幅30.4 厚さ4.7							板目 刃の差込口4 鉄釘2 No.124	132-15
391	木製品	馬鍬	長さ6.2 幅27.9 厚さ5.7						芯持材 焼印3 中央に四角い孔 金具が差し込まれていた孔4箇所		
392	木製品	馬鍬	長さ7.0 幅28.0 厚さ6.0						芯持材 焼印4 中央に四角い穴		
393	木製品	馬鍬	長さ6.6 幅28.1 厚さ[2.9]						芯持材 金具を差し込む溝3、1箇所鉄釘 No.123		
394	木製品	不明品	長さ48.4 幅[10.6] 厚さ2.7							板目	151-16
395	木製品	不明品	長さ42.4 幅10.4 厚さ6.8							板目 穴6.4×4.0cm	
396	木製品	天秤棒	長さ[83.4] 幅5.7 厚さ2.8							分割材 表面方形の孔(2.3×1.2cm 深1.8cm) 裏面焼印	
397	木製品	天秤棒	長さ[54.9] 幅5.3 厚さ2.7							分割材 柄穴1 焼印	
398	木製品	木札	長さ37.0 幅[4.4] 厚さ0.8							板目 表面墨書 孔3	
399	木製品	木札	長さ[18.5] 幅[4.5] 厚さ0.6							板目 表裏面墨書 孔1	
400	木製品	不明品	長さ7.1 幅5.1 厚さ0.6							板目 孔1	
401	木製品	不明品	長さ4.0 幅2.3 厚さ0.7							板目 孔2	
402	木製品	不明品	長さ4.6 幅1.8 厚さ0.8							板目 孔2	
403	木製品	不明品	長さ2.1 幅6.8 厚さ0.7							板目 孔2	
404	木製品	不明品	長さ6.7 幅3.2 厚さ1.0							板目 孔1	
405	木製品	不明品	厚さ1.8 径7.5							板目	
406	木製品	不明品	厚さ0.8 径10.8							板目 中央・側面に木釘 右側に切込みと釘穴	
407	木製品	不明品	長さ24.9 幅3.9 厚さ1.4							板目	
408	木製品	不明品	長さ[20.5] 幅4.8 厚さ1.3							板目	
409	木製品	不明品	長さ16.2 幅2.3 厚さ1.7							板目	
410	木製品	不明品	長さ13.5 幅2.3 高さ2.0							芯持材 裏面に茶漆 正面下部に孔 筒状	
411	木製品	不明品	長さ12.8 幅2.5 厚さ1.2							板目 焼印 裏面上部銅線の痕跡	
412	銅製品	煙管	長さ5.5 火皿径1.6×1.5 小口径1.0×0.9 重さ7.5							雁首 やや潰れる	
413	銅製品	煙管	長さ5.5 火皿径1.5 小口径1.0 重さ8.1							雁首 やや潰れる	133-2
414	銅製品	煙管	長さ6.5 小口径1.0 口付径0.5 重さ4.9							吸口 口付潰れる	133-2
415	銅製品	煙管	長さ4.2 小口径0.9 口付径0.5 重さ3.7							吸口	133-2
416	銅製品	煙管	長さ[2.9] 小口径1.1 口付径1.1×0.3 重さ2.3							吸口 口付潰れ遊離	
417	銅製品	煙草入れの金具	縦0.4 横[4.6] 厚さ0.02 重さ0.2							吊手座金具	
418	銅製品	毛抜き	長さ7.6 幅0.7 厚さ0.1 重さ11.1								135-1
419	銅製品	簪	長さ14.3 幅0.9 厚さ0.2 重さ8.4							花文飾り	136-2
420	銅製品	水滴	縦2.6 横5.2 高さ1.6 厚さ0.1 重さ21.2								135-1
421	銅製品	蓋カ	縦3.8 横4.3 厚さ0.02 重さ3.1								
422	銅製品	額受金具	縦3.0 横[5.0] 幅0.9 厚さ0.2 重さ6.7								
423	銅製品	燭台	径5.1×4.9 厚さ0.03 重さ4.5							中心に孔(径0.4cm)	
424	銅製品	飾金具	縦[5.1] 横[5.7] 厚さ0.03 重さ5.3							小孔3箇所	
425	銅製品	飾金具	縦2.8 横6.0 厚さ0.03 重さ2.8							鉾?1残存	
426	銅製品	飾金具	縦3.0 横[4.7] 厚さ0.02 重さ1.7							小孔3箇所	
427	銅製品	把手カ	縦2.1 横[4.8] 厚さ0.06 重さ1.5								
428	銅製品	不明	縦0.7 横[2.6] 厚さ0.08 重さ1.0								
429	銅製品	不明	縦1.2 横2.1 厚さ0.02 重さ0.5								
430	銅製品	金網	縦(16.6) 横(19.0) 厚さ0.1 重さ24.7							網目約0.3cm	
431	銅製品	針金	縦2.7 横3.6 厚さ0.08 重さ0.5								
432	銅製品	針金	縦6.4 横3.4 厚さ0.1 重さ0.6								
433	銅製品	針金	縦4.6 横4.9 厚さ0.1 重さ2.5							径約2×3cmの棒状品に括り付けられていた形状を残す	
434	銅製品	針金	縦2.8 横3.7 厚さ0.05 重さ0.3							径約3cmの棒状品に括り付けられていた形状を残す	
435	銅製品	針金	縦4.3 横3.1 厚さ0.05 重さ0.3							径約3.5cmの棒状品に括り付けられていた形状を残す	
436	銅製品	針金	縦5.6 横4.8 厚さ0.1 重さ1.7								
437	銅製品	針金	縦7.8 横6.9 厚さ0.1 重さ1.6								
438	銅製品	針金	縦11.3 横4.4 厚さ0.1 重さ3.3								
439	鉄製品	杓子	長さ[13.4] 幅12.0 厚さ0.3 重さ151.5								135-1

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
440	鉄製品	錠前	縦4.3 横7.7 厚さ1.3 重さ52.5							施錠部残存	135-2
441	鉄製品	錠前	縦[6.6] 横[4.5] 厚さ1.8 重さ20.3							引出しの錠前	135-2
442	鉄製品	尻鉄	縦[3.6] 横[3.8] 厚さ0.3 重さ5.6							雪駄の尻鉄	
443	鉄製品	包丁	長さ17.8 刃長13.9 刃幅3.9 背幅0.2 重さ85.6								134-2
444	鉄製品	包丁	長さ[25.1] 刃長18.4 刃幅2.4 背幅0.2 重さ36.7								134-2
445	鉄製品	包丁	長さ[15.0] 刃長[3.2] 刃幅[2.2] 背幅0.2 重さ89.8							木柄付き	
446	鉄製品	鋤先	縦[4.5] 横[8.8] 厚さ1.0 重さ56.5								
447	鉄製品	鋤先	縦[3.6] 横[7.1] 厚さ1.5 重さ42.4								
448	鉄製品	不明	縦[1.8] 横[14.7] 厚さ0.8 重さ29.1								
449	鉄製品	不明	縦[2.2] 横6.1 厚さ0.1 重さ10.2							薄板	
450	鉄製品	不明	長さ[7.8] 幅1.0 厚さ0.3 重さ13.8							端部鉤状	
451	鉄製品	不明	長さ[9.5] 幅1.2 厚さ0.2 重さ11.0								
452	鉄製品	釘	長さ[7.1] 幅0.4 厚さ0.3 重さ4.9								
453	鉄製品	釘	長さ[3.0] 幅0.3 厚さ0.3 重さ3.6								
454	銅製品	銭貨	径23.2 厚さ1.2 重さ2.5							寛永通寶(古)	
455	銅製品	銭貨	径24.6 厚さ1.1 重さ2.6							寛永通寶(新)	
456	銅製品	銭貨	径23.1 厚さ1.0 重さ2.7							寛永通寶(新) 背足カ	
457	銅製品	銭貨	径22.4 厚さ1.2 重さ2.3							寛永通寶(新) 背足	
458	鉄滓	椀形滓	長さ8.1 幅7.6 厚さ3.0 重さ123.3							楕円形カ 上面木炭あり 滓は一部青銅色 磁着弱い	136-15
459	石製品	火打石	長さ2.2 幅1.3 厚さ1.1 重さ3.0							玉髄 稜の潰れ著しい	
460	石製品	火打石	長さ2.3 幅1.9 厚さ0.9 重さ4.6							玉髄 稜の潰れ著しい 剥片素材	
461	石製品	火打石	長さ3.7 幅2.2 厚さ1.0 重さ7.7							玉髄 剥片素材 使用痕あり	
462	石製品	火打石	長さ2.2 幅2.7 厚さ1.5 重さ9.0							玉髄 稜の潰れ著しい	
463	石製品	火打石	長さ3.0 幅2.4 厚さ1.6 重さ9.2							玉髄 稜の潰れ著しい	
464	石製品	火打石	長さ2.6 幅2.7 厚さ2.0 重さ18.8							玉髄 稜の潰れ著しい	
465	石製品	火打石	長さ3.5 幅3.1 厚さ2.1 重さ23.5							玉髄 稜の潰れ著しい	
466	石製品	火打石	長さ4.0 幅3.4 厚さ2.9 重さ44.3							玉髄 稜の潰れ著しい	
467	石製品	砥石	長さ4.1 幅3.2 厚さ2.8 重さ55.1							流紋岩 裏面ノコギリ痕わずかに残る 側面刃物傷2・削痕・溝状使用痕 砥面6 被熱(一部黒色化)	
468	石製品	砥石	長さ3.9 幅3.6 厚さ3.1 重さ68.6							砂岩 裏面刃物傷 砥面6 被熱(黒色化・光沢)	
469	石製品	砥石	長さ6.8 幅3.5 厚さ1.1 重さ46.4							流紋岩 裏面幅広工具痕 側面削痕 砥面3	
470	石製品	砥石	長さ(14.6) 幅3.5 厚さ2.8 重さ273.9							流紋岩 裏面幅広工具痕 側面ノコギリ痕2 砥面2	
471	石製品	砥石	長さ8.6 幅5.1 厚さ1.1 重さ75.9							粘板岩 左側面ノコギリ痕2方向 他側面ノコギリ痕カ2 砥面1	
472	石製品	砥石	長さ[9.6] 幅[3.6] 厚さ2.1 重さ109.6							ホルンフェルス 側面ノコギリ痕 砥面2	
473	石製品	砥石	長さ[10.0] 幅5.8 厚さ1.4 重さ94.8							ホルンフェルス 右側面幅広工具痕 下側面ノコギリ痕 砥面2	
474	石製品	砥石	長さ[11.0] 幅3.4 厚さ2.2 重さ92.0							凝灰岩カ 裏面楕歯状工具痕カ 側面削痕2 砥面1	
475	石製品	砥石	長さ[11.0] 幅4.1 厚さ3.0 重さ172.2							流紋岩 側面ノコギリ痕2 砥面4	
476	石製品	砥石	長さ[11.0] 幅[4.0] 厚さ4.0 重さ251.3							ホルンフェルス 左側面幅広工具痕・剥落著しい 下側面ノコギリ痕 砥面1	
477	石製品	砥石	長さ15.2 幅3.2 厚さ4.5 重さ298.0							流紋岩 側面ノコギリ痕 砥面4	140-2
478	石製品	砥石	長さ[16.2] 幅[6.4] 厚さ2.9 重さ294.3							ホルンフェルス 表面刃物痕 裏面使用痕 側面削痕カ 被熱(剥落) 砥面1	140-2
479	石製品	砥石	長さ13.2 幅4.3 厚さ5.1 重さ336.7							流紋岩 裏面幅広工具痕 側面ノコギリ痕2 砥面3	140-2
480	石製品	砥石	長さ[5.8] 幅[9.3] 厚さ7.6 重さ621.5							ホルンフェルス 表・側面幅広工具痕3 裏面線条痕 砥面1	140-2
481	石製品	磨石	長さ3.8 幅3.0 厚さ0.8 重さ5.0							角閃石安山岩 多孔質 自然面遺存 使用面1	141-1
482	石製品	磨石	長さ3.1 幅3.9 厚さ1.3 重さ8.3							角閃石安山岩 多孔質 使用面5	141-1
483	石製品	磨石	長さ5.5 幅4.2 厚さ1.8 重さ22.0							角閃石安山岩 多孔質 自然面遺存 使用面4	141-1
484	石製品	磨石カ	長さ11.3 幅8.3 厚さ6.6 重さ181.3							軽石 使用痕あり	
485	石製品	硯	長さ15.5 幅6.0 重さ330.5							流紋岩 器高2.3 裏面ノコギリ状工具痕遺存 内面墨付着 被熱(剥落)	141-3

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
486	石製品	硯	長さ 16.6 幅 6.2 重さ 283.7							粘板岩 器高 2.0 内・側面黒色塗付物 内面穿孔 2 あり (未貫通) 裏面砥具転用	141-3
487	石製品	温石	長さ [4.4] 幅 6.2 厚さ 1.6 重さ 71.3							砂岩 両面側面に線条痕 (研磨カ) 表面に削痕	141-4
488	石製品	温石	長さ [5.9] 幅 6.0 厚さ 1.7 重さ 86.4							砂岩 両面側面に線条痕 (研磨カ) 被熱 (剥落)	141-4
489	石製品	温石	長さ 8.0 幅 6.7 厚さ 2.0 重さ 180.6							砂岩 線条痕顕著 (研磨カ) 穿孔 3 (未貫通 2)	141-4
490	石製品	石材	長さ 10.0 幅 8.3 厚さ 2.0 重さ 215.6							緑泥片岩 右側縁部垂直打撃痕	
491	石製品	石臼	重さ 531.3							凝灰岩 器高 [6.9] 上臼 外面・内底面ビシャン仕上げ状 内側面削痕 口唇部摩耗 貫通孔 1 遺存 被熱 (赤・黒化 剥落)	
492	石製品	石臼	長さ 17.2 幅 11.3 厚さ 7.2 重さ 1373.2							砂岩 上臼 下面播目 穿孔 (未貫通) 内面削痕 (摩耗) 被熱 (下面黒化)	139-6
493	石製品	切石材	長さ [7.6] 幅 [12.6] 厚さ [4.7] 重さ 238.6							凝灰岩 表面摩耗	
494	石製品	切石材	長さ [10.2] 幅 11.4 厚さ [10.0] 重さ 530.1							凝灰岩 軟質 裏面被熱 (黒化・一部赤化)	139-4
495	石製品	不明	長さ [7.2] 幅 [9.5] 厚さ 2.4 重さ 121.4							角閃石安山岩 表裏面サキノミ状工具痕 裏面二次利用 (摩耗) 穿孔 1 石造物カ	139-5
496	石製品	円盤状製品	長さ 5.6 幅 5.6 厚さ 2.4 重さ 87.1							凝灰岩 裏面摩耗 (線条痕) 表面摩耗・凹み 5 側面サキノミ状工具痕	139-7
497	石製品	ミニチュア	縦 3.9 横 3.6 高さ 8.5 重さ 6.6							凝灰岩 無数の凹凸状加工あり 灯籠のミニチュア	139-8
498	硝子製品	筭	長さ [1.4] 幅 0.2 厚さ 0.5 重さ 0.6							黄色 透明 中実 湾曲	142-10
499	硝子製品	筭	長さ [4.7] 幅 0.6 厚さ 0.3 重さ 3.7							青色 透明 中実 被熱 (白色化)	142-11
500	壁材	—	縦 5.6 横 6.8 厚さ 2.4			EIK	—	—	にぶい橙	材圧痕 (2 種類) 被熱 (赤化・硬質化) 外面砂壁 (厚さ 0.5 cm)	

と緑の上絵付が施されている。139は京都信楽系の色絵半球碗である。外面に赤と緑の上絵付が施され、胎土に光沢がみられる。140は京都信楽系陶器の胴締め碗である。外面に緑の上絵付が施されている。142は瀬戸美濃系の太白手丸碗である。灰釉が施釉され、外面に呉須絵が施されている。第671図145・146は瀬戸美濃系の奈良茶碗である。灰釉が施釉され、145は外面に縦縞の呉須絵、146は縦縞の鉄絵と呉須絵が施されている。147・148は京都信楽系の小杉碗である。外面に鉄絵が施され、147は胎土が磁質である。151・152は瀬戸美濃系陶器の鎧茶碗である。外面にトビガンナ状の押形文が施文される。

164～167は「浅紅」ないし「紅浅」と上絵付が施された坏である。浅草諏訪町に店を構えた「紅粉屋諫蔵」に関わる資料である。江戸遺跡における出土はほぼ皆無である一方で、栗橋宿ではこれまでに160点を越える出土が確認されている。18世紀末～19世紀初頭の極めて限られた時期に使用されたと考えられており(村山2021)、本遺構出土資料も例にもれず同時期で

ある。栗橋宿以外でも今後出土事例が増える可能性があり、注意を要する。

第672図170は瀬戸美濃系陶器の石皿である。底部に墨書がみられる。灰釉が施釉され、内面に散らされた鉄釉と呉須絵がみられる。173～190は瀬戸美濃系陶器の柿釉灯明皿である。173～第673図180は油皿、181～190は油受皿である。。第675図204～第676図208は瀬戸美濃系陶器の徳利である。204は外面に尾呂釉が施釉されている。205・208は一升徳利で、外面に灰釉が施釉されている。206はぺこかん徳利で、体部に凹みがみられ、上位は糸目状である。柿釉が施釉されている。209は外面に灰釉が施釉され、呉須が僅かに散っている。作りは爛徳利に類似する。底部に釉の拭き取り痕と墨痕がみられる。211は産地不詳の鉄釉土瓶である。体部は手持ちヘラケズリで上位は糸目施文である。

第678図233～第684図288は土器である。233は瓦質土器の角火鉢で、口唇部・外面は明瞭なミガキ調整が施される。底部は一部にシワ状痕が遺存するヘラナゲ調整で、内底面はナゲ調整である。

脚は4箇所欠失している。在地産と考えられる。第679図238は瓦質土器の火鉢である。やや酸化焰焼成で、表面は橙色気味である。体部の作りは輪高台状の脚部が付く火鉢に類似するが、板状脚が3箇所が付く。内底面に刻印がみられる。第680図244・245は瓦質土器の置き竈である。244は舌状の受け皿が付き、板状脚が3箇所が付く。外面はヨコナデ調整である。245は244と同様の下部構造と考えられ、外面にはミガキ調整が施される。246～第682図256は瓦質土器の平底焙烙で、在地産と考えられる。内外面の調整は多様である。第681図250は内面に「吉田屋」と考えられる刻書がみられる。「旅籠屋/吉田屋/太左衛門」に関わる資料である。第682図257～263は江戸在地系土師質土器の丸底焙烙である。258は内面に「㊦」と考えられる刻印がみられる。262・263は小型である。第683図272～275は瓦質土器の蓋である。上面にミガキ調整が施され、ヘラ書きがみられる。272には墨書もみられる。いずれも対応する身は出土していない。

第684図293～第685図299は鞆の羽口である。第9地点（『栗橋宿跡Ⅶ』）や第4地点（『栗橋宿跡Ⅱ』）でみられる、標準的な形態である。詳細は「Ⅵ. 調査のまとめ」を参照されたい。

第685図301～305は土製品である。301・304はぶら人形の手足である。305は猫の人形である。左右合わせの二枚型成形で、中空である。振ると音が鳴り、土鈴の可能性が疑われる。

306～第686図315は瓦である。309は軒棧瓦で、瓦当面に指紋が多数みられる。欠失部は二次利用が行われている。310は江戸式に類似する軒棧瓦で、渦巻唐草文である。

第686図316～第698図411は木製品である。第687図338は桶部材である。いわゆる跳ね釣瓶を構成する部材の可能性が疑われる。第688図342は箱である。鉄釘が側板に7箇所、底板に15箇所遺存している。第690図354は傘である。芯持

材で、外面に黒漆が塗布されている。柄は竹材である。第691図359～361は羽子板である。359は表面に墨書がみられ、刃物痕と思われる傷がみられる。

第698図412～第699図453は金属製品である。412～416は銅製煙管である。440は鉄製の回転鍵型錠である。443～445は鉄製の包丁で、445は木柄が遺存している。443は刃部がアーチ状である。

第700図454～457は銅製の寛永通寶である。458は椀形滓である。上面に木炭がみられ、滓は一部青銅色である。

459～第702図497は石製品である。459～466は玉髓製の火打石である。第701図467～480は砥石である。468は砂岩製で、球状石製品に類似する形態である。鍛冶に関わる砥石の可能性が疑われる。主な利用石材は流紋岩（467・469・470・475・477・479・）、ホルンフェルス（472・473・476・478・480）、粘板岩（471）である。474は凝灰岩製と思われる。成形痕は、ノコギリ状工具痕（467・470・471～473・475・476・477・479）、チョウナ状工具と推定される刃幅の広い工具痕（469・470・473・476・479・480）、櫛歯状工具痕（474）等がみられる。第702図481～483は多孔質の角閃石安山岩転石製磨石である。481・483は片面に自然面が遺存し、使用面は平坦である。482は三角形に擦り減っている。485は流紋岩製の硯である。裏面にノコギリ状工具痕が僅かに遺存している。流紋岩を素材とし、工具痕が遺存する硯は稀である。496は側面にサキノミ状工具痕が遺存し、円盤状を呈する凝灰岩製の用途不明品である。497は凝灰岩製灯籠のミニチュアと考えられる。

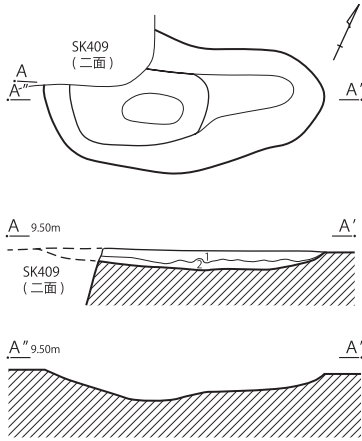
第703図498・499は硝子製筭、500は壁材である。壁材は外面が砂壁である。

#### ⑤区画AEの土壌（第711～718図）

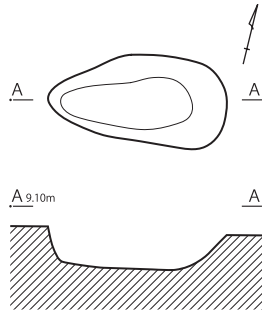
第三面の土壌は7基検出された。区画AEは



S K 521

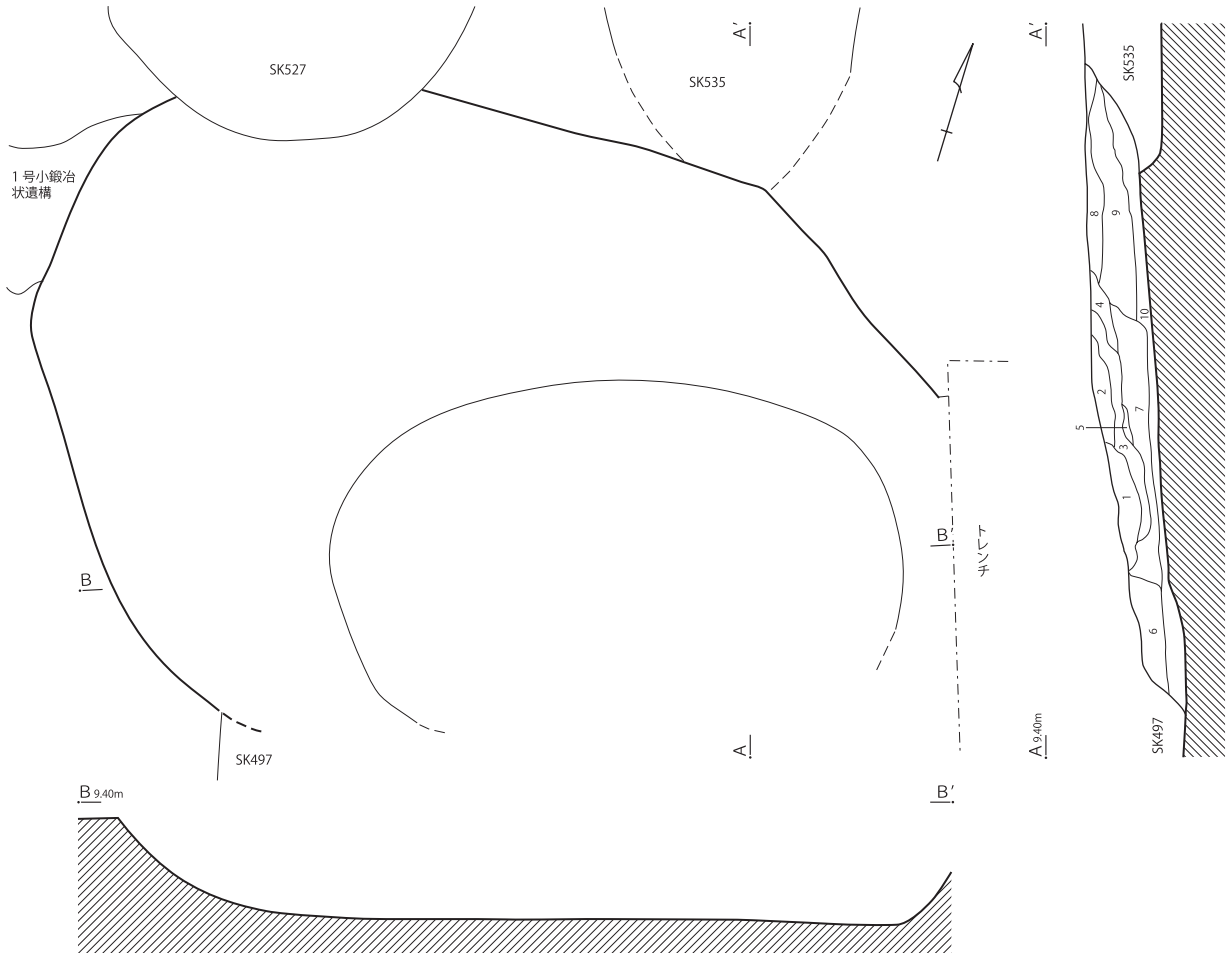


S K 542



S K 521  
 1 暗褐色細粒砂 灰色粘土ブロック (φ7~12mm) 微量  
 2 暗褐色土 地山ベースに細粒砂多量混  
 灰色粘土ブロック (10~30mm) 少量  
 (崩落か)

S K 531



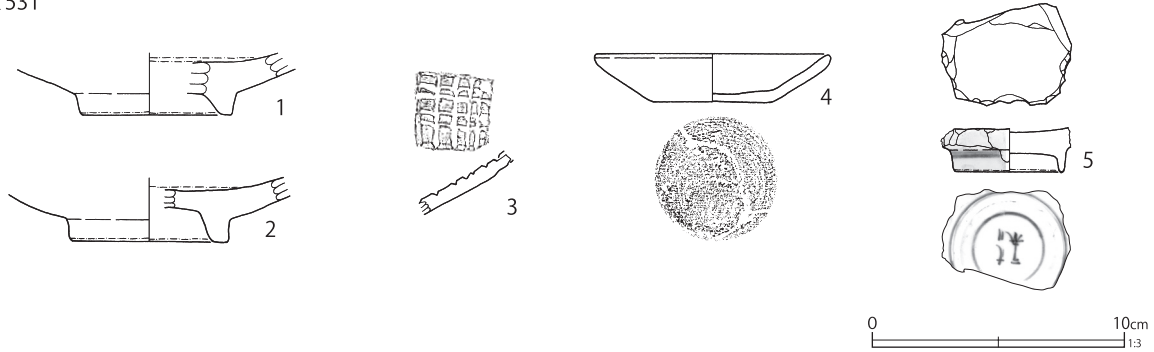
S K 531  
 1 青灰色土 均一 炭化物φ2~5mm 風化 少量  
 2 青灰色土 均一 炭化物φ2~5mm 風化 多量  
 3 青灰色土 均一 炭化物φ2~5mm 風化 多量  
 4 青灰色土 均一 炭化物φ2~5mm 風化 少量  
 5 青灰色土 均一 やや砂質 炭化物不  
 6 青灰色砂 均一 やや粒子の大きい砂  
 7 青灰色土 均一 炭化物φ2~5mm 風化 少量 やや粘質

8 青灰色土 均一 地山砂層に比して著しくシルト質の土壤にとむ  
 洪水起源のシルトの流入か 炭化物φ2~3mm やや風化 多量  
 更に土壌が多くやや粘土質 炭化物多量 ややシルト質  
 9 青灰色土 均一 8層に同じ やや炭化物多い  
 10 黄茶色砂 均一 8層に同じ 8層より砂質 部分的にはほぼ純砂層  
 下層に起源をもつ 炭化物やや少ない やや砂粒大きい



第704図 区画AD土壤(5)

SK531

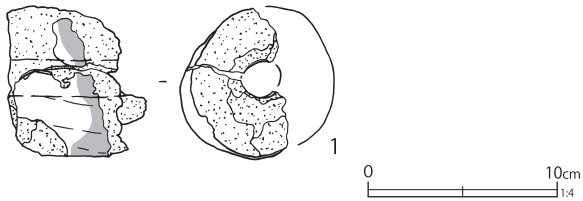


第 705 図 区画 AD 土壌出土遺物 (1)

第 213 表 区画 AD 出土遺物観察表 (1) (第 705 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	磁器	皿	—	[2.4]	(6.2)	—	10	良好	白	SK531	肥前系 内外面施釉 見込蛇ノ目釉剥・輪状重焼痕	
2	磁器	皿	—	[2.5]	(6.0)	—	5	普通	白	SK531	肥前系 内外面施釉 見込蛇ノ目釉剥	
3	陶器	卸目付大皿	—	[2.3]	—	EI	5	良好	灰	SK531	外面灰釉散る 内面斜格子状の挿目 古瀬戸	
4	かわらけ	小皿	9.1	1.9	4.4	AEHKIM	90	普通	灰黄褐	SK531	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土紛質	
5	磁器	碗	—	[1.7]	4.2	—	—	普通	白	SK531	肥前系 内外面施釉 外面染付 円盤状製品転用(底部) 縦 [3.9] 横 [5.1] 重さ 34.1 g	

SK531

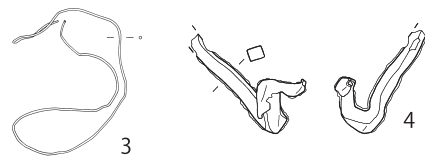


第 706 図 区画 AD 土壌出土遺物 (2)

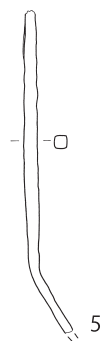
第 214 表 区画 AD 土壌出土遺物観察表 (2) (第 706 図)

番号	種別	器種	長さ	炉側径		竈側径		重量	胎土	焼成	色調	遺構	備考	図版
				外径	内径	外径	内径							
1	土製品	羽口	[7.4]	—	2.0	—	2.0	202.9	I	普通	灰白	SK531	やや砂質 ナデ状調整カ	

SK531



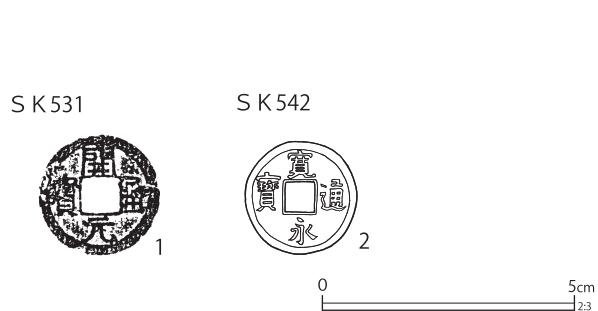
SK542



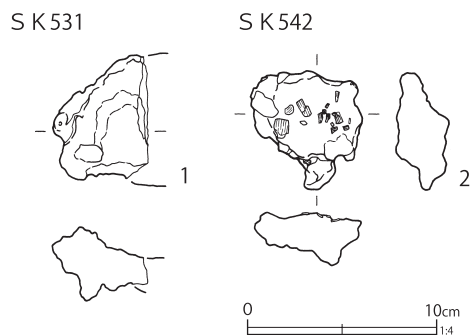
第 707 図 区画 AD 土壌出土遺物 (3)

第215表 区画AD土壌出土遺物観察表(3)(第707図)

番号	種別	器種	法量	遺構名	備考	図版
1	銅製品	煙管	長さ4.8 小口径0.9 口付径0.4 重さ2.5	SK531	吸口	
2	銅製品	煙管カ	長さ[8.2] 径0.6 重さ4.8	SK531		
3	銅製品	針金	縦5.8 横4.5 厚さ0.1 重さ1.1	SK531		
4	鉄製品	釘	長さ[4.0] 幅0.6 厚さ0.5 重さ15.0	SK531		
5	鉄製品	不明	長さ[12.9] 幅0.5 厚さ0.5 重さ12.0	SK542		



第708図 区画AD土壌出土遺物(4)



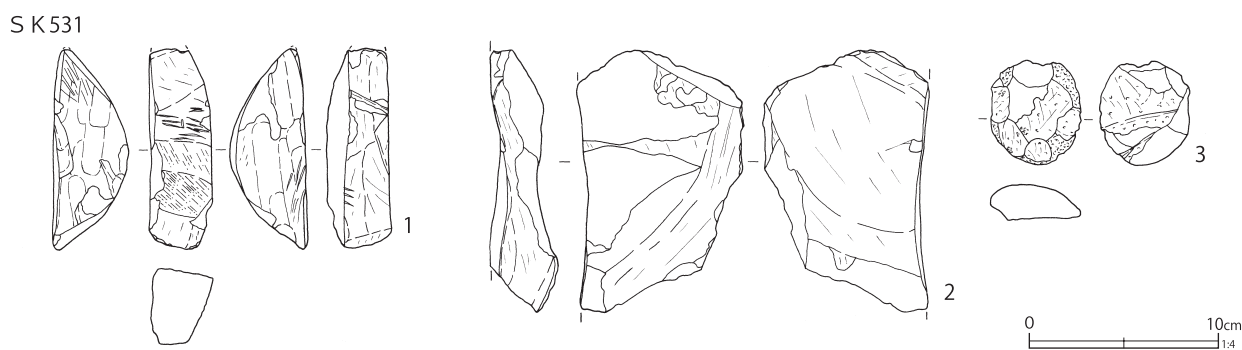
第709図 区画AD土壌出土遺物(5)

第216表 区画AD土壌出土遺物観察表(4)(第708図)

番号	種別	器種	法量	遺構名	備考	図版
1	銅製品	銭貨	径23.9 厚さ1.2 重さ2.6	SK531	開元通寶	136-14
2	銅製品	銭貨	径22.0 厚さ1.0 重さ2.4	SK542	寛永通寶(新)	

第217表 区画AD土壌出土遺物観察表(5)(第709図)

番号	種別	器種	平面形	法量	遺構名	備考	図版
1	鉄滓	椀形滓	楕円形カ	長さ6.5 幅5.0 厚さ3.9 重さ92.0	SK531	上面小孔あり 底面木炭少量 磁着弱い	136-15
2	鉄滓	椀形滓	楕円形	長さ6.1 幅5.6 厚さ2.7 重さ87.1	SK542	完形 上面木炭あり 下面木炭少量 磁着やや弱い	136-15



第710図 区画AD土壌出土遺物(6)

第218表 区画AD土壌出土遺物観察表(6)(第710図)

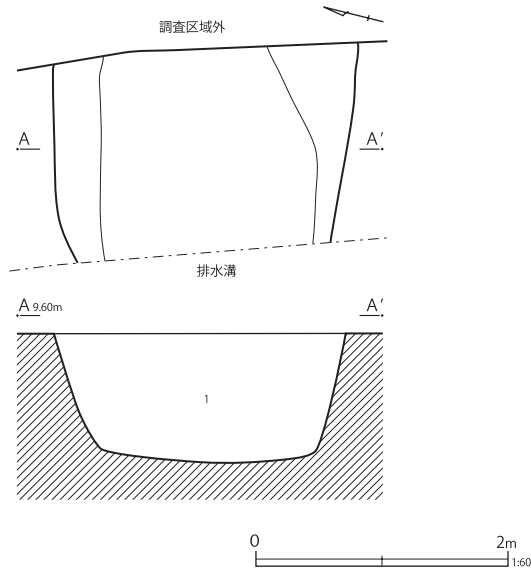
番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	重さ	石材	遺構	備考	図版
1	石製品	砥石	10.6	3.4	4.0	174.1	流紋岩(緑色)	SK531	表面線状痕・刃物痕 裏面刃物痕 側面削痕・刃物痕 砥面2	
2	石製品	砥石	[13.9]	[8.9]	3.6	364.2	ホルンフェルス	SK531	砥面3	
3	石製品	磨石	5.5	4.8	1.9	19.3	角閃石安山岩	SK531	多孔質 自然面遺存 使用面2 削痕	

第219表 第三面区画AE 土壌一覧表

単位：m

番号	グリッド	形態	長軸	短軸	深さ	方位	備考	挿図
517	F7-D7	楕円形	0.75	0.57	0.23	N-68° -W		714
518	F7-D6・7	円形	0.80	0.75	0.20	N-84° -E		714
532	F7-D7	不明	(2.85)	1.28	0.37	N-75° -E		714
539	F7-D・E8	長楕円形	8.15	0.71	0.35	N-12° -W		714
550	F7-D8	不整形	1.96	1.20	0.20	N-62° -E		714
551	F7-D8	不整楕円形	1.90	1.42	0.23	N-65° -E		714
552	F7-D8	不明	(1.60)	2.40	0.90	N-75° -E		711

S K 552



S K 552  
1 黒褐色土 シルト質 焼土層 多量の炭化物・炭化物粒子・被熱した粘土  
粘性弱 しまり弱

第711図 区画AE 土壌(1)

『絵図』にみえる「旅籠屋/吉田屋/太左衛門」に相当する。遺物の出土が少ない土壌が多いが、調査区東端で火災処理土壌(第552号土壌)が検出されている。第219表に位置・規模等の基本的な情報を示した。

本区画で抽出した土壌は第552号土壌で、第711図に遺構図、第712・713図に遺物図を先行して図示した。非抽出となった土壌は第714図に遺構図、第715～718図に遺物図を示し、特徴的な土壌・遺物について記述していく。

#### 第552号土壌(第711～713図)

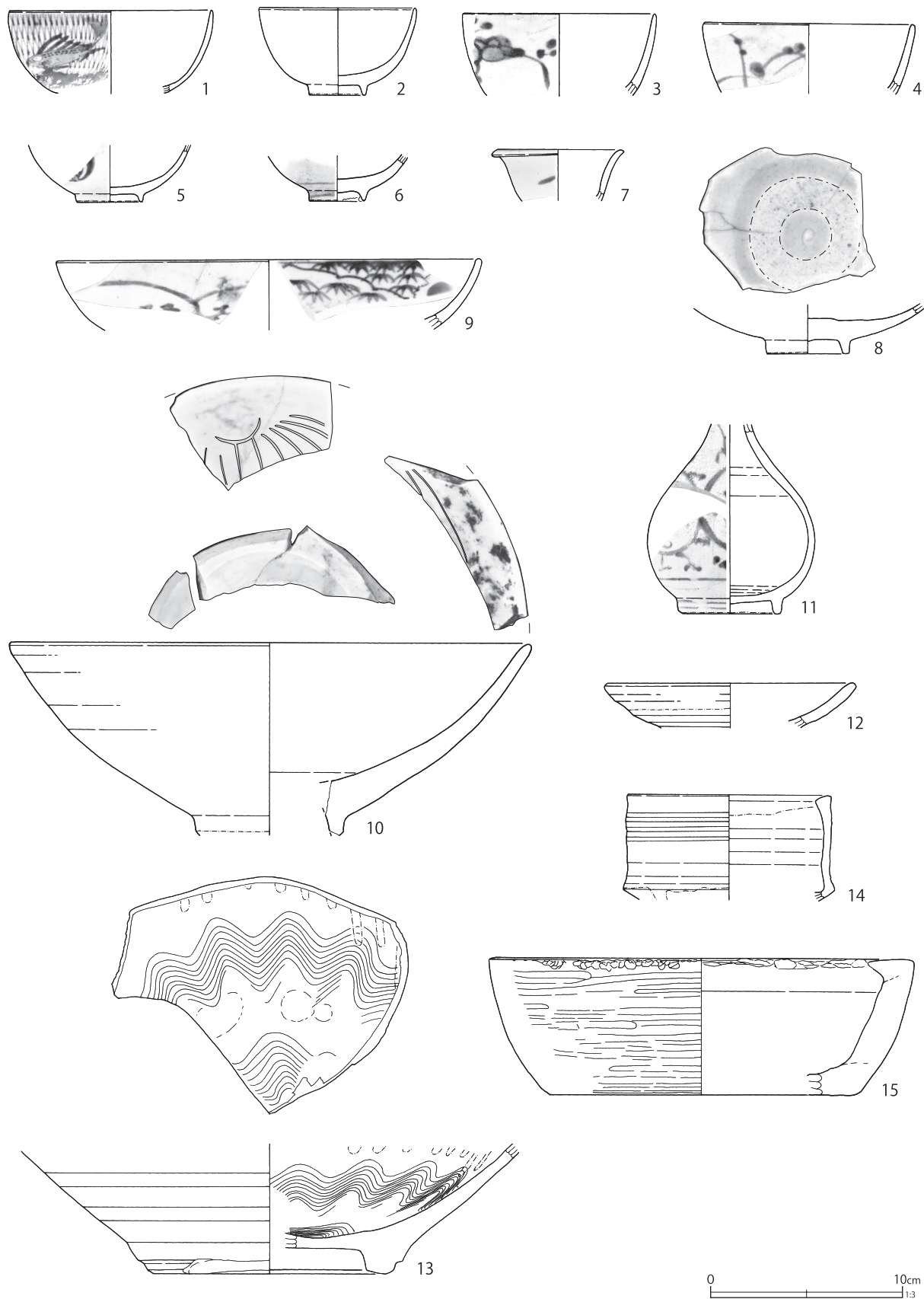
F7-D8グリッドに位置する。調査区東端で検出された火災処理土壌で、東側は調査区外であるため平面形は不明である。検出長軸1.6m、短軸2.4m、深さ0.9mを測り、長軸方位はN

-75° -Eを指す。

覆土は多量の炭化物・焼土塊が含まれるシルト質土の単層である。遺物は一定量出土している。ほとんどが被熱しており、陶磁器は表面が発泡するほど強く焼けているものがみられる。肥前系磁器の梅樹文・雪輪草花文碗を最新とする。陶磁器の様相は第497号土壌焼土層や第344号土壌下層出土の陶磁器と酷似しており、同一個体と思われる陶磁器もみられる。推定廃絶期は18世紀前葉である。

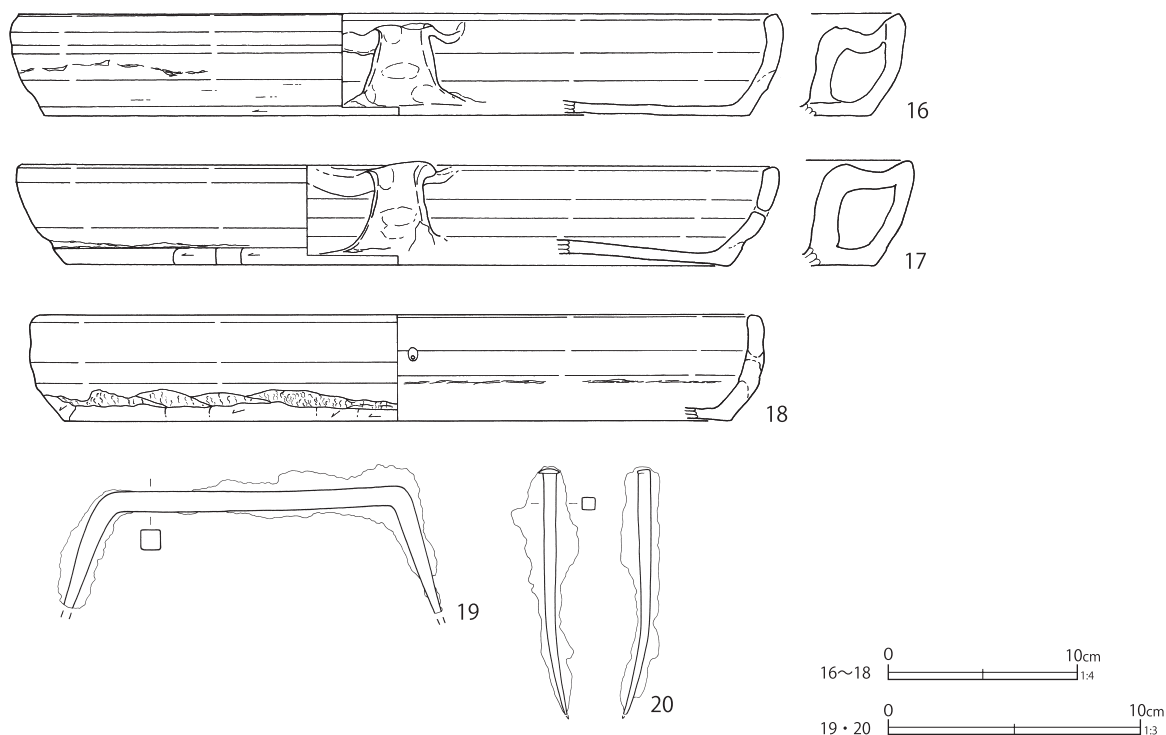
第712・713図に出土遺物を図示した。第712図1～11は肥前系磁器である。1は高台径の小さい薄手半球碗である。外面に染付が施され、被熱している。2は小碗で、被熱している。3・4は波佐見系のいわゆるくらわんか手碗で、3は梅樹文、4は雪輪草花文染付がみられる。いずれも強く被熱している。5は丸碗である。高台断面がシャープな「U」字状を呈し、高台高が低い。外面に染付が施され、弱く被熱している。6は波佐見系の小碗で、外面に染付が施されている。強く被熱している。7は粗製の端反形坏で、外面に染付がみられる。弱く被熱している。

8は見込み蛇ノ目釉剥ぎが施された底部露胎の皿である。内外面に青磁釉気味の釉が施釉されている。9は中皿で、内面に笹文の染付がみられる。強く被熱しており、第403号土壌出土破片と接合関係にある。また、第497号土壌焼土層出土遺物として扱った第344号下層焼土層から出土している同文皿(第617図88)と同一個体である可能性が高い。



第 712 图 第 552 号土壤出土遺物 (1)

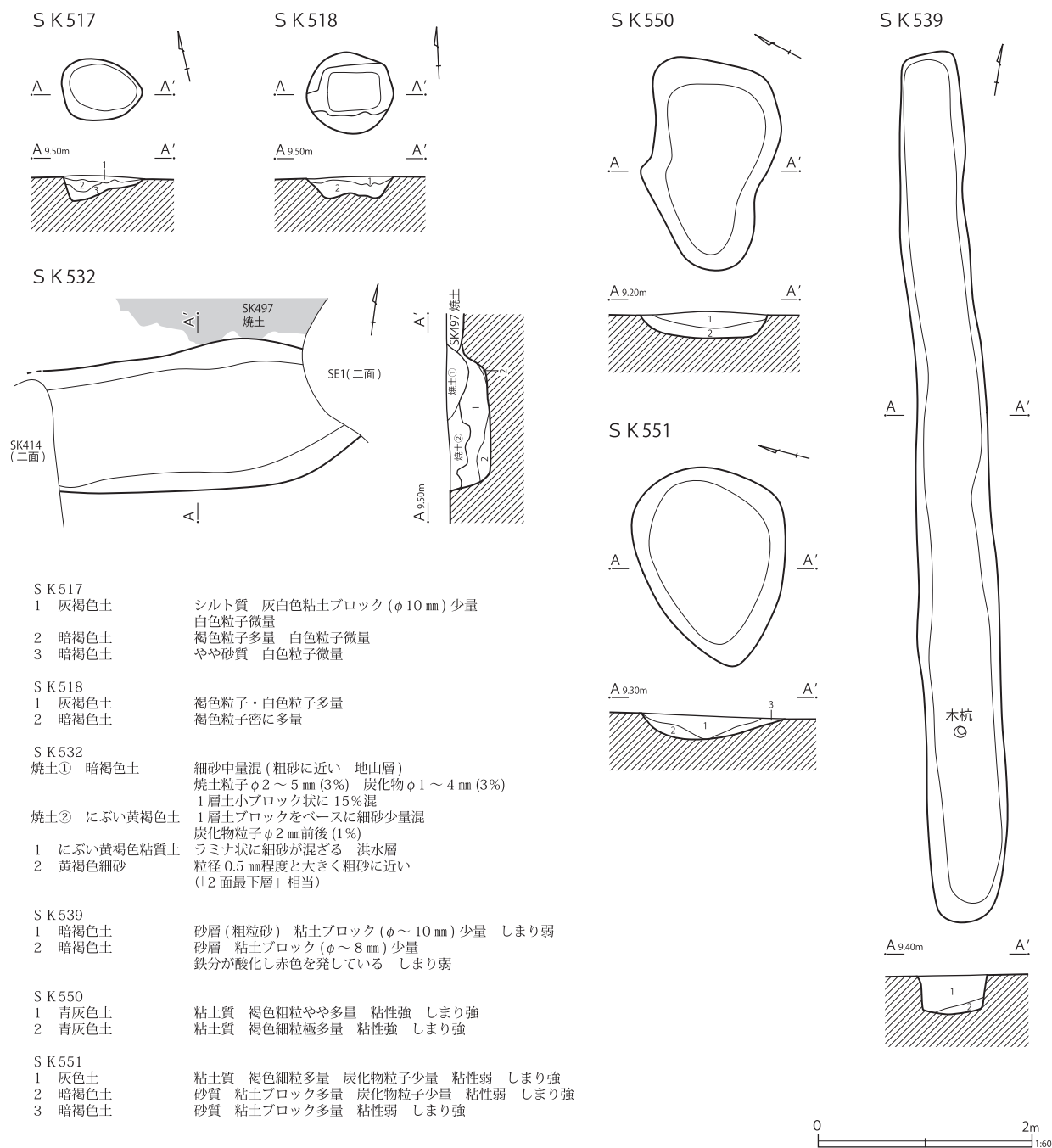




第 713 図 第 552 号土壌出土遺物 (2)

第 220 表 第 552 号土壌出土遺物観察表 (第 712・713 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
1	磁器	碗	(10.4)	[4.2]	—	—	20	普通	白	肥前系 内外面施釉 外面染付 被熱	111-10
2	磁器	碗	(8.0)	4.5	(2.8)	—	30	普通	白	肥前系 内外面施釉 被熱	112-2
3	磁器	碗	(9.9)	[4.2]	—	—	10	普通	白	肥前系 内外面施釉 外面染付 強く被熱	112-4
4	磁器	碗	(10.8)	[3.6]	—	—	10	普通	白	肥前系 内外面施釉 外面染付 強く被熱	112-5
5	磁器	碗	—	[2.9]	3.2	—	15	普通	白	肥前系 内外面施釉 外面染付 弱く被熱	
6	磁器	碗	—	[2.4]	2.7	—	15	普通	白	肥前系 内外面施釉 外面染付 強く被熱	
7	磁器	坏	6.3	[2.6]	—	—	40	普通	白	肥前系 内外面施釉 外面染付 弱く被熱	
8	磁器	皿	—	[2.6]	4.2	—	20	良好	白	肥前系 内外面施釉 (青磁釉気味)	112-6
9	磁器	皿	(21.7)	[3.6]	—	—	5	普通	白	肥前系 内外面施釉・染付 強く被熱 SK403 と接合	112-3
10	磁器	鉢	(26.8)	(10.0)	—	—	20	良好	白	肥前系 内外面青磁釉 内面陰刻文 被熱 SK408 と接合 接点のない4片から復元	
11	磁器	德利	—	[9.8]	4.9	—	60	良好	白	肥前系 内外面施釉・染付 被熱	
12	陶器	皿	(12.6)	[2.3]	—	EIK	30	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 強く被熱	
13	陶器	鉢	—	[6.6]	(12.0)	I	15	普通	暗赤灰	肥前系 内面刷毛目釉・上位鉄釉 流し掛け 被熱 (全面黒化)	112-7
14	陶器	香炉	(10.3)	[5.4]	—	IK	20	普通	灰白	瀬戸美濃系 内面上位・外面灰釉 内面煤付着	
15	瓦質土器	火鉢	(20.8)	7.0	(15.7)	HIK	20	普通	灰白	底部シワ状痕 体部・口唇部ミガキ 口縁部敲打痕 被熱 (赤化)	
16	瓦質土器	焙烙	(40.0)	5.3	(37.0)	CIK	20	普通	灰白	底部シワ状痕 体部下位ケズリ 被熱 接点のない2片から復元	
17	瓦質土器	焙烙	(39.6)	5.5	(34.7)	CIK	15	普通	灰白	底部シワ状痕 体部下位ケズリ 燻す 補修痕2 遺存	
18	瓦質土器	焙烙	(37.7)	5.6	(35.2)	CIK	15	普通	灰黄	底部シワ状痕 体部下位ケズリ (シワ状痕遺存) 補修痕1あり 被熱 (一部黒化) 耳欠失 SK480・344 と接合	
19	鉄製品	鍔	長さ [15.1] 幅 0.8 厚さ 0.8 重さ 94.2								135-1
20	鉄製品	釘	長さ [9.8] 幅 (0.5) 厚さ (0.5) 重さ 17.2								



- S K 517**  
 1 灰褐色土 シルト質 灰白色粘土ブロック (φ10 mm) 少量  
 白色粒子微量  
 2 暗褐色土 褐色粒子多量 白色粒子微量  
 3 暗褐色土 やや砂質 白色粒子微量
- S K 518**  
 1 灰褐色土 褐色粒子・白色粒子多量  
 2 暗褐色土 褐色粒子密に多量
- S K 532**  
 焼土① 暗褐色土 細砂中量混 (粗砂に近い 地山層)  
 焼土粒子 φ2 ~ 5 mm (3%) 炭化物 φ1 ~ 4 mm (3%)  
 1層土小ブロック状に15%混  
 焼土② にぶい黄褐色土 1層土ブロックをベースに細砂少量混  
 炭化物粒子 φ2 mm前後 (1%)  
 1 にぶい黄褐色粘質土 ラミナ状に細砂が混ざる 洪水層  
 2 黄褐色細砂 粒径 0.5 mm程度と大きく粗砂に近い  
 (「2面最下層」相当)
- S K 539**  
 1 暗褐色土 砂層 (粗粒砂) 粘土ブロック (φ ~ 10 mm) 少量 しまり強  
 2 暗褐色土 砂層 粘土ブロック (φ ~ 8 mm) 少量  
 鉄分が酸化し赤色を発している しまり弱
- S K 550**  
 1 青灰色土 粘土質 褐色粗粒やや多量 粘性強 しまり強  
 2 青灰色土 粘土質 褐色細粒極多量 粘性強 しまり強
- S K 551**  
 1 灰色土 粘土質 褐色細粒多量 炭化物粒子少量 粘性弱 しまり強  
 2 暗褐色土 砂質 粘土ブロック多量 炭化物粒子少量 粘性弱 しまり強  
 3 暗褐色土 砂質 粘土ブロック多量 粘性弱 しまり強

第714図 区画AE土壌(2)

10は青磁の鉢である。内面に陰刻文が施され、内外面に青磁釉が施釉されている。被熱しており、第408号土壌出土破片と接合関係にある。挿図は接点のない4片から復元している。

11は鶴首形の御神酒徳利で、外面に染付が施される。被熱している。

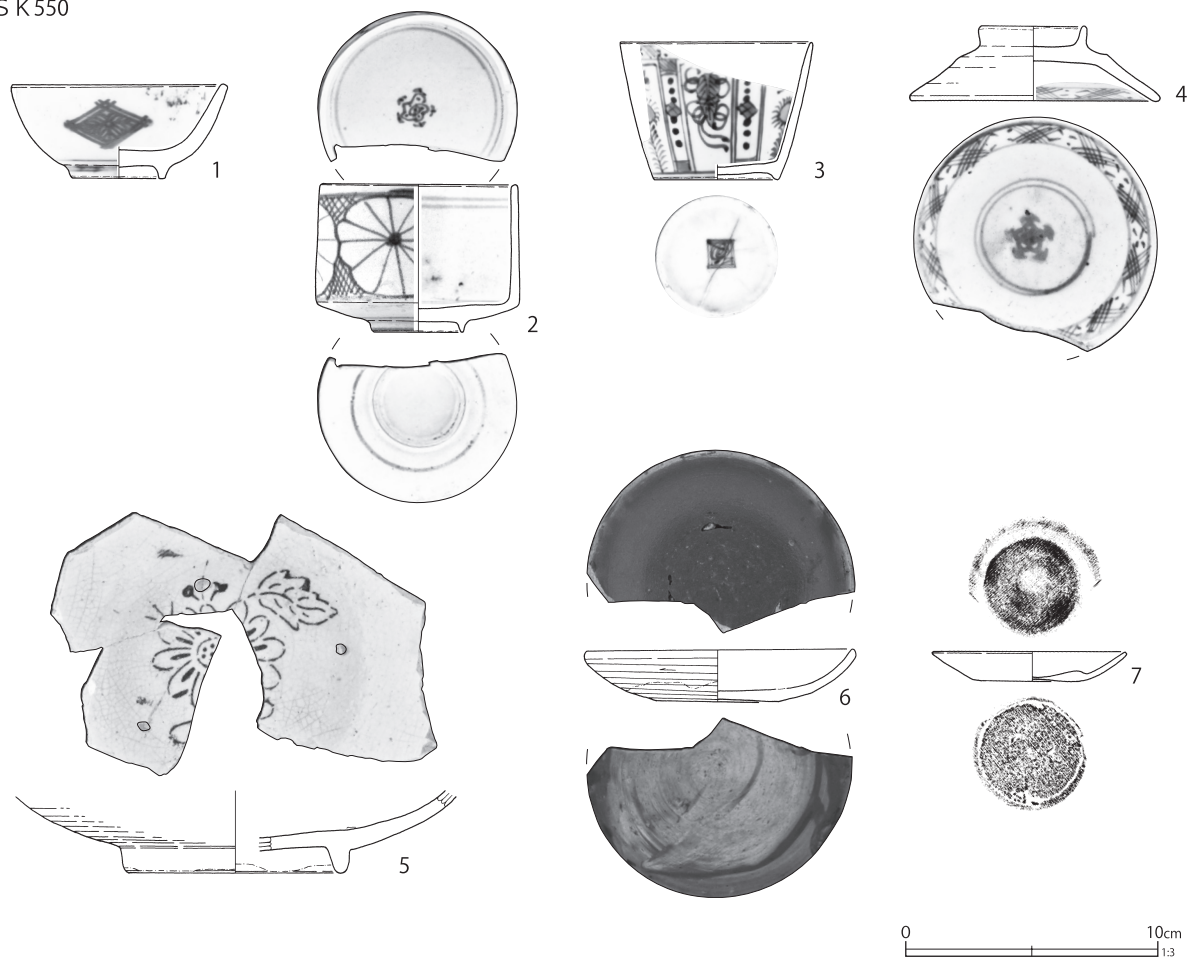
12は瀬戸美濃系陶器の灰釉丸皿である。外面

上位から内面に灰釉を施釉している。強く被熱している。

13は肥前系陶器の刷毛目釉鉢である。内面に波状の刷毛目釉が施釉され、上位は鉄釉が流し掛けられている。被熱し、全面が黒化している。

14は瀬戸美濃系陶器の香炉である。内面上位と外面に灰釉が施釉される。外面上位に櫛歯状の

SK550



第 715 図 区画 AE 土壌出土遺物 (1)

第 221 表 区画 AE 出土遺物観察表 (1) (第 715 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	磁器	碗	8.2	3.7	3.5	—	60	良好	白	SK550	肥前系 内外面施釉 外面コンニャク印判 染付	
2	磁器	碗	(7.6)	5.8	3.4	—	65	普通	白	SK550	肥前系 内外面施釉・染付	
3	磁器	猪口	(7.4)	5.4	4.8	—	30	良好	白	SK550	肥前系 内外面施釉 外面染付	
4	磁器	蓋	4.0	2.9	9.7	—	80	普通	白	SK550	肥前系 外面青磁釉 内面施釉・染付	
5	陶器	皿	—	[3.2]	8.3	EKI	20	良好	灰白	SK550	瀬戸美濃系 内外面灰釉 内面摺絵(鉄絵) 目跡3あり	
6	陶器	灯明皿	(10.4)	2.1	4.8	K	50	良好	にぶい黄橙	SK550	瀬戸美濃系 内外面柿釉 体部下位・底部釉拭き取り 内面重焼痕	
7	かわらけ	小皿	(7.6)	1.2	3.9	AI	65	普通	にぶい橙	SK550	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質	

沈線が施される。

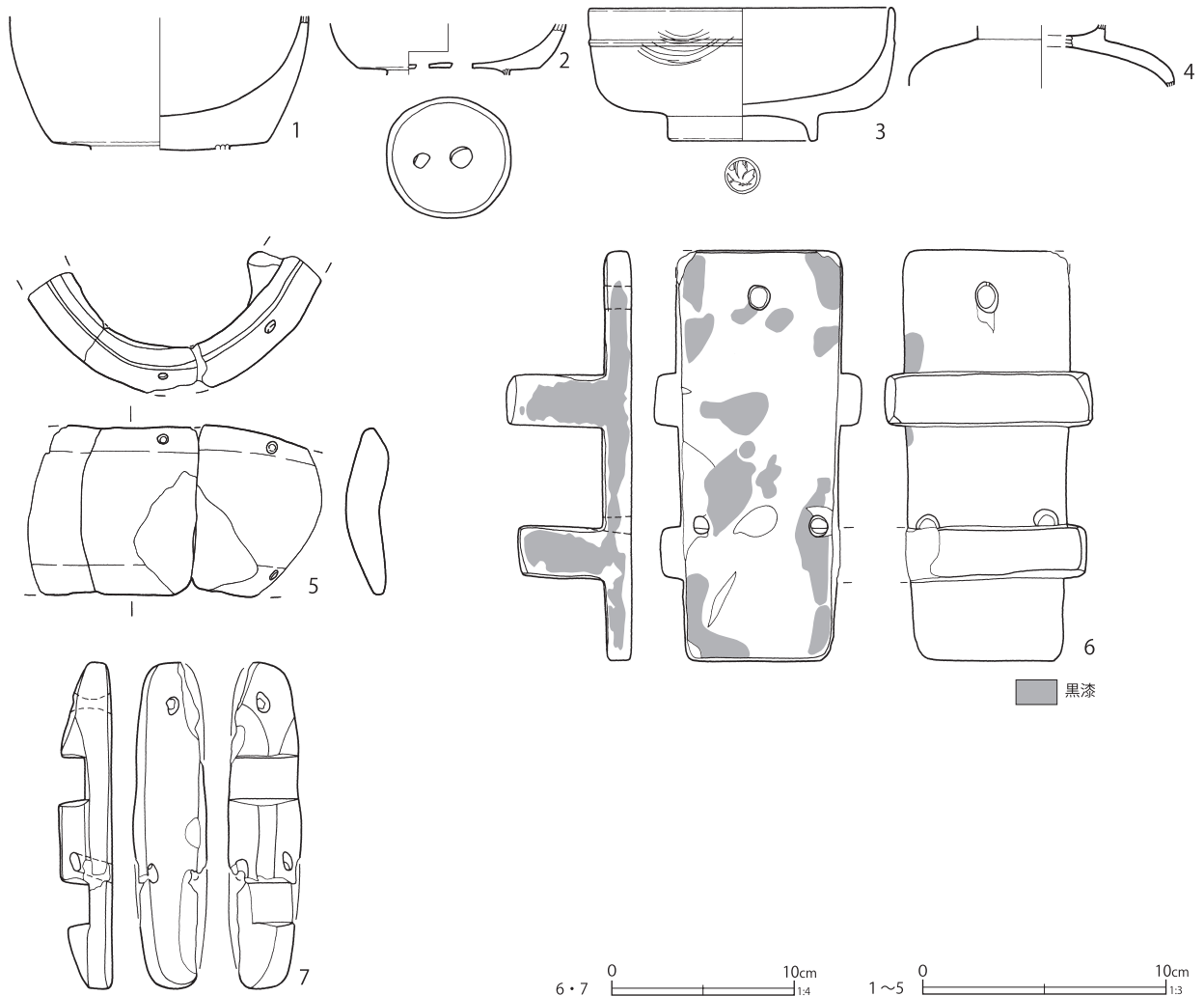
15は瓦質土器の火鉢である。底部は無調整のシワ状痕がみられ、脚部は欠失している。板状脚が3箇所付いていた可能性がある。体部及び口唇部はミガキ調整である。口縁部には敲打痕がみられる。被熱により赤色化している。

第713図16～18は瓦質土器の平底焙烙である。

底部は無調整のシワ状痕で、体部下位はケズリ調整である。18は体部下位にシワ状痕が遺存する。いずれも被熱しており、18は第344号土壌下層の焼土層から出土している破片と接合関係にある。

19・20は鉄製品で、19は鋗、20は頭巻釘である。

SK550



第716図 区画AE土壌出土遺物(2)

第222表 区画AE土壌出土遺物観察表(2)(第716図)

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径/径	高さ	底径	木取り	遺構	備考	図版
1	木製品	漆碗	—	—	—	—	[5.4]	—	横木取り	SK550	内外面黒漆	
2	木製品	漆碗	—	—	—	—	[2.1]	—	横木取り	SK550	内外面赤漆 高台内孔2	
3	木製品	漆碗	—	—	—	12.6	5.4	6.2	横木取り	SK550	内外面黒漆 高台内に金で文様 外面に文様	132-16
4	木製品	漆碗蓋	—	—	—	—	[2.4]	—	横木取り	SK550	両面赤漆	
5	木製品	太鼓	5.7	[12.0]	—	—	6.9	—	縦木取り	SK550	外面赤色塗料 鉄釘2	
6	木製品	下駄	22.5	9.0	—	—	6.8	—	板目	SK550	表裏面と側面黒漆	
7	木製品	下駄	17.9	4.0	—	—	[2.9]	—	板目	SK550	陰卯下駄	

第550号土壌(第714~718図)

F7-D8グリッドに位置する。平面形は不整形で、長軸1.96m、短軸1.2m、深さ0.2mを測る。長軸方位はN-62°-Eを測る。

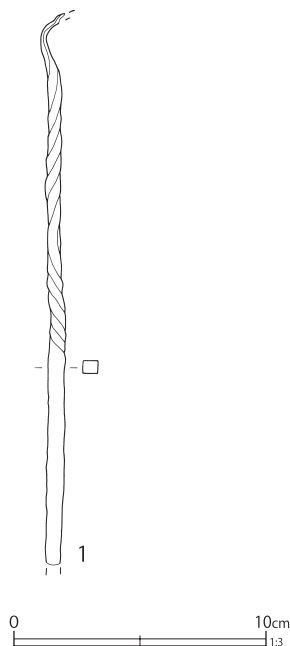
覆土は粘土質で、褐色細粒子の含有量で2層に分けられる。遺物は一定量出土しており、最新

期の陶磁器は肥前系磁器の外面青磁の碗蓋(第715図4)である。推定廃絶期は18世紀後葉である。

第715図に陶磁器類、第716図に木製品、第717図に金属製品、第718図に石製品を図示した。

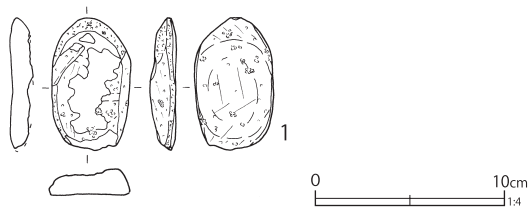
第715図1~4は肥前系磁器である。1は小碗

S K 550



第 717 図 区画 AE 土壌出土遺物 (3)

S K 550



第 718 図 区画 AE 土壌出土遺物 (4)

第 223 表 区画 A E 土壌出土遺物観察表 (3) (第 717 図)

番号	種別	器種	法量	遺構名	備考	図版
1	鉄製品	火箸	長さ [21.9] 幅 0.6 厚さ 0.5 重さ 25.6	SK550	箸頭環欠損 持ち代振りあり	135-1

第 224 表 区画 AE 土壌出土遺物観察表 (4) (第 718 図)

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	重さ	石材	遺構	備考	図版
1	石製品	磨石	7.0	4.2	1.4	17.2	角閃石安山岩	SK550	多孔質 自然面遺存 使用面 2	141-1

で、器高は低く、外面はコンニャク印判染付である。2は筒形碗で、外面に菊花状の染付がみられる。内底面の五弁花文染付は丁寧である。3は蕎麦猪口である。輪高台で外面、底部に染付が施される。4は朝顔形に開く碗の蓋で、外面は青磁釉である。内面に四方襷文とやや崩れた五弁花文染付がみられる。

5は瀬戸美濃系陶器の灰釉摺絵皿である。6は瀬戸美濃系陶器の柿釉灯明皿である。外面下位から底部にかけて釉が拭き取られている。内面に重ね焼き痕がみられる。

7は江戸在地系のかわらけ小皿である。胎土は粉質で、底部に左回転の糸切痕が遺存している。

第716図1～3は漆椀である。1は内外面に黒漆、2は内外面に赤漆、3は内外面に黒漆が塗布

されている。3は高台内に金で蝶の紋が描かれている。5は太鼓である。外面に赤色塗料が塗布され、鉄釘が2箇所遺存している。

第718図1は多孔質の角閃石安山岩転石製磨石である。表裏面が使用面となっており、周囲に自然面が一部遺存している。

#### ⑥区画AFの土壌 (第719～733図)

第三面の土壌は1基検出された。区画AFは『絵図』にみえる「餅菓子屋/内藏之丞」、「旅籠屋/惣右衛門」に相当する。区画中央に大型土壌1基のみ検出されているが、調査区南側は第二面表土掘削時に第三面まで掘削されていることに留意したい。

第225表に位置・規模等の基本的な情報を示した。第719～721図に遺構図、第722～733図に遺



物図を示した。

#### 第473号土壌（第719～733図）

F 7 - E ・ F 8 グリッドに位置し、第399・430号土壌と重複する。平面形は隅丸方形で、長軸6.55m、短軸6.3m、深さ1.8mを測る大型の土壌である。長軸方位はN-21° -Wを指す。

覆土は極めて細かく分層することが可能であり、長期間開口していた可能性が考えられる。砂の混じりの土や砂質土を主体としており、腐植土層も目立つ。

遺物は極めて多量に出土し、ピークは中層辺りである。出土遺物は上・下・最下層でそれぞれ取り上げているが、陶磁器類の組成に変化はみられず、廃棄は短期的であったと考えられる。また、陶磁器類の組成は先に述べた第497号土壌とほぼ変わらず、同時期に廃絶したと思われる。17世紀後半から18世紀初頭の陶磁器を主体としており、最新期の陶磁器は波佐見系磁器のくらわんか手碗である。推定廃絶期は18世紀初頭である。

第722～733図に出土遺物を図示した。第722図1～11は肥前系磁器である。1は色絵丸碗で、高台断面がシャープな「U」字状を呈し、高台高が高い。外面は赤と緑で上絵付が施されている。4～7は色絵丸碗で、同一個体の可能性が疑われる。外面に赤と緑の上絵付が施されるが、4は被熱により変色している。また、7は緑が黒に変色していると思われる。5は接点のない5片から残存高を復元した。

8・9は端反形の坏である。9は外面に染付が施され、被熱している。第431号土壌出土破片と接合関係にある。10は丸碗形の坏で、外面に染付が施されている。胎質は光沢があるガラス質である。

11は色絵の皿である。高台断面がシャープな

「U」字状を呈する。内面に被熱変色した赤い上絵付が施される。挿図では接点のない2片から残存高を復元した。13は肥前系磁器の色絵油壺である。外面に赤と緑の上絵付が施される。

12は瀬戸美濃系陶器の坏である。14・15は肥前系陶器の青緑釉輪禿皿である。外面に透明釉、内面に青緑釉が施釉されている。15は外面上位が糠白気味である。14の内面には目跡が2箇所遺存している。

16は瀬戸美濃系陶器の灰釉摺絵皿で、いわゆる御深井である。灰釉が施釉され、内面に摺絵が施されている。内面にピン痕状の目跡が3箇所、体部中位に重ね焼き痕がみられる。強く被熱している。

17は瀬戸美濃系陶器の菊皿である。灰釉が施釉され、外面に鎬が施されている。内面に目跡が3箇所みられる。

第723図18は肥前系陶器の皿で、いわゆる京焼風陶器である。内面に呉須絵が施されている。高台内に刻印がみられる。

19は肥前系陶器の三島手鉢である。外面上位から内面にかけて施釉され、外面下位は鉄釉が刷毛塗状に施釉されている。内面は陰刻文に白土象嵌が施されている。

20は瀬戸美濃系陶器の丸碗形片口鉢である。内外面施釉で、外面は灰釉が流し掛けられている。注口部は長く、内面には目跡が3箇所みられる。被熱しており、煤が付着している。

第724図21は瀬戸美濃系陶器の徳利である。外面に柿釉が施釉され、外面下端部から底部にかけて釉が拭き取られている。底部は蛇ノ目状を呈する。22・23は瀬戸美濃系陶器の播鉢である。柿釉が施釉され、内面に播目がみられる。22は口縁部が折り返されている。

第 225 表 第三面区画 AF 土壌一覧表

単位：m

番号	グリッド	形態	長軸	短軸	深さ	方位	備考	挿図
473	F7-E・F8	隅丸方形	6.55	6.30	1.80	N-21° -W	SK399・430と重複	719



S K 473

1 暗褐色粘質土	しまり強 粘性強	26 灰色土	粘土ベース 細粒砂少量
2 暗褐色土	シルト質 しまり強 粘性やや強 軽石若干	27 暗褐色土	腐植土層 木端等
3 暗褐色土	黄褐色土小ブロック中量含む 埋戻しか	28 オリーブ灰色粘土	粘性強
4 灰黄褐色粘土	しまり強 粘性強	29 黒褐色土	腐植土層 木製品片がしばしば出土する 木片・樹皮など
5 黒褐色土	腐植土をベースに7層土小ブロック少量	30 黒色土	粘性強 しまり極強
6 黒褐色土	植物遺存少ない	31 灰色砂質土	細粒砂ベースに粘土少量混
7 灰色粘土	しまりあり 粘性強 グライ化著しい	32 暗褐色土	粘土ベースに腐植物多量混
8 灰色粘土	細砂少量	33 黄褐色砂質土	粘質土ベースに細粒砂多量に混
9 にぶい黄褐色土	粘質土ベースに細砂多量混ざり砂質土に近い 酸化鉄多くこの層以下グライ化著しい	34 黄褐色砂質土	細粒砂中量含む
10 黒褐色土	腐植土層 木片・木皮に混ざって木製品の破片 も多く出土する 粘質土ベース	35 黄褐色砂質土	細粒砂ベースに粘土少量混
11 灰色砂質土	粘性弱 しまりやや強 10層と同時期か	36 灰色粘質土	粘土ベースに細粒砂少 腐植物少
12 灰褐色砂質土	粘性やや弱 粘質土ベースに細粒砂多量 粗粒砂少量	37 灰色粘質土	細粒砂少量
13 暗褐色土	細粒砂が層土全体に小ブロック少量	38 暗褐色粘質土	
14 灰色粘質土	黒褐色土小ブロック・白色粒子(軽石か)微量混ざる 粘土ベースに細粒砂少量混ざる	39 灰色粘土	細粒砂ごく微量
15 黒褐色土	12層土より土色僅かに暗い	40 灰色砂質土	
16 灰色粘質土	灰色粘土層にきわめて多量の黒色腐植土が混入している	41 暗褐色土	
17 灰色粘質土	細粒砂少量混入	42 暗褐色土	腐植土・炭化物多量
18 灰色粘質土	黒色炭化物多量	43 オリーブ灰色土	シルト質 均質である
19 灰色粘質土	均質な灰色粘土層	44 オリーブ灰色土	シルト質 細砂少量
20 黒色粘土	シルト質 腐植性堆積物上面に多量	45 灰色砂質土	細粒砂ベースに粘土少量混ざる
21 灰褐色土	粘質土ベースに細粒砂少量 下層には腐植土が堆積し細粒砂の粒径大きくなる	46 灰色粘土	均質
22 灰褐色粘土	細粒砂若干混ざる 粘性強 しまり強	47 暗褐色粘質土	細粒砂少量混ざる
23 灰色粘土	シルト質 炭化物若干混 灰色の砂層 (粗砂)	48 灰色粘土	粘性強 しまり強
24 暗褐色砂質土	粘土ベースに細粒砂中量混ざる	49 暗褐色土	47層より土色暗い 腐植物多量
25 暗褐色土	細粒砂少量混ざる	50 灰色粘土	
		51 灰褐色土	土色やや暗い 褐色に近い 47層と同一か
		① 灰色砂質土	植物根多量(植物痕か)
		② 灰色砂質土	細粒砂少量 木杭あり
		a 褐色細粒砂	地山層の崩落土

## 第720図 区画AF土壌(2)

24は瀬戸美濃系陶器の有耳壺である。外面に鉄釉が施釉され、耳は欠失しており、耳の数は不明である。胎土に小礫が含まれる。

25・26は瀬戸美濃系陶器の鉄釉香炉である。25は内面上位、口唇部に釉の拭き取りがみられる。内底面に灰状付着物がみられる。26は内面に輪状重ね焼き痕と目跡が1箇所遺存している。口縁部には敲打痕がみられる。脚部は1箇所遺存している。被熱し、煤が付着している。

第724図27・第725図28・29は、瓦質土器の平底焙烙である。底部には無調整のシワ状痕と板状の圧痕がみられる。体部下位はナデ調整で、指頭痕がみられる。内底面はランダムなナデが施され、光沢がみられる。胎土の様相から在地産と考えられる。28は底部と体部下位にシワ状痕がみられる。体部下位は弱いナデが施されている。29は底部から体部下位にかけてシワ状痕がみられる。少なくとも底部から体部下位までは一枚の粘土板で成形されていると考えられる。焙烙の製作法が窺える資料である。

30～35は江戸在地系のかわらけ小皿である。いずれも胎土が粉質で、左回転の糸切痕が遺存し

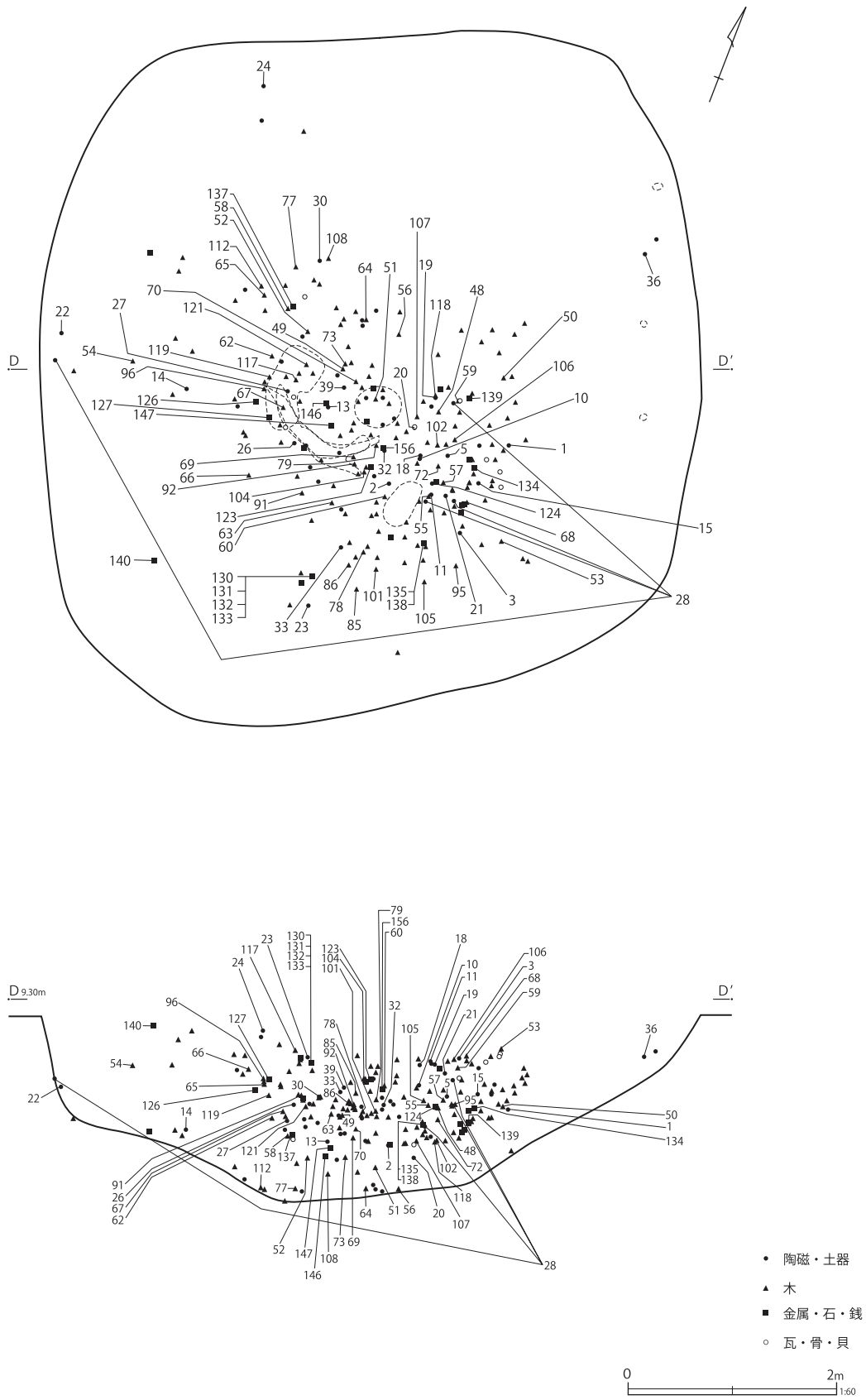
ている。30は離し糸切である。32・33は中心付近に二次穿孔が施され、転用が示唆される。33は内面が黒化しており、内曇り状である。34は2箇所、35は1箇所の二次穿孔がみられる。また、底部に線刻状の傷がみられ、穿孔と合わせて2度の転用が示唆される。

36・37はかわらけ小皿である。胎土が角閃石を一定量含む砂質で、在地産と考えられる。底部に糸切痕が遺存し、37の内底面に渦巻状のナデがみられる。

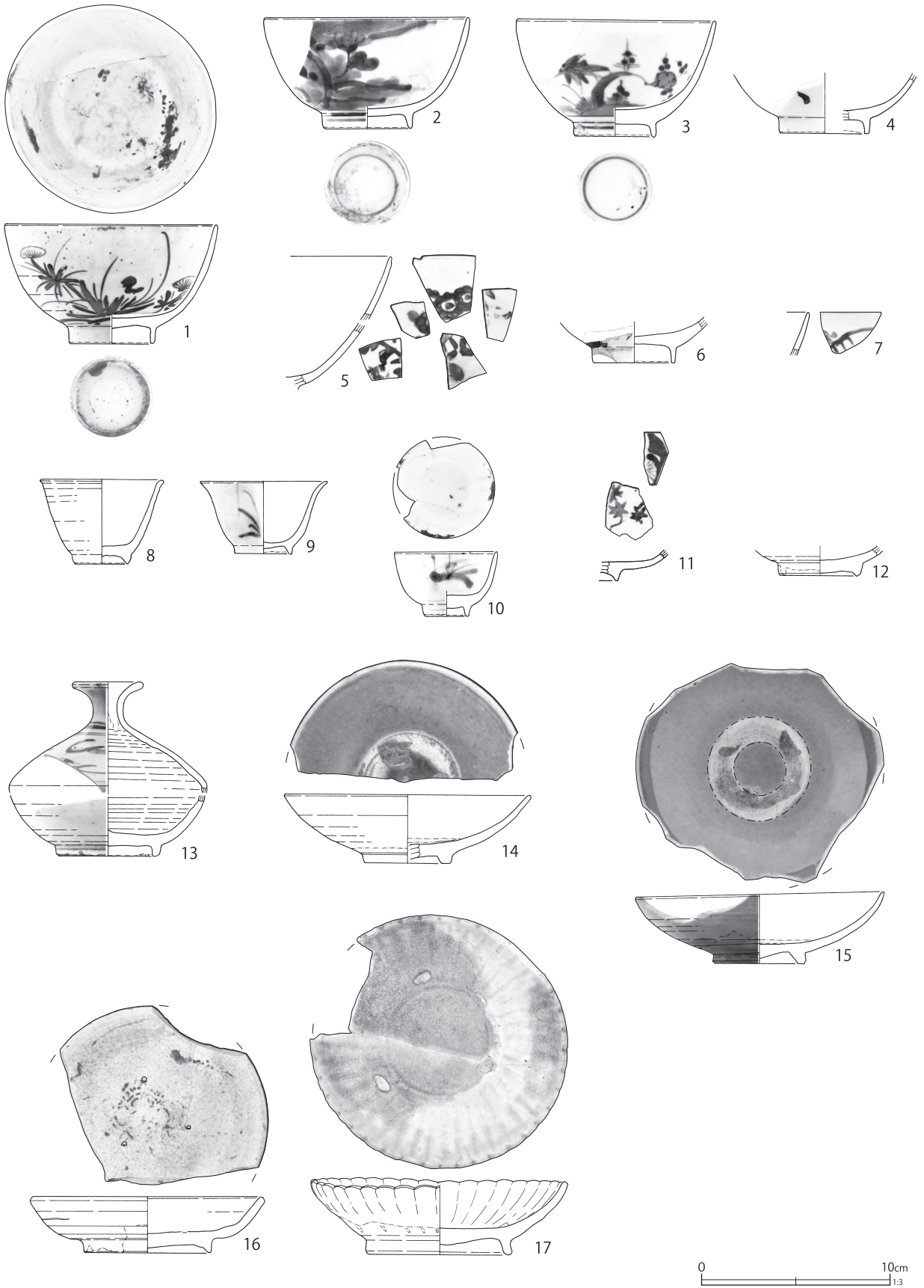
38～46は陶磁器類の底部や体部破片を打ち欠いて、円形に加工したいわゆる円盤状製品である。栗橋宿では18世紀に集中して出土する。46は常陸系土師質土器甕の体部破片を転用している。

47は京都系土製品のミニチュアで、内外面に黄色釉が施釉されている。

第726図48～第731図121は木製品である。48～61は漆椀である。48・56・57は外面に金や赤で家紋が描かれている。59は高台内に刻書がみられる。62～68は漆椀の蓋である。66・67には金で家紋が描かれている。68は外面に赤漆で松

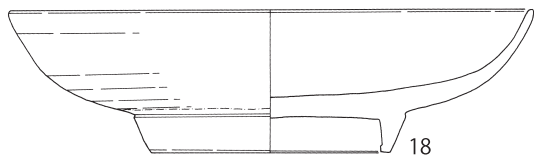
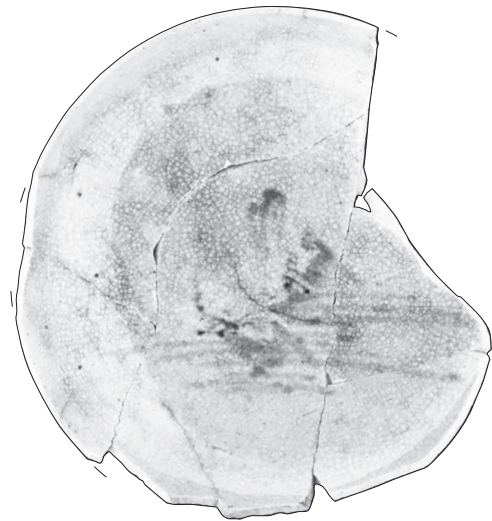


第 721 図 第 473 号土壌遺物出土状況

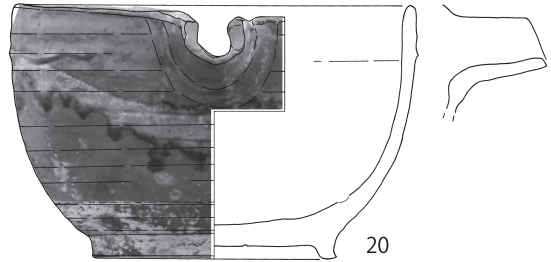


第 722 図 第 473 号土壙出土遺物 (1)





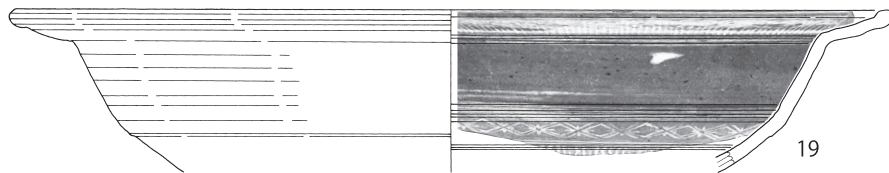
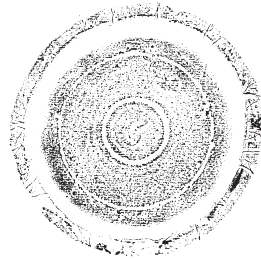
18



20



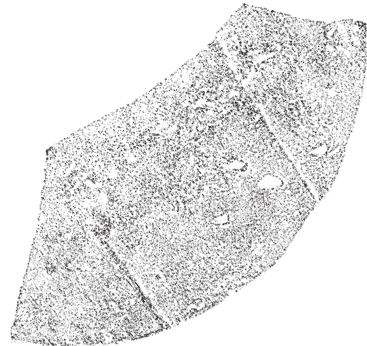
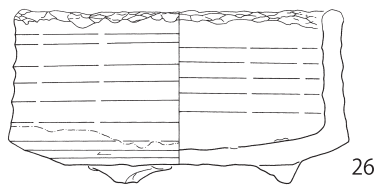
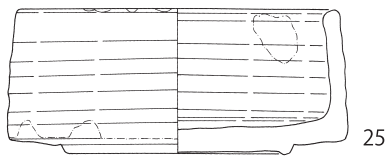
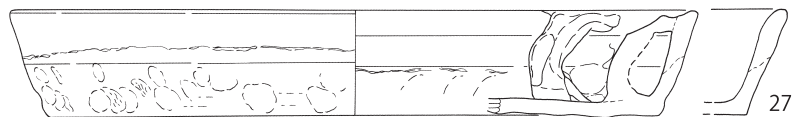
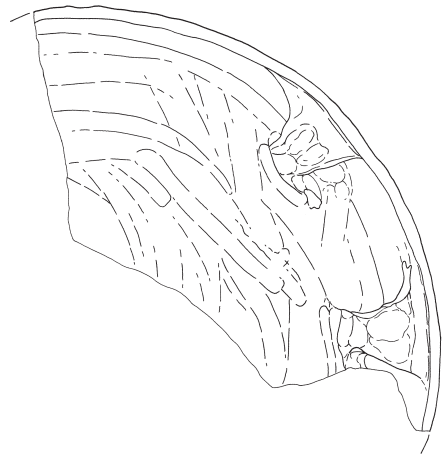
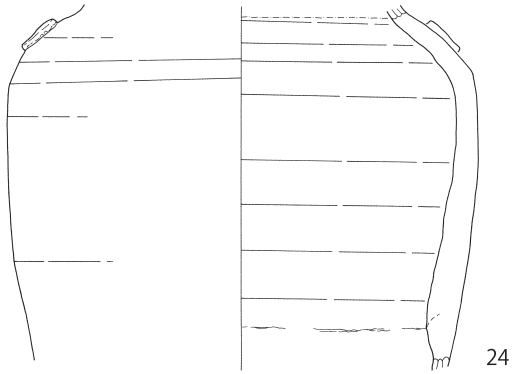
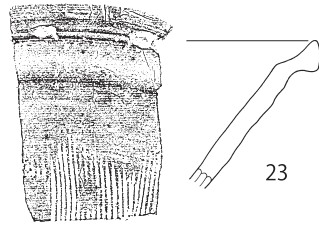
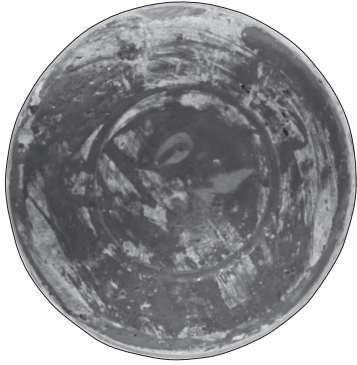
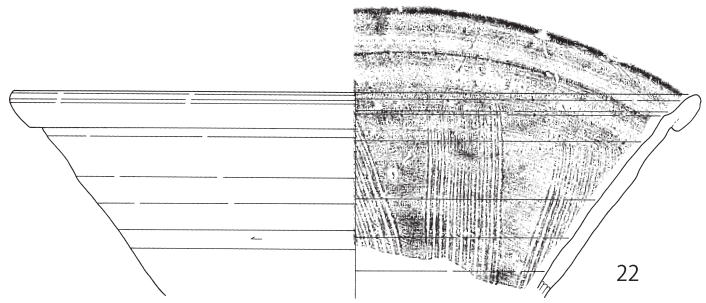
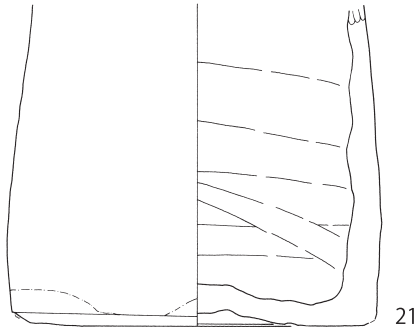
刻印部分  
S=1/2



19

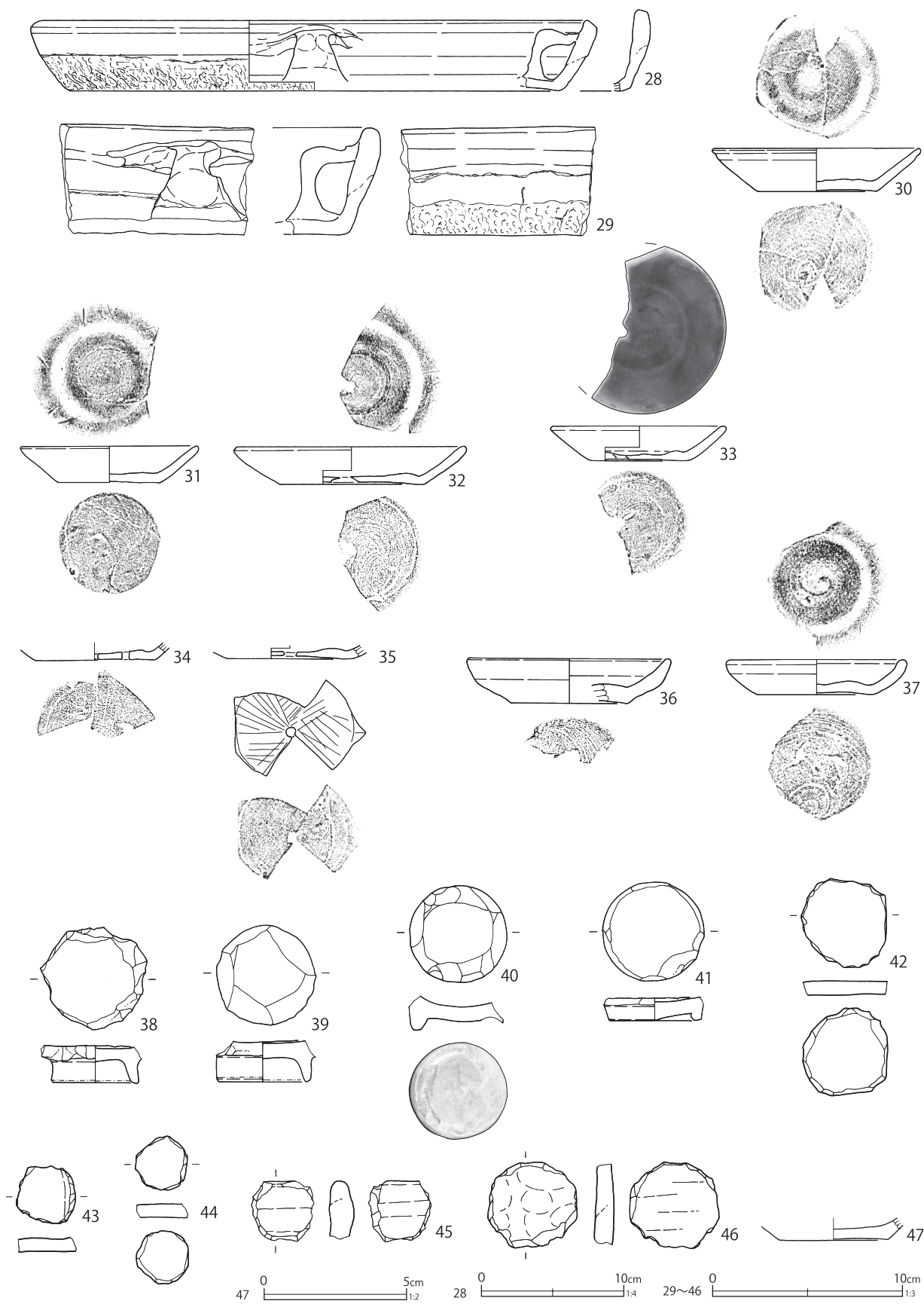


第 723 图 第 473 号土壙出土遺物 (2)

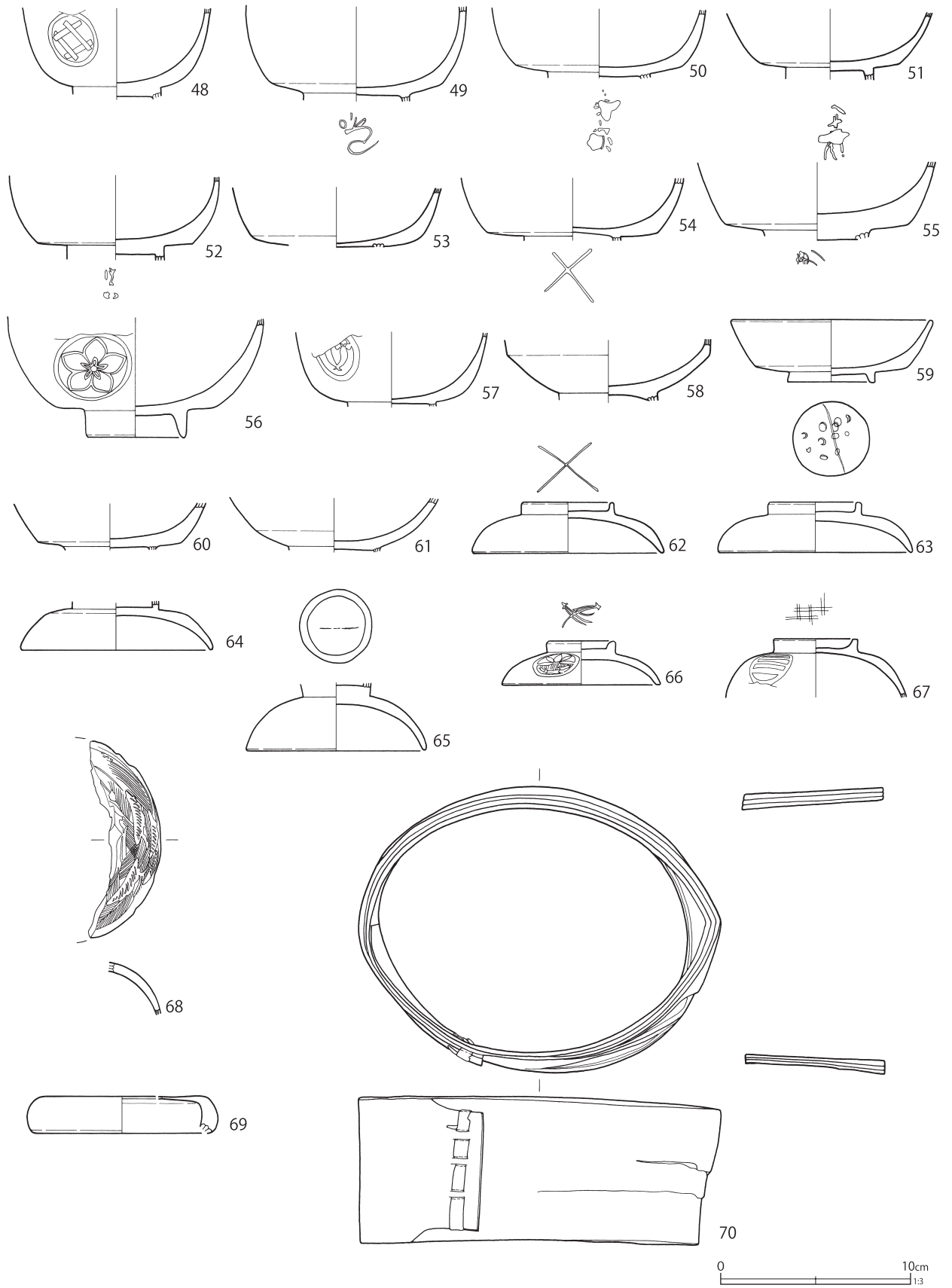


0 10cm 1:4 22·27 0 10cm 1:3 21·23~26

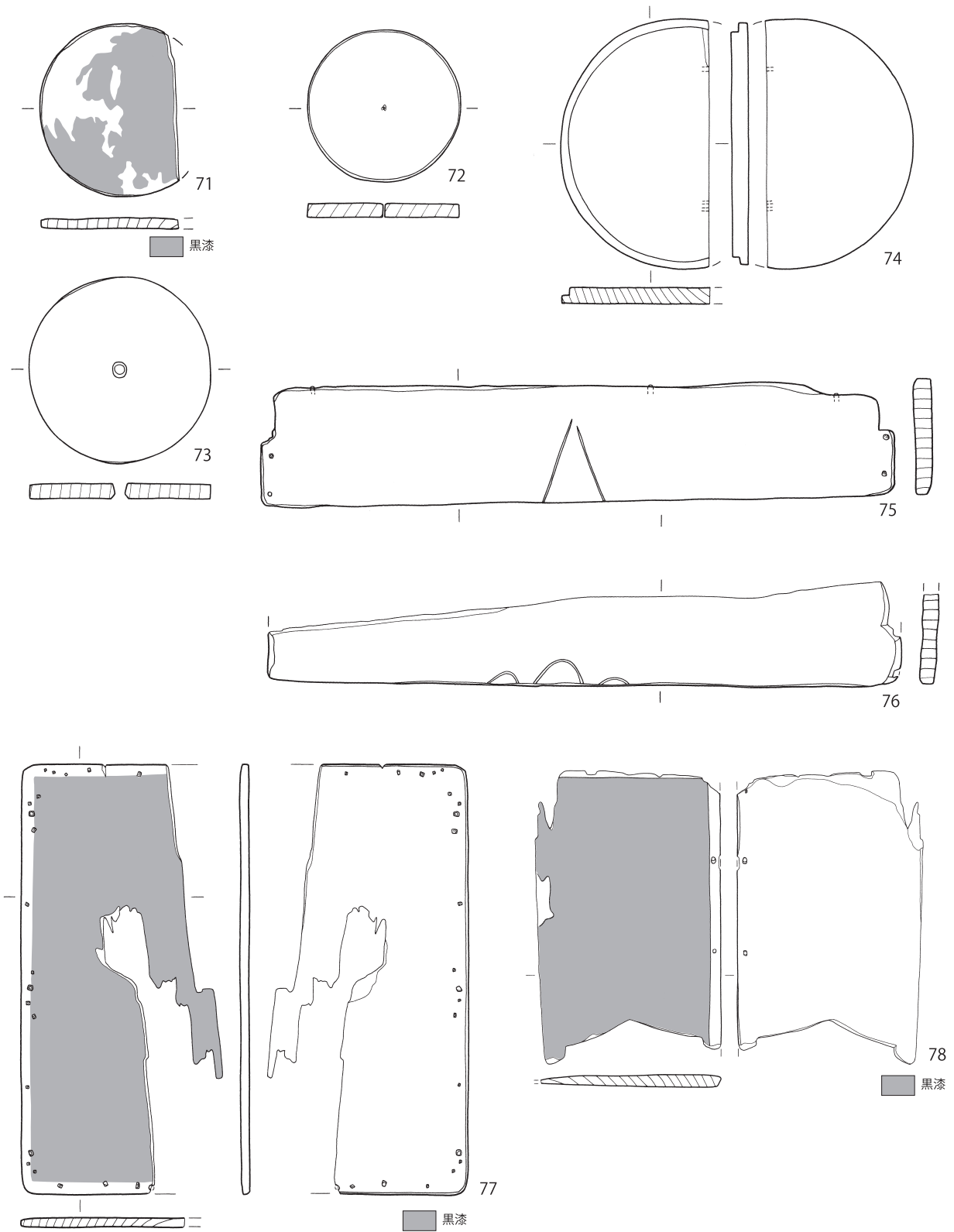
第 724 图 第 473 号土壙出土遺物 (3)



第 725 图 第 473 号土壙出土遺物 (4)

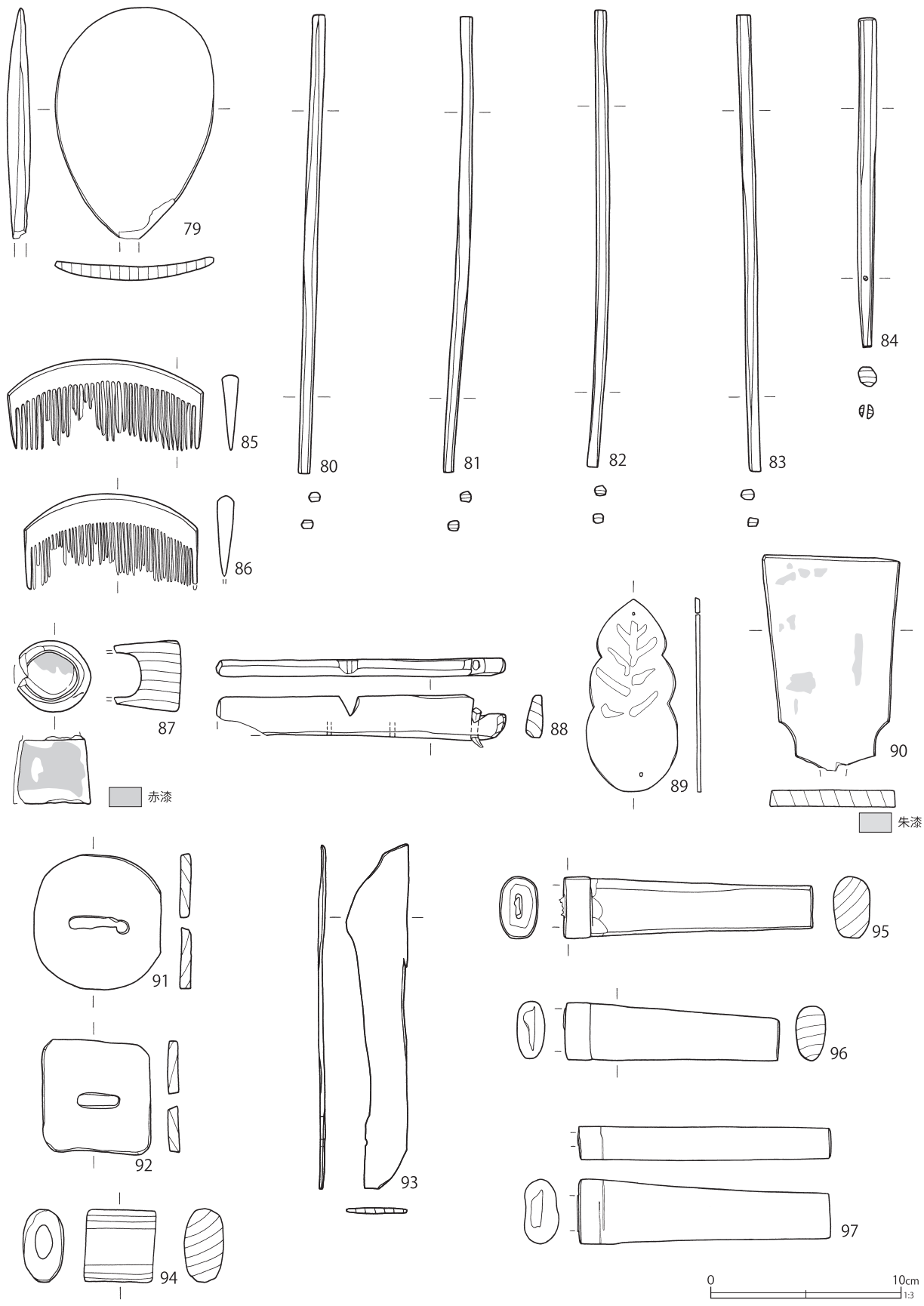


第 726 图 第 473 号土壤出土遺物 (5)

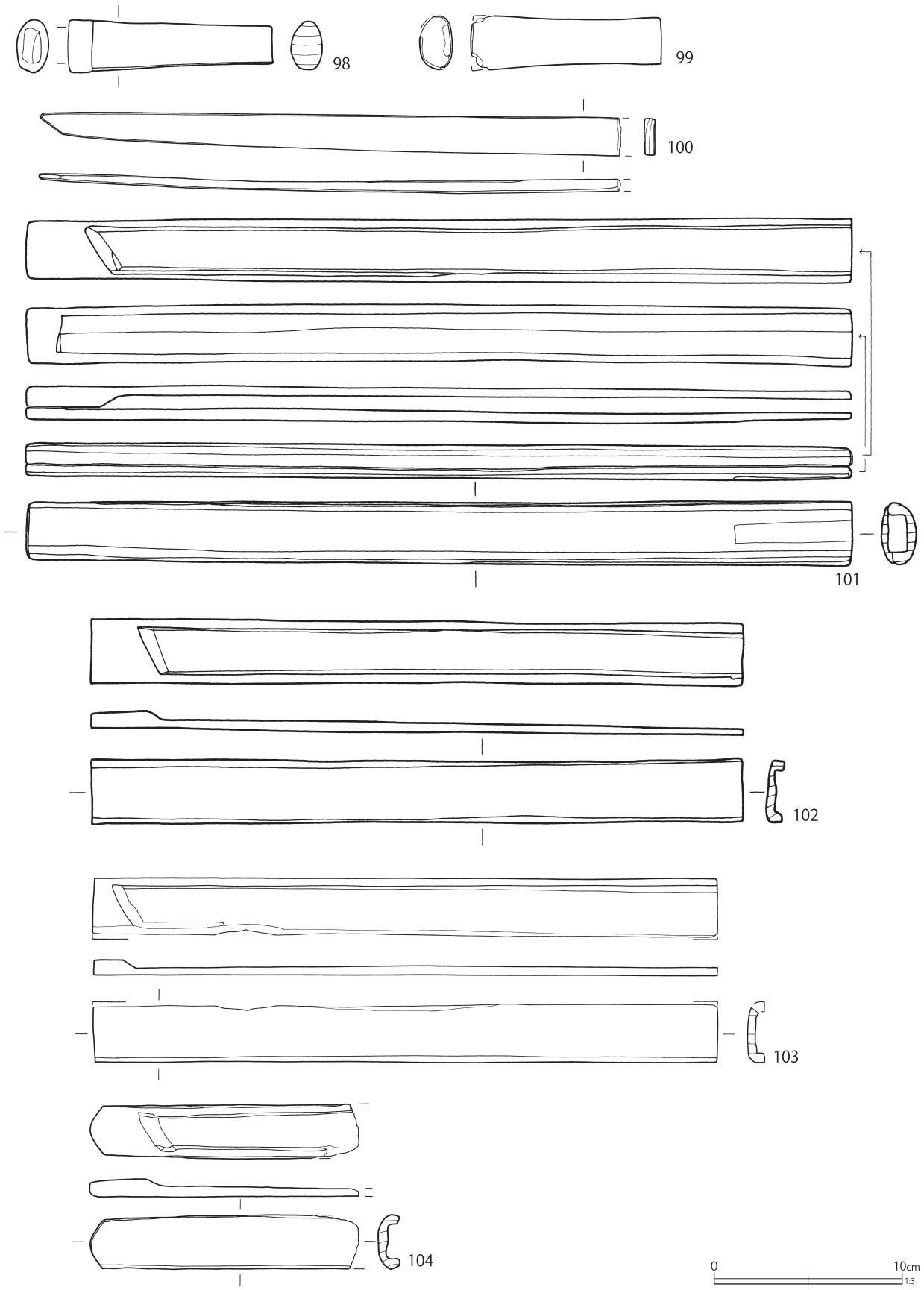


第 27 图 第 473 号土壙出土遺物 (6)

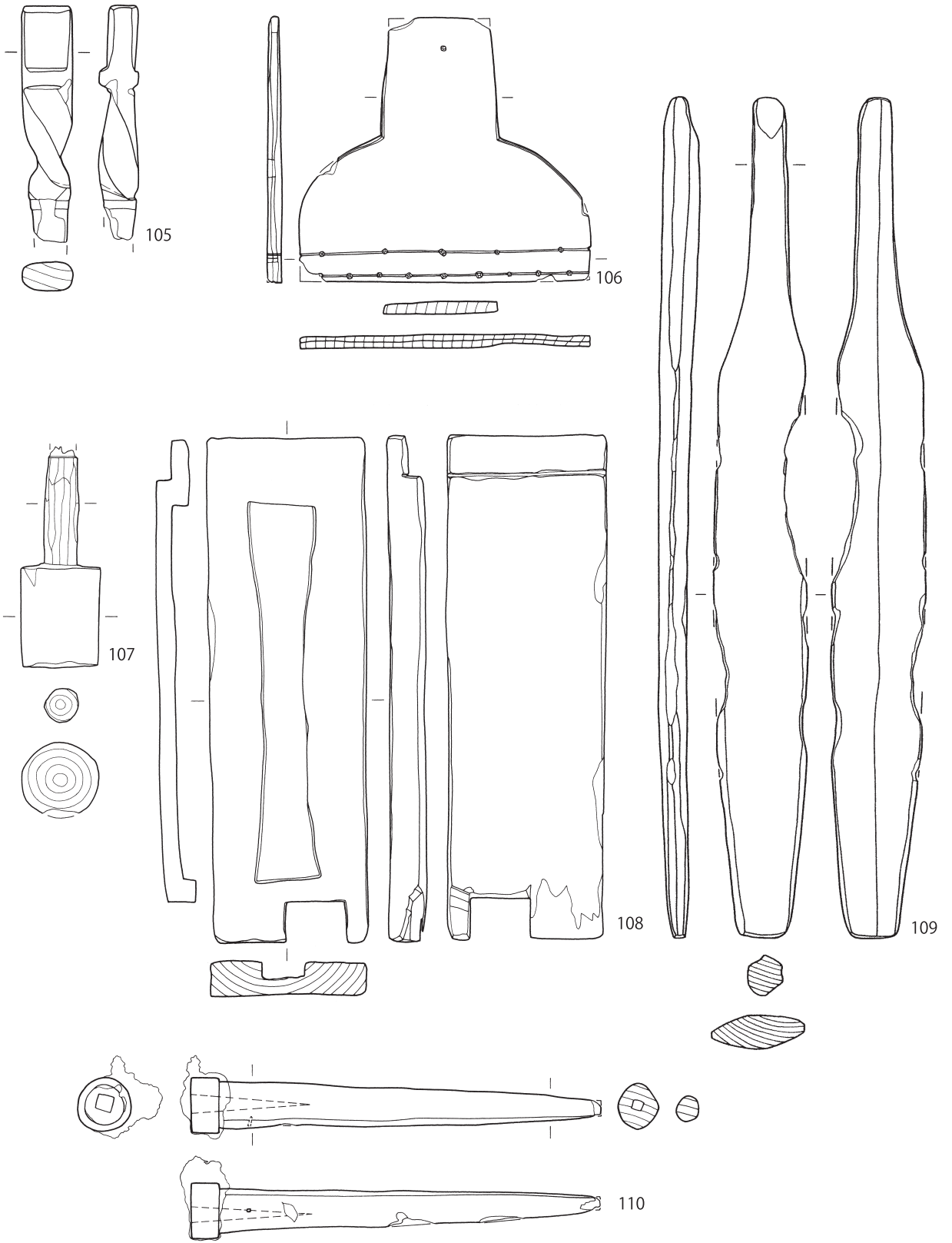




第 728 图 第 473 号土壤出土遺物 (7)

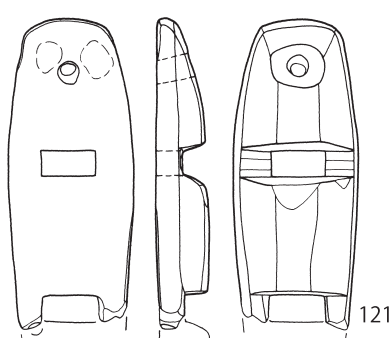
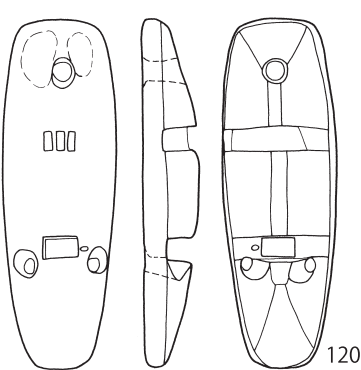
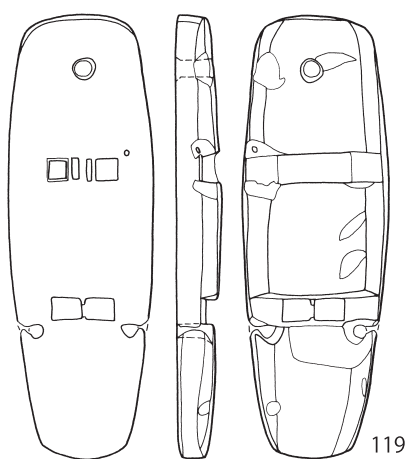
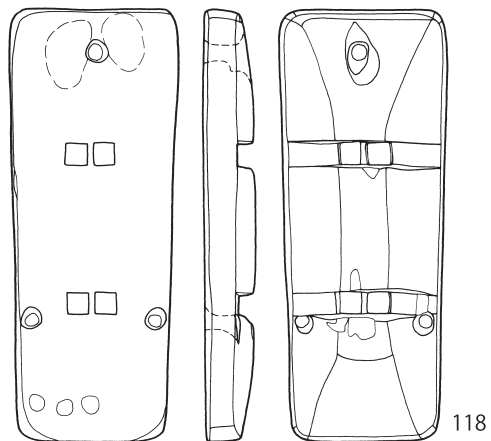
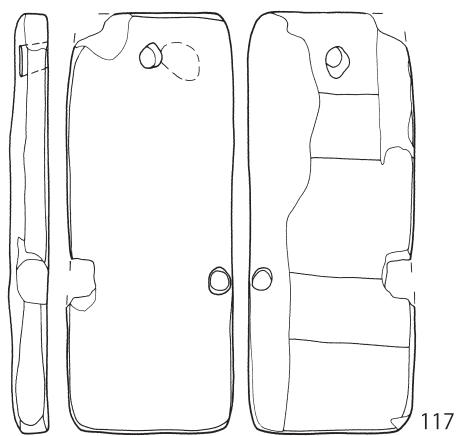
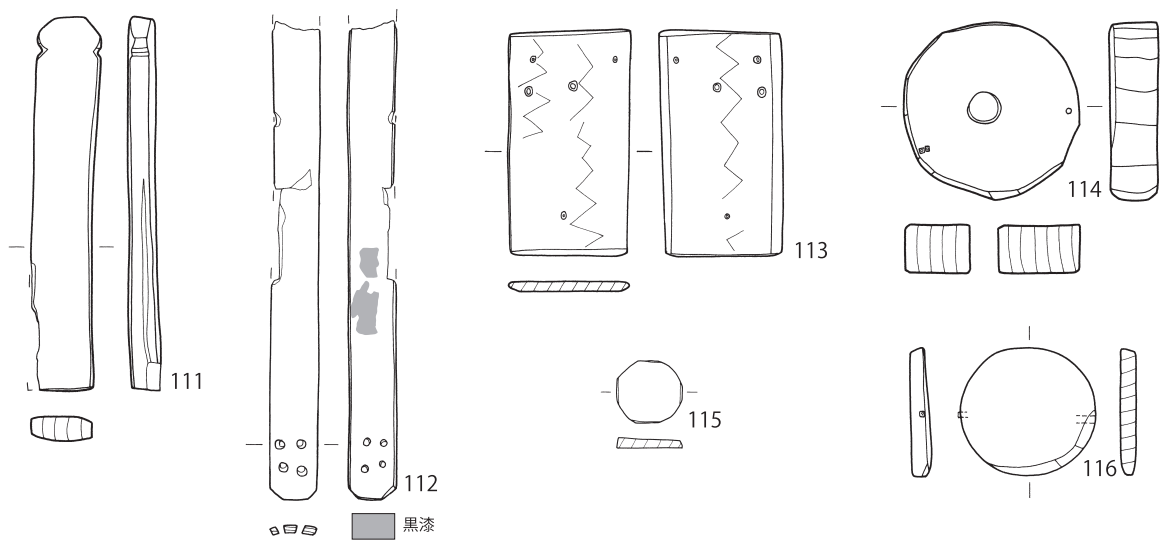


第 729 図 第 473 号土壙出土遺物 (8)



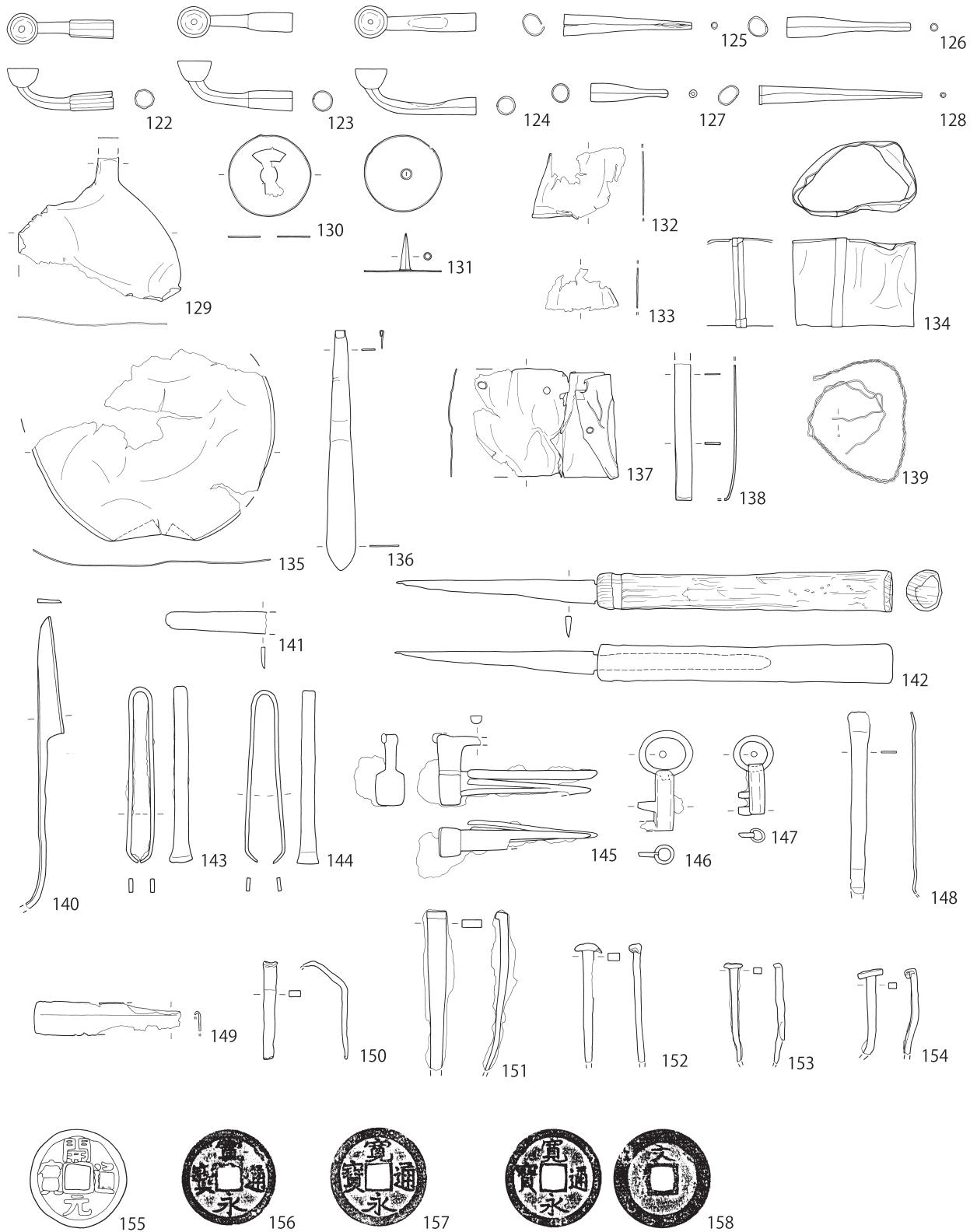
109 0 20cm 1:6 108·110 0 10cm 1:4 105~107 0 10cm 1:3

第 730 图 第 473 号土壤出土遗物 (9)



117~121 0 10cm 1:4 111~116 0 10cm 1:3

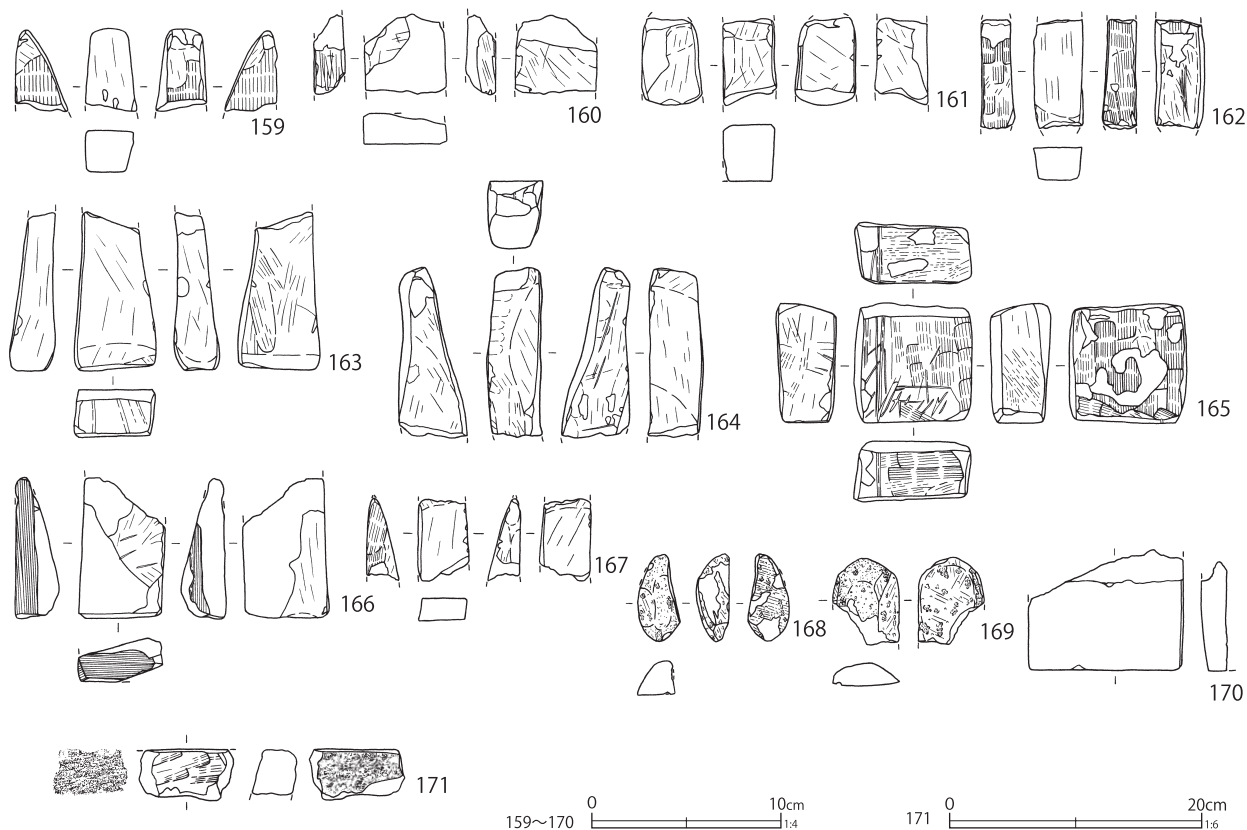
第 731 図 第 473 号土壙出土遺物 (10)



155~158 0 5cm 2:3 122~154 0 10cm 1:3

第 732 图 第 473 号土壤出土遗物 (11)





第733図 第473号土壌出土遺物(12)

の絵が描かれている。70は曲物で、樹皮紐が遺存している。側板は一部が二枚重ねである。第727図75・76は同一個体の箱である。表面に黒漆が塗布されている。第728図91・92は鏝、95～97第729図98～100は木刀、101～104は鞘である。セットで組み合わせる可能性が高い。第730図105は綿繰り機の部材である。綿を取り扱う職種が存在が示唆される。

第732図122～154は金属製品、155～158は銭貨である。122～124は銅製煙管の雁首、125～128は吸口である。130・131は銅製の燭台である。145は鉄製の回転錠型錠である。大部分が欠失し、内部のバネ構造が露出している。146・147はサイズが異なる回転錠型錠の鉄製錠である。155は唐銭の開元通寶である。初鑄年は621年である。156・157は古寛永通寶、158は背文の新寛永通寶である。

第733図は石製品である。159・164・165は緑

色を呈する流紋岩製である。159・165は楕歯状工具痕がみられる。164は使い込まれており、形状から持砥と考えられる。162は流紋岩製で、側面に楕歯状工具痕がみられる。163は流紋岩製で、側面にチョウナ状工具と推定される刃幅の広い工具痕が遺存している。166は粘板岩製で、側面に密なノコギリ状工具痕がみられる。167は凝灰岩製で、側面に楕歯状工具痕が残る。168・169は多孔質の角閃石安山岩転石製磨石である。168は明瞭な線條痕がみられる。共に表面は自然面が遺存している。171は砂岩製石臼である。上臼の口縁部破片で、内面側に楕歯状工具に類似する加工痕がみられる。

⑦区画AGの土壌

現地調査で第二面下層遺構とした土壌は検出されていないが、調査区南半部は第二面表土掘削時に第三面まで掘削されていることに留意したい。

第226表 第473号土壙出土遺物観察表(第722~733図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
1	磁器	碗	11.1	6.3	4.3	—	95	普通	白	肥前系 内外面施釉・色絵(赤・緑) No.162	88-3
2	磁器	碗	10.7	5.9	4.6	—	75	普通	白	肥前系 内外面施釉 外面染付 被熱(弱) No.183	
3	磁器	碗	(10.4)	6.1	4.1	—	70	普通	白	肥前系 内外面施釉 外面染付 No.2	
4	磁器	碗	—	[3.2]	(4.6)	—	5	良好	白	肥前系 内外面施釉・色絵(被熱変色)	
5	磁器	碗	—	[7.0]	—	—	5	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面色絵(赤・緑) 接点のない5片から復元(同一個体片7)	
6	磁器	碗	—	[2.4]	(4.2)	—	5	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面色絵(赤・緑)	
7	磁器	碗	—	[2.2]	—	—	5	良好	白	肥前系 内外面施釉 外面色絵(赤・黒)	
8	磁器	坏	6.2	4.4	2.8	—	95	普通	白	肥前系 内外面施釉	
9	磁器	坏	(6.6)	3.8	3.0	—	40	普通	白	肥前系 内外面施釉 外面染付 被熱(弱) SK431と接合	
10	磁器	坏	5.4	3.4	2.2	—	85	普通	白	肥前系 内外面施釉 外面染付 口縁欠失部3箇所にタール状物質付着 No.24	
11	磁器	皿	—	[1.6]	—	—	5	良好	白	肥前系 内外面施釉 内面色絵(赤・熱変色) 接点のない2片を合成	
12	陶器	坏	—	[1.6]	4.0	EIK	10	普通	明褐灰	瀬戸美濃系 内外面施釉	
13	磁器	油壺	3.4	(9.2)	5.0	—	45	普通	灰白	肥前系 外面施釉・色絵(赤・緑) No.22 下層	
14	陶器	皿	12.8	3.6	(4.5)	EI	45	普通	にぶい黄橙	肥前系 外面施釉 内面青緑釉・見込み蛇ノ目剥ぎ・目跡2 遺存 No.17	
15	陶器	皿	13.1	3.8	4.6	K	70	普通	灰白	肥前系 外面施釉(上位糖白気味) 内面青緑釉・見込み蛇ノ目剥ぎ No.95	88-6
16	陶器	皿	(12.1)	2.9	6.6	IK	65	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 内面摺絵・目跡3 体部中位重焼痕 被熱(強) 杭列6と接合	88-9
17	陶器	皿	13.2	4.0	7.3	EK	95	普通	淡黄	瀬戸美濃系 内外面灰釉 体部しのぎ 内面目跡3	88-8
18	陶器	皿	(20.5)	5.6	9.3	IK	75	普通	灰白	肥前系 内外面施釉 内面呉須絵 高台内刻印 No.9	88-7 113-7
19	陶器	鉢	(34.0)	[6.4]	—	EK	5	良好	灰黄褐	肥前系 外面上位・内面施釉 外面下位鉄釉刷毛塗状 内面陰刻文・白土象嵌 No.15	
20	陶器	片口鉢	(15.5)	10.0	9.6	IK	70	普通	にぶい黄橙	瀬戸美濃系 内外面施釉・灰釉流し掛け 内面目跡3 被熱 煤付着 No.180	88-5
21	陶器	德利	—	12.6	13.2	EI	45	良好	灰白	瀬戸美濃系 外面柿釉 外面下端・底部釉拭き取り No.19	
22	陶器	播鉢	(36.0)	[10.8]	—	EIK	20	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面柿釉 内面播目 11条/単位 下層 No.30	
23	陶器	播鉢	—	[5.8]	—	IK	5	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面柿釉 内面播目 16条/単位 No.135	
24	陶器	有耳壺	—	[14.3]	—	EIKL	35	普通	にぶい黄橙	瀬戸美濃系 外面鉄釉 耳欠失 胎土小礫含む No.103	
25	陶器	香炉	(12.3)	5.6	8.8	EIK	45	普通	淡黄	瀬戸美濃系 外面鉄釉 内面上位・口唇部釉拭き取り 内底面灰状付着物	88-10
26	陶器	香炉	(12.2)	6.9	(9.0)	EIK	40	良好	にぶい橙	瀬戸美濃系 内外面鉄釉 内底面輪状重焼痕・目跡1 遺存 口縁部敲打痕 被熱 底部煤付着 脚部2欠失 下層No.19	
27	瓦質土器	焙烙	(35.2)	5.6	(31.8)	CIK	20	普通	灰白	底部シワ状痕・板状圧痕 内底面ランダムなナデ(光沢あり) 燻す 底部煤付着 胎土中心黒 下層No.34	
28	瓦質土器	焙烙	(38.2)	5.6	(34.2)	CIK	30	普通	灰白	底部シワ状痕・体部下位シワ状痕 弱いナデ 燻す 煤付着 No.57・166 下層No.31・97	
29	瓦質土器	焙烙	—	5.6	—	CIK	5	普通	灰白	底部から体部下位シワ状痕 燻す	
30	かわらけ	小皿	10.8	2.1	6.0	AHI	30	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 底部離し糸切痕(左) 胎土粉質 No.165	
31	かわらけ	小皿	9.0	1.9	5.3	AHK	70	普通	にぶい黄橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 胎土粉質 内面煤付着	
32	かわらけ	小皿	(11.8)	1.9	(7.4)	AHK	20	普通	にぶい橙	江戸在地系 底部糸切痕(左)・二次穿孔1あり 胎土粉質 No.134	
33	かわらけ	小皿	9.0	1.8	5.1	AHI	55	普通	灰黄褐	江戸在地系 底部糸切痕(左)・二次穿孔1あり 内面黒化・胎土粉質 No.6	
34	かわらけ	小皿	—	[0.9]	(6.2)	AHIK	50	普通	にぶい橙	江戸在地系 底部糸切痕遺存 砥具転用 二次穿孔2あり 胎土粉質	
35	かわらけ	小皿	—	[0.7]	(6.6)	AHIK	5	普通	にぶい橙	江戸在地系 底部糸切痕(左) 二次穿孔1あり 砥具転用 胎土粉質	
36	かわらけ	小皿	(10.4)	2.3	(6.0)	CHIK	20	普通	灰白	底部糸切痕 胎土砂質	
37	かわらけ	小皿	(9.0)	1.8	(6.0)	CHIK	25	普通	灰白	底部糸切痕 内底面渦巻状ナデ 胎土砂質	
38	陶器	碗	—	[2.0]	4.4	IK	—	普通	灰白	肥前系 内外面施釉 円盤状製品転用(底部) 縦5.3cm 横5.5cm	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
39	陶器	碗	—	[2.2]	4.6	K	—	普通	灰白	肥前系 内外面施釉 円盤状製品転用(底部) 縦5.2 cm 横5.2 cm No.132	
40	陶器	碗	—	[1.8]	—	K	—	普通	灰白	肥前系 内面施釉 外面青緑釉 円盤状製品転用(底部)・摩耗 縦5.0 cm 横5.1 cm	
41	陶器	碗	—	[1.3]	4.9	IK	—	普通	灰白	瀬戸美濃系 内面鉄釉 円盤状製品転用(底部) 縦5.2 cm 横5.3 cm	
42	瓦質土器	焙烙	—	[0.7]	—	CIK	—	普通	灰白	底部シワ状痕 内底面ミガキ状光沢 円盤状製品転用(底部) 縦4.5 cm 横4.5 cm	
43	瓦質土器	焙烙	—	[0.7]	—	CIK	—	普通	灰白	底部シワ状痕 円盤状製品転用(底部) 縦3.0 cm 横3.0 cm	
44	瓦質土器	焙烙	—	[0.7]	—	CIK	—	普通	灰白	底部シワ状痕 円盤状製品転用(底部) 縦2.8 cm 横2.7 cm	
45	瓦質土器	焙烙	—	[3.0]	—	CIK	—	普通	にぶい黄橙	円盤状製品転用(体部) 縦3.0 cm 横3.3 cm	
46	土師質土器	甕	—	—	—	ADEI	—	普通	にぶい赤褐	円盤状製品転用(体部) 縦4.4 cm 横4.7 cm	
47	土製品	ミニチュア	器高 [0.8] 底径 (3.8) 重さ 3.8			I	—	良好	灰黄	京都系 内外面黄色釉	
48	木製品	漆椀	高さ [4.6]							横木取り 内面赤漆 外面・高台内黒漆 金で家紋 3 No.131	
49	木製品	漆椀	高さ [4.9]							横木取り 内外面赤漆 高台内に黒で文様 歪み No.130	
50	木製品	漆椀	高さ [3.6]							横木取り 内外面赤漆 高台内黒漆 赤で文字「口家」 No.144	
51	木製品	漆椀	高さ [3.5]							横木取り 内外面赤漆 高台内黒漆 赤で文字 No.10	
52	木製品	漆椀	高さ [4.4]							横木取り 内外面赤漆 高台内黒漆 赤で文字 No.9	
53	木製品	漆椀	高さ [3.2]							横木取り 内外面赤漆 高台内刻印「×」 No.1	
54	木製品	漆椀	高さ [3.3]							横木取り 内外面赤漆 高台内刻書 No.1	
55	木製品	漆椀	高さ [4.0]							横木取り 内外面赤漆 高台内に黒で文字 No.55	
56	木製品	漆椀	高さ [6.9] 底径 3.6							横木取り 内面赤漆 外面黒漆 赤で家紋 歪み大 No.45	
57	木製品	漆椀	高さ [3.8]							横木取り 内外面赤漆 金で家紋 3 No.53	
58	木製品	漆椀	高さ [3.1]							横木取り 両面赤漆 No.8	
59	木製品	漆椀	口径 10.4 高さ 3.3 底径 4.6							横木取り 内外面赤漆 口縁黒漆 高台内刻書 円形の文様 No.38	
60	木製品	漆椀	高さ [2.4]							横木取り 内外面赤漆 No.36	
61	木製品	漆椀	高さ [2.2] 底径 4.8							横木取り 内外面赤漆	
62	木製品	漆椀蓋	つまみ径 4.7 口径 9.9 高さ 2.6							横木取り 内外面赤漆 つまみ縁・口縁黒漆 つまみ内刻印「×」 No.35	
63	木製品	漆椀蓋	つまみ径 4.8 口径 10.1 高さ 2.6							横木取り 内外面赤漆 つまみ縁・口縁黒漆 No.141	
64	木製品	漆椀蓋	口径 10.0 高さ [2.5]							横木取り 内外面赤漆 口縁黒漆 No.37	
65	木製品	漆椀蓋	口径 9.6 高さ [3.5]							横木取り 内外面赤漆 口縁黒漆 つまみ内刻書 No.81	
66	木製品	漆椀蓋	つまみ径 3.8 口径 8.2 高さ 2.3							横木取り 内面赤漆 外面黒漆 金で家紋 つまみ内金で文様 No.84	
67	木製品	漆椀蓋	つまみ径 4.4 高さ [3.0]							横木取り 内面赤漆 外面黒漆 金で紋 3(丸に三引) つまみ内に金で文様 No.5	
68	木製品	漆椀蓋	長さ [10.3] 幅 [2.8]							横木取り 内面赤漆 外面黒漆 外面赤漆で松の絵 No.7	
69	木製品	蓋	口径 9.2 高さ 2.0							横木取り No.11	
70	木製品	曲物	長さ 15.1 幅 19.0 高さ 7.6							榎目 樹皮紐残 側板一部二枚重ね 歪み大 No.172	
71	木製品	曲物底部	厚さ 0.5 口径 8.8							板目 表面黒漆	
72	木製品	曲物	厚さ 0.7 口径 7.7							板目 中央に小さな孔 曲物底板か No.156	151-5
73	木製品	蓋	厚さ 0.8 口径 9.3							榎目 片面墨書 No.12	151-6
74	木製品	曲物	長さ 17.0 幅 [10.1] 厚さ 1.1							板目 底板 木釘 3 裏面炭化 下層	
75	木製品	箱	長さ 32.3 幅 [6.0] 厚さ 0.8							榎目 表面黒漆 側板 76 と同一	
76	木製品	箱	長さ 32.4 幅 [5.4] 厚さ 0.7							榎目 表面黒漆 側板 75 と同一	
77	木製品	折敷	長さ 29.3 幅 [13.6] 厚さ 0.6							板目 内面黒漆キズ多数あり 孔 22 内木釘残 13 No.42	
78	木製品	膳	長さ 19.8 幅 [12.6] 厚さ 0.7							板目 表面黒漆 No.119	
79	木製品	杓子	長さ [12.0] 幅 8.4 厚さ 0.7							榎目 No.115	
80	木製品	箸	長さ 24.0 幅 0.7 厚さ 0.4							削出し 上層	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
81	木製品	箸	長さ 23.9 幅 0.7 厚さ 0.5							削出し 上層	
82	木製品	箸	長さ 23.9 幅 0.7 厚さ 0.5							削出し 上層	
83	木製品	箸	長さ 23.9 幅 0.7 厚さ 0.5							削出し 上層	
84	木製品	不明品	長さ 17.2 幅 0.9 厚さ 1.0							削出し 孔 1	
85	木製品	櫛	長さ 10.2 幅 4.8 厚さ 0.8							板目 No. 71	
86	木製品	櫛	長さ 9.1 幅 4.9 厚さ 0.9							板目 No. 70	131-7
87	木製品	不明品	長さ 3.5 幅 3.7 高さ [3.5]							板目 内面・側面赤漆 底面黒漆 No. 6	
88	木製品	不明品	長さ 2.7 幅 15.0 厚さ 0.9							板目 鉄釘 1	
89	木製品	玩具	長さ 10.1 幅 4.8 厚さ 0.2							板目 白で文様 孔 2	151-8 131-8
90	木製品	羽子板	長さ [11.3] 幅 7.1 厚さ 0.9							板目 赤漆	
91	木製品	鏝	長さ 7.1 幅 6.6 厚さ 0.6							板目 No. 68	131-9
92	木製品	鏝	長さ 5.8 幅 5.6 厚さ 0.6							板目 No. 139	131-10
93	木製品	玩具の兜	長さ 17.9 幅 3.2 厚さ 0.3							板目 立物か	131-11
94	木製品	不明品	長さ 3.7 幅 3.6 厚さ 2.1							板目 側面凹み (A-A' 上層)	
95	木製品	木刀	長さ [13.1] 幅 3.2 厚さ 1.7							板目 No. 77	
96	木製品	木刀	長さ 11.3 幅 2.9 厚さ 1.4							板目 No. 66	131-12
97	木製品	木刀	長さ [13.2] 幅 3.4 厚さ 1.8							板目	131-13
98	木製品	木刀	長さ [10.8] 幅 2.8 厚さ 1.7							板目	
99	木製品	木刀	長さ [10.0] 幅 2.7 厚さ 1.7							板目 南北トレンチ	
100	木製品	木刀	長さ [30.7] 幅 2.0 厚さ 0.6							板目	131-14
101	木製品	鞘	長さ 43.9 幅 3.4 厚さ 1.8							板目 No. 73	131-15
102	木製品	鞘	長さ 34.7 幅 3.2 厚さ 0.9							板目 No. 148	
103	木製品	鞘	長さ 33.0 幅 (3.2) 厚さ 0.9							板目 墨書なし	
104	木製品	鞘	長さ [14.2] 幅 2.9 厚さ 1.1							板目 No. 116	
105	木製品	綿繰り機	長さ [12.0] 幅 2.6 厚さ 2.0							板目 No. 76	131-6
106	木製品	刷毛	長さ 13.6 幅 15.0 厚さ 0.7							板目 孔 15 No. 41	
107	木製品	不明品	長さ [11.3] 径大 4.0 径小 1.7							芯持材 No. 176	
108	木製品	不明品	長さ 34.7 幅 11.0 厚さ 2.6							板目 No. 36	131-17
109	木製品	櫛	長さ 88.2 幅 9.7 厚さ 4.0							板目	131-18
110	木製品	柄	長さ 28.9 幅 4.5 厚さ 5.8							板目 木の中央に方形の孔 端部に金具	
111	木製品	不明品	長さ 14.7 幅 2.5 厚さ 1.0							板目 南北トレンチ	
112	木製品	不明品	長さ [18.8] 幅 1.9 厚さ 0.3							板目 黒漆 孔 4 No. 40	
113	木製品	木札	長さ 8.9 幅 4.8 厚さ 0.4							板目 表裏面墨書 鋸歯状の線刻 孔 5	151-7
114	木製品	不明品	長さ 7.0 幅 6.9 厚さ 1.9							板目 南北トレンチ 孔 3	
115	木製品	不明品	長さ 2.5 幅 2.6 厚さ 0.4							板目	
116	木製品	不明品	長さ 5.0 幅 5.3 厚さ 0.6							板目 側面に木釘孔 2 A-A' 上層	
117	木製品	下駄	長さ 22.2 幅 8.8 高さ [2.1]							板目 連歯下駄 No. 63	
118	木製品	下駄	長さ 22.9 幅 8.7 高さ [2.7]							板目 露卯下駄 No. 146	
119	木製品	下駄	長さ 23.5 幅 7.7 高さ [2.3]							板目 露卯下駄 No. 7	
120	木製品	下駄	長さ 18.5 幅 6.0 高さ [3.0]							板目 露卯下駄 下層	
121	木製品	下駄	長さ [16.4] 幅 6.6 高さ [2.8]							板目 露卯下駄 No. 158	
122	銅製品	煙管	長さ 5.4 火皿径 1.5 小口径 1.0 重さ 9.2							No. 31 雁首	133-2
123	銅製品	煙管	長さ 5.8 火皿径 1.7 × 1.6 小口径 1.0 重さ 8.7							No. 32 雁首	133-2
124	銅製品	煙管	長さ 6.1 火皿径 1.6 小口径 0.9 重さ 8.8							No. 94 雁首 潰れる	133-2
125	銅製品	煙管	長さ 6.5 小口径 1.1 口付径 0.3 重さ 4.9							No. 14 下層 吸口	133-2
126	銅製品	煙管	長さ 6.3 小口径 1.0 口付径 0.4 重さ 3.0							No. 18 下層 吸口	133-2
127	銅製品	煙管	長さ 3.9 小口径 0.9 口付径 0.4 重さ 3.2							No. 127 吸口	133-2
128	銅製品	煙管	長さ 8.3 小口径 1.0 口付径 0.2 重さ 4.3							下層 吸口	133-2
129	銅製品	杓子	長さ [7.3] 幅最大 8.3 厚さ 0.03 重さ 14.6							下層 欠損・変形顕著	
130	銅製品	燭台	径 4.1 厚さ 0.03 重さ 1.3							No. 93	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版	
131	銅製品	燭台	径 3.9	高さ 1.9	厚さ 0.03	重さ 1.8				No. 93	134-4	
132	銅製品	燭台	縦 [3.7]	横 [4.8]	厚さ 0.03	重さ 1.4				No. 93		
133	銅製品	燭台	縦 [2.1]	横 [3.7]	厚さ 0.03	重さ 0.5				No. 93 以上同一個体		
134	銅製品	燭台	径 3.8 × 6.3	高さ 4.5	厚さ 0.04	重さ 13.0				No. 126		
135	銅製品	不明	縦 [9.8]	横 [12.3]	厚さ 0.03	重さ 24.7				No. 182 底板か		
136	銅製品	不明	長さ 12.2	幅最大 1.5	厚さ 0.03	重さ 11.0				南北トレンチ 下層		
137	銅製品	不明	縦 [5.6]	横 [7.3]	厚さ 0.03	重さ 15.6				No. 28 下層		
138	銅製品	不明	長さ [6.9]	幅 0.8	厚さ最大 0.1	重さ 6.5				No. 168 薄板		
139	銅製品	針金	縦 6.2	横 5.0	厚さ 0.1	重さ 2.8				No. 137 2本捻り		
140	鉄製品	握鋏	長さ [14.9]	刃幅 1.2	背幅 0.2	重さ 10.4				No. 91 片刃のみ 変形		
141	鉄製品	刃物	刃長 [5.2]	刃幅 1.1	背幅 0.2	重さ 4.1				下層		
142	鉄製品	刀子	長さ 25.4	刃長 10.2	刃幅 1.1	背幅 0.3	重さ 24.2			No. 170 木柄付き		134-2
143	鉄製品	毛抜き	長さ 8.0	幅 0.7	厚さ 0.2	重さ 11.2				No. 169		135-1
144	鉄製品	毛抜き	長さ 8.9	幅 0.7	厚さ 0.2	重さ 10.5				No. 174		135-1
145	鉄製品	錠前	縦 3.7	横 8.4	幅 1.5	重さ 30.0				下層 施錠部	135-2	
146	鉄製品	鍵	長さ 5.1	重さ 7.4						下層No. 24	135-2	
147	鉄製品	鍵	長さ 4.0	重さ 5.9						下層No. 23	135-2	
148	鉄製品	不明	長さ [9.3]	幅 0.8	厚さ 0.1	重さ 4.7				東西トレンチ		
149	鉄製品	不明	縦 1.5	横 [7.5]	厚さ 0.1	重さ 4.3				下層		
150	鉄製品	不明	長さ [5.0]	幅 0.6	厚さ 0.3	重さ 4.6				下層		
151	鉄製品	不明	長さ [8.1]	幅 1.0	厚さ 0.4	重さ 18.6				下層		
152	鉄製品	釘	長さ [6.1]	幅 0.6	厚さ 0.4	重さ 4.7				東側砂層		
153	鉄製品	釘	長さ [5.1]	幅 0.4	厚さ 0.3	重さ 2.3				東側砂層		
154	鉄製品	釘	長さ [4.3]	幅 0.4	厚さ 0.3	重さ 3.5				下層		
155	銅製品	銭貨	径 24.4	厚さ 1.1	重さ 2.8					開元通寶		
156	銅製品	銭貨	径 24.3	厚さ 1.3	重さ 3.7					No. 28 寛永通寶 (古)		
157	銅製品	銭貨	径 25.1	厚さ 1.1	重さ 3.4					下層 寛永通寶 (古)		
158	銅製品	銭貨	径 25.3	厚さ 1.3	重さ 3.0					東西トレンチ 寛永通寶 (新) 背文		
159	石製品	砥石	長さ [4.3]	幅 2.7	厚さ 2.2	重さ 33.5				流紋岩 (緑色) 裏・側面櫛歯状工具痕 3 砥面 4		
160	石製品	砥石	長さ [4.2]	幅 4.4	厚さ 1.6	重さ 36.2				粘板岩 側面線条痕 砥面 4		
161	石製品	砥石	長さ [4.6]	幅 2.8	厚さ 3.0	重さ 63.1				砂岩 砥面 4		
162	石製品	砥石	長さ [5.7]	幅 2.6	厚さ 1.6	重さ 48.2				流紋岩 裏面刃物痕多数・櫛歯状工具痕わずかに残る 側面櫛歯状工具痕 2 被熱 (黒色化) 砥面 2		
163	石製品	砥石	長さ [8.3]	幅 4.3	厚さ 2.5	重さ 117.4				流紋岩 裏面線状痕 側面幅広工具痕 砥面 4		
164	石製品	砥石	長さ [9.0]	幅 2.9	厚さ 3.6	重さ 117.6				流紋岩 (緑色) 表面削痕 側面削痕 2・刃物痕 1 被熱 (一部黒色化) 砥面 4		
165	石製品	砥石	長さ 6.3	幅 6.2	厚さ 3.2	重さ 231.6				流紋岩 (緑色) 表裏・側面櫛歯状工具痕 4 刃物傷・線条痕・削痕あり 砥面 3	140-1	
166	石製品	砥石	長さ [7.4]	幅 4.6	厚さ [1.8]	重さ 65.7				粘板岩 側面ノコギリ痕 3 砥面 2		
167	石製品	砥石	長さ [4.3]	幅 2.7	厚さ 1.1	重さ 20.4				凝灰岩 左側面櫛歯状工具痕 右側面削痕 砥面 2		
168	石製品	磨石	長さ 4.6	幅 2.2	厚さ 1.6	重さ 7.4				角閃石安山岩 多孔質 自然面遺存 使用面 3 線条痕あり		
169	石製品	磨石	長さ [4.5]	幅 3.5	厚さ 1.2	重さ 8.9				角閃石安山岩 多孔質 自然面遺存		
170	石製品	温石	長さ [6.4]	幅 8.2	厚さ [1.3]	重さ 118.3				片岩 被熱 (黒化)		
171	石製品	石臼	厚さ [3.6]	重さ 167.7						砂岩 上臼 内面櫛歯状工具痕		



第 227 表 第三面ピット一覧表

単位：m

番号	グリッド	形態	長軸	短軸	深さ	備考
47	F7-B6	楕円形	0.42	0.25	0.15	SD25 より新
48	F7-B5・6	円形	0.23	0.20	0.21	
49	F7-B7	楕円形	(0.55)	[0.33]	0.25	SK496 より古 SK516 より新
50	F7-B7	円形	0.48	0.42	0.33	
51	F7-B7	楕円形	0.38	0.30	0.32	
52	F7-B7	楕円形	0.45	0.35	0.38	
53	F7-B7	隅丸方形	0.25	0.23	0.3	
54	F7-B7	円形	0.35	0.35	0.54	
55	F7-C5・6	隅丸方形	0.40	0.38	0.12	P57 より新
56	F7-C5	円形	0.37	0.33	0.11	P57 より新
57	F7-C5	不明	0.40	(0.20)	0.11	P55・56 より古
58	F7-C5・6	楕円形	0.44	0.35	0.43	
59	F7-C5・6	隅丸方形	(0.63)	0.54	0.25	
60	F7-C5	円形	0.35	0.35	0.2	木杭あり
61	F7-C6	円形	0.30	0.25	0.2	畝跡3・SK522 より新
62	F7-C6	円形	0.40	0.34	0.28	
63	F7-C6	円形	0.39	0.32	0.12	SK533 と重複
64	F7-C6	円形	0.30	0.28	0.4	
65	F7-C6	楕円形	0.62	0.38	0.24	SD26 より新
66	F7-C6	楕円形	0.37	0.25	0.27	SD27 と重複
67	F7-C6	円形	0.35	0.32	0.22	
68	F7-C6	円形	0.36	0.34	0.25	
69	F7-C6	円形	0.39	0.36	0.23	
70	F7-C6	楕円形	0.4	(0.31)	0.2	SK533 より古 SK534 と重複
71	F7-B・C7	円形	0.3	0.27	0.1	SK495・496 より新
72	F7-C7	楕円形	0.45	0.35	0.25	
73	F7-C7	不整楕円形	0.43	0.3	0.3	
74	F7-C7	不整楕円形	0.61	0.39	0.11	SD19 と重複
75	F7-D7	楕円形	0.43	0.32	0.18	
77	F7-C7	不明	-	-	0.35	SK544 より新

### (6) ピット (第734図)

ピットは30基検出された。単独のものがほとんどであり、建物跡を想定するような等間隔な並びは認められなかった。また、遺物の出土はほぼなく、図示し得るものがなかった。

第 227 表に位置・規模等の基本情報、第 734 図に遺構図を示した。

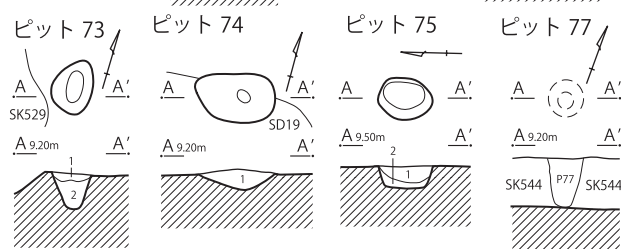
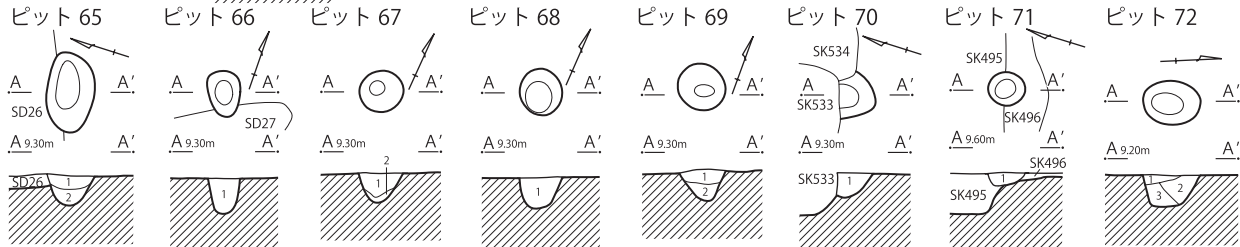
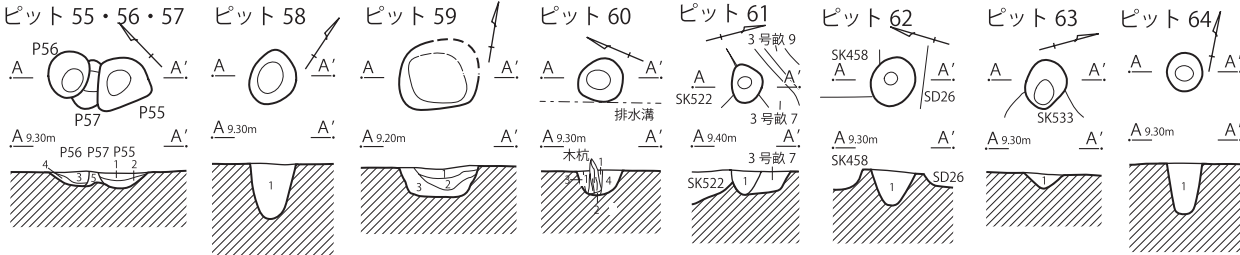
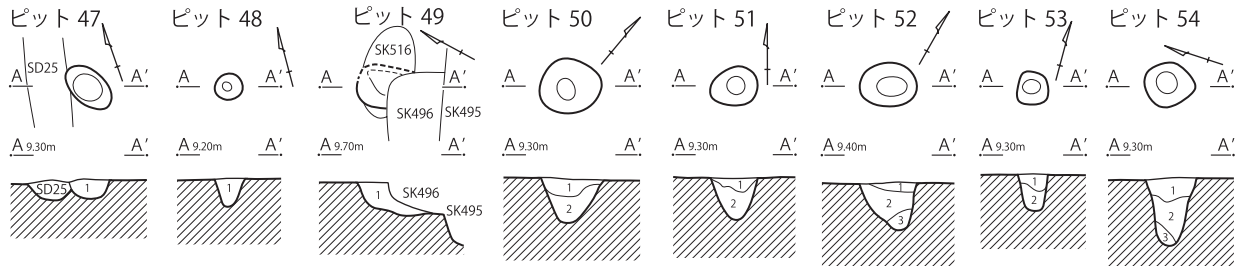
### (7) 遺構外出土遺物 (第735～741図)

第二面調査時に調査区北半部で下層遺構を確認し、0.2m程度の掘削を行った。その際に出土した遺物、第二面下層（第三面）遺構確認作業に伴って出土した遺物を第三面遺構外出土遺物として扱った。なお、調査区北半部掘削時に出土した

遺物は、グリッド出土遺物下層及び最下層として取り上げている。

掘削時に出土した陶磁器類は17世紀の所産が多く、古瀬戸等中世段階の遺物が比較的多く認められる。また、古代以前の遺物もみられ、非掲載遺物には南比企産を含む須恵器4点、小型台付甕と思われる土師器が1点みられる。第三面遺構の年代より古い遺物が多く、17世紀以前の遺構を壊した土を盛っている可能性が疑われる。もしくは、周辺に17世紀以前の遺構が存在していた可能性がある。

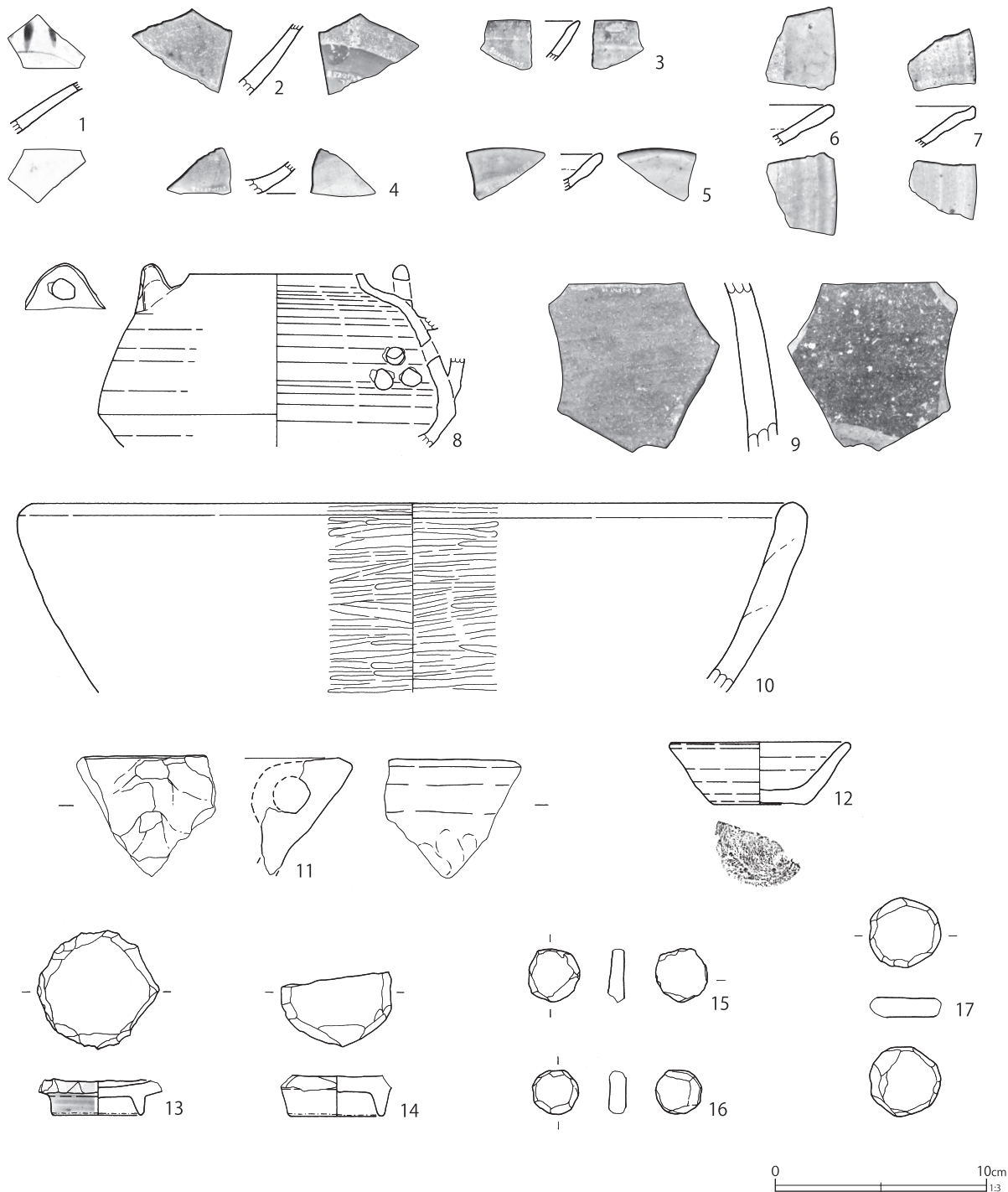
遺物は特徴的な製品を中心に抽出した。第735図に陶磁器類、第736図に土製品類、第737図に



ピット 60  
 1 灰色土 粘土質 褐色粒子少量 木杭残存 (杭列に伴う杭か) 1層に杭跡強 しまり弱 粘性強  
 2 暗褐色砂 粘土ブロック (φ~3mm) 少量 しまり強 粘性弱  
 3 青灰色土 粘土質 褐色・炭化物粒子少量 しまり強 粘性強  
 4 青灰色土 粘土質 褐色粒子少量 炭化物粒子微量 しまり強 粘性強  
 ピット 61  
 1 暗褐色土 粘質土細砂少量混在 畝跡の細砂微量  
 ピット 62  
 1 灰色土 粘土質 白色粒子多量 しまり強 粘性強  
 ピット 63  
 1 灰色土 粘土質 褐色粒子多量 粘性強 しまり強  
 ピット 64  
 1 灰色土 粘土質 白色・褐色粒子多量 炭化物粒子微量 しまり強 粘性強  
 ピット 65  
 1 灰色土 粘土質 褐色粒子多量 炭化物粒子微量 しまり強 粘性弱  
 2 暗褐色砂 粘土ブロック (φ~3mm) 多量 しまり強 粘性弱  
 ピット 66  
 1 灰色土 粘土質 白色・褐色粒子多量 しまり強 粘性強  
 ピット 67  
 1 灰色土 粘土質 白色粒子微量 しまり強 粘性強  
 2 灰色土 粘土質 褐色粒子多量 しまり強 粘性弱  
 ピット 68  
 1 青灰色土 白色・褐色粒子多量 しまり強 粘性強  
 ピット 69  
 1 灰色土 粘土質 白色・褐色粒子少量 しまり強 粘性強  
 2 灰色砂 粘土ブロック (φ~5mm) 少量 しまり弱 粘性弱  
 ピット 70  
 1 灰色土 粘土質 褐色粒子少量 しまり強 粘性強  
 ピット 71  
 1 暗褐色土 粘土質 褐色粒子多量 白色粒子少量 しまり強 粘性弱  
 ピット 72  
 1 暗灰色土 粘土質 白色粒子少量 しまり弱 粘性強  
 2 暗灰色土 粘土質 白色粒子多量 しまり弱 粘性強  
 3 暗灰色土 砂質 白色・褐色粒子多量 しまり強 粘性弱  
 ピット 73  
 1 暗褐色土 粘土質 砂やや多量 しまり強 粘性弱  
 2 暗褐色砂 粘土ブロック (φ~30mm) 多量 しまり強 粘性弱  
 ピット 74  
 1 暗灰色土 粘土質 白色・褐色粒子多量 炭化物粒子少量 しまり強 粘性弱  
 ピット 75  
 1 暗褐色土 褐色粒子多量 白色粒子微量  
 2 暗褐色土 やや砂質 白色粒子微量  
 ピット 77  
 1 灰黄褐色砂質土 炭化物 (φ2~5mm) 0

ピット 47  
 1 暗灰色土 粘土質 砂多量混入 しまり強 粘性強  
 ピット 48  
 1 灰色土 粘土質 白色粒子微量 しまり強 粘性強  
 ピット 49  
 1 暗褐色土 粘土質 白色・褐色粒子多量 炭化物粒子微量 しまり強 粘性弱  
 ピット 50  
 1 暗灰色土 粘土質 白色粒子少量 しまり強 粘性強  
 2 暗灰色土 粘土質 白色・炭化物粒子少量 しまり弱 粘性強  
 ピット 51  
 1 暗灰色土 粘土質 白色粒子少量 しまり強 粘性強  
 2 暗褐色土 粘土質 白色・褐色粒子少量 しまり強 粘性強 底面硬化  
 ピット 52  
 1 暗灰色土 粘土質 白色粒子少量 しまり強 粘性弱  
 2 暗褐色土 粘土質 褐色粒子多量 白色粒子少量 しまり強 粘性弱  
 3 暗灰色土 粘土質 白色粒子多量 しまり弱 粘性強  
 ピット 53  
 1 暗灰色土 粘土質 白色粒子少量 しまり強 粘性強  
 2 暗褐色土 粘土質 白色・褐色粒子少量 しまり弱 粘性強  
 ピット 54  
 1 暗灰色土 粘土質 白色粒子少量 しまり強 粘性強  
 2 暗灰色土 粘土質 白色粒子少量 しまり弱 粘性強  
 3 暗褐色土 砂質 白色・褐色粒子多量 しまり弱  
 ピット 55・56・57  
 1 灰色土 粘土質 褐色粒子少量 しまり強 粘性強 (P55)  
 2 灰色土 粘土質 白色・褐色粒子多量 しまり強 粘性弱 (P55)  
 3 灰色土 粘土質 褐色粒子やや多量 しまり強 粘性強 (P56)  
 4 灰色砂 粘土ブロック (φ~6mm) 少量 しまり強 粘性弱 (P56)  
 5 灰色土 粘土質 褐色粒子やや多量 しまり強 粘性強 (P57)  
 ピット 58  
 1 灰色土 粘土質 白色粒子微量 炭化物少量 しまり強 粘性強  
 ピット 59  
 1 青灰色土 粘土質 白色・炭化物粒子微量 しまり強 粘性強  
 2 青灰色土 粘土質 白色粒子多量 しまり強 粘性強  
 3 灰色土 粘土質 白色粒子多量 炭化物粒子少量 しまり強 粘性強

第 734 図 ピット



第 735 図 遺構外出土遺物 (1)

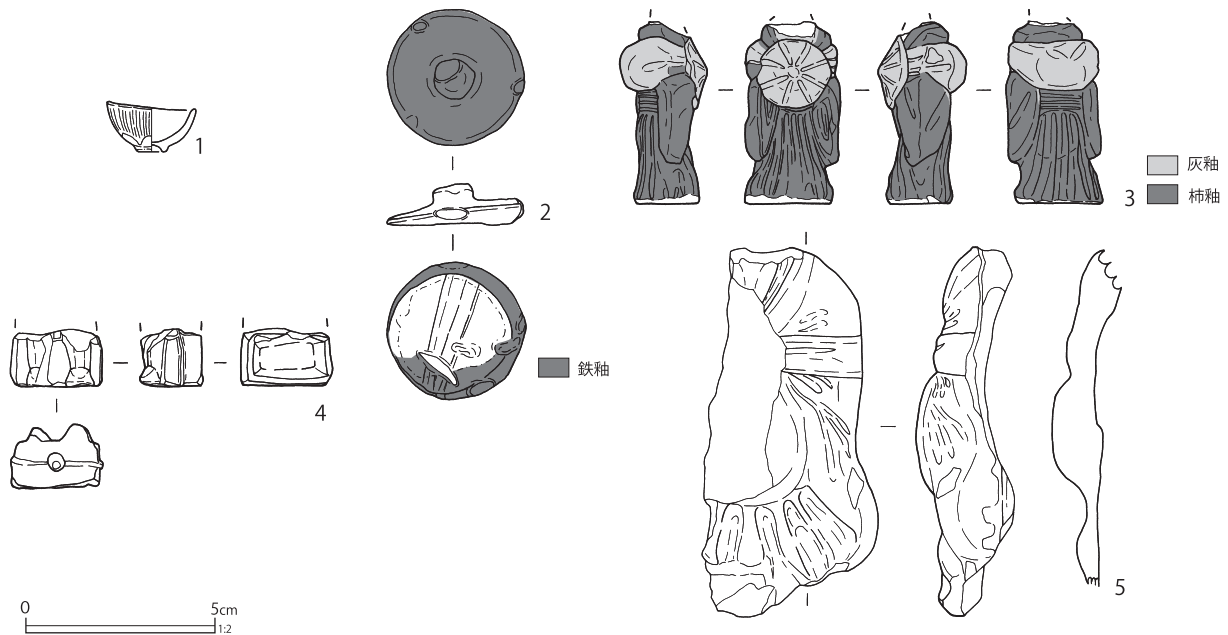
瓦、第738図に金属製品、第739図に銭貨、第740図に鉄滓、第741図に石製品を図示した。

第735図2・3は古瀬戸後期様式の平碗である。灰釉が施釉されている。2は15世紀、3は15世紀前葉から中葉頃の所産である。5は古瀬戸後期様式の縁釉小皿である。内面上位と口縁部

に灰釉が施釉されている。15世紀末の所産である。6は古瀬戸後期様式の鉢である。内外面上位に灰釉が施釉されている。15世紀の所産である。7は瀬戸美濃系陶器の折縁皿である。内外面に灰釉が施釉されている。17世紀初頭の所産である。11は瓦質土器の内耳鍋である。外面に煤

第 228 表 遺構外出土遺物観察表 (1) (第 735 図)

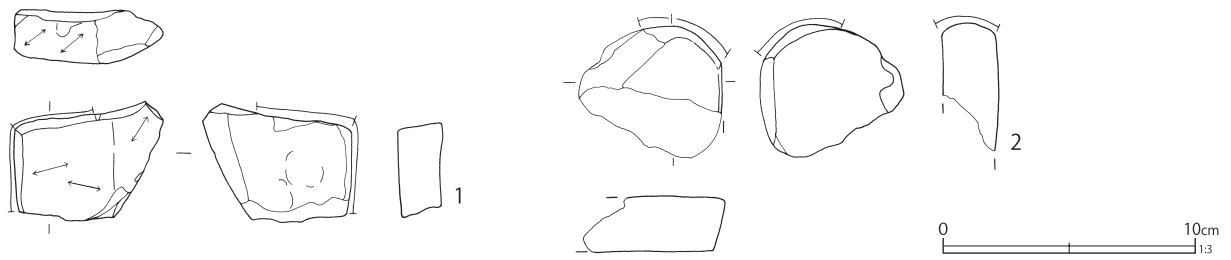
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	磁器	皿	—	[2.4]	—	—	5	普通	灰白	F7-C7	下層 肥前系 初期伊万里様式 内外面施釉 内面染付	
2	陶器	平碗	—	[3.3]	—	EK	5	良好	灰白	F7-C7	下層 古瀬戸後期様式 内外面灰釉 15c	
3	陶器	平碗	—	[1.3]	—	EIK	5	普通	灰白	F7-B7	下層 古瀬戸後期様式 内外面灰釉 15c 前～中	
4	陶器	碗	—	[1.5]	—	IK	5	良好	灰白	F7-C7	下層 瀬戸美濃系 内外面灰釉	
5	陶器	縁釉小皿	—	[1.2]	—	I	5	普通	灰白	F7-C7	下層 古瀬戸後期様式 内面上位・口縁部灰釉 15c 末	
6	陶器	鉢	—	[2.3]	—	IK	5	良好	灰白	F7-C7	下層 古瀬戸後期様式 内外面上位灰釉 15c	
7	陶器	折縁皿	—	[1.9]	—	EIK	5	普通	灰白	F7-B5	下層 瀬戸美濃系 内外面灰釉 17c 初	
8	陶器	土瓶	(8.0)	[8.6]	—	AIK	30	良好	にぶい橙	F7-C7	下層 胎土土器質 内外面黒釉 被熱・煤付着	
9	陶器	甕	—	[7.9]	—	EHK	5	普通	浅黄橙	F7-C7	下層 常滑系 外面塗土か	
10	瓦質土器	鉢	36.0	[9.0]	—	IK	5	普通	灰白	F7-C6	下層 内外面ミガキ 燻す 胎土中心暗灰色	
11	瓦質土器	内耳鍋	—	[5.5]	—	IK	5	普通	灰黄	F7-C6	下層 燻す 外面煤付着 15～16c	
12	土器	かわらけ	8.2	[2.9]	4.3	CHIK	40	普通	にぶい橙	F7-C6	下層 底部糸切痕をナゲ消し 胎土砂質	
13	磁器	碗	—	[1.6]	4.1	—	—	良好	白	F7-C7	下層 肥前系 内外面施釉 外面染付 円盤状製品転用 (底部) 縦 5.6 cm 横 5.8 cm	
14	磁器	碗	—	[1.9]	4.5	—	—	良好	白	F7-C7	下層 肥前系 内外面施釉 円盤状製品転用 (底部) 縦 [3.5] cm 横 5.2 cm	
15	陶器	瓶類カ	縦 2.5 横 2.4 厚み 0.8			K	—	普通	灰白	F7-B6	下層 瀬戸美濃系 外面鉄釉 内面鉄釉薄掛け 円盤状製品転用 (体部)	
16	土師質土器	壺甕類カ	縦 2.0 横 2.2 厚み 0.8			ADEH	—	普通	褐灰	F7-C7	下層 円盤状製品転用 (体部・打欠・摩耗)	
17	土師質土器	火鉢類カ	縦 3.3 横 3.3 厚み 0.9			AIK	—	普通	にぶい橙	F7-C6	下層 円盤状製品転用 (底部・打欠・摩耗)	



第 736 図 遺構外出土遺物 (2)

第 229 表 遺構外出土遺物観察表 (2) (第 736 図)

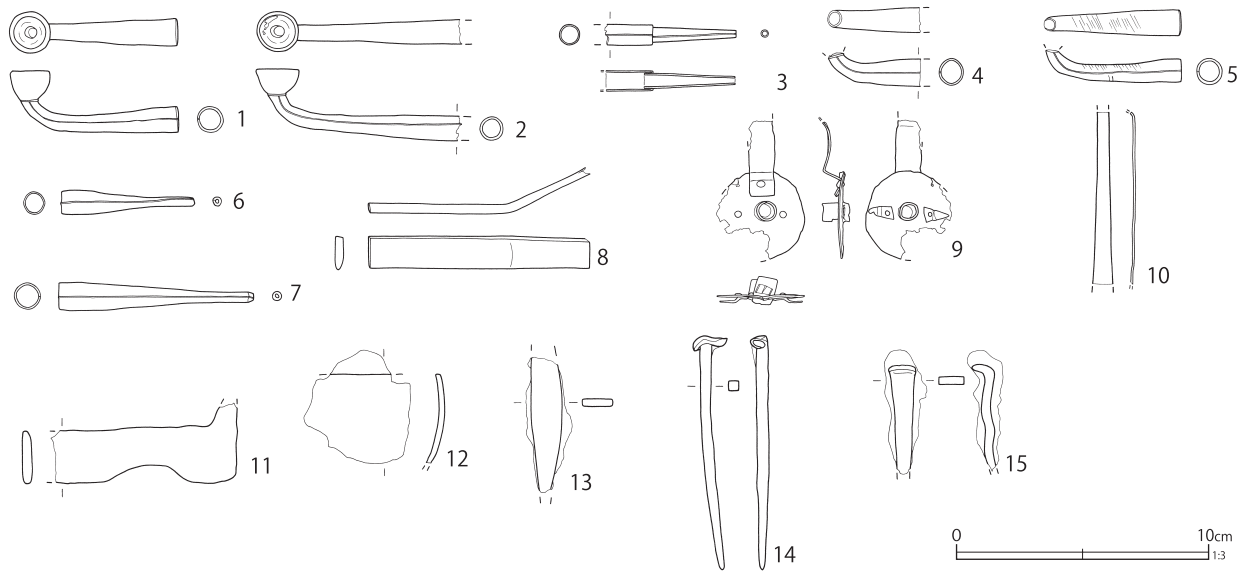
番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	磁器	紅坯	口径 2.4	器高 1.3		1.6	—	良好	白	F7-C7	下層 肥前系 型成形 内外面施釉	
2	陶器	ミニチュア	口径 3.6	器高 1.1		10.6	K	普通	黄灰	F7-C7	下層 瀬戸美濃系 蓋 型成形 鉄釉 下面へラナゲ 露胎部黒化	
3	陶器	人形	[4.8]	2.5	2.3	16.3	—	良好	灰白	F7-B7	下層 京都信楽系 西行 型成形 笠・風呂敷灰釉 僧衣柿釉	122-9
4	土製品	人形	[1.5]	2.4	1.7	5.1	AK	普通	橙	F7-B6	下層 前後合二枚型成形 中実 雲母付着	
5	土製品	人形	[9.7]	[4.6]	1.4	44.9	AHIK	普通	にぶい橙	F7-B6	下層 前後合二枚型成形 中空 胎土一部還元焰焼成	122-10



第 737 図 遺構外出土遺物 (3)

第 230 表 遺構外出土遺物観察表 (3) (第 737 図)

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	高さ	径	胎土	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	瓦	転用瓦	4.7	5.9	1.8	—	—	ACK	普通	灰白	F7-B7	下層 棧瓦 砥具転用	
2	瓦	転用瓦	[5.2]	[5.6]	2.2	—	—	AHIK	普通	灰白	F7-C7	下層 平瓦 砥具転用 燻す	

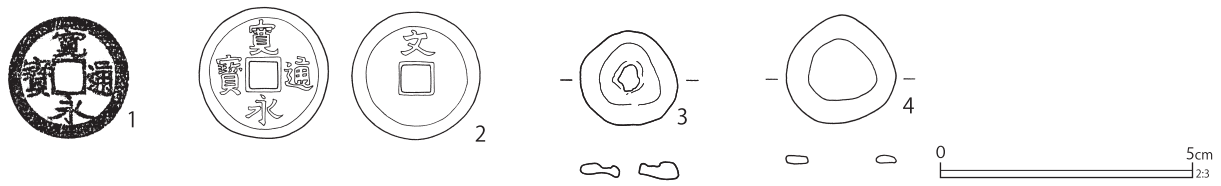


第 738 図 遺構外出土遺物 (4)

第 231 表 遺構外出土遺物観察表 (4) (第 738 図)

番号	種別	器種	法量	遺構名	備考	図版
1	銅製品	煙管	長さ 6.7 火皿径 1.6 小口径 1.0 重さ 13.3	F7-C7	下層 雁首	133-2
2	銅製品	煙管	長さ [8.2] 火皿径 1.7 × 1.6 小口径 0.9 重さ 8.5	F7-C7	下層 雁首 小口欠損	133-2
3	銅製品	煙管	長さ [5.2] 小口径 0.8 口付径 0.3 重さ 3.2	F7-C6	下層 吸口 別造り	
4	銅製品	煙管	長さ [3.7] 小口径 [1.1 × 1.0] 重さ 4.6	F7-C7	下層 雁首 火皿欠失	
5	銅製品	煙管	長さ [5.4] 小口径 1.0 重さ 3.8	F7-B7	下層 雁首 火皿欠失	
6	銅製品	煙管	長さ 5.3 小口径 0.9 口付径 0.4 重さ 3.0	F7-C7	下層 吸口	133-2
7	銅製品	煙管	長さ 7.7 小口径 1.1 口付径 0.4 重さ 6.8	F7-C7	下層 吸口	133-2
8	銅製品	小柄	長さ 8.8 幅 1.3 厚さ 0.3 重さ 11.6	F7-C6	下層 柄部 折れ曲がる	
9	銅製品	燭台	縦 [5.5] 横 [3.5] 厚さ 0.1 高さ 1.1 重さ 6.4	F7-C7	下層	
10	銅製品	不明	長さ [6.8] 幅 [0.8] 厚さ 0.1 重さ 2.4	F7-C7	下層	
11	鉄製品	火打金	縦 [3.2] 横 [7.5] 厚さ 0.4 重さ 18.9	F7-D6	下層	133-4
12	鉄製品	容器	縦 [3.5] 横 [4.2] 厚さ 0.2 重さ 21.6	F7-C7	下層 口縁部破片	
13	鉄製品	不明	長さ [5.4] 幅 1.2 厚さ 0.3 重さ 11.5	F7-C7	下層	
14	鉄製品	釘	長さ 9.3 幅 0.4 厚さ 0.4 重さ 6.4	F7-C7	下層	
15	鉄製品	釘	長さ [4.3] 幅 (1.0) 厚さ (0.3) 重さ 8.8	F7-C7	下層	

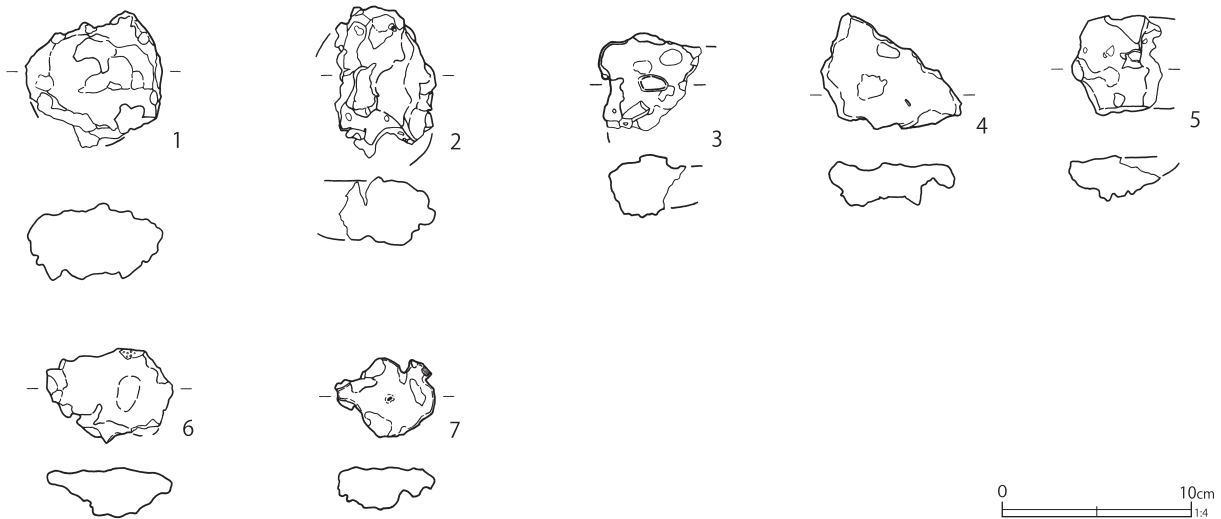




第 739 図 遺構外出土遺物 (5)

第 232 表 遺構外出土遺物観察表 (5) (第 739 図)

番号	種別	器種	法量	遺構名	備考	図版
1	銅製品	銭貨	径 24.4 厚さ 1.0 重さ 3.0	F7-C6	下層 寛永通寶 (古)	
2	銅製品	銭貨	径 25.0 厚さ 1.2 重さ 3.0	F7-C7	下層 寛永通寶 (新) 背文	
3	銅製品	雁首銭	径 19.1 × 18.7 厚さ 2.9 重さ 3.0	F7-C6	下層	
4	銅製品	雁首銭	径 21.3 厚さ 1.7 重さ 1.9	F7-C6	下層	



第 740 図 遺構外出土遺物 (6)

第 233 表 遺構外出土遺物観察表 (6) (第 740 図)

番号	種別	器種	平面形	法量	遺構名	備考	図版
1	鉄滓	椀形滓	楕円形	長さ 7.3 幅 7.2 厚さ 3.6 重さ 141.9	F7-B7	下層 磁着弱い	137-3
2	鉄滓	椀形滓	楕円形か	長さ 7.9 幅 5.0 厚さ 3.4 重さ 144.2	F7-B7	下層 磁着やや弱い	137-3
3	鉄滓	椀形滓	方形か	長さ 5.4 幅 5.2 厚さ 3.3 重さ 76.6	F7-C7	下層 上面炭化物少量 磁着弱い	137-3
4	鉄滓	椀形滓	三角形	長さ 5.6 幅 6.6 厚さ 2.1 重さ 81.4	F7-C7	下層 上面気泡目立つ 下面木炭少量あり 磁着やや弱い	137-3
5	鉄滓	椀形滓	方形か	長さ 5.2 幅 4.6 厚さ 2.4 重さ 68.1	F7-C7	下層 下面シワ状 小さな気泡が目立つ 磁着弱い	137-3
6	鉄滓	椀形滓	楕円形	長さ 4.7 幅 6.6 厚さ 2.6 重さ 82.7	F7-C7	下層 ほぼ完形 全体に鍛造剥片あり 下面木炭あり 磁着やや強い	137-3
7	鉄滓	椀形滓	不整形円形	長さ 4.1 幅 5.1 厚さ 2.1 重さ 44.5	F7-C7	下層 ほぼ完形 上面木炭少量 磁着やや弱い	137-3



第 741 図 遺構外出土遺物 (7)

第 234 表 遺構外出土遺物観察表 (7) (第 741 図)

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	重さ	石材	遺構	備考	図版
1	石製品	火打石	2.4	2.9	2.2	19.3	石英	F7-B7	下層 稜の潰れ著しい	
2	石製品	火打石	3.3	2.7	1.4	11.4	玉髓	F7-C6	使用痕なし	
3	石製品	火打石	2.3	2.1	1.4	6.9	玉髓	F7-C6	下層 稜の潰れ著しい	
4	石製品	火打石	3.6	1.9	1.5	11.5	玉髓	F7-C6	下層 稜の潰れ著しい	
5	石製品	火打石	2.8	3.3	2.3	25.6	メノウ	F7-C7	下層 稜の潰れ著しい	
6	石製品	磨石	[4.0]	4.0	1.9	17.7	角閃石安山岩	F7-B7	下層 多孔質 自然面遺存 使用面 4 削痕あり	
7	石製品	磨石	4.7	4.3	2.0	23.5	角閃石安山岩	F7-B7	下層 多孔質 自然面遺存 使用面 2 削痕あり	
8	石製品	磨石	4.1	[3.4]	2.5	12.6	角閃石安山岩	F7-C6	下層 多孔質 自然面遺存 使用面 3	
9	石製品	磨石	4.3	2.9	1.9	12.9	角閃石安山岩	F7-C6	多孔質 自然面遺存 使用面 1	
10	石製品	磨石	5.2	[1.9]	2.0	8.3	角閃石安山岩	F7-C6	下層 多孔質 使用面 3 溝状使用痕 線条痕	
11	石製品	磨石	5.8	4.2	3.3	28.1	角閃石安山岩	F7-C6	最下層 多孔質 自然面遺存 削痕 使用面 5	
12	石製品	磨石	2.4	2.3	1.9	5.4	角閃石安山岩	F7-C6	下層 多孔質 多面状の使用痕	
13	石製品	磨石	1.6	1.5	0.9	1.3	角閃石安山岩	F7-C6	下層 多孔質 自然面遺存 使用面 2	
14	石製品	磨石	5.1	2.7	2.3	11.1	角閃石安山岩	F7-C7	下層 多孔質 自然面遺存 使用面 3 線条痕 2 欠失部摩耗	
15	石製品	磨石	5.8	5.2	3.6	50.7	角閃石安山岩	F7-C7	下層 多孔質 自然面遺存 使用面 1 線条痕あり 被熱	
16	石製品	磨石	5.5	4.1	1.4	16.7	角閃石安山岩	F7-C7	下層 多孔質 使用面 2	
17	石製品	砥石	6.5	3.9	4.0	121.2	砂岩	F7-C6	下層 砥面 3	
18	石製品	磨石	5.7	3.0	3.2	14.8	軽石	F7-C6	下層 使用面 2	
19	石製品	不明	[6.8]	[4.1]	2.0	80.1	安山岩	F7-C7	下層 温石カ 表裏面摩耗 破断面黒化	

が付着する。15世紀から16世紀の所産である。

10は瓦質土器の大型火鉢である。内外面はミガキ調整である。

第736図1は肥前系磁器の極小紅坏である。型成形で、施釉されている。2は瀬戸美濃系陶器蓋のミニチュアである。型成形で上面は鉄釉が施釉されている。下面はヘラナゲ調整である。3は京都信楽系陶器の西行人形である。型成形で、僧衣は柿釉、笠と風呂敷は灰釉である。

第739図1は古寛永通寶、2は背文の新寛永通寶である。3・4は銅製の雁首銭である。

第740図は椀形滓である。3は上面に少量の炭化物がみられ、磁着が弱い。4は上面に気泡が目立ち、磁着は弱い。5は下面がシワ状を呈し、小さな気泡が目立つ。磁着は弱い。6はほぼ完形で、全体に鍛造剥片がみられる。下面には木炭があり、磁着はやや強い。7は完形である。上面に少量の木炭がみられ、磁着は弱い。

第741図1～5は火打石である。1は石英製

で、稜が潰れ、丸みを帯びている。2は使用痕が認められないが、石材が玉髓であるため図示した。3・4は玉髓製で、稜が潰れ、丸みを帯びている。5はメノウ製で、使い込まれており、稜は強く丸みを帯びている。

6～16は多孔質の角閃石安山岩転石製磨石である。6は両面及び左右側面が使用され、自然面は一部に遺存している。裏面は平坦である。10は溝状の使用痕と線条痕がみられる。12・13は極小サイズである。12は多面状の使用痕がみられる。13は両面に使用痕がみられ、側面に自然面が遺存している。14・15には線条痕がみられ、15は特に明瞭である。15は下面のみを使用しており、その他は自然面である。18は軽石製の磨石である。左側面と下面に使用痕がみられ、平坦である。その他は自然面が遺存している。

17は砂岩製の砥石である。全体的な出土量が少ないため、図示した。砥面が三箇所遺存している。置き砥である。

## 4. 文字資料

栗橋宿跡第8地点の調査では、陶磁器・瓦・木製品・石製品に墨書・刻書を中心に文字資料が見られる遺物が認められた。

これらのうち陶磁器については、文字数が少なく文意もとりに難いものが多かったため、各遺物の実測図・写真図版に示し、判読可能であったものについては観察表中に示した。

なお、陶磁器の文字資料については紙数の都合上全てを図化することが困難であったため、一部は写真図版のみの掲載とした。写真図版掲載のみの文字資料は、第236表に一覧表を示し、種別・器種・産地・判読した文字等を示した。

また、現地調査における基礎整理で釈読した陶磁器に書かれている墨書資料は、第235表219～236に示した。

陶磁器には、染付、色絵、墨書、刻印、釘書き、焼継印等の文字資料が見られた。染付は第6号建物跡基礎南辺出土の「吉田屋」・「板屋」銘染付の碗・皿類（第34図2、第44図23、第117図82、第140図32・33、第202図80、第284図16）、第23号土壇出土の「板屋」銘染付皿（第80図96）があり、栗橋宿から生産地へ直接注文生産を行っていたことを示唆する資料である。

また、第500号土壇出土の瓦質土器の焙烙（第681図250）には刻書「吉田屋」がみえる。刻印資料は生産地を示しており、流通状況が多方面に及ぶことを示唆している。

第235表の1～218は木製品に書かれている墨書資料を示した。なお、赤外線写真で文字を確認できなかったものについては、欠番とし、番号の振り替えは行わなかった。釈文の作成にあたっては、久喜市教育委員会・久喜市郷土資料館より協力を得た。

1は第21号土壇から出土した木札で、表に「雲龍水」、裏に「三王皇牛松」の墨書がみられる。「雲龍水」とは、江戸時代から明治時代にかけて用い

られた消化設備である。古くは「龍吐水」と呼ばれ、後に改良されたものが「雲龍水」である。雲龍水そのものの出土はみられないが、当時の防災意識を垣間見ることができる資料である。「三王皇牛松」の意味は不明である。

61は第165号土壇から出土した木札で、表に「龍吐水」、裏に「伊三郎」と墨書がみえる。「龍吐水」は先に述べた消火設備を指す。「伊三郎」は人名で、龍吐水の管理責任者を指すと思われる。

67は第195号土壇から出土した木札で、表に不動三尊の梵字と思われる墨書がみられ、裏には「成田山」と書かれている。

73は第221号土壇から出土した木札で、表面に「武州栗橋 / 柿沼惣右衛門様」、裏面に「徳次郎」の墨書がみえる。柿沼惣右衛門は区画AF2「旅籠屋 / 惣右衛門」を指す。「徳次郎」は現在の宇都宮市徳次郎町で、日光道中18番目の宿場町である徳次郎宿を指すと思われる。宿場間の交流に関わる資料と推定される。

92は第243号土壇出土の木札で、表面に「ザラメ」と墨書がみえる。

94は第243号土壇から出土した木札で、表面に「武州栗橋河岸 / 海老寿屋様行」、裏面に「拾八年四月廿二日 / 改式千四百入」の墨書がみえる。18世紀後半頃の第6地点第62号土壇出土（『栗橋宿跡Ⅲ』第242図155）の陶器碗に「ぬびすや」と書かれた墨書資料が出土しており、関連性が窺われる。「拾八年」は明治十八年を指す。

111は第5号杭列出土の木札である。表面に「信[州]上伊那郡 / 中箕輪村大山口 / [藤]田製糸場」、裏面に「武州栗橋町 / 吉田屋作二郎口 / 白鳥口治殿行」の墨書がみえる。「吉田屋作二郎」は『営業便覧』にみえる。「旅籠屋 / 吉田屋」が明治以降に紡績関係と関わっていた可能性が示唆される。

112は遺構外出土の曲物である。表面に「□せ

第 235 表 文字資料積文


番号	区画	遺構	器種	表	裏	挿図	図版
1	AB	SK21	木札	雲龍水	三王皇牛松	85-23	143-1
2	AB	SK21	木札	「糸」	不明	86-24	143-2
3	AB	SK21	木札	式拾五番	二十五番	86-25	143-3
4	AB	SK21	側板転用	不明			143-4
5	AB	SK21	側板転用	□郎		86-26	143-5
6	AB	SK21	板	F□JA5		86-27	143-6
7	AB	SK21	経木	六百六十文	桁□	86-28	143-7
8	AB	SK21	付札	不明			143-8
9	AB	SK21	木札	千二		86-29	143-9
10	AB	SK21	木札	不明			143-10
11	AD	SK52	板	不明		147-113	143-11
12	AD	SK52	板	不明（人の顔カ）	不明（文字なし）	147-114	143-12
13	AD	SK52	木札	不明（文字なし）		147-115	143-13
14	AD	SK52	下駄	二乙（カ）		146-106	143-14
15	AD	SK52	曲物	大（カ）		145-92	143-15
18	AD	SK56	経木	十三 □三郎 六□□五十	不明	170-6	143-16
19	AD	SK56	経木	多 九ろロ□□	不明	170-7	143-17
20	AD	SK56	経木	太郎□	十三□	170-8	144-1
21	AD	SK59	樽	□□□[ヤカ]		171-14	144-2
22	AE	SK60	羽子板	不明			144-3
23	AD	SK66	木札	不明			144-4
24	AD	SK66	木札	臺□十六街 □益御□□ 15つり		171-18	144-5
25	AB	SK75	付札	栗橋町商 吉岡善六殿		86-37	144-6
28	AC	SK90	経木	一石六拾四文 [ ]	不明	132-27	144-7
29	AC	SK90	経木	七九 □□□ □[ろカ]□□ノ二 □ □	井□	132-28	144-8
30	AC	SK91	木札	□ 石川亀吉		133-33	144-9
32	AC	SK91	曲物底板	梅干		133-31	144-10
33	AE	SK98	木札	N□		247-3	144-11
34	AE	SK99	板	㊦			144-12
35	AE	SK99	蜜柑箱	静岡産 温州蜜柑 商標			144-13
36	AE	SK99	箱板	不明			144-14
37	AC	SK101	木札	栗 □ □		100-53	144-15
38	AC	SK101	看板カ	不明		100-54	144-16
39	AE	SK105	経木	不明	不明		144-17
41	AE	SK107	下駄	けん	けん	247-8・9	144-18
42	AE	SK108	板	□入口		247-11	144-19
44	AE	SK115	下駄	老□		248-16	145-1
45	AE	SK115	下駄	十 六		248-17	145-2
47	AE	SK117	箱板	温			145-3
48	AE	SK117	板	不明			145-4
49	AE	SK117	木札	埼玉県栗橋町		249-25	145-5
50	AE	SK131	木の駒	不明			145-6
51	AE	SK135	板	不明（落書きカ）	不明（落書きカ）	250-34	145-7
52	AF	SK151	板	「唐」「㊦」		318-5	145-8



番号	区画	遺構	器種	表	裏	挿図	図版
53	AF	SK151	木札	□印入	不明	318-7	145-9
54	AF	SK151	木札	⑩ □山		318-8	145-10
55	AF	SK151	木札	武州幸手□ □〔栗カ〕橋□〔町カ〕⑩舟方殿		318-9	145-11
56	AF	SK151	不明品	不明（文字なしカ）		318-6	145-12
57	AE	SK119	経木	○⑩○	○⑩○	249-31	145-13
58	AE	SK119	木栓	不明			145-14
59	AF	SK153	木札	金一両		318-14	145-15
60	AF	SK156	円板	不明			145-16
61	AF	SK165	木札	龍吐水	伊三郎	319-17	145-17
62	AG	SK179	木札	不明			145-18
63	AG	SK185	木札	□□□□ □□ ⑩大和 □□ □□□□		365-3	145-19
64	AG	SK188	経木	十一□□		365-5	145-20
65	AG	SK188	木札	□ □ 管	不明	365-6	146-1
66	AG	SK194	木札	新 □□〔無類カ〕⑩□ 台安 □		329-31	146-2
67	AG	SK195	木札	不動三尊の梵字	成田山	365-7	128-17 146-3
68	AF	基礎3	木札	無類 ⑩ ⑩ 台玉 □□		38-12	146-4
69	AG	SK203	箱	廿一		352-199	146-5
70	AF	SK213	木札	不明		319-21	146-6
71	AF	SK220	下駄	ほ		285-38	146-7
72	AF	SK221	板	不明			146-8
73	AF	SK221	木札	□武州栗橋 ⑩□ □柿沼惣右衛門様 にし 十六日□へ	□□□徳次郎	291-64	146-9
74	AF	SK224	木札	下□□惣右衛門	栗橋仲町	319-22	146-11
75	AF	SK224	木札	栗橋 柿沼豊〔 〕	不明	319-23	146-12
76	AF	SK229	木札	埼玉縣下栗橋□〔宿カ〕		274-57	146-10
77	AF	SK229	木札	い十七	い十七	274-58	146-13
78	AF	SK229	経木	不明	不明		146-14
80	AF	SK237	木札	三十七年 伊勢山日市赤堀 一月廿三日 加藤政吉郎出	武州北葛飾郡栗橋町 柿沼清九郎様行 第一七四六号	319-25	146-15
81	AF	SK237	木札	武□〔州カ〕□橋町⑩ 柿沼清九郎□□		319-26	146-16
82	AG	SK243	木札	無類 幸手 □ 新製 車 □□		366-15	146-17
83	AG	SK243	木札	白□□十六の〔 〕		366-16	147-1
84	AG	SK243	木札	茨城懸下総国西葛飾中田	不明	366-17	147-2
85	AG	SK243	木札	無類 □□□〔食カ〕 白□〔捨カ〕		366-18	147-3
86	AG	SK243	木札	無類 □ 二月 □ □〔白カ〕玉 □		366-19	147-4
87	AG	SK243	木札	武州 幸手□ 無類 ⑩□□ □玉 支□		366-20	147-5








番号	区画	遺構	器種	表	裏	挿図	図版
88	AG	SK243	板	不明	不明		147-6
89	AG	SK243	木札	東 □ ① □ □ □		366-21	147-7
90	AG	SK243	木札	□ □ ① □□ □ る		366-22	147-8
91	AG	SK243	板	不明	不明		147-9
92	AG	SK243	木札	ザラメ □ □□ ①□□ □□		366-23	147-10
93	AG	SK243	木札	サ 武州幸手町 ① □□□ [ ] ラ [ ]		366-24	147-11
94	AG	SK243	木札	□□□□ 武州栗橋河岸 正出 海老寿屋様行	拾八年四月廿二日 改式千四百入	366-25	147-12
95	AG	SK243	箱枕	亀□三郎□□□		365-13	147-13
97	AF	SK255	下駄	波	波	319-27・28	147-15
98	AE	SK256	底板ないし 蓋			250-38	
101	AF	SK263	獅子頭	四又(カ)		320-32	147-14
104	AE	SK266	木札 桶側板転用	不明			147-16
105	AE	SK266	獅子頭	十二		250-41	130-6 147-17
106		表採	木札	大和屋	年ノ□ □□ □喜□	380-16	147-18
107	AD	SK281	お札カ	不明		172-25	148-1
108	AD	SK281	お札	不明		172-26	148-2
109	AE	SK302	木札	不明	不明		148-3
110	AB/AC	SD32	経木	□ [いカ] たや□ [三カ]	不明	62-75	148-4
111	AE/AF	杭列 5	木札	□月十四日出 信□ [州カ] 上伊那郡 中箕輪村大山□ □ [藤カ] 田製糸場	武州栗橋町 吉田屋作二郎□ 白鳥□ [団カ] 治殿行	381-18	148-5
112		表採	曲物	□せ□野町 松□□御油 福島屋伊助		380-9	148-6
113		表採	木札	瀧太郎	灯熾	380-17	148-7
114		表採	木札	三		381-19	148-8
115		表採	木札	ス□ 二□		381-20	148-9
117		F7-C5	木札	不明	不明	380-11	148-10
118		F7-C5	投薬札	殿 内 用 一月 日 No. 明治		380-12	148-11
119		F7-C6	木札	□ [大カ] □□□□ [入カ]		380-15	148-12
120		F7-C6	刷毛	㊦利		380-10	148-13
124		F7-C6	樽側板	不明			148-14
125		F7-G7	木札	不明	不明		148-15
126		F7-G8	木札	栗橋□ [仲カ] 町 東京深川 万年町式 [ ] 酒麦屋 大石吉 [ ]		380-14	148-16
127		F7-G8	木札	不明			148-17
128	AB	SK332	板	[中丁 回堀] □ 御こんれ□ [いカ] [扱 右 ]		473-2	148-18
129	AB	SK332	板	不明			149-1

番号	区画	遺構	器種	表	裏	挿図	図版
130	AB	SK333	曲物	参 吉岡芳 郎	くりはし	473-3	149-2
131	AB	SK334	経木	た [ ]		473-5	149-3
132	AB	SK343	曲物	□□ 印 ◎御□□油 □□□□		443-82	149-4
133	AB	SK343	板	□ [様カ]々 大和□		447-112	149-5
134	AB	SK343	樽	命		444-85	149-6
135	AB	SK343	木札	不明	不明		149-7
136	AB	SK343	経木	ぎろ□□	こ河や □□□	447-113	149-8
137	AB	SK343	経木	七十一□ □ □□	乱□□□	447-114	149-10
138	AB	SK343	樽	金		444-89	149-9
139	AB	SK343	樽	命		444-87	149-11
141	AC	SK344	曲物	ほ		497-142	149-12
142	AC	SK344	木札	□ [祈カ] □ 家内安全祈 惣 □ [願カ]	四月吉日	502-178	149-13
143	AC	SK344	木札	□ 永		501-177	149-14
144	AC	SK344	木札	不動尊□		502-179	149-15
145	AC	SK344	木札	百観音 福禱□ [院カ]		502-180	149-16
146	AC	SK344	木札	不明	不明		149-17
147	AC	SK344	曲物	不明			149-18
148	AB	SK346	箱	改 企 仕入		473-9	150-1
149	AB	SK346	板	不明		473-16	150-2
150	AB	SK346	木札	□ [幸カ] □ 遠 □ [世カ] [ ]		473-17	150-3
151	AB	SK346	曲物	杉		473-8	150-4
152	AB	SK351	経木	不明	不明		150-5
153	AB	SK351	経木	不明	不明		150-6
154	AB	SK364	下駄	不明	不明	512-1	150-7
155	AB	SK372	曲物	極上□ [新カ]		474-22	150-8
156	AB	SK372	木札	天 [ ろ]		474-23	150-9
157	AE	SK387	経木	□□よ□	を□□ 五	539-1	150-10
158	AE	SK387	板	□下 木□ [竹カ]	様	539-2	150-11
159	AA	SK398	不用品	不明	不明	417-25	150-12
160	AA	SK398	板	不明	不明		150-13
161	AA	SK398	不用品	八大□ [天カ] □□□		417-27	150-14
162	AA	SK398	羽子板状 製品	不明		418-31	150-15
163	AA	SK398	板	不明			151-1
164	AA	SK407	板	不明	不明		150-16
165	AA	SK407	木札	扱 [ ] [ ] 古河屋人馬	馬喰 [ ] 上野 [門 ]	427-6	151-2
168	AD	SK409	樽	合吉 上 念願梅千 五千入		519-1	151-3
171	AG	SK417	建具	不明	不明	562-6	151-4
176	AF	SK473	曲物	不明		727-72	151-5

番号	区画	遺構	器種	表	裏	挿図	図版
178	AF	SK473	蓋	わちさ□□ [左々カ]ノ 三斤		727-73	151-6
181	AF	SK473	木札	不明	不明	731-113	151-7
186	AF	SK473	玩具	不明	不明	728-89	131-8 151-8
187	AB	SK476	木札	武州栗橋□ □□ □板屋忠□□□□ [中カ]	船□ [中カ] □□	474-27	151-10
188	AB	SK486	経木	不明	不明		151-11
189	AD	SK497	折敷か膳	不明		653-399	151-9
190	AD	SK500	木札	三千斤		687-336	151-12
191	AD	SK500	箱	車月		689-347	151-13
192	AD	SK500	曲物	太神□ [宮カ] 一御供御□ [真カ] □□□ [栗橋町カ] 船□□		687-333	151-14
194	AD	SK500	曲物	上 白砂糖		687-334	151-15
195	AD	SK500	木札	□□□ □ [板カ] 屋五郎兵衛殿		697-398	151-16
196	AD	SK500	箱板	大		687-339	151-17
197	AD	SK500	板	不明			151-18
198	AD	SK500	羽子板	三 2		691-359	151-19
199	AA	桶 20	木札	武州栗橋 □板屋忠七様 谷出		391-27	152-1
200	AA	桶 21	木札	不明	不明		152-2
201		F7-C6	経木	不明	不明		152-3
202	AB	SK21	樽鏡	不明			152-4
203	AD	SK59	板	不明			152-5
204	AE	SK113	樽			248-13	152-6
205	AG	SK244	樽	幸		367-27	152-7
206	AD	SK288	樽	□□□		173-27	152-8
207	AD	SK288	桶	北総上花輪邑 無類格別仕入 本家高梨改 上取 <small>反代</small>		173-28	152-9
208	AD	SK288	桶側板	銚子 廣庄改 寅改正 萬代		173-29	152-10
209	AD	桶 23	桶	傘		46-42 ~ 44	152-11
210	AB	SK343	板	八□式拾		447-118	152-12
211	AB	SK343	樽	水曜三八 □ス		444-90	152-13
212	AC	SK344	卒塔婆			503-187	
213	AB	SK352	樽	□印 崎極 □製		474-21	152-14
214	AE	桶 16	板	不明			152-15
215	AE	桶 16	板	不明			152-16
216	AB	SK477	蓋	不明		475-32	152-17
217	AD	SK500	箱板	[ [ [ 改□ ] 本		688-343	152-18
218	AD	SK500	箱板	不明		688-340	152-19
219	AG	SK203	植木鉢	ストロク 五中こ		348-148	76-16
220	AG	SK203	水甕	仙		347-146	
221	AC	SK214	乗燭	廿 ヤ		124-152	
222	AF	SK220	片口鉢	不明			

番号	区画	遺構	器種	表	裏	挿図	図版
223	AF	SK221	香炉	マベ 七五		288-38	77-4
224	AG	SK243	急須	不明		361-35	
225	AE	SK248	急須	吉田屋		221-235	
226	AE	SK248	香炉	五三		221-231	
227	AE	SK249	爛徳利	紀印			
228	AF	SK253	捏鉢	八百や 口入ヲ 中口		292-14	77-7
229	AE	SK257	爛徳利	百二ハノヲ			80-7
230	AG	SK261	皿	ワノメ 六		331-20	
231	AF	SK276	香炉	ソメイ		311-106	
232	AC	SK321	坏	永口	成 □ □		
233	AG	SK203	土瓶	こうや		346-132	
234	AG	SK331	徳利	九八口 □□		362-44	
235	AE/AF	杭列 5	香炉	5(カ)		376-26	
236		F7-C6	急須	る		376-32	

第 236 表 写真掲載文字資料一覧

番号	図版	種別	器種	区画	遺構	備考
1	78-1	磁器	鉢	AC	SK63	瀬戸美濃系 内外面緑色釉 底部割印「舜陶」墨書
2	78-2	陶器	土瓶	AC	SK63	底部白化粧 外面施釉 三彩 底部墨書 被熱
3	78-3	陶器	植木鉢	AC	SK63	瀬戸美濃系 外面瑠璃釉状 底部墨書(2箇所)
4	78-4	磁器	坏	AE	SK80	内外面施釉 外面上絵付(赤・金) 底部上絵付(赤)「九谷/友山」
5	78-5	磁器	蓋物	AE	SK94	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付 底部墨書
6	78-6	磁器	碗	AE	SK96	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面上絵付(多色) 底部上絵付 文字「九谷」
7	78-7	磁器	蓋	AE	SK96	瀬戸美濃系 酸化クロム練込 内外面施釉 内面刻印「清陶園」
8	78-8	磁器	皿	AE	SK98	瀬戸美濃系 内外面施釉 型紙摺絵染付 底部焼継印(赤)
9	78-9	磁器	碗	AE	SK98	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面ゴム印版染付カ 底部刻印「全」
10	78-10	磁器	皿	AE	SK98	瀬戸美濃系 内外面施釉 ゴム印判染付 底部刻印
11	78-11	陶器	徳利	AE	SK102	瀬戸美濃系 外面灰釉・鉄絵 文字「原勢屋」 
12	78-12	磁器	皿	AE	SK107	瀬戸美濃系 内外面施釉・酸化コバルト染付 底部焼継印(赤)
13	78-13	磁器	爛徳利	AE	SK107	瀬戸美濃系 外面施釉・銅版転写染付 文字「名酒/専用/商標/武蔵國加須町/宇賀田喜助」
14	78-14	陶器	爛徳利	AE	SK108	外面灰釉・酸化コバルト具須文字「口屋」
15	78-16	陶器	急須	AE	SK110	萬古系 胎土炆器質 外面イッチン描き文字「炭/茶」  町/  商店
16	79-1	陶器	急須	AE	SK110	萬古系 胎土炆器質 外面イッチン描き文字「炭薪タドン商/栗橋」
17	79-4	陶器	急須	AE	SK110	萬古系 胎土炆器質 外面イッチン描き文字「薪炭/銘茶/御/小賣/栗橋/坂本駒吉」
18	78-18	陶器	蓋	AE	SK110	萬古系 胎土炆器質 上面イッチン描き文字「畳屋」 
19	78-19	陶器	蓋	AE	SK110	萬古系 胎土炆器質 上面イッチン描き文字「中田屋」 
20	78-20	陶器	蓋	AE	SK110	萬古系 胎土炆器質 上面イッチン描き文字「坂本」 
21	79-2	陶器	徳利	AE	SK110	瀬戸美濃系 外面灰釉・鉄絵文字「原勢屋」  ・ 
22	79-3	陶器	徳利	AE	SK110	瀬戸美濃系 内外面灰釉 外面鉄絵文字「中屋」  「  」
23	79-5	陶器	徳利	AE	SK113	瀬戸美濃系 内外面灰釉 外面鉄絵文字「原木屋」 
24	79-6	陶器	徳利	AE	SK115	瀬戸美濃系 外面灰釉・鉄絵文字「口根屋」屋号
25	79-8	陶器	植木鉢	AE	SK119	瀬戸美濃系 外面灰釉 内面墨書
26	79-7	磁器	急須	AE	SK119	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付 底部墨書「くり」・焼継印(赤)
27	79-9	陶器	徳利	AE	SK119	瀬戸美濃系 内外面灰釉 外面鉄絵文字「中屋」カ 屋号あり
28	79-10	磁器	碗	AE	SK120	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面色絵・文字「九谷」
29	79-11	陶器	植木鉢	AE	SK120	素焼 底部墨書
30	79-12	磁器	急須	AE	SK121	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付 底部墨書



番号	図版	種別	器種	区画	遺構	備考
31	79-13	磁器	急須	AE	SK121	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面多色銅版転写染付 底部墨書
32	79-14	磁器	植木鉢	AF	SK151	瀬戸美濃系 外面緑色釉 底部墨書「十勿」
33	79-15	陶器	蓋	AF	SK226	萬古系 胎土炆器質 上面イッチン描き文字「久すりや」
34	79-16	磁器	爛德利	AE	SK248	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付文字「商標／名酒／名聲／轟四海／北埼玉郡水深村下高柳／田口吉兵工吟造」
35	79-17	磁器	爛德利	AE	SK248	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面上絵付文字「酒類醬油商」 「ㄨ」 「堺屋宇吉」
36	79-18	陶器	急須	AE	SK248	胎土炆器質 内外面施釉 底部焼継印（赤）
37	80-1	陶器	爛德利	AE	SK249	外面灰釉・呉須文字「□田屋」
38	80-2	陶器	德利	AE	SK249	外面灰釉 外面酸化コバルト呉須文字「□木屋」
39	80-3	磁器	爛德利	AE	SK249	瀬戸美濃系 外面施釉 底部墨書
40	80-4	磁器	爛德利	AE	SK249	瀬戸美濃系 外面施釉 底部墨書「△」
41	80-5	陶器	植木鉢	AE	SK249	外面灰釉・酸化コバルト呉須絵 底部墨書
42	80-6	陶器	植木鉢	AE	SK257	外面鉄・ナマコ釉 底部刻印「万光」
43	80-7	陶器	爛德利	AE	SK257	京都信楽系 外面施釉 底部墨書
44	80-8	磁器	段重	AD	SK280	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面ゴム印版染付 底部焼継印（赤）
45	80-9	陶器	蓋	AD	SK280	萬古系 胎土炆器質 上面イッチン描き文字「栗橋駅前」
46	80-10	磁器	蓋	AD	SK280	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面上絵付「玉峰」
47	80-11	磁器	碗	AD	SK280	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面上絵付「三峰／九谷」
48	80-12	磁器	碗	AD	SK280	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面上絵付「玉峰／九谷」
49	80-13	磁器	碗	AD	SK280	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面上絵付「九谷」
50	80-14	磁器	碗	AD	SK280	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面上絵付「九谷」
51	80-15	陶器	德利	AD	SK324	瀬戸美濃系 外面灰釉・鉄絵 文字「中屋」「□□」

□野町 / 松□□御油 / 福島屋伊助」の墨書がみえる。「福島屋伊助」、「□せ□野町」は特定することができなかった。

126はF 7 - G 8 グリッド出土の木札である。「栗橋 [ 仲 ] 町 / 東京深川 / 万年町式 [ ] / 酒麦屋 / 大石吉 [ ]」の墨書がみえる。

136は第 343 号土壇出土の経木である。裏面に「こ河や」の墨書がみえ、対岸の中田宿に関わる資料の可能性はある。

142は第 344 号土壇出土の木札である。表面に「家内安全祈」の墨書がみえ、願掛けに使用されたものと思われる。

165は第 407 号土壇出土の木札である。表面に「古河屋人馬」、裏面に「馬喰」、「上野」の墨書がみえる。中田宿の人馬と上野の馬喰に関わる資料と思われる。

168は第 409 号土壇出土の樽の鏡で、表面に「上 / 念願梅干 / 五千入」と墨書がみえる。

187は第 476 号土壇の付札で、「武州栗橋□ / □□ / □板屋忠□□□ [ 中 ]」、裏面に「船 [ 中 ] □□」の墨書がみえる。「板屋」は栗橋宿で一定

量出土している板屋銘染付皿に関わる屋号であり、『絵図』にみえる「年寄 / 庄兵衛」を指す。

194は第 500 号土壇から出土した曲物で、表面に「上 / 白砂糖」と墨書がみえる。

195は第 500 号土壇から出土した木札で、表面に「□□□ [ 板 ] 屋五郎兵衛殿」と墨書がみえる。第 500 号土壇は 1783 ~ 1790 年代に廃絶した土壇で、その頃の人物と考えられる。

199は第 20 号埋設桶出土の木札で、表面に「武州栗橋 / 板屋忠七様」と墨書がみえる。先述した 187 の付札も「板屋忠七」の可能性が疑われる。

207は第 288 号土壇出土の桶で、「北総上花輪 邑 / 無類格別仕入 / 本家高梨改 / 上取」の墨書がみえる。上花輪村の名主の高梨兵左衛門が寛文元年（1661）に生産開始した醤油醸造所の商標である。現キッコーマンの前身である。

208は第 288 号土壇から出土した桶側板で、「銚子 / 廣庄改 / 寅改正」の文字がみえる。銚子の醤油醸造屋である廣屋庄右衛門を指す。現ヤマサ醤油株式会社の前身である。

## 5. 出土遺物一覧表と遺構の時期

出土遺物の点数・重量と、各遺構の想定される時期を一覧表にまとめた。

出土した瓦は、発掘調査中に水洗い・乾燥・分類を行い、点数と重量を記録した（第240～242表）。表中の瓦の分類は、「平瓦」が棧瓦・平瓦、「軒瓦」が軒丸瓦・軒棧瓦・軒平瓦、「道具瓦」が冠瓦・伏間瓦・熨斗瓦である。このうち軒瓦・道具瓦と、平瓦類で縦横いずれかの一辺が残っているもの、隅の切れ込みが残る棧瓦を回収し、整理作業で抽出、実測を行った。

整理作業で扱った全ての遺物については、点数と重量を第237～239表に掲載した。出土した貝類、大型植物遺存体については、種類と個体数を第243～248表に掲載した。出土した動物遺存体については、哺乳類、魚類等の大まかな分類を行い、第249表に点数と重量を示した。第二・三面で遺構から多量に出土した多孔質の角閃石安山岩転石については、大きさを計測し、第742図に散布図を示した。

各遺構の推定時期については、第252～254表に掲載した。陶磁器の様相からの推定であり、陶磁器量や伝世期間の問題から若干の誤差が想定される。少ない遺物から判断した場合は（ ）、遺構重複から判断した場合は[ ]を付した。表中に示した時期区分と想定時期は、次のように設定した。

- ・栗橋1期…17世紀前半
- ・栗橋2期…17世紀後半～18世紀初頭
- ・栗橋3期…18世紀前葉～中葉（第2四半期後半～第3四半期前半）、肥前系磁器波佐見系碗・瀬戸美濃系陶器腰錆碗・せんじ碗で組成
- ・栗橋第4期…18世紀後葉（第3四半期後半～第4四半期前半）、肥前系磁器外面青磁釉碗各種、筒形碗、瀬戸美濃系陶器柿釉灯明皿の出現
- ・栗橋5期…18世紀後葉～19世紀初頭（18世紀第4四半期後半～19世紀第1四半期）、肥前系

磁器広東碗、一部に大振りの端反碗あり

・栗橋6期…19世紀前葉（第1四半期後半）、瀬戸美濃系磁器の出現

・栗橋7期…19世紀前葉～中葉（第2四半期中心）磁器湯呑碗、陶器青緑釉土瓶等多い

・栗橋8期…19世紀中葉（第3四半期）、磁器卵殻手坏、型押寿文皿の出現

・栗橋9期…19世紀中葉～後葉、酸化コバルト染付磁器の出現以降

『栗橋宿跡Ⅰ』報告中で援用した東大構内遺跡群の時期区分との対比は、概ね次のとおりである。栗橋1・2期＝東大V a期以前（～1720年代）、栗橋3期＝東大V b期（1730～40年代）、栗橋4期＝東大VI a・b期（1750～70年代）、栗橋5期＝東大VII期（1780～1800年代初頭）、栗橋6期＝東大VIII a期（1800～10年代）、栗橋7期＝東大VIII b・c期（1820～40年代）、栗橋8期＝東大VIII d期（1850～60年代）、栗橋9期＝東大IX期である。

第255表には主要遺構の陶磁器組成を示した。分類に当たっては東京大学校内遺跡群の分類（東京大学埋蔵文化財調査室1999・2011）を参照し、器種の判別が可能な破片数と底部破片数をカウントした。底部破片数は一部の遺存があれば1点とし、直接に個体数を示すものではない。

組成表にを示した遺構は、第一面では陶磁器数の多かった第220・221号土壙及びこれらの土壙を由来とする遺物が多量に混入していた第1号建物跡である。第二面では陶磁器数の多かった第343・344号土壙、浅間A直下の第368号土壙である。第三面では土壙覆土中層のAS-A直上から出土している18世紀後葉に比定される第500号土壙、18世紀前葉の火災層、火災層直下の18世紀初頭に比定される第497号土壙、17世紀末の火災廃棄土壙である第523号土壙の組成表を示した。

第237表 第一面出土遺物一覧表

遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	
SB1	261(54)	5427.9	178(29)	6187.8	94(54)	3859.9	184	21100.0	1	5.6	14(2)	91.6	13(10)	64.4	25	802.7	9	漆喰4(20.9g) 石材18(374.3g) モ モ3 貝類(1405.5g) 骨(0.3g)	
SB2	24(2)	214.0	28(3)	366.2	4(2)	392.5	28	1780.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SB3	12(4)	312.0	11(1)	220.8	8(1)	408.8	2283	106300.0	-	-	-	-	-	-	1	5246.1	-	-	-
SB6北	2	5.4	1	3.8	2	45.7	38	1730.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SB6西	3(3)	136.1	1	349.8	-	-	64	3400.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SB6南	142(57)	3659.2	37(12)	2080.9	24(11)	14572.7	98	8080.0	-	-	5	78.8	1	4.1	-	-	-	-	硝子製品(361.8g)
SB6東	-	-	5	30.2	2(1)	29.5	2	220.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
基礎1	1	5.8	4(1)	31.0	4(3)	28.2	190	15240.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
基礎2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
基礎3	120(31)	1771.8	66(12)	1551.4	26(16)	536.7	103	6385.3	-	-	2	17.8	1(1)	3.6	4	247.1	12	硝子製品(14.9g) 貝類(2.2g) モモ6 不明種子6	
基礎4	5(1)	22.0	3	99.6	1	20.6	2	40.0	-	-	2	6.0	1(1)	1.4	2	93.4	-	-	硝子製品(16.1g) モモ3
基礎5	4(1)	118.3	2	22.0	2	4.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
基礎6	1	125.6	-	-	2(1)	2.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
桶1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
桶2	-	-	1	3.2	-	-	2	120.0	-	-	2	11.3	-	-	-	-	11	-	-
桶3	2(1)	14.7	-	77.2	-	93.9	14	1760.0	1	5.9	-	-	-	-	1	10.8	2	骨(1.0g)	-
桶4	4	22.3	3	383.6	-	15.5	5	500.0	-	-	1	8.7	-	-	-	-	8	-	-
桶5	-	-	-	-	-	-	5	200.0	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
桶6	1	3.8	1	13.6	-	-	4	110.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
桶7	6(1)	184.8	4	16.2	1	18.2	12	720.0	-	-	2(1)	5.6	1(1)	2.7	-	-	3	骨(82.2g)	-
桶3・4・7細方	13(3)	220.4	11(3)	209.2	22(10)	471.4	10	530.0	-	-	2	4.0	2(2)	4.7	-	-	-	-	-
桶8	2(1)	334.2	2(1)	509.4	-	92.5	-	-	-	-	1	5.6	-	-	-	-	5	-	-
桶9	4(2)	135.7	-	-	-	-	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
桶10	-	-	3	31.9	5(3)	3368.7	-	-	-	-	-	-	-	-	2	71.1	1	石材1(66.7g)	-
桶11	-	-	-	-	-	-	1	160.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
桶12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
桶15	14(4)	103.1	17(5)	135.5	3(2)	29.2	-	-	-	8.0	-	-	1	1.9	1	39.6	-	-	プラスチック(0.4g)
桶23	-	28.6	-	2.3	-	-	21	6900.0	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-
埋甕1	2(2)	154.9	-	-	-	-	-	-	-	-	7	38.2	1	35.4	2	365.1	-	-	-
SD1	58(11)	1039.8	36(8)	612.3	13(4)	1058.6	35	2520.0	-	-	-	-	-	-	-	-	2	骨(36.0g) クリームビン1(5.1g) 不 明素材(5.1g)	-
SD2	100(38)	661.0	93(27)	1168.9	38(8)	506.3	229	26171.0	1	2.3	-	-	1	1.6	2	414.4	-	-	硝子製品(24.7g)
SD4	2(1)	12.5	1(1)	39.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SD5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SD6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SD7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	
SD8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SD9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SD10	3(1)	116.5	1	3.1	2(2)	45.0	1	110.0	-	-	-	32	193.5	-	-	-	-	-	
SD11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SD12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SD32	-	3137.1	-	2496.1	-	3852.1	154	10847.1	1	11.9	2	548.4	1	3.2	3	631.2	-	モモ1骨(13.0g)	
焼土遺構 1	1	1.5	5(1)	1856.1	2(2)	339.0	2	200.0	-	-	-	-	-	-	1	132.0	-	-	
焼土遺構 2a	37(7)	306.8	18(6)	1098.2	6(1)	79.8	-	-	-	-	-	-	3	23.7	-	-	-	硝子製品(1.1g)	
焼土遺構 2b	2(1)	79.4	1(1)	36.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
焼土遺構 3	12(1)	28.4	3(1)	20.3	3(3)	88.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
焼土遺構 4	1	2.1	-	-	-	55.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
焼土遺構 5a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
焼土遺構 5b	14(7)	573.9	19(3)	366.0	6(6)	776.9	20	1066.5	-	-	-	-	-	-	4	111.0	-	-	
焼土遺構 5c	51(17)	1022.2	25(4)	3647.5	15(10)	910.4	40	4174.0	-	-	1	19.7	1	6.9	3	70.2	-	-	
SK1	23(5)	277.3	20(2)	313.2	3(1)	1174.6	4	810.0	2	10.9	-	-	-	-	1	183.5	4	硝子製品(4.0g) モモ1 カボチャ 29	
SK2	3(2)	22.3	1	2.4	3(2)	158.8	4	130.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK3	3(2)	30.9	2(1)	44.0	3	58.7	-	-	1	6.8	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK4	2(2)	33.8	1(1)	127.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
SK5	3(1)	4.8	3	8.8	-	-	2	80.0	1	1.2	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK6	11(5)	299.5	7(2)	110.0	6	285.1	1	70.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	モモ1 カボチャ 24 プラスチック(1.9g)	
SK7	4(1)	36.1	7(1)	85.7	2(1)	27.5	11	420.0	-	-	-	-	-	-	2	109.6	-	-	
SK8	7(1)	25.9	11	55.1	-	-	9	700.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK9	10(1)	63.9	1	2.1	-	-	5	260.0	1	7.5	-	-	-	-	-	-	-	硝子製品(4.2g)	
SK10	14(4)	387.6	4(2)	70.7	3(1)	97.1	12	960.0	-	-	1	2.2	2	11.5	-	-	-	硝子製品(230.4g) モモ1 カボチャ 23	
SK11	37(11)	630.2	42(12)	555.8	22(5)	1520.0	37	2988.1	-	-	-	-	3	11.7	-	-	2	硝子製品(37.5g) モモ 4	
SK12	5(1)	21.8	2(1)	85.2	1	234.1	6	270.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	硝子製品(1.5g)	
SK13	31(9)	412.6	18(2)	180.1	13(7)	569.3	13	690.0	-	-	-	-	1(1)	0.9	-	-	1	硝子製品(3.1g) モモ 2	
SK14	20(4)	226.6	26(7)	307.5	2(1)	13.2	43	2320.0	-	-	-	-	1(1)	2.6	1	32.0	-	-	
SK15	3(1)	46.2	4	13.9	2	19.2	-	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	硝子製品(7.0g) プラスチック(0.3g)	
SK18	1(1)	31.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK20	7(5)	202.1	1(1)	0.0	2	33.8	20	710.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK21	250(101)	7874.6	138(57)	9646.5	92(42)	9483.3	245	17781.8	4	25.2	20	377.1	5	12.4	12	2778.0	43	土器に煉瓦 1 硝子製品(15.9g) 石材 1(2180.2g) クレミ 1 骨(10.7g)	
SK22	22(9)	359.3	26(11)	784.8	15(6)	474.1	155	13110.0	4	23.4	-	-	-	-	1	55.9	1	硝子製品(1.4g) モモ1 カボチャ 13	
SK23	19(7)	167.8	16(4)	98.6	11(2)	252.1	23	1272.3	-	-	3	24.6	-	-	1	152.3	2	セルロイド(0.4g) モモ1 カボチャ 1	
SK24	69(24)	745.4	67(9)	522.2	23(9)	1527.2	86	6460.4	-	0.9	12	206.7	1	3.1	1	94.2	-	不明種子 38	

遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	
SK25	2	2.2	2(1)	6.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK28	27(15)	1819.6	27(12)	2905.5	55(18)	7804.9	11	2510.0	-	-	1	96.0	-	-	-	-	-	-	硝子製品 (83.2g)
SK29	20(8)	508.0	28(3)	7796.6	17(1)	6380.2	8	1168.9	1	35.2	-	-	-	-	-	-	-	-	硝子製品 (145.9g)
SK30	34(14)	1735.1	52(8)	2234.4	14(9)	1493.2	27	1570.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK31	9(6)	491.4	10(4)	182.9	4(3)	5719.4	1	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	硝子製品 (179.8g)
SK32	27(13)	856.5	25(7)	1492.6	43(5)	9401.2	71	11860.0	1	6.3	-	-	1	3.9	1	293.1	2	293.1	硝子製品 (137.0g)
SK34	3(3)	244.5	-	-	2	23.1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	9.9	-	-	硝子製品 (89.1g)
SK35	5(2)	34.2	1(1)	261.7	1	10.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	硝子製品 (10.2g)
SK36	6(2)	172.5	5(4)	296.8	2(2)	194.8	21	1900.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK37	6(3)	123.5	2(1)	4.9	-	-	4	230.0	-	-	1	4.6	-	-	1	11.8	-	-	-
SK38	31(22)	1701.5	24(10)	1744.3	7(3)	10979.2	29	2754.9	1	3.5	-	-	-	-	1	390.4	3	390.4	硝子製品 (182.5g) モモ1
SK39	37(15)	449.8	8(4)	142.1	7(5)	235.7	23	2310.0	3	11.1	-	-	1	17.7	-	-	2	-	硝子製品 (2.1g) モモ3 カボチャ1
SK40	37(6)	880.5	18(9)	781.4	4(1)	285.6	18	1280.0	1	4.5	-	-	-	-	-	-	4	-	不明種子1 プラスチック (0.4g)
SK41	4(1)	147.9	4(2)	28.6	4(3)	40.6	12	320.0	-	-	-	-	1	421.9	-	-	-	-	硝子製品 (6.8g) プラスチック (0.4g)
SK42	30(9)	11475.5	23(9)	669.4	6(3)	293.8	31	3360.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	硝子製品 (17.8g)
SK43	11(3)	234.9	5(2)	1879.9	-	-	9	760.0	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	硝子製品 (2.0g) プラスチック (1.8g)
SK44	46(22)	1587.6	37(12)	4403.2	12(4)	2765.8	62	4080.0	-	-	1	63.7	2(1)	14.1	4	423.1	6	423.1	石材 2(23.0g)
SK45	1	1.3	6	9.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	モモ1
SK46	-	-	-	-	3	19.7	2	150.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK47	1(1)	3.7	2	25.5	4	40.4	0	-	-	-	1	2.5	-	-	-	-	-	-	目類 (10.3g)
SK48	17	60.4	11(2)	316.4	7	265.8	38	1040.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	セルロイド (0.8g)
SK49	-	-	-	-	-	-	1	110.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK51	-	-	-	-	-	-	6	630.0	-	-	1	3.0	1	3.9	1	10.9	-	-	-
SK52	254(112)	7195.8	125(48)	7030.8	43(35)	6492.2	346	42620.0	5	43.3	-	-	1(1)	3.1	7	1566.8	53	1566.8	硝子製品 (5.8g) 石材 1(265.7g) モモ14 プラスチック (0.5g)
SK53	20(6)	375.6	17(7)	1797.9	8(4)	1819.1	14	1460.6	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	硝子製品 (585.8g)
SK54	12(9)	594.9	2(2)	58.8	-	-	1	30.0	-	-	-	-	-	-	1	13.9	-	-	硝子製品 (134.0g)
SK56	30(27)	2042.3	4(4)	406.3	4(4)	164.2	36	3180.0	1	62.4	5	133.2	1	10.3	1	658.8	3	658.8	硝子製品 (731.0g) モモ1
SK57	20(12)	1556.9	5(3)	207.0	10(3)	1631.6	4	420.0	-	-	-	-	1	14.3	-	-	-	-	硝子製品 (201.4g)
SK58	56(32)	1912.0	23(12)	886.4	17(4)	4500.3	44	3266.3	-	-	3	26.5	1(1)	3.4	1	354.4	15	354.4	硝子製品 (129.4g) モモ3 マツ1 不明種子 87 骨 (2.7g) プラスチック (0.4g)
SK59	87(44)	3682.3	36(13)	3104.9	18(13)	3117.7	116	13670.0	3	14.1	2	34.6	4(1)	23.1	2	118.8	3	118.8	硝子製品 (691.9g) モモ1 セルロイド (4.8g)
SK60	36(26)	2060.2	14(8)	1230.9	21(8)	10044.6	44	5286.0	2	22.1	1	1.2	-	-	-	-	1	-	硝子製品 (2614.3g) 骨製品 (15.8g)
SK62	6(3)	254.4	8(5)	451.5	6(4)	1036.3	19	1760.0	1	48.0	-	-	1	16.6	-	-	-	-	硝子製品 (222.4g)
SK63	90(63)	6707.7	18(10)	2397.2	6(4)	1486.6	22	2800.0	3	79.2	-	-	1	12.8	-	-	-	-	硝子製品 (8364.0g)



遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	
SK64	12(5)	274.4	17(5)	715.3	5(2)	220.9	6	490.0	-	-	1	3.7	1	2.6	-	-	-	-	
SK65	35(17)	2239.3	75(22)	5993.4	31(16)	3709.2	89	8020.0	6	24.8	1	163.7	-	-	1	1.9	16	硝子製品(10.8g) モモ4 不明種子1(5.1g)	
SK66	66(32)	3379.3	15(4)	1142.8	9(6)	777.9	15	1200.0	-	-	-	-	-	-	1	40.1	4	硝子製品(563.5g) プラスチック	
SK69	11(1)	79.0	4(2)	69.1	1(1)	97.4	20	1510.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK70	105(59)	4726.2	28(13)	6934.0	23(10)	26387.1	241	17810.0	1	28.9	-	-	4	348.4	3	720.4	2	硝子製品(5406.1g) 骨製品(11.5g) セルロイド(3.0g)	
SK71	52(18)	778.4	148(2)	182.0	13(8)	4737.8	78	9080.0	-	-	1	130.7	1	9.2	3	16.6	5	硝子製品(57.4g) モモ3 ウメ1 不明素材(0.6g)	
SK72	41(12)	423.3	32(2)	264.7	12(8)	362.0	116	7430.0	-	-	-	-	-	-	5	225.6	3	硝子製品(78.9g)	
SK73	54(13)	557.4	58(5)	1157.8	23(11)	1333.6	62	3230.0	3	5.7	-	-	-	-	-	-	1	硝子製品(30.0g)	
SK75	15(10)	562.9	10(3)	233.9	5(5)	310.0	32	2630.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	硝子製品(863.9g)	
SK76	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK78	102(57)	3839.8	74(36)	4307.7	31(23)	8581.8	94	11700.0	3	31.4	2	67.6	4(2)	13.9	2	322.5	29	硝子製品(10792.9g)	
SK80	70(49)	5782.7	14(10)	2852.2	58(33)	12890.6	107	13020.0	3	115.8	1	1537.2	1	18.3	-	-	-	硝子製品(722.0g)	
SK83	27(12)	1026.1	15(2)	212.4	11(3)	739.8	22	2666.7	-	-	1	179.3	1	4.7	-	-	-	硝子製品(1281.2g)	
SK84	45(35)	3138.2	10(6)	782.6	14(8)	8851.3	14	1200.0	1	6.3	-	-	-	-	-	-	-	硝子製品(110.2g)	
SK85	18(8)	372.4	2	100.8	3(1)	78.4	8	620.0	-	-	1	75.1	-	-	-	-	-	硝子製品(1953.7g)	
SK86	17(11)	1412.0	9(4)	711.4	12(4)	4237.7	14	1490.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	硝子製品(1.9g)	
SK87	12(6)	522.7	4(1)	1113.8	10(5)	5703.3	4	410.0	-	-	1	19.5	-	-	-	-	-	硝子製品(954.4g) セルロイド(12.3g)	
SK88	32(19)	2067.4	8(6)	1434.4	8(1)	768.9	11	1570.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK89	55(36)	2063.3	46(21)	1835.5	5(4)	489.7	33	4360.0	3	12.6	-	-	-	-	2	328.6	26	-	
SK90	21(3)	130.5	26(11)	1281.3	13(8)	993.6	22	3050.0	1	32.2	1(1)	2.0	1	1.6	-	-	4	-	
SK91	33(14)	1095.8	26(13)	1540.2	5(2)	639.1	28	2050.0	-	-	1	98.5	1(1)	3.6	2	576.5	11	-	
SK92	6(4)	437.2	-	-	1(1)	152.7	7	620.0	1	12.0	-	-	-	-	1	72.0	-	硝子製品(92.0g)	
SK93	8(4)	1353.8	6(4)	731.0	1(1)	245.6	-	-	-	-	-	-	2(2)	7.4	-	-	1	硝子製品(5430.6g)	
SK94	39(35)	4879.7	11(9)	1188.2	4(3)	1657.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	硝子製品(5430.6g)	
SK95	8(2)	91.4	6(1)	37.8	1	17.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	骨(55.7g)	
SK96	67(28)	3027.6	8(5)	3198.4	16(6)	2583.3	10	950.0	3	59.8	1	33.7	4(3)	23.3	1	43.7	1	硝子製品(1320.8g) 骨製品(10.2g) セルロイド(6.3g)	
SK97	33(25)	2760.9	10(1)	2323.8	16(3)	4916.8	24	2020.0	1	14.1	-	-	-	1	12.5	3	363.0	-	硝子製品(3155.6g) セルロイド(2.9g)
SK98	116(76)	7834.0	35(15)	2555.1	15(5)	4194.9	107	15360.0	-	-	6(1)	75.1	-	-	-	-	5	硝子製品(1891.7g) プラスチック2(17.9g) セルロイド2(18.3g)	
SK99	62(34)	3851.6	18(4)	1404.7	18(4)	3061.6	130	24400.0	2	20.3	7	416.4	1	10.9	1	260.0	20	硝子製品(2502.0g) モモ1 骨製品(1.0g) セルロイド(1.7g)	
SK100	24(9)	644.0	2	37.3	1(1)	72.7	10	1020.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK101	73(46)	3825.5	63(23)	2807.6	24(14)	2688.5	66	7600.0	-	-	1	330.9	1(1)	3.2	-	-	30	モモ1	
SK102	65(40)	3240.4	35(23)	4965.2	13(4)	1102.9	10	660.0	1	7.7	2	26.4	3	56.2	-	-	6	硝子製品(629.8g)	
SK103	18(11)	879.7	3(1)	246.4	3(1)	123.8	7	370.0	-	-	1	42.3	-	-	1	22.1	-	石材1(22.1g)	

遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	
SK104	141(54)	4706.3	32(7)	1515.2	30(2)	3777.9	50	3367.7	1	3.2	-	-	-	3	292.4	1	硝子製品(728.4g) 貝類(2.9g)		
SK105	36(9)	522.1	21(3)	393.7	18	1531.9	22	1230.0	1	6.4	-	2	13.8	-	-	3	硝子製品(262.7g)		
SK106	59(21)	2560.7	18(6)	263.6	10(6)	792.4	27	1920.0	4	58.5	1	17.5	-	1	164.9	2	硝子製品(12.8g)		
SK107	32(15)	1321.7	15(5)	1139.8	15(4)	2332.6	14	570.0	-	-	2	23.6	2(2)	7.1	-	33	硝子製品(689.4g)		
SK108	74(25)	1308.7	25(4)	1818.4	19(10)	1621.6	44	2450.0	1	3.2	2	21.5	5	20.2	1	3.9	硝子製品(29.8g) モモ2		
SK109	56(22)	11375.4	42(14)	2482.2	31(10)	11532.8	24	1950.0	-	-	-	-	-	-	3	7.7	硝子製品(579.8g)		
SK110	151(69)	4503.5	46(20)	8210.1	58(11)	13765.8	36	2440.0	-	-	3	84.9	3	27.3	-	12	硝子製品(1730.0g) モモ4 スギ1 フカセイ3		
SK112	53(23)	2575.5	1(1)	1254.1	6(6)	1139.3	19	1410.0	2	28.1	-	-	-	-	-	-	硝子製品(3645.8g) プラスチック (2.0g) セルロイド2(5.9g)		
SK113	70(41)	3704.6	34(16)	7122.0	148(38)	45444.8	90	10590.0	1	9.3	-	-	-	1	265.9	12	硝子製品(3871.1g) 貝類(299.4g)		
SK114	-	-	2	8.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK115	118(78)	6221.5	116(42)	10123.3	89(30)	16427.3	77	4400.0	3	41.0	1	56.0	5	35.2	4	7.8	硝子製品(384.5g) モモ3		
SK116	39(6)	569.9	32(4)	563.1	5(4)	214.6	51	4210.0	2	28.0	2	3.2	5(3)	23.5	2	51.0	硝子製品(139.6g) 石材2(51.0g) モモ2ギンナン8 骨製品(6.8g)		
SK117	141(59)	3801.9	44(13)	18405.6	30(13)	3206.3	144	13724.7	4	29.2	14	198.0	2	24.0	1	2.1	硝子製品(3302.8g) 漆喰(18.5g) モモ5ウメ1 不明種子1 骨製品 (2.1g) 骨(11.4g) プラスチック (0.5g) セルロイド(4.4g)		
SK118	77(29)	2130.1	33(8)	3198.3	15(12)	4609.3	26	2008.8	2	25.7	2	66.9	2	22.3	1	3.9	硝子製品(1816.4g) プラスチック (1.1g)		
SK119	321(128)	11449.2	106(34)	6580.1	98(48)	23335.1	188	17179.4	6	253.9	6(1)	102.1	3(1)	165.3	9	681.1	硝子製品(851.1g) 石材1(21.7g) モ モ4		
SK120	162(62)	7407.3	32(10)	12107.8	15(4)	5133.8	49	4020.0	-	-	-	-	-	-	3	250.1	硝子製品(7599.6g) 貝類(0.3g) 骨製 品(0.4g) プラスチック(0.5g)		
SK121	166(93)	8627.0	64(21)	10407.2	55(24)	17604.5	95	8870.0	3	20.4	-	-	-	-	4	30.9	硝子製品(825.1g) プラスチック(0.8 g) セルロイド(1.6g)		
SK122	4(1)	124.2	2(2)	58.2	1	13.2	2	230.0	-	-	-	-	-	-	-	-	硝子製品(47.3g) プラスチック3(6.7 g)		
SK123・124	3	6.5	2	26.1	2(1)	6.9	2	110.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK125	12(2)	95.3	17(3)	438.5	13(3)	1245.2	1	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK127	7(7)	91.5	9(4)	320.0	7(1)	936.3	19	1440.0	1	7.5	-	-	-	-	-	-	-	プラスチック(0.9g)	
SK128	84(24)	1164.5	30(3)	582.0	20(11)	2504.7	69	6300.0	10	36.3	-	-	5	95.6	4	814.7	モモ1 プラスチック(0.4g)		
SK129	10(5)	674.6	4(1)	51.2	2(1)	6651.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	硝子製品(119.4g)	
SK131	9(1)	64.4	5(2)	145.1	2(1)	48.6	11	928.6	-	-	1	12.9	2(1)	14.4	-	-	3	-	
SK132	21(6)	319.7	5(1)	133.4	1(1)	189.6	6	260.0	-	-	-	-	1	8.4	-	-	4	-	
SK133	4(2)	150.2	4	121.6	-	-	1	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	プラスチック(0.4g)	
SK134	9(7)	303.6	1(1)	995.6	1	30.8	4	700.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	硝子製品(243.5g)	
SK135	51(4)	363.2	31(5)	369.6	10(2)	296.9	35	1307.8	1	3.2	-	-	4(2)	16.7	1	5.7	4	石材1(5.7g) クルミ1	
SK137	14(4)	313.6	4(2)	243.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK138	3(1)	38.4	-	108.4	-	-	-	-	1	3.6	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK139	7(1)	52.0	8(1)	277.1	4(1)	209.1	6	290.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	硝子製品(6.3g) プラスチック(0.5g)

遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	
SK140	17(4)	146.6	17(3)	714.7	9(3)	102.4	11	480.0	2	15.9	-	-	-	-	1	17.7	-	-	-
SK141	3(1)	84.7	1(1)	40.5	-	-	44	5420.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK143	73(26)	1650.1	50(11)	4033.0	14(6)	533.3	56	4390.0	2	19.8	-	-	1	2.9	3	6.1	3	硝子製品(26.0g) 貝類(19.1g) プラスチック(0.4g)	
SK144	5(3)	88.1	6(3)	311.4	8(1)	141.3	10	520.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK145	14(2)	109.4	8(2)	571.3	2(2)	73.9	4	280.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK146	26(7)	483.1	23(5)	437.0	8(4)	281.0	41	3313.8	-	-	-	-	1	9.4	6	32.7	3	石材1(18.0g)	
SK147	7(1)	59.6	6(1)	25.9	2(2)	21.3	1	40.0	-	-	-	-	-	-	1	2.6	4	-	
SK148	2(1)	50.1	2(1)	106.9	-	-	4	120.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK149	3	11.3	1	2.1	1	7.4	8	490.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK150	1	1.2	4	50.9	1	16.7	6	490.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK151	125(33)	3462.1	45(10)	2087.0	20(11)	652.4	76	5490.0	1	58.8	4(1)	38.9	1(1)	1.8	13	644.2	8	石材7(52.0g)	
SK152	17(7)	280.4	16(4)	285.6	5(1)	93.1	30	1370.0	1	2.5	-	-	2(2)	5.0	1	83.0	1	-	
SK153	30(10)	343.2	15(5)	614.8	6(1)	346.0	12	660.0	1	42.2	-	-	-	-	1	15.9	7	貝類(218.5g)	
SK154	13(7)	452.6	9(3)	986.6	2	23.2	4	300.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK155	2(1)	209.1	5(2)	204.4	-	-	1	320.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK156	33(13)	822.1	27(5)	546.0	14(10)	589.4	13	499.1	-	-	-	-	3(3)	5.9	3	71.6	4	石材1(6.8g) プラスチック(0.4g)	
SK157	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11.0	-	-	-	-	1	7.9	-	-	-
SK158	1(1)	76.6	-	-	-	-	1	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK159	2	18.6	-	-	-	-	1	90.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK160	8(7)	1443.9	15(8)	1714.5	24(4)	594.4	27	2890.0	-	-	-	-	-	-	1	4.6	4	石材1(4.6g)	
SK161	5	19.4	5(1)	144.1	-	-	5	570.0	-	-	-	-	-	-	1	1.6	-	-	-
SK163	5(2)	16.7	3(2)	107.8	1(1)	32.3	1	140.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK164	3	67.8	1	16.3	2(1)	15.6	13	994.7	-	-	-	-	1	1.1	1	25.8	-	硝子製品(11.5g)	
SK165	55(7)	494.1	49(10)	701.3	11(7)	154.2	15	960.0	-	-	1	2.3	-	-	5	72.4	20	石材5(72.4g) モモ5	
SK166	22(6)	145.0	20(2)	286.3	10(7)	147.0	11	470.0	2	2.7	2	31.1	-	-	2	62.3	8	石材2(62.3g)	
SK167	4	13.2	4	28.1	3(3)	55.6	4	350.0	1	10.6	-	-	-	-	-	-	1	-	
SK168	8(3)	143.8	2	642.9	3(2)	127.4	8	940.0	3	21.7	-	-	-	-	-	-	-	硝子製品(15.1g)	
SK169	7(3)	132.6	1	2.2	1	4.8	2	200.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK170	6(3)	115.2	5	276.5	-	-	1	260.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK171	-	-	2(1)	73.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK172	47(9)	708.5	39(6)	455.5	8(4)	292.5	10	560.0	-	-	-	-	-	-	-	-	3	モモ1	
SK173	25(5)	140.3	4(4)	158.4	2(1)	8.5	9	330.0	1	1.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK174	33(12)	892.5	20(9)	650.6	13(8)	434.6	18	1360.0	1	8.1	1	2.4	2	19.7	-	-	4	モモ3	
SK175	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK176	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK177	14(6)	231.1	3	109.0	2(1)	106.0	3	160.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK178	9	125.4	9(5)	229.1	6(5)	218.0	11	360.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	
SK179	4	8.2	6	221.6	3(2)	24.6	10	530.0	2	21.1	-	-	-	-	2	2.9	3	硝子製品(2.4g)プラスチック(0.5g)	
SK180	103(35)	1712.2	65(16)	1326.5	29(19)	1430.5	211	7470.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	硝子製品(4.9g)	
SK181	10(2)	86.7	5(1)	306.0	-	-	48	2200.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	硝子製品(11.0g)プラスチック(0.04g)	
SK182	42(16)	1052.0	43(7)	1746.1	20(14)	557.3	46	3060.0	-	-	-	3	7.7	3	67.9	2	硝子製品(14.7g)		
SK183	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK184	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
SK185	28(13)	472.6	19(4)	1306.7	1(1)	133.8	13	1090.0	-	-	2	6.7	-	-	-	-	4	骨(1.6g)	
SK186	2(1)	49.8	-	-	3(1)	21.7	1	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK187	1(1)	20.5	-	-	-	-	6	520.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK188	41(15)	802.7	27(3)	501.4	9(4)	295.9	37	3110.0	3	17.5	1	11.8	-	-	-	138.4	6	石材1(17.8g)モモ1	
SK189	5	16.3	2	15.0	-	-	2	80.0	1	12.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK190	17(5)	265.0	16(4)	498.2	4	160.5	26	1870.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK191	3(2)	68.6	3(2)	89.3	-	-	2	220.0	-	-	-	-	-	-	1	61.0	-	-	
SK192	3(3)	58.4	-	-	-	-	6	260.0	-	-	1	6.1	-	-	-	-	-	硝子製品(23.3g)	
SK193	1	19.2	-	-	-	-	4	260.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK194	51(22)	1702.6	42(14)	1348.8	25(15)	2045.8	40	2750.0	1	4.5	-	-	1	9.6	3	65.1	5	須恵器I(23.0g)モモ4貝類(401.9g)	
SK195	1	15.0	5(1)	17.2	2	30.8	5	310.0	-	-	-	-	-	1	34.0	1	モモ4貝類(2.6g)		
SK199	20(4)	194.7	13(3)	508.2	4(2)	3753.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	モモ1	
SK202	31(24)	79.8	10(1)	40.5	1	10.5	1	100.0	1	2.8	-	-	1(1)	1.9	-	-	1	モモ1	
SK203	492(170)	15347.2	335(98)	20347.4	139(66)	15413.6	133	16790.0	24	137.1	12(3)	103.4	16(11)	47.3	10	244.0	71	硝子製品(6.9g)石材4(39.9g)モモ22クルミ2	
SK204	-	-	4(3)	35.9	2(2)	84.7	-	-	-	-	-	-	1(1)	1.8	-	-	-	硝子製品(2.8g)	
SK208	4	23.3	8(2)	280.8	1	14.9	-	-	2	33.0	-	-	-	-	-	-	3	-	
SK213	3	14.4	1	12.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
SK214	31(22)	1593.3	17(6)	673.0	8(6)	2230.8	29	4670.0	1	148.8	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK216	9(1)	89.0	6(1)	204.9	48(10)	12471.1	72	8440.0	-	-	-	-	1(1)	2.2	1	58.5	-	硝子製品(769.7g)石材1(58.5g)	
SK218	2(1)	8.7	1	5.2	-	-	1	110.0	-	-	-	-	-	-	1	9.3	-	-	
SK219	4(1)	22.7	1(1)	26.8	1(1)	5.4	35	3500.0	-	-	-	-	1	16.0	-	-	-	プラスチック(1.1g)	
SK220	119(38)	2289.3	77(24)	1753.8	30(22)	2081.4	64	6260.0	3	21.2	1	3.0	4(3)	9.0	4	125.7	25	石材2(47.9g)貝類(1016.1g)骨(59.5g)	
SK221	184(63)	4593.0	100(28)	7053.8	74(51)	6993.3	79	5513.0	-	-	7	66.4	4(2)	37.5	17	853.9	5	硝子製品(4.2g)石材6(120.4g)貝類(44.9g)骨(122.1g)	
SK222	3	6.2	-	-	-	-	6	1860.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK223	5(2)	71.3	-	-	-	-	3	210.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK224	76(30)	2544.6	45(12)	926.3	11(7)	139.3	30	1430.0	-	-	1	5.5	3	33.1	3	75.0	8	モモ1スモモ1セルロイド(0.1g)	
SK225	77(22)	623.9	38(4)	709.5	7(2)	181.3	33	1090.0	2	100.6	1	83.7	-	-	3	166.1	4	クルミ2	
SK226	108(32)	1538.7	52(5)	2234.3	29(10)	2085.7	53	4512.8	1	2.2	-	-	-	-	3	143.1	1	硝子製品(43.1g)セルロイド(0.2g)	

遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	
SK227	1	18.6	1	171.0	1	20.5	1	70.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	石材2(14.2g)硝子製品(5.1g)漆喰(2.4g)
SK228	30(7)	449.8	30(6)	6060.0	21(10)	247.8	21	1890.0	2	28.1	2	119.7	1(1)	3.3	2	9.4	3	-	石材1(78.4g)モモ23クルミ1貝類(3257.3g)クルミ1
SK229	125(56)	3732.6	68(27)	6218.1	24(13)	2249.3	48	7190.0	6	46.9	-	-	3	31.8	3	124.4	26	-	石材2(59.2g)
SK231	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12.4	-	-	-	-	硝子製品(27.2g)骨製品(10.9g)プラスチック(0.3g)
SK233	6(1)	121.5	11(6)	335.5	1(1)	144.6	3	280.0	-	-	-	-	1(1)	3.1	1	98.1	-	-	不明種子1貝類(16.1g)骨製品(6.5g)プラスチック(0.6g)
SK234	6	9.1	5(1)	20.4	1	3.8	1	60.0	-	-	-	-	-	-	1	7.6	-	-	石材1(815.2g)骨(25.8g)
SK235	2(1)	68.3	1	6.8	-	-	2	200.0	-	-	-	-	-	-	2	59.2	-	-	硝子製品(1394.8g)モモ11マツ1貝類(9.0g)プラスチック(0.7g)
SK236	2	14.3	-	-	1(1)	8.6	-	-	-	-	1	3.5	-	-	-	-	-	-	硝子製品(14.8g)骨(12.9g)
SK237	38(12)	772.4	14(1)	339.5	2(2)	326.6	51	6400.0	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	モモ1貝類(10.1g)
SK240	4(2)	187.6	7(1)	78.6	4(4)	38.9	9	340.0	-	-	-	1	2.7	1(1)	3.3	-	3	-	不明種子1貝類(16.1g)骨製品(6.5g)プラスチック(0.6g)
SK241	1(1)	23.9	-	-	-	-	2	370.0	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	硝子製品(27.2g)骨製品(10.9g)プラスチック(0.3g)
SK242	4	7.1	3	21.4	1	10.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	硝子製品(1394.8g)モモ11マツ1貝類(9.0g)プラスチック(0.7g)
SK243	58(17)	640.7	26(2)	402.1	24(8)	2499.2	80	5735.7	-	-	-	1	9.1	1(1)	2.8	3	7.1	25	硝子製品(14.8g)骨(12.9g)
SK244	37(11)	267.1	43(7)	1156.3	26(14)	898.8	61	3430.0	1	34.2	1	9.4	3	10.9	1	815.2	50	-	モモ1貝類(10.1g)
SK245	5(5)	522.8	5	172.3	3	65.5	7	610.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	硝子製品(17.1g)クルミ2貝類(2.2g)プラスチック(0.8g)
SK246	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2(1)	18.1	4	525.8	-	-	硝子製品(14.8g)骨(12.9g)
SK247	114(32)	2491.1	33(7)	2034.5	34(30)	1312.5	46	2800.0	1	1.4	-	-	-	-	1	1.6	3	-	モモ1貝類(10.1g)
SK248	240(89)	6570.6	105(39)	2794.7	52(29)	5995.3	154	14823.5	11	196.3	16	181.4	9(3)	28.9	14	566.1	29	-	硝子製品(1394.8g)モモ11マツ1貝類(9.0g)プラスチック(0.7g)
SK249	246(94)	1813.3	114(22)	3706.3	59(36)	6805.7	149	11870.0	3	36.3	-	-	4(1)	33.4	7	172.4	2	-	硝子製品(14.8g)骨(12.9g)
SK250	3	3.0	3(2)	50.9	2	88.7	3	120.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	モモ1貝類(10.1g)
SK251	1	13.9	-	-	1	30.0	1	60.0	-	-	1	3.6	-	-	-	-	-	-	硝子製品(14.8g)骨(12.9g)
SK252	3	2.6	3	134.9	2(1)	61.9	-	-	1	12.3	-	-	1	21.4	-	-	3	-	モモ1貝類(10.1g)
SK253	28(11)	878.7	13(3)	1062.2	2(2)	225.8	4	520.0	-	-	1	4.0	-	-	2	227.9	2	-	硝子製品(11.4g)石材1(10.4g)
SK254	3	46.1	2	13.7	-	-	4	180.0	2	11.0	-	-	-	-	-	-	-	-	硝子製品(14.8g)骨(12.9g)
SK255	7(7)	707.0	18(6)	1543.6	3(1)	91.3	8	300.0	-	-	1	48.6	1	5.0	-	-	4	-	硝子製品(1394.8g)モモ11マツ1貝類(9.0g)プラスチック(0.7g)
SK256	154(36)	1385.4	97(26)	1822.2	17(8)	2587.7	101	8870.0	9	103.8	-	-	-	-	2	186.9	5	-	硝子製品(17.1g)クルミ2貝類(2.2g)プラスチック(0.8g)
SK257	125(32)	1916.5	51(11)	758.9	17(7)	4601.6	33	3810.0	8	66.3	13	155.0	1	2.6	1	134.6	4	-	硝子製品(14.8g)骨(12.9g)
SK259	214(73)	4544.6	252(42)	5348.1	22(15)	945.8	88	6320.0	14	108.8	17(1)	139.9	4	104.1	8	375.8	50	-	硝子製品(14.8g)骨(12.9g)
SK260	29(12)	2157.0	14(7)	2116.7	22(7)	12352.3	17	2460.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	硝子製品(14.8g)骨(12.9g)
SK261	52(14)	986.2	32(16)	2356.5	8(6)	2218.8	5	600.0	-	-	-	-	1(1)	2.6	-	-	2	-	硝子製品(14.8g)骨(12.9g)
SK262	41(14)	614.1	44(7)	120.3	8(2)	385.5	25	2310.0	-	-	-	-	1(1)	2.5	1	248.7	-	-	硝子製品(14.8g)骨(12.9g)
SK263	325(95)	4004.5	148(25)	5070.6	48(16)	1069.0	162	8431.6	6	52.1	2	32.2	2	28.0	6	231.4	31	-	硝子製品(14.8g)骨(12.9g)
SK264	73(30)	3129.2	73(12)	1661.7	16(6)	996.7	56	4259.4	6	69.2	-	-	2(2)	15.4	2	78.3	14	-	硝子製品(14.8g)骨(12.9g)



遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	
SK265	31(22)	937.6	36(6)	534.4	3(2)	62.5	-	-	1	20.6	-	-	-	-	-	-	-	-	硝子製品(5.0g)骨(19.0g)
SK266	149(50)	3429.3	58(15)	4308.4	40(15)	4608.3	173	13397.0	2	21.5	-	-	-	-	4	473.0	16	117.4g	硝子製品(117.4g)軽石1(9.7g)骨(1.1g)
SK267	35(15)	726.9	30(6)	951.3	13(6)	239.0	38	2490.0	1	14.1	-	-	3	38.8	2	240.3	15	2.0g	硝子製品(2.0g)プラスチック(0.4g)
SK268	56(13)	1547.5	38(10)	1468.5	6(3)	226.4	-	-	1	2.8	-	-	1	7.6	3	79.5	-	-	硝子製品(12.4g)
SK269	56(12)	1008.2	47(5)	527.9	8(2)	230.4	41	3780.0	-	-	-	-	1(1)	1.7	-	-	3	-	硝子製品(33.2g)骨(11.9g)プラスチック(0.4g)
SK270	48(15)	741.4	23(3)	620.6	26(68)	4021.8	31	1900.0	4	74.5	2	175.0	3(1)	5.6	-	-	8	-	硝子製品(33.2g)骨(11.9g)プラスチック(0.4g)
SK271	13(3)	252.4	10(4)	285.0	2(1)	12.0	14	990.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	硝子製品(1.3g)
SK272	50(15)	1158.2	39(7)	439.8	5(5)	321.1	30	3070.0	-	-	-	-	-	1	18.2	-	-	-	硝子製品(1.3g)
SK275	32(8)	363.2	30(10)	662.1	7(5)	966.0	17	1160.0	1	6.0	2	5.2	1(1)	5.3	-	-	-	-	硝子製品(1.3g)
SK276	76(37)	2146.8	50(15)	2396.3	13(9)	1121.7	56	6962.8	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	硝子製品(33.2g)骨(11.9g)プラスチック(0.4g)
SK277	5(5)	627.2	12(3)	206.5	-	-	5	380.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	貝類(58.1g)
SK278	9(4)	138.0	5(4)	84.7	3(2)	103.6	10	380.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	硝子製品(1976.0g)プラスチック
SK280	73(51)	6071.2	8(6)	784.6	9(5)	7207.2	32	4460.0	-	-	5	251.2	-	-	2	199.8	1	13.5g	硝子製品(1976.0g)プラスチック
SK281	47(14)	571.3	26(4)	853.3	15(6)	3314.5	64	6970.0	-	-	2	16.8	1	10.7	4	257.6	8	4.5g	硝子製品(433.4g)モモ2プラスチック3(4.5g)
SK282	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	プラスチック(0.4g)
SK283	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	プラスチック(0.4g)
SK284	127(60)	5350.6	61(13)	3585.9	17(9)	4693.0	56	6840.0	2	18.4	9	537.9	2	1.0	3	47.3	2	6.8g	硝子製品(1147.2g)革製品(6.8g)
SK285	17(5)	395.0	5(1)	1750.0	1(1)	31.2	4	240.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	硝子製品(31.9g)
SK286	4(3)	156.0	1	8.4	2	75.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	プラスチック(0.4g)
SK288	130(33)	1518.0	42(4)	1135.8	24(17)	1556.2	69	7250.0	1	1.8	-	-	2	6.7	-	-	30	-	硝子製品(1147.2g)革製品(6.8g)
SK289	1	9.9	-	-	1(1)	1300.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	プラスチック(0.4g)
SK291	-	-	2	9.5	1(1)	22.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	プラスチック(0.4g)
SK292	31(24)	1298.1	14(5)	345.7	3(1)	119.8	6	330.0	-	-	4	272.4	-	-	-	-	2	-	硝子製品(1364.7g)
SK293	27(13)	84.0	7(6)	539.6	3(2)	634.2	3	280.0	-	-	1	11.8	-	-	1	36.4	2	-	硝子製品(62.9g)貝類(31.0g)
SK294	13(6)	208.3	5(1)	4.3	3(2)	311.9	5	900.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	硝子製品(243.0g)
SK295	3(1)	10.3	3(1)	75.3	2	40.1	3	290.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	硝子製品(243.0g)
SK296	9	142.7	4	52.4	2	73.0	5	180.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	硝子製品(243.0g)
SK299	45(3)	322.0	4(1)	61.1	8(4)	360.5	2	60.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	硝子製品(243.0g)
SK300	19(6)	160.4	26(6)	382.6	3(3)	330.9	610	40270.0	-	-	3	7.4	-	-	1	51.7	-	-	硝子製品(1364.7g)
SK302	83(18)	716.3	57(13)	1953.8	12(2)	651.6	87	6770.0	2	33.3	2	16.6	1(1)	3.6	2	126.1	20	9.9g	硝子製品(8.0g)骨(9.9g)
SK303	4(2)	33.4	5	24.0	2(2)	154.2	9	550.0	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	硝子製品(3.1g)
SK304	14(2)	156.7	8(2)	75.0	4(2)	751.8	3	70.0	-	-	1	30.0	-	-	-	-	3	-	硝子製品(3.1g)
SK305	14(4)	241.8	6	37.3	1	10.8	5	300.0	-	-	-	-	-	-	1	2.8	-	-	硝子製品(3.1g)
SK306	4	6.7	1(1)	179.4	2	92.2	11	470.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	硝子製品(3.1g)
SK307	14(10)	254.4	5(2)	1439.2	3(2)	3752.2	16	1100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	硝子製品(360.6g)
SK308	16(5)	335.1	5(3)	50.2	10(1)	856.3	53	390.0	2	30.6	2	15.2	-	-	2	18.6	-	-	硝子製品(360.6g)

遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	
SK309	1	55.0	4(3)	86.5	1(1)	8.1	3	190.0	-	-	-	-	-	-	2	41.6	-	-	
SK310	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK311	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK312	3(1)	30.7	2	17.6	3(2)	227.8	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK313	2(2)	15.6	2	0.0	2(1)	192.3	1	60.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK314	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK315	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK317	1	6.4	1	15.4	-	-	1	130.0	-	-	1	3.8	-	-	-	-	-	-	
SK318	62(22)	2394.4	9(4)	362.6	8(6)	385.9	52	4980.0	-	-	3	16.8	1(1)	3.0	-	-	3	クルミ 1 貝類 (403.4g)	
SK319	29(8)	582.1	21(5)	528.4	11(6)	1008.8	10	1110.0	-	-	1	45.1	-	-	-	-	-	-	
SK320	33(5)	329.0	14(3)	424.4	18(9)	2042.1	15	1180.0	1	10.3	-	-	-	-	2	133.9	3	-	
SK321	76(29)	472.7	32(8)	1913.4	23(12)	1384.8	46	2700.0	-	-	1	15.7	-	-	-	-	-	-	
SK322	25(15)	1091.5	9(2)	282.2	12(8)	4744.1	17	1270.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK323	46(17)	1854.1	30	4203.0	20(10)	2038.1	25	1589.1	2	18.6	2	60.6	1	3.2	3	29.5	8	-	
SK324	44(17)	2375.3	9(7)	2130.9	16(6)	17621.8	33	3457.6	-	-	-	-	-	-	2	55.7	-	-	硝子製品 (2042.3g)
SK325	7(3)	106.9	7(2)	487.1	-	-	24	2110.0	-	-	2	4.3	-	-	-	-	-	-	
SK328	3	8.9	-	-	1	-	-	-	-	-	1	8.7	-	-	-	-	-	-	
SK329	11(5)	124.2	10(3)	68.7	-	-	8	910.0	-	-	-	-	1	3.7	-	-	-	-	
SK331	1	245.3	6(2)	167.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
P1	-	-	-	-	-	-	1	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
P2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
P3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
P4	-	-	-	23.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
P5	2(1)	7.9	1	19.3	-	6.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
P6	-	16.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
P7	1	33.0	-	-	2	81.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
P8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
P9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
P10	-	4.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
P11	25(1)	67.7	2	36.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
P12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
P13	4(2)	207.9	1	3.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
P15	2	30.0	2	14.8	-	-	1	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
P16	2(1)	16.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
P17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
P18	-	-	-	-	-	1	36.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
P19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
P20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

第238表 第二面出土遺物一覧表

遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他		
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量			
SB5	-	-	-	-	2(2)	6.2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	76.3	-	-	石材1(2.5g)		
桶16	10(2)	119.0	4(1)	195.6	1(1)	127.5	37	3350.0	-	-	-	-	1(1)	3.6	-	-	42	骨(1.5g)			
桶16掘方	-	-	-	-	1(1)	1.0	-	-	-	-	-	-	1(1)	2.9	-	-	-	-	-		
桶17	-	-	-	-	1(1)	9.3	-	-	-	-	-	-	3(2)	20.5	-	-	8	-	-		
桶19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7.7	23.4	-	-	16	クリ5メロン(仲間)32 不明種子7			
桶20	5(1)	53.7	2(2)	113.2	-	-	71	4921.8	-	-	-	-	1(1)	2.7	-	-	17	モモ1骨(25.2g)			
桶20掘方	4(1)	104.8	-	262.4	3(1)	24.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
桶21	6(3)	55.8	7	65.9	1(1)	1.9	61	7860.0	-	-	-	-	12(1)	59.1	1(1)	2.7	-	-	4	骨(7.7g)	
桶22	-	-	-	-	-	-	2	160.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
SE1	17(5)	251.2	19(6)	460.9	5(3)	68.0	-	-	1	8.4	2	18.0	2(1)	5.3	1	26.0	27	鉄滓1(89.6g) 壁土2(13.5g)			
SE2	30(8)	488.5	45(8)	650.4	11(3)	152.6	26	2450.0	-	-	-	8(1)	103.3	1	1.6	4	695.8	23	1	漆喰10(493.9g) 石材2(467.2g) モモ	
SE3	5(1)	54.3	8(3)	155.2	2	21.9	7	370.0	-	-	1	5.6	-	-	2	122.4	-	-	-		
SE4	1(1)	3.1	3(1)	387.0	-	-	39	1950.0	-	-	-	-	2	14.8	-	-	3	-	-		
SE5	13(6)	919.5	13(5)	3959.1	2(2)	591.7	30	2666.6	2	84.9	7(6)	180.7	13(11)	47.5	10	341.2	46	石材5(245.3g 内角閃石安山岩3)			
SE5掘方	-	-	1	54.6	1	17.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
SE6	2	18.1	7	42.3	1	5.0	5	88.4	-	-	12(11)	31.3	-	-	1	6.4	2	石材1(6.4g 内角閃石安山岩1)			
SE7	6(3)	64.7	11(3)	389.6	3(1)	15.6	15	820.0	-	-	-	-	-	-	28	405.7	9	石材24(232.4g 内角閃石安山岩24)			
SE8	19(2)	85.4	41(4)	518.9	14(5)	416.3	14	279.8	-	-	3	22.0	2	2.6	11	1043.5	138	壁土1(7.3g) 石材9(43.5g 内角閃石安山岩5) モモ4			
SD13	4(1)	228.1	18(2)	431.2	4(2)	74.9	31	1510.0	1	33.3	1(1)	3.9	-	-	-	-	3	羽口1(15.0g) モモ6 骨1(2.5g)			
SD14	-	-	2	20.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
SD16	-	-	2	5.2	3	29.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
SD17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
SD18	-	-	1(1)	45.0	4(1)	58.2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3.7	1	-	-		
SK332	36(18)	1055.7	36(12)	2112.4	13(7)	1254.9	85	9960.0	-	-	4(1)	231.2	8(6)	24.1	3	623.1	9	硝子製品(5.3g) クルミ1			
SK333	35(16)	1274.1	21(2)	3330.0	13(7)	1563.6	50	3360.0	1	2.4	8	372.5	4	56.6	4	48.5	13	7	ウメ1	石材1(20.5g 内角閃石安山岩1) モモ	
SK334	1(1)	134.1	1(1)	433.7	5(1)	411.2	20	1670.0	2	8.3	-	-	1	3.0	2	166.5	2	鉄滓1(563.9g) 鉄槌形滓1(497.1g)			
SK335	31(11)	619.2	46(7)	1833.5	10	505.0	60	3340.0	7	46.5	1(1)	2.5	4	6.7	1	4.7	22	1	羽口1(499.1g) 骨(26.7g) 草製品		
SK336	9(2)	141.1	7	89.1	2	78.5	13	940.0	1	4.1	2	6.3	-	-	-	-	2	骨(4.5g)			
SK337	3(2)	95.6	2(1)	15632.2	-	-	2	580.0	-	-	-	-	-	-	2	13.6	2	-	-		
SK338	1	4.4	1	2.6	2	10.1	8	380.0	-	-	1	16.8	-	-	-	-	3	骨(2.0g) モモ2			
SK339	-	-	-	-	-	-	3	400.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
SK340	4(1)	18.3	5(2)	91.9	1	3.3	2	130.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	モモ1	

遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他	
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量		
SK341	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK342	-	-	1(1)	15.6	-	-	1	30.0	-	-	-	-	-	-	1	25.5	-	-	-	羽口1(255.0g) 鉄滓1(311.9g) 鉄椀形滓1(182.6g) 壁土1(9.2g) 石材2(23.0g内角閃石安山岩2) モモ44 スモモ1 マツ4
SK343	154(61)	5092.3	130(35)	8900.2	97(64)	5651.3	298	27819.9	5	239.6	14	264.3	5(4)	22.0	10	1340.1	99	-	-	羽口1(255.0g) 鉄滓1(311.9g) 鉄椀形滓1(182.6g) 壁土1(9.2g) 石材2(23.0g内角閃石安山岩2) モモ44 スモモ1 マツ4
SK344	200(97)	7581.5	147(34)	11845.2	100(55)	12344.0	1309	125727.7	4	67.5	4	49.5	8(4)	28.4	18	1052.6	141	-	-	土師器1(33.6g) 羽口1(656.5g) 石材3(76.4g内角閃石安山岩3) モモ9 スモモ1 オニグルミ1 カボチャ(へた)1 マツ1 骨(481.7g)
SK344・480 焼土	50(12)	681.7	24(7)	964.4	17(11)	796.0	-	-	-	-	4	29.5	7	5.3	-	-	-	-	-	壁土1(10.3g) グルミ1
SK345	-	178.1	-	874.0	-	2055.6	40	2380.0	-	-	2	10.9	1(1)	3.1	-	-	-	-	-	鉄滓1(189.6g) 鉄椀形滓1(185.3g) モモ173 ウメ1 オニグルミ5 骨(0.7g)
SK346	57(18)	815.5	60(20)	1743.6	18(7)	2030.0	59	4780.0	5	28.8	8	181.5	3(1)	9.9	3	29.3	44	-	-	壁土1(10.3g) グルミ1
SK347	4(4)	106.3	4(2)	119.8	3(2)	73.3	6	210.0	-	-	3	52.4	1	7.6	1	63.7	-	-	-	鉄滓1(189.6g) 鉄椀形滓1(185.3g) モモ173 ウメ1 オニグルミ5 骨(0.7g)
SK348	2(1)	14.9	7(1)	76.2	2(1)	85.7	3	260.0	-	-	-	-	-	-	3	4.7	-	-	-	壁土1(10.3g) グルミ1
SK349	7(2)	15.5	1	5.9	-	-	6	180.0	-	-	6	25.3	1	4.8	-	-	-	-	-	鉄滓1(189.6g) 鉄椀形滓1(185.3g) モモ173 ウメ1 オニグルミ5 骨(0.7g)
SK350	1	5.2	2	67.7	-	-	1	20.0	-	-	-	-	-	-	1	2.9	-	-	-	壁土1(10.3g) グルミ1
SK351	13(1)	64.3	11	53.3	7(3)	116.4	7	250.0	-	-	2	8.1	1	5.0	4	5.5	7	-	-	鉄滓1(189.6g) 鉄椀形滓1(185.3g) モモ173 ウメ1 オニグルミ5 骨(0.7g)
SK352	8(1)	118.6	5(2)	138.6	1	52.8	7	820.0	-	-	-	-	-	-	3	43.2	9	-	-	壁土1(10.3g) グルミ1
SK353	1(1)	34.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	鉄滓1(189.6g) 鉄椀形滓1(185.3g) モモ173 ウメ1 オニグルミ5 骨(0.7g)
SK354	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	壁土1(10.3g) グルミ1
SK355	11(8)	453.2	2(2)	339.1	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	4.4	-	-	5	-	-	鉄滓1(189.6g) 鉄椀形滓1(185.3g) モモ173 ウメ1 オニグルミ5 骨(0.7g)
SK356	1	0.5	1	1.6	4(1)	34.3	1	470.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	壁土1(10.3g) グルミ1
SK357	-	-	-	-	1	14.4	6	110.0	-	-	4	6.6	2	10.5	-	-	-	-	-	鉄滓1(189.6g) 鉄椀形滓1(185.3g) モモ173 ウメ1 オニグルミ5 骨(0.7g)
SK358	22(3)	145.6	16(6)	2469.0	15(14)	176.2	93	8850.0	-	-	1	3.3	-	-	1	36.8	1	-	-	壁土1(10.3g) グルミ1
SK359	-	-	1(1)	39.2	3(1)	296.5	4	250.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	鉄滓1(189.6g) 鉄椀形滓1(185.3g) モモ173 ウメ1 オニグルミ5 骨(0.7g)
SK360	2(1)	58.2	2	13.2	1	3.1	2	140.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	壁土1(10.3g) グルミ1
SK361	2(1)	41.9	8(4)	120.8	5(3)	185.9	19	1110.0	-	-	-	-	1	4.1	-	-	-	-	-	鉄滓1(189.6g) 鉄椀形滓1(185.3g) モモ173 ウメ1 オニグルミ5 骨(0.7g)
SK362	5(2)	164.6	5	145.4	3	175.5	8	290.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	壁土1(10.3g) グルミ1
SK364	15(6)	149.0	15(8)	383.9	7(4)	133.4	14	820.0	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	鉄滓1(189.6g) 鉄椀形滓1(185.3g) モモ173 ウメ1 オニグルミ5 骨(0.7g)
SK365	4	10.1	6	143.8	3(2)	20.2	4	470.0	-	-	1	8.2	-	-	-	-	-	-	-	壁土1(10.3g) グルミ1
SK367	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	鉄滓1(189.6g) 鉄椀形滓1(185.3g) モモ173 ウメ1 オニグルミ5 骨(0.7g)
SK368	76(37)	2826.3	102(31)	3870.1	68(43)	11835.4	85	6993.3	1	41.4	5	44.0	6(3)	21.5	8	384.8	34	-	-	壁土1(10.3g) グルミ1
SK369	1	38.7	1	40.1	1	2.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	鉄滓1(189.6g) 鉄椀形滓1(185.3g) モモ173 ウメ1 オニグルミ5 骨(0.7g)
SK370	21(5)	163.0	8(3)	146.4	11(4)	393.9	13	900.0	-	-	7	47.8	1	4.4	2	30.6	4	-	-	壁土1(10.3g) グルミ1
SK371	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	鉄滓1(189.6g) 鉄椀形滓1(185.3g) モモ173 ウメ1 オニグルミ5 骨(0.7g)

遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	
SK372	13(6)	218.6	15(11)	541.7	6(5)	112.5	14	1350.0	-	-	2	2.2	-	-	-	-	5	モモ1骨(9.1g)	
SK373	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK374	-	-	2(1)	71.3	1(1)	42.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK375	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK376	3(1)	66.6	3(2)	47.3	2	36.6	1	110.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK377	1	1.9	-	-	1	6.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK378	-	-	-	-	-	-	2	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK379	6(3)	210.2	9(3)	439.4	4(3)	270.8	3	740.0	-	-	3	9.9	-	-	1	31.6	1	-	
SK381	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK382	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK383	11(3)	166.2	15	67.2	5(4)	1466.2	7	300.0	-	-	-	-	1(1)	2.4	-	-	-	-	
SK384	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK385	-	-	1	4.3	1(1)	12.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK386	4(3)	144.5	2	68.0	-	-	4	350.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK387	44(20)	1325.4	15(4)	269.1	6(5)	338.1	82	8110.0	-	-	4(1)	10.9	-	-	2	375.1	9	硝子製品(1.5g)モモ1キノコ1貝類(458.2g)	
SK388	19(10)	1413.0	22(8)	1069.0	34(16)	3526.6	5	720.0	-	-	4(1)	25.9	2	7.1	-	-	13	-	
SK390	-	-	5	20.6	-	-	-	-	-	-	1	5.0	-	-	-	-	-	-	
SK391	17(7)	608.3	3	148.8	12(5)	425.0	13	710.0	-	-	4(1)	58.8	-	-	6	508.8	3	石材1(13.3g内角閃石安山岩1)モモ2貝類(44.5g)	
SK392	2(2)	34.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK394	1	12.7	1	14.6	1(1)	12.4	1	250.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK395	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK396	7(6)	309.1	13(6)	671.9	2(1)	90.8	3	310.0	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
SK398	83(24)	1913.3	79(16)	2255.2	38(19)	2182.1	130	9589.3	1	76.8	3	357.4	2	13.7	3	391.0	47	羽口1(290.0g)壁土1(15.2g)石材2(155.7内角閃石安山岩1)漆喰(9.8g)	
SK399	3(2)	81.3	5(5)	506.3	13(7)	1243.3	1	52.6	-	-	-	-	12	4.3	-	-	21	-	
SK400	5(1)	97.2	2(2)	59.0	3(3)	128.4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	71.4	-	-	
SK401	3(1)	76.4	2	92.3	2	14.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK402	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK403	67(18)	1184.2	57(13)	1943.3	42(10)	2182.3	-	-	-	-	3	25.6	1	6.4	4	588.2	-	-	
SK404	1(1)	15.5	13(6)	1537.3	8(3)	348.7	15	1600.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK405	13(9)	365.6	30(6)	644.2	5(2)	51.9	49	2650.0	-	-	2	9.4	2(1)	6.1	3	80.6	7	モモ3	
SK406	7	49.8	12(2)	213.5	6(2)	100.7	16	980.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK407	26(8)	533.8	51(11)	2151.1	30(8)	1574.7	59	3160.0	1	7.4	25	244.7	6(2)	30.5	14	3524.6	9	鉄滓1(143.8g)硝子製品(56.0g)石器1(123.2g)鉛2(14.3g)モモ1貝類(12.9g)骨(2.9g)	



遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	
SK408	1(1)	52.4	6(2)	247.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
SK409	23(4)	359.8	12(2)	348.8	7(3)	105.1	26	1420.0	-	-	-	-	-	-	3	63.3	17	鉄滓 1(53.9g) 石材 2(36.1g 内角閃石 安山岩 2) ウメ 1	
SK410	1	33.1	1	56.5	4(1)	25.7	-	-	-	-	-	-	-	-	2	7.6	-	石材 2(7.6g 内角閃石安山岩 2) モモ 4	
SK411	37(10)	371.7	23(3)	856.3	30(17)	576.2	40	2950.0	-	-	-	12	10.7	2(2)	4.1	94.3	3	骨 (87.6g)	
SK412	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK413	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK414	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK415	14(5)	294.2	8(3)	297.9	10(4)	667.3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	84.5	-		
SK416	1	3.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK417	11(8)	381.3	14(6)	639.3	16(7)	502.7	13	2910.0	-	-	2(1)	3.0	1(1)	4.4	1	102.8	10	貝類 (22.5g)	
SK418	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK419	1	1.3	9(3)	758.3	2(1)	208.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	壁土 1(331.0g)	
SK420	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK421	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK422	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK424	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK425	-	-	1	23.5	1	10.4	-	-	-	-	1	3.3	-	-	-	-	2	壁土 1(970.5g) 布 1(520.8g)	
SK426	-	-	2(1)	13.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK427	-	-	-	-	3(2)	98.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	鉄滓 1(121.1g) 鉄桶形滓 1(116.5g)	
SK428	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK429	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK430	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK431	21(3)	200.2	13(2)	280.8	5(1)	147.8	-	-	-	-	2	16.3	2(1)	9.0	225	1453.2	-	石材 224(1267.9g 内角閃石安山岩 224)	
SK432	1	12.2	1(1)	58.1	-	-	-	-	-	-	2(1)	3.7	-	-	-	-	3	-	
SK433	9	18.3	8(1)	26.3	20(12)	234.9	-	-	-	-	1	4.6	1	0.2	-	-	-	-	
SK434	-	-	1(1)	100.4	2(1)	11.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK435	5	20.1	11(6)	349.8	3(1)	23.9	-	-	-	-	-	-	-	-	3	16.3	-	土師器 1(3.3g) 石材 2(13.0g 内角閃 石安山岩 2)	
SK436	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK437	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK438	12(11)	10.8	4	27.2	2	27.0	-	-	-	-	1	4.1	-	-	10	93.6	-	石材 9(45.9g 内角閃石安山岩 9)	
SK440	-	-	1	22.7	1	3.4	-	-	-	-	-	-	-	-	2	12.9	-	石材 1(4.8g 内角閃石安山岩 1) スモ モ 1	
SK441	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK442	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK443	-	-	1	1.4	2(1)	9.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	
SK444	7(1)	24.7	3	22.6	4(4)	16.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK445	2	14.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK447	-	-	1	1.7	2	2.8	-	-	-	-	-	-	-	-	18	40.0	-	-	石材 18(40.0g 内角閃石安山岩 18) モモ1
SK448	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK449	-	-	1	4.8	1(1)	6.9	1	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK450	-	-	-	-	-	-	3	200.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK451	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK452	6	15.1	5	22.4	10(6)	57.2	-	-	-	-	-	-	-	-	7	71.6	2	2	石材 5(38.7g 内角閃石安山岩 5) モモ2 骨 (38.5g)
SK453	-	-	3(1)	43.6	1	1.9	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5.9	1	1	-
SK454	9(3)	260.5	3(2)	427.8	18(10)	1836.2	71	5861.4	-	-	-	-	1(1)	2.0	2	90.2	1	1	石材 1(13.7g) モモ4
SK455	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	2.7	-	-	-	-	-
SK456	1	1.3	1(1)	31.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	49	116.3	-	-	石材 49(116.3g 内角閃石安山岩 49)
SK457	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	16.1	-	-	石材 5(16.1g 内角閃石安山岩 5)
SK458	26(4)	176.4	26(1)	301.3	27(19)	228.8	1	20.0	-	-	-	-	-	-	83	350.0	-	-	羽口 1(92.3g) 石材 81(302.5g 内角閃石安山岩 81)
SK459	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK460	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK461	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK462	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	15.5	-	-	-	-	-	-	-
SK463	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK464	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	20.3	-	-	-
SK465	-	-	-	-	1(1)	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	11.6	-	-	石材 2(11.6g 内角閃石安山岩 2)
SK466	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK467	3	15.3	6	13.9	2	62.7	-	-	-	-	-	-	-	-	6	8.8	-	-	“ 石材 6(8.8g 内角閃石安山岩 6) 土師器 1”
SK468	18(1)	62.9	21	85.6	5	196.1	-	-	-	-	1	175.9	-	-	8	131.9	12	12	土師器 1(8.1g) 石材 6(19.5g 内角閃石安山岩 5) 貝類 (12.73g) モモ1
SK469	-	-	2	15.5	2(2)	12.9	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7.0	-	-	石材 1(7.0g 内角閃石安山岩 1)
SK470	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK471	4(2)	2.5	2(1)	133.5	4(1)	37.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK471 細方	2	45.9	-	-	4	37.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK472	-	-	2	10.6	2(1)	8.4	-	-	-	-	-	-	-	-	2	9.1	-	-	-
SK474	23(2)	246.8	45(7)	1044.6	24(12)	3256.4	5	250.0	-	-	5	28.5	1	4.4	2	1780.4	5	5	“ 壁土 1(93.4g) 石材 2(1780.4g) 須恵器 2 土師器 5”
SK476	15(2)	159.4	15(5)	131.0	8(4)	121.7	12	500.0	-	-	-	-	3	20.4	16	95.1	9	9	石材 16(95.1g 内角閃石安山岩 16) モモ8 オニグルミ 1 マツ 1
SK477	15(6)	545.1	20(5)	630.4	8(2)	588.3	19	1630.0	-	-	2(2)	10.3	1(1)	3.1	-	-	12	12	モモ1

遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	
SK479	3	6.0	2	119.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	15.2	-	-	石材 1(15.2g 内角閃石安山岩 1)
SK481	32(11)	345.1	30(5)	739.3	6(3)	581.6	461	27590.0	-	-	3	8.8	1	2.9	3	28.9	8	-	硝子製品(94.4g) 漆喰 63(619.6g) モルタル 1(248.9g) モモ 4
SK482	37(8)	623.8	87(8)	2479.0	20(6)	2912.2	9	462.5	-	-	112	827.5	-	-	2	56.5	3	-	石材 1(55.2g 内角閃石安山岩 1) モモ 6 ウメ 2 クリ 2 貝類(6.85g)
SK484	2	3.5	19	116.0	6(2)	94.3	7	300.0	-	-	4	34.8	-	-	3	57.1	-	-	羽口 1(19.0g) 石材 3(57.1g 内角閃石安山岩 2) オニグルミ 1
SK485	42(12)	617.5	22(6)	409.3	17(6)	164.5	43	377.9	-	12.9	17	77.9	1	6.9	3	173.7	5	-	漆喰 6(38.9g) 鉛 4(20.2g) モモ 2 貝類(2.43g) 草製品 1(50.7g 靴)
SK486	-	-	1	7.0	2(1)	11.9	-	-	-	-	-	-	1	10.2	-	-	2	-	鉄滓 1(94.3g) 鉄碗形滓 1(45.2g) モモ 1 骨(1564.7g)
SK487	2	5.8	3(1)	41.1	1	5.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK488	3(1)	74.6	16(5)	875.2	7(2)	506.9	6	340.0	-	18.1	1	7.4	1(1)	2.8	-	-	-	-	-
SK489	-	-	2(2)	88.7	7(1)	27.9	-	-	-	-	-	-	-	-	1	84.3	-	-	-
SK491	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK492	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK498	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK502	2	2.9	3	21.8	1	1.7	-	-	-	-	-	-	1	3.7	-	-	-	-	-
SK505	-	-	3(2)	166.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK506	2(2)	85.8	3(2)	69.8	3(2)	81.1	8	600.0	-	-	1	126.8	-	-	-	-	-	-	硝子製品(4.6g)
SK507	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK509	-	-	1	2.4	5(1)	20.6	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6.1	-	-	鉄滓 1(11.1g) 石材 2(6.1g)
SK510	6	262.0	8	196.6	8(3)	87.0	-	-	1	5.5	2	16.2	1(1)	3.0	-	-	-	-	骨(4.5g)
SK511	-	-	-	-	1(1)	5.6	-	80.0	-	-	7	37.1	-	-	-	-	-	-	-
SK512	1	13.5	8(1)	215.1	9(4)	316.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK513	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK520	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SX1a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SX1ba	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P25	-	-	-	-	-	-	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	骨(2.2g)
P26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	
P30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P76	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P76	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第239表 第三面出土遺物一覽表

遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他	
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量		
SB4	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SD19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SD20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SD21	4(2)	16.0	2	128.8	2	19.6	-	-	-	-	-	-	1(1)	4.3	-	-	-	-	羽口1(49.9g) 鉄滓(18.0g) 壁土(3.9g)	
SD23	28(3)	246.3	64(10)	888.0	52(12)	1368.0	-	-	-	-	2	17.7	4	12.5	6	537.9	-	-	鉄滓(33.1g) 石材4(5.8g内角閃石安山岩4) 貝類(14.8g)	
SD24	4(1)	26.0	2(2)	78.4	4(1)	98.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	鉄滓1(31.4g)	
SD25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SD26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SD27	-	-	1	65.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SD28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SD29	5(2)	44.3	8(4)	266.3	6(6)	132.9	21	290.0	-	-	1	36.3	-	-	6	163.0	13	-	羽口1(74.5g) 石材1(137.0g) 鉄滓(137.7g) 壁土(39.9g) 石材1(137.0g)	
SD31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
畝1	4	11.1	1	10.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
畝2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
畝3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
小鍛冶1	-	-	3	52.2	1	1.5	-	-	-	-	1	9.5	-	-	3	4.2	-	-	須恵器(11.2g) 鉄滓(1645.5g) 鉄椀形滓(133.6g) 石材3(4.2g)	
小鍛冶2	-	-	1	33.1	-	-	-	-	-	-	32	1014.0	-	-	-	-	-	-	羽口1(3.7g) 鉄滓(6458.8g) 鉄椀形滓(434.2g) 鉄炉外滓(322.1g)	
SK473	282(43)	2305.9	253(94)	6444.3	226(114)	5068.3	8	410.0	1	3.8	22	179.5	23(4)	150.1	35	1267.9	221	-	羽口1(21.6g) 石材19(207.4g, 内角閃石安山岩18) 硝子製品(14.8g) モモ25 スモモ3 クルミ2 オニグルミ1 クリ24 マツ5 スギ2 不明種子6 貝類(1119.4g) 骨(6.7g)*	
SK480	8(4)	1088.1	23(6)	2267.6	17(12)	1115.1	-	-	-	-	3	56.2	-	-	24	2976.4	1	-	羽口1(203.6g) 鉄滓(836.1g) 壁土(1210.0g) 石材9(126.7g内角閃石安山岩8)	
SK490	-	-	-	-	1	3.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK494	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK495	4(1)	35.7	3	66.6	7(4)	55.5	7	590.0	-	-	-	-	-	-	5	27.0	-	-	羽口1(30.5g) 石材4(23.8g, 内角閃石安山岩4)	
SK496	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	



遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	
SK497	774(98)	14543.3	695(163)	45649.1	1828(427)	517666.0	31	1735.1	7	411.3	91(1)	787.5	89(14)	202.8	92	7696.3	86		土師器(32.3g) 埴輪(50.4g) 羽口(20713.9g) 鉄滓(34905.5g, 内椀形 滓4827.1g) 壁土(10640.0g) 硝子製品(1.1g) 石材22(2490.3g, 内角閃石安山岩9) 石器(141.1g) モモ22 スモモ1 トチノキ4 貝類(473.5g) 骨(873.5g)
SK497 焼土層	106(30)	829.4	52(16)	2177.8	15(6)	605.4	-	-	-	-	10	22.6	14(3)	8.1	-	-	-	-	
SK499	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK500	413(162)	24383.4	397(157)	52117.0	257(126)	46455.5	339	28940.0	-	175.3	34(1)	683.5	45(5)	142.4	64	8018.0	228		羽口1(6364.4g) 鉄滓(1554.0g, 内鉄 椀形滓223.9g, 鉄炉外滓133.6g) 壁 土(265.1g) 硝子製品(1.9g) 石材 7(1368.9g, 内角閃石安山岩2) モモ 192 スモモ5 ウメ1 クルミ2 オニグ ルミ2 キンナン1 マツ2 トチノキ1 ムクロジ8 不明種子1 貝類(738.3g) 骨(87.9g)
SK514	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	鉄滓(122.7g)
SK515	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK516	1	5.5	-	-	2	4.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK517	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK518	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK521	2	3.3	2	7.9	1	13.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK522	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK523	82(7)	559.4	137(25)	3386.5	126(58)	5326.1	1	5.3	2	25.9	2	10.4	8(2)	32.8	24	2666.5	5		中世陶器(91.8g) 土師器1 羽口(7.4g) 鉄滓(219.6g) 鉄椀形滓(84.2g) 石材16(35.8g, 内角閃石安山岩15) モモ2 貝類(115.5g) 骨(362.8g)
SK524	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK525	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK526	-	-	-	-	2(2)	15.7	-	-	-	-	-	-	-	-	5	19.5	-	-	石材5(19.5g, 内角閃石安山岩5)
SK527	12(1)	116.6	20(4)	444.7	7(1)	65.3	-	-	-	-	2	22.6	1(1)	2.8	3	79.3	1		羽口(6.9g) 鉄滓(51.2g) 石材 2(36.8g, 内角閃石安山岩2)
SK528	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	鉄滓(2.9g)
SK529	1(1)	167.2	-	-	2(2)	28.3	-	-	-	-	-	-	3(3)	9.9	-	-	-	-	
SK530	-	-	2	78.1	1(1)	452.5	-	-	-	-	1	9.7	-	-	-	-	-	-	
SK531	13(13)	182.9	21(4)	412.9	24(5)	385.4	-	-	-	-	4	37.6	5(1)	11.1	4	575.9	1		羽口(336.3g) 鉄滓(2249.3g) 鉄椀 形滓(252.5g) モモ1 スモモ1 骨(132.2g)
SK532	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	
SK533	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK534	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK535	-	-	10(1)	85.2	4(2)	42.8	-	-	-	-	4	56.5	-	-	7	52.1	-	-	羽口 (275.0g) 鉄滓 (865.6g) 石材 5(40.0g, 内角閃石安山岩5)
SK536	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK537	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK538	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK539	-	-	1(1)	24.5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2.0	-	-	-	-	-
SK540	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK541	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK542	2	0.0	15(5)	351.6	13(5)	256.6	-	-	-	-	1	12.0	1(1)	2.4	-	-	-	-	鉄滓1(86.7g) 鉄屑形滓1(86.4g)
SK544	-	-	-	-	5(3)	116.5	-	-	-	-	-	-	-	-	3	17.1	-	-	石材3(17.1g内角閃石安山岩3)
SK545	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK546	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK547	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK548	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK549	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK550	1	490.6	2	190.0	1	10.0	-	-	-	-	1	25.6	-	-	1	17.2	12	貝類(160.3g)	
SK551	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK552	44(10)	867.8	12(4)	1131.7	8(5)	1284.6	-	-	-	-	2	111.4	-	-	1	25.1	-	-	鉄滓1(30.2g) 壁土1(2994.3g) 石材 1(25.1g)
SK553	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK554	4(1)	67.3	1	27.8	5(1)	89.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	羽口1(115.8g) 鉄滓1(295.6g) 鉄屑 形滓1(45.0g)
P47	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P49	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P51	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P53	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P54	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P55	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P56	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P57	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P58	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P59	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	
P61	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P62	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P63	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P64	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P65	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P66	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P68	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P69	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P70	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P71	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	97.7	-	-	-
P72	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P73	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P77	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P70	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P71	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	97.7	-	-	-
P72	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P73	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P77	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

重量：g

陶磁器類の（）内は底部破片数、鉄製品・銅製品の（）内は銭貨の点数をます。  
種子類は桃・胡桃・南瓜・ウリ科・蕎麦殻程度の分類を行い備考欄に破片数を記載

第 240 表 第一面瓦計測表

重量 ( g ) 破片数 ( 個 )

遺構	平		丸		軒		道具瓦		鬼瓦		刻印瓦		総重量	総破片数
	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数		
SB1	260	9	180	2									440	11
SB1 北	4890	53	130	2									5020	55
SB1 東	8750	67	2000	5	150	1							10900	73
SB1 南	4550	43	190	2									4740	45
SB2	400	8	190	2									590	10
SB2 北辺	390	5											390	5
SB2 杭 16	800	13											800	13
SB3	4950	82	370	5	80	1							5400	88
SB3 北辺	88760	2062	4940	56	4720	50							98420	2168
SB3 西辺	660	4	1820	23									2480	27
SB6	12500	194	620	4	240	3	70	1					13430	202
基礎 1	14500	183	550	4	190	3							15240	190
基礎 3	5745.3	95	470	6	170	2							6385.3	103
基礎 4	40	2											40	2
桶 2	120	2											120	2
桶 3	1740	13			20	1							1760	14
桶 4	500	5											500	5
桶 5	200	5											200	5
桶 6	110	4											110	4
桶 7	660	11			60	1							720	12
桶 3・4・7 掘方	530	10											530	10
桶 9	100	2											100	2
桶 11	160	1											160	1
桶 23	2660	16			190	2				4050	3		6900	21
杭列 1	9670	134	1120	7	130	2							10920	143
杭列 5	58610	565	390	4	2720	14	510	1	130	1			62360	585
杭列 6	52190	448	2460	16	1730	11	580	3					56960	478
SD1	2260	33	110	1					150	1			2520	35
SD2	23610	220	400	3	1803.9	4			357.1	2			26171	229
SD10	110	1											110	1
SD32	10747.1	152	60	1	40	1							10847.1	154
焼土 1	200	2											200	2
焼土 5b	1066.5	20											1066.5	20
焼土 5c	3314	37	410	2			450	1					4174	40
SK1	810	4											810	4
SK2	130	4											130	4
SK5	20	1	60	1									80	2
SK6			70	1									70	1
SK7	420	11											420	11
SK8	700	9											700	9
SK9	260	5											260	5
SK10	700	11			260	1							960	12
SK11	2808.1	36	180	1									2988.1	37
SK12	270	6											270	6
SK13	690	13											690	13
SK14	2100	42	220	1									2320	43
SK20	710	20											710	20
SK21	17441.8	241	140	3	200	1							17781.8	245
SK22	11830	144	600	6	460	4	220	1					13110	155
SK23	1272.3	23											1272.3	23
SK24	6060.4	83	200	1	200	2							6460.4	86
SK28	1650	8	500	2	360	1							2510	11
SK29	198.9	3	830	4	140	1							1168.9	8

遺構	平		丸		軒		道具瓦		鬼瓦		刻印瓦		総重量	総破片数
	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数		
SK30	1330	24	240	3									1570	27
SK31	50	1											50	1
SK32	9400	56	2000	13	460	2							11860	71
SK36	1580	19	250	1			70	1					1900	21
SK37	230	4											230	4
SK38	2154.9	23	390	4	210	2							2754.9	29
SK39	1950	21			270	1	90	1					2310	23
SK40	1250	17	30	1									1280	18
SK41	320	12											320	12
SK42	2830	28	120	2			410	1					3360	31
SK43	460	8	300	1									760	9
SK44	3880	61	200	1									4080	62
SK46	150	2											150	2
SK48	740	34	140	3			160	1					1040	38
SK49	110	1											110	1
SK51	630	6											630	6
SK52	38420	316	1980	14	1160	8	1060	8					42620	346
SK53	1460.6	14											1460.6	14
SK54	30	1											30	1
SK56	2900	34	190	1			90	1					3180	36
SK57	420	4											420	4
SK58	2806.3	41			460	3							3266.3	44
SK59	12750	110	470	2	210	3	240	1					13670	116
SK60	5096	43	190	1									5286	44
SK62	1350	17			410	2							1760	19
SK63	2800	22											2800	22
SK64	490	6											490	6
SK65	7210	83	650	4			90	1	70	1			8020	89
SK66	1150	14			50	1							1200	15
SK69	920	15			590	5							1510	20
SK70	15400	225	1680	12	410	3	320	1					17810	241
SK71	8850	75	150	2	80	1							9080	78
SK72	6950	112			480	4							7430	116
SK73	2900	60	320	1					10	1			3230	62
SK75	2400	31					230	1					2630	32
SK78	9150	86	1770	6	780	2							11700	94
SK80	12760	104	140	2	120	1							13020	107
SK83	2446.7	20	90	1	130	1							2666.7	22
SK84	640	11			560	3							1200	14
SK85	620	8											620	8
SK86	1320	12	170	2									1490	14
SK87	410	4											410	4
SK88	1520	10			50	1							1570	11
SK89	3700	30	660	3									4360	33
SK90	1510	19	1540	3									3050	22
SK91	1990	27	60	1									2050	28
SK92	620	7											620	7
SK96	880	9	70	1									950	10
SK97	1790	22	100	1			130	1					2020	24
SK98	13950	104	230	1	1180	2							15360	107
SK99	21020	121	450	2	2570	6	360	1					24400	130
SK100	1020	10											1020	10
SK101	6900	62	410	3			290	1					7600	66
SK102	570	9			90	1							660	10

遺構	平		丸		軒		道具瓦		鬼瓦		刻印瓦		総重量	総破片数
	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数		
SK103	300	6	70	1									370	7
SK104	2977.7	47	390	3									3367.7	50
SK105	1110	20			120	2							1230	22
SK106	1920	27											1920	27
SK107	570	14											570	14
SK108	2350	42	60	1	40	1							2450	44
SK109	1950	24											1950	24
SK110	1580	34			860	2							2440	36
SK112	1410	19											1410	19
SK113	8100	82	920	4	1570	4							10590	90
SK115	4040	73	240	2	120	2							4400	77
SK116	3370	46			840	5							4210	51
SK117	12720	133	530	5	410	4	60	1					13724.7	144
SK118	1558.8	23	160	1	290	2							2008.8	26
SK119	12724.7	170	1120	8	550	6	1220	4					17179.4	188
SK120	2900	44	200	2	760	2	160	1					4020	49
SK121	7910	89	870	5	90	1							8870	95
SK122	130	1			100	1							230	2
SK123・124	110	2											110	2
SK125			80	1									80	1
SK127	1180	17	260	2									1440	19
SK128	4210	58	1930	10	160	1							6300	69
SK131	778.6	9	80	1	70	1							928.6	11
SK132	260	6											260	6
SK133	50	1											50	1
SK134	190	3	510	1									700	4
SK135	1307.8	35											1307.8	35
SK139	220	5			70	1							290	6
SK140	480	11											480	11
SK141	4950	41	300	2	170	1							5420	44
SK143	3380	52	960	3	50	1							4390	56
SK144	520.3	10											520.3	10
SK145	280	4											280	4
SK146	3094	37			219.8	4							3313.8	41
SK147	40	1											40	1
SK148	120	4											120	4
SK149	460	7			30	1							490	8
SK150	490	6											490	6
SK151	5000	72	430	3	60	1							5490	76
SK152	1240	29	130	1									1370	30
SK153	630	11			30	1							660	12
SK154	300	4											300	4
SK155	320	1											320	1
SK156	499.1	13											499.1	13
SK158	40	1											40	1
SK159	90	1											90	1
SK160	2890	27											2890	27
SK161	570	5											570	5
SK163	140	1											140	1
SK164	604.7	11	390	2									994.7	13
SK165	760	13	70	1	130	1							960	15
SK166	470	11											470	11
SK167	350	4											350	4
SK168	940	8											940	8



遺構	平		丸		軒		道具瓦		鬼瓦		刻印瓦		総重量	総破片数
	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数		
SK169	200	2											200	2
SK170	260	1											260	1
SK172	410	7	30	1	120	2							560	10
SK173	330	9											330	9
SK174	1360	18											1360	18
SK177	160	3											160	3
SK178	360	11											360	11
SK179	390	9			140	1							530	10
SK180	6700	204	590	5			100	1	80	1			7470	211
SK181	2200	48											2200	48
SK182	2970	45	90	1									3060	46
SK185	830	11	90	1	170	1							1090	13
SK186	50	1											50	1
SK187	520	6											520	6
SK188	2670	34	370	2	70	1							3110	37
SK189	80	2											80	2
SK190	1680	25	190	1									1870	26
SK191	220	2											220	2
SK192	260	6											260	6
SK193	260	4											260	4
SK194	2570	39			180	1							2750	40
SK195	310	5											310	5
SK202	100	1											100	1
SK203	13150	113	1930	10	1250	7	460	3					16790	133
SK214	4670	29											4670	29
SK216	7300	70	160	1	980	1							8440	72
SK218	110	1											110	1
SK219	2750	30	190	2	410	2			150	1			3500	35
SK220	5710	58	550	6									6260	64
SK221	4950.6	73	302.4	3	260	3							5513	79
SK222	1860	6											1860	6
SK223	210	3											210	3
SK224	1340	27	90	3									1430	30
SK225	1030	32	60	1									1090	33
SK226	3000	47			260	1			1072.8	4	180	1	4512.8	53
SK227	70	1											70	1
SK228	1890	21											1890	21
SK229	6900	45	390	3									7290	48
SK233	280	3											280	3
SK234	60	1											60	1
SK235	200	2											200	2
SK237	5650	49			100	1	650	1					6400	51
SK240	270	8	70	1									340	9
SK241	270	2											270	2
SK243	5365.7	75	240	3	130	2							5735.7	80
SK244	3430	61											3430	61
SK245	610	7											610	7
SK247	2800	46											2800	46
SK248	11863.5	143	960	4	1660	6			340	1			14823.5	154
SK249	10200	140	670	4	510	3			490	2			11870	149
SK250	120	3											120	3
SK251	60	1											60	1
SK253	520	4											520	4
SK254	180	4											180	4

遺構	平		丸		軒		道具瓦		鬼瓦		刻印瓦			
	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	総重量	総破片数
SK255	300	8											300	8
SK256	6380	85	700	7	1440	7	350	2					8870	101
SK257	2950	29	660	3					200	1			3810	33
SK259	5150	82	310	3	500	2			360	1			6320	88
SK260	2000	15	350	1	110	1							2460	17
SK261	600	5											600	5
SK262	1900	22	410	3									2310	25
SK263	7951.6	158	480	4									8431.6	162
SK264	3630	53	279.4	2					350	1			4259.4	56
SK266	12027	160	1010	10	360	3							13397	173
SK267	2360	37	130	1									2490	38
SK269	3780	41											3780	41
SK270	1900	31											1900	31
SK271	990	14											990	14
SK272	2500	23	270	3	300	4							3070	30
SK275	1060	16			100	1							1160	17
SK276	6404.5	52	308.3	3	250	1							6962.8	56
SK277	380	5											380	5
SK278	380	10											380	10
SK280	3950	29	460	2	50	1							4460	32
SK281	6120	59	140	3	90	1	620	1					6970	64
SK284	6650	53	130	1	60	2							6840	56
SK285	180	3			60	1							240	4
SK288	6800	64	330	4	120	1							7250	69
SK292	330	6											330	6
SK293	280	3											280	3
SK294	900	5											900	5
SK295	290	3											290	3
SK296	180	5											180	5
SK299	60	2											60	2
SK300	37960	596	1160	8	1150	6							40270	610
SK302	6360	83					410	4					6770	87
SK303	550	9											550	9
SK304	70	3											70	3
SK305	300	5											300	5
SK306	470	11											470	11
SK307	1100	16											1100	16
SK308	3350	50	290	1			260	2					3900	53
SK309	190	3											190	3
SK312	100	2											100	2
SK313	60	1											60	1
SK317			130	1									130	1
SK318	3360	47	370	2	1250	3							4980	52
SK319	480	9			630	1							1110	10
SK320	850	13	330	2									1180	15
SK321	2700	46											2700	46
SK322	1100	16			170	1							1270	17
SK323	1549.1	24	40	1									1589.1	25
SK324	3457.6	33											3457.6	33
SK325	2110	24											2110	24
SK329	790	7	120	1									910	8
P11			80	1									80	1
P15			80	1									80	1

第 241 表 第二面瓦計測表

重量 ( g ) 破片数 ( 個 )

遺構	平		丸		軒		道具瓦		鬼瓦		刻印瓦		総重量	総破片数
	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数		
埋桶 16	3270	36			80	1							3350	37
埋桶 20	3891.8	67	330	3	700	1							4921.8	71
埋桶 21	7120	60			740	1							7860	61
埋桶 22	180	2											180	2
SE2	2450	26											2450	26
SE3	280	6	90	1									370	7
SE4	1950	39											1950	39
SE5	2466.6	29	200	1									2666.6	30
SE6	88.4	5											88.4	5
SE7	820	15											820	15
SE8	279.8	14											279.8	14
SD13	1220	27	160	2	130	2							1510	31
SK332	7540	74	700	4	670	6			1050	1			9960	85
SK333	2700	48	60	1	600	1							3360	50
SK334	880	15	740	4	50	1							1670	20
SK335	3340	60											3340	60
SK336	840	11	100	2									940	13
SK337	580	2											580	2
SK338	380	8											380	8
SK339	400	3											400	3
SK340	130	2											130	2
SK342	30	1											30	1
SK343	24179.9	278	1920	13	1720	7							27819.9	298
SK344	113137.7	1241	4700	26	6630	38	1260	4					125727.7	1309
SK345	2790	39			90	1							2880	40
SK346	4300	56	370	2	110	1							4780	59
SK347	210	6											210	6
SK348	260	3											260	3
SK349	180	6											180	6
SK350	20	1											20	1
SK351	250	7											250	7
SK352	820	7											820	7
SK356	470	1											470	1
SK357	110	6											110	6
SK358	7550	89			1030	3	270	1					8850	93
SK359	250	4											250	4
SK360	140	2											140	2
SK361	1110	19											1110	19
SK362	230	7	60	1									290	8
SK364	700	13			120	1							820	14
SK365	470	4											470	4
SK368	6293.3	78	200	2	500	5							6993.3	85
SK370	620	12	280	1									900	13
SK372	1320	13			30	1							1350	14
SK376	110	1											110	1
SK378	80	2											80	2
SK379	200	2	540	1									740	3
SK383	170	6			130	1							300	7
SK386	350	4											350	4
SK387	7400	78	240	1	470	3							8110	82
SK388	720	5											720	5
SK391	440	12			270	1							710	13
SK394	250	1											250	1
SK396	310	3											310	3

遺構	平		丸		軒		道具瓦		鬼瓦		刻印瓦			
	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	総重量	総破片数
SK398	9449.3	129			140	1							9589.3	130
SK399	52.6	1											52.6	1
SK404	1600	15											1600	15
SK405	2100	45	140	1	410	3							2650	49
SK406	620	15	360	1									980	16
SK407	2970	56	160	2	30	1							3160	59
SK409	1330	25	90	1									1420	26
SK411	2950	40											2950	40
SK417	2750	12			160	1							2910	13
SK449	80	1											80	1
SK450	200	3											200	3
SK454	5740.3	69	121.1	2									5861.4	71
SK458	20	1											20	1
SK474	250	5											250	5
SK476	500	12											500	12
SK477	1630	19											1630	19
SK481			1360	6	270	3							1630	9
SK481 攪乱	23710	435	1290	12	960	5							25960	452
SK482	322.5	8			140	1							462.5	9
SK484	300	7											300	7
SK485	377.9	43											377.9	43
SK488	340	6											340	6
SK506	600	8											600	8
SK511	80	3											80	3
P25	50	2											50	2

第 242 表 第三面瓦計測表

重量 ( g ) 破片数 ( 個 )

遺構	平		丸		軒		道具瓦		鬼瓦		刻印瓦			
	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	総重量	総破片数
SD29	290	21											290	21
SK473	410	8											410	8
SK495	590	7											590	7
SK497	1655.1	30	80	1									1735.1	31
SK500	26039.1	324	1860	12	1140	10							29039.1	346
SK523	5.3	1											5.3	1
P66	340	5			150	1							490	6



第246表 第一面出土種子類一覽

遺構	SBI 西辺			SBI 北辺			基礎3			基礎4			杭列5			杭列6			SD32			SK1			SK6					
	完形	完形未満	半分	破片数	総数	完形	完形未満	半分	破片数	総数	完形	完形未満	半分	破片数	総数	完形	完形未満	半分	破片数	総数	完形	完形未満	半分	破片数	総数	完形	完形未満	半分	破片数	総数
モモ	1				1	2	4	2	6	1	2			3	1	1			1		1					1			1	0
クルミ																														
カボチャ															1							23								24
不明								6	0																					

遺構	SK10			SK11			SK13			SK21			SK22			SK23			SK24			SK38			SK39					
	完形	完形未満	半分	破片数	総数	完形	完形未満	半分	破片数	総数	完形	完形未満	半分	破片数	総数	完形	完形未満	半分	破片数	総数	完形	完形未満	半分	破片数	総数	完形	完形未満	半分	破片数	総数
モモ	1				1	2	4	1	2					1							1							3	3	
クルミ										1																				
カボチャ	1	22		23							2		11	2											1				1	1
ギンナン																1														
不明																				38	0					1			1	1

遺構	SK45			SK52			SK56			SK58			SK59			SK65			SK71			SK99			SK101						
	完形	完形未満	半分	破片数	総数	完形	完形未満	半分	破片数	総数	完形	完形未満	半分	破片数	総数	完形	完形未満	半分	破片数	総数	完形	完形未満	半分	破片数	総数	完形	完形未満	半分	破片数	総数	
モモ	1				1	11	3	14	1	2	1	3	1	1	1	1	3	1	4	1	3	1	3	1	3	1	1		1	1	
マツ										1				1																	
ウメ																															
不明										87						87					1										

遺構	SK108			SK110			SK165			SK116			SK117			SK119			SK128			SK135			SK172							
	完形	完形未満	半分	破片数	総数	完形	完形未満	半分	破片数	総数	完形	完形未満	半分	破片数	総数	完形	完形未満	半分	破片数	総数	完形	完形未満	半分	破片数	総数	完形	完形未満	半分	破片数	総数		
モモ	1	1			2	4	4	1	5	2	2	1	4	5	4	4	4	1	1	1	1	1					1			1		
クルミ																																
ギンナン										8	0																					
ウメ											1			1																		
スギ(球果)																																
落花生																																
不明																																





第247表 第二面出土種子類一覽

遺構	桶19			桶20			SF2			SF8			SD13			SK332			SK333			SK340			SK343			SK344		
	完形	破片数	総数	完形	破片数	総数	完形	破片数	総数	完形	破片数	総数	完形	破片数	総数	完形	破片数	総数	完形	破片数	総数	完形	破片数	総数	完形	破片数	総数	完形	破片数	総数
モモ	1		1	1	1	1	4	3	2	1	6				7			1	10	34			44	6	1	2			7	
クルミ										1																				
オニグルミ																														
カボチャ(ヘタ)																														
マツ																														
ウメ																														
スモモ																														
メロン仲間	30	2	32																											
不明			7	0																										

遺構	SK345			SK346			SK356			SK365			SK372			SK387			SK388			SK391			SK405			SK407		
	完形	破片数	総数	完形	破片数	総数	完形	破片数	総数	完形	破片数	総数	完形	破片数	総数	完形	破片数	総数	完形	破片数	総数	完形	破片数	総数	完形	破片数	総数	完形	破片数	総数
モモ			170	3	173	1				1	1	1																		
クルミ			1		1																									
オニグルミ																														
ウメ																														
茸類																														

遺構	SK409			SK410			SK440			SK447			SK452			SK454			SK468			SK476			SK477			SK481		
	完形	破片数	総数	完形	破片数	総数	完形	破片数	総数	完形	破片数	総数	完形	破片数	総数	完形	破片数	総数	完形	破片数	総数	完形	破片数	総数	完形	破片数	総数	完形	破片数	総数
モモ			4			4			1																					
オニグルミ																														
マツ																														
ウメ	1		1																											
スモモ																														
茸類																														

遺構	SK482			SK484			SK485			SK486			遺構外			
	完形	完形未 満	半分 破片数	完形	完形未 満	半分 破片数	完形	完形未 満	半分 破片数	完形	完形未 満	半分 破片数	完形	完形未 満	半分 破片数	総 数
モモ	3		3 3	1	1		2	1		1	2	1	3			6
オニグルミ					1											
ウメ			1 1 1													
クリ			2 0													

第248表 第三面出土種子類一覧

遺構	SK473			SK473 トレンチ			SK497			SK500			SK523			SK531			P 50			遺構外						
	完形	完形未 満	半分 破片数	完形	完形未 満	半分 破片数	完形	完形未 満	半分 破片数	完形	完形未 満	半分 破片数	完形	完形未 満	半分 破片数	完形	完形未 満	半分 破片数	完形	完形未 満	半分 破片数	完形	完形未 満	半分 破片数	完形	完形未 満	半分 破片数	総 数
モモ	16	2	3	21	3	1	4	3	17	2	22	151	25	16	192	2			2	1		1	1	12	8	20		
クルミ			2										2		2													
オニグルミ			1											2														
ギンナン												1			1													
マツ	1	1		2	2	1				3		1	1		2													
ウメ												1			1													
スギ	2											1			1													
スモモ	1	1		2	1					1		1	3	1	5								1					
クリ	1	1	14	2						1	5	1																
トチノキ										4	0	1			1													
ムクロジ												3	5		8													
不明				5	1							1			1													

第 249 表 第一面出土骨類一覽表

遺構	SB1		桶 3		桶 7		杭列 5		SD1		SD32		SK21	
	重量	破片	重量	破片	重量	破片	重量	破片	重量	破片	重量	破片	重量	破片
魚類	0.3	1			80.3	9					13.0	1	6.8	1
哺乳類			1.0	1					36.0	1				
爬虫類					1.9	1								
鳥類							17.5	8						

遺構	SK58		SK95		SK117		SK185		SK220		SK221		SK245	
	重量	破片	重量	破片	重量	破片	重量	破片	重量	破片	重量	破片	重量	破片
魚類			55.7	1					59.5	5	122.1	40		
哺乳類	2.7	1			11.4	1							25.8	1
鳥類							1.6	1						

遺構	SK249		SK263		SK265		SK266		SK270		SK302		グリッド	
	重量	破片	重量	破片	重量	破片	重量	破片	重量	破片	重量	破片	重量	破片
魚類	12.9	1			19.0	3	1.1	1	8.4	1			26.4	8
哺乳類			1.7	1							9.9	2	13.6	1
鳥類									3.5	5			24.9	1

重量：g

第 250 表 第二面出土骨類一覽表

遺構	桶 16		桶 20		桶 21		SK335		SK336		SK338		SK344	
	重量	破片	重量	破片	重量	破片	重量	破片	重量	破片	重量	破片	重量	破片
魚類	1.5	4	25.2	43	7.7	1	26.7	7	4.5	1	2.0	2	36.4	6
哺乳類													445.3	13

遺構	SK346		SK351		SK368		SK372		SK407		SK411		SK452	
	重量	破片	重量	破片	重量	破片	重量	破片	重量	破片	重量	破片	重量	破片
魚類			0.7	1			9.1	2	2.9	1				
哺乳類													38.5	1
爬虫類					8.7	3					87.6	1		
鳥類			0.9	1										
不明	0.7	1												

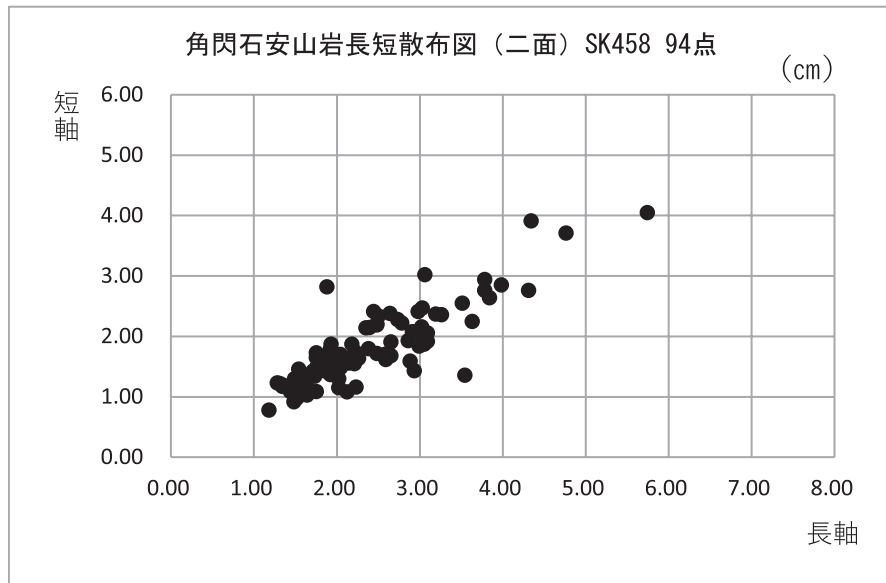
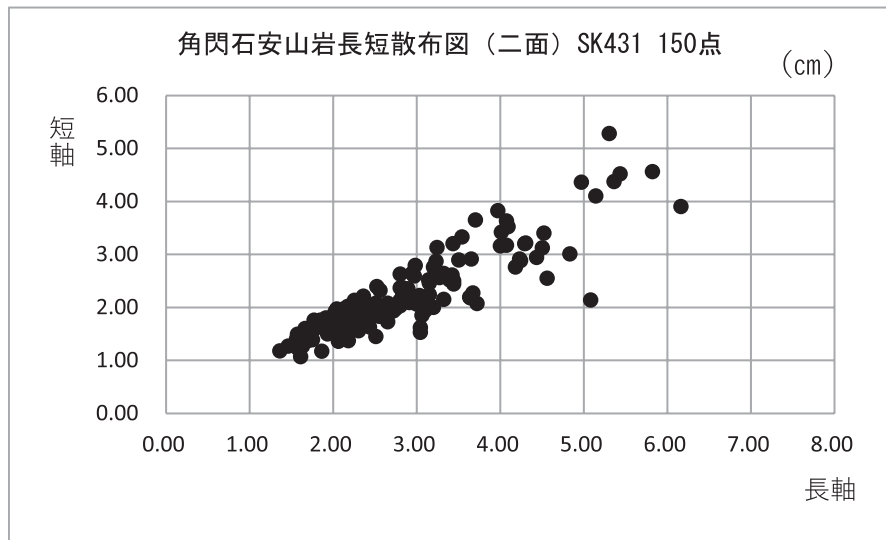
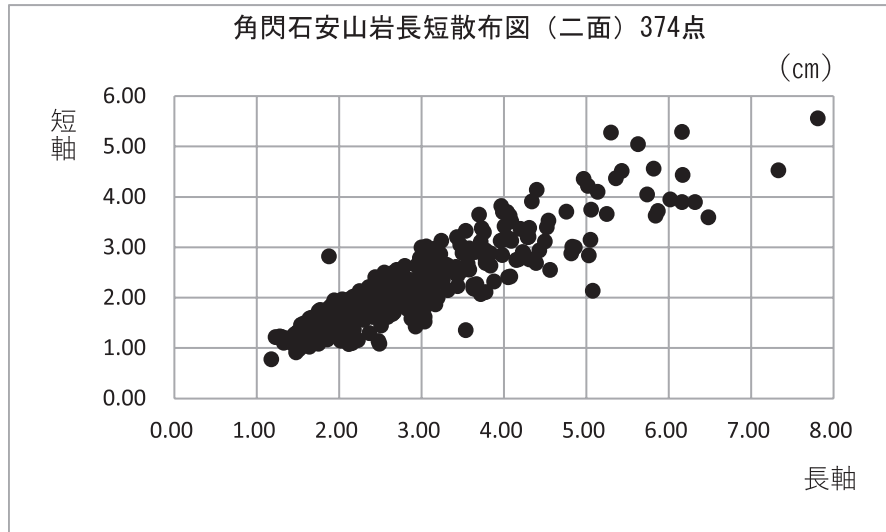
遺構	SK486		SK510		P 25		遺構外	
	重量	破片	重量	破片	重量	破片	重量	破片
魚類					2.2	1		
哺乳類	1564.7	136	4.5	1			15.4	2

重量：g

第251表 第三面出土骨類一覧表

遺構	SK473 南北トレンチ下層		SK497		SK500		SK523		SK531		
	重量	破片	備考	重量	破片	備考	重量	破片	重量	破片	備考
魚類				29.3	7						
哺乳類	6.7	1	873.5			362.8	3	細片多数 削痕あり	132.2	2	細片多数
爬虫類				17.6	8						
鳥類				41.0	12						

重量：g



第742図 角閃石安山岩転籙計測図

第 252 表 第一面遺構時期推定一覧表

遺構	遺構新旧関係	最新期出土陶磁器 備考	推定時期
SB1	SK154・166・173・218・222より古 SK151・220・221・276より新	SK220・221 と接合関係。瀬戸美濃系磁器卵殻手坏・爛徳利。産地不詳鉄釉香炉あり。文久永寶あり。SK221 からの混入遺物が多量。明確な近代遺物なし。	8-9 期カ
SB2		瀬戸美濃系磁器丸腰坏・湯呑形碗・頸部隆起線の爛徳利。陶器炆器質急須。	8-9 期
SB3	桶 2、SK60・70・80・96・97・P13 より古 SD6 ～ 8 より新	瀬戸美濃系磁器急須、陶器灰釉土瓶（鉄分斑状）。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付丸碗形坏は混入カ。近代遺構の重複激しい。	8-9 期
SB6	SK296 より新	基礎北辺（旧 SD3）陶磁器極少。土器片。 基礎西辺（旧 SK130）瀬戸美濃系磁器多色刷り銅版転写染付磁器・輪高台爛徳利。 基礎南辺（旧 SK136）銅版転写染付磁器主体（多色刷り含む）。 基礎東辺（旧 SK297）陶磁器極少。萩系陶器碗。	9 期
基礎 1		旧 SK298 陶磁器極少。肥前系磁器湯呑形碗。	(7-8 期)
基礎 2		旧 SK142 陶磁器なし。	-
基礎 3	SK304 より新	旧 SK201 銅版転写染付端反形坏 c、酸化クロム青磁釉長筒形坏。	9 期
基礎 4	SK228 より新	旧 SK198 陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器色絵金彩湯呑形碗。	(9 期)
基礎 5		旧 SK232 陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器蛇ノ目凹形高台皿。	(8-9 期)
基礎 6		旧 SK217 陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付爛徳利。	(9 期)
桶 1	SK319 より新	陶磁器なし。	[9 期]
桶 2	SB3、SK83、P13 より新	陶磁器極少。陶器近代緑色釉下彩碗。	(9 期)
桶 3		陶磁器極少。肥前系磁器小丸碗、京都系柚子形水滴。桶 4・7 と一連の遺構	(9 期)
桶 4	SK39・40 より古	陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付爛徳利。桶 3・4 と一連の遺構	
桶 7		SD2 と接合関係。陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器端反形碗。桶 3・4 と一連の遺構	
桶 3・4・7 掘り方	SK39・40 より古	旧 SK79 下層出土の 18 世紀前半の陶磁器は混入。	-
桶 5	SD2 より新	陶磁器なし。	[8 期 -] カ
桶 6		旧 SK111、P14。陶磁器極少。18 世紀の陶磁器のみ。	-
桶 8		瀬戸美濃系磁器卵殻手坏、大堀相馬系陶器鉢（胎土砂鉄含）。	8 期
桶 9		陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器端反形碗、肥前系磁器染付銘高台低蛇ノ目凹形高台皿	(7 期)
桶 10	SK221 より新	SK221 と接合関係。土器主体。硬質瓦質筒形火鉢。	[8 期 -]
桶 11		陶磁器なし。	-
桶 12	SK249 より新	陶磁器なし。	-
桶 15		瀬戸美濃系磁器湯呑形碗（小法量の丸碗形）、卵殻手坏。	8 期
桶 23	SD2 より新	旧 桶 1 木桶 1 と接続 陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器坏形の小型湯呑形碗。	(9 期)
甕 1	杭列 1 より新	陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器小型御神酒徳利。瓦質土器大甕・土管。	(9 期)
杭列 1		区画施設 遺構の掘り込みなし。出土遺物は遺構外出土遺物扱い。重複する土壌はすべて酸化コバルト染付段階。	-
杭列 3		区画施設 遺構の掘り込みなし。出土遺物は遺構外出土遺物扱い。	-
杭列 5	SK221・329 より新	区画施設 遺構の掘り込みなし。出土遺物は遺構外出土遺物扱い。	-
杭列 6		区画施設 遺構の掘り込みなし。出土遺物は遺構外出土遺物扱い。	-
木桶 1	焼土 5b より古 焼土 5c より新	桶 23 に接続 瀬戸美濃系磁器坏形の小型湯呑形碗	[9 期]
SD1	SK32・49 より古	区画施設 近代遺物の小破片が多数あるが第 32 号土壌との重複関係から混入と考えられる。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付爛徳利。酸化コバルト染付平碗最新。瀬戸美濃系磁器卵殻手坏、陶器トビガンナ行平鍋。	9 期
SD2	桶 5・23、SK53・66・247 より古	区画施設 第 300 号土壌と接合関係。18 世紀末の陶磁器類主体。肥前系磁器蛇ノ目高台筒形碗、瀬戸美濃系陶器鎚茶碗あり。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付端反形坏 c、型紙摺絵染付平碗最新。旧杭列 4 吸収。複数回の改修カ。最初の廃絶は 5-6 期。	[9 期]
SD4		陶磁器極少。京都信楽系陶器小杉碗。	-
SD5		陶磁器なし。	-
SD6	SB3・SK92・93 より古	陶磁器なし。SD6 ～ 12 同時期開削。	(5 期 -)
SD7	SB3・SK92・93・94 より古	陶磁器なし。SD6 ～ 12 同時期開削。	(5 期 -)
SD8	SB3・SK92・94・96 より古	陶磁器なし。SD6 ～ 12 同時期開削。	(5 期 -)
SD9	SK92・94・96 より古	陶磁器なし。SD6 ～ 12 同時期開削。	(5 期 -)
SD10	SK96・134 より古	陶磁器極少。SD6 ～ 12 同時期開削。波佐見系磁器粗製碗、肥前磁器輪高台猪口。	(5 期 -)
SD11	SK113・134 より古	陶磁器なし。SD6 ～ 12 同時期開削。	(5 期 -)



遺構	遺構新旧関係	最新期出土陶磁器 備考	推定時期
SD12	SK112・113より古	陶磁器なし。SD6～12同時期開削。	(5期-)
SD32	SK19・78より新	旧杭列2。区画施設。杭列4を吸収。SK300と接合関係。酸化コバルト染付磁器主体。銅版転写染付端反形坏c。	9期
焼土1	SK179・189・208より古	旧SK209・210 陶磁器少量。瀬戸美濃系陶器水甕。他は土器類。	[6-8期]
焼土2a	焼土2b・3より新	旧SK17 瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付平碗。	9期
焼土2b	焼土2aより古	旧SK16 陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付皿。	(9期)
焼土3	焼土2aより古	旧SK27 陶磁器なし。	[-9期]
焼土4	SK65より新	旧SK33 陶磁器極少。瓦質土器竈鏝。	[9期]
焼土5a		旧SK77 陶磁器なし。	-
焼土5b	木樋1、焼土5cより新	旧SK68 瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付平碗。	9期
焼土5c	SK41、木樋1、焼土5bより古	旧SK67 瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付丸碗。	9期
焼土6		旧SK315 陶磁器なし。	-
SK1	SK91より新	SK182と接合関係。陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付端反形坏c。瀬戸美濃系磁器爛徳利、萬古陶器急須蓋。甕に明治式拾八年の墨書。	(9期)
SK2	SK91より新	陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器湯呑形碗、灰釉土瓶。	[9期]
SK3	SK78・91より新	陶磁器極少。陶器柿釉鍋。	[9期]
SK4	SK78より新	陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付輪高台皿、地方窯系急須。	[9期]
SK5	SK6・65より新	陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器篆刻文「木」端反形小碗。	[9期]
SK6	SK5より古 SK65より新	瀬戸美濃系磁器銅版転写染付急須の蓋。酸化コバルト瑠璃釉仏飯器あり。	9期
SK7		陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付丸碗。	(9期)
SK8		陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付端反形坏・急須。	(9期)
SK9	SK10より新	陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器多色刷り銅版転写染付端反形坏、酸化クロム青磁釉坏。	(9期)
SK10	SK9より古	瀬戸美濃系磁器多色刷り銅版転写染付端反形坏b。	9期
SK11	SK12より古	瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付丸碗(緑色釉下彩)。陶器飴釉土鍋蓋。	9期
SK12	SK73より古 SK11・122より新	陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付爛徳利。SK12・73間の陶磁器の年代が逆転。	(9期)
SK13	SK14より新	瀬戸美濃系磁器銅版転写染付爛徳利・蓮華。	9期
SK14	SK13より古	陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付筒形坏、淡路珉平焼蓮華。銅版転写染付磁器蓋は混入カ	9期
SK15		陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器湯呑形碗。瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付丸碗。	(9期)
SK18		陶磁器極少。土師質土器丸底焙烙のみ。	-
SK19	SD32より古 SK22より新	陶磁器なし。	[9期]
SK20		SK24と接合関係。陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付坏	(9期)
SK21	SK22より古	SK22と接合関係。陶磁器多量。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付平碗最新。酸化コバルト染付製品少量。型押寿文皿・坏主体。	9期
SK22	SK19より古 SK21より新	SK21と接合関係。瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付皿。	9期
SK23	SK24より古	酸化コバルト染付磁器。	9期
SK24	SK23より新	瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付端反形坏a。	9期
SK25		陶磁器極少。三河産箱形焔炉。	(9期)
SK26		陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付急須。	(9期)
SK28	SK29より新	SK29・322と接合関係。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付平碗。	9期
SK29	SK28より古	SK28・322と接合関係。瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付皿。	9期
SK30		瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付急須。	9期
SK31		瀬戸美濃系磁器多色刷り銅版転写染付湯呑形碗「商標登録味噌醬油製造吉永商店印」	9期
SK32	SD1より新	瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付皿。常滑系陶器土管。	9期
SK34	SK101より新	陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付平碗、磁器タイル。	[9期]
SK35		陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器多色刷り銅版転写染付平碗。陶器羽釜。	(9期)
SK36	SK42より古	陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器端反形碗。京都信楽系陶器灯火具。陶器鉄軸行平鍋蓋。	(8期)
SK37	SK39より新	陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付丸碗形坏。	[9期]
SK38		瀬戸美濃系磁器銅版転写染付飯碗。	9期
SK39	SK37より古 桶3・4・7より新	瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付平碗。	9期
SK40	桶4より新	SK52と接合関係。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付端反形坏c。	9期
SK41	焼土5c、SK76より新	陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付平碗。	9期

遺構	遺構新旧関係	最新期出土陶磁器 備考	推定時期
SK42	SK36 より新	瀬戸美濃系磁器吹絵多色釉下彩筒形湯呑、勤労者親和会銘長筒形湯呑、多色釉下彩飯碗。	9期
SK43a	SK43b より新	陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付皿。	(9期)
SK43b	SK43a より古		
SK44		SK65 と接合関係。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付端反形環 b。	9期
SK45	SK46 より新	陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器酸化クロム青磁釉環	(9期)
SK46	SK45 より古 SK47 より新	陶磁器極少。土師質土器丸底焙烙のみ。	[8-9期]
SK47	SK46 より古	陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器陽刻文型皿。陶器トビガンナ行平鍋。	(8期)
SK48	SK49・101 より新	陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付皿。	(9期)
SK49	SK48 より古 SD1 より新	陶磁器なし。	[8-9期] カ
SK50		陶磁器なし。	-
SK51		陶磁器極少。陶器白土染付土瓶。	(8期-)
SK52	SK69・71 より古	SK148・226 と接合関係。陶磁器極多量。ゴム印判染付磁器・銅版転写染付磁器などは少量のため近代遺物は混入。瀬戸美濃系磁器型押寿文皿・環、卵殻手環最新。陶器土瓶類主体。珪藻土焼炉は混入。	9期
SK53	SD2 より新	瀬戸美濃系磁器飯碗、銅版転写染付端反形環 c。	9期
SK54		陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器多色釉下彩皿・鉢、銅版転写染付端反形環 c	9期
SK56	SK57 より古	SK59 と接合関係。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付平碗・端反形環 c。	9期
SK57	SK56 より新	瀬戸美濃系磁器ゴム印判染付飯碗・鉢。磁器糊容器。珪藻土焼炉。	9期
SK58		瀬戸美濃系磁器銅版転写染付平碗。硬質陶器洋皿。	9期
SK59		SK56 と接合関係。瀬戸美濃系磁器東洋軒平八銘ゴム印判染付飯碗。角田屋肥料店銘釉磁器皿。酸化クロム練り込み手湯呑。明治前半の遺物が一定量あり。2基の土壇か。	9期
SK60	SB3 より新	瀬戸美濃系磁器ゴム印判染付飯碗、単色釉飯碗、クロム練り込み手丸腰湯呑。磁器フック。	9期
SK62		SK63 と接合関係。瀬戸美濃系磁器碍子。土師質土器練灰おこし。	9期
SK63		SK62 と接合関係。薄手の体部直線に開く飯碗、金屋酒店銘長筒角腰湯呑、小野ベーカリー栗橋駅通り銘短筒角腰湯呑、西村屋呉服店銘飯碗、くりはし柿沼薬局銘丸腰湯呑、朝日新聞創刊七十五周年記念栄螺短筒角腰湯呑。	9期
SK64		瀬戸美濃系磁器環形湯呑形小碗・卵殻手環。大堀相馬系陶器胎土鉄分斑状土瓶。	8期
SK65	SK5・6・焼土4 より古	SK44 と接合関係。瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付碗・皿。瀬戸美濃系磁器環形の湯呑形小碗	8・9期
SK66	SD2 より新	瀬戸美濃系磁器単色釉(茶)平碗、銅版転写染付飯碗、長筒丸腰湯呑。	9期
SK69	SK52 より新	陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付丸碗。	(9期)
SK70	SB3 より新	瀬戸美濃系磁器ゴム印判染付飯碗。磁器酸化クロム練り込み手急須・蓋。東洋陶器會社銘ティーカップ&ソーサー。四万温泉三木屋旅館銘湯呑。統制番号磁器ボトル。	9期
SK71	SK52 より新	瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付端反形環。	9期
SK72		瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付端反形環。	9期
SK73	SK75 より古 SK12 より新 SK73 と重複	瀬戸美濃系磁器銅版転写染付端反形環 c。常滑系大甕の破片が SK337 出土の本体と接合。	9期
SK75	SK73 より新	陶磁器少量。個体資料豊富。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付端反形環 c。	9期
SK76	SK41 より古	陶磁器なし。	-
SK78a	SK3・4 より古 SK91 より新	SK89・91 と接合関係。瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付磁器皿は a に伴うものか。瀬戸美濃系磁器篆刻文「木」端反形碗、環形湯呑形小碗、型押寿文皿。	8・9期
SK78b	SK78a より新		
SK80	SB3 より新	SK81・82 を吸収。瀬戸美濃系ゴム印判染付磁器主体。覆土に焼土塊・炭化物。	9期
SK83	桶2 より古 SK85 より新	瀬戸美濃系磁器ゴム印判染付丸腰湯呑。硬質陶器茶瀝し半球状土瓶。覆土に焼土塊・炭化物。	9期
SK84	SK85 より新	ゴム印判染付磁器主体。瀬戸美濃系磁器ゴム印判染付丸腰湯呑。硬質陶器茶瀝し半球状土瓶。覆土に焼土塊・炭化物多量。	9期
SK85	SK83・84 より古	陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付端反形環 c。覆土に焼土塊・炭化物。	(9期)
SK86	SK87 より新	瀬戸美濃系磁器ゴム印判染付丸腰湯呑。代用陶器羽釜。覆土に焼土塊・炭化物。	9期
SK87	SK86 より古 SK88 より新	瀬戸美濃系磁器ゴム印判染付飯碗。磁器洋皿。覆土に焼土塊・炭化物。	9期
SK88	SK87 より古	ゴム印判染付磁器主体。瀬戸美濃系磁器ゴム印判染付飯碗。硬質陶器洋皿。	9期
SK89		SK78 と接合関係。瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付皿1点は混入。瀬戸美濃系磁器環形湯呑形小碗・卵殻手環最新。ペトルス・レギー社製端反形碗。	8-9期
SK90		瀬戸美濃系磁器環形湯呑形小碗。型成形の淡青釉小皿は混入か。	8-9期
SK91	SK1・2・3・78 より古	SK78 と接合関係。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付端反形環 c、酸化クロム青磁釉鏤文環。	9期
SK92	SK93・SD6~9 より新	ゴム印判染付磁器主体。瀬戸美濃系磁器ゴム印判染付丸腰湯呑。磁器単色釉碗。	9期
SK93	SK92 より古 SD6・7 より新	ゴム印判染付磁器主体。瀬戸美濃系磁器ゴム印判染付飯碗。磁器酸化クロム練り込み手急須、硬質陶器茶瀝し半球状土瓶。	9期

遺構	遺構新旧関係	最新期出土陶磁器 備考	推定時期
SK94	SD8・9より新	ゴム印判染付磁器最新。銅版転写染付磁器主体。硬質陶器急須。	9期
SK95		陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器多色刷り銅版転写染付端反形坏。	(9期)
SK96	SB3・SD7～10より新	ゴム印判染付磁器主体。瀬戸美濃系磁器ゴム印判染付飯碗。硬質陶器茶漉し半球状急須。	9期
SK97	SB3より新	ゴム印判染付磁器主体。瀬戸美濃系磁器ゴム印判染付飯碗。陶器煮蘭鍋。	9期
SK98		ゴム印判染付磁器主体。瀬戸美濃系磁器ゴム印判染付飯碗。光陽陶器會社銘ティーカップ。	9期
SK99		ゴム印判染付磁器主体。瀬戸美濃系磁器ゴム印判染付飯碗。栗橋町酒類醤油中田屋店銘瀬戸美濃系磁器端反形坏c。満洲上海事変凱旋祝賀繪銘盃。	9期
SK100	SK180より古	銅版転写染付磁器主体。	9期
SK101	SK34・48より古	瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付端反形坏・篆書体文「木」端反形碗。酸化コバルト染付磁器極少。文久永寶出土。	9期
SK102	SK108より新	SK103と接合関係。銅版・多色刷り銅版転写染付主体。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付平碗。	9期
SK103	SK104より新	SK102と接合関係。型紙摺絵染付磁器主体。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付平碗。	9期
SK104	SK103より古	銅版転写・型紙摺絵染付主体。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付平碗。SK106と接合関係あり。	9期
SK105		瀬戸美濃系磁器銅版転写染付坏。	9期
SK106		18世紀末の磁器主体。陶器は18世紀末に遡る物は認められない。下層遺構を巻き込む。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付坏、型紙摺絵染付丸碗、酸化コバルト染付急須、型押寿文皿。SK104と接合関係あり。	9期
SK107		「商標武藏國加須町字賀田喜助」銘瀬戸美濃系磁器銅版転写染付輪高台燗德利。	9期
SK108	SK102より古 SK256より新	瀬戸美濃系磁器銅版転写染付端反形坏c、多色釉下彩飯碗。	9期
SK109	SK110より古	銅版転写染付磁器主体。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付平碗。	9期
SK110	SK109より新	銅版・多色刷り銅版転写染付磁器主体。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付平碗。	9期
SK112	SD12より新	瀬戸美濃系磁器銅版転写染付平碗。多色刷り銅版転写染付磁器。	9期
SK113	SK134より古 SD11・12より新	銅版転写染付磁器主体。瀬戸美濃系磁器多色刷り銅版転写染付丸腰湯呑、単色釉(茶)平碗。	9期
SK114		陶磁器極少。地方窯系陶器。	(9期)
SK115		陶磁器多量。銅版転写染付磁器主体。瀬戸美濃系磁器単色釉長筒形湯呑。陶器羽釜。	9期
SK116	SK303より新	瀬戸美濃系磁器卵殻手坏・坏形湯呑形小碗。	8-9期
SK117	SK329より新	ゴム印判染付磁器主体。瀬戸美濃系磁器ゴム印判染付飯碗。硬質陶器茶漉し半球状急須。	9期
SK118		SK119と接合関係。銅版転写染付磁器主体(多色刷り含む)。瀬戸美濃系磁器多色刷り銅版転写染付平碗。	9期
SK119		SK118と接合関係。銅版転写染付磁器主体(多色刷り含む)。瀬戸美濃系磁器多色刷り銅版転写染付端反形坏c。陶器羽釜は混入。	9期
SK120	SK131より新	ゴム印判染付磁器主体。瀬戸美濃系磁器ゴム印判染付飯碗、単色釉(茶)平碗。	9期
SK121		銅版転写染付磁器主体(多色刷り含む)。瀬戸美濃系磁器多色刷り銅版転写染付端反形坏c。土器質胎土衛生陶器(小)。	9期
SK122	SK12より古	陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付急須の蓋。	(9期)
SK123	SK124より古	陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器片。他は肥前系磁器。	(6期-)
SK124	SK123より新	陶磁器なし。	[6期-]
SK125		陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付燗德利。	(9期)
SK127	SK128より新	陶磁器少量。型紙摺絵染付磁器主体。瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付丸碗。	(9期)
SK128	SK127より古 SK256より新	瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付丸碗はSK127からの混入。瀬戸美濃系磁器卵殻手坏、坏形湯呑形小碗。信楽産大型甕。	[8-9期]
SK129		旧SK273 瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付坏。瓦質土器土管。胎土土器質衛生陶器。旧SK273は肥前系磁器小広東碗・小丸碗主体。肥前系磁器広東碗。近代遺物は混入カ。	5期カ
SK131	SK120より古	陶磁器少量。三田系青磁坏。瀬戸美濃系磁器坏形湯呑形小碗。	(9期)
SK132		陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付丸碗。	(9期)
SK133		陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付端反形坏c(吹き絵)。	(9期)
SK134	SD10・11・ SK113より新	陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器ゴム印判染付飯碗。	[9期]
SK135		陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器湯呑形碗。京都信楽系陶器灯明皿。陶器青土瓶。	(7期)
SK137		陶磁器少量。磁器は肥前系のみ。肥前系磁器八角鉢(大型)。	(6期)
SK138		SK140と接合関係。陶磁器極少。肥前系磁器八角鉢。	(6期-)
SK139		陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器燗德利。萬古系急須の蓋。	(8-9期)
SK140		SK138と接合関係。陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器体部隆線1条廻る丸腰坏、体部直線的の端反形坏。	(9期)
SK141		陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付急須。	(9期)
SK143		瀬戸美濃系磁器酸化クロム青磁釉長筒形湯呑は混入カ。瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付丸碗。	9期
SK144	SK145より新	陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付丸碗。	(9期)
SK145	SK144より古	陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付燗德利。	[9期]
SK146		瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付丸碗。	(9期)
SK147		陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器坏形の湯呑形小碗。京都信楽系陶器灯明皿。	(8期)
SK148	SK282より新	SK52・226と接合関係。陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器型押寿文坏。	(8期)
SK149		陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付端反形碗。	(9期)
SK150		陶磁器極少。近代遺物無し。近世カ。	-



遺構	遺構新旧関係	最新期出土陶磁器 備考	推定時期
SK151	SB1 より古	型紙摺絵・酸化コバルト染付主体。瀬戸美濃系磁器酸化クロム青磁釉鍍文長筒形坏、型紙摺絵染付急須の蓋。	9期
SK152	SK253 より新	陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付端反形坏 c は混入か判断難。瀬戸美濃系磁器端反形碗。	(6-9期)
SK153	SK229・285 より新	陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器型押寿文坏。	(8-9期)
SK154	SB1 より新	SK155 と接合関係。瀬戸美濃系磁器坏形の湯呑形小碗。陶器爛徳利。	8期
SK155		SK154 と接合関係。肥前系磁器湯呑形碗。陶器青土瓶。	(7期)
SK156		瀬戸美濃系磁器卵殻手坏 (銘「原勢製」)。陶器白土染付土瓶。	8期
SK157		陶磁器なし。	-
SK158		陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器卵殻手坏。	(8期)
SK159		陶磁器極少。肥前系磁器のみ。	-
SK160	SK285 より新	SK172 と接合関係。肥前系広東碗・小丸碗主体。瀬戸美濃系磁器端反形碗、肥前系磁器八角鉢が最新。	6-7期
SK161		SK162 を吸収。陶磁器極少。肥前系磁器小丸碗。瀬戸美濃系陶器 2 合半灰釉徳利。18 世紀後半以降。	-
SK163		陶磁器極少。肥前系磁器八角鉢。陶器灯明皿。	(7-9期)
SK164		陶磁器極少。肥前系磁器八角鉢。	(7期)
SK165	SK285 より新	瀬戸美濃系磁器坏形の湯呑形小碗。大堀相馬系陶器碗。陶器三彩文急須の落し蓋。	8期
SK166	SB1・SK173 より新	陶磁器少量。瀬戸美濃系酸化コバルト染付筒形坏。	(9期)
SK167		陶磁器極少。瀬戸美濃系酸化コバルト染付丸碗・急須	(9期)
SK168	SK183・203 より新	陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付爛徳利。	(9期)
SK169		陶磁器少量。肥前系磁器広東碗・小広東碗。18 世紀後半の陶磁器のみ。	(5期)
SK170		陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付丸碗・急須。	(9期)
SK171		陶磁器極少。瀬戸美濃系餌猪口。陶器土瓶。	(7期-)
SK172		SK160 と接合関係。瀬戸美濃系磁器盃・卵殻手坏。	8期
SK173	SK166 より古 SB1 より新	陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器体部直線的の端反形坏。陶器急須の落し蓋。	(8-9期)
SK174	SK188・203 より新	SK266・279 と接合関係。瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付皿。端反形碗や八角鉢等の近世陶磁器は重複遺構からの混入。	9期
SK175		陶磁器なし。	-
SK176		陶磁器なし。	-
SK177		陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器卵殻手坏。	(8期)
SK178	SK203 より新	陶磁器少量。肥前系磁器八角鉢。京都信楽系陶器灯明皿。	[8-9期]
SK179	焼土 1・SK203 より新	陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付蓮華。	(9期)
SK180	SK100 より新	銅版転写染付磁器主体。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付平碗・端反形坏 c。ヨーロッパ系陶器坏。	9期
SK181	SK182 より新	陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付碗。SK182 と陶磁器の年代逆転。	[9期]
SK182	SK181 より古	SK1 と接合関係。銅版転写染付磁器 (多色刷り含む) 主体。瀬戸美濃系磁器多色刷り銅版転写染付端反形坏 c。近世磁器が目立つ。	9期
SK183	SK168 より古 SK203 より新	陶磁器なし。	[9期]
SK184	SK185 より新	陶磁器なし。	[9期]
SK185	SK184 より古	SK188 と接合関係。瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付丸碗。瀬戸美濃系磁器湯呑形碗主体。地方窯陶器目立つ。	9期
SK186		陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付急須。	(9期)
SK187		陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器型押寿文坏。	(9期)
SK188	SK174 より古 SK202・203 より新	SK185 と接合関係。瀬戸美濃系磁器酸化コバルト瑠璃釉御神酒徳利。	9期
SK189	SK204・焼土 1 より新	陶磁器極少。肥前系磁器爛徳利。陶器青土瓶。	[9期]
SK190		陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付爛徳利、型押寿文皿。	(9期)
SK191		陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付蓋。	(9期)
SK192		陶磁器極少。陶器のみ。地方窯系陶器の急須。	(9期)
SK193		陶磁器極少。土器火鉢のみ。	-
SK194	SK264 より新	SK264 (旧 SK196)・203 と接合関係。陶磁器多量。磁器湯呑形碗主体。瀬戸美濃系磁器型押寿文皿・卵殻手坏。須恵器坏 (9 世紀) 含む。	8期
SK195		陶磁器極少。瀬戸美濃系陶器爛徳利。	(7期-)
SK199	SK228・236 より新	瀬戸美濃系磁器酸化クロム青磁釉端反形坏 c、酸化コバルト染付爛徳利。	(9期)
SK202	SK188 より古 SK242 より新	陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器卵殻手坏。陶器三彩土瓶。	(8期)
SK203	SK168・174・178・179・183・188より古 SK291より新	SK206・279・290・326・327 を吸収。旧 SK279 と SK174 は接合関係。SK194・204 と接合関係。陶磁器多量。瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付丸碗は混入。瀬戸美濃系磁器端反形碗、肥前系磁器八角鉢主体。瀬戸美濃系磁器卵殻手坏が最新。灯明皿は瀬戸美濃系と京都信楽系の量が拮抗。	8期

遺構	遺構新旧関係	最新期出土陶磁器 備考	推定時期
SK204	SK189 より古	SK203・220 と接合関係。陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付爛徳利。	(9期)
SK208	焼土1 より新	陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付端反形坏c。	(9期)
SK213		陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付皿。	(9期)
SK214		銅版転写染付磁器(多色刷り含む)主体。瀬戸美濃系磁器多色刷り銅版転写染付端反形坏c。	9期
SK216		土器多量(土管主体)。瀬戸美濃系磁器ゴム印判染付飯碗。代用陶器羽釜。	9期
SK218	SB1・SK222 より新	陶磁器極少。肥前系磁器、京都信楽系陶器のみ。	[8期-]
SK219		陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器近代の坏。	(9期)
SK220	SB1 より古 SK221 より新	SB1 基礎北辺、桶10、SK204・221 と接合関係。陶磁器多量。瀬戸美濃系磁器端反形碗主体に肥前系磁器湯呑形碗が少量組成。瀬戸美濃系磁器卵殻手坏・坏形の湯呑形小碗が最新。	8期
SK221	SB1・桶10・杭列5・SK220 より古	SB1 基礎北辺と多量に接合。SK229・233 と接合関係。陶器爛徳利(酸化コバルト呉須銘「原木屋」)、酸化コバルト染付磁器香炉は混入。陶磁器多量。18世紀後半の肥前系磁器を主体に、瀬戸美濃系磁器端反形碗を少量組成。肥前系磁器卵殻手坏が最新。	6期
SK222	SK218 より古 SB1 より新	陶磁器極少。磁器のみ。	(6期-)
SK223		陶磁器極少。肥前系磁器広東碗。	(5期)
SK224	SK225 より古 SK263 より新	銅版転写染付磁器主体。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付端反形坏c。18世紀後半の陶磁器は下層遺構からの混入。	9期
SK225	SK224・263 より新	瀬戸美濃系磁器銅版転写染付急須の蓋。	9期
SK226	SK263 より新	SK52・148・263 と接合関係。銅版転写染付磁器(多色刷り含む)主体。瀬戸美濃系磁器多色刷り銅版転写染付平碗。	9期
SK227	SK263 より新	陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付筒形坏。常滑系土管。	(9期)
SK228	基礎4・SK199 より古	SK200・239 を吸収。陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器卵殻手坏。旧SK239は陶磁器少量で銅版転写染付主体のため混入扱い。	(8期)
SK229	SK153 より古 SK285 より新	SK221 と接合関係。陶磁器多量。瀬戸美濃系磁器型押寿文坏はSK153 からの混入。磁器端反形碗・八角鉢主体。陶器灯明皿は瀬戸美濃系主体。磁器湯呑形碗・卵殻手坏なし。	6期
SK231		陶磁器なし。	-
SK233		SK221 と接合関係。陶磁器少量。肥前系磁器・瀬戸美濃系陶器主体。SK221 との接合関係から瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付爛徳利は混入。	(6期)
SK234		陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器。	(6期-)
SK235		陶磁器極少。肥前系磁器くらわんか手碗。瀬戸美濃系陶器せんじ碗。	(4期-)
SK236	SK199 より古	陶磁器極少。肥前系磁器高台高い蛇ノ目凹形高台皿。	(6期)
SK237	SK259 より新	SK259 と接合関係。銅版転写・型紙摺絵染付主体。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付平碗。木製品に「三十一年」の年号(明治三十七年)。	9期
SK240		陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器多色袖下彩鉢。	(9期)
SK241		陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器湯呑形碗。	(7期)
SK242	SK202 より古	陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器卵殻手坏。	(8期)
SK243		瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付端反形坏b。木製品に「拾八年」の年号(明治十八年)。	9期
SK244		瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付急須。	9期
SK245		磁器主体。蛇ノ目凹形高台蕎麦猪口。	5期
SK246		陶磁器なし。	-
SK247	SD2 より新	酸化コバルト染付磁器主体。瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付平碗。	9期
SK248		銅版転写染付磁器(多色刷り含む)主体。瀬戸美濃系磁器多色刷り銅版転写染付皿。下層遺構の混在多い。「埼玉郡水深村下高梯/□□兵工吟造/標名轟四海」銘輪高台爛徳利(多色刷り銅版)。非掲載に「吉田屋」銘染付小丸碗破片1あり。	9期
SK249	桶12 より古	銅版転写(多色刷り含む)・型紙摺絵染付主体。瀬戸美濃系磁器多色刷り銅版転写染付丸碗。真壁産大甕。下層遺構の混在多い。	9期
SK250		陶磁器極少。京都信楽系陶器灯明皿。	(7期-)
SK251		陶磁器極少。肥前系磁器鶴首形御神酒徳利。	(6期-)
SK252		陶磁器極少。常滑系陶器甕。	(6期-)
SK253	SK152 より古	瀬戸美濃系磁器端反形碗。	6期
SK254		陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付急須。	(9期)
SK255	SK283 より新	瀬戸美濃系磁器型押寿文坏。瀬戸美濃系磁器紅皿状坏は酸化コバルト染付カ。	8-9期
SK256	SK108・128・257 より古	SK207 を吸収。陶磁器多量。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付端反形坏cが最新。近代陶磁器は少量のため混入。混入を除くと瀬戸美濃系磁器型押陰刻文染付そり皿・坏形湯呑形小碗・卵殻手坏。	8期
SK257	SK256 より新	瀬戸美濃系磁器銅版転写染付坏が最新。近代陶磁器は少量のため混入カ。混入を除くと瀬戸美濃系磁器卵殻手坏・坏形湯呑形小碗が最新。陶器トビガンナ行平鍋。	8期カ
SK259	SK237 より古	SK237 と接合関係。陶磁器多量。瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付端反形坏cは混入。瀬戸美濃系磁器卵殻手坏・湯呑形碗・端反形碗主体。蛇ノ目高台型押寿文端反形碗が最新。	8期
SK260		型紙摺絵染付磁器主体。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付平碗。	9期
SK261		SK275 と接合関係。瀬戸美濃系磁器卵殻手坏(染付・色絵主体で江戸給付なし)。灯明皿は瀬戸美濃系のみ。	8期
SK262		瀬戸美濃系酸化コバルト瑠璃袖坏は混入。瀬戸美濃系磁器湯呑形碗。	7期
SK263	SK224 ~ 227 より古	SK226 と接合関係。酸化コバルト染付磁器主体。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付丸碗は重複遺構からの混入。瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付端反形坏c。	9期

遺構	遺構新旧関係	最新期出土陶磁器 備考	推定時期
SK264	SK194 より古	SK196・197・205・211・212 を吸収。(旧 SK196) は SK194 と接合関係。磁器湯呑形碗主体。瀬戸美濃系磁器卵殻手坏・坏形湯呑形小碗。明治十四年二銭銅貨は混入。	8 期
SK265		SK266 と接合関係。瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付丸碗。	9 期
SK266		SK174・265 と接合関係。銅版転写染付磁器主体。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付平碗。	9 期
SK267		瀬戸美濃系磁器銅版転写染付端反形坏 c。「下総野田茂木佐平」銘卵殻手坏。	9 期
SK268		銅版転写・型紙摺絵染付主体。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付皿。	9 期
SK269		瀬戸美濃系磁器湯呑形碗・端反形碗主体。瀬戸美濃系磁器型押陽刻文角皿。陶器青土瓶。	7 期
SK270		銅版転写染付主体。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付端反形坏 c。	9 期
SK271		陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付端反形坏 a。	(9 期)
SK272		淡路環平焼の皿(橙色胎土)が最新。瀬戸美濃系磁器卵殻手坏・「清玩」銘坏形湯呑形小碗。	9 期
SK275	SK291 より新	SK261 と接合関係。磁器小広東碗・小丸碗主体。瀬戸美濃系陶器植木鉢・筒形香炉が最新。	5 期
SK276	SB1 より古	陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付皿は混入。瀬戸美濃系磁器湯呑形碗・爛徳利。	(7 期)
SK277		陶磁器少量。肥前系磁器主体。瀬戸美濃系磁器端反形碗。	(6-7 期)
SK278	SK295 より古	陶磁器少量。19 世紀以降の陶磁器。	(6 期-)
SK280	SK289 より新	陶磁器多量。ゴム印判染付磁器主体。磁器糊容器。上絵付銘「久谷」製品多い。	9 期
SK281	SK300 より新	SK284 と接合関係。磁器単色釉碗・銅版転写染付蓋・磚子	9 期
SK282	SK148 より古	陶磁器なし。	[-8 期]
SK283	SK255 より古	陶磁器なし。	[-8-9 期]
SK284	SK292 より古 SK317・328 より新	SK281 と接合関係。ゴム印判染付磁器主体。瀬戸美濃系磁器飯碗。SK292 と陶磁器の年代が逆転。	9 期
SK285	SK153・160・165・229 より古	陶磁器少量。肥前系磁器主体。瀬戸美濃系磁器端反形坏。瀬戸美濃系陶器植木鉢。	[6 期]
SK286		陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器ゴム印判染付丸腰湯呑。	(9 期)
SK288	SK317 より新	瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付皿。	9 期
SK289	SK280 より古	陶磁器極少。肥前系磁器筒形碗のみ。	(5 期-)
SK291	SK203・275 より古	陶磁器極少。18 世紀代の陶磁器のみ。	[3-5 期]
SK292	SK284 より新	銅版転写染付(多色刷り含む)主体。瀬戸美濃系磁器多色刷り銅版転写染付丸腰湯呑 a。SK284 と陶磁器の年代が逆転。	9 期
SK293	SK317 より新	SK294 と接合関係。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付長筒形坏。	9 期
SK294		SK293 と接合関係。瀬戸美濃系磁器酸化クロム練り込み手長筒形丸腰湯呑。	9 期
SK295	SK278・296 より新	陶磁器極少。地方窯系土瓶蓋。	[8 期-]
SK296	SB6・SK295 より古	陶磁器少量。肥前系磁器卵殻手坏。	(6-7 期)
SK299		陶磁器極少。肥前系磁器、瀬戸美濃系陶器。	-
SK300	SK281 より古	SD2 と接合関係。瀬戸美濃系磁器端反形碗。産地不詳陶器爛徳利。18 世紀後半の陶磁器主体。	6-7 期
SK302	SK303 より古	瀬戸美濃系磁器銅版転写染付端反形坏 c と酸化コバルト染付端反形坏 b は SK303 からの混入。瀬戸美濃系磁器卵殻手坏が最新。磁器端反碗・湯呑形碗主体。	8 期
SK303	SK116 より古 SK302 より新	陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付蓋。	(9 期)
SK304	基礎 3 より古	瀬戸美濃系磁器湯呑形碗。	7 期
SK305		陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付丸碗。	(9 期)
SK306		陶磁器極少。土器土管。	(9 期)
SK307		磁器単色釉(緑)飯碗 8 个体セット。硬質陶器。	9 期
SK308		瀬戸美濃系磁器ゴム印判染付丸腰湯呑 c。	9 期
SK309		陶磁器極少。京都信楽系陶器灯火具。	(7 期-)
SK310	SK311 より新	陶磁器なし。	-
SK311	SK310 より古	陶磁器なし。	-
SK312	SK313 より古	陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器陽刻文角皿。	[7-9 期]
SK313	SK312 より新	陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付皿。	(9 期)
SK314		陶磁器なし。	-
SK317	SK284・288・293 より古	陶磁器極少。肥前系磁器色絵半球碗。京都信楽系陶器小杉碗。	(5 期)
SK318		SK107 下層に重複する。遺構範囲は写真からの推定。遺物は現地で SK318 として取り上げ。肥前系磁器主体。肥前系磁器八角鉢(大型)。	6 期
SK319	桶 1 より古	SK320 と接合関係。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付丸腰湯呑。	9 期
SK320		SK319・322 と接合関係。瀬戸美濃系磁器坏形湯呑形小碗。近代陶磁器なし。	8 期
SK321		酸化コバルト染付磁器主体。瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付皿。	9 期
SK322		SK28・29・320 と接合関係。銅版転写染付磁器爛徳利は混入。瀬戸美濃系磁器坏形湯呑形小碗・陰刻文染付丸碗。陶器白土染付土瓶。	8 期
SK323		瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付爛徳利。	9 期
SK324		ゴム印判染付磁器主体。瀬戸美濃系磁器ゴム印判染付飯碗、単色釉(茶)碗。	9 期



遺構	遺構新旧関係	最新期出土陶磁器 備考	推定時期
SK325		陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器卵殻手坏。	(8期)
SK328	SK284より古	陶磁器なし。	-
SK329	杭列5・SK117より古	陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器端反形碗。肥前系磁器八角鉢。陶器青土瓶。	6-7期
SK331		陶磁器極少。京都信楽系陶器灯明皿。	(7期-)
P1		陶磁器なし。瓦片1のみ。	-
P2		陶磁器なし。	-
P3		陶磁器なし。	-
P4		陶磁器極少。	-
P5		陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器江戸絵付け坏。産地不詳陶器急須。	(9期)
P6		陶磁器極少。	-
P7		陶磁器極少。	-
P8		陶磁器なし。	-
P9		陶磁器なし。	-
P10		陶磁器極少。	-
P11		陶磁器極少。	-
P12		陶磁器なし。	-
P13	桶2より古 SB3より新	陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付皿。	(9期)
P15		陶磁器極少。	-
P16		陶磁器極少。	-
P17		陶磁器なし。	-
P18		陶磁器極少。土器のみ。	-
P19		陶磁器なし。	-
P20		陶磁器なし。	-

第一面検出土壌は近代遺物が多量に出土しているため、掲載陶磁器については土器類や特徴的なものを中心に抽出している。なお、近世段階から明治初頭頃までの遺構については、最新期の陶磁器に留意して抽出した。遺構時期推定一覧表には9期以降の土壌の詳細な廃絶期が読み取れるように最新期の陶磁器と特徴を記載した。なお、近代の推定廃絶期はおよそ次の通りとなる。酸化コバルト染付磁器を最新・主体とする段階、1870～1880年代。型紙摺絵染付磁器を最新・主体とする段階、1880～1890年代。銅版転写染付磁器を最新・主体とする段階、1890～1910年代。多色刷り銅版転写染付磁器を主体とし単色釉碗が少量組成する段階、1910～1920年代。ゴム印判染付磁器を最新・主体とする段階、1920～1940年代。代用陶器・陶製陶器を含む段階、1940年代。また、近代の瀬戸美濃系磁器の碗・坏については、『南広間地遺跡』（日野市2003）の編年表を参照した。

第253表 第二面遺構時期推定一覧表

遺構	遺構新旧関係	最新期出土陶磁器 備考	推定時期
SB5	SK401・SK421・431・456より古	旧SD15 陶磁器極少。常陸系土師質土器焙烙。在地産かわらけ。	[-2期]
桶16	桶17より新	陶磁器少量。瀬戸美濃系陶器柿釉灯明皿。	(4期-)
桶17	桶16より古	陶磁器極少。土器のみ。	[4期-]
桶19		陶磁器なし。	-
桶20	SK487・506より新	桶内部 陶磁器少量。肥前系磁器端反碗蓋。 桶掘方 陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器丸碗の蓋・型皿。陶器地方窯系急須・香炉。	(5期)
桶21	SK491・492・511より新	陶磁器少量。肥前系磁器広東碗の蓋。	(5期)
桶22	SK491・492・506・511より新	陶磁器なし。	[5-6期-]
SE1		波佐見系磁器粗製皿。瀬戸美濃系陶器石皿。被熱陶磁器多い（うち1点はSK497と接合）。	5期
SE2	SK428・429・SD16・17より新	旧SK393 瀬戸美濃系磁器端反形碗。	6期
SE3	SK391より古	旧SK390 陶磁器極少。波佐見系磁器くらわんか手碗。瀬戸美濃系陶器鉄釉香炉。	(3期)
SE4		陶磁器極少。瀬戸美濃系陶器水甕。京都信楽系陶器小杉碗。	(5期)
SE5	SK430より古	井戸枠内 旧SK433 第一面SB1基礎北辺と接合関係。瀬戸美濃系磁器色絵金襴手大皿はSB1基礎北辺と接合。瀬戸美濃系陶器緑釉植木鉢。肥前系磁器小丸碗。 掘方 旧SK433 陶磁器極少。瀬戸美濃系陶器御深井摺絵皿。江戸在地系土師質土器丸底焙烙。	5-6期 (2-3期)
SE6	SK355・365より古 SK458より新	陶磁器極少。肥前系磁器鉢。肥前系陶器青緑釉輪充皿。瀬戸美系挿鉢。	[3-8期]
SE7	SK387より古	陶磁器少量。肥前系磁器広東碗。陶器鉄釉土瓶。SK387からの混入の可能性に留意。	[-5期]
SE8		旧桶18 陶磁器少量。細片多い。瀬戸美濃系陶器柿釉灯明皿が最新。	(4-5期)
SD13	SK351より古	瀬戸美濃系磁器色絵端反形碗。陶器青土瓶・三彩土瓶。	6-7期
SD14		陶磁器極少。肥前系陶器青緑釉輪充皿。瀬戸美濃系陶器挿鉢。	(2期-)

遺構	遺構新旧関係	最新期出土陶磁器 備考	推定時期
SD16	SE2 より古	陶磁器極少。京都信楽系陶器半球碗。	(3-5期)
SD17	SE2 より古	陶磁器なし。	[-6期]
SD18	SK426 より古	陶磁器極少。志都呂系陶器徳利。瓦質土器焙烙・火鉢。	[2期-]
SD21	SK362 より古	陶磁器少量。波佐見系磁器くらわんか手碗。肥前系陶器陶胎染付碗。瀬戸美濃系陶器腰鍔碗。	(3期)
SK332		肥前系磁器体部中位鉄釉帯状の蛇ノ目高台筒形碗。肥前系磁器大型八角鉢。清朝景德鎮窯系碗。	6期
SK333	SK345・404・P22 より新	瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付丸碗。	9期
SK334		陶磁器少量。肥前系磁器端反形碗。陶器青土瓶。	(6期)
SK335	SK411 より新	陶磁器多量。瀬戸美濃系磁器端反形碗。肥前系磁器八角鉢。陶器青土瓶。	6-7期
SK336		陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器環形の湯呑形碗。陶器トビガンナ行平鍋。	(8期)
SK337		陶磁器極少。常滑系陶器大甕は第一面SK21・73と接合関係。陶器青土瓶。	(7期カ)
SK338	SK458 より新	陶磁器極少。肥前系磁器筒形碗。	(4期)
SK339	SK340 より古	陶磁器なし。	-
SK340	SK339・341 より新	陶磁器なし。	-
SK341	SK340 より古	陶磁器なし。	-
SK342		陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器端反形碗・八角鉢。陶器トビガンナ行平鍋。	(8期)
SK343	SK476 より新	陶磁器多量。酸化コバルト染付製品1点は混入。磁器は湯呑形碗主体。瀬戸美濃系磁器環形の湯呑形小碗、三田系青磁鉢が最新。陶器は土瓶・土瓶蓋主体。	8期
SK344	SK474・520 より新	陶磁器多量。瀬戸美濃系磁器湯呑形碗。陶器青土瓶。灯明皿は瀬戸美濃系のみ。	7期
SK345	SK333・404 より古	瀬戸美濃系磁器、陶器トビガンナ行平鍋は混入。土器主体。波佐見系磁器くらわんか手碗。瀬戸美濃系陶器腰鍔碗・半菊状鍔文香炉。	3期
SK346	SK347 より新	瀬戸美濃系磁器陰刻文染付湯呑形碗。京都信楽系陶器灯火具。	7期
SK347	SK346 より古	陶磁器極少。肥前系磁器八角鉢。陶器糠白釉土瓶。	[6-7期]
SK348	SK353・360 より新	陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器紅皿状坏。益子系陶器挿鉢。	(9期)
SK349	SK350 より新	陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器卵殻手坏(金彩)。	[9期]
SK350	SK349 より古	陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付爛徳利。	(9期)
SK351	SD13 より新	陶磁器少量。酸化コバルト染付筒形坏。	(9期)
SK352	SK359・458 より新	陶磁器少量。肥前系磁器端反形碗の蓋。京都信楽系陶器端反形碗。三河産焜炉は混入カ。	(6期カ)
SK353	SK348 より古 SK360 より新	陶磁器極少。肥前系磁器端反形碗のみ。	(6期-)
SK354	SK356 より新	陶磁器なし。	[5期-]
SK355	SK365・383・458・SE6 より新	瀬戸美濃系磁器型紙摺絵染付丸碗、酸化コバルト染付御神酒徳利。陶器トビガンナ行平鍋。	9期
SK356	SK354 より古 SK358 より新	陶磁器極少。肥前系磁器広東碗。SK358と陶磁器の年代が逆転。	(5期)
SK357		陶磁器極少。瓦質土器焙烙のみ。	-
SK358	SK356 より古	常滑系陶器土管。SK356と陶磁器の年代が逆転	9期
SK359	SK352 より古 SK458 より新	陶磁器少量。京都信楽系陶器端反形碗。瓦質土器仕切り盤。	[5-6期]
SK360	SK348・353・P21 より古 SK505 より新	陶磁器極少。波佐見系磁器碗(円盤状製品転用)他、18世紀代の陶磁器。	[3-5期]
SK361	SK422 より新	陶磁器少量。18世紀代の陶磁器のみ。	(3-5期)
SK362	SD21 より新	陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器卵殻手坏。陶器白土染付土瓶。	(8期)
SK364		酸化クロム青磁釉坏は混入。瀬戸美濃系磁器卵殻手坏。陶器トビガンナ行平鍋。灯火具は京都信楽系主体。	8期
SK365	SK355 より古 SK458・SE6 より新	陶磁器少量。肥前系磁器環形の湯呑形碗。	(8期)
SK367		陶磁器なし。	-
SK368	SK411・489 より新	陶磁器多量。肥前系磁器朝顔形に開く碗・高台低い蛇ノ目凹形高台皿。瀬戸美濃系陶器石皿。	4-5期
SK369	SK403 より新	陶磁器少量。18世紀代の陶磁器のみ。	[3-5期]
SK370		陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付皿。	(9期)
SK371	SK507 より新	陶磁器なし。	-
SK372		瀬戸美濃系磁器湯呑形碗。陶器トビガンナ施文長頸壺。18世紀代の遺物多い。	7期
SK373	SK374 より新	陶磁器なし。	-
SK374	SK373 より古 SK507 より新	陶磁器極少。丹波系陶器挿鉢、瓦質土器焙烙のみ。	-
SK375		陶磁器なし。	-
SK376		陶磁器少量。波佐見系磁器碗。18世紀代の陶磁器のみ。	(3-4期)

遺構	遺構新旧関係	最新期出土陶磁器 備考	推定時期
SK377		陶磁器極少。京都信楽系端反形碗。	(5-6期)
SK378		陶磁器なし。	-
SK379	SK412・414より新	肥前系磁器筒形碗(大型)。京都信楽系陶器筒形碗。	4期
SK381		陶磁器なし。	-
SK382		陶磁器なし。	-
SK383	SK355より古 SK384・458より新	陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器酸化コバルト染付急須。	(9期)
SK384	SK383より古 SK458より新	陶磁器なし。	[3期-]
SK385		陶磁器極少。瀬戸美濃系陶器天目碗、常陸系土師質土器焙烙のみ。	-
SK386	SK387より新	陶磁器極少。酸化コバルト染付坏は混入カ。肥前系磁器広東碗の蓋。	(5期カ)
SK387	SK386より古 SE7より新	肥前系磁器広東碗。瀬戸美濃系陶器柿釉灯明皿。	5期
SK388	SK391より新	陶磁器多量。肥前系磁器外面青磁釉筒形碗。瀬戸美濃系陶器筒形碗。陶器柿釉鍋。	4期
SK391	SK388より古 SE3より新	肥前系磁器筒形碗・小丸碗。瀬戸美濃系陶器半球碗。	4期
SK392		陶磁器極少。18世紀の陶磁器のみ。	-
SK394	SK471・472より新	陶磁器極少。陶器柿釉鍋。	(4期)
SK395		陶磁器なし。	-
SK396		瀬戸美濃系陶器鎧手茶碗・石皿。肥前系磁器外面青磁釉筒形碗。	5期
SK398		陶磁器多量。瀬戸美濃系磁器銅版転写染付皿は混入。肥前系磁器小丸碗主体。陶器柿釉鍋。瀬戸美濃系陶器鎧手茶碗。	5期
SK399		土器主体。肥前系磁器コンニャク印判文碗。瀬戸美濃系陶器鉄釉灰釉掛け分けせんじ碗。	3期
SK400	SK401より新	陶磁器少量。肥前系磁器端反碗の蓋。	(5-6期)
SK401	SK400より古 SB5より新	陶磁器極少。18世紀代の陶磁器のみ。	[3-5期]
SK402		陶磁器なし。	-
SK403	SK369より古	陶磁器多量。波佐見系磁器くらわんか手碗主体。瀬戸美濃系陶器腰錆碗。17世紀後半の肥前系・瀬戸美濃系陶器主体。播鉢は丹波系のみ。	2期
SK404	SK333より古 SK345より新	肥前系磁器見込み蛇ノ目釉剥皿。堺明石系陶器播鉢。瀬戸美濃系陶器腰錆碗。	[3期]
SK405		肥前系磁器小広東碗。瀬戸美濃系陶器鎧手茶碗・柿釉灯明皿。	5期
SK406	SK407より新	陶磁器少量。肥前系磁器外面青磁釉朝顔形に開く碗。瀬戸美濃系陶器柿釉灯明皿。	(4-5期)
SK407	SK406・482・P76より古	重複関係から19世紀後葉の遺物は混入。混入のを除くと波佐見系磁器くらわんか手碗、瀬戸美濃系陶器せんじ碗、京都信楽系陶器色絵半球碗、堺明石系陶器播鉢が主体。	3期
SK408		陶磁器少量。18世紀の陶磁器のみ。瀬戸美濃系陶器半胴甕最新。	(4-5期)
SK409		陶磁器少量。肥前系磁器筒形碗。	(4期)
SK410	SK440より新	陶磁器極少。18世紀の陶磁器のみ。18世紀以降。	-
SK411	SK335・368より古	波佐見系磁器くらわんか手碗・皿。瀬戸美濃系陶器せんじ碗。京都信楽系陶器小杉碗(大型)。	4-5期
SK412	SK379より古	陶磁器なし。	[-4期]
SK413		陶磁器なし。	-
SK414	SK379より古	陶磁器なし。	[-4期]
SK415	SK434より新	波佐見系磁器くらわんか手碗。肥前系陶器京焼風碗・緑釉皿。瀬戸美濃系陶器把取付灯明皿。常陸系土師質土器焙烙。	2-3期
SK416		陶磁器極少。瀬戸美濃系陶器柿釉灯明皿。	(4期-)
SK417	SK447より新	肥前系磁器筒形碗主体。肥前系磁器広東碗の蓋、京都信楽系陶器端反形碗が最新。	5期
SK418		陶磁器なし。	-
SK419		陶磁器少量。17世紀の陶磁器主体。肥前系磁器コンニャク印判文碗が最新。	(2-3期)
SK420		陶磁器なし。	-
SK421	SB5より新	陶磁器なし。	[2期-]
SK422	SK361より古	陶磁器なし。	[-3-5期]
SK424		陶磁器なし。	-
SK425		陶磁器極少。瀬戸美濃系陶器緑釉流し掛け鉢、胎土粉質かわらけのみ。	-
SK426	SD18より新	陶磁器極少。瀬戸美濃系陶器志野丸皿。磁器は細片のみ。	(2期-)
SK427		陶磁器なし。	-
SK428	SE2より古	陶磁器なし。	[-6期]
SK429	SE2より古	陶磁器なし。	[-6期]
SK430	SE5より新	陶磁器なし。	[2-3期-]
SK431	SB5より新	陶磁器少量。肥前系磁器高台高の低い半球碗・高台無釉の見込み蛇ノ目釉剥皿。丹波系陶器播鉢。	(2期)
SK432		陶磁器極少。瀬戸美濃系陶器柿釉灯明皿。	(4-5期)
SK434	SK415より古	陶磁器極少。瀬戸美濃系陶器笠原鉢、瓦質土器焙烙のみ。	[1-2期]

遺構	遺構新旧関係	最新期出土陶磁器 備考	推定時期
SK435		陶磁器少量。瀬戸美濃系磁器坏形の湯呑形碗。地方窯系陶器鉢。	(8期)
SK436		陶磁器なし。	-
SK437	SK438より新	陶磁器なし。	[4期-]
SK438	SK437より古	陶磁器極少。瀬戸美濃系陶器柳茶碗。	(4期-)
SK440	SK410より古	陶磁器極少。瀬戸美濃系陶器腰鏝碗。18世紀以降。	-
SK441		陶磁器なし。	-
SK442		陶磁器なし。	-
SK443		陶磁器極少。細片。	-
SK444		陶磁器極少。細片。18世紀代の陶磁器のみ。	-
SK445		陶磁器極少。肥前系磁器コンニャク印判文碗のみ。	(2期-)
SK447	SK417より古	陶磁器極少。	[-5期]
SK448		陶磁器極少。	-
SK449		陶磁器極少。	-
SK450		陶磁器なし。	-
SK451		陶磁器なし。	-
SK452		陶磁器極少。18世紀代の陶磁器のみ。	-
SK453		陶磁器極少。瀬戸美濃系陶器柿釉灯皿。	(4期-)
SK454		近代陶磁器2点は混入。土器主体。波佐見系磁器碗。瀬戸美濃系陶器こね鉢。	3期
SK455		陶磁器なし。	-
SK456	P32より古 SB5より新	陶磁器なし。	[2期-]
SK457		陶磁器なし。	-
SK458	SK338・352・ 355・359・ 383・384・ 365・SE6より 古	上層の陶磁器は近代主体で極少量の混入。下層の砂層出土陶磁器は少量。瀬戸美濃系磁器型皿、陶器 青土瓶は混入か判断難。波佐見系磁器碗。瀬戸美濃系陶器丸碗形片口鉢・御室碗。	(3-6期)
SK459		陶磁器なし。	-
SK460		陶磁器なし。	-
SK461		陶磁器なし。	-
SK462		陶磁器なし。	-
SK463	SK472より新	陶磁器なし。	-
SK464		陶磁器なし。	-
SK465		陶磁器極少。瓦質土器焙烙のみ。	-
SK466		陶磁器なし。	-
SK467		陶磁器極少。18世紀代の陶磁器のみ。	-
SK468		陶磁器少量。17世紀後半から18世紀前半の陶磁器主体。細片多い。古代土師器。	(2-3期)
SK469		陶磁器極少。	-
SK470		陶磁器なし。	-
SK471	SK394より古 SK472より新	肥前系磁器酸化コバルト染付蓋、瀬戸美濃系磁器端反形碗がある。陶磁器極少。肥前磁器碗小片。瀬戸 美濃系陶器鉄釉花生、志野丸皿。在地産坏形かわらけ。常陸系土師質土器焙烙。	(2-3期)
SK472	SK394・463・ 471より古	陶磁器極少。	[2-3期]
SK474	SK344より古 SK520より新	陶磁器多量。土器主体。波佐見系磁器くらわんか手碗主体。瀬戸美濃系陶器太白手筒形碗・せんじ碗。	4期
SK476	SK343より古	波佐見系磁器くらわんか手碗主体。肥前系磁器筒形碗(大型)。瀬戸美濃系陶器柿釉灯皿。	4期
SK477		2時期の陶磁器。17世紀後半から18世紀初頭の陶磁器中心。瀬戸美濃系磁器卵殻手環が最新で、大 振りの湯呑形碗主体。2基の遺構の可能性高い。	8期
SK479		陶磁器極少。18世紀代の陶磁器のみ。	-
SK481		型紙摺絵染付磁器最新。漆喰多量。	9期
SK482	SK407・487・ 488より新	19世紀中葉以降の混入陶磁器多数。波佐見系くらわんか手碗主体。肥前系磁器筒形碗が最新。	4期
SK484		陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器端反碗は混入か判断難。18世紀の陶磁器主体。	(6期-)
SK485		型紙摺絵染付磁器。鉛めんこ(明治十〜三十年製造)。	9期
SK486		陶磁器極少。	-
SK487	桶20・SK482・ 488より古	陶磁器極少。瀬戸美濃系磁器腰鏝碗。	[2-3期]
SK488	SK482より古 SK487より新	陶器トビガンナ行平鍋は混入。波佐見系磁器くらわんか手碗。瀬戸美濃系陶器尾呂茶碗・尾呂徳利。	2-3期
SK489	SK368より古	陶磁器少量。18世紀代の陶磁器のみ。	(3-5期)
SK491	SK506・511・ 桶21・22より 古 SK492より新	陶磁器なし。	[-5期]

遺構	遺構新旧関係	最新期出土陶磁器 備考	推定時期
SK492	SK491・506・511、桶21・22より古	陶磁器なし。	[-5期]
SK498		陶磁器なし。	-
SK505	SK360より古	陶磁器極少。	-
SK506	桶20・21・22より古、SK491・492・511より新	陶磁器なし。	[-5期-6期]
SK507	SK371・374より古	陶磁器なし。	-
SK509	SK510より新	陶磁器極少。	[2期-]
SK510	SK509より古	陶磁器極少。肥前系磁器高台無釉見込み蛇ノ目釉剥皿。常陸産大型壺。中世常滑焼片口鉢。	(2期)
SK511	桶21・22・SK506より古SK491・492より新	陶磁器極少。土器のみ。	[5期-]
SK512		陶磁器少量。瀬戸美濃系陶器鉄釉灰釉掛けせんじ碗。	(3期-)
SK513		陶磁器なし。	-
SK520	SK344・474より古	陶磁器なし。	[-2期]
P21	SK360より新	陶磁器なし。	[3-5期]-
P22	SK333より古	陶磁器なし。	[-9期]
P23		陶磁器なし。	-
P24		陶磁器なし。	-
P25		陶磁器なし。瓦片2のみ	-
P26		陶磁器なし。	-
P27		陶磁器なし。	-
P28		陶磁器なし。	-
P29		陶磁器なし。	-
P30		陶磁器なし。	-
P31		陶磁器なし。	-
P32	SK456より新	陶磁器なし。	[2期-]
P33		陶磁器なし。	-
P34		陶磁器なし。	-
P35		陶磁器なし。	-
P36		陶磁器なし。	-
P37		陶磁器なし。	-
P38		陶磁器なし。	-
P40		陶磁器なし。	-
P41		陶磁器なし。	-
P42		陶磁器なし。	-
P43		陶磁器なし。	-
P44		陶磁器なし。	-
P45		陶磁器なし。	-
P46		陶磁器なし。	-
P76	SK407より新	陶磁器なし。	[3期-]
SX1a		陶磁器なし。	-
SX1b		陶磁器なし。	-

第254表 第三面遺構時期推定一覧表

遺構	遺構新旧関係	最新期出土陶磁器 備考	推定時期
SB4		SB4ピット12陶磁器極少。ピット12は建物跡に伴うかは不明。丹波系陶器播鉢の個体資料のみ。	[2期-]
SD19	畝跡1より新	陶磁器なし。	[2期-]
SD20	SK494より古SK530より新	陶磁器なし。	-
SD23	SK499・523より新	17世紀後半～18世紀初頭の陶磁器主体。波佐見系磁器くらわんか手碗。瀬戸美濃系陶器半胴甕カ。	2期
SD24	畝跡3・SK528より新	陶磁器極少。波佐見系磁器小碗。肥前系陶器青緑釉碗。瀬戸美濃系陶器播鉢。	(2-3期)
SD25	P47より古	陶磁器なし。	-
SD26	SD27・P65より古	陶磁器なし。古代須恵器2片(三輪産カ)	[2期-]



遺構	遺構新旧関係	最新期出土陶磁器 備考	推定時期
SD27	SD26 より新	陶磁器極少。丹波系陶器挿鉢 1 点のみ。	(2 期 -)
SD28	SK497 より古	陶磁器なし。	[-2 期]
SD29		波佐見系磁器くらわんか手碗。瀬戸美濃系陶器腰鏝碗。在地産かわらけ。常陸系土師質土器甕	(2 期)
SD31	SK544 より新	陶磁器なし。	-
畝 1	SK547・553・SD19 より古	陶磁器極少。肥前系磁器碗・皿。瀬戸美濃系陶器緑釉流し掛け鉢。	(2 期 -)
畝 2		陶磁器なし。	-
畝 3	SK522・528・SD24・P61 より古、SK527 より新	陶磁器なし。	[2-3 期]
小鍛冶1	SK531 より新	陶磁器極少。瀬戸美濃系陶器白天目碗・緑釉流し掛け鉢。三輪産須恵器坏 (9 世紀中 - 後)。	[2 期 -]
小鍛冶2	SK514 より新	陶磁器極少。瀬戸美濃系陶器丸碗形片口鉢。	(2 期 -)
SK473		陶磁器多量。17 世紀後半 - 18 世紀初頭の陶磁器主体。波佐見系磁器梅樹文・雪輪草花文碗。	2 期
SK480	SK554 より新	肥前系磁器朝顔形に開く碗若しくは筒形碗の底部が最新。18 世紀前半の陶磁器主体。	3-4 期
SK490		陶磁器なし。羽口・鉄滓少量出土。	-
SK494	SD20 より新	陶磁器なし。	-
SK495	P71 より古 SK496 より新	陶磁器極少。18 世紀代の陶磁器のみ。	3-5 期
SK496	SK495・P71 より古 P49 より新	陶磁器なし。	-
SK497 焼土層		被熱遺物多量。波佐見系磁器くらわんか手碗。	2-3 期
SK497	SK500 より古、SD28、SK531 より新	陶磁器多量。細片極多量。SE1、SD21・23、SK523 と接合関係。SK523 出土の初期伊万里芙蓉手大皿片と同一個体の可能性のある破片あり。最低 2 時期の廃棄カ。17 世紀後半 - 18 世紀初頭の陶磁器主体。波佐見系磁器梅樹文・雪輪草花文碗。瀬戸美濃系陶器腰鏝碗。堺明石系陶器挿鉢。胎土土器質黒釉灯火具あり。羽口・鉄滓多量。	2 期
SK499	SD23 より古	陶磁器なし。	[-2 期]
SK500	SK497 より新	遺構中層浅間 A 降下軽石直上出土。羽口・鉄滓多量。肥前系磁器小広東碗。京都信楽系陶器端反形碗。瀬戸美濃系陶器鎧手茶碗。	5 期
SK514	小鍛冶2より古	陶磁器なし。	-
SK515		陶磁器なし。	-
SK516	P49 より古	陶磁器極少。波佐見系磁器くらわんか手碗。	(3 期 -)
SK517		陶磁器なし。	-
SK518		陶磁器なし。	-
SK521		陶磁器なし。	-
SK522	P61 より古 畝跡 3 より新	陶磁器なし。	[3 期 -]
SK523	SD23 より古	SD23、SK497 と接合関係。陶磁器多量。17 世紀の陶磁器主体。初期伊万里様式皿。肥前系磁器型押陽刻文白磁皿。肥前系磁器高台無釉の青磁釉碗は SK497 と接合。SK497 出土の初期伊万里芙蓉手大皿は同一個体の可能性あり。	2 期
SK524		陶磁器なし。	-
SK525		陶磁器なし。	-
SK526		陶磁器極少。土器のみ。	-
SK527	畝跡 3 より古	陶磁器少量。肥前系磁器高台断面 U 字状(高台高い)丸碗。瀬戸美濃系陶器挿鉢。常陸系土師質土器焙烙。	(2 期)
SK528	SD24 より古 畝跡 3 より新	陶磁器なし。	[2-3 期]
SK529		陶磁器極少。肥前系磁器高台無釉青磁釉碗。在地産かわらけ。絵銭。正隆元寶 2 枚。	(2 期)
SK530	SD20 より古	陶磁器極少。瓦質土器瓦燈、丹波系陶器挿鉢、瀬戸美濃系陶器鉄釉香炉。	(2 期 -)
SK531	小鍛冶 1・SK497 より古 SK535 より新	肥前系磁器高台 U 字状の高台高が高い丸碗。瀬戸美濃系陶器腰鏝碗 (逆ハ字開口)。	[2 期]
SK532		陶磁器なし。	-
SK533	SK534・P70 より新	陶磁器なし。	-
SK534	SK533 より古	陶磁器なし。	-
SK535	SK531 より古	陶磁器極少。細片主体。瀬戸美濃系陶器腰鏝碗。羽口あり。	[-2 期]
SK536	SK538 より古 SK537・541 より新	陶磁器極少。古墳時代土師器。	-
SK537	SK536 より古	陶磁器なし。	-
SK538	SK536・541 より新	陶磁器なし。	-
SK539		陶磁器極少。近代瀬戸美濃系陶器扁平鉄絵皿のみ。	(9 期)
SK540		陶磁器なし。	-



遺構	遺構新旧関係	最新期出土陶磁器 備考	推定時期
SK541	SK536・538 より古	陶磁器なし。	-
SK542		陶磁器少量。肥前系磁器細片。陶器鉄釉鍋最新。瀬戸美濃系陶器腰錆碗（刻印「清」）	(4期)
SK544	SD31・P77 より古	陶磁器極少。常陸系土師質土器焙烙。	-
SK545		陶磁器なし。	-
SK546		陶磁器なし。	-
SK547	畝跡1より新	陶磁器なし。	[2期-]
SK548	SK549より古	陶磁器なし。	-
SK549	SK548より新	陶磁器なし。	-
SK550		肥前系磁器外面青磁の朝顔形に開く碗蓋。	4期
SK551		陶磁器なし。	-
SK552		火災処理土壌。強く被熱する陶磁器多量。波佐見系磁器梅樹文碗。	2期
SK553	畝跡1より新	陶磁器なし。	[2期-]
SK554	SK480より古	旧SD30 陶磁器極少。肥前系磁器仏飯器(抉り浅い脚側面取)。瀬戸美濃系陶器天目碗。瓦質土器焙烙。	[-3期]
P47	SD25より新	陶磁器なし。	-
P48		陶磁器なし。	-
P49	SK496より古 SK516より新	陶磁器なし。	[3期-]
P50		陶磁器なし。	-
P51		陶磁器なし。	-
P52		陶磁器なし。	-
P53		陶磁器なし。	-
P54		陶磁器なし。	-
P55	P57より新	陶磁器なし。	-
P56	P57より新	陶磁器なし。	-
P57	P55・56より古	陶磁器なし。	-
P58		陶磁器なし。	-
P59		陶磁器なし。	-
P60		陶磁器なし。	-
P61	畝跡3 SK522より新	陶磁器なし。	[3期-]
P62		陶磁器なし。	-
P63		陶磁器なし。	-
P64		陶磁器なし。	-
P65	SD26より新	陶磁器なし。	-
P66		陶磁器なし。瓦片6のみ。	-
P67		陶磁器なし。	-
P68		陶磁器なし。	-
P69		陶磁器なし。	-
P70	SK533より古	陶磁器なし。	-
P71	SK495・496より新	陶磁器なし。石製品1のみ。	-
P72		陶磁器なし。	-
P73		陶磁器なし。	-
P74		陶磁器なし。	-
P75		陶磁器なし。	-
P77	SK544より新	陶磁器なし。	[3期-]

第 255 表 出土陶磁器組成表

調査面		第一面						第二面						第三面									
遺構		SB1		SK220		SK221		SK343		SK344		SK368		SK497		SK497 焼土層		SK500		SK523			
産地	器種	細別		底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片		
1	1	a 初期伊万里様式												1	9					1	2		
		b													3	5				1	1	6	
		d		5	33	1	1								19	49	1	6	1	1			
		d 大碗												1	1								
		d 色絵																					
		e														8	12	1	1	1	7	1	3
		f			2		1		1							1	1	2			1		1
		f 大碗			2		1					1	2										
		g		3	14			1	1	1		1	2	3	1	2	15	56		8	15		2
		g コンニャク		1	2							1	2	3				9		2	8		
		g 鉄釉帯状																		1	1		
		g 外面青磁																		1	2		
		i		1	6	2	4	6	9		1	1	1		1					8	9		
		j		13	34	4	8	12	24			4	8							10	16		
		j 色絵																				1	
		k																	1				
		l		2	9		4	4	16	1	2	19	23	1	1	1	1			34	68		
		m		4	20	1	9	2	10	2	6	6	9							1	2		
		n		4	11	3	3	3					2	2									
		n 大碗								2	2												
		o				1	1								2								
		q										2	2							1	1		
		r												1	1					2	2		
		u		1	1				2		1				1	7	14				4		1
		v		3	14	2	4	3	5	1	6	3	8	3	10	32	135		4	15	36		
		v コンニャク									1												
		x														3	3			5	5		
		不明														2	320	5	15	3	66		41
不明色絵			37		14		22		7	1	21	1	7		1			1					
JB	2	a												1	1						1	2	
		a 初期伊万里様式				1	1																
		d																					
		e		1	1			1	1			1	2	1	3	5	13	26	3	5	1	1	
		g		2	6			2	4			5	8	4	5		1		8	10			
		i					4			1	1	1	1										
		j		3	16	3	4	2	14	4	9	2	4	6	8					2	3		
		k		2		1	1				1	1	1			20	69			2	4		2
		l																			1		
		l 色絵														1	1		5				
		m		1				1	2			1	1	1	1				5	5			
		o		1	1	1	1	3	4														
		p		1						1	2												
		q								2	2												
		型紙型皿						1	1		1			1	1								
		不明色絵												1	1	1	1						
		不明		7		6		12	1	4	2	4			2	10	35	3	13	1	1		7
		3	3	a													1						1
b											1	1							1	1			
d								1		4	1	1							1	1			
e						2	2	2	4	5	1	1											
5	5	不明		1	1	3	3	1	2	1	1									1			
		不明				2				1	1	5	5	1	1	5	9		1	1			
6	6	a																					
		b		1			1	1				1	1	1	9	22			6	13		3	
		c		1	2	2	3	2	2			1	2										
		e				1	1		1					1	2					1	1		
		f																		3	3		
		f 色絵																		2	2		
		不明				1	4		1	1	2	1	1			1	2			1	1		
不明色絵																		1	1				
扁平																		2	2				
扁平色絵																		1	1				
7	7	a		1	1	1	1	1	1		1							1	1				
		b		1	2	1	1	2	2	4	5			4	6			4	12	6	11		

調査面			第一面				第二面				第三面												
遺構			SB1		SK220		SK221		SK343		SK344		SK368		SK497		SK497 焼土層		SK500		SK523		
産地	器種	細別	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	
JB	7	不明		2			1	2			1				1								
	8	a c 不明							1	1			1	1	6	6			2	2	1	1	
	9	b 不明	1	1											2	2			1	2			
	10	a 不明					1	2	2	3	1	1			6	6						2	
	11	a b 不明	1								1	6	3	1	15			2	1	21		5	
	12	色絵					1	1	1	1	1	2	2	3					3	15			
	13	a b c 色絵 不明										2			1	3			1	1	1		
	15	-									2	3											
	19	色絵	1	1		1	1				1	4		1	1	1	2	8	2	4			
	20	-											1	1					1	1			
	22	-													1	3					4		
	24	-																1	2	2			
	35	-									1	1									1	1	
	00	a b c e f g j 不明	3	10	3	5	9	11	1	1	2	2								1	1	1	
	-	不明色絵 不明					1	1				3		3	13		8		18	1	2		
	JC	1	a 色絵 d e e 小碗 f 銅版 近代 不明色絵 不明	4	4	4	10	3	9	3	21	10	21									1	
		2	a e 不明				1						1										3
		4	-	2		3					1												
		5	色絵	1						1	1												
		6	a b c コバルト c クロム d f コバルト 幅広高台 不明		1					2	3	1	1										4
		11	不明 不明コバルト					1							2							1	
		34	JC34		1	2																	
		00	a b i 不明				1					2	1	2									
		-	不明コバルト			1	1																1

調査面		第一面				第二面				第三面													
遺構		SB1		SK220		SK221		SK343		SK344		SK368		SK497		SK497 焼土層		SK500		SK523			
産地	器種	細別		底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片		
TB	1	a		4		2		1		1		9		12	83	2	5	1	7		2		
		b									1	1			4	4			1	1	1	2	
		c													4	5			1	1			
		d													7	11			1				
		f														2	2	2					
		g													1	2							
		i												4	1	1				1	1	2	
		不明		1		1	1									2	18		1			2	
		a		4									1			15	62			2	11	1	7
		c									1												
	f							2															
	a							1				1			2	8			2		1	12	
	b		2												4	11	1	2		3		1	
	c														1	1							
	d														1	2				2			
	不明					1							1	1	1	4							
	a																				1		
	b														1	6		2					
	不明											8			1	6		2					
	-														1	1							
	a														1	11	2	2		3			
	不明														1	1							
	-	不明											2				1						
TC	1	a		1							1	1	1	3	19	1	2	1	9	4	12		
		ac													1								
		c													2	3					1	1	
		d		1		1								1	2	4							
		g		1				1							2	6		1	1	1			
		h																	1	1			
		l		2		2						1	1	2					6	12			
		m		3			2	4											3	5			
		色絵																	3	3			
		o						1				1									1		
		q													2	2							
		r						1											1	3			
		s			1						2								1	1			
		u		1	2	1	2				1			2	8	32			1	6			
		v																	2	4			
		x																	1	4			
		y		1	1														1	2			
	不明		1	8		1	8		2	2				2	6			3	14		1		
	不明色絵																	1	2				
	a									1	1				1	1					1	1	
	b									1	1				7	15							
	c														1	3				1	2	3	
	e		2	3								3	1	1	2	2	1	2	4	8			
	f			6	1	5			1	3								2	2				
	i															4							
	j				2	2									1	2				1			
	k			1		1				1					2	8			2	2	4		
	l														1	3			1	1			
	m									1					5	9							
	n		1	1																			
	o		8	11	2	6	1	1		1	10	17	2	2					17	35			
	p										1												
	q																		2	2			
s																							
折縁皿																			1				
そり皿											1			1	1	2	2						
不明			1					1	5	1	4		1			1	3	7		1			
5	a												1	4	14				1		4		
	b																				1	1	
	c			1										1	1			3	4				
	f									2	2							2	2				

調査面			第一面						第二面						第三面								
遺構			SB1		SK220		SK221		SK343		SK344		SK368		SK497		SK497 焼土層		SK500		SK523		
産地	器種	細別	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	
TC	5	i		3	1	3					1	1	4	3	9				1	2	5		
		l	1	1		1	3			1	4								3	5			
	不明		3		4	1	1			2	4							1					
	6	-	3	6	2	3	1	9	3	5	4	4	3	4	2	5	1	14	23	1	3		
	8	-													1	3							
		a			1	1		1		1	1					7			2	9	1	1	
	9	b						1	3		1				5	11			1	2	3	11	
		c																	5	5			
		d		1							1	3	6	3	5				1	1			
		e																	1	1			
		f									1	1					1	1					1
		g									1	1											
		不明色絵														3							
		不明		2								1								2	2		
	10	c									1	2								1			
		d								2	1					5		1	1	1			
		e		1										1					2	8			
		f		1											3	4							
		g		2		1	1	1	2	1	1	1	7								5		
		不明		2		2	1				1	1	1		7	1	8		1	3			
		不明																					
	15	a		10		1	1	1			3	6		1					1	12		5	
		b				2		2	1	1		2		2					1	6			
		c																	1	4			
		有耳壺						1							4	9			1	3			
		不明			1	1					1				1	1							
	19	-																				1	
	21	-		4		1		1	1	1		7		1								1	
	22	b										1							3	6			
	23	b		4	1	3	1	4			1	1	3	5	23				3	12	1	3	
		c							2	3				1									
	24	b																	1	1			
	27	-														2							
	29	-		1	5		1	2		3		1	2	3	6	34		1	2	7		10	
	30	-									2	2											
	31	a		2		2			1	2													1
	34	-												2									
	38	-														1							
	40	c		4	6	3	3	2	7	4	6	3	5	7	8					17	19		
		e																					1
		不明		4	4																		
	41	TC41				1	1				1	1											
	44	a																		2	4		
	00	-													1	1				1	1		
	-	不明		6	1	3		1		1		2		1	2	22		2	1	21		18	
TD	1	b	1	6				2		2	2	9		1					2	17			
		b 色絵		2			1	1												1	4		
		c													1	3				1	2		
		d		4			2	10			2	4		1									
		g		3							2	2								4	4		
		k		1				1															
		不明色絵															1						
		不明				2	1	2		1	2					1						1	3
	2	b			1	1	1	1							1	1	8						
		不明								2													
		-		1		1				4													
		-												1	1			1	1				1
		-		2	3	1	1														3	3	
19	-		1											2							3		
27	d							3															
34	-								2	2											2		

調査面			第一面				第二面				第三面												
遺構			SB1		SK220		SK221		SK343		SK344		SK368		SK497		SK497 焼土層		SK500		SK523		
産地	器種	細別	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	
TD	40	a						1	1														
		b			1	1			1	1													
	46	-			1	1																	
	00	不明		2							1	2											
	-	不明色絵 不明		1						1						3		1					
TE	10	-		1						1					5	7				2		1	
	15	-														1						1	
	29	小型																		1			
	00	-					1	1															
TF	2	-													1	1							
	10	-							1	2	1	1	1	1	2	6							
	15	-								1		1				1							
	40	-		4		1	1	1						1	4	8							
	-	不明																				1	
TG	15	-				1								1	1	3		2					
		-														2							
TJ	00	-							1	1													
	2	-									1												
TK	29	-		2								1		2	12	51					1	13	
TL	29	-		5		1	2	5	3	10	4	4				4		4	7	14			
TZ	1	-																	1	1		1	
	2	-					1	1					1	1	1	1						1	
	4	-					1	1															
	5	-												1	1	1	1						
	9	-					1	1									1	1					
	10	-		1																			
	13	-																					
	21	民窯																					
	33	a		1	1			1	2	1	7		4	4	26					3	3		
		a			1				2		1	1	12										
		c						1	1														
		e			1		1	2			5									1	2		
		f	松岡系								3												
	34	g			4		1	1															
		i										1											
		k	松岡系							3	13		1										
			吉見系									1	5										
			不明		1		2	1	4	3	10										2		1
	40	-						1	1														
	42	b			1		2																
	44	-																			1	1	
00	b							1	1														
	e				1	1	1	1				1	1										
	i											1											
		糠白																					
		松岡系								2	2												
		吉見系								1	1	1	1										
	-	不明									1	1		1									
DZ	a														2	7							
	b								1	1					55	56			5	5			
		b 砂質													11	27					9	9	
	2	g										1	1										
		h								1	1											1	
		i																			5	5	
		不明		1	2					1	2				1	43	243			9	26		1
		不明砂質								1	1		1		14	32					1	5	29
	5	b 瓦質					2	4															
	9	硬瓦質										2	3										
15	土師質常陸系									1				8	138							1	
21	a			1	2																		
	b									1													
29	瓦質																				1	1	



調査面		第一面						第二面						第三面								
遺構		SB1		SK220		SK221		SK343		SK344		SK368		SK497		SK497 焼土層		SK500		SK523		
産地	器種	細別		底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	底部	破片	
31	a					1	1							3	10							
	b	1	1					1	1	1	3	1	1	4	11			1	2			
	d				1					1				1				1	1	2		
	e													3	9							
	f		1			1	1	1	2	1	1			1	1			3	5		1	
	f 硬瓦質																				1	1
	i 土師質					2	6						1	1				1	5			
	i 瓦質								1	2		6	2	3					2			
	i 常陸系																					1
	j					1	1				1	1	1	1								
	k 瓦質									1				3	9				2	2		
	l					1	1							6	8							
	脚付	3		1	1	1	1	2	2	2	3							6	17			
	脚付燻し	2																				
	土師質常陸系															2		1				
	不明	1	6	1	3	2	4															
	不明土師質					1	2			1	3						1	1				
	不明瓦質								8	17		8	3	3		11		2	5	3	8	
	40	d													2	2						
		不明													2	2						
	DZ	43				1	2		1	2	1	2	1	1					3	10		
		b								1										2		
	44	c									2	2							2	2		
		不明														2						
	45	瓦質		1															1	2		
		土師質													3	5						
	46	-								2												
	47	a	15	28	9	10	25	33	21	25	10	15	21	29	2	4			6	8		
		b 瓦質	27	36	8	9	8	8	19	27	18	27		1	138	212	4	11	51	86	11	20
		b 土師質			1	2	1	1	1	1		2		1	83	145	1	1	2	5	24	40
	48	a 瓦質	1	2																		
	不明	2	2																			
	不明瓦質	2	4																			
51	w			1	1																	
00	h 瓦質							2	3									5	5			
	h 土師質				4	5		1					2	2					3			
	筒形土製品				1																	
	不明土師質						2						1	5	19				10			
	不明瓦質	3	4	1	1	2	3	3	2	8	2	5	15	96		1	22	46	4	4		
	不明		2											55							8	
	埴埴													2					1			
	古瀬戸後期様式 縁袖小皿								1										1			
	中世常滑焼甕												1									
	渥美窯大甕																				1	
	円筒埴輪																					
	土師器(古代)																					
	土師器(古墳)									1	1											
	磁器合計	55	257	38	119	61	182	62	154	95	191	31	68	165	845	30	106	162	413	7	82	
	陶器合計	31	164	23	77	28	96	35	129	52	165	31	104	162	627	16	52	157	397	25	137	
	土器合計	54	96	21	29	51	74	64	98	47	92	43	68	394	1093	6	15	126	257	58	126	
	総計	140	517	82	225	140	352	161	381	194	448	105	240	721	2565	52	173	445	1067	90	345	
	磁器重量(g)	5427.9		2289.3		4593.0		5092.3		7581.5		2826.3		14543.3		829.4		24383.4		559.4		
	陶器重量(g)	6187.8		1753.8		7053.8		8900.2		11845.2		3870.1		45649.1		2177.8		52117.0		3386.5		
	土器重量(g)	3859.9		2081.4		6993.3		5651.3		12344.0		11835.4		517666.0		605.4		46455.5		5326.1		
	総重量(g)	15475.6		6124.5		18640.1		19643.8		31770.7		18531.8		577858.4		3612.6		122955.9		9272.0		

第255表 凡例

主要遺構から出土した陶磁器について、器種判別可能な遺物について底部破片数(蓋は丁部破片数)、総破片数のカウントを行った。産地・器種・細別は東京大学構内遺跡群の分類・記号(東京大学埋蔵文化財調査室『年報2』1999・『年報7』2011)を使用した。分類にならない器種は次の通りである。肥前系磁器JB1で口径が12cmを越えるものは分類記号の後に「大碗」を付した。JB2型紙型皿は平面変形の型紙摺絵小皿、JB6扁平は高台径が小さく器高が低い丸腰の坏で、紅坏の可能性もあるものである。TC15有耳壺は鉄・灰釉の双耳〜四耳壺である。DZ31脚付は輪高台状の高い台脚を有し、江戸地域では稀である。DZ47b瓦質は北武蔵地域に分布する瓦質平底焙烙、DZ47a土師質は常総地域に分布し胎土に金雲母が多く含まれる平底焙烙である。地方窯と考えられる陶器・土器はTZ・DZとし、対応する器種番号を付した。DZ2b、DZ2不明は江戸在地系かわらけ、DZ2b砂質、DZ2不明砂質は利根川流域を中心に分布する胎土に角閃石が多く含まれる在地系かわらけを指す。

## V 自然科学分析

第8地点から検出された遺構の性格や土層の堆積環境、周囲の自然環境等を把握するために各種自然科学分析を実施した。

第一次調査では、調査区北側の東壁と基本土層西壁（第5～7図）に認められる堆積層を対象に、洪水堆積物の痕跡確認および堆積物の形成過程を把握するために1. 堆積物微細構造軟X線分析（1）を実施した。また、堆積物を構成する砂粒の特徴（粒度、砂粒組成）から土砂の供給事情を把握するために、2. 砂粒組成分析・粒度分析（1）を行った。

検出された埋設桶の用途を探るために、第3・

### 1 堆積物微細構造軟X線分析（1）

#### （1）はじめに

調査区北側の東壁と基本土層西壁を対象に、洪水痕跡の確認と形成過程を把握するために堆積物微細構造軟X線分析（1）を行った。対象の堆積層は第5～7・10図に位置を示した。

#### （2）試料

試料は、調査区北側の東壁（1地点）と西壁（2地点）（第743図）より採取した柱状を呈する不攪乱堆積物である。これらの不攪乱堆積物試料の採取層準は、発掘調査所見から江戸時代（幕末頃）から近代以降の年代が推定されている。

#### （3）分析方法

調査区壁面の堆積層より採取した不攪乱堆積物試料について、肉眼およびX線写真撮影観察を実施する。試料は厚さ1cmまで板状に成形し、湿润状態のまま管電圧40kvp、電流2mA、照射時間120秒のX線強度条件においてX線写真撮影を実施し、富士コンピューテッドラジオグラフィ（FUJIFILM computed radiography）によるデジタル画像化を実施した。撮影・デジタル画像化は公益財団法人元興寺文化財研究所の協力を得た。

7・8号埋設桶を対象に6. 寄生虫卵分析を実施した。

第二次調査では、基本土層西壁（第5～7図）に認められる堆積層を対象に、洪水堆積物の痕跡確認および堆積物の形成過程を把握するために、3. 堆積物微細構造軟X線分析（2）、4. 砂粒組成分析・粒度分析（3）を行った。

同じく基本土層西壁にみられる畝跡（第5～7図）の堆積物について、由来を明らかにするために5. 火山灰分析を実施した。また、第三面で検出された畝跡の堆積土を対象に、栽培や周辺の古植生を把握するために7. 花粉分析を行った。

なお、X線写真では礫や酸化鉄など密度の高い物質が明色（白色）を呈し、有機質に富む堆積物や植物遺体など密度の低い物質が暗色を呈する。

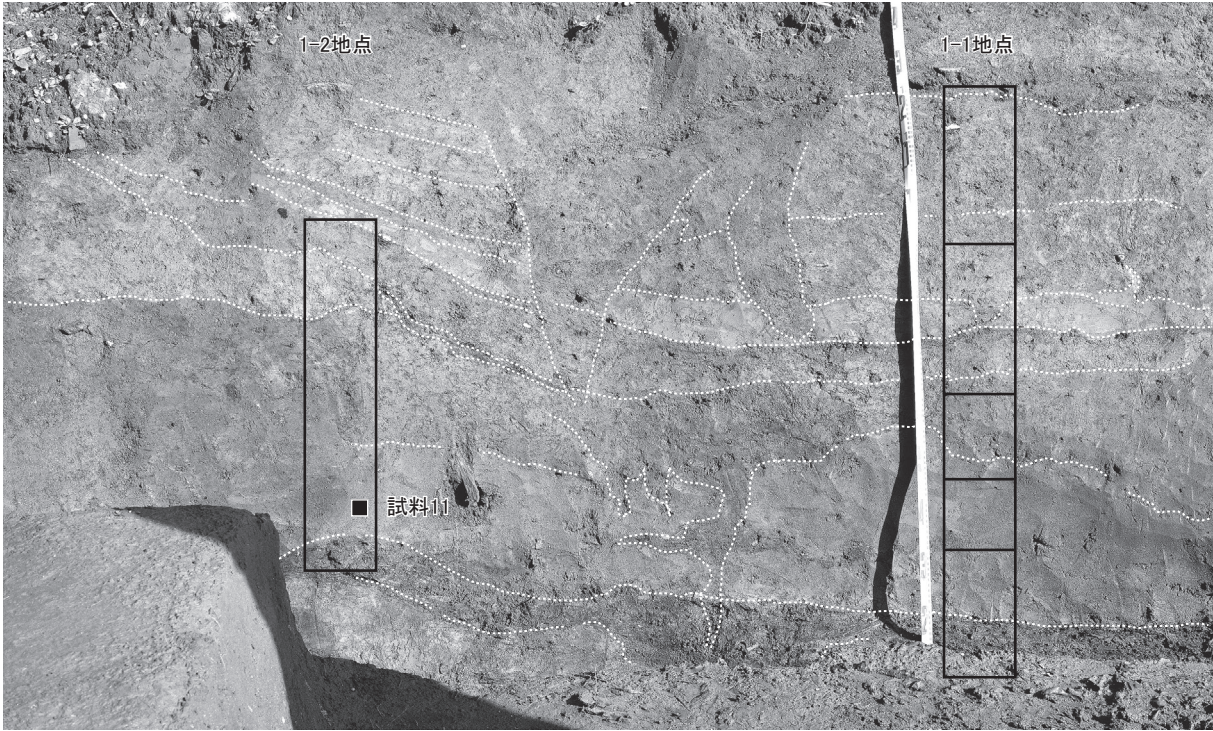
#### （4）結果・まとめ

##### ① 1-1地点

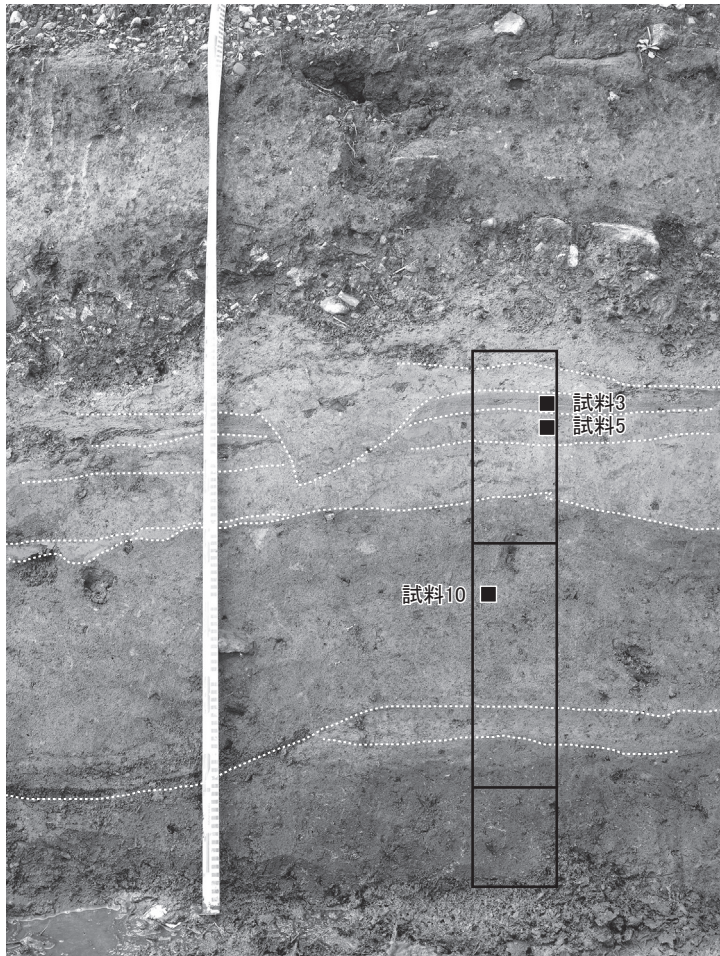
試料写真およびX線写真を第744図に示す。不攪乱堆積物試料は9層準に区分された。ここでは便宜的に上位より層準1～層準9を付し、以下に下位層準より堆積・土壌構造および推定される成因等について述べる。

層準9：明灰色～灰色を呈する細粒砂質泥～中粒砂混じり泥質細粒砂。上部は著しく擾乱されており、最上部に5mm以下の偽礫・微小ブロックが確認される。X線写真では、下部が均質な明色をなすが、上部にむけて漸移的にやや暗色化する。また、幅1mm以下の不連続な孔隙・間隙、下部と同質の5mm程度の微小ブロックが散在する。以上のように上部層準の擾乱により初生の堆積構造が乱れているが、本来は逆級化成層をなしていた可能性があり、この場合、河川の氾濫堆積物に由来すると考えられる。また、上部の擾乱層準は、人為的に掘削された遺構底の基盤で確認される構





1 地点 試料採取位置

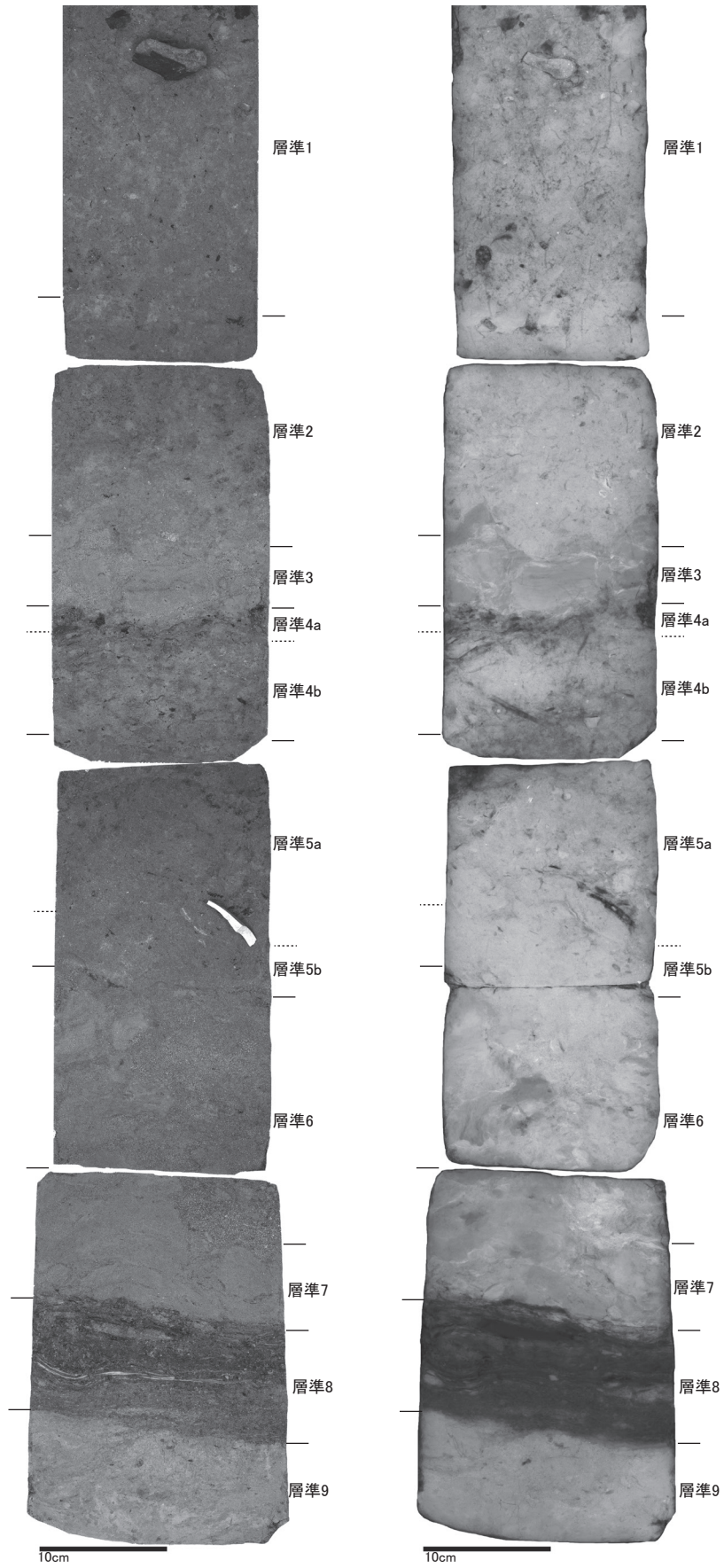


2 地点 試料採取位置

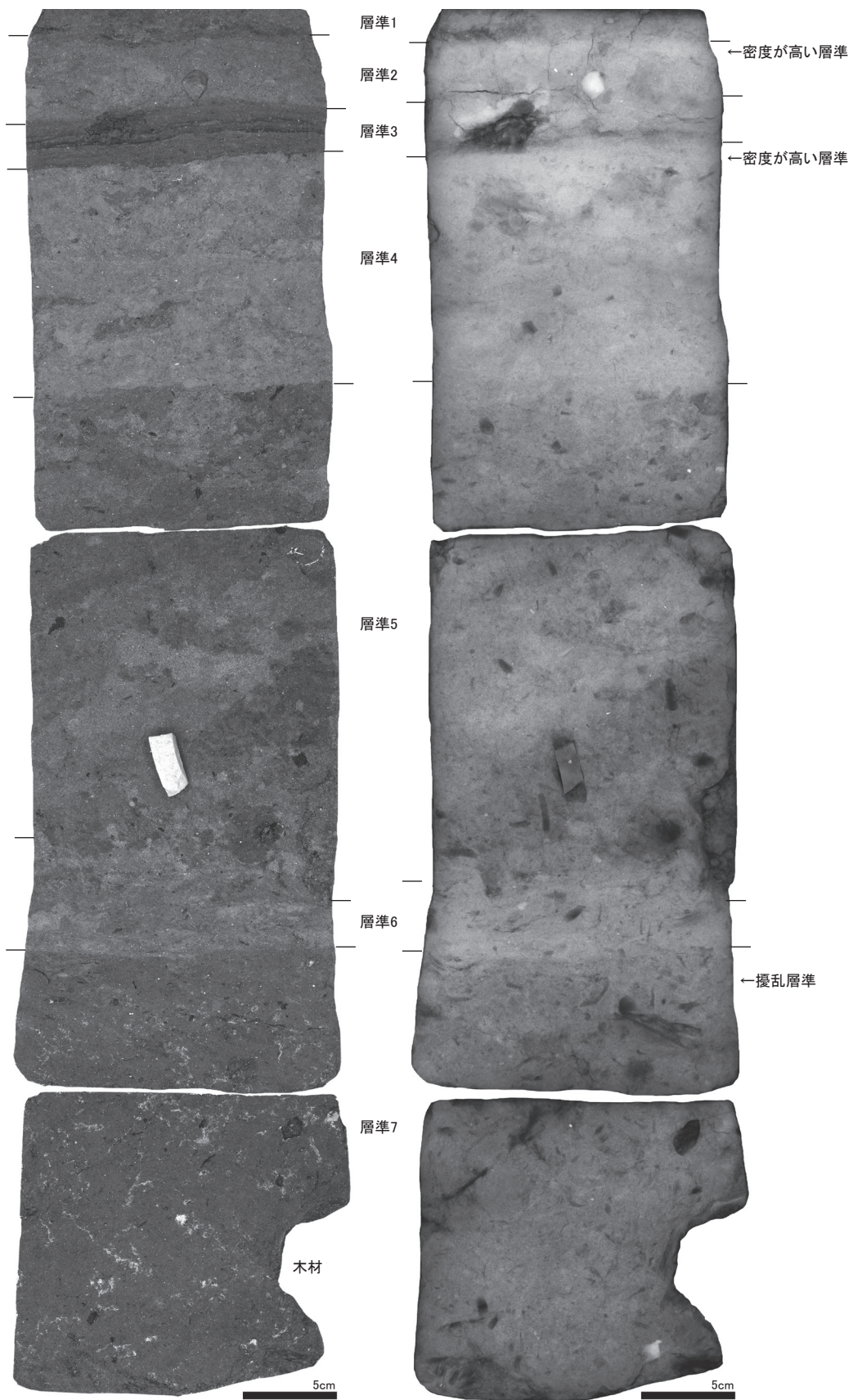
: X線写真撮影位置  
 : 砂粒組成分析・粒度分析

第 743 図 試料採取位置





第 744 図 1 - 1 地点試料写真・X線写真



第 745 図 2 地点試料写真・X 線写真



造に類似している。

層準8：砂質泥葉理を挟在する植物遺体葉理層。木材遺体や扁平形をなす砂質泥ブロックを挟在する。植物遺体の大きさは、下部で数ミリ程度の微細な破片、中・上部で木材遺体や比較的大きな植物遺体が混じるようになり、上方粗粒化している。X線写真でも同様な葉理構造が明瞭に確認され、泥質砂葉理が明色を呈し、植物遺体葉理が暗色を呈する。擾乱層準は認められず、上位の泥質砂に覆われている。以上の層相から、本層準は滞水域の水底に再堆積した植物遺体層と推定される。木材遺体などは人為的に投棄されたものが含まれている可能性があり、遺物の出土状況を踏まえた評価が必要である。

層準7：灰色泥質砂～砂質泥、泥混じり細～中粒砂からなる。偽礫状に分断されているようにみえるが、各偽礫状堆積物に確認される葉理構造をみると、隣接する偽礫状堆積物間で連続し、その直上に挟在する粗粒砂～中粒砂も側方向に連続している。これらの側方へ連続する層理は側方向の応力により変形し、曲がりくねった褶曲構造を呈しているようにみえる。X線写真では砂勝ちの領域が明色、泥勝ちの領域が暗色を呈するが、各コントラスト領域は概ね層状に連続し、褶曲しているようにみえる。このように本層準は変形している可能性が高いが、変形以前は成層していたとみられ、滞水域に堆積した堆積物とみられる。

層準6：中粒砂～粗粒砂からなる不定形をなす領域と、細粒砂～細粒砂質泥の偽礫が混在する層相を示す。細粒砂～細粒砂質泥の偽礫は、長軸の配向は水平方向を示すものが多い。また、偽礫内には級化する水平葉理構造が確認される。一方、粗粒砂～中粒砂からなる領域は水平方向に断続的に連続する部分も認められるが、多くが斑状の不定形に分布しており、その中には生物活動により生じた棲管も確認される。また、偽礫は粘塑性変形している。以上の層相から、本層準は滞水域に

おいて、堆積した氾濫堆積物で、生物擾乱の影響を強く受けている可能性が高い。下位の層準7との層界は連続的であり、同様の成因が推定される。

層準5：見かけ上は塊状を呈する黄褐色中粒砂～細粒砂混じり灰～暗灰色泥質細粒砂からなる。生物擾乱が著しく、堆積構造は乱れている。中・上部の層準5aには炭片や遺物が混じる。肉眼・X線写真をみると、下部の層準5bは下位層準と比較的明瞭な層界をなして積層する。不連続な砂の葉理が確認されるが塑性変形し、上方に引き摺りあげられた火焰状の構造を呈する。中・上部の5a層には大きさ2～1cm程度の泥質砂～砂質泥からなる亜円形の偽礫が層準5bの堆積斜面上に堆積しており、凹凸のある層理面をなしている。偽礫間の孔隙は泥質砂で充填されており、明瞭な孔隙・間隙は認められない。層準5a中・上部は生物擾乱が著しく、黄褐色細粒～中粒砂が偽礫状に分布し、上部は炭片・腐植が多くなる。以上の層相から、層準5は滞水域で形成された堆積物と考えられ、上部形成期には比較的静穏な堆積環境に変化したとみられる。

層準4：下凸の堆積空間を層状に充填する砂質泥からなり、最上部（層準4a）には炭片が多く混じる。不明瞭ながら断続的な葉理構造が確認される。また生物擾乱により著しく乱れている。本層準は、滞水域に氾濫時の浮遊泥などが沈降堆積した堆積物の可能性が高い。

層準3：下凸の堆積空間を層状に充填する泥質砂～砂質泥からなる。明瞭な葉理構造が確認され、逆級化成層をなす。ただし、上位の層準2形成時の上方からの応力や、上位層準から連続する根成孔隙や棲管などにより、地層は偽礫状に分断され、変形している。本層準は滞水域に堆積した氾濫堆積物の可能性が高い。

層準2：泥質砂～砂質泥、泥混じり中粒砂の偽礫・微小ブロックからなる。偽礫の大きさは3cm以下で、亜円を呈するものが多い。下部は下位の



層準3に突入している状況が確認される。X線写真を見ると、下部で明色、上部で暗色を呈し、孔隙・間隙が上部で多くなることが確認される。以上の層相から本層準は人為的営力で形成された客土と推定される。なお、最上部には明色を呈する密度の高い層準が確認されるが、これは客土形成後に斜面上位より流動移動した地表物質とみられる。

層準1：砂質泥～泥質砂の偽礫からなる。偽礫の大きさは3 cm以下でバラツキが大きい。形状は亜円～亜角で亜角を呈するものが相対的に多い。偽礫の長軸方向の配向も不規則である。偽礫間の孔隙・間隙は明瞭で、X線写真では暗色を呈する。遺物も包含する。以上の層相から本層準は人為的営力で形成された客土と判断される。

## ②2地点

試料写真およびX線写真を第745図に示す。

本地点の不攪乱堆積物試料は、7層準に区分される。上位より層準1～7と付し、以下に下位層準より堆積・土壌構造および推定される成因等について述べる。

層準7：黒褐色有機質砂質泥～泥からなる。葉理などの堆積構造は認められず、塊状をなす。木製品などを挟在するものの、未分解の植物遺体は認められない。X線写真では全体的に暗色を呈するものの、上部ほど暗色化し、孔隙・間隙が多く分布する。以上の層相から、本層は乾湿を繰り返すような湿地のような堆積場で形成されたことが推定される。最上部形成期には土壌生成が進行するようになっていた可能性がある。

層準6：粗粒砂・泥、偽礫混じり中粒～細粒砂からなる。下部は不明瞭ながら葉理状の構造が確認されるが、上部は層準6形成後の人為的客土である層準5形成時の営力により著しく乱れている。下位層準との層界は明瞭でシート状に積層している。X線写真では明色を呈し、葉理状の構造が確認される。水の営力で形成された堆積物と判断される。

層準5：灰色泥混じり中粒～粗粒砂、灰色泥質砂～砂質泥、腐植質泥質砂～砂質泥など、由来の異なる偽礫・微小ブロックからなる堆積物。遺物、炭片（5～10mm程度）、貝殻片なども混じる。偽礫の形状は亜円～亜角、大きさ1 cm～5 cm程度と不揃いである。偽礫間の間隙は認められず、かつ塑性変形している。泥質砂の偽礫の一部に葉理構造が確認されるが、ほとんどの偽礫内には堆積構造は認められない。X線写真では、腐植質堆積物の偽礫が暗色、砂質堆積物の偽礫が明色を呈し、不均質なコントラストをなす。層状に密度が高くなる層準は認められない。以上の層相から、本層準は人為的営力で形成された、氾濫堆積物や腐植質土壌などを使用した客土と推定される。最上部は偽礫の大きさが小さいことから、多少の土壌生成期間を挟在している可能性がある。

層準4：灰色泥～泥質砂からなる。調査地点では著しく擾乱されており、初生の堆積構造が乱れているが、調査断面左側の凹地部分では、泥～泥質砂と上方粗粒化していることから、擾乱される以前は逆級化成層をなしていたと思われる。粒径は中粒砂より細粒であることから、氾濫時の浮遊泥が沈降堆積した堆積物とみられる。調査地点では人為的に攪拌されているだけでなく、上部は人為的に客土されている。X線写真では中部は不均質な明暗のコントラストをなすが、最上部は明色を呈している。このことは最上部の堆積物の密度が高くなっていることを示唆しており、客土後に突き固めが行われるなど地表として機能していたことが示唆される。

層準3：腐植質砂質泥葉理を挟在する、葉理構造が発達する泥質砂からなる。層厚2 cm程度である。上・下位層準との層界は明瞭である。X線写真でも葉理構造が確認されるが、不明瞭である。これは本層準が鉄分の沈着により著しく硬化していることが関係し、X線が透過しにくい状況にあることが関係しているとみられる。また、本層準

は層相から洪水堆積物の可能性が考えられる。

層準2：黄灰色泥質砂と暗灰～灰色砂質泥の1 cm以下の偽礫・微小ブロックからなる。堆積構造は認められず、塊状を呈する。下部に中礫が混じる。偽礫・微小ブロックの形状は歪角～歪円、大きさは1 cm以下で上部に向けて小さくなり、最上部1 cmの垂直範囲で1 mm以下と不明瞭となる。また、下部の偽礫には氾濫堆積物由来とみられる葉理構造を有するものが確認される。堆積構造は認められない。X線写真では、偽礫・微小ブロックに対応するように、不均質な明暗のコントラストが確認される。また、最上部1 cmの垂直範囲は著しく明色を呈しており、堆積物の密度が高くなっていることが示唆される。以上の層相変化から本層準は平坦地造成を目的とする人為的な客土と判断され、最上部は突き固めが行われている可能性が高い。

層準1：褐色泥質砂～砂質泥、明灰色泥混じり砂の偽礫・微小ブロックからなる。これら偽礫の

## 2 砂粒組成分析・粒度分析（1）

### （1）はじめに

第1節の堆積物微細構造軟X線分析（1）で採取した試料を対象に、堆積している土砂の供給事情を把握するために砂粒組成分析・粒度分析を行った。対象の堆積層は第5～7・10図に位置を示した。

### （2）試料

試料は、第1節の堆積物微細構造観察の対象とした不攪乱堆積物試料より採取した土壌4点である。分析試料の内訳は、1-2地点下部の洪水堆積物と推定される堆積物（試料11）、2地点の葉理構造が認められる洪水堆積物の可能性がある堆積物（層準3；試料3）および氾濫堆積物を母材とする客土の可能性がある堆積物（層準4；試料5、層準5；試料10）である（第746図）。なお、1-2地点下部の試料11は、1-1地点の層準

長軸方向の配向は斜めから水平方向をなすものが主体である。偽礫の一部は葉理構造を残すものが確認される。X線写真では相対的に暗色を呈し、砂勝ちの偽礫が明色を呈する。人為的営力で形成された整地層とみられる。

以上の各地点の堆積物微細構造観察の結果、調査層準は氾濫堆積物を利用した人為的堆積物が厚く堆積していることが推定された。このように地盤のかさ上げが必要な背景には、調査区が位置する地域が沈降域であること、当該期の利根川水系への土砂流出量の増大など、内・外要因による地形変化が大きく関係していると推定される。今後、各層準における遺構の分布状況等の発掘調査成果情報との複合的解釈が必要である。また、2地点で確認された葉理構造の発達する堆積物については層相からは洪水堆積物と判断されるが、地業の一つとして水を利用した整地が行われている事例も存在するため、その平面的な分布状況を確認し、再評価する必要がある。

6と同一層準であるが、1-1地点側は生物擾乱の影響を強く受けているため、初生の構造を残す1-2地点の試料を選択している。

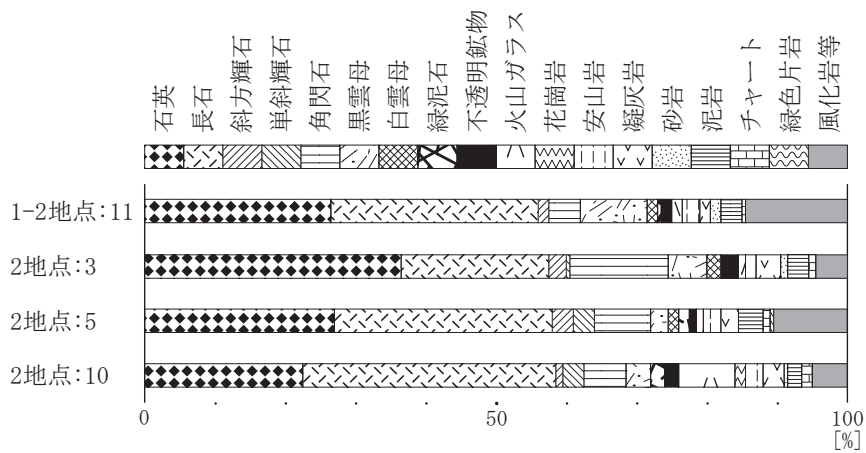
### （3）分析方法

#### ① 砂粒組成分析

試料をペトロポキシにより包埋処理し、固化後、ダイヤモンドカッターにより切断、整形して薄片用のチップを作製する。チップの片面は#180～#2500の研磨剤を用いて研磨する。研磨された面をプレパラートに貼り付けた後、チップ側を厚さ5 mm程度に薄く切断する。薄くなったチップを#180～#800の研磨剤を用いて研磨機上で厚さ0.1 mm以下まで研磨する。さらに、メノウ板上で#2500の研磨剤を用いて正確に0.03 mmの厚さに調整する。プレパラート上で薄くなった岩石薄片の上にカバーガラスを貼り付け完成とする。砂粒の同定は、メカニカルステージを取り付けた偏光

第 256 表 砂粒組成

分析試料		鉱物片									岩片									合計
		石英	長石	斜方輝石	単斜輝石	角閃石	黒雲母	白雲母	緑泥石	不透明鉱物	火山ガラス	花崗岩	安山岩	凝灰岩	砂岩	泥岩	チャート	緑色片岩	風化岩等	
1-2地点	11	53	59	3	0	9	19	3	1	3	3	0	5	3	3	6	1	0	29	200
2地点	3	73	42	5	1	28	11	4	0	5	2	0	3	7	2	6	2	0	9	200
	5	54	62	6	6	16	5	3	3	2	2	0	5	5	0	7	2	1	21	200
	10	45	72	2	6	12	7	0	4	4	16	3	5	6	1	4	3	0	10	200



第 746 図 砂粒組成

顕微鏡を用い、ライン法により 200 粒を上限として同定・計数する。

② 粒度分析 (Wentworth 区分)

粒度分析 (礫、砂 1/2 φ、泥) は公文・立石編新版碎屑物の研究法 (1998)、上杉 (1971、1972) を参考に礫画分・砂粒子画分は篩別法、シルト以下粒子画分はピペット法で行った。また、粒径区分は Wentworth (1922) に従った。以下に分析操作工程を示す。

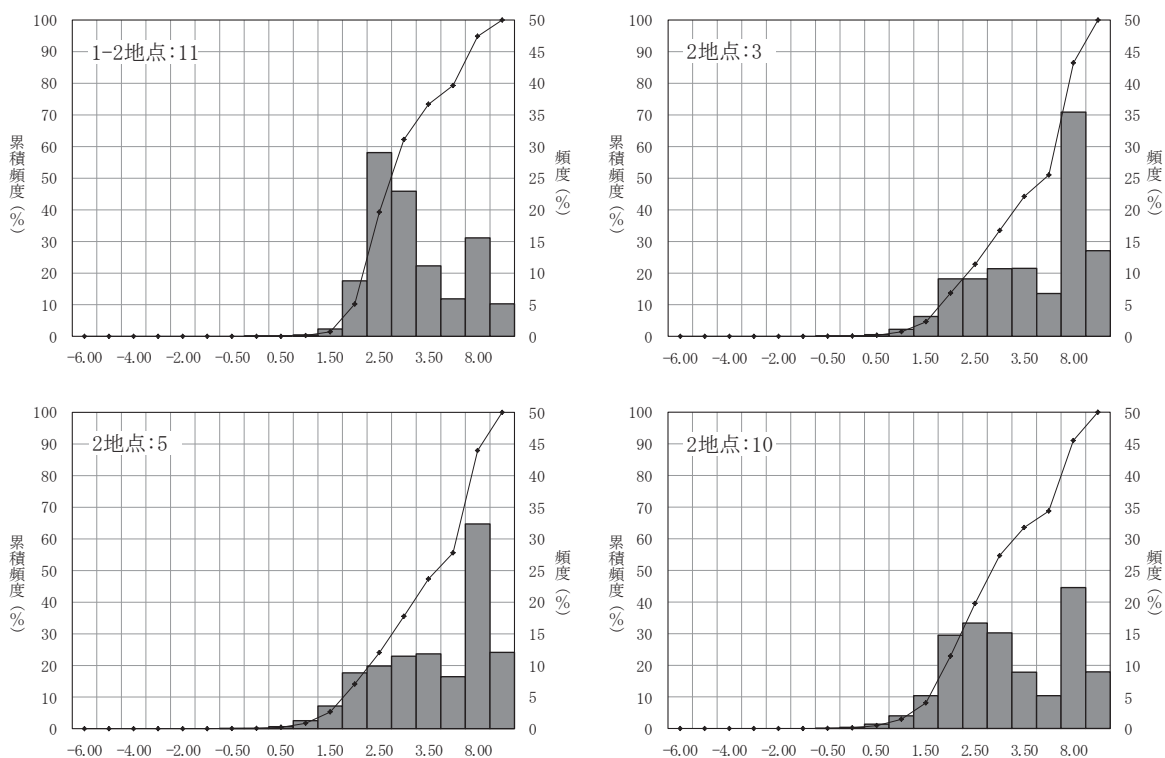
試料を風乾して 2mm φ 篩でふるい分ける。2mm φ (～1.00 φ) 篩上粒子は水洗・乾燥させた後の重量を測定する。一方、2mm φ 篩下粒子は 10.00～20.00g をビーカーに秤量し、蒸留水と 30% 過酸化水素水を加え、熱板上で有機物分解を行う。分解終了後、蒸留水と分散剤 (4% カルゴン) を加え、攪拌しながら 30 分間音波処理を行う。沈底瓶にこの懸濁液を移し、往復振とう機で 1 時間振とうする。振とう終了後、水で全

量を 1000ml にする。この沈底瓶を 1 分間手で激しく振り、直ちに静置する。ピペット法に準じて所定時間に所定深度から粗粒シルト (0.063mm φ (4 φ) >、粘土 (0.0039mm φ (8 φ) >) を 10ml 採取し、105℃で 24 時間乾燥させた後、重量を測定し加積通過率 (質量%) を求める。ピペット法終了後、懸濁液を 0.063mm 篩で水洗いする。0.063mm 篩残留物を 105℃で 24 時間熱乾後、1.40 mm φ (～0.5 φ)、1.00 mm φ (0 φ)、0.71 mm φ (0.5 φ)、0.5 mm φ (1 φ)、0.355 mm φ (1.5 φ)、0.25 mm φ (2 φ)、0.180 mm φ (2.5 φ)、0.125 mm φ (3 φ)、0.088mm φ (3.5 φ) 篩でふるい分け、各篩毎に篩上残留物の重量を測定し、加積通過率 (重量%) を求める。重量計測は下 2 桁まで読みとる。ピペット法およびふるい分けで求められる加積通過率 (質量%) から粒径加積曲線を描き、Wentworth (1922) の粒径区分毎の質量を算出する。なお、ふるい分けに用

第257表 粒度分析結果

		粒度組成 (%)															
		礫						砂						泥			
		大礫		中礫		細礫		極粗粒砂		粗粒砂		中粒砂		細粒砂		微粒砂	
分析試料	<6φ	-6~ -5φ	-4~ -3φ	-2~ -1φ	-1~ 0.5φ	0~ 0.5φ	0.5~ 1φ	1~ 1.5φ	1.5~ 2φ	2~ 2.5φ	2.5~ 3φ	3~ 3.5φ	3.5~ 4φ	4~ 8φ	8φ<		
	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm		
	>64	64~ 32	16~ 8	4~ 2	2~ 1.40	1.40~ 1.00	1.00~ 0.71	0.71~ 0.50	0.50~ 0.355	0.355~ 0.25	0.25~ 0.180	0.180~ 0.125	0.125~ 88	88~ 63	63~ 3.9	3.9>	
1-2地点	11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.05	0.22	1.16	8.78	29.06	22.94	11.14	5.93	15.57	5.14	
2地点	3	0.00	0.00	0.00	0.03	0.05	0.27	1.11	3.16	9.08	10.70	10.76	6.78	35.44	13.55		
2地点	5	0.00	0.00	0.00	0.07	0.05	0.32	1.26	3.59	8.83	9.91	11.47	11.83	8.23	32.37	12.06	
2地点	10	0.00	0.00	0.00	0.03	0.20	0.69	2.01	5.19	14.76	16.66	15.11	8.90	5.19	22.29	8.97	

分析試料	粒徑区分										粒度係数							
	礫 grave l	極粗粒砂 very coarse	粗粒砂 coarse sand	中粒砂 medium sand	細粒砂 fine sand	極細粒砂 very fine sand	泥 mud	中央値(Md)		平均値(Mz)		淘汰度(sd)		歪度(sk)		尖度(sg)		
	<-1φ	-1~0φ	0~1φ	1~2φ	2~3φ	3~4φ	4φ<	(φ)	(φ)	(φ)	(φ)	(φ)	(φ)	(φ)	(φ)	(φ)	(φ)	(φ)
1-2地点	11	0.00	0.01	0.27	9.94	52.00	17.07	20.71	2.81	0.143	3.38	0.096	1.77	悪い	0.59	著しい正の歪	1.73	非常に突出
2地点	3	0.00	0.08	1.38	12.24	19.78	17.54	48.98	4.11	0.058	4.65	0.040	2.96	非常に悪い	0.39	著しい正の歪	1.03	中間的
2地点	5	0.00	0.12	1.58	12.42	21.38	20.06	44.44	3.79	0.072	4.47	0.045	2.91	非常に悪い	0.44	著しい正の歪	1.09	中間的
2地点	10	0.00	0.23	2.70	19.95	31.77	14.09	31.26	2.94	0.130	3.81	0.071	2.69	非常に悪い	0.57	著しい正の歪	1.28	突出



第 747 図 粒径頻度および粒径累積加積曲線

いた篩は内径 200mm、深さ 60mm である。

#### (4) 結果

##### ① 砂粒組成分析

結果を第 256 表、第 746 図に示す。4 試料の組成は、いずれも石英と長石の鉱物片で合わせて 60% 弱を占め、両輝石と角閃石および黒雲母からなる重鉱物粒が合わせて 20% 程度を占める。重鉱物の中では、1-2 地点；試料 11 は黒雲母が多く、他の 3 点とともに角閃石が最も多い。

岩石片は各試料を通じて 15 ~ 25% ほどを占める。このうち、岩石片の占める割合の比較的多い 1-2 地点；試料 11 と 2 地点；試料 5 は、いずれも風化岩等の不明岩片が約半分を占める。4 試料において同定された岩石は、火山ガラス、花崗岩、安山岩、凝灰岩、砂岩、泥岩、チャート、緑色片岩の各岩石である。これらの中では、火山ガラスが 2 地点；試料 10 において多く含まれるが、他の岩石片は突出して多く含まれるものはない。傾向としては、安山岩と凝灰岩および泥岩が 4 試料を通じてやや多い傾向にある。

##### ② 粒度分析

粒度分析結果を第 257 表に示す。第 257 表については、Folk & Ward (1957) による粒度係数の評価も併せて示す。また、粒径累積加積曲線を第 747 図に示す。

4 試料のうち、2 地点の試料 3, 5, 10 の 3 点は、シルト分と粘土分が合わせて 30 ~ 50% を占める泥混じりの砂質堆積物である。これら 3 試料における砂分は、細粒砂と極細粒砂合わせて 40 ~ 45% ほどを占める細粒傾向の強い組成を示す。1-2 地点；試料 11 は、シルト分と粘土分は合わせて 20% 程度であり、細粒砂が 52% を占める砂質の堆積物である。

粒度係数における評価のうち、淘汰度は、1-2 地点；試料 11 は「悪い」であり、2 地点の 3 試料とともに「非常に悪い」である。歪度は 4 試料ともに「著しい正の歪」を示すが、尖度は、1-2 地点；試料 11 は「非常に突出」、2 地点；試料 10 は「突出」、2 地点；試料 3, 5 は「中間的」である。



## (5) まとめ

栗橋宿の位置する加須低地から中川低地にかけての利根川中流域の沖積低地は、利根川と荒川および渡良瀬川など複数の河川が関連して地形を形成してきた。それぞれの堆積物の形成に関わってきた河川を推定する際に堆積物を構成する砂粒の鉱物組成や岩石組成を指標とする方法がある（例えば、Kubo, 2012 など）。これは、各河川の堆積物は流域に分布する地質が反映されているという見解に基づくものである。利根川、荒川、渡良瀬川の3河川については、中野ほか（1998）、坂本ほか（1987）、須藤ほか（1991）などの地質記載を参照すると、概ね以下のような傾向が示される。利根川流域の特徴は第四紀の火山岩類と新第三紀の凝灰岩の分布にあり、荒川は関東山地を構成する堆積岩類と三波川変成帯を構成する変成岩類が特徴とされ、渡良瀬川は足尾山地を構成する堆積岩類が特徴となる。

分析を行った4試料は、いずれも安山岩と凝灰岩および泥岩・チャートの比較的多い岩片組成の傾向が窺えることから、各堆積物は主に利根川と渡良瀬川の両河川から供給された碎屑物に由来す

ると考えられる。試料には葉理構造が認められる洪水堆積物の可能性がある層準や客土の可能性はある層準があるが、砂粒組成に大きな変化は認められないことから、同様の河川流域より供給された堆積物を母材とすることが推定される。なお、2地点；試料5には、微量ではあるが変成岩の緑色片岩も認められた。この点は、他の試料と異なる特徴であり、上記した河川流域の地質などを参考とすると、荒川水系の影響もわずかながら及んでいた可能性が考えられる。

また、粒度分析結果についてみると、1-2地点；試料11と2地点の3試料（試料3, 5, 10）とでは粒度組成において差異が認められた。1-2地点；試料11は洪水堆積物と推定される堆積物であり、同様に洪水堆積物と推定された2地点；試料3と比較すると、粒径（砂分の割合）や淘汰度が異なる状況が窺え、堆積営力が異なっていたことなども推定がされる。また、他の2試料も客土の可能性が推定されているが、大きな差異は認められないため、母材となった洪水堆積物の特徴を反映していると思われる。

## 引用・参考文献

- 上杉陽, 1971, ふるいを用いた粒度分析法の吟味. 地理学評論, 44, 839-857.
- 上杉陽, 1972, 粒径頻度分布からみた風成砂・海成砂の諸特徴. 第四紀研究, 11, 49-60.
- 公文富士夫・立石雅昭編, 1998, 新版碎屑物の研究法. 地学双書, 29, 地学団体研究会, 399p.
- 坂本亨・酒井彰・秦光男・宇野沢昭・岡重文, 1987, 20万分の1地質図「東京」, 地質調査所.
- 須藤定久・牧本博・秦光男・宇野沢昭・滝沢文教・坂本亨, 1991, 20万分の1地質図幅「宇都宮」, 地質調査所.
- 中野・竹内・加藤・酒井・濱崎・広島・駒澤, 1998, 20万分の1地質図幅「長野」, 地質調査所.
- Fork, R. L. and Ward, W., 1957, Brazons river bar, a study in the significance of grain size parameters. J. Sed. Petrol, 27, 3-26.
- Friedman, G. M. 1961, Distinction between dune, beach, and river sands from their textural characteristic. J. sed. Petrol, 31, 514-529.
- Kubo, S., 2012, Shifting of the Arakawa River in the Kanto Plaine, Central Japan, during the Late Holocene: A Geomorphological Approach. Geographical Review of Japan Series B, 84, 71-80.
- Wentworth, C. K., 1922, A scale of grade and class terms for clasticsediments. J. Geol, 30, 377-392.



### 3 堆積物微細構造軟X線分析（2）

#### （1）はじめに

調査区西側の基本土層西壁の堆積層を対象に、洪水痕跡の確認と堆積物の形成過程を把握するために、堆積物微細構造軟X線分析を実施した。

#### （2）試料

対象とした試料は、調査区西側壁面の地点2と設定した箇所より採取した。本地点では、概ね160cmほどの堆積が認められる。最下位から約35cmまでは黒褐色～灰色の粘土やシルトが堆積し、特に上位の層準でシルトの偽礫などが含まれる。約35～50cmは灰オリーブ色を呈する極細粒～細粒砂で、弱い葉理が認められる。約50～70cmまでは青灰色～褐灰色～暗灰黄色を呈するシルト～粘土で、下部は酸化鉄の沈着が顕著である。上部には畝間とみられる堆積物が認められる。約70～85cmは粘土～シルトからなり、下部は暗灰色、上部は灰色を呈する。調査所見から盛土と想定されている。約85～115cmは暗灰色～灰色を呈するシルトからなり、上部に白色砂が混じる。約115～160cmは現在の攪乱である。

分析試料は、高さ約25～35cm、幅約15cmの不攪乱柱状試料4点（ブロック1～4）を採取した。試料採取断面および試料採取位置を第748図に示す。

#### （3）分析方法

採取した不攪乱柱状試料について、肉眼およびX線写真撮影観察を実施する。試料は厚さ1cmまで板状に成形し、湿潤状態のままエクストロン・インターナショナル株式会社製MG165/4.5を用いて、管影電圧40kV、撮影電流2.0mA、撮影距離100cm、撮影時間120秒の条件でX線写真撮影を実施した。なお、X線写真では礫や酸化鉄など密度の高い物質が明色（白色）を呈し、有機質に富む堆積物や植物遺体など密度の低い物質が暗色

を呈する。

#### （4）結果・まとめ

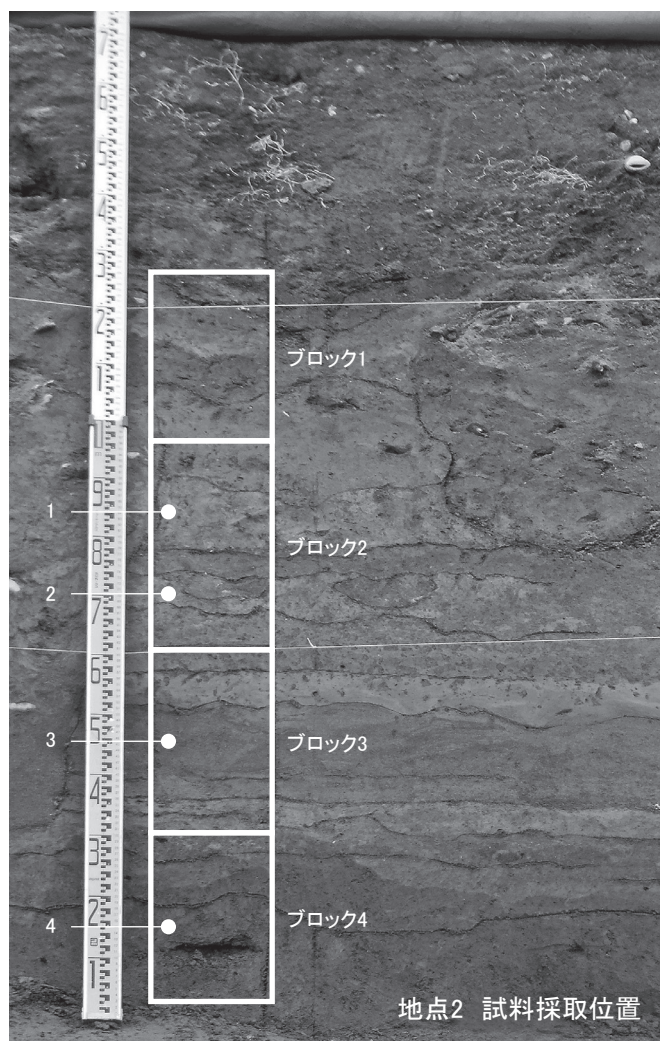
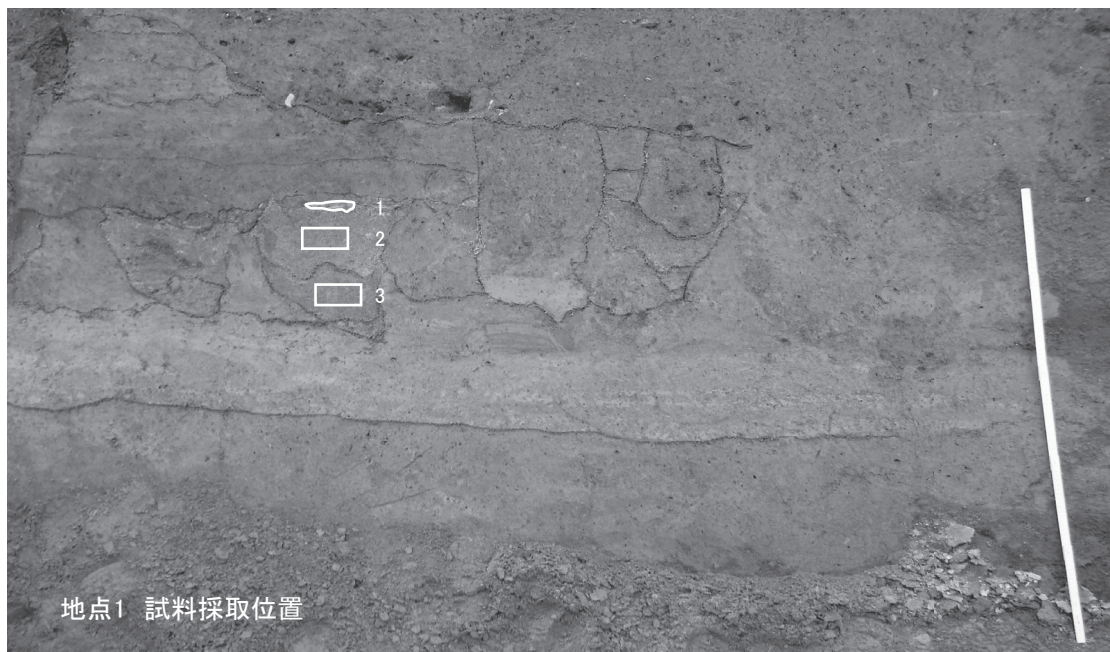
堆積層断面写真およびX線写真を第749図に示す。不攪乱堆積物試料は16層準に区分された。ここでは便宜的に上位より層準1～層準16を付し、以下に下位層準より堆積・土壌構造および推定される成因等について述べる。

層準16：黒褐色を呈する均質な泥層。上位の層準との層界も不明瞭である。X線写真でも、葉理等の堆積構造は認められない。微量の黒雲母片が散在していることが確認される。

層準15：灰色泥層。下部にはやや粘土質な部分が認められるが、上部との境界は不明瞭である。X線写真でも、下部に若干の明るい領域として粘土質な部分が認められるが、他の部分との違いは明瞭ではない。また、本層準にも下位層準から連続して微量の黒雲母片の散在が認められる。

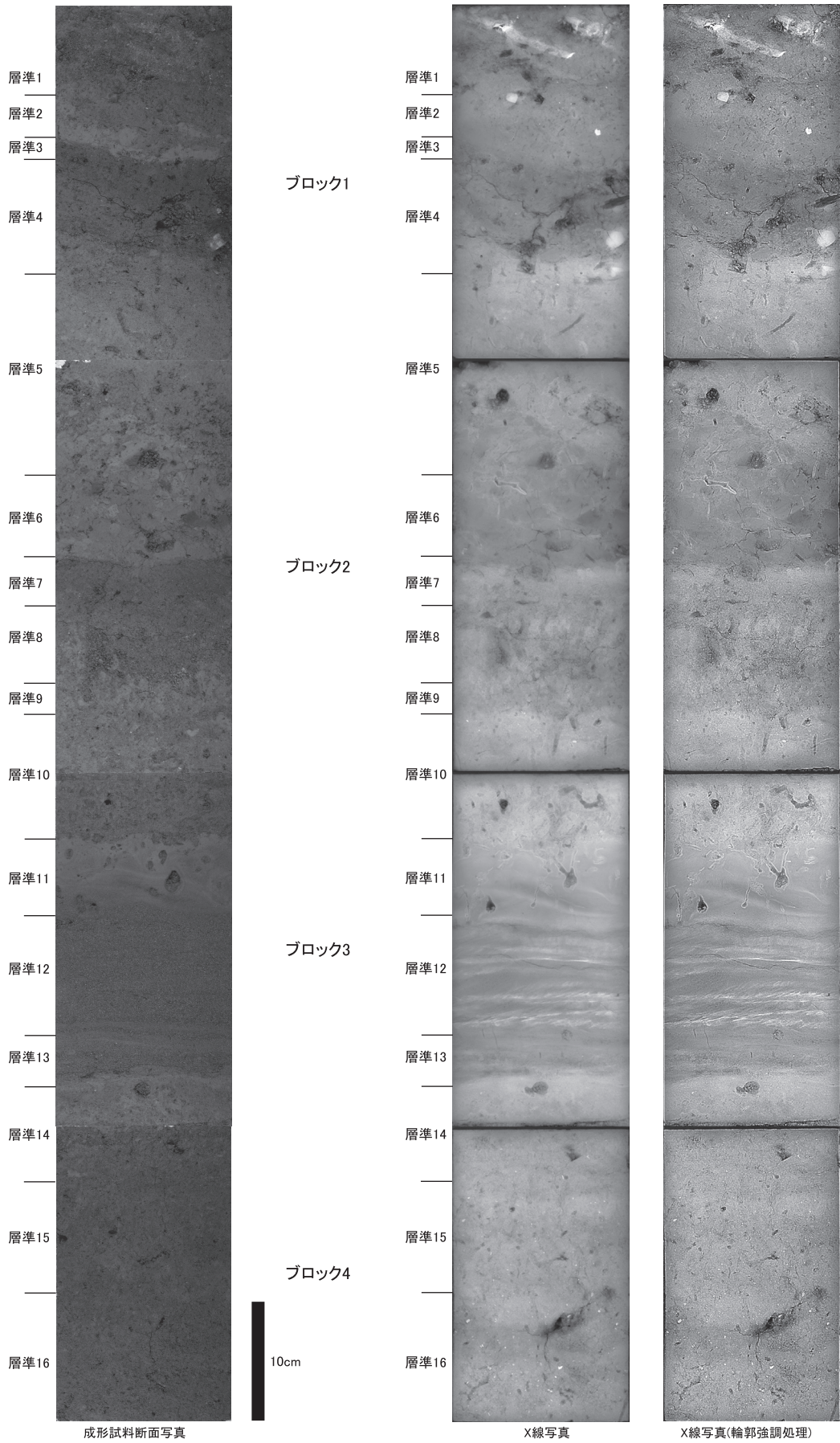
層準14：灰黄褐色泥層。灰色シルトからなる径数cm程度の偽礫が混在するが、葉理等の堆積構造は認められない。偽礫の外形は不定形である。下位の層準との層界も不明瞭である。X線写真では、黒雲母片の散在が極めて微量認められ、下位層準からの黒雲母片の散在が本層準まで及んでいることがわかる。なお、現地調査所見では、本層準で灰色シルトからなる偽礫の混在が顕著に認められることから、人為的な盛土、自然または人為的な攪乱などの可能性がある。

層準13：灰オリーブ色を呈するシルトと細砂の互層。下位の層準との層界は比較的明瞭である。細砂とシルトとの組み合わせが少なくとも2組以上認められる。X線写真でも、細砂からなる暗い葉理とシルトからなる明るい葉理との組み合わせが2層準あることが示されている。これらの堆積構造から、本層準は氾濫堆積物であることが推定される。



第 748 図 試料採取位置





第 749 図 堆積層の断面と X 線写真

層準 12：灰オリーブ色を呈する極細粒砂～細粒砂層。上部では上方細粒化傾向を示し、最上部はシルト質となって上位の層準へは漸移する。柱状試料の断面には、主に磁鉄鉱等の黒色鉱物粒からなる水平方向の不明瞭な葉理が観察されるが、X線写真では明瞭な葉理が確認される。X線写真では、明るい色を呈する葉理が大きくみて上部、中部、下部の3層準あるが、中部と下部の葉理は細かく断裂して斜交している状態が認められる。これらの堆積構造も、本層準が下位の層準と同様に氾濫堆積による形成であることを示唆していると考えられる。

層準 11：青灰色のシルト質粘土からなる泥層。下位の砂層とは漸移的であり、灰白色粘土の薄層が砂層との層界付近およびその上位に挟在する。X線写真では、不明瞭ながらも緩い角度で斜交する葉理が複数認められ、本層準も下位層準同様に氾濫による堆積物であることが推定される。

層準 10：暗灰黄色を呈する砂質泥層であり、下位の層準との層界は明瞭である。根痕状に入る酸化鉄の沈着が顕著である。X線写真では、砂分の含有により明るい色調を呈しており、葉理などの堆積構造は認められない。上部には黒雲母片が極めて微量散在する。これらの特徴から、本層準は氾濫堆積層である下位の層準 11とは異なり、人為による盛土層である可能性がある。

層準 9：褐灰色を呈する粘土質シルトからなる泥層。酸化鉄が点状に多量に入る。また、根痕状に灰色のシルトが分布する。X線写真をみると、下位の層準に比べて全体的に暗い色調を呈し、密度の低い泥層であることが示される。

層準 8：オリーブ黒色を呈するシルト混じりの細砂～中粒砂のブロックである。X線写真では、周囲よりやや明るい部分として認められるが、周囲との境界はそれほど明瞭ではない。砂質ではあるが、シルト分も含むことから、X線写真ではやや不明瞭なのかもしれない。発掘調査所見では、

下位の層準 9は畝の構成土、本層準は畝間の堆積層と考えられている。

層準 7：暗灰黄色を呈する砂質泥層である。上位の層準との層界付近に酸化鉄が沈着し、層界自体も明瞭である。層中には灰白色のシルトからなる偽礫や炭化物の含有がみられる。X線写真では、上位の層準に比べて砂質であることから色調が明るく、層界は明瞭である。一方、下位の層準との色調の違いはやや不明瞭である。葉理等の堆積構造も認められない。

層準 6：褐灰色の粘土とシルトからなる泥層である。下位の層準との層界は明瞭である。灰黄色または黒褐色の粘土からなる偽礫が多量に含まれる。偽礫は径数 cm 程度で不定形である。酸化鉄の沈着も認められる。また、凝灰岩礫などの亜円～亜角礫状の礫も微量含まれ、最大径は 5 cm 程度である。X線写真では、下位の層準に比べて暗い色調を呈し、その層界は明瞭に認識される。ただし、層内には葉理等の堆積構造は認められない。現地調査所見から、下位の層準 7とともに盛土の可能性が指摘でき、上述した本層準の特徴はそのことを支持していると言える。

層準 5：黄灰色を呈する砂質泥層。管状の酸化鉄の沈着が認められ、下位の層準との層界は明瞭である。径 1 cm 程度の亜角礫も確認された。X線写真では、砂質であることから下位の層準に比べて明るい色調を呈しているが、層界はやや不明瞭である。葉理等の堆積構造は認められない。

層準 4：オリーブ黒色を呈するシルトからなる泥層であり、上位と下位の層準との層界は明瞭である。材片や礫の含有が微量認められる。礫は、径 3～5 mm 程度の亜円～円礫である。X線写真では、下位の層準に比べて暗色を呈し、上位の層準に比べて明色を呈することで認識されるが、それらの層界はやや不明瞭である。また、葉理等の堆積構造は認められない。

層準 3：灰～灰白色を呈する粘土およびシルト

からなる泥層である。上位および下位の層準との層界は明瞭であり、下部に灰白色粘土がブロック状に攪乱した状況が認められる。X線写真では、上位と下位の層準に比べて暗色を呈し、より泥質であることがわかる。ただし、写真上の層界はやや不明瞭である。葉理等の堆積構造は認められない。

層準2：灰色を呈する砂混じりの泥層である。上位および下位の層準との層界は明瞭である。含有される砂は、細粒～極細粒であり部分的に偏在する。また、礫も含まれる。X線写真では、下位の層準よりも明るい色調を呈することで認識されるが、写真上の層界はやや不明瞭である。葉理等の堆積構造は認められない。

層準1：褐灰色を呈する細砂～中粒砂層であり、下位の層準との層界は明瞭である。灰色シルトからなる薄層が挟在し、酸化鉄の硬化した層も認められる。X線写真では、明色を呈する砂層も認められるが、全体的には泥質の下位の層準よりもむ

## 4 砂粒組成分析・粒度分析（2）

### （1）はじめに

第3節堆積物微細構造軟X線分析（2）で採取した試料を対象に、堆積している土砂の供給事情を把握するために砂粒組成分析・粒度分析を行った。対象の堆積層は第5～7・10図に位置を示した。

### （2）試料

試料は、第3節地点2の堆積物微細構造観察の対象とした不攪乱堆積物試料より、試料番号1～4の4点を採取した。試料採取位置を図1に示す。

### （3）分析方法

#### ① 砂粒組成分析

試料をペトロポキシにより包埋処理し、固化後、ダイヤモンドカッターにより切断、整形して薄片用のチップを作製する。チップの片面は#180～

しろやや暗い色調を呈し、層界は不明瞭である。これは全体的に空隙の多い砂層であることを示していると考えられる。

まとめ：層準14は盛土、自然又は人為的な攪乱の可能性が検討されるものの、層準13から層準11までの氾濫堆積によって上部が失われているものと想定される。層準13から層準11の氾濫堆積の時期は不明であるが、少なくとも複数回の氾濫堆積を被ったものと推定される。極細粒砂～細粒砂を基質とする層準12からシルト質粘土を基質とする層準11への漸移的な層相変化から、氾濫の規模や頻度が減少したことが窺え、層準10によって盛土がなされ、その耕作地として利用された（層準9と層準8）状況が推定される。なお、本分析調査の範囲では最下部で層準16を確認し、層準16から層準14までの層界は不明瞭であるが、これらの層準の評価をするためには、より下位の層準までを対象とした調査が期待される。

#2500の研磨剤を用いて研磨する。研磨された面をプレパラートに貼り付けた後、チップ側を厚さ5mm程度に薄く切断する。薄くなったチップを#180～#800の研磨剤を用いて研磨機上で厚さ0.1mm以下まで研磨する。さらに、メノウ板上で#2500の研磨剤を用いて正確に0.03mmの厚さに調整する。プレパラート上で薄くなった岩石薄片の上にカバーガラスを貼り付け完成とする。砂粒の同定は、メカニカルステージを取り付けた偏光顕微鏡を用い、ライン法により200粒を上限として同定・計数する。

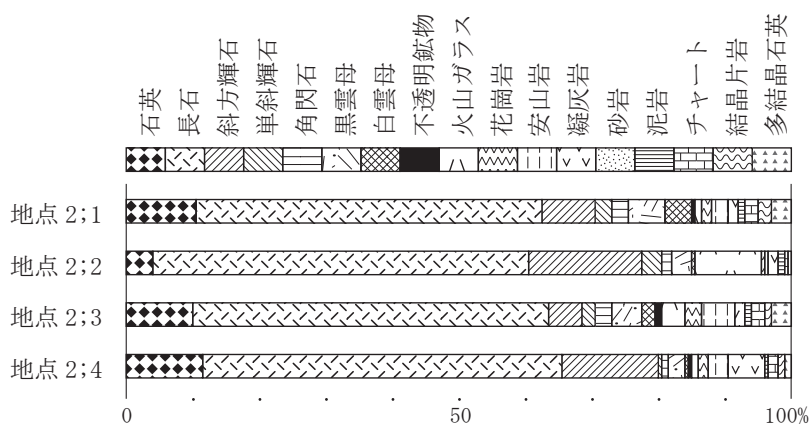
#### ② 粒度分析

粒度分析（礫、砂1/2φ、泥）は公文・立石編新版碎屑物の研究法（1998）、上杉（1971, 972）を参考に礫画分・砂粒子画分は篩別法、シルト以下粒子画分はピペット法で行う。また、粒径区分



第 258 表 砂粒組成

分析試料	鉱物片								岩片								合計		
	石英	長石	斜方輝石	単斜輝石	角閃石	黒雲母	白雲母	不透明鉱物	火山ガラス	花崗岩	安山岩	凝灰岩	砂岩	泥岩	チャート	結晶片岩		多結晶石英	
地点2	1	21	104	16	5	5	11	8	1	2	3	5	3	0	2	4	4	6	200
	2	8	113	34	6	3	6	1	0	20	1	1	3	0	2	1	0	1	200
	3	20	107	10	4	5	9	4	2	7	5	10	3	0	2	4	2	6	200
	4	23	108	29	1	2	5	1	1	2	3	6	11	0	1	3	2	2	200



第 750 図 砂粒組成

は Wentworth(1922) に従う。以下に分析操作工程を示す。

試料を風乾して 2mm φ 篩でふるい分ける。2mm φ ( ~ 1.00 φ ) 篩上粒子は水洗・乾燥させた後の重量を測定する。一方、2mm φ 篩下粒子は 10.00 ~ 20.00g をビーカーに秤量し、蒸留水と 30% 過酸化水素水を加え、熱板上で有機物分解を行う。分解終了後、蒸留水と分散剤 (4% カルゴン) を加え、攪拌しながら 30 分間音波処理を行う。沈底瓶にこの懸濁液を移し、往復振とう機で 1 時間振とうする。振とう終了後、水で全量を 1000ml にする。この沈底瓶を 1 分間手で激しく振り、直ちに静置する。ピペット法に準じて所定時間に所定深度から粗粒シルト (0.063mm φ ( 4 φ ) >、粘土 (0.0039mm φ ( 8 φ ) >) を 10ml 採取し、105°C で 24 時間乾燥させた後、重量を測定し加積通過率 ( 質量 % ) を求める。ピ

ペット法終了後、懸濁液を 0.063mm 篩で水洗いする。0.063mm 篩残留物を 105°C で 24 時間熱乾後、1.40 mm φ ( ~ 0.5 φ )、1.00 mm φ ( 0 φ )、0.71 mm φ ( 0.5 φ )、0.5 mm φ ( 1 φ )、0.355 mm φ ( 1.5 φ )、0.25 mm φ ( 2 φ )、0.180 mm φ ( 2.5 φ )、0.125 mm φ ( 3 φ )、0.088mm φ ( 3.5 φ ) 篩でふるい分け、各篩毎に篩上残留物の重量を測定し、加積通過率 ( 重量 % ) を求める。重量計測は下 2 桁まで読みとる。ピペット法およびふるい分けで求められる加積通過率 ( 質量 % ) から粒径加積曲線を描き、Wentworth(1922) の粒径区分毎の質量を算出する。なお、ふるい分けに用いた篩は内径 200mm、深さ 60mm である。

#### (4) 結果

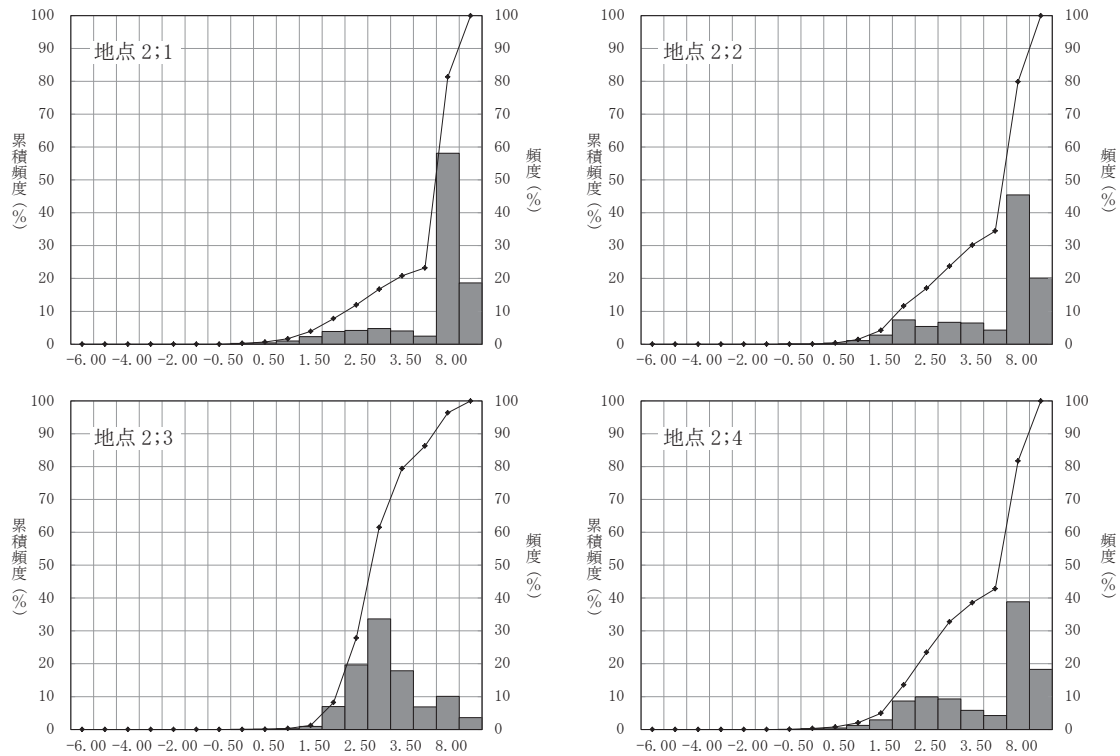
##### ① 砂粒組成分析

結果を第 258 表、第 750 図に示す。4 試料の組成は、いずれも石英と長石の鉱物片で合わせて

第 259 表 粒度分析結果

分析試料		粒度組成 (%)															
		礫							砂							泥	
		大礫 <6φ mm	中礫 -6~-5φ mm	-4~-3φ mm	-3~-2φ mm	細礫 -2~-1φ mm	極粗粒砂 -1~-0.5φ mm	極粗粒砂 0φ mm	粗粒砂 0.5φ mm	粗粒砂 1φ mm	中粒砂 1.5φ mm	中粒砂 2φ mm	中粒砂 2.5φ mm	細粒砂 2.5φ mm	細粒砂 3φ mm	微粒砂 3.5φ mm	微粒砂 3.5φ mm
1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.98	2.28	3.87	4.19	4.78	4.05	2.43	58.12	18.65
2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.03	1.08	2.78	7.41	5.41	6.68	6.42	4.30	45.43	20.12	
3	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.07	0.24	6.95	19.66	33.66	17.89	6.90	10.09	3.62	
4	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06	0.25	0.45	1.26	2.92	8.65	9.90	9.27	5.81	4.26	38.88	18.29

分析試料	粒径区分										粒度係数						
	礫 grave I	極粗粒砂 very coarse sand	粗粒砂 coarse sand	中粒砂 medium sand	細粒砂 fine sand	極細粒砂 very fine sand	泥 mud	中央値 (Md)		平均値 (Mz)		濁沈度 (s d)		歪度 (s k)		尖度 (s g)	
	<-1φ	-1~0φ	0φ~1φ	1φ~2φ	2φ~3φ	3φ~4φ	4φ<	(φ)	(mm)	(φ)	(mm)	(φ)	(mm)	(φ)	(mm)	(φ)	(mm)
1	0.00	0.25	1.39	6.14	8.97	6.48	76.77	5.84	0.018	5.88	0.017	3.10	0.12	0.47	1.28	突出	
2	0.00	0.04	1.41	10.19	12.09	10.73	65.54	5.37	0.024	5.65	0.020	3.38	0.21	0.47	1.01	中間的	
3	0.00	0.01	0.31	7.87	53.32	24.79	13.71	2.93	0.131	3.27	0.104	1.52	悪い	0.47	1.94	非常に突出	
4	0.00	0.30	1.72	11.56	19.17	10.07	57.17	4.74	0.037	5.21	0.027	3.30	0.31	0.47	0.94	中間的	



第 751 図 粒径頻度および粒径累積加積曲線

60 数% を占め、両輝石と角閃石および黒雲母からなる重鉱物粒が合わせて 15 ~ 25% 程度を占める。重鉱物の中では、試料番号 1 と試料番号 3 は斜方輝石と黒雲母が同量程度で多く、試料番号 2 と試料番号 4 はともに斜方輝石が卓越する。

岩石片は各試料を通じて 20% 前後を占める。4 点の試料のうち、試料番号 2 以外の 3 点では、特に卓越する岩石の種類はなく、花崗岩、安山岩、凝灰岩、泥岩、チャート、結晶片岩および多結晶石英の各岩石片が微量ずつ含まれている。試料番号 2 は、火山ガラスを比較的多く含むことが特徴である。火山ガラスは、細かく発泡した塊状のいわゆる軽石型の形態を示す。

## ② 粒度分析

結果を第 259 表に示す。第 259 表については、Folk & Ward(1957) による粒度係数の評価も併せて示す。また、粒径累積加積曲線を第 751 図に示す。

4 試料のうち、試料番号 1、2、4 の 3 点はシルト分と粘土分が合わせて 50 ~ 80% を占める泥

質主体の堆積物である。試料番号 3 は他の試料と異なり、細粒砂と極細粒砂を合わせて 80% を占める砂質の堆積物である。

粒度係数における評価のうち、淘汰度は試料番号 1、2、4 で「非常に悪い」であり、試料番号 3 で「悪い」である。歪度は、1、2 で「正の歪み」であり、試料番号 3、4 で「著しい正の歪み」である。尖度は試料番号 1 で「突出」であり、試料番号 2、4 で「中間的」、試料番号 3 で「非常に突出」である。

## (5) まとめ

前報では、各河川の堆積物は流域に分布する地質が反映されているという見解に基づき、栗橋宿における堆積に関わるとされる利根川、荒川、渡良瀬川の 3 河川の流域の地質記載(中野ほか, 1998; 坂本ほか, 1987; 須藤ほか, 1991; 山元ほか, 2000)などを参照にして、堆積物の供給事情に変化がみられるか否かを検討した。試料の中には、洪水堆積物や客土などがあつたが、鉱物組成や岩片組成に特に大きな差異はなく、いずれも安

山岩と凝灰岩および泥岩・チャートの比較的多い岩片組成の傾向が窺えることから、各堆積物は主に利根川と渡良瀬川の両河川から供給された碎屑物に由来すると考えた。ただし、試料の中には変成岩の岩石片が微量含まれるものもあったことから、荒川水系の河川の影響もあったとした。

今回の試料4点のうち、地点2の試料番号2以外の3点については、花崗岩、安山岩、凝灰岩は利根川水系に由来し、泥岩、チャート、結晶片岩は荒川および渡良瀬川水系に由来すると考えられる。前報では、荒川水系の影響は他の2河川に比べると低い傾向が窺えたが、今回の分析では、4点の試料のうち3点までの試料に結晶片岩が認められたことから、荒川水系の影響も比較的高かったと考えられる。

試料番号2は、畝跡を構成するとされているが、

その岩片組成の特徴とされる火山ガラスは、細粒テフラの降下堆積物に由来すると考えられる。鉱物組成も詳細にみれば、降下テフラに多く含まれる斜長石や斜方輝石および単斜輝石の量比が他の試料に比べると高い傾向が窺え、火山ガラスの多いことと整合する。おそらく、耕作中あるいは上位の盛土がなされるまでの間に細粒の降下テフラの混入があったことが推定される。

一方、粒度分析結果からは、試料番号3とそれ以外の3点の試料との違いが明瞭である。試料番号3は、X線写真により葉理が明瞭に認められた氾濫堆積物であるのに対して、他の3点は盛土あるいは耕作土と考えられ、氾濫堆積した自然堆積物とその後人為の加わった堆積物との差異が表れていると考えられる。

## 引用・参考文献

- 上杉陽, 1971, ふるいを用いた粒度分析法の吟味. 地理学評論, 44, 839-857.
- 上杉陽, 1972, 粒径頻度分布からみた風成砂・海成砂の諸特徴. 第四紀研究, 11, 49-60.
- 坂本亨・酒井彰・秦光男・宇野沢昭・岡重文, 1987, 20万分の1地質図「東京」, 地質調査所.
- 須藤定久・牧本博・秦光男・宇野沢昭・滝沢文教・坂本亨, 1991, 20万分の1地質図幅「宇都宮」, 地質調査所.
- 中野俊・竹内圭史・加藤碩一・酒井彰・濱崎聡志・広島俊男・駒澤正夫, 1998, 20万分の1地質図幅「長野」, 地質調査所.
- 山元孝広・滝沢文教・高橋浩・久保和也・駒澤正夫・広島俊男・須藤定久, 2000, 20万分の1地質図幅「日光」, 地質調査所.
- Fork, R. L. and Ward, W., 1957, Brazons river bar, a study in the significance of grain size parameters. J. Sed. Petrol, 27, 3-26.
- Wentworth, C. K., 1922, A scale of grade and class terms for clasticsediments. J. Geol, 30, 377-392.

## 5 火山灰分析

### (1) はじめに

基本土層西壁（第5～7図）にみられる畝跡の覆土である堆積物について、由来を明らかにするために火山灰分析を実施した。試料採取箇所は第5～7図に示した。

### (2) 試料

対象とした試料は、調査区西側壁面の地点1と設定した地点より採取した。本地点では、概ね150cmほどの堆積が認められる。最下部から約30cmまでは灰色を呈する砂質シルト～シルトからなり、上部では灰白色粘土質シルトが途切れ途切れに層状に含まれる。その上位は弱い葉理を示すシルト～極細粒砂が堆積するが、それを削るように約30～60cmにかけて畝跡が形成される。畝間は下部が褐灰色砂質シルト、上部が灰～灰白色細粒～中粒砂で、畝間の直上に灰白色の極細粒～細粒砂がレンズ状に堆積する。約60～100cmは盛土で、下部20cm程度は2～3cm厚で版築状に累重する。約100～15cmは現在の攪乱である。

分析試料は、畝間より試料番号1～3の3点を採取した。このうち、試料番号1について、火山灰分析を実施する。試料採取断面および試料採取位置を第748図に示す。

### (3) 分析方法

試料約40gに水を加え超音波洗浄装置により分散、250メッシュの分析篩を用いて水洗し、粒径1/16mm以下の粒子を除去する。乾燥の後、篩別し、得られた粒径1/4mm～1/8mmの砂分をポリタングステン酸ナトリウム（比重約2.96に調整）により重液分離、重鉍物を偏光顕微鏡下にて250粒に達するまで同定する。重鉍物同定の際、不透明な粒については、斜め上方からの落射光下で黒色金属光沢を呈するもののみを「不透明鉍物」とする。「不透明鉍物」以外の不透明粒および変質等で同定の不可能な粒子は「その他」とする。

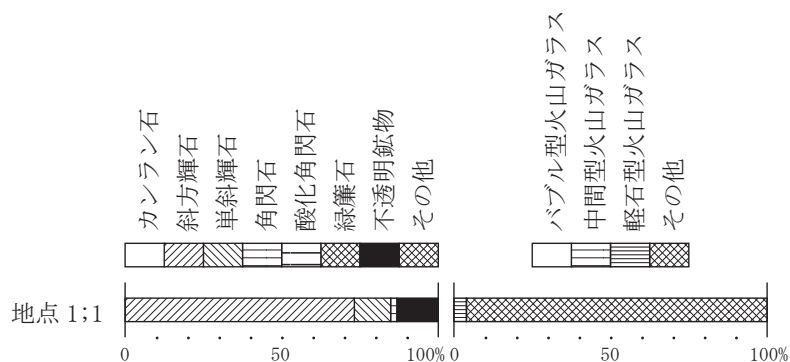
火山ガラス比は、重液分離した軽鉍物分における砂粒を250粒数え、その中の火山ガラスの量比を求める。火山ガラスは、その形態によりバブル型・中間型・軽石型の3タイプに分類した。各型の形態は、バブル型は薄手平板状、中間型は表面に気泡の少ない厚手平板状あるいは破砕片状などの塊状ガラスであり、軽石型は小気泡を非常に多く持った塊状および気泡の長く伸びた繊維束状のものとする。また、火山ガラス比における「その他」は、主に石英および長石などの鉍物粒と変質等で同定の不可能な粒子を含む。

なお、篩別前の水洗試料については、実体顕微鏡による砂分の観察を行い、軽石等の碎屑物の特徴を記載した。

第260表 砂粒組成

分析試料	カンラン石	斜方輝石	単斜輝石	角閃石	酸化角閃石	緑簾石	不透明鉍物	その他	合計	バブル型火山ガラス	中間型火山ガラス	軽石型火山ガラス	その他	合計	
地点1	1	0	183	29	5	0	0	33	0	250	0	0	10	240	250





第 752 図 砂粒組成

#### (4) 結果

結果を第 260 表、第 752 図に示す。試料番号 1 の重鉱物組成は、斜方輝石が多く、70% 程度を占め、他に少量 (10 数 % 程度) の単斜輝石と不透明鉱物を伴う。また、極めて微量の角閃石も含まれる。火山ガラス比では、数 % 程度の軽石型火山ガラスが認められた。火山ガラス比において「その他」とした碎屑物のほとんどは比較的新鮮な斜長石の鉱物粒であった。

砂分の実体顕微鏡観察では、多量の軽石が認められた。軽石は、最大径約 1.3mm、新鮮で灰白色を呈し、発泡は良好～やや良好である。斜方輝石の斑晶を包有する軽石も認められた。軽石以外の碎屑物は、比較的新鮮な斜長石と斜方輝石および単斜輝石の鉱物粒であり、輝石類の鉱物粒にはガ

ラスの付着した粒も認められた。また、極めて微量の灰色を呈する岩石片も含まれる。

#### (5) まとめ

地点 1 の試料番号 1 は、多量の軽石とテフラの遊離結晶と考えられる斜長石と両輝石により構成されることから、若干土壌化した軽石質テフラの降下堆積物であると考えられる。テフラは、両輝石からなる重鉱物組成と軽石の特徴および採取層位から、江戸時代の天明 3 年 (1783 年) に浅間火山より噴出した浅間 A 軽石 (As-A: 新井, 1979) に同定される。

なお、重鉱物組成では極めて微量の角閃石も計数されているが、As-A には角閃石は含まれない。おそらく土壌化の過程で堆積物中に混入したものと考えられる。

#### 引用・参考文献

新井房夫, 1979, 関東地方北西部の縄文時代以降の指標テフラ層. 考古学ジャーナル, 157, 41-52.

## 6 寄生虫卵分析

### (1) はじめに

発掘調査で検出された埋設桶は用途不明なものが多い。第3・7・8号埋設桶は便槽の可能性があるので、寄生虫卵分析を実施した。

### (2) 試料

試料は、調査所見からトイレ遺構の可能性が示唆される埋設桶の覆土(埋積物)より採取された土壌4点(第3号埋設桶;土サンプル②・③、第7号埋設桶;土層サンプル、第8号埋設桶;土壌サンプル①)である。試料の観察では、第3号埋設桶;土サンプル②が暗灰色砂混じりシルト、土サンプル③が最大径1.5cmの垂円礫が混じる暗灰色シルト混じり細粒～中粒砂、第7号埋設桶;土層サンプルが大型植物化石が混じる黒灰色砂質シルト、第8号埋設桶;土壌サンプル①が暗褐色シルトからなる。

なお、後述するように、今回の分析に供した4試料には分析残渣中に花粉化石が多く確認されたため、以下の結果・考察では花粉化石の産状も併記した。

### (3) 分析方法

試料10ccを正確に秤り取る。これについて水酸化カリウムによる泥化、篩別、重液(臭化亜鉛、比重2.3)による有機物の分離の順に物理・化学的処理を施し、寄生虫卵および花粉・胞子を分離・濃集する。処理後の残渣を定容してから一部をとり、グリセリンで封入してプレパラートを作製し、400倍の光学顕微鏡下でプレパラート全面を走査して出現する全ての寄生虫卵と花粉・胞子化石について同定・計数する。同定に際しては、当社保有の現生標本の他、寄生虫卵は佐伯ほか(1998)、斉藤・田中(2007)などを、花粉化石は島倉(1973)、中村(1980)、藤木・小澤(2007)、三好ほか(2011)等を参考にする。

結果は、寄生虫卵については堆積物1ccあた

りに含まれる寄生虫卵の個数(含量)を一覧表として、花粉・胞子化石については同定および計数結果の一覧表として表示する。この際、寄生虫卵の個数と花粉・胞子数については有効数字を考慮し、10の位を四捨五入して100単位として表示し、100個未満は「<100」で表示する。また、寄生虫卵の含量と花粉化石群集の分布図を表示する。図表中で複数の種類をー(ハイフオン)で結んだものは種類間の区別が困難なものを示す。なお、図中の寄生虫卵は堆積物1ccあたりに含まれる個数を示し、花粉・胞子化石は木本花粉が木本花粉総数を、草本花粉・シダ類胞子が総数より不明花粉を除いた数をそれぞれ基数とした百分率で算出した相対頻度で示す。

### (4) 結果

結果を第261表、第753図に示す。埋設桶埋積物4試料からは、いずれも寄生虫卵が検出された。検出された寄生虫卵は、線虫類の回虫卵、鞭虫卵、吸虫類の肝吸虫卵、横川吸虫卵の4分類群である。以下に、遺構別に産状を述べる。

#### ① 第3号埋設桶

土サンプル②・③では異なる産状を示す。土サンプル②の寄生虫卵総数は3,600個/ccであり、回虫卵が3,100個/ccと最も多い。この他、鞭虫卵が100個未満/cc、肝吸虫卵は300個/cc、横川吸虫卵が100個未満/ccである。一方、土サンプル③は寄生虫卵総数で200個/ccと少なく、回虫卵が100個/cc、鞭虫卵と肝吸虫卵はいずれも100個未満/ccである。

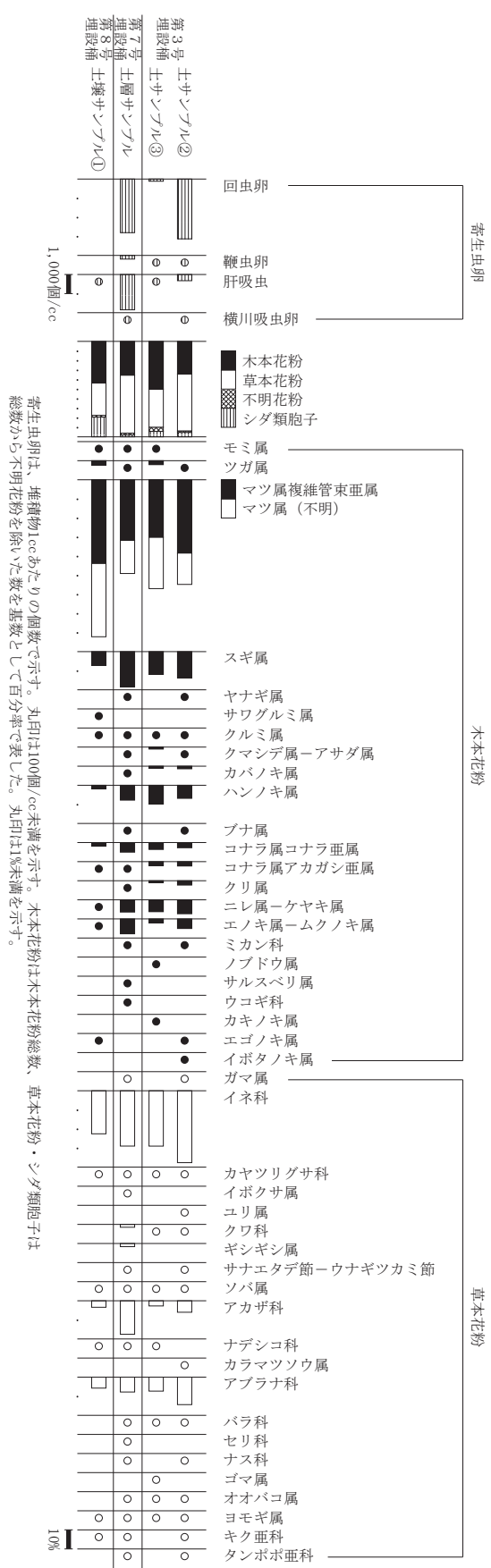
#### ② 第7号埋設桶

土層サンプルの寄生虫卵総数は4,900個/ccと4試料中で最も多い。寄生虫卵は、回虫卵が2,800個/ccと最も多く、次いで肝吸虫卵が1,800個/ccと多い。この他、鞭虫卵が200個/cc、横川吸虫卵が100個未満/ccである。

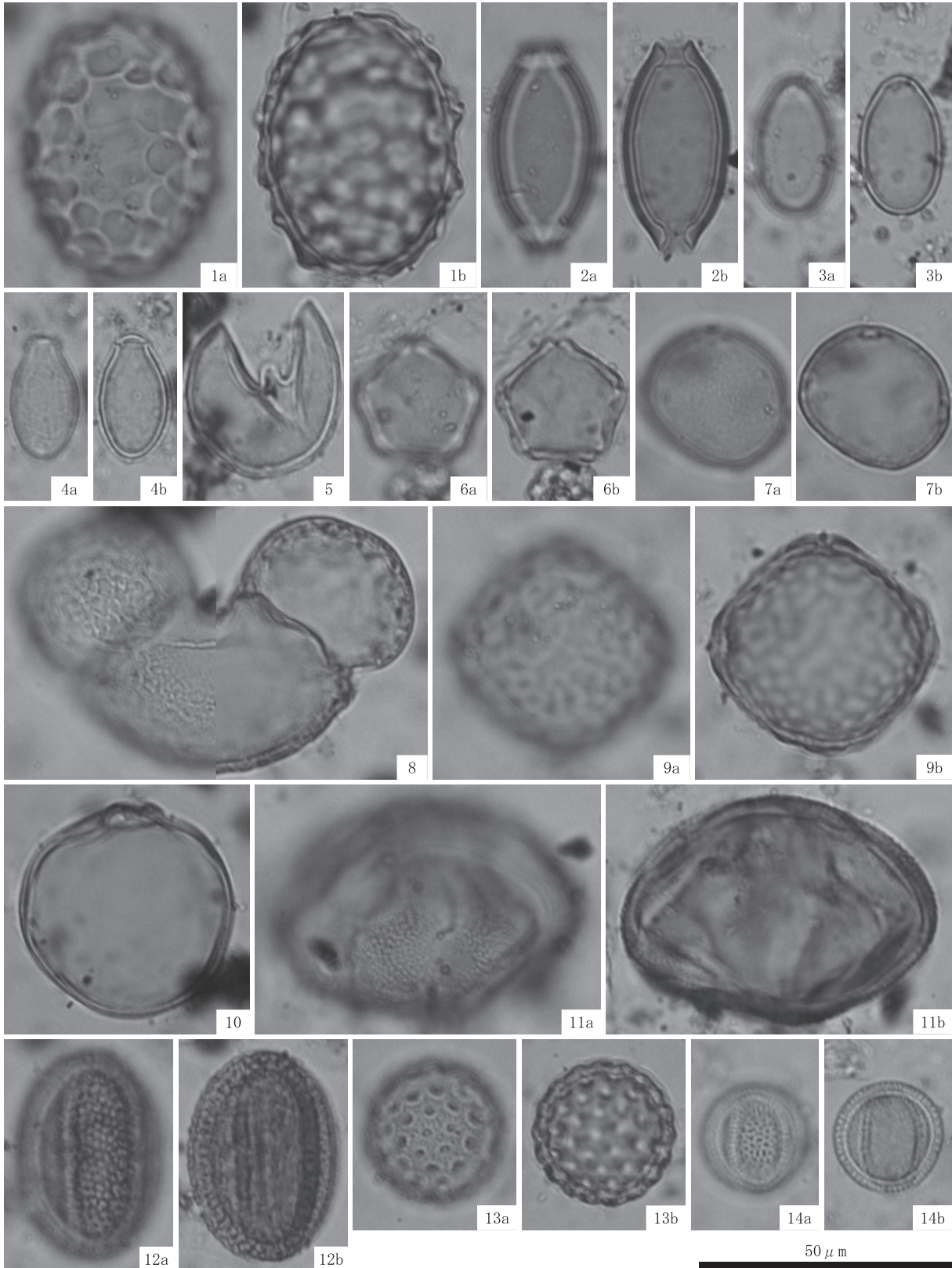
第 261 表 寄生虫卵分析結果

種 類	第 3 号桶		第 7 号桶	第 8 号桶
	土サンプル	土サンプル	土層サンプル	土層サンプル
	②	③	-	①
寄生虫卵 (個 /cc) *				
回虫卵	3100	100	2800	0
鞭虫卵	<100	<100	200	0
肝吸虫	300	<100	1800	<100
横川吸虫卵	<100	0	<100	0
合 計				
寄生虫卵数 (個 /cc)		200	4900	<100
花粉・孢子数 (個 /cc)	3600			
	8300	1100	9900	1100
木本花粉				
モミ属	-	1	1	1
ツガ属	1	4	1	5
マツ属複雑管束亜属	84	58	69	91
マツ属 (不明)	36	52	38	80
スギ属	30	23	40	15
ヤナギ属	1	-	1	-
サワグルミ属	-	-	-	1
クルミ属	1	1	1	2
クマシデ属-アサダ属	1	2	1	-
カバノキ属	3	2	1	-
ハンノキ属	15	19	17	4
ブナ属	1	-	1	-
コナラ属コナラ亜属	6	7	11	4
コナラ属アカガシ亜属	5	4	1	1
クリ属	5	2	1	-
ニレ属-ケヤキ属	16	12	14	1
エノキ属-ムクノキ属	11	4	17	2
ミカン科	1	-	1	-
ノブドウ属	-	1	-	-
サルスベリ属	-	-	1	-
ウコギ科	-	-	1	-
カキノキ属	-	1	-	-
エゴノキ属	1	-	-	1
イボタノキ属	1	-	-	-
草本花粉				
ガマ属	1	-	2	-
イネ科	238	107	175	106
カヤツリグサ科	1	1	3	4
イボクサ属	-	-	1	-
ユリ属	1	-	-	-
クワ科	2	1	9	-
ギシギシ属	-	-	10	-
サナエタデ節-ウナギツカミ節	2	-	1	-
ソバ属	2	1	1	3
アカザ科	38	10	106	16
ナデシコ科	-	2	4	4
カラマツソウ属	1	-	-	-
アブラナ科	91	27	47	27
バラ科	1	1	1	-
セリ科	-	-	1	-
ナス科	1	-	1	-
ゴマ属	-	1	-	-
オオバコ属	1	2	1	-
ヨモギ属	1	1	4	2
キク亜科	1	-	6	1
タンポポ亜科	1	-	1	-
不明花粉				
不明花粉	10	17	12	9
シダ類孢子				
シダ類孢子	30	22	12	99
合 計				
木本花粉	219	193	218	208
草本花粉	383	154	374	163
不明花粉	10	17	12	9
シダ類孢子	30	22	12	99
合計 (不明を除く)	632	369	604	470

1) 「<100」:100 個 /cc 未満



第753図 寄生虫卵・花粉化石群集



1. 回虫卵(第3号埋設桶;土サンプル②)
2. 鞭虫卵(第3号埋設桶;土サンプル②)
3. 横川吸虫卵(第7号埋設桶;土層サンプル)
4. 肝吸虫卵(第3号埋設桶;土サンプル②)
5. スギ属(第3号埋設桶;土サンプル②)
6. ハンノキ属(第3号埋設桶;土サンプル②)
7. エノキ属-ムクノキ属(第3号埋設桶;土サンプル②)
8. マツ属(第3号埋設桶;土サンプル②)
9. ニレ属-ケヤキ属(第3号埋設桶;土サンプル②)
10. イネ科(第3号埋設桶;土サンプル②)
11. ゴマ属(第3号埋設桶;土サンプル③)
12. ソバ属(第3号埋設桶;土サンプル②)
13. アカザ科(第3号埋設桶;土サンプル②)
14. アブラナ科(第3号埋設桶;土サンプル②)

第 754 図 寄生虫卵・花粉化石



### ③ 第8号埋設桶

土壌サンプル①は寄生虫卵が検出されるものの含量は極めて少なく、わずかに肝吸虫卵が100個未満/cc産出する程度である。

なお、上記した4試料の分析残渣中には花粉化石やシダ類孢子が多く認められた。その含量は、第3号埋設桶；土サンプル②が8,300個/cc、土サンプル③が1,100個/cc、第7号埋設桶；土層サンプルが9,900個/cc、第8号埋設桶；土壌サンプル①が1,100個/ccであった。花粉化石の保存状態は、第3号埋設桶；土サンプル②、第7号埋設桶；土層サンプルが普通程度、第3号埋設桶；土サンプル③と第8号埋設桶；土壌サンプル①はやや悪いものが多い。

花粉化石群集は、4試料で概ね類似し、木本花粉ではマツ属が多産あるいは優占し、スギ属、ハンノキ属、コナラ属コナラ亜属、ニレ属一ケヤキ属、エノキ属ムクノキ属などを伴う。草本花粉ではイネ科が多産し、アカザ科、アブラナ科も多く産出する。なお、第3号埋設桶；土サンプル②ではアブラナ科の花粉塊（花粉が固まった状態のもの）も確認された。この他、クワ科、ヨモギ属、キク亜科などを伴う。また、栽培種のソバ属やゴマ属、栽培種を含むナス科なども確認された。

## (5) まとめ

### ① 埋設桶遺構の用途について

今回の分析対象とされた埋設桶は、発掘調査所見からトイレ遺構の可能性が指摘されている。トイレ遺構の調査については、福岡県の鴻臚館跡や石川県の大宮坊跡などの報告事例があり、これらの調査では1cm<sup>3</sup>あたり1万～数万個の寄生虫卵が検出されている（金原・金原, 1994; 金原ほか, 1995a）。また、1cm<sup>3</sup>あたり100個未満については、ある程度の人口密度を持つ集落による汚染の範囲内とみなされている（金原ほか, 1995a, b）。

今回の埋設桶埋積物における寄生虫卵の含量についてみると、第3号埋設桶；土サンプル②が3,600個/cc、土サンプル③が200個/cc、第7号埋設桶；土層サンプルが4,900個/cc、第8号埋設桶；土壌サンプル①が100個未満/ccであった。上記した事例との比較では含量は概して少ないが、検出された寄生虫卵の種類構成および試料間における含量の多寡を考慮すると、第3号埋設桶；土サンプル②や第7号埋設桶；土層サンプルの産状は糞便などの排泄物の痕跡を示している可能性がある。一方、第3号埋設桶；土サンプル③や第8号埋設桶；土壌サンプル①の寄生虫卵の含量は少なく、上記した汚染の範囲程度と言える。なお、この2試料は、分解に対する抵抗性が寄生虫卵と同程度とされる花粉化石（黒崎ほか, 1993）の密度が少なく、保存状態も悪かったことから、風化の影響を受けて分解・消失した可能性などが考えられる。また、第3号埋設桶では土サンプル②・③との間で産状が異なる状況から、排泄物とは異なる履歴の堆積物に由来する可能性も考えられる。

なお、検出された寄生虫卵についてみると、回虫や鞭虫は、排泄物と共に出た卵が野菜等に付着し、それを食することによって体内に侵入して成虫になるという生活環を示す。肝吸虫は、モツゴ、コイ、フナなどの淡水魚、横川吸虫はアユ、シラウオなどの淡水魚の摂取により感染する（佐伯ほか, 1998など）。このことから、これらの感染源となる食物が摂食されていたと考えられる。

また、花粉化石群集では、花ごと食べる種類が含まれるアブラナ科が多産しており、とくに第3号埋設桶；土サンプル②ではアブラナ科の花粉塊も確認された。さらに、上述した第7号埋設桶；土層サンプルに認められた大型植物遺体には種実が確認されており、この種実はメロン類の種子に同定された。第3号埋設桶（土サンプル②）や第7号埋設桶では寄生虫卵が比較的多く認められて

いる点も考慮すると、これらは糞便とともに排泄された食物残渣の可能性もある。

## ② 古植生

埋設桶埋積物における花粉化石群集はいずれも類似しており、木本類は針葉樹のマツ属の多産および優占によって特徴付けられた。多産したマツ属の多くは複維管束亜属であり、このようなマツ属複維管束亜属が多く産出する状況は、関東地方の近世以降の植生変化として明らかとされており、その背景として二次林の拡大とともに、有用資源として植林されたことなどが指摘されている。また、マツ属複維管束亜属の増加にはスギ属が伴うことも指摘されており、有用材となるスギの植林の増加も推定されている(辻, 1997)。今回の分析結果は、上記した二次林や植林の増加を反映している可能性があるが、調査地点が街道沿いの宿場町であることを考慮すると、宿場町周辺や街道沿いの並木などの近傍に生育した樹木に由

来する可能性もある。また、ミカン科、サルスベリ属、カキノキ属なども観賞用などとしてしばしば植えられる種類であることから、植栽として認められた可能性がある。この他、ハンノキ属、ニレ属-ケヤキ属、エノキ属-ムクノキ属などは、ヤナギ属、サワグルミ属、クルミ属、クマシデ属-アサダ属などともに河畔林要素として生育していたと思われる。

一方、草本花粉では、イネ科が多産し、アカザ科、アブラナ科などが多く産出するという特徴が認められた。これらは、いずれも明るく開けた領域に生育する、いわゆる人里植物が多く含まれ、クワ科、ヨモギ属、キク亜科なども同様の環境に生育することから、調査地周辺の草地環境に由来すると思われる。また、栽培種のソバ属やゴマ属、栽培種を含むナス科が検出されたことから、当時の栽培利用が示唆される。

## 引用・参考文献

- 金原正明・金原正子, 1994, 鴻臚館跡の土坑(便所遺構)における寄生虫卵・花粉・種実の同定分析. 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第372集 鴻臚館跡4, 福岡市教育委員会, 25-38.
- 金原正明・金原正子・中村亮仁, 1995a, 大宮坊跡(厠跡)における自然科学的分析. 史跡石動山環境整備事業報告 II, 石川県鹿島町教育委員会, 51-70.
- 金原正明・金原正子・中村亮仁, 1995b, 川合遺跡八反田地区 SE402・SE405 における寄生虫卵・植物遺体分析, 静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第63集 川合遺跡 八反田地区 II 本文編, 静岡県埋蔵文化財調査研究所, 341-354.
- 黒崎直・松井章・金原正明・金原正子, 1993, 糞便堆積物の分析 -特に寄生虫卵分析について-. 日本文化財科学会第10回大会研究発表要旨集, 日本文化財科学会, 115-115.
- 辻誠一郎, 1997, 関東平野における弥生時代以降の植生史と人間活動. 国立歴史民俗博物館研究報告, 第72集, 国立歴史民俗博物館, 103-141.
- 佐伯秀治・升秀夫・早川典之, 1998, 臨床検査シリーズ 寄生虫鑑別アトラス -オールカラー版-. 株式会社メディカルサイエンス社, 162P.
- 斉藤・田中, 2007, 寄生虫卵殻の形態分類. 徳永重元博士献呈論集, パリノ・サーヴェイ株式会社, 407-416.
- 島倉巳三郎, 1973, 日本植物の花粉形態. 大阪市立自然科学博物館収蔵目録 第5集, 60p.
- 中村純, 1980, 日本産花粉の標徴 I II (図版). 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録 第12, 13集, 91p.
- 藤木利之・小澤智生, 2007, 琉球列島産植物花粉図鑑. アクアコーラル企画, 155p.
- 三好教夫・藤木利之・木村裕子, 2011, 日本産花粉図鑑. 北海道大学出版会, 824p.

## 7 花粉分析

### (1) はじめに

第三面で検出された畝跡の土壌を対象に、栽培や古植生を把握するために、花粉分析を実施した。

### (2) 試料

対象試料は、1号畝跡より3点（1番北、北から2番目、北から4番目）、2号畝跡より3点（試料番号1, 2, 5）、3号畝跡より3点（畝⑥、畝⑫、畝⑮）の9点が分析に供されている。このうち、1号畝跡の北から2番目、2号畝跡の試料番号2、3号畝跡の畝⑫の3点について、花粉分析を実施する。なお、地点1の畝間より採取した試料番号3も、比較参考資料として示す。

### (3) 分析方法

試料約10gについて、水酸化カリウムによる泥化、篩別、重液（臭化亜鉛、比重2.3）による有機物の分離、フッ化水素酸による鉍物質の除去、アセトリシス（無水酢酸9：濃硫酸1の混合液）処理による植物遺体中のセルロースの分解

を行い、物理・化学的処理を施して花粉を濃集する。残渣をグリセリンで封入してプレパラートを作製し、400倍の光学顕微鏡下でプレパラート全面を走査し、出現する全ての種類について同定・計数する。同定は、当社保有の現生標本や島倉（1973）、中村（1980）、三好ほか（2011）等を参考にする。

結果は同定・計数結果の一覧表として表示する。表中で複数の種類をハイフンで結んだものは、種類間の区別が困難なものを示す。

### (4) 結果

結果を第262表に示す。1号畝跡の北から2番目、2号畝跡の試料番号2、3号畝跡の畝⑫のいずれにおいても、花粉化石がほとんど検出されず、わずかにニレ属-ケヤキ属、エノキ属-ムクノキ属、イボタノキ属などの木本花粉、イネ科、アブラナ科などの草本花粉が数個体検出される程度である。これらの保存状態はいずれも悪く、花

第262表 花粉分析結果

種 類	1号畝跡	2号畝跡	3号畝跡	地点1
	北から2番目	2	畝⑫	3
木本花粉				
マツ属	-	-	-	3
ハンノキ属	-	-	-	1
コナラ属コナラ亜属	-	-	-	3
ニレ属-ケヤキ属	-	-	1	-
エノキ属-ムクノキ属	1	-	-	-
イボタノキ属	1	-	-	-
草本花粉				
イネ科	1	2	-	1
アカザ科	-	-	-	1
アブラナ科	-	2	-	-
タンポポ亜科	-	-	-	1
シダ類孢子				
シダ類孢子	1	2	1	7
合 計				
木本花粉	2	0	1	7
草本花粉	1	4	0	3
不明花粉	0	0	0	0
合計	4	6	2	17

粉外膜が壊れている状態で産出していた。

比較参考資料として分析した地点1の試料番号3も、花粉化石の産状が同様であり、マツ属、ハンノキ属、コナラ属コナラ亜属などの木本花粉、イネ科、アカザ科、タンポポ亜科などの草本花粉が、わずかに認められる程度である。

#### (5) まとめ

1号～3号畝跡について、栽培植物や古植生を検討するために花粉分析を実施したが、いずれの試料からも花粉化石がほとんど検出しなかった。一般的に花粉やシダ類胞子の堆積した場所が、常に酸化状態にあるような場合、花粉は酸化や土壌微生物によって分解・消失するとされている(中村, 1967; 徳永・山内, 1971; 三宅・中越, 1998など)。わずかに検出される花粉化石の保存状態は、いずれも花粉外膜が破損・溶解している状況が認められたことから、堆積後の風化作用により、分解・消失したことが考えられる。地点1の畝間試料も検出状況が類似することから、同様に消失したと推測される。

わずかに認められる花粉化石についてみると、木本類では針葉樹のマツ属、広葉樹のハンノキ属やコナラ属コナラ亜属、ニレ属-ケヤキ属、エノキ属-ムクノキ属、イボタノキ属が確認された。このうち、マツ属は植林などとして、コナラ亜属は雑木林などの二次林として一般的であり、イボ

タノキ属は林縁などの明るい場所に生育する。これらは、当時の宿場周辺の植生を反映している可能性がある。ハンノキ属やニレ属-ケヤキ属、エノキ属-ムクノキ属などは、河畔林要素であることから、利根川沿いなどの河畔に生育していたものに由来する可能性がある。

一方、草本類ではイネ科やアカザ科、アブラナ科、タンポポ亜科など、明るく開けた場所に生育する種類が確認された。よって、これらは調査地周辺の草地植生に由来すると思われる。

以前に分析したトイレと推測される埋設桶埋積物からは、寄生虫卵とともに花粉化石が多産しており、その結果をみると、木本類ではマツ属が多産し、スギ属やハンノキ属、ニレ属-ケヤキ属、エノキ属-ムクノキ属などを伴い、草本花粉ではイネ科やアカザ科、アブラナ科などが多く認められている。今回畝跡や畝間から検出された花粉化石は、埋設桶埋積物で多産する種類が認められることから、同様の周辺植生を反映していると考えられる。

なお、2号畝跡の試料番号2から検出されたアブラナ科には、ダイコンやカブなど畝で栽培される種類も含まれる。今回は産状が悪く、花粉化石から栽培種の検討は難しいが、今後分析事例を増やすとともに、種実遺体分析などを実施し、栽培植物の検討を実施したい。

#### 引用・参考文献

- 島倉巳三郎, 1973, 日本植物の花粉形態. 大阪市立自然科学博物館収蔵目録 第5集, 60p.  
中村 純, 1967, 花粉分析. 古今書院, 232p.  
中村 純, 1980, 日本産花粉の標徴 I II (図版). 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録 第12, 13集, 91p.  
徳永重元・山内輝子, 1971, 花粉・胞子. 化石の研究法, 共立出版株式会社, 50-73.  
三宅 尚・中越信和, 1998, 森林土壌に堆積した花粉・胞子の保存状態. 植生史研究, 6, 15-30.  
三好教夫・藤木利之・木村裕子, 2011, 日本産花粉図鑑. 北海道大学出版会, 824p.



## VI 調査のまとめ

栗橋宿跡第8地点は、町屋の「ウラ」にあたる空間と考えられる。第一面の調査では既報告の調査地点と同様に短冊形地割を構成する杭列と溝跡、いわゆる区画施設が検出された。その位置は現在の町並みとほぼ一致する。江戸時代からの町並みが現在へ引き継がれているといえよう。

第二面の調査では区画施設の可能性が疑われる溝跡がみついているが、いずれも素掘りで浅く短いため、第一面のような明確な状況をつかむことができなかった。第三面（第二面下層）の調査でも同様に、区画施設の可能性が疑われる溝跡がみられるが、明確な区割りをつかむことができなかった。18世紀以前の区画は、遺構分布や遺物の様相から検討していく必要がある。

また、調査では町屋の形成過程を把握するために、日光道中側である調査区西壁の土層を記録した。堆積層の由来を明らかにするために、自然科学分析を行い、下層に洪水層が複数みられることが明らかとなった。さらに、火山灰分析を実施し、浅間A降下軽石を同定することができた。自然災害と関わりが深い栗橋宿において、災害痕跡を確認することができた意義は大きい。洪水層については、文献史料との照合が今後の課題となろう。詳細は「第三章 遺跡の概要」、「第五章 自然科学分析」を参照されたい。

以下に、各区画の遺構・遺物の様相をまとめ、調査の成果と明らかになった問題点を挙げる。なお、時期区分については第四章「5 出土遺物の一覧と遺構の時期」を参照されたい。

### 1. 区画の様相

栗橋宿跡第8地点の区画は『栗橋宿本陣跡I』で設定された区画より継続し、区画AA～AGを設定した。以下に区画ごとの様相をみていく。なお、区画の対比案については「第三章 遺跡の概要」を参照されたい。また、第二・三面（第二面

下層を第三面とした）以降は明確な区画施設が検出されなかったため第384・579図に第一面の対比案を基にした区画参考図を図示したので、参照されたい。

### （1）区画AAの様相

区画AAは『絵図』にみえる「荒物屋/忠助」に相当する。第一面では遺構の検出が極めて少なく、第1号埋設甕、第6号焼土遺構のみである。第二面では土壌、埋設桶が検出されている。等間隔で並んでおり、便槽の可能性が疑われる。第三面では土壌が少数みられるほか、溝跡1条が区画AA・ABにまたがって検出されている。第三面の第523号土壌は17世紀後葉に比定される。詳細は「3 栗橋2-3期の様相」を参照されたい。遺物の出土は少なく、荒物屋を示唆するような遺物を見出せなかった。間口はおよそ4間半である。

### （2）区画ABの様相

区画ABは『絵図』にみえる「青物屋/要右衛門」の区画に相当する。第一面では埋設桶と土壌が検出された。「青物屋」に関わるような資料は見出せなかった。

第二面では区画施設の一部である可能性が疑われる溝跡、井戸跡、土壌が検出された。小規模な区画の変動があった可能性がある。大型土壌が複数みられ、その中でも第343号土壌は碗や鉢、土瓶等が多く出土しており、商売性が窺える。また、清朝景德鎮窯系磁器碗の出土は特筆される。第三面では、第4号建物跡のほか、土壌が少数検出された。第4号建物跡は素掘りの小穴が等間隔に並ぶだけの簡素な作りで、町屋の「オモテ」空間に立ち並ぶ構造の建物跡と考えられる。18世紀前半段階で一部が「オモテ」空間に属していたと思われる。間口は約3間半である。

### （3）区画ACの様相

区画ACは『絵図』にみえる「明地/清吉」の



区画に相当する。第一面は焼土遺構、埋設桶、土壙が検出された。「清吉」に関わる資料は見出せなかったが、焼土遺構の数が多い特徴がある。第二面は土壙主体で、第344号土壙出土陶磁器の様相から茶屋のような商売性の高さが窺える。また、第344号下層では18世紀前葉の焼土層の一部が検出されている。第三面では畝跡、小鍛冶跡、溝跡、土壙が検出され、第一・二面とは土地利用の方法が異なっている。間口は約3～4間である。

#### (4) 区画 AD の様相

区画 AD は『絵図』にみえる「煮賣屋 / 兵藏」に相当する。第一面は埋設桶、木樋、焼土遺構、土壙第二面は溝跡、土壙、第三面は土壙が検出された。特筆すべき遺構は第3・4・7号埋設桶で、便槽としての機能が明らかとなった。「煮賣屋 / 兵藏」に関わる資料は見出せなかったが、第三面第500号土壙出土の焙烙に刻書「吉田屋」がみえる。隣接する区画 AE の「旅籠屋 / 太左衛門」と推定され、18世紀後葉頃に区画が変動していたと思われる。なお、第500号土壙出土陶磁器は旅籠屋に類似する様相である。また、第497・500号土壙から多量の羽口と鉄滓が出土しており、『絵図』にみえない18世紀の鍛冶屋の存在が示唆される。間口は3間半から4間である。

#### (5) 区画 AE の様相

区画 AE は『絵図』にみえる「旅籠屋 / 太左衛門」に相当する。第一面は東西に並ぶ2棟の建物跡、1基の基礎状遺構がみられ、関係性が窺われる。また、同時の開削と考えられる複数条の平行する深い溝跡がみられ、基本土層西壁の区画 AE の畝跡との関係性が窺われる。敷地の北側には建物跡が立ち並び、南側には廃棄土壙が多く作られている。土地利用が明確に分かれている。本区画では「吉田屋」銘染付磁器が多く出土しており、「旅籠屋 / 太左衛門」が所持していたものと考えられる。区画案と出土遺物が対比できた好例である。第二面では井戸跡が多く検出されてお

り、土地利用の方法が他の区画とは異なっている。第三面では遺構がほとんど検出せず、様相は不明である。間口は約7間である。

#### (6) 区画 AF の様相

区画 AF は『絵図』から二つの区画が想定されるが、実態は一つの区画である。区画 AF1 は「餅菓子屋 / 内藏之丞」、区画 AF2 は「旅籠屋 / 惣右衛門」である。第一面は建物跡1棟とその周囲に基礎状遺構が5基検出され、関連性が窺われる。建物跡は敷地の中央に建てられており、その周りを囲うように廃棄土壙がつけられている。出土遺物は碗や土瓶、徳利が多く、商売性の高い様相である。

第一面では区画 AF から区画 AG にかけて、次第に栗橋6～8期の遺構が増加してくる。これは、表土掘削を見誤った結果、調査区中央部から南部にかけてのみ深く掘削したためと考えられる。調査区北端から南端までの比高差はおよそ0.4mである(第5～7図)。調査区北部はほぼ栗橋9期の遺構で占められ、南部は6～8期の遺構が次第に増加しており、宿場の変遷を考える上では、遺構検出レベルに大差があることに留意したい。なお、第二面においても同様の表土掘削を行った結果、調査区北半部は掘削が足りず、第三面(第二面下層遺構)を調査するに至ったと思われる。

第二面では建物跡、井戸跡、土壙が検出されている。建物跡は細い布掘り状で、簡素な作りである。栗橋宿では第二面の建物跡は稀である。井戸跡がみられることから、第一面と土地利用の方法が異なっている。第三面では18世紀前葉の大型土壙が1基検出されている。18世紀前葉段階の栗橋宿における最南端の遺構である。間口は約7間半である。

#### (7) 区画 AG の様相

区画 AG は『絵図』にみえる「明地 / 平八持」に相当する。第一面は西側に1棟の建物跡がみられる。西側には廃棄土壙が多くつけられている。

第二面では土壌がわずかにつくられ、第三面では遺構が検出されていない。「平八持」に関わる遺物は見出せなかった。間口は南側が調査区外のため不明である。

## 2. 18世紀前葉の火災について

第8地点の第三面では、焼土層が検出されている。焼土層は、第497号土壌の直上をおよそ4m四方にわたって覆っており、出土陶磁器の年代から18世紀前葉に起きた火災に関わる焼土層と考えられる。なお、栗橋宿では、文政五年(1822)の栗橋宿大火(『栗橋宿本陣跡Ⅱ』)、19世紀後葉の火災(『栗橋宿跡Ⅳ』)、(『栗橋宿本陣跡』)の2時期の火災痕跡が確認されている。

第8地点で検出された火災痕跡は、調査区西壁の基本土層にはみられない。火災痕跡の分布状況から調査区東壁にみられる可能性が疑われるが、東壁は記録をとることができていない。

第755図は第497号土壌焼土層出土遺物と接合関係にある遺構、同一個体資料がみられる遺構を示した火災関連遺構・遺物の分布図である。調査区北半部の利根川堤防側に集中しており、堤防下には火災関連の遺構が広がっている可能性が疑われる。明確な火災痕跡は、第497号土壌焼土層、第552号土壌、第二面第344号土壌下層の焼土層である。第552号土壌は焼土と炭化物、被熱した陶磁器が廃棄された火災処理土壌である。第344号土壌下層は焼土層直上が純砂に覆われており、遺構としての掘り込みは砂層までと思われる。また、第344号土壌下層の焼土層出土陶磁器は、第497号土壌出土陶磁器と同一個体と思われるもの、接合関係にあるものが多い。したがって、18世紀前葉の焼土層の一部であると考えられる。第23号溝跡は焼土や炭化物などはみられないが、一部の遺物が焼土層出土遺物と接合関係にあるため、分布図に落とした。時期は同時期であるため関連性は高いだろう。焼土層出土遺物は第23号溝跡、第344号土壌下層の焼土層、火災処理土

壌である第552号土壌出土破片と接合関係にある。また、第617図86・88のように同一個体破片と思われる被熱した陶磁器がみられる。

栗橋宿における18世紀前葉に比定される火災について、『御関所御用書記』(埼玉県2002)には、享保十年(1725)正月

一、栗橋上町之惣兵衛店源之丞より出火、宿方不残消失、横町北側五郎平中町二而三軒程残り、其外ハ残所なく焼失、昼八ツ時より七ツ過迄と記されている。

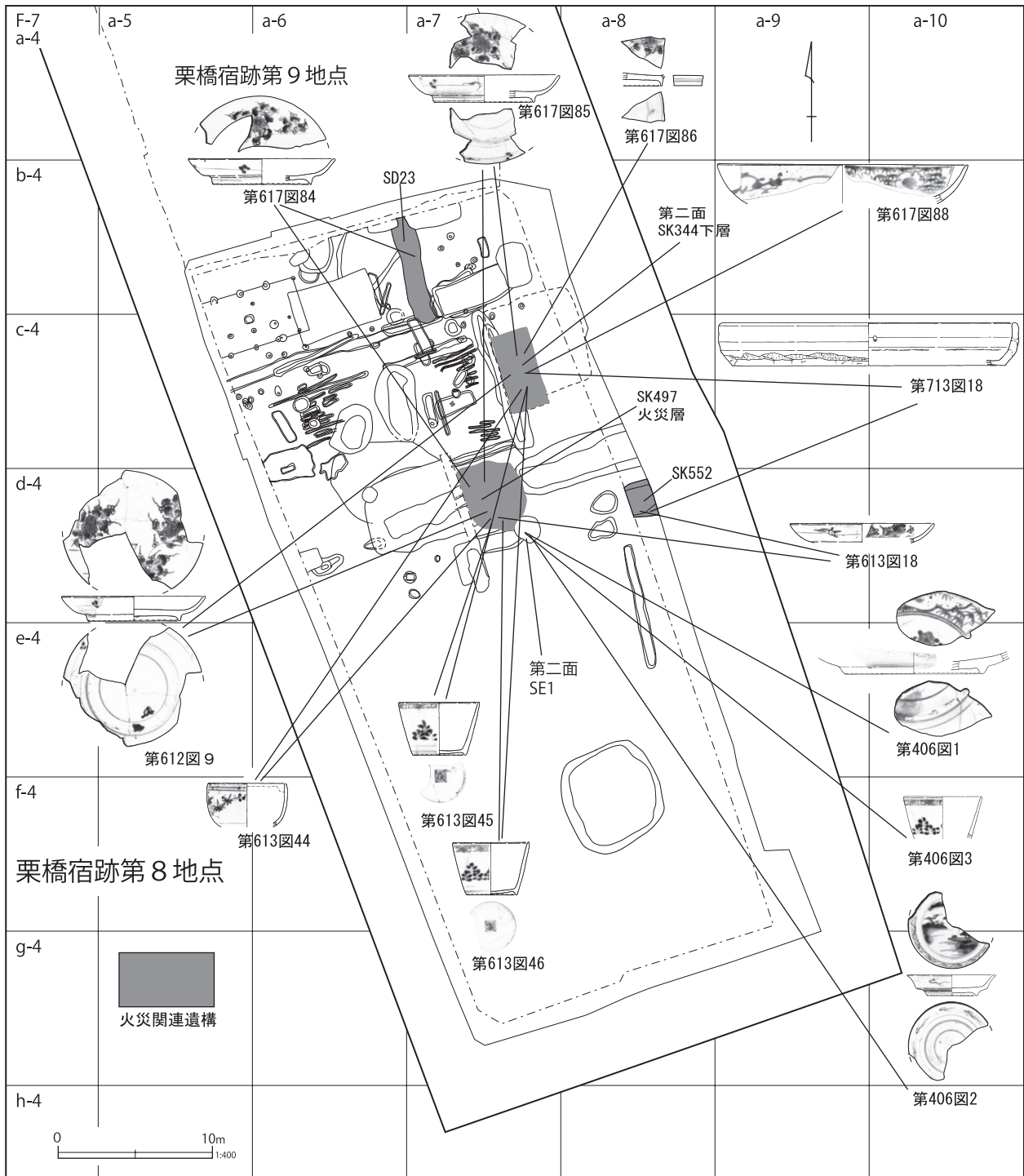
出火元は栗橋上町、『栗橋宿本陣跡Ⅰ・Ⅱ』、『栗橋宿跡Ⅲ』で報告した範囲である。横町北側の五郎平宅と中町にある三軒を除いて、残らず焼失したと書かれている。

中町は出土している墨書資料等から、少なくとも第7地点(『栗橋宿跡Ⅳ』)までは含まれていると思われる。しかし、第7地点における最古の遺構は18世紀末に比定される。したがって、火災痕跡が享保十年の火災であるとするならば、中町の範囲は第8地点までということになる。また、中町で被害を受けなかった三軒は第8地点の敷地内にあった可能性が考えられよう。

第8地点で検出された火災層や火災関連遺構は、二つの可能性が挙げられる。

- ①享保十年の記事にみえる火災に比定。
- ②享保十年の火災ではなく、局所的に起きた文献史料にみえない火災痕跡。

②については、既に第7地点(『栗橋宿跡Ⅳ』)や本陣跡町屋区画(『栗橋宿本陣跡Ⅰ』)で、19世紀後葉の火災処理土壌が検出されており、史料にみえない火災痕跡事例の存在が確認されている。同じように、18世紀前葉の史料にみえない火災痕跡の可能性は考え得る。一方、①については、年代が合致していることもあり比定し得るが、栗橋宿本陣跡から第3地点に至るまで、18世紀前葉の火災痕跡がまったくみられない点については、不可解である。文化七年(1810)の栗橋宿



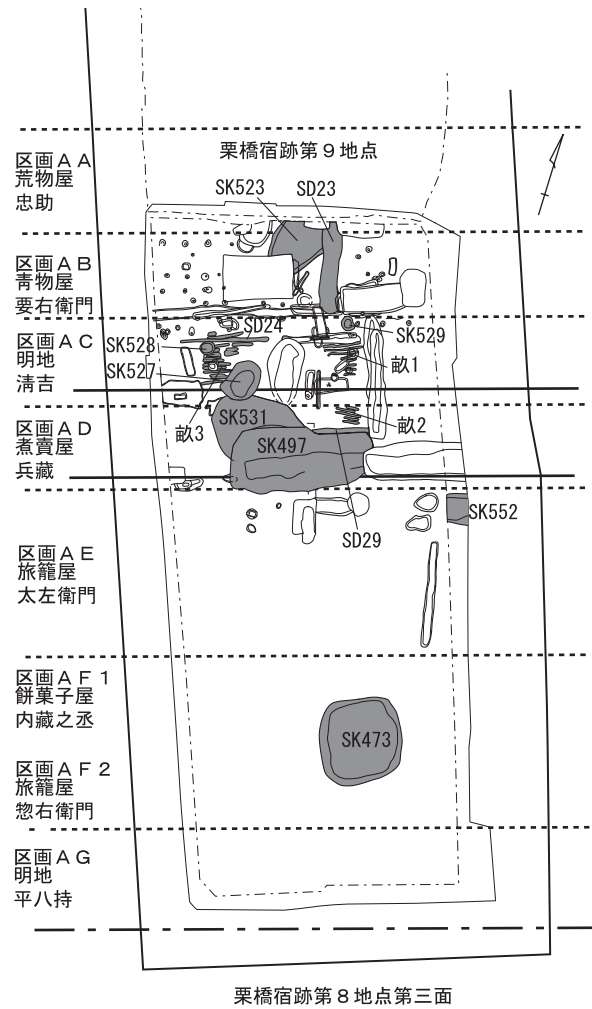
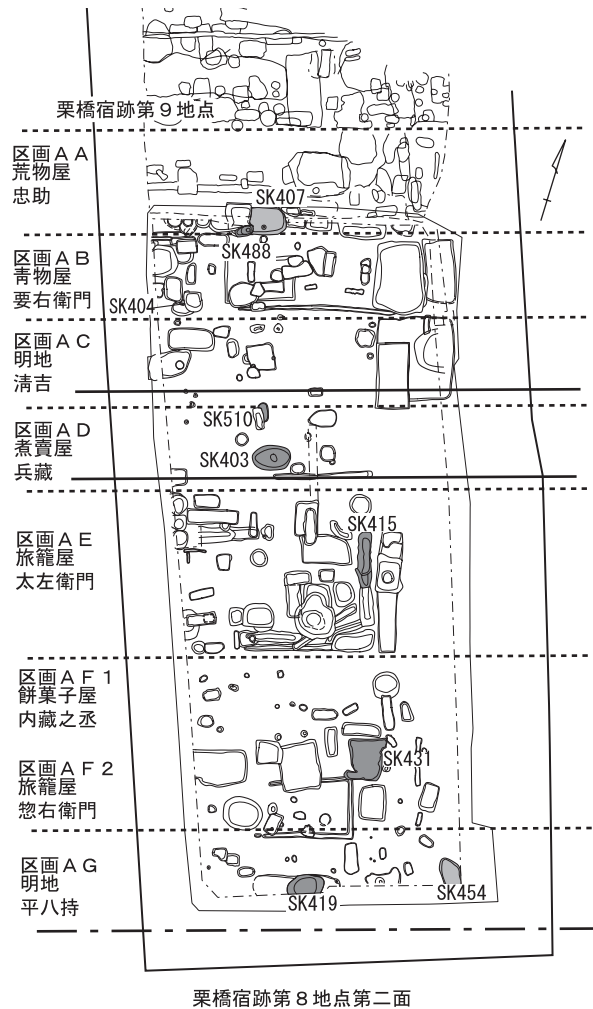
第 755 図 18 世紀前葉の火災関連遺構・遺物分布図

大火（弥七火事）の痕跡が見つかっていない状況と共に、これらをどう理解するかが課題となろう。また、火災痕跡は調査区北部の堤防側に集中し、堤防下に広がっている可能性が疑われる。しかし、先に述べたように調査区東壁の記録をとることができなかった。火災痕跡の広がり第9地点へ続

くかについては、第9地点第二面の報告とともに検討したい。

### 3. 栗橋2-3期の様相

第8地点では、これまでの調査でほぼ確認されていなかった17世紀後葉～18世紀前葉（栗橋2-3期前半）の遺構が複数検出されている。



栗橋 2期  
2-3期      栗橋 3期

第 756 図 栗橋 2-3 期遺構分布図

18 世紀前葉の遺構については、唯一『栗橋宿本陣跡Ⅱ』で 18 世紀前葉の土壌が 1 基検出されている。また、17 世紀に遡る遺構は、第 6 地点第 220 号土壌（17 世紀中葉『栗橋宿跡Ⅲ』）、本陣跡第 1025 号土壌（17 世紀中葉『本陣跡Ⅱ』）、本陣跡第 1032 号土壌（17 世紀中葉『本陣跡Ⅱ』）等が検出されている。

第 523 号土壌は栗橋宿跡唯一の 17 世紀後葉に比定される土壌で、これまでにみつかった 17 世紀中葉と 18 世紀前葉の遺構をつなぐ資料である。

決して多くはないが、18 世紀前葉以前の遺構が複数基検出されている意義は大きく、栗橋宿に

おける空白期を埋める重要な資料として位置付けられる。ここでは、栗橋宿における 2-3 期の様相についてみていく。なお、栗橋 2 期は 17 世紀後葉～18 世紀初頭、3 期は 18 世紀前葉～中葉（第 2 四半期後半～第 3 四半期前半）と幅広く設定される。提示した 3 期の資料は 3 期前半に相当することに留意したい。また、遺構の重複関係、少ない陶磁器から廃絶期を推定した遺構も含んでいる。

第 757 図は栗橋 2 期及び 2-3 期に比定される遺構と 3 期の遺構分布を示した。第二面では 2 期、2-3 期の遺構は 6 基みられ、遺構分布に偏りはない。3 期の遺構は 2 基みられ、第 6 地点等



と比べる遺構数、遺物出土量共に少ない。

第三面では2期の遺構が中心となり、3期の遺構はみられない。中でも第523号土壌は17世紀後葉、第473・497号土壌は18世紀初頭に比定される。また、遺構の重複関係から3箇所のみ跡は2-3期に相当する。遺構の分布は調査区北部に集中している。一部は第9地点へ延びているが、詳細は第9地点第二面の報告を待ちたい。

以上に分布状況を概観したが、ここで問題となるのは、2期の遺構がなぜ第8地点にのみ分布しているのかという点である。

考えられる点は三つある。一つ目は検出標高の問題である。第8地点では標高9.1～9.3mで第三面の遺構群が検出されている。一方、第6地点等の第二面の標高は9.5m前後である。栗橋2期の遺構はその分布がまばらであることから、下層遺構を確認することができなかった可能性が考え得る。しかし、第6地点や本陣跡では17世紀中葉の遺構が検出されていること、自然堤防上の立地により、宿全体が南へ傾斜していることから否定され得る。

二つ目は町屋の一部の位置が18世紀前葉の段階で異なっている可能性である。しかし、この考えは第8地点以外の位置が異なっているということになり、現実的ではない。

三つ目は宿における共有空間であった可能性である。先にも述べたように、第8地点は享保十年の段階で、中町最南端であったと考えられる。これは第7地点の調査成果から言える。18世紀前葉の段階では、第8地点より南側の開発はされていなかったと考えられ、その未開発地は第8地点の南側以降と思われる。宿の末端部は共有空間とし、そこへ廃棄物を集積していたことは十分に考えられる。これは、第473・497号土壌が長期間開口していたことから指摘できる。また、18世紀前半の畝跡が検出されており、町屋の南端で耕作を行っていた可能性が考えられる。

#### 4. 羽口・鍛冶関連遺物について

##### (1) 鍛冶関連遺物について

栗橋宿跡での鉄滓・羽口・坩堝等の鍛冶関連遺物は、これまで『栗橋宿跡Ⅱ』等でわずかに触れてきたが、本地点および『栗橋宿跡Ⅶ』で報告される第9地点からは従来を大きく上回る数量が出土した。『往還絵図』を見ると、第8地点・9地点周辺には「鍛冶屋 幸次郎」として鍛冶職人の名が見え、『営業便覧』では、日光道中沿道から合ノ道（第9地点で検出）を経て船戸町へ向かう道筋に「鍛冶町」として職人の集住した地区（註1）の名が見える。『営業便覧』には街道沿道に「棒屋」の字も見え、これは農具等の柄を作成する職を指すため、鍛冶屋との関係も窺えるだろう。

実際に第三面第497号土壌（第608～611図）、第500号土壌（第661図）を中心として出土した椀形滓（第657・700図458）を見ると、木炭や鍛造薄片をかみ込むものが多いことから、行われていた作業としては精錬・鍛造を主とするものと思われる。滓はおおむね大きさの統一が採れているが、大きいもの（第649図345）も見られることから、火床も小さいものではないだろう。したがって、第497・500号土壌に鍛冶関連遺物を廃棄した鍛冶屋は、針鍛冶や道具鍛冶といった専門的な鍛冶屋ではなく、求めに応じて大小様々な金属製品を製作する野鍛冶のような存在であったことが想定される。

また、稀に見る遺物として鍛冶炉の防火壁（第514図1）が第497号土壌から出土している。被熱による熔融が著しいが、格子状に組んだ棒状の物体を芯材として、スサ入りの粘土で塗り固めていることが破断面から見てとれる。民俗例ではあるが、茨城県山方町（現常陸大宮市）の鍛冶職への聞き取り調査によれば「とくに火を使う場所は、防火対策を厳重にやります。昔は、竹を格子に組んで、切り藁を混ぜ込んだ土を厚く塗り、そのまわりを囲ったものでした」（かくま1998）とあり、



同様のものであろう。鍛冶炉周辺に設置されていた点では、炉寄石と思われる遺物（第 514 図 1）との関係が注目される。

## （2）鞆の羽口について

第三面の第 497・500 号土壙を中心として、多量の羽口が出土した。これらの羽口は大別すると、①厚手で太く胎土に砂が多く混ざりもの（第 648 図 326・331、第 650 図 354～365 等）②薄手で細く胎土が瓦質のもの（第 618 図 92、第 648 図 331～335・337、第 649 図 339～347・349・351、第 650 図 353 等）に二分される。

①種は細分すると、A 群：外面に指頭圧痕が多く見られるもの（第 648 図 326・354・356～362・364・367）、B 群：外面にケズリ状調整を施すもの（第 648 図 325・331、第 650 図 355・363）がある。

②種は細分すると、A 群：瓦質のもの（第 497 号土壙第 648 図 333～335・337、第 649 図 339～347・349・351・353 等）、B 群：土師質に近く、外面赤褐色のもの（第 500 号土壙第 684 図 293～第 685 図 299 等）が見られる。②種 B 群内にはさらに、基部寄りの一箇所孔径が急激にすぼまるもの（第 684 図 295・296、第 685 図 299）がある。

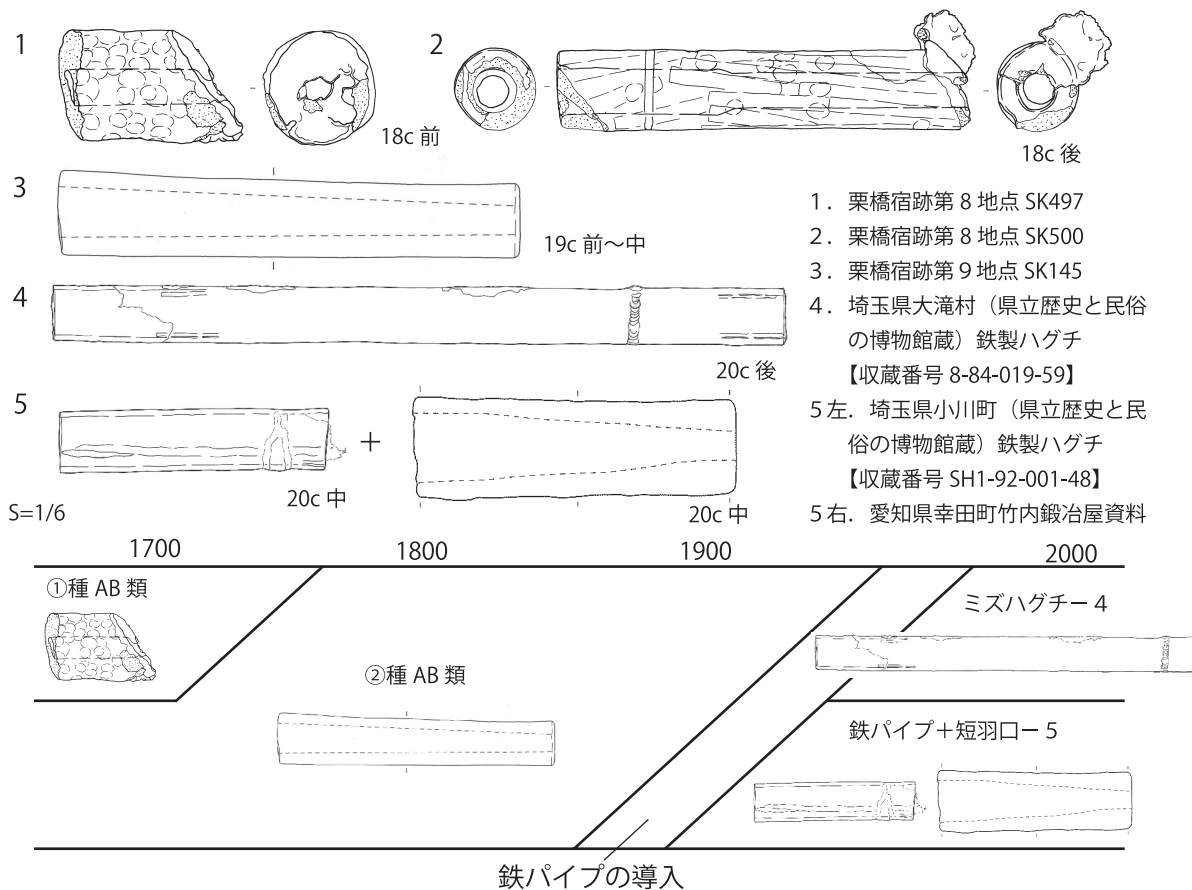
県内の民俗調査において、こうした土製の羽口は「自分で粘土で作った。また、荒物屋などで買ったり、ハグチ専門の行商が売りに来た」（埼玉県立民俗文化センター 1985）と複数の入手法が記録されている。両種の細分についてはこれを反映したものであろう。ただ、種別については規格自体が異なっており、単に生産者の差によるとは考え難い。

第 497 号土壙出土羽口の廃棄された年代は、共伴する遺物から 18 世紀初頭、また同様に第 500 号土壙は 18 世紀後葉に比定される。19 世紀以降に比定される第 2・4 地点（『栗橋宿跡Ⅱ』）、第 9 地点（『栗橋宿跡Ⅱ』）の出土羽口はいずれも

②種羽口にほぼ限られるため、①種の羽口は A 群・B 群とも第 500 号土壙の 18 世紀後葉段階には使用されなくなるようである。

出土する鍛冶炉の羽口に太いものと細いものの 2 種が見られることは、中世の早い段階から、近県では前橋市蒼海城跡などに報告例がある（日沖 2012）。太い羽口が近世のある段階で出土しなくなる現象についても、他遺跡で報告例が多少あり、古くは甲野勇が武蔵野の刀工である下原鍛冶址の発掘を行った際、19 世紀代の鍛冶場跡の土間の下層から「小石まじりの粘土で、太く不細工に作られ、通風孔は細く羽口の部分は先広がりになっている」羽口が出土したことを報告し「極めて古拙の感じのふかいもの」としている（甲野 1960、甲野・大谷 1969）。また、伊藤幸司は大阪市の難波宮跡で出土した近世羽口について、18 世紀前葉までの羽口と 18 世紀末～19 世紀中ごろの羽口を比較して外径の差について報告しており（伊藤 1992）、ある程度広範囲で観測される現象と思われる。

本調査区における羽口の出土状況全体を見渡してみると、第二面第 344 号土壙のように 1、2 点のみ出土する遺構と、第 497 号土壙や第 500 号土壙のように多量に出土する遺構に分かれるようである。これは栗橋宿跡第 2・4 地点、第 9 地点を見ても同様の傾向があり、廃業や移転、被災に伴う一括廃棄、あるいは成田涼子が巢鴨遺跡の調査において指摘するような、ある程度の量が溜まってからの廃棄行為（成田 2007）を見てとれるかもしれない。であれば、一つの遺構から多量に出土する際の羽口は、鍛冶屋が廃棄に至るまで有していた、所有することに意味のあったセットと捉えることができよう。殊に①種については、②種に比べて相当短くなくても利用価値があったようで、例えば第 650 図 355 には両端に滓化が見られる。使用中の羽口を半裁して破断面を基部に再利用したものと思われる。



第 757 図 羽口の変遷図

伊藤幸司は大阪天満で天明年間（1781～1788）に吹子屋の職人町が形成されたことに触れ、「フイゴの普及により、その規格に合う羽口の必要性が生じたことは十分考えられる」とする（伊藤 1992）。鞆は鍛冶屋で自作することができず、購入せざるを得ない精密器具であった。本地点での羽口の出土様相からは、大阪産の鞆が全国的にシェアを高めていく中で、周囲に併せて鞆を切り替えることがなかなかできなかった鍛冶屋の懐事情を表していると言えるかもしれない。

②種羽口については19世紀代に入っても形態上の大きな変化は見られない（第756図3）が、のちに民俗資料として1980～90年代に旧埼玉県立民俗文化センターが蒐集し、県立歴史と民俗の博物館が所蔵する中に「ハグチ」とされる鉄パイプの資料がある（第756図4、5左）。

前掲の『埼玉の鍛冶』では、ドロハグチ（土

製羽口）のあと「鉄パイプになった」が、「使っているうちにひび割れてしまう」ため、「今は（中略）鉄パイプを二重にしてその間に水を循環させる」ミズハグチに移行した、とある（県立民俗文化センター 1985）。また、野崎準の報告によれば「水冷式の水羽口は送風を止めると炉の温度が急激に下がってしまうが、土の羽口だとその心配がなく、高級品製作に向く」として先端のみ土製羽口を使用する例があるという（野崎 1983）。この種の土製羽口は鉄パイプの分、②種に比べて大幅に短くなるもので、野崎報告のほか、愛知県幸田町の民俗資料に例があり（第756図5右、幸田町教育委員会 2016）、ミズハグチに併行か、やや先行すると思われる。

土製羽口の動向は、19世紀以降は鉄パイプ、つまり洋鉄の普及に左右されるわけである。矢野恒雄の聞き取り調査によれば、長野県内で鍛冶屋

に洋鉄が普及したのは1890年前後であった(矢野1967)といい、このころを境に地方でも鉄パイプの普及が進み、土製羽口の短縮が進んだのであろう。栗橋宿跡の羽口を端点とした近世以降の羽口については、以上のようにその動向を記述することができる。試みにこれを図示したのが第756図下の変遷図である。

栗橋宿跡の羽口は、民俗資料と考古資料との境界に位置して両者を橋渡しする、極めて重要な遺物と捉えることができるだろう。

このように、17世紀後葉～18世紀前葉におけ

る町屋の南端を捉えることができたことは大きな成果と言える。

栗橋宿跡第8地点では、18世紀後葉～前葉というこれまでにほとんど類をみない遺構群から町屋の様相を窺うことができた。また、18世紀前葉に比定される火災層を検出したことは、地域史解明に向けての足掛かりとなろう。さらに、多量の鍛冶関連遺物の出土から、『絵図』では確認できない鍛冶屋の存在が示唆された。遺構、遺物、出土文字資料、文献史料、民俗事例等から多角的に近世宿場の様相を明らかにした調査事例である。

## 引用・参考文献

- 合田芳正 2009 「近世の施錠具—江戸の錠・鍵—」『扶桑』
- 秋池武 2000 「利根川流域における角閃石安山岩転石の分布と歴史的意義」『群馬県立歴史博物館紀要』
- 伊藤幸司 1992 「近世遺跡出土の埧塙と羽口」『難波宮址の研究IX』財団法人大阪市文化財協会
- 茨城県教育財団 1986 『一般国道4号改築工事地内埋蔵文化財調査報告書1(総和地区) 南坪A・B・C遺跡 向坪A遺跡 高野遺跡 北新田A・B・C遺跡 西坪A・B遺跡 溜原B遺跡』茨城県教育財団文化財調査報告第38集
- 茨城県教育財団 1998 『大橋B遺跡・釈迦才遺跡』茨城県教育財団文化財調査報告第131集
- 茨城県教育財団 2003 『羽黒遺跡』茨城県教育財団文化財調査報告第202集
- 茨城県教育財団 2009 『同所新田遺跡2 瀬沼遺跡2』茨城教育財団文化財調査報告第312集
- 茨城県教育財団 2012 『釈迦新田遺跡』茨城県教育財団文化財調査報告第352集
- 茨城県教育財団 2014 『宿北遺跡・宿東遺跡・寺山遺跡』茨城教育財団文化財調査報告第383集
- 茨城県教育財団 2017 『釈迦新田遺跡2』茨城県教育財団文化財調査報告第418集
- 茨城県古河市教育委員会 2004 『古河城跡分布調査報告書1』
- 岡佳子 2005 「京焼の印銘」『第18回江戸遺跡研究会大会江戸時代の名産品と商標』江戸遺跡研究会
- 角谷江津子 2005 「「京小町紅」—文献と出土資料から—」『江戸遺跡研究会第18回大会江戸時代の名産品と商標』
- かくまつとむ 1998 『鍛冶屋の教え 横山祐弘職人ばなし』小学館
- 久喜市教育委員会 2008 『久喜市栗橋町史 第三巻 資料編一 原始・古代・中世』久喜市教育委員会
- 久喜市教育委員会 2013a 『久喜市栗橋町史 第四巻 資料編二 近世』久喜市教育委員会
- 久喜市教育委員会 2015 『久喜市栗橋町史 第一巻 通史編上』久喜市教育委員会
- 久喜市教育委員会文化財保護課編 2020 『久喜市の歴史と文化財① 日光道中栗橋宿・栗橋関所』久喜市教育委員会
- 金子智 2018 「江戸・東京の瓦にみる幕末・明治—瓦の近代化の流れ—」『遺物にみる幕末・明治』江戸遺跡研究会
- 技研測量設計株式会社 2010 『本田遺跡』古河市埋蔵文化財調査報告書第3集 古河市教育委員会
- 喜多裕美子 2019 「コラム9ぶら人形について」『考古調査ハンドブック19 江戸の土器』ニューサイエンス社
- 黒田迪子 2018 「古河の鍛冶職の聞き書きから」『泉石 13号』古河市歴史博物館紀要
- 幸田町教育委員会 2016 『深溝西道祖神竹内鍛冶屋調査報告』幸田町民俗文化財調査報告 第1集
- 甲野勇 1960 『武蔵野を掘る』雄山閣
- 甲野勇・大谷勉 1969 「武州下原鍛冶の工房址を掘る」『歴史考古学研究』1号
- 古河市教育委員会ほか 2021 『東の門西の門遺跡』古河市教育委員会

- 古河市史編さん委員会 1982『古河市史 民俗編』
- 古河市史編さん委員会 1985『古河城・鴻巣館 県指定史跡 古河公方館跡』古河市史資料第10集 古河市
- 小林克 2019「6 灯火具」『考古調査ハンドブック 19 江戸の土器』pp92-100, ニューサイエンス社
- 小林謙一 2019「4 焜炉」『考古調査ハンドブック 19 江戸の土器』pp61-70, ニューサイエンス社
- 埼玉県 1955『武蔵國郡村誌』第十四巻 埼玉県立図書館
- 埼玉県 1993『中川水系 I 総論・II 自然・III 人文』埼玉県
- 埼玉県教育委員会 2002『埼玉県史料叢書 13 (上) 栗橋関所資料一 御関所御用諸記 I』埼玉県
- 埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2018a, b, c『栗橋関所番士屋敷跡』『栗橋宿跡 I』『東畑遺跡』埼玉県埋蔵文化財調査事業団第 436・448・449 集
- 埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2019a, b, c, d『栗橋宿本陣跡 I』『栗橋宿跡 II』『栗橋宿跡 III』『栗橋宿跡 IV』埼玉県埋蔵文化財調査事業団第 451・452・456・458 集
- 埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2020a, b, c『稻荷台遺跡』『栗橋本陣跡 II』『栗橋宿跡 V』埼玉県埋蔵文化財調査事業団第 459・460・463 集
- 埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2021a『北二丁目陣屋跡』埼玉県埋蔵文化財調査事業団第 468 集
- 埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2021b『本田遺跡』埼玉県埋蔵文化財調査事業団第 468 集
- 埼玉県立民俗文化センター 1985『埼玉の鍛冶』埼玉県民俗工芸調査報告書 第 3 集
- 惟村忠志 2018「江戸遺出土の幕末・明治期における常滑製品」『江戸遺跡研究会第 31 回大会遺物にみる幕末・明治』
- 玉川文化財研究所編著 2002a『本田山遺跡－県営担い手育成畑地帯総合整備事業（上大野地区）埋蔵文化財発掘調査（第 1 号）報告書』総和町教育委員会
- 玉川文化財研究所編著 2002b『本田山遺跡－県営担い手育成畑地帯総合整備事業（大野地区）埋蔵文化財発掘調査（2 級町道部分）報告書』総和町教育委員会
- 成田涼子 2007「巣鴨町町家における廃棄の検討」『巣鴨町 IX』巣鴨町教育委員会
- 野崎準 1983「吹子羽口について」『東北学院大学文化研究所紀要』第 14 号
- 羽黒・日下部遺跡発掘調査団編集 1999『羽黒・日下部発掘調査報告書』総和町教育委員会
- 飯能市教育委員会 1999『飯能の遺跡 (27)』「飯能焼原窯跡第 1・2 次調査」飯能市教育委員会
- 飯能市教育委員会 2007『飯能の遺跡 (35)』「飯能焼原窯跡第 6 次調査」飯能市教育委員会
- 日沖剛史 2012「2 区出土鉄滓について」『元総社蒼海遺跡群 (37)』前橋市教育委員会
- 福田聖・瀧瀬芳之 2020「栗橋関所番士屋敷跡のキャップガン」『研究紀要第 34 号』埼玉県埋蔵文化財調査事業団
- 船築紀子 2020「太田井産火打石の採掘と流通」『江戸遺跡研究第 7 号』
- 堀内謙一 2021「江戸時代初期の栗橋関所に関わる二・三の考察について－『伊達治家記録』の検討を中心にして－」『埼玉地方史第 80 号』埼玉地方史研究会
- 堀口萬吉 1992「利根川中流低地における行田市高山古墳埋没の予察的研究」『埼玉大学紀要』27 埼玉大学
- 武蔵文化財研究所 2001『香取東遺跡・釈迦才仏遺跡』総和町
- 武蔵文化財研究所編集 2002『本田山遺跡－県営担い手育成畑地帯総合整備事業（上大野地区）埋蔵文化財発掘調査（第 2 号）報告書』総和町教育委員会
- 武蔵文化財研究所編集 2010『北山田北久保遺跡－筑西幹線道路整備に伴う埋蔵文化財調査報告書－』古河市埋蔵文化財調査報告書第 4 集 古河市教育委員会
- 村山卓 2021「栗橋宿の「浅紅」と浅草紅粉屋諫蔵」『東京考古 No. 39』
- 福島県文化財センター 1989『中平遺跡』
- 矢口孝悦・瀧瀬芳之 1996「羽生市小松古墳群 1 号墳の調査」『埼玉考古』32 埼玉考古学会
- 矢野恒雄 1967「草創期における信州鎌」『上水内教育』37 号
- 矢部良明ほか 2002「角川 日本陶磁大辞典」角川書店



## 報 告 書 抄 録

ふりがな	くりはししゆくあと							
書名	栗橋宿跡VI							
副書名	首都圏氾濫区域堤防強化対策における埋蔵文化財発掘調査報告							
シリーズ名	埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書							
シリーズ番号	第473集							
編著者名	水村 雄功							
編集機関	公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団							
所在地	〒369-0108 埼玉県熊谷市船木台4丁目4番地1 TEL 0493-39-3955							
発行年月日	西暦2022(令和4)年3月22日							
ふりがな 所収遺跡	所在地	コード		北緯 〃〃	東経 〃〃	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
くりはししゆくあと 栗橋宿跡 (第8地点)	さいたまけんくきし 埼玉県久喜市 くりはしちゆうおう 栗橋中央2丁 目3517-3 他	112321	011	36°08'26"	139°42'11"	20160401～ 20170331 20170401～ 20170930	5,226.00	堤防強化 記録保存 調査
所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項		
栗橋宿跡 (第8地点)	宿場跡	江戸時代	建物跡	6棟	陶磁器	町屋跡を調査した。 18世紀前葉の火災処理土壌を 検出した。 18世紀初頭の土壌を検出した。 18世紀前葉の火災層を検出し た。 浅間A降下軽石を検出した。		
			基礎状遺構	6基	土師質土器			
			埋設桶	20基	瓦質土器			
			埋設甕	1基	土製品			
			井戸跡	8基	瓦			
			杭列	4条	木製品			
			木樋	1基	金属製品			
			溝跡	28条	羽口			
			畠跡	3箇所	鉄滓			
			小鍛冶遺構	2基	石製品			
			性格不明遺構	2基	硝子製品(筭)			
			焼土遺構	9基	骨製品			
			土壌	484基	繊維製品			
			ピット	77基				
要約	<p>栗橋宿跡は利根川右岸に立地する日光道中7番目の宿場街「栗橋宿」の町屋跡である。発掘調査で検出された遺構は19世紀後半以降を中心とする第一面、18世後半～19世紀前半の遺構を中心とする第二面、18世紀前半以前を中心とする第三面に分けられる。</p> <p>調査の結果、第一面では町屋の裏空間に立ち並ぶ土蔵跡と考えられる建物跡とそれらに平行する敷地境と考えられる杭列、溝跡、木樋が検出された。第3・7・8号埋設桶は自然科学分析の結果、便槽としての機能が示唆された。第二面では建物跡が少ない一方で、井戸跡や土壌が多く、第一面とは土地利用が異なっている。第三面では浅間A降下軽石に被覆されている畠跡が検出された。また、多量の羽口や鉄滓が出土し、小鍛冶遺構が検出されたことから鍛冶屋の存在が示唆された。調査区南側では、18世紀前葉に比定される火災層とその直下から18世紀初頭の土壌が検出された。また、18世紀前葉に遡る火災処理土壌が検出され、栗橋宿跡最古級の火災痕跡が認められた。</p> <p>遺物では、僅かなヨーロッパ産、中国産陶磁器類に加え、国産陶磁器が多く検出された。土器類では、江戸で生産されたものがみられたほか、江戸のものとは異なる在地の製品が多く認められた。加えて、18世紀の遺構からは常陸地域の製品が一定量見られ、大甕や火鉢、が確認された。土壌を中心に出土した多種多様な一括遺物は、近世宿場町の実態を示す良好な資料であり、特に18世紀前葉以前の遺構群から出土した遺物は栗橋宿跡の空白期間を埋める貴重な資料となった。</p>							



埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第473集

## 栗橋宿跡Ⅵ

首都圏氾濫区域堤防強化対策における  
埋蔵文化財発掘調査報告  
(第3分冊)

令和4年3月15日 印刷

令和4年3月22日 発行

発行／公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団

〒369-0108 熊谷市船木台4丁目4番地1

0493 (39) 3955

<http://www.saimaibun.or.jp>

印刷／山進社印刷株式会社